看護学専攻専門科目教育要項

Nursing Science, Syllabus of the Special Subjects

２０２２年度

2022-2023 Prospectus

東京医科歯科大学医学部保健衛生学科

School of Health Care Sciences, Faculty of Medicine,
Tokyo Medical and Dental University

医学部保健衛生学科

《医学部保健衛生学科》

●教育理念

本学科は、看護学、検査技術学の２つの専門領域における知識・技術を教授することにとどまらず、豊かな教養と高い倫理観に裏づけされた医療人としての感性を有し、学際的視野にたち、自ら問題を提起し、これを解決できる能力を備えた医療人を養成します。

●教育目標

〈看護学専攻〉

高度先進化する科学技術の基礎理解力を持ち、高齢化社会における保健医療・福祉等のさまざまな職種と連携して、専門職としての役割を果たす人間性豊かな人材を育成する。

〈検査技術学専攻〉

先端医療技術の進展に対応しうる学際的視野と研究能力を有する資質の高い人材および医学、保健医療における検査技術の発展とその教育・指導に従事する人材を育成する。

●求める学生像

〈看護学専攻〉

1. 看護学・保健医療福祉に深い関心がある
2. 豊かな感性と優れたコミュニケーション能力を有する
3. 論理的思考力、問題解決能力を備えている
4. 倫理的感受性と探究心に富む

〈検査技術学専攻〉

1. 医学・保健医療に深い関心を有し、患者・要介護者や社会に対する奉仕的精神、責任感、倫理観を有する
2. 豊かな人間性をもち、観察力、論理的思考力、問題解決力、総合判断力を備えている
3. 継続的に自己啓発し、探求心が旺盛である

◆ディプロマ・ポリシー

医学部保健衛生学科では、全学共通科目、専門科目における講義・演習・実習を通して、学年ごとに設定された進級要件（東京医科歯科大学全学共通科目履修規則及び東京医科歯科大学専門科目履修規則）を満たし、卒業までに、所定の単位を修得し、以下の要件を満たしている者に、それぞれ学士(看護学)、学士（保健学)の学位を授与する。

１．幅広い教養と高い専門知識・技術の修得

物事を多面的に捉えられる幅広い教養を身に付け、看護学または検査技術学の基礎から応用に至る高い専門知識と技術を修得している。

２．医療人としての豊かな感性と人間性の形成

多様な背景を持つ人々の主体性や価値観を理解し、豊かな感性を持って個々を尊重した関係を築くことができる医療人としての人間性が形成されている。

３．問題提起・解決能力の修得

社会情勢の影響あるいは業務の特性によって時々刻々と変化する臨床現場の中で、問題を的確に見出し解決に向かわせる柔軟な理解力・洞察力・行動力が養われている。

４．自己学習能力・創造性の形成

看護または臨床検査の分野におけるスペシャリストを目指して学習を継続する自己学習能力を身に付け、大学院あるいは職場において診療・教育・研究・開発活動を進展させていくことができる創造性が形成されている。

５．国際性の形成

国際情勢に関心を示し、看護または臨床検査の分野におけるスペシャリストとして国際貢献に関与できる基礎学力が養われている。

卒業時到達目標は、他の医療専門職等とのチームワーク、保健医療に関わる倫理観、広く社会を捉える国際性、基盤となる高い専門性およびそれを追求する研究的姿勢を併せて養うことが重要と考える。保健衛生学科の学習を通して、保健医療の実践の場のみならず、教育・研究の場においても、人々の健康的生活に貢献し、看護学・検査技術学の発展に寄与できる医療人に成長することが期待される。

◆カリキュラム・ポリシー

〈看護学専攻〉

東京医科歯科大学の教育理念、および医学部保健衛生学科の教育理念に基づき、全学共通科目、専門科目を系統的、段階的に学習できるように配し、ディプロマ・ポリシーを実現するためのカリキュラムの策定方針を以下の通り定める。

１．幅広い教養と豊かな人間性と倫理観を涵養するために、一般教育とリベラルアーツを融合した共通教育には、学科・専攻横断的な自由選択科目を配置し、価値観の多様化する現代において看護と関連づけながら学びを深められるよう、看護に関する専門教育科目、医療と人間について学ぶ教養科目を有機的に配置する。

２．自ら問題を提起し、解決する能力を備えた、看護学の実践、教育、研究者としての基礎を培い、自己の知識や技術の向上を常に目指す研究的姿勢を身につけるために、討論、グループワーク、多職種連携教育、ラーニングマネジメントシステムやシミュレーション・ラボを活用して科目を展開するとともに、論理的思考能力、リテラシー能力、批判的思考、統合的思考、論理的思考の向上を目指して、少人数制の卒業研究ならびに統合的実践科目を配置する。

３．看護師および保健師としての知識・技術・態度を修得し、将来リーダーを担いうる資質を培うために、看護の科学的根拠となる知識からより専門性の高い各看護学の分野の科目へ、看護の対象を個人、家族、集団、地域、組織へと広げ、看護研究、看護管理へと学習を拡大していけるよう科目を配置する。

４．多職種との連携を図りながら看護の専門性を発揮できる基礎的能力の獲得を目指して、学習段階に応じた臨地実習科目をすべての学年に配置する。
５．国際的に活躍でき、医療の国際化に対応できる人材を育成することを目指して、４年間を通じて学習できるよう語学と国際的な看護に関する科目を配置する。
６．学習成果の評価は、各授業科目のシラバスにおいて、到達目標、授業計画、成績評価基準・方法を明示し、定期試験、レポート提出、講義への参加状況などに基づき、医療人として要求される専門的能力について、多面的に評価する。

〈検査技術学専攻〉

東京医科歯科大学の教育理念、および医学部保健衛生学科の教育理念に基づき、検査技術学専攻の教育目的を踏まえた教育目標の達成を見据え、ディプロマ・ポリシーを実現するためのカリキュラムの策定方針を以下の通り定める。

１．臨床検査技師国家試験に必要な科目を含めて、全学共通科目および専門科目を４年間で系統的、段階的に学習できるよう配置する。
２．臨地実習、インターンシップ、他学科・他専攻との共通科目等により、チーム医療の一翼として活躍できる臨床検査技師に必要な実践的知識、技術、態度、コミュニケーション能力を修得させる。
３．国際化、情報化に対応して、英語と情報リテラシー科目は４年間に渡って継続的に学習できるように配置する。
４．本学大学院医歯学総合研究科、生体材料工学研究所、難治疾患研究所、大学病院、医歯学研究支援センター等の全学的協力および四大学連合複合領域コースの活用により、広い分野にわたる選択科目を開講するとともに､卒業研究等により大学院教育との連携を図る。
５．学習成果の評価は、各授業科目のシラバスにおいて、到達目標、授業計画、成績評価基準・方法を明示し、定期試験、レポート提出、講義への参加状況などに基づき、医療人として要求される専門的能力について、多面的に評価する。

お知らせ

2022 年度は、新型コロナウイルス感染症に伴い、授業日程は、適宜変更となります。

最新のものは、WebClass、及びキャンパス教育支援システムより、ご確認ください。

目 次

2022年度授業計画表〈〈看護学専攻〉〉 …… 1
保健師国家試験受験資格取得に必要な科目の履修について …… 2

【第1学年】 3
2022年度時間割（看護学専攻：第1学年） …… 4
解剖学 …… 9
微生物学 …… 11
国際保健看護学Ⅰ …… 13
看護制度論 …… 15
癒しのケア論 …… 18
国際保健福祉A …… 20
人間の健康と看護 …… 22
基盤看護学実習Ⅰ …… 24
看護の統合と実践Ⅰ …… 26

【第2学年】 28
2022年度時間割（看護学専攻：第2学年） …… 29
生理学 …… 34
生化学 …… 36
薬理学Ⅰ …… 40
薬理学Ⅱ …… 42
病理学 …… 44
栄養学 …… 46
病態学 …… 48
Global Nursing Communication Ⅰ …… 51
専門基礎合同演習 …… 54
医療情報学 …… 56
保健医療福祉制度論 …… 58
AI 実践演習 …… 60
Learning Medical English …… 62
実践看護英語Ⅰ …… 64
国際保健福祉B …… 67
インディペンデントスタディA …… 69
基礎看護学Ⅱ …… 71
基礎看護学Ⅲ …… 75
基礎看護学演習Ⅰ …… 77
基礎看護学演習Ⅱ …… 82
基礎看護学実習Ⅱ …… 86
成人看護学Ⅰ …… 89
成人看護学Ⅱ …… 91
精神看護学 …… 93
小児看護学Ⅰ …… 96
小児看護学演習Ⅰ …… 98
地域保健看護学Ⅰ …… 100
在宅看護学Ⅰ …… 102

【第3学年】 104
2022年度時間割（看護学専攻：第3学年） …… 105
疫学 …… 111
Global Nursing Communication Ⅱ …… 113
卒業論文Ⅰ …… 116
Learning Medical English …… 119
実践看護英語Ⅱ …… 121
国際保健福祉C …… 124
インディペンデントスタディB …… 126
成人看護学Ⅲ …… 128
成人看護学演習 …… 130
成人看護学実習 …… 132
地域精神看護学 …… 136
精神看護学演習 …… 139
精神看護学実習 …… 142
小児看護学Ⅱ …… 145
小児看護学演習Ⅱ …… 147
小児看護学実習 …… 149
母性看護学Ⅰ …… 153
母性看護学Ⅱ …… 155
母性看護学Ⅲ …… 157
母性看護学演習 …… 159
母性看護学実習 …… 162
老年看護学 …… 167
老年看護学演習 …… 170
リハビリテーション看護学 …… 172
老年看護学実習 …… 174
地域保健看護学Ⅱ …… 179
在宅看護学Ⅱ …… 181
在宅看護学演習 …… 184
在宅看護学実習 …… 187

【第4学年】 192
2022年度時間割(看護学専攻:第4学年) …… 193
保健統計学 …… 198
国際保健看護学 …… 200
産業保健学 …… 203
健康教育学演習 …… 205
卒業論文Ⅱ …… 207
AI 実践演習…… 210
Learning Medical English …… 212
実践看護英語Ⅲ …… 214
国際保健福祉D …… 217
インディペンデントスタディC…… 219
地域保健看護学Ⅲ …… 221
地域保健看護学演習 …… 224
地域保健看護学実習 …… 227
緩和ケア看護学Ⅰ …… 237
緩和ケア看護学Ⅱ …… 239
看護の統合と実践Ⅱ …… 241
看護の統合と実践実習 …… 244
総合実習Ⅰ …… 248
総合実習Ⅱ …… 250

【学生周知事項】 252
学生周知事項 …… 253
台風等の自然災害や交通機関運休による休講措置(湯島地区) …… 256
諸様式 …… 257

【講義室一覧】 271
講義室等一覧 …… 272

【参 考】 273
東京医科歯科大学学則 …… 274
東京医科歯科大学における学生の懲戒に関する申合せ …… 289
東京医科歯科大学学部専門科目履修規則(2022年度入学者に適用)…… 299
東京医科歯科大学医学部保健衛生学科履修内規 …… 314
保健衛生学科(看護学専攻)教育課程 …… 317
東京医科歯科大学医学部試験規則、試験規則内規 …… 323
東京医科歯科大学学部教育におけるGPA制度取り扱いに関する要項 … 327
国立大学法人東京医科歯科大学における授業欠席に関する取扱要項… 329
看護学専攻第3学年における臨地実習履修要件 …… 331
医学部保健衛生学科看護学専攻卒業論文実施要項 …… 332
医学部保健衛生学科レポート書式(見本) …… 336

２０２２年度授業計画表《看護学専攻》

第２学年		
区　分	週 数	期　　間
前期授業・補講	１４週	２０２２年　４月４日(月) ～ ７月８日(金)
前期試験	2週	２０２２年 ７月１１日(月)～ ７月２２日(金)
前期授業・補講	１週	２０２２年 ７月２５日(月)～ ７月２９日(金)
夏季休業		２０２２年 ８月　１日(月)～ ８月３１日（木）
後期授業	１７週	２０２２年　９月１日（木）～１２月２３日(金)
冬季休業		２０２２年１２月２６日(月) ～２０２３年 １月 ３日(火)
後期授業	１週	２０２３年　１月　４日（水）～　１月　６日（金）
後期試験	２週	２０２３年　１月１１日（水）～　１月２１日（金）
補講・再試期間	２週	２０２３年　１月２３日(月)～　２月　３日(金)
春季休業		２０２３年　２月　６日(月)～

第３学年		
区　分	週 数	期　　間
前期授業・補講	１４週	２０２２年　４月４日(月) ～ ７月５日(火)
前期試験	２週	２０２２年　７月７日(木)～ ７月１５日(金)
前期授業	１週	２０２２年　７月１９日(火)～　７月２０日(水) ※保育園実習（予定）
夏季休業		２０２２年　７月２５日(月)～　９月９日（金）
後期授業	１５週	２０２２年　９月１２日（月）～１２月２３日(金)
冬季休業		２０２２年１２月２６日(月) ～２０２３年 １月 ３日(月)
後期授業	６週	２０２３年　１月　４日（水）～　２月　１７日（金）
後期試験		
補講・再試期間		
春季休業		２０２３年　２月２０日(月)～

第４学年		
区　分	週 数	期　　間
前期授業・補講	１２週	２０２２年　４月４日(月) ～ ６月２０日(月)
前期試験	１週	２０２２年　６月２１日(火) ～　６月２４日(金)
前期授業	４週	２０２２年　６月２８日(火)～　７月２０日（水） ※看護の統合と実践実習ⅠⅡ
夏季休業		２０２２年　７月２５(月)～　９月 ２日（金）
後期授業	１６週	２０２２年　９月　５日(月)　～１２月２３日(金)
冬季休業		２０２２年１２月２６日(月) ～２０２３年 １月 ３日(月)
後期授業	３週	２０２３年　１月　４日（水）～　１月２０日（金）
後期試験		
補講・再試期間		
春季休業		２０２３年　１月２３日(月)～

【行事】

２０２２年　４月　５日（火）入学式

２０２２年　４月　１４日（木）ガイダンス（２学年）（案）

２０２２年　【未定】体育祭（※コロナ禍のため）

※オープンキャンパス開催未定

２０２２年１０月１２日（水）創立記念日

２０２２年１０月１５日（土）～１６日（日）【未定】お茶の水祭

２０２２年１０月２７日（木）解剖体追悼式 Ｎ２，ＭＴ２（築地本願寺）

２０２３年　３月２４日（金）卒業式

保健師国家試験受験資格取得に必要な科目の履修について

（看護学専攻教育課程）

○　看護学専攻では、平成28年度入学者からは、保健師国家試験受験資格取得に必要な科目の履修を、選択制にすることといたしました。

このことにより、保健師の資格取得を希望する学生は、所定の科目を履修し、その単位を修得した場合に、卒業時に「保健師国家試験受験資格」を取得できることとなります。

参照：保健衛生学科（看護学専攻）教育課程

看護師国家試験受験資格と保健師国家試験受験資格取得を選択する場合と、
看護師国家試験受験資格取得の場合の科目

【2016年度～2021年度入学者】

保健師を選択する者		
科目	単位	区分
地域保健看護学Ⅲ	2	必修
地域保健看護学演習	1	必修
地域保健看護学実習	3	必修

保健師を選択しない者		
科目	単位	区分
総合実習Ⅰ	2	必修
総合実習Ⅱ	1	必修
緩和ケア看護学Ⅱ※	1	選択
リハビリテーション看護学※	1	選択
看護心理学※	1	選択

※は３科目の中から１科目選択

【2022年度入学者～】

保健師を選択する者		
科目	単位	区分
地域保健看護学Ⅲ	2	必修
地域保健看護学演習Ⅰ	2	必修
地域保健看護学演習Ⅱ	1	必修
地域保健看護学実習	4	必修

保健師を選択しない者		
科目	単位	区分
成人・老年看護学実習Ⅲ	2	必修
緩和ケア看護学Ⅱ※１	1	選択
リハビリテーション看護学※１	1	選択
緩和ケア看護学実習※２	1	選択
国際看護学実習※２	1	選択

※1は2科目の中から１科目選択,※2は2科目の中から1科目選択

第１学年

2022年度専門科目時間割(看護学専攻:第1学年)　　2022.3.30

(前期)

		8:50～10:20	授業形態	講義室等	10:30～12:00	授業形態	講義室等	昼食会場	12:50～14:20	授業形態	講義室等	14:30～16:00	授業形態	講義室等	16:20～17:50	授業形態	講義室等
3/28	月																
29	火																
30	水																
31	木																
4/1	金																

		8:50～10:20	授業形態	講義室等	10:30～12:00	授業形態	講義室等	昼食会場	12:50～14:20	授業形態	講義室等	14:30～16:00	授業形態	講義室等	16:20～17:50	授業形態	講義室等
4/4	月																
5	火	※学部入学式 (10:00～)															
6	水	【午前予定】新入生健診、四種抗体検査															
7	木	【10時30分～11時45分】保健衛生学科新入生ガイダンス（講義室1）															
8	金	【午後予定】情報システム説明会(湯島・情報検索室(M&Dタワー4階))															

		8:50～10:20	授業形態	講義室等	10:30～12:00	授業形態	講義室等	昼食会場	12:50～14:20	授業形態	講義室等	14:30～16:00	授業形態	講義室等	16:20～17:50	授業形態	講義室等
4/11	月	教養部オリエンテーション・ガイダンス															
12	火								人間の健康と看護(1)	登校(面接授業)	講義室1	人間の健康と看護(2)	登校(面接授業)	講義室1	実習関連購入物品オリエンテーション	登校(面接授業)	講義室1
13	水																
14	木																
15	金																

		8:50～10:20	授業形態	講義室等	10:30～12:00	授業形態	講義室等	昼食会場	12:50～14:20	授業形態	講義室等	14:30～16:00	授業形態	講義室等	16:20～17:50	授業形態	講義室等
4/18	月																
19	火								人間の健康と看護(3)	同期型(zoom)		人間の健康と看護(4)	同期型(zoom)				
20	水																
21	木																
22	金																

		8:50～10:20	授業形態	講義室等	10:30～12:00	授業形態	講義室等	昼食会場	12:50～14:20	授業形態	講義室等	14:30～16:00	授業形態	講義室等	16:20～17:50	授業形態	講義室等
4/25	月																
26	火								人間の健康と看護(5)	同期型(zoom)		人間の健康と看護(6)	同期型(zoom)				
27	水																
28	木																
29	金	昭和の日															

		8:50～10:20	授業形態	講義室等	10:30～12:00	授業形態	講義室等	昼食会場	12:50～14:20	授業形態	講義室等	14:30～16:00	授業形態	講義室等	16:20～17:50	授業形態	講義室等
5/2	月																
3	火	憲法記念日															
4	水	みどりの日															
5	木	こどもの日															
6	金																

		8:50～10:20	授業形態	講義室等	10:30～12:00	授業形態	講義室等	昼食会場	12:50～14:20	授業形態	講義室等	14:30～16:00	授業形態	講義室等	16:20～17:50	授業形態	講義室等
5/9	月																
10	火								人間の健康と看護(7)	登校(面接授業)	講義室1	人間の健康と看護(8)	登校(面接授業)	講義室1			
11	水																
12	木																
13	金																

		8:50～10:20	授業形態	講義室等	10:30～12:00	授業形態	講義室等	昼食会場	12:50～14:20	授業形態	講義室等	14:30～16:00	授業形態	講義室等	16:20～17:50	授業形態	講義室等
5/16	月																
17	火								基盤看護学実習Ⅰ(1)	登校(面接授業)	講義室1						
18	水																
19	木																
20	金																

2022年度専門科目時間割(看護学専攻:第1学年)　　2022.3.30

		8:50～10:20	授業形態	講義室等	10:30～12:00	授業形態	講義室等	昼食会場	12:50～14:20	授業形態	講義室等	14:30～16:00	授業形態	講義室等	16:20～17:50	授業形態	講義室等
5/23	月																
24	火																
25	水																
26	木																
27	金																

		8:50～10:20	授業形態	講義室等	10:30～12:00	授業形態	講義室等	昼食会場	12:50～14:20	授業形態	講義室等	14:30～16:00	授業形態	講義室等	16:20～17:50	授業形態	講義室等
5/30	月																
31	火																
6/1	水																
2	木																
3	金																

		8:50～10:20	授業形態	講義室等	10:30～12:00	授業形態	講義室等	昼食会場	12:50～14:20	授業形態	講義室等	14:30～16:00	授業形態	講義室等	16:20～17:50	授業形態	講義室等
6/6	月																
7	火																
8	水																
9	木																
10	金																

		8:50～10:20	授業形態	講義室等	10:30～12:00	授業形態	講義室等	昼食会場	12:50～14:20	授業形態	講義室等	14:30～16:00	授業形態	講義室等	16:20～17:50	授業形態	講義室等
6/13	月																
14	火																
15	水																
16	木																
17	金																

		8:50～10:20	授業形態	講義室等	10:30～12:00	授業形態	講義室等	昼食会場	12:50～14:20	授業形態	講義室等	14:30～16:00	授業形態	講義室等	16:20～17:50	授業形態	講義室等
6/20	月																
21	火																
22	水																
23	木																
24	金																

		8:50～10:20	授業形態	講義室等	10:30～12:00	授業形態	講義室等	昼食会場	12:50～14:20	授業形態	講義室等	14:30～16:00	授業形態	講義室等	16:20～17:50	授業形態	講義室等
6/27	月																
28	火																
29	水																
30	木																
7/1	金																

		8:50～10:20	授業形態	講義室等	10:30～12:00	授業形態	講義室等	昼食会場	12:50～14:20	授業形態	講義室等	14:30～16:00	授業形態	講義室等	16:20～17:50	授業形態	講義室等
7/4	月																
5	火																
6	水																
7	木																
8	金																

		8:50～10:20	授業形態	講義室等	10:30～12:00	授業形態	講義室等	昼食会場	12:50～14:20	授業形態	講義室等	14:30～16:00	授業形態	講義室等	16:20～17:50	授業形態	講義室等
7/11	月																
12	火																
13	水																
14	木																
15	金																

		8:50～10:20	授業形態	講義室等	10:30～12:00	授業形態	講義室等	昼食会場	12:50～14:20	授業形態	講義室等	14:30～16:00	授業形態	講義室等	16:20～17:50	授業形態	講義室等
7/18	月	海の日															
19	火																
20	水																
21	木																
22	金																

		8:50～10:20	授業形態	講義室等	10:30～12:00	授業形態	講義室等	昼食会場	12:50～14:20	授業形態	講義室等	14:30～16:00	授業形態	講義室等	16:20～17:50	授業形態	講義室等
7/25	月																
26	火																
27	水																
28	木																
29	金																

		8:50～10:20	授業形態	講義室等	10:30～12:00	授業形態	講義室等	昼食会場	12:50～14:20	授業形態	講義室等	14:30～16:00	授業形態	講義室等	16:20～17:50	授業形態	講義室等
8/1	月	基盤看護学実習Ⅰ(2～26)						実習室(※先生の指示に従ってください)	基盤看護学実習Ⅰ(2～26)								実習室1・2・3・4
2	火							実習室(※先生の指示に従ってください)									実習室1・2・3・4
3	水							実習室(※先生の指示に従ってください)									実習室1・2・3・4
4	木							実習室(※先生の指示に従ってください)									実習室1・2・3・4
5	金							実習室(※先生の指示に従ってください)									実習室1・2・3・4

		8:50～10:20	授業形態	講義室等	10:30～12:00	授業形態	講義室等	昼食会場	12:50～14:20	授業形態	講義室等	14:30～16:00	授業形態	講義室等	16:20～17:50	授業形態	講義室等
8/8	月																
9	火																
10	水																
11	木	山の日															
12	金																

		8:50～10:20	授業形態	講義室等	10:30～12:00	授業形態	講義室等	昼食会場	12:50～14:20	授業形態	講義室等	14:30～16:00	授業形態	講義室等	16:20～17:50	授業形態	講義室等
8/15	月																
16	火																
17	水																
18	木																
19	金																

(後期)

		8:50～10:20	授業形態	講義室等	10:30～12:00	授業形態	講義室等	昼食会場	12:50～14:20	授業形態	講義室等	14:30～16:00	授業形態	講義室等	16:20～17:50	授業形態	講義室等
9/12	月																
13	火																
14	水																
15	木																
16	金																

		8:50～10:20	授業形態	講義室等	10:30～12:00	授業形態	講義室等	昼食会場	12:50～14:20	授業形態	講義室等	14:30～16:00	授業形態	講義室等	16:20～17:50	授業形態	講義室等
9/19	月	敬老の日															
20	火																
21	水																
22	木																
23	金	秋分の日															

		8:50～10:20	授業形態	講義室等	10:30～12:00	授業形態	講義室等	昼食会場	12:50～14:20	授業形態	講義室等	14:30～16:00	授業形態	講義室等	16:20～17:50	授業形態	講義室等
9/26	月																
27	火	微生物学(1)	同期型(zoom)		解剖学(1)	同期型(zoom)			解剖学(2)	同期型(zoom)		解剖学(3)	同期型(zoom)		癒しのケア論(1)	同期型(zoom)	
28	水																
29	木																
30	金																

		8:50～10:20	授業形態	講義室等	10:30～12:00	授業形態	講義室等	昼食会場	12:50～14:20	授業形態	講義室等	14:30～16:00	授業形態	講義室等	16:20～17:50	授業形態	講義室等
10/3	月																
4	火	微生物学(2)	同期型(zoom)		解剖学(4)	同期型(zoom)			解剖学(5)	同期型(zoom)		解剖学(6)	同期型(zoom)		癒しのケア論(2)	同期型(zoom)	
5	水																
6	木																
7	金																

		8:50～10:20	授業形態	講義室等	10:30～12:00	授業形態	講義室等	昼食会場	12:50～14:20	授業形態	講義室等	14:30～16:00	授業形態	講義室等	16:20～17:50	授業形態	講義室等
10/10	月	スポーツの日															
11	火	微生物学(3)	同期型(zoom)		解剖学(7)	同期型(zoom)			解剖学(8)	同期型(zoom)		解剖学(9)	同期型(zoom)				
12	水	創立記念行事															
13	木																
14	金																

		8:50～10:20	授業形態	講義室等	10:30～12:00	授業形態	講義室等	昼食会場	12:50～14:20	授業形態	講義室等	14:30～16:00	授業形態	講義室等	16:20～17:50	授業形態	講義室等
10/17	月																
18	火	微生物学(4)	同期型(zoom)		解剖学(10)	同期型(zoom)			解剖学(11)	同期型(zoom)		解剖学(12)	同期型(zoom)		癒しのケア論(3)	同期型(zoom)	
19	水																
20	木																
21	金																

		8:50～10:20	授業形態	講義室等	10:30～12:00	授業形態	講義室等	昼食会場	12:50～14:20	授業形態	講義室等	14:30～16:00	授業形態	講義室等	16:20～17:50	授業形態	講義室等
10/24	月																
25	火	微生物学(5)	非同期型(webclass)		解剖学(13)	同期型(zoom)			解剖学(14)	同期型(zoom)		解剖学(15)	同期型(zoom)		癒しのケア論(4)	同期型(zoom)	
26	水																
27	木																
28	金																

		8:50～10:20	授業形態	講義室等	10:30～12:00	授業形態	講義室等	昼食会場	12:50～14:20	授業形態	講義室等	14:30～16:00	授業形態	講義室等	16:20～17:50	授業形態	講義室等
10/31	月																
11/1	火	微生物学(6)	同期型(zoom)		解剖学(16)	同期型(zoom)			解剖学(17)	同期型(zoom)		解剖学(18)	同期型(zoom)		癒しのケア論(5)	同期型(zoom)	
2	水																
3	木	文化の日															
4	金																

		8:50～10:20	授業形態	講義室等	10:30～12:00	授業形態	講義室等	昼食会場	12:50～14:20	授業形態	講義室等	14:30～16:00	授業形態	講義室等	16:20～17:50	授業形態	講義室等
11/7	月																
8	火	微生物学(7)	同期型(zoom)		解剖学(19)	同期型(zoom)			解剖学(20)	同期型(zoom)		解剖学(21)	同期型(zoom)		癒しのケア論(6)	同期型(zoom)	
9	水																
10	木																
11	金																

		8:50～10:20	授業形態	講義室等	10:30～12:00	授業形態	講義室等	昼食会場	12:50～14:20	授業形態	講義室等	14:30～16:00	授業形態	講義室等	16:20～17:50	授業形態	講義室等
11/14	月																
15	火	微生物学(8)	同期型(zoom)		解剖学(22)	同期型(zoom)			解剖学(23)	同期型(zoom)		解剖学(24)	同期型(zoom)		癒しのケア論(7)	同期型(zoom)	
16	水																
17	木																
18	金																

		8:50～10:20	授業形態	講義室等	10:30～12:00	授業形態	講義室等	昼食会場	12:50～14:20	授業形態	講義室等	14:30～16:00	授業形態	講義室等	16:20～17:50	授業形態	講義室等
11/21	月																
22	火	看護制度論(1)	登校(面接授業)	講義室1	看護制度論(2)	登校(面接授業)	講義室1	M&Dタワー2階共用講義室1,2	看護の統合と実践Ⅰ(1)	登校(面接授業)	講義室1	**移動時間**			癒しのケア論(8)	同期型(zoom)	
23	水	**勤労感謝の日**															
24	木																
25	金																

		8:50～10:20	授業形態	講義室等	10:30～12:00	授業形態	講義室等	昼食会場	12:50～14:20	授業形態	講義室等	14:30～16:00	授業形態	講義室等	16:20～17:50	授業形態	講義室等
11/28	月																
29	火																
30	水																
12/1	木																
2	金																

		8:50～10:20	授業形態	講義室等	10:30～12:00	授業形態	講義室等	昼食会場	12:50～14:20	授業形態	講義室等	14:30～16:00	授業形態	講義室等	16:20～17:50	授業形態	講義室等
12/5	月																
6	火	看護制度論(3)	登校(面接授業)	講義室1	看護制度論(4)	登校(面接授業)	講義室1	M&Dタワー2階共用講義室1,2	看護の統合と実践Ⅰ(2)	登校(面接授業)	図書館	看護の統合と実践Ⅰ(3)	登校(面接授業)	**図書館**	国際保健看護学Ⅰ(1)	登校(面接授業)	講義室1
7	水																
8	木																
9	金																

		8:50～10:20	授業形態	講義室等	10:30～12:00	授業形態	講義室等	昼食会場	12:50～14:20	授業形態	講義室等	14:30～16:00	授業形態	講義室等	16:20～17:50	授業形態	講義室等
12/12	月																
13	火	看護制度論(5)	登校(面接授業)	講義室1	看護制度論(6)	登校(面接授業)	講義室1	M&Dタワー2階共用講義室1,2	看護の統合と実践Ⅰ(4)	登校(面接授業)	講義室1	国際保健看護学Ⅰ(2)	登校(面接授業)	講義室1	国際保健看護学Ⅰ(3)16:10～17:40	登校(面接授業)	講義室1
14	水																
15	木																
16	金																

		8:50～10:20	授業形態	講義室等	10:30～12:00	授業形態	講義室等	昼食会場	12:50～14:20	授業形態	講義室等	14:30～16:00	授業形態	講義室等	16:20～17:50	授業形態	講義室等
12/19	月																
20	火	看護制度論(7)	登校(面接授業)	講義室1	看護制度論(8)	登校(面接授業)	講義室1		看護の統合と実践Ⅰ(5)13:50～15:20	同期型(zoom)		国際保健看護学Ⅰ(4)15:30～17:00	同期型(zoom)		国際保健看護学Ⅰ(5)17:10～18:40	同期型(zoom)	
21	水																
22	木																
23	金																

		8:50～10:20	授業形態	講義室等	10:30～12:00	授業形態	講義室等	昼食会場	12:50～14:20	授業形態	講義室等	14:30～16:00	授業形態	講義室等	16:20～17:50	授業形態	講義室等
1/9	月	**成人の日**															
10	火	国際保健看護学Ⅰ(6)	同期型(zoom)		国際保健看護学Ⅰ(7)	同期型(zoom)			看護の統合と実践Ⅰ(6)	同期型(zoom)		看護の統合と実践Ⅰ(7)	同期型(zoom)				
11	水																
12	木																
13	金																

		8:50～10:20	授業形態	講義室等	10:30～12:00	授業形態	講義室等	昼食会場	12:50～14:20	授業形態	講義室等	14:30～16:00	授業形態	講義室等	16:20～17:50	授業形態	講義室等
1/16	月																
17	火								看護の統合と実践Ⅰ(8)	同期型(zoom)		国際保健看護学Ⅰ(8)	同期型(zoom)				
18	水																
19	木																
20	金																

		8:50～10:20	授業形態	講義室等	10:30～12:00	授業形態	講義室等	昼食会場	12:50～14:20	授業形態	講義室等	14:30～16:00	授業形態	講義室等	16:20～17:50	授業形態	講義室等
1/23	月																
24	火	定期試験候補日(湯島)			定期試験候補日(湯島)				定期試験候補日(湯島)			定期試験候補日(湯島)			定期試験候補日(湯島)		
25	水																
26	木																
27	金																

		8:50～10:20	授業形態	講義室等	10:30～12:00	授業形態	講義室等	昼食会場	12:50～14:20	授業形態	講義室等	14:30～16:00	授業形態	講義室等	16:20～17:50	授業形態	講義室等
1/30	月																
31	火	定期試験候補日(湯島)			定期試験候補日(湯島)				定期試験候補日(湯島)			定期試験候補日(湯島)			定期試験候補日(湯島)		
2/1	水																
2	木																
3	金																

		8:50～10:20	授業形態	講義室等	10:30～12:00	授業形態	講義室等	昼食会場	12:50～14:20	授業形態	講義室等	14:30～16:00	授業形態	講義室等	16:20～17:50	授業形態	講義室等
2/6	月																
7	火	定期試験候補日(湯島)			定期試験候補日(湯島)				定期試験候補日(湯島)			定期試験候補日(湯島)			定期試験候補日(湯島)		
8	水																
9	木																
10	金																

		8:50～10:20	授業形態	講義室等	10:30～12:00	授業形態	講義室等	昼食会場	12:50～14:20	授業形態	講義室等	14:30～16:00	授業形態	講義室等	16:20～17:50	授業形態	講義室等
2/13	月																
14	火	定期試験候補日(湯島)			定期試験候補日(湯島)				定期試験候補日(湯島)			定期試験候補日(湯島)			定期試験候補日(湯島)		
15	水																
16	木																
17	金																

時間割番号	012005A				
科目名	解剖学			科目ID	MN-130500-L
担当教員	星 治, 藤代 瞳[HOSHI OSAMU, FUJISHIRO Hitomi]				
開講時期	2022 年度通年	対象年次	1	単位数	3
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Anatomy

【科目責任者】星治

授業の目的、概要等

解剖学は正常なからだの形態と構造を細胞から器官レベルまで研究する学問で，医学の最も基礎的な領域である。

授業の到達目標

からだを構成している細胞から器官にいたる各単位について，基本的な構造を理解することを目標とする。さらに，看護学を学ぶためにあたって必要な内容を講義するだけでなく，実物観察により理解を深めることも重視する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/27	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	解剖学総論Ⅰ	解剖学とは何か、人体の構成単位、器官と系統、	星 治
2	9/27	12:50-14:20	遠隔授業(同期型)	解剖学総論Ⅱ	細胞と組織、人体の方向用語	星 治
3	9/27	14:30-16:00	遠隔授業(同期型)	骨格系Ⅰ	骨組織、骨の発生、骨の連結、頭蓋	藤代 瞳
4	10/4	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	骨格系Ⅱ	脊柱、胸郭、上肢の骨格、下肢の骨格	藤代 瞳
5	10/4	12:50-14:20	遠隔授業(同期型)	筋系Ⅰ	筋の形態と構造、頭部の筋	星 治
6	10/4	14:30-16:00	遠隔授業(同期型)	筋系Ⅱ	胸腹部の筋、上肢の筋、下肢の筋	星 治
7	10/11	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	呼吸器系Ⅰ	鼻腔、副鼻腔、咽頭、喉頭	星 治
8	10/11	12:50-14:20	遠隔授業(同期型)	呼吸器系Ⅱ	気管、気管支、肺	星 治
9	10/11	14:30-16:00	遠隔授業(同期型)	発生学	発生学:ヒトの発生、受精から出生までのあらまし	原田 理代
10	10/18	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	循環器系Ⅰ	心臓の構造、刺激伝導系	佐藤 昇
11	10/18	12:50-14:20	遠隔授業(同期型)	循環器系Ⅱ	肺循環と体循環、動脈系、静脈系、リンパ管系	星 治
12	10/18	14:30-16:00	遠隔授業(同期型)	循環器系Ⅲ	血管の構造	星 治
13	10/25	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	泌尿器系Ⅰ	腎臓	星 治
14	10/25	12:50-14:20	遠隔授業(同期型)	泌尿器系Ⅱ	尿管、膀胱、尿道	星 治
15	10/25	14:30-16:00	遠隔授業(非同期型)	生殖器系（男性、女性）	精巣と精巣上体、精管、卵巣、卵管、子宮	秋田 恵一
16	11/1	10:30-12:00	遠隔授業(非同期型)	内分泌系	内分泌器官	秋田 恵一
17	11/1	12:50-14:20	遠隔授業(同期型)	消化器系Ⅰ	消化管の基本構造、口腔、咽頭、食道、胃	星 治
18	11/1	14:30-16:00	遠隔授業(同期型)	消化器系Ⅱ	小腸、大腸	星 治
19	11/8	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	消化器系Ⅲ	肝臓、胆嚢、膵臓	星 治
20	11/8	12:50-14:20	遠隔授業(同期型)	神経系Ⅰ	神経系の構成	阪上 洋行
21	11/8	14:30-16:00	遠隔授業(同期型)	神経系Ⅱ	中枢神経系・末梢神経系	阪上 洋行
22	11/15	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	感覚器系Ⅰ	眼球とその付属器	藤代 瞳
23	11/15	12:50-14:20	遠隔授業(同期型)	感覚器系Ⅱ	平衡聴覚器、嗅覚器、味覚器、皮膚	藤代 瞳
24	11/15	14:30-16:00	遠隔授業(同期型)			

授業方法

同期型もしくは非同期型授業（可能な場合は対面授業）。一部アクティブラーニングを実施する。

授業内容

人体を各系統に分け，それらを構成する各器官の形態と構造について講義し，基礎的な人体解剖学の概念を修得できるように努める。一部演習も行う。

成績評価の方法

小テストの成績（10%）、学期末筆記試験の成績（90%）により総合的に評価する。一部，英文による出題もある。

成績評価の基準

学期末筆記試験の成績が 100 点満点で 60 点以上を合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

指定の教科書を事前に読み込むこと。特に，講義当日の内容に該当する項目のところは十分に押さえておく。

試験の受験資格

授業時間数の 3 分の 2 以上出席した場合に定期試験を受験することができる。出席の扱いは以下の通り

同期型の場合：講義を最初から最後まで参加しているログが確認できた場合を出席とする

非同期の場合：webclass での確認テストで 60 点以上だった場合を出席とする

教科書

解剖学／秋田恵一，星治 著,秋田，恵一，1962-,星，治,：医歯薬出版，2021

参考書

藤田恒夫：入門人体解剖学　南江堂

牛木辰男：入門組織学　南江堂

他科目との関連

人体の様々な病態を理解するためには，からだの構造の基本的な知識が必要である。このため，解剖学は他の多くの科目と関連している。特に，生理学，病理学，病態学とは密接な関連がある。

履修上の注意事項

時間数が限られているので，予習，復習することが必要である。

連絡先（メールアドレス）

星　治:o-hoshi.aps@tmd.ac.jp

藤代　瞳:fujishiro.aps@tmd.ac.jp

オフィスアワー

星　治:オフィスアワーは特に定めない。事前にメールで連絡を。

湯島キャンパス3号館16階

時間割番号	012012A				
科目名	微生物学			科目ID	MN-130600-L
担当教員	齋藤　良一[SAITO RYOICHI]				
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Medical　microbiology

【科目責任者】齋藤　良一

主な講義場所

遠隔授業（同期・非同期）により行う。

授業の目的、概要等

感染症の原因である微生物および微生物とその宿主（特に人間）との相互関係に関する学問である医学微生物学について学ぶ。また人間をとりまく環境中の微生物についても学習する。

授業の到達目標

学生はこの講義を通して医学微生物学の基礎的知識を修得できる。

1）微生物の構造や細菌の代謝、遺伝、微生物の消毒、滅菌方法について説明できる。

2）微生物の病原因子や宿主の感染防御機構、感染症治療と予防・感染制御について説明できる。

3）医学微生物学の領域で問題となる主な病原微生物（細菌、真菌、ウイルス、寄生虫）とそれらが関わる感染症について説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/27	08:50-10:20	遠隔授業（同期型）	微生物学総論（1）	微生物学の概念と歴史，微生物細胞の形態と構造，微生物の分類・命名	齋藤　良一
2	10/4	08:50-10:20	遠隔授業（同期型）	微生物学総論（2）	大腸菌の生理と生化学	齋藤　良一
3	10/11	08:50-10:20	遠隔授業（同期型）	微生物学総論（3）	細菌の増殖・生残・死滅，滅菌と消毒	齋藤　良一
4	10/18	08:50-10:20	遠隔授業（同期型）	微生物学総論（4）	微生物の遺伝，環境と微生物	齋藤　良一
5	10/25	08:50-10:20	遠隔授業（非同期型）	微生物と免疫	免疫，微生物の病原因子，宿主の感染に対する抵抗性　，化学療法薬・薬剤耐性菌	齋藤　良一
6	11/1	08:50-10:20	遠隔授業（同期型）	感染症学総論（1）	主な病原微生物（ウイルス）と感染症	齋藤　良一
7	11/8	08:50-10:20	遠隔授業（同期型）	感染症学総論（2）	主な病原微生物（細菌と真菌）と感染症	齋藤　良一
8	11/15	08:50-10:20	遠隔授業（同期型）	感染制御、化学療法	化学療法，感染症の予防とコントロール	具　芳明

授業方法

遠隔授業（同期型）：WebClass で事前配布した資料をもとに講義し、質疑応答やグループ討論を行う。

遠隔授業（非同期型）：WebClass で配布された資料を視聴後、提示された課題を期限内に提出する。

授業内容

医学微生物学全般（細菌学、ウイルス学、真菌学、免疫学）にわたる基礎的な事項について講義を行う。感染症に関してもその概略を述べる。一部で先進的な微生物検査について概説する。

成績評価の方法

定期試験成績（85 点）、課題内容（10 点）および授業態度（5 点）により総括的評価（100 点満点）を行う。定期試験は多肢選択問題で構成され、基本的な専門用語を英語で示す問題も一部に含まれる。

成績評価の基準

「成績評価の方法」に示した項目の合計が 60 点以上の場合を合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

講義前に事前配布資料で予習し、関連する内容は教科書でも学習すること。

試験の受験資格

本学の試験規則を満たす者。但し、出席管理は以下のように行う。

・遠隔授業（同期型）：zoom のアクセス時間と講義中に行う小テストや質疑応答等により判断する。講義開始 30 分以上経過後のアクセスは欠席とみなす。

・遠隔授業（非同期型）：動画視聴後に提示された課題を期限内に提出した場合、出席とする。

・対面授業：出席管理システム（カードタッチ）で判断する。講義開始 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。

教科書

微生物学／吉田眞一,他 [著],:医学書院, 2018

参考書

イラストでわかる微生物学超入門 : 病原微生物の感染のしくみ／齋藤光正著,齋藤, 光正,:南山堂, 2018

他科目との関連

免疫学、生化学、病理学、公衆衛生学などの科目と密接な関係を持っている。

履修上の注意事項

微生物学の範囲は広く講義時間数は限られているので、毎回出席することが大切である。また講義内容の復習や講義で詳しく触れなかった事項も自主学習し、単元ごとに知識の定着を図って欲しい。講義・実習に関わる資料は全て著作物であり、著作権の関係上、外部に流出することの無いように十分気を付けること。

備考

前年度の授業評価結果を踏まえ、 今年度も引き続き丁寧に指導・教育できる体制を整える。

連絡先(メールアドレス)

齋藤　良一:r-saito.mi@tmd.ac.jp

オフィスアワー

齋藤　良一:随時(必ず事前に連絡を入れること)

時間割番号	012099				
科目名	国際保健看護学Ⅰ			科目ID	MN-131200-L
担当教員	近藤 暁子[KONDO AKIKO]				
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：International Health Nursing Ⅰ

【科目責任者】 近藤 暁子

授業の目的、概要等

健康に関する国際的な組織や概念、諸外国の健康問題の状況と、医療制度や医療・保健・看護制度について講義する。学生同士のディスカッションや情報交換の機会持つことで国内外の医療/健康問題について考えを深める。海外で活動経験のある講師の話を聞き、異文化について理解し、異文化を持つ対象に対する活動の意義について学ぶ。グループごとに興味のある異文化を選び、学生が主体的に共同して学び、英語で他者に分かるようにプレゼンする方法を学ぶ。

授業の到達目標

1. 幅広い教養と高い専門知識・技術の修得

世界的な健康に関する組織や概念、諸外国の医療や看護の現状、国際貢献の必要性を理解する(1-3 回)。

2. 医療人としての豊かな感性と人間性の形成

異文化を持つ人々の健康問題と看護の役割についてについて考えて説明することができる(4-6 回)。

3. 問題提起・解決能力の修得

様々な性的嗜好を持つ人々に対し、偏見をなくし理解する姿勢を身に着ける(4-5 回)。

4. 自己学習能力・創造性の形成

受け身ではなく、グループワークにより、学生同士で共同して主体的に自己学習できる能力を身に着ける(4-5, 8 回)。

5. 国際性の形成

海外留学について興味を持つ(7 回)。

異文化や違う価値観について関心を持ち、学んだことを英語で発表することができる(8 回)。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	12/6	16:20-17:50	保健衛生学科講義室1	概論	国際保健看護学概論 LGBT survey①	近藤 暁子	近藤暁子/平井寛季
2	12/13	14:30-16:00	保健衛生学科講義室1	開発途上国の現状を知る	低所得国における看護の現状と国際医療協力活動①	駒形 朋子	
3	12/13	16:10-17:40	保健衛生学科講義室1	開発途上国の現状を知る	低所得国における看護の現状と国際医療協力活動②(英語)	駒形 朋子	
4	12/20	15:30-17:00	遠隔授業(同期型)	異文化理解	LGBT/異文化について調べる	近藤 暁子	ZOOM:15:30～17:00 2グループに分かれて行う:平井寛季/近藤暁子
5	12/20	17:10-18:40	遠隔授業(同期型)	異文化理解	異文化について調べる/LGBTLGBT survey③	近藤 暁子	ZOOM:17:20～18:50 2グループに分かれて行う:近藤暁子/平井寛季
6	1/10	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	異文化理解	中国文化/外国人看護師としての経験について	近藤 暁子	王聡聡
7	1/10	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	米国留学について	Nursing study in the United States (英語)	近藤 暁子	
8	1/17	14:30-16:00	遠隔授業(同期型)	異文化理解	調べた異文化の発表(英語) LGBT survey③	近藤 暁子	英語によるプレゼンテーション

授業方法

1) 本科目は講義、グループディスカッション、演習を交えて行う。一部の講義は英語で行う。

2) 本科目はアクティブラーニング方式で行い、講義でも教員が一方的に話すのではなく、学生の発言や意見交換を推奨する。回答内容は評価影響しないので、積極的に自分の意見を述べるようにすること。なお、自発的な発言者がない場合はランダムに指名し、発言を求

めることがある。
3） 興味のある異文化について 5, 6 名でグループ学習を行い、まとめたものを英語で発表する。
授業ごとにWebClassから感想を提出する。学生はその日に学んだこと、印象に残ったことや質問等を記述する。授業開始時の出欠確認と感想の提出を持って、その日の出席とする。
4）12 月 20 日は 2 グループに分かれ、前半と
後半で LGBT に関する講義と異文化について調べるグループワークを行う。
5） 対面の場合は講義室 1 を使用するが、ZOOM の日や移動時間を考慮した講義時間の変更もあるので日時を確認すること。また感染状況により、変更になる可能性があるため教務からのお知らせに注意すること。

授業内容

授業明細参照

成績評価の方法

参加度(20%)、WHO の役割の日本語訳（10%）、毎回の講義の感想 （15%)、 異文化についてのプレゼンテーション(35%) 最終レポート（20%）
1） 参加度(20%):出席状況、授業中に積極的に発言する態度などを評価する。遅刻・早退は 2 回で 1 回の欠席とする。45 分以上遅れた場合はその授業へ出席とは認められないので、ネット環境の良い場所から、早めに ZOOM に接続することを勧める。
2） WHO の役割の日本語訳（10%）:内容を正確に理解しているか。翻訳された日本語の表現力も評価する。
3） 日々の講義の感想 （15%):講義の翌日 24 時までに WebClass に講義の感想を提出する。その回の目標が達成できているかどうか評価する。
4） 異文化についてのプレゼンテーション(35%):グループごと興味のある異文化について 1 つ選ぶ。1.異文化の紹介、2. その文化を持つ対象に対する必要な看護ケアについてまとめ、グループごとにパワーポイントを作成して英語で発表する。1 人少なくとも 1 つのスライドは発表を担当すること。
5） 最終レポート:「国際保健看護学 I」の講義で学んだことをもとに国際看護に関連する卒業までの目標とその目標を達成する方法について （英語で A4 1 ページ以内にまとめる)。

成績評価の基準

上記の成績評価の方法に示す各項目の成績の合計により評価を行う。
合計点が 90 点以上で A+,80～89 点で A,70～79 点で B,60～69 点で C とする。

準備学習等についての具体的な指示

WHO http://www.who.int/en/ と JICA https://www.jica.go.jp/ の役割について学習して来ること。

試験の受験資格

試験は行わないが、単位認定には 2/3 の出席を要件とする。

参考書

国際看護学入門 第2版/医学書院/日本国際看護学会（2020 年発行）

他科目との関連

英語、国際保健福祉、実践看護英語 I/Ⅱ/Ⅲ、国際保健看護学Ⅱ

履修上の注意事項

本科目において LGBT に関する意識調査を行うが、その回答内容は成績とは無関係である。 12 月 20 日は移動時間を考慮して講義開始時間が 1 時間遅れていて 15:30～18:50 である。 ZOOM での接続は時間がかかる場合があるので、5 分前には行うこと。 やむを得ず欠席する場合は教員に連絡すること。

連絡先（メールアドレス）

近藤 暁子:akondo.ind@tmd.ac.jp

オフィスアワー

近藤 暁子:オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡してから訪問すること。
国際看護開発学教授室（3 号館 18 階）

時間割番号	012097				
科目名	看護制度論			科目ID	MN-131000-L
担当教員	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 啓文, 伊勢田 暁子, 後藤 友美, 芝田 おぐさ[KASHIWAGI Masayo, MORIOKA Noriko, OOGAWARA Hirofumi, ISEDA AKIKO, GOTOH Tomomi, SHIBATA Ogusa]				
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Fundamental Nursing Ⅰ

【科目責任者】柏木 聖代

主な講義場所

遠隔授業(同期型)もしくは

保健衛生学講義室1(3号館18階)

授業の目的、概要等

看護制度論では、看護職の法的位置づけと看護実践の特徴を知り、看護の機能と役割を理解するための基礎的知識を養うことを目的とする。看護職を規定する法令(保健師助産師看護師法、看護師等の人材確保の促進に関する法律、等)を社会的・歴史的背景を含め概説する。具体的な内容としては、法令で定められる看護職の職能(看護師、保健師、助産師)ごとの看護業務の特徴、看護教育制度、上級看護実践を規定する制度、ヘルスケアシステム全体の大きな枠組みから捉えた多様な看護実践、看護職員確保に向けた政策動向が含まれる。今後看護学を学んでいく上での基盤となる知識、考え方を身につけることを目指すものである。

授業の到達目標

ここで示される到達目標は、あくまでも合格に達するレベルである。この科目では、歴史的背景や社会情勢の変化を含めたヘルスケアシステム全体の枠組みにおける看護職の法的位置づけと役割・機能について基礎的知識を修得することを目指す。関連する法令や制度をただ単に暗記するのではなく、得た知識をもとに、専門職としての看護職とは何かについて学生自ら考える姿勢を身につけることが求められる。

具体的な到達目標を下記に示す。

第1回:ヘルスシステムにおける看護制度の位置づけを説明できる。

医療・看護提供めぐる諸課題と看護制度・看護政策がどのように関連しているか、実例を挙げて説明できる。

第2・4・8回:政策立案に携わる看護職の役割・活動内容について、実例をもとに説明できる。

第3回:看護職を規定する法律について、看護職に関わる諸課題と結びつけながら歴史的背景を踏まえ、概要を説明できる。

保健師看護師助産師法に規定される基本的内容を説明できる。

職能(保健師、助産師、看護師)ごとの法的位置づけと業務の特徴について、多職種協働の視点も含め説明できる。

第5回: 看護教育制度について保健師看護師助産師法に規定される内容と関係づけながら説明できる。

上級看護実践を規定する制度の基本的内容について説明できる。

第6回::ヘルスケアシステム全体からみた看護職の様々な活動・実践の場について、法令等で規定される配置基準も含めて説明できる。

第7回:看護提供体制を規定する制度について、国民・看護職・病院経営等の多角的な視点で討議し、課題を整理できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	11/22	08:50-10:20	保健衛生学科講義室1	・看護制度論概論 ・医療・看護提供めぐる諸課題と看護制度・看護政策①	・オリエンテーション ・ヘルスシステムにおける看護制度の位置づけ ・医療・看護提供めぐる諸課題と看護制度・看護政策がどのように関連しているか、実例を挙げて説明する ・看護制度について歴史的経緯を含め概説する	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 啓文	アクティブラーニング:グループワーク、リアクションペーパー 事後課題:小テスト (事後課題の形式や期日は初回講義で提示する)
2	11/22	10:30-12:00	保健衛生学科講義室1	・政策立案に携わる看護職の役割・活動内容の実際①	・政策立案に携わる看護職の役割・活動内容の実際として、国会議員政策秘書の活動を紹介する	伊勢田 暁子, 柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 啓文	アクティブラーニング:グループワーク、リアクションペーパー
3	12/6	08:50-10:20	保健衛生学科講義	・看護を規定する法律 ・職能(保健師、	・保健師助産師看護師法(保助看法)の内容について看護業務の	柏木 聖代, 森岡 典子,	アクティブラーニング:グループワーク、リアク

			室1	助産師、看護師)ごとにみた看護実践と多職種協働	特徴を踏まえ、概説する ・職能(保健師、助産師、看護師)ごとの法的位置づけと業務の特徴について、多職種協働の視点も含め概説する	大河原 啓文	ションペーパー 事後課題:小テスト
4	12/6	10:30-12:00	保健衛生学科講義室1	・政策立案に携わる看護職の役割・活動内容の実際②	・政策立案に携わる看護職の役割・活動内容の実際として、厚生労働省看護系技官の活動を紹介する	後藤 友美, 柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 啓文	アクティブラーニング:グループワーク、リアクションペーパー
5	12/13	08:50-10:20	保健衛生学科講義室1	・看護教育制度 ・上級看護実践を規定する制度	・看護教育制度について概説する ・上級看護実践を規定する制度について概説する	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 啓文	アクティブラーニング:グループワーク、リアクションペーパー 事後課題:小テスト
6	12/13	10:30-12:00	保健衛生学科講義室1	・ヘルスケアシステムの概念と看護職の位置づけ、様々な看護活動・看護実践	・ヘルスケアシステム全体の枠組みと、看護職の位置づけ、役割と機能、法令等で規定される配置基準も含めて概説する	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 啓文	アクティブラーニング:グループワーク、リアクションペーパー 事後課題:小テスト
7	12/20	08:50-10:20	保健衛生学科講義室1	・医療・看護提供めぐる諸課題と看護制度・看護政策②	・看護提供体制を規定する制度について、国民・看護職・病院経営等の多角的な視点で討議し、課題を整理する	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 啓文	アクティブラーニング:グループワーク発表 グループワーク課題は事前に webclass に提示する。 最終レポート課題について、提示する
8	12/20	10:30-12:00	保健衛生学科講義室1	・政策立案に携わる看護職の役割・活動内容の実際③	・政策立案に携わる看護職の役割・活動内容の実際として、国連(世界保健機関)職員の活動を紹介する	芝田 おぐさ, 柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 啓文	講師は遠隔会場より講演 アクティブラーニング:グループワーク、リアクションペーパー

授業方法

授業は以下のように行う。

1)授業には、授業明細に示された範囲について、事前に教科書や関連書籍等にて自己学習予習をしてから臨むことが必要である。事前課題としてレポート,動画視聴を課す場合もあるので、Webclass をよく確認すること。

2)講義:講義は事前課題の内容理解を前提とした上で、各回の中で重要なこと、発展的なこと、ディスカッションを中心に行う。講義の資料については、講義前に PDF を Webclass に挙げておくので活用すること。講義内では学生の理解を深めるため、グループワーク等のアクティブラーニングを取り入れるので、積極的に参加すること。

3)小テスト:講義後の課題として、既習内容について webclass で記述式もしくは選択式のテストを行う(実施日については初回講義時に示す)。

4)リアクションペーパー:講義時に配布する用紙に自由記述する。記入済み用紙は授業終了後に回収する。講義内容についての質問や疑問、感想、または直接関係ないことでもよい。記述内容について、回答できるものについては、次回以降の講義時に回答する。講義の質向上に向けての非常に重要な情報となるため、回答がない場合も、学籍番号と氏名を記入の上、提出すること。

授業内容

授業明細を参照のこと

成績評価の方法

次の 4 つの項目で評価を行う。なお、小テストについては、英単語が含まれることや英文による問題もありえる。

1)出席状況、参加状況(15%):出席回数だけでなく、授業内での発言やアクティブラーニングへの参加態度を含めて評価する。

2)授業中の小テスト(30%):小テストの合計点による。

3)グループワーク課題(15%):グループワークへの取り組み状況や発表資料の内容を考慮した合計評価による。

4)最終レポート(40%):示された課題について、知識の羅列ではなく、学習内容を元に考察した自身の考えを系統立てて具体的に記述すること。特別な理由なく提出期限を過ぎた場合は未提出とする。

成績評価の基準

上記の成績評価の方法に示す各項目の成績の合計により評価を行う。小テストは、授業の到達目標に達しているかを評価し、そのことが確認されたところで合格とし、それを上回る場合には加点される。提出物は、提出期限が守られ、かつ、授業中に示す基準を守っているかどうかが評価基準となる。なお、合格した場合、リアクションペーパーでの重要な質問や指摘があった場合には、最終評価において加点されることがある。

準備学習等についての具体的な指示

到達目標や授業明細の中に具体的に示されている項目について、準備してから授業にのぞむことが求められる。書籍、インターネット等での事前事後学習の他、日ごろからマスメディア等において看護職をめぐる諸課題について情報収集し、自分なりの考えを持つよう心掛けることが重要である。

試験の受験資格

本科目では期末筆記試験は実施しない。Webclass で実施される小テストについては、期日を過ぎての回答は認めない。

教科書

看護関係法規 : 看護職の責任と法的根拠を学ぶ／田中幸子, 野村陽子編,田中, 幸子(看護学),野村, 陽子,:南江堂, 2020
:現代社

参考書

看護職者のための政策過程入門 : 制度を変えると看護が変わる!／見藤隆子, 石田昌宏, 大串正樹, 北浦暁子, 伊勢田暁子 執筆,見藤, 隆子, 1932-,石田, 昌宏,大串, 正樹,:日本看護協会出版会, 2017

看護管理学習テキスト第3版 第1巻 ヘルスケアシステム論 2021年版／井部俊子 監修,井部, 俊子, 1947-,増野, 園惠,:日本看護協会出版会, 2021

看護管理学習テキスト第 3 版 第 2 巻 看護サービスの質管理 2021 年版／井部俊子 監修,井部, 俊子, 1947-,秋山, 智弥,:日本看護協会出版会, 2021

看護管理学習テキスト第 3 版 第 3 巻 人材管理論 2021 年版／井部俊子 監修,井部, 俊子, 1947-,手島, 恵, 1958-,:日本看護協会出版会, 2021

看護管理学習テキスト第3版 第4巻 組織管理論 2021年版／井部俊子 監修,井部, 俊子, 1947-,勝原, 裕美子, 1962-,:日本看護協会出版会, 2021

看護管理学習テキスト第 3 版 第 5 巻 経営資源管理論 2021 年版／井部俊子 監修,井部, 俊子, 1947-,Kanai-Pak, Masako,:日本看護協会出版会, 2021

看護管理学習テキスト第 3 版 別巻 看護管理基本資料集 2021 年版／井部俊子 監修,井部, 俊子, 1947-,増野, 園惠,:日本看護協会出版会, 2021

その他テーマに関連した参考図書を随時紹介

他科目との関連

看護制度論は、これから看護を学ぶ学生がまず理解しなければならない概論的科目であり、「人間の健康と看護」、「基盤看護学実習Ⅰ」、「看護の統合と実践Ⅰ」、「保健医療福祉制度論」と密接な関係にある。また、本科目で修得する知識ならびに学生各自が考察した看護の役割と機能は、全ての専門科目を学ぶ上での礎となる。

履修上の注意事項

1)授業中にスクリーン、zoom 等の画面を撮影することを禁止する 2)講義資料等を受講者以外に配布・公開することを禁止する 3)授業日時・内容・実施方法(場所)が変更になる場合には、Webclass にて周知するので、Webclass からの連絡をオンタイムで確認できるメールアドレスに事前に転送設定しておくこと。

備考

質問がある場合には、他学生の理解の支援にもなるので、積極的に授業中もしくはリアクションペーパーを活用して積極的に行うことが望ましい。

連絡先(メールアドレス)

柏木 聖代:kashiwagi.fnls@tmd.ac.jp 3 号館 18 階看護ケア技術開発学教授室
森岡 典子:3 号館 18 階看護ケア技術開発学研究室 3
大河原 啓文:ogawara.fnls@tmd.ac.jp

オフィスアワー

柏木 聖代:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。
森岡 典子:柏木 聖代:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。
大河原 啓文:3 号館 18 階看護ケア技術開発学研究室 2

時間割番号	012098				
科目名	癒しのケア論			科目ID	MN-131100-L
担当教員	川上　明希[KAWAKAMI Aki]				
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Nursing　psychology

【科目責任者】川上　明希

主な講義場所

zoom による同期型授業

授業の目的、概要等

本科目は、癒しにかかわる基本的知識や理論、癒しのケアの具体的実践について、講義、グループワーク等を通して学ぶ。目的は以下である。

1. 癒しのケアに関わる知識を身に付ける
2. 人を癒すため必要な看護師の役割を考察する

授業の到達目標

1. 心のしくみ、発達、心と人や社会とのかかわり、癒しにかかわる理論などについて知識を身に付ける
2. 心と疾患の関連について概要を理解する
3. 自己の心と身体を通し、心身の健康および自身を癒すケアについて考える
4. 様々なライフステージにある人や疾患を抱える患者の心理を理解しながら看護師の役割について考察する

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	9/27	16:20-17:50	遠隔授業（同期型）	癒しのケアとは：心のしくみと発達、社会とのかかわり	ガイダンス、心のしくみと働き、心の健康とは、人格の構造、発達図式、理論、人間と環境との相互作用、対人関係	川上　明希, 田中　真琴	講義、グループワーク、授業後レポート
2	10/4	16:20-17:50	遠隔授業（同期型）	心の健康と癒し：心の働きとケアの方法	心の不調とケアの方法	高野　歩	講義、グループワーク、授業後レポート
3	10/18	16:20-17:50	遠隔授業（同期型）	癒しのケアとは：自己の癒し	自己のアセスメント、他者の理解、コミュニケーション技法や対人関係の築き方	田中　真琴, 川上　明希	講義、グループワーク、授業後レポート
4	10/25	16:20-17:50	遠隔授業（同期型）	人を癒すための具体的実践	諸理論や具体的実践の紹介	大久保　功子	講義，演習，授業後レポート
5	11/1	16:20-17:50	遠隔授業（同期型）	人を癒すための実践：子どもの癒し	子どもとその家族への癒しのケア	岡光　基子	講義、グループワーク、授業後レポート
6	11/8	16:20-17:50	遠隔授業（同期型）	人を癒すための実践：がん患者の癒し	がんに罹患した人々とその家族への支援	廣岡　佳代	講義、グループワーク、授業後レポート
7	11/15	16:20-17:50	遠隔授業（同期型）	人を癒すための理解：がん患者家族の体験	がん患者とその家族を中心に、病気の受容、病と共に生きるということ	澁谷　裕	講義、授業後レポート
8	11/22	16:20-17:50	遠隔授業（同期型）	人を癒すための理論と実践	事例をもとに対象を癒すための具体的方法をグループワークで討論、課題発表	川上　明希, 田中　真琴	グループワーク、授業後レポート

授業方法

講義、グループワーク、課題発表、授業後の課題

授業内容

授業計画参照

成績評価の方法

筆記試験は行わない。最終レポート提出資格は、授業への出席が 3 分の 2 以上である。

1. 最終レポート

2. 授業中および前後の課題への取り組み（グループワーク、小テスト、授業後小レポートの提出および内容など）

3. 授業への出席状況、参加態度

で評価する。

・授業に欠席したものは、原則として欠席回の該当課題提出を認めない

成績評価の基準

総合得点が 60 点以上の者を合格とする。

1. 最終レポート（80%）

2. 授業中および前後の課題への取り組み(20%)

3. 授業への出席状況、参加態度（減点方式）

詳細は初回授業で説明する。

準備学習等についての具体的な指示

・WebClass に授業資料や課題をアップロードするので各自ダウンロードすること

・事前課題がある場合は、講義までに取り組むこと

・事後課題がある場合は、指示の期日までに取り組むこと

参考書

精神看護学／宮本眞巳 編集代表,宮本, 真巳,日本精神科看護技術協会,：中央法規出版, 2006

看護心理学 : 看護に大切な心理学 = Nursing psychology : applying psychological concepts to nursing／鋤柄増根 編：ナカニシヤ出版, 2013

セルフケアを援助する／宮本真巳 著,宮本, 真巳, 1947–,：日本看護協会出版会, 1996

生涯人間発達論 : 人間への深い理解と愛情を育むために／服部祥子著,服部, 祥子,：医学書院, 2020

ストレスの心理学 : 認知的評価と対処の研究／リチャード・S. ラザルス, スーザン・フォルクマン著,Lazarus, Richard S.,Folkman, Susan,本明, 寛,春木, 豊,織田, 正美,：実務教育出版, 1991

アイデンティティとライフサイクル／エリク・H・エリクソン著 ; 西平直, 中島由恵訳,Erikson, Erik H. (Erik Homburger),西平, 直,中島, 由恵,：誠信書房, 2011

EQ：こころの知能指数／ダニエル・ゴールマン [著] ; 土屋京子訳,Goleman, Daniel,土屋, 京子,：講談社, 1998

子どもと家族とまわりの世界／D. W. ウィニコット／著,猪股丈二／訳,Winnicott, Donald：星和書店, 1985

子どもはなぜあそぶの : 続・ウィニコット博士の育児講義／D.W.ウィニコット著 ; 猪股丈二訳,Winnicott, D. W. (Donald Woods),猪股, 丈二,：星和書店, 1986

看護を学ぶ人のための心理学 : ヒューマン・ケアを科学する／遠藤公久編,遠藤, 公久,：弘文堂, 2019

＊講義中にも提示する

他科目との関連

既習の科目で得た学びは、すべて活用する。

履修上の注意事項

授業日程、内容は変更することがある。 WebClass の癒しのケア論のコースに適宜資料をアップしたり連絡するので、確認すること。

備考

・授業後に毎回小レポートを課す。本レポートは授業への理解度を確認するとともに、今後の授業内容をよりよくするために実施する。

連絡先（メールアドレス）

川上 明希:akikawakami.cc@tmd.ac.jp 3 号館 17F

時間割番号	012090				
科目名	国際保健福祉 A			科目 ID	MN-190700-Z
担当教員	近藤 暁子, 高野 歩, 津田 紫緒, 川上 明希[KONDO AKIKO, TAKANO Ayumi, TSUDA SHIO, KAWAKAMI Aki]				
開講時期	2022 年度通年	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Global Health and welfare A

【科目責任者】国際看護開発学 近藤暁子

主な講義場所

海外短期研修プログラム 研修機関先

- セイナヨキ応用科学大(フィンランド共和国)
- ラオス保健科学大学(ラオス人民民主共和国)
- ワシントン州(米国)
- チュラロンコン大学(タイ)
- ガーナ大学(ガーナ)
- 台北医科大学(台湾)

等

授業の目的、概要等

諸外国の医療施設、教育施設の見学・講義・実習等を通して、異文化社会での健康問題や、異なる保健医療システムを知ると共に 日本との相違を認識・体感し、グローバルな視点で看護の対象となる人々や、提供する看護の実際と課題を捉え、看護職としての専門性および国際感覚を養う。

授業の到達目標

1)研修国の保健医療福祉制度や事情および看護職の役割・活動状況について理解する。

2)1)で理解した内容について言語化し、研修報告書を作成する。

2)海外研修報告会において、1)で理解した内容および研修国での経験等について、第三者に適切に説明することができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/18	18:00-19:30	遠隔授業(同期型)	国際保健福祉	合同オリエンテーション(希望する国の医療施設, 保健福祉施設, 教育機関における見学・講義・実習等)	近藤 暁子, 高野 歩, 津田 紫緒, 川上 明希	日時は未定である。
2	10/19	16:20-17:50	その他	国際保健福祉	海外研修報告会	近藤 暁子, 高野 歩, 津田 紫緒, 川上 明希	日時は未定である。海外研修を通じた体験学習を行う。

授業方法

事前研修への参加、海外研修を通じた体験学習、海外研修報告会への参加(プレゼンテーションの実施等)

オリエンテーションは Zoom で行う。

今年度の詳細は未定である。10 月以降に海外渡航の許可がおり次第、プログラムを調整する。

授業内容

諸外国の教育機関、医療施設、保健福祉施設、老健施設における見学・講義・実習・保健活動・ボランティア活動への参加や、グループワーク・プレゼンテーション・ディスカッション等

成績評価の方法

- 研修前の準備、事前学修への参加・活動状況
- 研修期間中の見学・講義・実習・他活動等への参加状況
- 研修報告会における発表状況
- 研修報告書

成績評価の基準

事前学習、英語によるコミュニケーション、英語によるプレゼンテーション、異文化理解、研修国の保健医療制度・サービスの理解、保健医療福祉に関する実践的知識の習得、保健医療福祉に関する研究知識の習得、事後報告について、5 段階評価とする。

上記合計点が 60 点以上の場合合格とする。合計点が 90 点以上で A+,80～89 点で A,70～79 点で B,60～69 点で C とする。

準備学習等についての具体的な指示

・ 渡航国や自国の政情や社会情勢、文化、保健医療福祉事情、教育制度等の情報を事前に十分得て、事前に研修計画をすること

・ グローバル人材育成プログラムにおける海外派遣前教育プログラム(Academic English Summer Course)に必ず参加し、TOEFL を受験すること

・ 学内における英語運用力向上のための講義やイベント等に積極的に参加し、研修で困らないように、語学力の向上に努めること

・ 派遣前オリエンテーションへ参加し、危機管理など情報収集すること

試験の受験資格

試験は行わない

構成ユニット

主に、海外短期研修プログラムへの参加となる。コロナウイルス感染状況により、オンライン交流となった場合も単位認定する。

参加プログラムごとに数回実施される事前研修に必ず参加する。

海外研修へ参加し積極的に活動に取り組む。帰国後に開催予定の海外研修報告会に参加し、発表を行う。

今年度の詳細は未定である。詳細についてはオリエンテーションで説明する。

他科目との関連

国際保健福祉 B, 国際保健福祉 C, 国際保健福祉 D, 国際保健看護学 I/Ⅱ

履修上の注意事項

・ 4 月(または 5 月)に開催される合同オリエンテーションに参加すること ・ 海外短期研修プログラムへの参加には、成績・語学力、及び面接評価による選考があることを理解し、十分準備をしておくこと ・ Global Communication Workshop (GCW)へ参加していることが必須である ・ 渡航前準備として、危機管理の観点から、所定の手続きを速やかに行うこと ・ 集団行動を伴う海外研修のため、担当教員により定められたスケジュールに則って行動すること

備考

本科目履修後のお願い

・ 研修参加後は、大学説明会等への参加や、下級生・後輩学生への情報提供等、積極的に大学の教育に協力すること

保健衛生学科 海外研修ガイダンスでの発表、オープンキャンパス 他

・ 本学の海外協定校等からの交換留学生のサポート、また海外からの研究者・教育者・実践者等との国際交流を推進するボランティアとして積極的に活動すること

・ 実践看護英語 I～Ⅲ とは内容が異なります。

連絡先(メールアドレス)

近藤 暁子:akondo.ind@tmd.ac.jp

津田 紫緒:3 号館 19 階地域保健看護学研究室 2 03-5803-4573 tsuda.phn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

近藤 暁子:オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡してから訪問すること。

国際看護開発学教授室(3 号館 18 階)

津田 紫緒:アポイントをとった上で随時実施

時間割番号	012095				
科目名	人間の健康と看護			科目ID	MN-130800-L
担当教員	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 啓文[KASHIWAGI Masayo, MORIOKA Noriko, OOGAWARA Hirofumi]				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Human health and nursing

【科目責任者】柏木聖代

主な講義場所

3 号館 18 階講義室 1 もしくは遠隔(同期型)授業

授業の目的、概要等

看護学の基盤となる主な概念について学ぶとともに、「看護とは何か」を歴史的や世界的に展望する。さらに、看護の役割や機能、看護活動の基本的過程の理解を通じて、看護・看護学を考える基盤を形成し、看護実践の基礎力を培う。

授業の到達目標

1回 看護とは何か、看護が看護学に発展した経緯を説明できる。

2回 看護の対象である人間と人間の生活に影響する健康、環境について考えることができる。

3回 看護の発展の歴史と看護の本質とは何かにを説明できる。

4回 看護におけるケアとは何か、看護実践とその質保証について考えることができる。

5回 看護理論とは何か、看護理論の看護実践への活用について説明できる。

6回 看護実践の科学的な方法としての看護過程の基本的な要素について説明できる。

7回 看護に関連する倫理的課題を分析するための、基本的な原則、概念について理解できる。

8回 サービスとしての看護、看護サービス提供の場、看護サービス提供体制について説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	4/12	12:50-16:00	保健衛生学科講義室1	看護と看護学	看護、看護学とは何かについて学習する。	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 啓文	アクティブラーニング(対面の予定):グループワーク、リアクションペーパー
3-4	4/19	12:50-16:00	遠隔授業(同期型)	看護の本質	看護の歴史的変遷と様々な理論家による看護の捉え方、看護職能団体による看護の定義を学習し、看護の本質とは何かについて考える	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 啓文	アクティブラーニング:グループワーク、リアクションペーパー
5-6	4/26	12:50-16:00	遠隔授業(同期型)	看護の理論と看護実践への活用	主要な看護理論と看護実践への活用について学習する	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 啓文	アクティブラーニング:グループワーク、リアクションペーパー
7-8	5/10	12:50-16:00	保健衛生学科講義室1	看護に関連する倫理的課題	看護に関連する倫理的課題について学習する	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 啓文	アクティブラーニング(対面の予定):グループワーク、リアクションペーパー

授業方法

授業内容は学びの進度によって変更する場合がある。

ディスカッションを交えて進めていくため、積極的に参加すること。

成績評価の方法

1.出席状況・参加状況(40%):出席回数だけでなく、授業内での発言やアクティブラーニングへの参加態度を含めて評価する。同期型授業の場合、授業開始時の出席確認(呼名)および最初から最後まで参加しているログが確認出来た場合に出席とみなす。

2.ミニレポート(20%):授業内容の理解状況を評価する。特別な理由なく提出期限を過ぎた場合は未提出とする。

3.最終レポート(40%):示された課題について、授業内で示した知識の羅列ではなく、学習内容を元に考察した自身の考えを系統立てて具体的に記述すること。特別な理由なく提出期限を過ぎた場合は未提出とする。

成績評価の基準

上記の成績評価の方法に示す項目の成績の合計により評価を行う。授業の到達目標に達しているかを評価し、そのことが確認されたところで合格とし、それを上回る場合には加点される。提出物は、提出期限が守られ、かつ、授業中に示す基準を守っているかどうかが評価基準となる。なお、合格した場合、リアクションペーパーでの重要な質問や指摘があった場合には、最終評価において加点されることがある。

準備学習等についての具体的な指示

到達目標や授業明細の中に具体的に示されている項目について、準備してから授業にのぞむことが求められる。該当範囲のテキストを読み、講義に臨むこと。毎回講義後に関連したミニレポートを書いてもらうので、理解できなかった事柄はテキストだけでなく、様々な文献等を活用して自分で調べ、解決しておくこと。調べても解決できなかった事は、何がわからなかったのかを明確にして、ミニレポートに記載すること。

試験の受験資格

本科目では期末筆記試験は実施しない。

教科書

看護学原論 : 看護の本質的理解と創造性を育むために／高橋照子編集,高橋, 照子,:南江堂, 2020

看護の基本となるもの／ヴァージニア・ヘンダーソン 著,湯槇ます, 小玉香津子 訳,Henderson, Virginia, 1897-1996,湯槇, ます, 1904-1991, 小玉, 香津子, 1936-,:日本看護協会出版会, 2016

看護覚え書 : 看護であること・看護でないこと／フロレンス・ナイチンゲール [著] ; 湯槇ます [ほか] 訳,湯槇, ます,Nightingale, Florence,:現代社, 2011

参考書

系統看護学講座 専門分野Ⅰ 看護学概論／茂野, 香おる,:医学書院, 2020

看護学概論 第 7 版／志自岐 康子 編集,松尾 ミヨ子 編集,習田 明裕 編集,志自岐 康子,松尾 ミヨ子,習田 明裕,:メディカ出版, 2021-12-01

看護理論 : 看護理論 21 の理解と実践への応用／筒井真優美 編集,筒井, 真優美, 1949-,:南江堂, 2019

看護理論家の業績と理論評価／筒井真優美編集,筒井, 真優美,:医学書院, 2020

NURSING TEXTBOOK SERIES 看護学概論第 5 版 看護追求へのアプローチ／田中 幸子 編集,田中 幸子,:医歯薬出版, 2021-12-15

オレム看護論 : 看護実践における基本概念／ドロセア E. オレム著 ; 小野寺杜紀訳,Orem, Dorothea E.,小野寺, 杜紀,:医学書院, 2005

ケアの本質 : 生きることの意味／メルトン・メイヤロフ,田村真,向野宣之,メルトン・メイヤロフ,田村真,向野宣之,:ゆみる出版, 1997

看護倫理 : よい看護・よい看護師への道しるべ／小西恵美子編集,小西, 恵美子,:南江堂, 2021

履修上の注意事項

1）授業中にスクリーン、zoom 等の画面を撮影することを禁止する 2）講義資料等を受講者以外に配布・公開することを禁止する 3）授業日時・内容・実施方法（場所）が変更になる場合には、Webclass にて周知するので、Webclass からの連絡をオンタイムで確認できるメールアドレスに事前に転送設定しておくこと

備考

看護学の基礎となる理論や概念を学ぶために, 柔軟な思考力が必要となる。これまでの学習経験や生活体験, 社会体験を踏まえ, 幅広い分野の書物に触れ, 社会情勢にも関心を持つことが望ましい。講義中にスクリーンの撮影をすることを禁止する。講義資料や動画などは著作権の問題があるので、受講登録者以外に公開することを禁ずる。質問がある場合には、他学生の理解の支援にもなるので、積極的に授業中もしくはミニレポートを活用して積極的に行うことが望ましい。

連絡先（メールアドレス）

柏木 聖代:kashiwagi.fnls@tmd.ac.jp 3 号館 18 階看護ケア技術開発学教授室

森岡 典子:3 号館 18 階看護ケア技術開発学研究室 3

大河原 啓文:ogawara.fnls@tmd.ac.jp

オフィスアワー

柏木 聖代:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

森岡 典子:柏木 聖代:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

大河原 啓文:3 号館 18 階看護ケア技術開発学研究室 2

時間割番号	012096				
科目名	基盤看護学実習Ⅰ			科目ID	MN-170900-E
担当教員	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 啓文[KASHIWAGI Masayo, MORIOKA Noriko, OOGAWARA Hirofumi]				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Eaely Exposure Practice

【科目責任者】柏木聖代

主な講義場所

看護実習室1・2・3・4(3号館17階)、東京医科歯科大学病院

オリエンテーションのみ保健衛生講義室 1(3号館18階)

授業の目的、概要等

専門科目の学習初期段階に、本学病院において看護活動の見学や入院患者との関わりを通して、看護の機能と役割を理解する。専門知識の少ない時期に医療の場に触れることで、患者と同じように生活者としての視点から患者の療養環境の実際を知り、看護師として全人的なかかわりができるための基礎的能力を培う。また、他職種の活動内容や多職種連携の実際を知ることで看護の専門性の理解につなげる。

また、自律的な実習への参加を通して、専門職の一員としての態度と素養を養うことを目的とする。本科目で体験した内容から形成された患者像や看護観は、2 年次以降、看護を必要とする対象への看護や看護技術について学ぶための礎となる。

授業の到達目標

1)大学病院の機能および本学大学病院の理念と病院組織の概要を説明できる。

2)本学大学病院看護部の理念と基本方針を説明できる。

3)看護師と共に行動しながら看護活動の場を見学し、看護の機能と役割について考察できる。

4)生活者としての視点から、入院患者の療養環境の特徴(病院・病床の構造上の特徴含む)を考察できる。

5)他職種の活動や多職種連携の実際を見学し、看護の専門性について考察できる。

6)学生間で体験を共有し、討議できる。

7)臨床場面における看護学学習者としての姿勢や態度を示すことができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	5/17	12:50-14:20	保健衛生学科講義室 1	実習オリエンテーション	実習オリエンテーション	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 啓文	アクティブラーニング:実習
2-6	8/1	08:50-17:50	看護学実習室 1, 看護学実習室 2, 看護学実習室 3, 看護学実習室 4	詳細については実習要項参照	詳細については実習要項参照	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 啓文	アクティブラーニング:実習 実習記録などの提出物については実習要項参照
7-11	8/2	08:50-17:50	看護学実習室 1, 看護学実習室 2, 看護学実習室 3, 看護学実習室 4	詳細については実習要項参照	詳細については実習要項参照	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 啓文	アクティブラーニング:実習 実習記録などの提出物については実習要項参照
12-16	8/3	08:50-17:50	看護学実習室 1, 看護学実習室 2, 看護学実習室 3, 看護学実習室 4	詳細については実習要項参照	詳細については実習要項参照	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 啓文	アクティブラーニング:実習 実習記録などの提出物については実習要項参照
17-21	8/4	08:50-17:50	看護学実習室 1, 看護学実習室 2, 看護学実習室 3, 看護学実習室 4	詳細については実習要項参照	詳細については実習要項参照	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 啓文	アクティブラーニング:実習 実習記録などの提出物については実習要項参照
22-26	8/5	08:50-17:50	看護学実習室 1, 看護学実習室 2, 看護学実習室 3, 看護学実習室 4	詳細については実習要項参照	詳細については実習要項参照	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 啓文	アクティブラーニング:実習 実習記録などの提出物については実習要項参照

授業方法

〔実習期間〕

5 月 17 日 3 限にオリエンテーション、8 月 1 日～5 日に 5 日間の病院実習を行う。詳細については実習要項参照。

授業内容

詳細については、後日配布する実習要項に提示する。

成績評価の方法

基盤看護学実習Ⅰの評価は、以下2つの項目により行われる。実習への出席は評価を行うための最低条件であるため、成績評価には加味しない。ただし、以下の2項目は互いに連動するので注意すること。

1）実習記録：最終的に提出する実習記録の内容を考慮して評価する。

2）実習態度および参加状況：実習中やグループワーク、質疑応答での活発な発言などの積極的な参加態度や、身だしなみや時間厳守、約束事を守れているかなどの実習態度を評価する。

成績評価の基準

成績評価は、以下2つの項目で、総合的に評価する。

1）実習記録(40%)

実習記録が提出期限までに、実習要項に書かれた正しい方法で提出さていた場合に評価を行う。

記録物は敬体（ですます調）ではなく常体（である調）を使用する必要がある。また実習記録は感想文や実習中に行ったことの経時記録を求めてはいない。そのため、学んだ内容について、自身で感じたことや考えたことを具体的に記載した内容を評価する。

2）実習態度および参加状況(60%)

基盤看護学実習Ⅰでは積極的な参加が求められる。そのため、グループワークへの積極的な参加や質疑応答などで活発な発言など主体的な態度が見られた場合には加点する。また専門職としての一員ならびに看護を学ぶ学習者としての態度を示すことも実習目標であるため、身だしなみを整える、時間厳守する、約束事を守るなどを行えている場合にも加点する。

準備学習等についての具体的な指示

「人間の看護と看護」で学んだ知識を基に、実習病院における病院の機能や組織の概要、看護部の理念、目標、組織、看護体制、看護制度などについて事前に調べておくこと。

試験の受験資格

本科目では試験を実施しない。成績評価を行うためには、すべての実習日程に出席することが学生としての基本となるが、少なくとも実習期間の3／4以上の出席が必要である。1日の実習時間のうち、3／4以上の時間を参加することで出席とする。また遅刻および早退は時間の長さに関わらず、2回で1日の欠席とみなす。

詳細は実習要項参照。

他科目との関連

基盤看護学実習Ⅰでは、本学大学病院看護部長や病棟看護師長から講義を受け、病院の理念・機能、看護部の理念・看護体制、病棟看護の実際を知る。また、医療現場において患者や看護師、他医療職種と接することで、生活者の視点から看護の実際について体験する。そのため、実習以前に行われる「人間の健康と看護」、1 年生後期の「看護制度論」、「癒しのケア論」と密接な関係にある。また本科目での体験した内容から形成された患者像や看護観は、2 年生の「基盤看護学Ⅰ」、「基盤看護学Ⅱ」、「基盤看護学演習Ⅰ・Ⅱ」において看護を必要とする対象への看護や看護技術について学ぶための礎になる。多くのことを生活者の視点から見聞し、感じるとともに、考えた内容を記録やディスカッションにより深めることが重要となる。

履修上の注意事項

1）実習要項を良く熟読し、実習に参加すること。 2））時間を厳守し、実習生にふさわしい態度を持ち、身だしなみを整えて実習に臨むこと。 3）実習の場は医療の場のため、態度・言葉遣いなどにも注意すること。 4）実習中に得た患者の情報は、絶対に電子メールやWebサイト、SNSなどでインターネット上に発信しないこと。 ※その他詳細は実習要項を参照すること。

備考

新型コロナウイルスの感染拡大状況等、諸般の事情により実習内容が変更になる場合がある。Webclass や学内メールでのアナウンスを各自確認すること。

連絡先（メールアドレス）

柏木 聖代:kashiwagi.fnls@tmd.ac.jp 3号館18階看護ケア技術開発学教授室

森岡 典子:3号館18階看護ケア技術開発学研究室3

大河原 啓文:ogawara.fnls@tmd.ac.jp

オフィスアワー

柏木 聖代:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

森岡 典子:柏木 聖代:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

大河原 啓文:3号館18階看護ケア技術開発学研究室2

時間割番号	012004A				
科目名	看護の統合と実践Ⅰ			科目ID	MN-131300-L
担当教員	佐々木 吉子, 今津 陽子, 野口 綾子, 濱舘 陽子, 澁川 穂積, 梅田 亜矢, 濱本 千春, 平岡 久和[SASAKI YOSHIKO, IMAZU YOKO, NOGUCHI Ayako, HAMADATE Yoko, SHIBUKAWA HOZUMI, UMEDA Aya, HAMAMOTO Chiharu, HIRAOKA Hisakazu]				
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

Integration of acquaintances for nursing practice Ⅰ

【科目責任者】佐々木 吉子

主な講義場所

3号館 18 階保健衛生学科講義室1、M&D タワー4 階情報検索室、Zoom による同期型授業

授業の目的、概要等

本科目では、看護専門職に必要とされる知識・技術・態度について考え、看護学を、短期的、長期的な自身の学修およびキャリアプランを検討することを目的とする。そのため、ロールモデルとなりうる、多様な領域で活躍する看護職や協働する他職種から、実践経験やキャリアパスについて講義を受けるとともに、その内容に基づいて学生主体の積極的なディスカッションを行う。また、研究を通してよりよい実践にしていくことの意義を理解し、そのための基盤となる知識や技術を身につける。そのため、素朴な疑問を研究的視点から捉える姿勢や、情報検索の方法を学び、看護やその関連領域に関する情報を収集・統合する能力を養い、自身のキャリアプランについて考察する。本科目は、四大学連合複合領域コースの看護学以外の領域を専攻する学生の受講も歓迎し、多様な立場から看護を捉えディスカッションに参加することを期待する。

授業の到達目標

1）多様な看護職・医療職としての実践例やキャリアパスを知り、看護の仕事の責務と発展性について考え、ディスカッションで積極的に意見を述べるとともに、自身の考えを記述することができる。

2）看護実践および看護学の発展のために必要な情報の検索・統合の方法を身につけ、研究的視点から問いを立て、目的に応じた情報収集を行い、得られた情報について学生間でのディスカッションを通し、知見をまとめて発表することができる。

3）専門職として質の高い看護実践を行うために必要な知識・技術・態度について考え、看護とは何かを探究することができ、自身のキャリアプランについてレポートにまとめることができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	11/22	12:50-14:20	保健衛生学科講義室1	看護の多様性と可能性、キャリアパス	オリエンテーション 看護の多様性と可能性、キャリアパス、研究	佐々木 吉子, 今津 陽子, 野口 綾子, 濱舘 陽子	講義、グループディスカッション、発表
2	12/6	12:50-14:20	情報検索室	看護学における資料・文献の収集方法	看護学における資料・文献の探し方①	澁川 穂積, 今津 陽子	文献整理ソフト、文献検索ツールを用いた演習、講義
3	12/6	14:30-16:00	情報検索室	実践に活かすための文献活用	看護学における資料・文献の探し方②	澁川 穂積, 今津 陽子	文献整理ソフト、文献検索ツールを用いた演習、講義
4	12/13	12:50-14:20	保健衛生学科講義室1	看護実践とエビデンス①	文献の読み方とまとめ方 EBN のステップ	今津 陽子, 佐々木 吉子	講義、グループディスカッション、発表
5	12/20	13:50-15:20	遠隔授業（同期型）	看護実践とエビデンス②	NBN の技法	梅田 亜矢, 佐々木 吉子	講義、グループディスカッション、発表
6	1/10	12:50-14:20	遠隔授業（同期型）	看護のキャリアパス①	看護職としてのキャリア（看護師、保健師、助産師の仕事とキャリア）	佐々木 吉子, 今津 陽子, 野口 綾子, 濱舘 陽子	講義、グループディスカッション、発表
7	1/10	14:30-16:00	遠隔授業（同期型）	看護のキャリアパス②	看護職としてのキャリア（看護師、保健師、助産師の仕事とキャリア）	濱本 千春, 佐々木 吉子, 今津 陽子, 野口 綾子, 濱舘 陽子	講義、グループディスカッション、発表
8	1/17	12:50-14:20	遠隔授業	看護のキャリア	看護学を基盤とする多	平岡 久和, 佐々木 吉子,	講義、グループディス

			（同期型）	パス③	様な専門職　（国際支援に関わる看護職の仕事とキャリア）	今津 陽子, 野口 綾子, 濱舘 陽子	カッション、発表

授業方法

講義形式の授業に加えて、各回のテーマに基づき、学生間でのグループワーク、プレゼンテーション、全体でのディスカッションを行う。

本科目では、指定する授業回においては、その学習効果を高めるため、事前課題と事後課題を設定する。事前課題は、講師から提示された事前課題や、当該授業に対する関心や講師への質問について、当該授業の前回授業の翌日の 13:00 までに WebClass より提出する。また、事後課題は、当該講義の内容から考察したことや自身の今後の課題について振り返り、授業を通して得た学びをまとめ、授業の翌日の 13:00 までに WebClass より提出する。

授業内容　別紙、授業明細の通り

成績評価の方法

本科目の評価は、出席状況、各回の事前課題と事後課題、授業への参加姿勢、最終レポートにより総合的に評価する。

最終レポートは、本授業で学んだことを踏まえて、現時点で、自身が考える自身のキャリアについて 1200 字程度で記述する。必ず 1 件以上の文献を引用し、引用した文献の出典を明記する。（インターネットからの情報は、URL と閲覧日を記載する）。2023 年 1 月 20 日(金)13:00 までに、WebClass より提出する。

成績評価の基準

1）出席状況 10%（全出席で 10 点満点、1 回欠席するごとに 1 点減点する）

2）事前課題 20%（全回遅延なく提出で 20 点満点、遅延状況、記載内容＊に応じて減点する）

3）事後課題 20%（全回遅延なく提出で 20 点満点、遅延状況、記載内容＊に応じて減点する）

4）授業への参加姿勢 10%（授業中の態度、発言等の積極性、グループワークでの貢献などを、10 点満点で評価する）

5）最終レポート 40%（遅延なく提出で 40 点満点、遅延状況、記載内容＊に応じて減点する）

＊事前課題、事後課題、最終レポートの記載内容の評価は以下の基準に照らして行う。

A（100%）：授業内容を発展させ、課題に対して期待を超える記述ができている。最終レポートについては、課題に応じたテーマが設定され、明瞭かつ一貫性・論理的が保たれており、文字数、文献の引用方法など規定に沿っている。

B（80%）：授業内容を理解し、目標に相応する意見や考察が記載できている。

C（60%）：課題に対して、容認可能な記述ができている。

D（40%）：課題に対しての記述ができていない。授業内容と関係が薄いか、不適切な記述となっている。

E（0%）：未提出

準備学習等についての具体的な指示

一部の単元では準備学習を必要とする。事前に連絡を行うため、確認すること。

試験の受験資格

最終レポートを提出するためには、2/3 以上の授業への出席を必要とする。Zoom での出席は、講義を最初から最後まで参加しているログが確認出来た場合とする。

教科書　授業について必要な書籍等があれば連絡する。

他科目との関連

「看護の統合と実践」は、他の看護の専門分野と密接なかかわりを持つ。今回学んだ内容は、今後学習予定の看護学の各科目と、将来的に関連付けられていくことが望ましい。

履修上の注意事項

内容・日時・場所については変更が生じうるので教務係や担当教員からの連絡を確認すること。

連絡先（メールアドレス）

佐々木　吉子:y-sasaki.dn@tmd.ac.jp

今津　陽子:imazu.dn@tmd.ac.jp　3 号館 18 階

野口　綾子:ayak.dcn@tmd.ac.jp

濱舘　陽子:hamadate.dcn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

佐々木　吉子:平日　AM.9:30-PM.5:30 3 号館 19 階　災害・クリティカルケア看護学分野教授室

今津　陽子:平日　AM.10:00-PM.5:00 3 号館 18 階　災害・クリティカルケア看護学分野准教授室

野口　綾子:平日　AM.9:00-PM.5:00　3 号館 18 階　災害・クリティカルケア看護学分野研究室 2

濱舘　陽子:平日 AM.9:00-PM.5:00 3 号館 18 階 災害・クリティカルケア看護学分野研究室 2

第２学年

2022年度時間割（看護学専攻：第2学年）

2022.3.30

（前期）

			8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
3/28	月																	
29	火																	
30	水																	
31	木																	
4/1	金																	

①			8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
4/4	月		【合】病理学(1)	同期型(zoom)		【合】生理学(1)	同期型(zoom)						【合】生化学(1)	同期型(zoom)		【合】生化学(2)	同期型(zoom)	
5	火		医療人間学概論(1)(法学)			医療人間学概論(1)(倫理)												
6	水	（自）インディペンデント				【合】病理学(2)	同期型(zoom)			Global Nursing Communication Ⅰ(1)	同期型(zoom)							
7	木		【合】生理学(2)	同期型(zoom)		移動時間				基礎看護学Ⅱ(1)	登校(面接授業)	講義室1	基礎看護学演習Ⅰ(1)	登校(面接授業)	実習室1			
8	金					【合】生化学(3)	同期型(zoom)			基礎看護学Ⅱ(2)	非同期型(webclass)							

②			8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
4/11	月	（自）スタディA	【合】病理学(3)	同期型(zoom)		【合】生化学(4)	同期型(zoom)											
12	火		医療人間学概論(2)(法学)	同期型(zoom)		医療人間学概論(2)(倫理)	同期型(zoom)			地域保健看護学Ⅰ(1)	同期型(zoom)		地域保健看護学Ⅰ(2)	同期型(zoom)				
13	水		〔自〕実践看護英語Ⅰ(1)	同期型(zoom)		【合】病理学(4)	同期型(zoom)			Global Nursing Communication Ⅰ(2)	同期型(zoom)					【合】生化学(5)	同期型(zoom)	
14	木		【合】病理学(5)	同期型(zoom)		移動時間				基礎看護学演習Ⅰ(2)	登校(面接授業)	実習室1	基礎看護学演習Ⅰ(3)	登校(面接授業)	実習室1	2年生進級ガイダンス	登校(面接授業)	講義室1
15	金		【合】生化学(6)	同期型(zoom)		成人看護学Ⅰ(1)	同期型(zoom)			基礎看護学Ⅱ(3)	非同期型(webclass)		基礎看護学Ⅱ(4)	同期型(zoom)				

③			8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
4/18	月	（自）スタディA	【合】病理学(6)	同期型(zoom)		【合】生化学(7)	同期型(zoom)			【合】生化学(8)	同期型(zoom)							
19	火		医療人間学概論(3)(法学)	同期型(zoom)		医療人間学概論(3)(倫理)	同期型(zoom)			地域保健看護学Ⅰ(3)	同期型(zoom)		地域保健看護学Ⅰ(4)	同期型(zoom)				
20	水		〔自〕実践看護英語Ⅰ(2)	同期型(zoom)		【合】病理学(7)	同期型(zoom)			Global Nursing Communication Ⅰ(3)	同期型(zoom)		Global Nursing Communication Ⅰ(4)	同期型(zoom)				
21	木		【合】生理学(3)	同期型(zoom)		移動時間				基礎看護学演習Ⅰ(4)	登校(面接授業)	実習室1・2	基礎看護学演習Ⅰ(5)	登校(面接授業)	実習室1・2	基礎看護学演習Ⅰ(6)	登校(面接授業)	実習室1・2
22	金		【合】生化学(9)	同期型(zoom)		成人看護学Ⅰ(2)	同期型(zoom)			基礎看護学Ⅱ(5)	非同期型(webclass)							

④			8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
4/25	月	（自）スタディA	【合】生理学(4)	同期型(zoom)		【合同】病態学(1)	同期型(zoom)			【合】生化学(10)	同期型(zoom)		【合】生化学(11)	同期型(zoom)				
26	火		医療人間学概論(4)(法学)	同期型(zoom)		医療人間学概論(4)(倫理)	同期型(zoom)			地域保健看護学Ⅰ(5)	同期型(zoom)		地域保健看護学Ⅰ(6)	同期型(zoom)				
27	水		【合】生化学(12)	同期型(zoom)		【合】生化学(13)	同期型(zoom)			Global Nursing Communication Ⅰ(5)	同期型(zoom)		【合】病理学(8)	同期型(zoom)				
28	木		【合】生化学(14)	同期型(zoom)		成人看護学Ⅰ(3)	同期型(zoom)			基礎看護学Ⅲ(1)	同期型(zoom)		基礎看護学Ⅲ(2)	同期型(zoom)				
29	金		昭和の日															

⑤			8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
5/2	月	（自）インディペンデントスタディA	〔自〕実践看護英語Ⅰ(3)	同期型(zoom)														
3	火		憲法記念日															
4	水		みどりの日															
5	木		こどもの日															
6	金	（自）インディペンデントスタディA	【合】生化学(15)	同期型(zoom)		成人看護学Ⅰ(4)	同期型(zoom)			基礎看護学Ⅱ(6)	非同期型(webclass)							

⑥			8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
5/9	月	（自）インディペンデントスタディA	【合】生理学(5)	同期型(zoom)		移動時間				基礎看護学Ⅱ(7)	登校(面接授業)	実習室1・2	基礎看護学演習Ⅰ(7)	登校(面接授業)	実習室1・2			
10	火		医療人間学概論(5)(法学)	同期型(zoom)		医療人間学概論(5)(倫理)	同期型(zoom)			地域保健看護学Ⅰ(7)	同期型(zoom)		地域保健看護学Ⅰ(8)	同期型(zoom)				
11	水		〔自〕実践看護英語Ⅰ(4)	同期型(zoom)		【合】生理学(6)	同期型(zoom)			Global Nursing Communication Ⅰ(6)	同期型(zoom)					〔自〕実践看護英語Ⅰ(5)	同期型(zoom)	
12	木		【合】生理学(7)	同期型(zoom)						成人看護学Ⅰ(5)	同期型(zoom)		成人看護学Ⅰ(6)	同期型(zoom)				
13	金		基礎看護学演習Ⅰ(8)	登校(面接授業)	実習室1・2・3	基礎看護学演習Ⅰ(9)	登校(面接授業)	実習室1・2・3										

⑦			8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
5/16	月	（自）インディペンデントスタディA	【合】生理学(8)	同期型(zoom)		【合同】病態学(2)	非同期型(webclass)			【合同】病態学(3)	非同期型(webclass)							
17	火		医療人間学概論(6)(法学)	同期型(zoom)		医療人間学概論(6)(倫理)	同期型(zoom)			専門基礎合同演習(1)	同期型(zoom)		専門基礎合同演習(2)	同期型(zoom)		専門基礎合同演習(3)	同期型(zoom)	
18	水		〔自〕実践看護英語Ⅰ(6)	同期型(zoom)		病態学(4)	非同期型(webclass)			Global Nursing Communication Ⅰ(7)	同期型(zoom)					〔自〕実践看護英語Ⅰ(7)	同期型(zoom)	
19	木		【合】生理学(9)	同期型(zoom)						基礎看護学Ⅲ(3)	同期型(zoom)		基礎看護学Ⅲ(4)	同期型(zoom)		基礎看護学Ⅲ(5)	同期型(zoom)	
20	金		成人看護学Ⅰ(7)	同期型(zoom)		移動時間				小児看護学Ⅰ(1)	登校(面接授業)	講義室1	小児看護学Ⅰ(2)	登校(面接授業)	講義室1			

⑧			8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
5/23	月	（自）インディペンデントスタディA	【合】生理学(10)	同期型(zoom)		【合】生理学(11)	同期型(zoom)			【合同】病態学(5)	非同期型(webclass)							
24	火		医療人間学概論(7)(法学)	同期型(zoom)		医療人間学概論(7)(倫理)	同期型(zoom)											
25	水					病態学(6)	非同期型(webclass)			Global Nursing Communication Ⅰ(8)	同期型(zoom)					〔自〕実践看護英語Ⅰ(8)	同期型(zoom)	
26	木		【合】生理学(12)	同期型(zoom)		移動時間				基礎看護学演習Ⅰ(10)	登校(面接授業)	実習室1・2	基礎看護学演習Ⅰ(11)	登校(面接授業)	実習室1・2	基礎看護学演習Ⅰ(12)	登校(面接授業)	実習室1・2
27	金									基礎看護学Ⅱ(8)	登校(面接授業)	実習室1・2	基礎看護学演習Ⅰ(13)	登校(面接授業)	実習室1・2	基礎看護学演習Ⅰ(14)	登校(面接授業)	実習室1・2

			8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
③																		
5/30	月	〔自〕インターディシプリナリーA	【合】生理学(13)	同期型(zoom)		【合同】病態学(7)	非同期型(webclass)			【合同】病態学(8)	非同期型(webclass)							
31	火		医療人間学概論(8)(法学)	同期型(zoom)		医療人間学概論(8)(倫理)	同期型(zoom)			専門基礎合同演習(4) 3限(14:00～15:30)	登校(面接授業)/同期型	保健衛生学実習室	専門基礎合同演習(5)4限(15:40～17:10)	登校(面接授業)/同期型	保健衛生学実習室	専門基礎合同演習(6)5限(17:20～18:50)	登校(面接授業)/同期型	保健衛生学実習室
6/1	水					病態学(9)	非同期型(webclass)			Global Nursing Communication Ⅰ(9)	同期型(zoom)							
2	木		【合】生理学(14)	同期型(zoom)		移動時間				基礎看護学実習Ⅱ(1)	登校(面接授業)	1	基礎看護学演習Ⅰ(15)	登校(面接授業)	講義室1・実習室1			
3	金					成人看護学Ⅰ(8)	同期型(zoom)			小児看護学Ⅰ(3)	同期型(zoom)		小児看護学Ⅰ(4)	同期型(zoom)				

			8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
⑩																		
6/6	月	〔自〕インターディシプリナリーA				【合同】病態学(10)	非同期型(webclass)			病態学(11)	非同期型(webclass)							
7	火									専門基礎合同演習(7)	登校(面接授業)/同期型	保健衛生学実習室	専門基礎合同演習(8)	登校(面接授業)/同期型	保健衛生学実習室	専門基礎合同演習(9)	登校(面接授業)/同期型	保健衛生学実習室
8	水		〔自〕実践看護英語Ⅰ(9)	同期型(zoom)		病態学(12)	同期型(zoom)			Global Nursing Communication Ⅰ(10)	同期型(zoom)							
9	木		【合】生理学(15)	同期型(zoom)		【合】生理学(16)	同期型(zoom)			基礎看護学Ⅲ(6)	同期型(zoom)		基礎看護学Ⅲ(7)	同期型(zoom)		基礎看護学Ⅲ(8)	同期型(zoom)	
10	金		成人看護学Ⅰ(9)	同期型(zoom)		成人看護学Ⅰ(10)	同期型(zoom)			小児看護学Ⅰ(5)	同期型(zoom)		小児看護学Ⅰ(6)	同期型(zoom)				

			8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
⑪																		
6/13	月	〔自〕インターディシプリナリーA	【合】生理学(17)	同期型(zoom)		成人看護学Ⅰ(11)	同期型(zoom)			【合】病態学(13)	非同期型(webclass)		【合】病態学(14)	非同期型(webclass)				
14	火		基礎看護学演習Ⅰ チーム医療導入(第一候補)	同期型(zoom)		基礎看護学演習Ⅰ チーム医療導入(第一候補)	同期型(zoom)			専門基礎合同演習(10)	同期型/非同期型		専門基礎合同演習(11)	同期型/非同期型		専門基礎合同演習(12)	同期型/非同期型	
15	水					病態学(15)	非同期型(webclass)			Global Nursing Communication Ⅰ(11)	同期型(zoom)					〔自〕実践看護英語Ⅰ(10)	同期型(zoom)	
16	木									基礎看護学演習Ⅰ(16)	登校(面接授業)	実習室1・2	基礎看護学演習Ⅰ(17)	登校(面接授業)	実習室1・2	基礎看護学演習Ⅰ(18)	登校(面接授業)	実習室1・2
17	金		成人看護学Ⅰ(12)	同期型(zoom)		【合同】病態学(16)	非同期型(webclass)			小児看護学Ⅰ(7)	同期型(zoom)		小児看護学Ⅰ(8)	同期型(zoom)				

			8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
⑫																		
6/20	月	〔自〕インターディシプリナリーA	病態学(17)	非同期型(webclass)		【合同】病態学(18)	同期型(zoom)			専門基礎合同演習(13)	同期型(zoom)		専門基礎合同演習(14)	同期型(zoom)		専門基礎合同演習(15)	同期型(zoom)	
21	火		基礎看護学演習Ⅰ チーム医療導入(第二候補)	同期型(zoom)		基礎看護学演習Ⅰ チーム医療導入(第二候補)	同期型(zoom)			専門基礎合同演習(16)	非同期型(webclass)		専門基礎合同演習(17)	非同期型(webclass)		専門基礎合同演習(18)	非同期型(webclass)	
22	水					病態学(19)	同期型(zoom)			Global Nursing Communication Ⅰ(12)	同期型(zoom)							
23	木									基礎看護学演習Ⅰ(19)	登校(面接授業)	実習室1・2	基礎看護学演習Ⅰ(20)	登校(面接授業)	実習室1・2	基礎看護学演習Ⅰ(21)	登校(面接授業)	実習室1・2
24	金					成人看護学Ⅰ(13)	同期型(zoom)											

			8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
⑬																		
6/27	月	〔自〕インターディシプリナリーA	病態学(20)	非同期型(webclass)		病態学(21)	同期型(zoom)									成人看護学Ⅰ(14)	同期型(zoom)	
28	火		【合】生理学(18)	同期型(zoom)		【合】生理学(19)	同期型(zoom)											
29	水					【合】生理学(20)	同期型(zoom)			Global Nursing Communication Ⅰ(13)	同期型(zoom)							
6/30	木		【合同】病態学(22)	非同期型(webclass)		【合同】病態学(23)	非同期型(webclass)			成人看護学Ⅰ(15)	同期型(zoom)							
7/1	金									基礎看護学演習Ⅰ(22)	登校(面接授業)	実習室1・2	基礎看護学演習Ⅰ(23)	登校(面接授業)	実習室1・2	基礎看護学演習Ⅰ(24)	登校(面接授業)	実習室1・2

			8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
⑭																		
7/4	月	〔自〕インターディシプリナリーA	【合】生理学(21)	非同期型(webclass)		【合】生理学(22)	非同期型(webclass)			基礎看護学演習Ⅰ(25)	登校(面接授業)	実習室1・2	基礎看護学演習Ⅰ(26)	登校(面接授業)	実習室1・2	基礎看護学演習Ⅰ(27)	登校(面接授業)	実習室1・2
5	火		【合】生理学(23)	非同期型(webclass)		【合】生理学(24)	非同期型(webclass)											
6	水		【合同】病態学(24)	非同期型(webclass)		Global Nursing Communication Ⅰ(14)	同期型(zoom)			Global Nursing Communication Ⅰ(15)	同期型(zoom)							
7	木									専門基礎合同演習(19)	登校(面接授業)	保健衛生学実習室	専門基礎合同演習(20)	登校(面接授業)	保健衛生学実習室	専門基礎合同演習(21)	登校(面接授業)	保健衛生学実習室
8	金									基礎看護学演習Ⅰ(28)	登校(面接授業)	実習室1・2	基礎看護学演習Ⅰ(29)	登校(面接授業)	実習室1・2	基礎看護学演習Ⅰ(30)	登校(面接授業)	実習室1・2

①		
7/11	月	前期定期試験
12	火	前期定期試験
13	水	前期定期試験
14	木	前期定期試験
15	金	前期定期試験

【TOEFL/ITP】
7月の定期試験時に実施
Global Nursing Communication Ⅰ(16)
Global Nursing Communication Ⅰ(17)

②		
7/18	月	海の日
19	火	前期定期試験
20	水	前期定期試験
21	木	前期定期試験
22	金	前期定期試験

①		
7/25	月	
26	火	
27	水	
28	木	
29	金	

夏季休業 8/1(月)～

		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
8/1																	
2	月																
3	火																
4	水																
5	木																
	金																

		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
8/8																	
9	月																
10	火																
11	水	山の日															
12	木																
	金																

		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
8/15																	
16	月																
17	火																
18	水																
19	木																
20	金																

		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
8/23	月																
24	火																
25	水																
26	木																
27	金																

（後期）

	①		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
8/29	月																	
30	火																	
31	木																	
9/1	木	（自）インディペンデントスタディA	基礎看護学実習Ⅱ(2～11)						M&Dタワー2階 共用講義室1,2								登校(面接授業)	講義室4、実習室1
9/2	金																登校(面接授業)	講義室4、実習室1,2,3,4

	②		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
9/5	月	（自）インディペンデントスタディA	基礎看護学実習Ⅱ(12～36)						M&Dタワー2階 共用講義室1,2								登校(面接授業)	講義室4、実習室1
6	火																登校(面接授業)	講義室4、実習室1
7	水																登校(面接授業)	講義室4、実習室1,2,3,4
8	木																登校(面接授業)	講義室4、実習室1
9	金																登校(面接授業)	講義室4、実習室1

	③		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
9/12	月	（自）インディペンデントスタディA	基礎看護学実習Ⅱ(37,38)				登校(面接授業)	講義室4、実習室1,2,3,4										
13	火		基礎看護学実習Ⅱ(39～41)						3号館講義室4 M&Dタワー2階 共用講義室1		登校(面接授業)	講義室4、実習室1,2,3,4						
14	水		基礎看護学実習Ⅱ(42～45)						3号館講義室4 M&Dタワー2階 共用講義室1					登校(面接授業)	講義室4、実習室1			
15	木																	
16	金																	

	④		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
9/19	月		敬老の日															
20	火	（自）インディペンデントスタディ																
21	水																	
22	木																	
23	金		秋分の日															

	⑤		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
9/26	月	（自）インディペンデントスタディA	栄養学(1)	同期型(zoom)		在宅看護学Ⅰ(1)	同期型(zoom)			病態学(25)	同期型(zoom)							
27	火		医療人間学セミ－Ⅰ法学(1) 医療人間学セミ－Ⅰ倫理学(1)			医療人間学セミ－Ⅰ法学(2) 医療人間学セミ－Ⅰ倫理学(2)				小児看護学演習Ⅰ(1)	同期型(zoom)		小児看護学演習Ⅰ(2)	同期型(zoom)				
28	水																	
29	木					病態学(26)	非同期型(webclass)			精神看護学(1)	登校(面接授業)	講義室1	精神看護学(2)	登校(面接授業)	講義室1	(自)AI 実践演習(1)	同期型(zoom)	移動時間が無い学生は5
30	金		成人看護学Ⅱ(1)	同期型(zoom)		成人看護学Ⅱ(2)	同期型(zoom)			保健医療福祉制度論(1)	同期型(zoom)		保健医療福祉制度論(2)	同期型(zoom)				

	⑥		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
10/3	月	（自）インディペンデントスタディA	栄養学(2)	同期型(zoom)		在宅看護学Ⅰ(2)	同期型(zoom)			病態学(27)	同期型(zoom)							
4	火		医療人間学セミ－Ⅰ法学(3) 医療人間学セミ－Ⅰ倫理学(3)			医療人間学セミ－Ⅰ法学(4) 医療人間学セミ－Ⅰ倫理学(4)				小児看護学演習Ⅰ(3)	同期型(zoom)		小児看護学演習Ⅰ(4)	同期型(zoom)				
5	水		薬理学Ⅰ(1)	同期型(zoom)		薬理学Ⅰ(2)	同期型(zoom)			病態学(28)	同期型(zoom)							
6	木		病態学(29)	非同期型(webclass)		病態学(30)	非同期型(webclass)			精神看護学(3)	登校(面接授業)	講義室1	精神看護学(4)	登校(面接授業)	講義室1	(自)AI 実践演習(2)	同期型(zoom)	移動時間が無い学生は5
7	金		成人看護学Ⅱ(3)	同期型(zoom)		成人看護学Ⅱ(4)	同期型(zoom)			保健医療福祉制度論(3)	同期型(zoom)		保健医療福祉制度論(4)	同期型(zoom)				

	⑦		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
10/10	月		スポーツの日															
11	火	（自）インディペンデントスタディA	医療人間学セミ－Ⅰ法学(5) 医療人間学セミ－Ⅰ倫理学(5)			医療人間学セミ－Ⅰ法学(6) 医療人間学セミ－Ⅰ倫理学(6)												
12	水		創立記念行事															
13	木	（自）インディペンデントスタディ								病態学(31)	非同期型(webclass)		精神看護学(5)	登校(面接授業)	講義室1	精神看護学(6)	登校(面接授業)	講義室1
14	金		成人看護学Ⅱ(5)	同期型(zoom)		成人看護学Ⅱ(6)	同期型(zoom)			保健医療福祉制度論(5)	同期型(zoom)		保健医療福祉制度論(6)	同期型(zoom)				

	⑧		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
10/17	月	（自）インディペンデントスタディA	栄養学(3)	同期型(zoom)		在宅看護学Ⅰ(3)	同期型(zoom)			病態学(32)	同期型(zoom)							
18	火		医療人間学セミ－Ⅰ法学(7) 医療人間学セミ－Ⅰ倫理学(7)			医療人間学セミ－Ⅰ法学(8) 医療人間学セミ－Ⅰ倫理学(8)				小児看護学演習Ⅰ(5)	同期型(zoom)		小児看護学演習Ⅰ(6)	同期型(zoom)				
19	水		薬理学Ⅰ(3)	同期型(zoom)		薬理学Ⅰ(4)	同期型(zoom)											
20	木		病態学(33)	同期型(zoom)		移動時間				精神看護学(7)	登校(面接授業)	講義室1	精神看護学(8)	登校(面接授業)	講義室1	(自)AI 実践演習(3)	同期型(zoom)	移動時間が無い学生は5
21	金		成人看護学Ⅱ(7)	同期型(zoom)		成人看護学Ⅱ(8)	同期型(zoom)			保健医療福祉制度論(7)	同期型(zoom)		保健医療福祉制度論(8)	同期型(zoom)				

	⑨		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
10/24	月	（自）インディペンデントスタディA	成人看護学Ⅱ(9)	同期型(zoom)		在宅看護学Ⅰ(4)	同期型(zoom)			病態学(34)	同期型(zoom)		小児看護学演習Ⅰ(7)	同期型(zoom)				
25	火		医療人間学セミ－Ⅱ法学(1) 医療人間学セミ－Ⅱ倫理学(1)			医療人間学セミ－Ⅱ法学(2) 医療人間学セミ－Ⅱ倫理学(2)				小児看護学演習Ⅰ(8)	同期型(zoom)							
26	水		薬理学Ⅰ(5)	同期型(zoom)		薬理学Ⅰ(6)	同期型(zoom)											
27	木		解剖体追悼式 (13:00～)															
28	金					病態学(35)	同期型(zoom)			基礎看護学演習Ⅱ(1)	非同期型(webclass)		基礎看護学演習Ⅱ(2)	非同期型(webclass)				

⑩		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
10/31	月	栄養学(4)	同期型(zoom)		在宅看護学Ⅰ(5)	同期型(zoom)											
11/1	火	医療人間学セミナーⅡ法学(3) 医療人間学セミナーⅡ倫理学(3)			医療人間学セミナーⅡ法学(4) 医療人間学セミナーⅡ倫理学(4)				小児看護学演習Ⅰ(9)	同期型(zoom)		小児看護学演習Ⅰ(10)	同期型(zoom)				
2	水																
3	木	文化の日															
4	金	成人看護学Ⅱ(10)	同期型(zoom)		移動時間				基礎看護学演習Ⅱ(3)	登校(面接授業)	実習室1・2・3	基礎看護学演習Ⅱ(4)	登校(面接授業)	実習室1・2・3	基礎看護学演習Ⅱ(5)	登校(面接授業)	実習室1・2・3

⑪		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
11/7	月	栄養学(5)	同期型(zoom)		在宅看護学Ⅰ(6)	同期型(zoom)			基礎看護学演習Ⅱ(6)	非同期型(webclass)		基礎看護学演習Ⅱ(7)	非同期型(webclass)				
8	火	医療人間学セミナーⅡ法学(5) 医療人間学セミナーⅡ倫理学(5)			医療人間学セミナーⅡ法学(6) 医療人間学セミナーⅡ倫理学(6)				医療情報学(1)	非同期型(webclass)		医療情報学(2)	非同期型(webclass)				
9	水	薬理学Ⅰ(7)	同期型(zoom)		薬理学Ⅰ(8)	同期型(zoom)			医療情報学(3)	非同期型(webclass)		医療情報学(4)	非同期型(webclass)				
10	木				移動時間				精神看護学(9)	登校(面接授業)	講義室1	精神看護学(10)	登校(面接授業)	講義室1	(自)AI 実践演習(4)	同期型(zoom)	移動時間が無い学生は5
11	金	成人看護学Ⅱ(11)	同期型(zoom)		成人看護学Ⅱ(12)	同期型(zoom)			保健医療福祉制度論(9)	同期型(zoom)		保健医療福祉制度論(10)	同期型(zoom)				

⑫		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
11/14	月	栄養学(6)	同期型(zoom)		在宅看護学Ⅰ(7)	同期型(zoom)			病態学(36)	同期型(zoom)							
15	火	医療人間学セミナーⅡ法学(7) 医療人間学セミナーⅡ倫理学(7)			医療人間学セミナーⅡ法学(8) 医療人間学セミナーⅡ倫理学(8)				小児看護学演習Ⅰ(11)	同期型(zoom)		小児看護学演習Ⅰ(12)	同期型(zoom)				
16	水	薬理学Ⅱ(1)	同期型(zoom)		薬理学Ⅱ(2)	同期型(zoom)											
17	木				移動時間				精神看護学(11)	登校(面接授業)	講義室1	精神看護学(12)	登校(面接授業)	講義室1	(自)AI 実践演習(5)	同期型(zoom)	移動時間が無い学生は5
18	金	医療情報学(5)	非同期型(webclass)		医療情報学(6)	非同期型(webclass)			保健医療福祉制度論(11)	同期型(zoom)		保健医療福祉制度論(12)	同期型(zoom)				

⑬		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
11/21	月				在宅看護学Ⅰ(8)	同期型(zoom)			小児看護学演習Ⅰ(13)	同期型(zoom)							
22	火								小児看護学演習Ⅰ(14)	同期型(zoom)		小児看護学演習Ⅰ(15)	同期型(zoom)				
23	水	勤労感謝の日															
24	木	成人看護学Ⅱ(13)	非同期型(webclass)												(自)AI 実践演習(6)	同期型(zoom)	移動時間が無い学生は5
25	金	成人看護学Ⅱ(14)	非同期型(webclass)														

⑭		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
11/28	月	栄養学(7)	同期型(zoom)		病態学(37)	非同期型(webclass)			病態学(38)	同期型(zoom)							
29	火																
30	水	薬理学Ⅱ(3)	同期型(zoom)		薬理学Ⅱ(4)	同期型(zoom)			医療情報学(7)	非同期型(webclass)		医療情報学(8)	非同期型(webclass)				
12/1	木				移動時間				基礎看護学演習Ⅱ(8)	登校(面接授業)	実習室1・2・3	基礎看護学演習Ⅱ(9)	登校(面接授業)	実習室1・2・3	基礎看護学演習Ⅱ(10)	登校(面接授業)	実習室1・2・3
2	金				病態学(39)	同期型(zoom)									{自}Learning Medical English(1)	同期型(zoom)	

⑮		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
12/5	月								【未定】薬害講演			【未定】薬害講演					
6	火								基礎看護学演習Ⅱ(11)	登校(面接授業)	実習室1・2・3	基礎看護学演習Ⅱ(12)	登校(面接授業)	実習室1・2・3			
7	水	卒業研究発表会			卒業研究発表会			M&Dタワー2階 共用講義室1 3号館講義室5	卒業研究発表会			卒業研究発表会			卒業研究発表会		
8	木								精神看護学(13)	登校(面接授業)	講義室1	精神看護学(14)	登校(面接授業)	講義室1	(自)AI 実践演習(7)	同期型(zoom)	移動時間が無い学生は5
9	金	成人看護学Ⅱ(15)	同期型(zoom)						保健医療福祉制度論(13)	同期型(zoom)		保健医療福祉制度論(14)	同期型(zoom)				

⑯		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
12/12	月	栄養学(8)	同期型(zoom)		病態学(40)	同期型(zoom)											
13	火				移動時間				基礎看護学演習Ⅱ(13)	登校(面接授業)	実習室1・2・3	基礎看護学演習Ⅱ(14)	登校(面接授業)	実習室1・2・3	基礎看護学演習Ⅱ(15)	登校(面接授業)	実習室1・2・3
14	水	薬理学Ⅱ(5)	同期型(zoom)		薬理学Ⅱ(6)	同期型(zoom)									{自}Learning Medical English(2)	同期型(zoom)	
15	木				移動時間				精神看護学(15)	登校(面接授業)	講義室1	精神看護学(16)	登校(面接授業)	講義室1	(自)AI 実践演習(8)	同期型(zoom)	移動時間が無い学生は5
16	金								保健医療福祉制度論(15)	同期型(zoom)		保健医療福祉制度論(16)	同期型(zoom)				

⑰		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
12/19	月											{自}Learning Medical English(3)	同期型(zoom)		{自}Learning Medical English(4)	同期型(zoom)	
20	火																
21	水	薬理学Ⅱ(7)	同期型(zoom)		薬理学Ⅱ(8)	同期型(zoom)						{自}Learning Medical English(5)	同期型(zoom)		{自}Learning Medical English(6)	同期型(zoom)	
22	木																
23	金	{自}Learning Medical English(7)	同期型(zoom)		{自}Learning Medical English(8)	同期型(zoom)											

冬季休業
12/26(月)～

	①		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
1/2	月																	
3	火																	
4	水	インデント																
5	木	インデント																
6	金	インデント																

	①																	
1/9	月	成人の日																
10	火																	
11	水	後期定期試験																
12	木	後期定期試験																
13	金	後期定期試験																

	②																	
1/16	月	後期定期試験																
17	火	後期定期試験																
18	水	後期定期試験																
19	木	後期定期試験																
20	金	後期定期試験																

	③																	
1/23	月	補講・再試																
24	火	補講・再試																
25	水	補講・再試																
26	木	補講・再試																
27	金	補講・再試																

	④																	
1/30	月	補講・再試																
31	火	補講・再試																
2/1	水	補講・再試																
2	木	補講・再試																
3	金	補講・再試																

春季休業
2/6(月)～

時間割番号	012007				
科目名	生理学			科目ID	MN-230300-L
担当教員	星 治, 藤代 瞳[HOSHI OSAMU, FUJISHIRO Hitomi]				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	2	単位数	3
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Physiology

【科目責任者】星治

授業の目的、概要等

生理学は人体の各構成要素の機能がどのようなメカニズムで発現し，全体として統合されているかを追求する学問である。

授業の到達目標

人体の各構成要素の機能の基本的事項を，解剖学の知識を基盤に理解することを目標とする。正常な人体の機能を理解することは，疾病による人体の機能の変化を理解する上でも，看護学を修得する上でも重要なことである。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/4	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	総論	生理学の概念、意義	星 治
2	4/7	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	体液	体液とその調節	星 治
3	4/21	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	血液と生体防御1	血液とその成分、血液型、リンパ液、組織液、生体防御	星 治
4	4/25	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	血液と生体防御2	血液とその成分、血液型、リンパ液、組織液、生体防御	星 治
5	5/9	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	循環の生理(1)	心臓の機能、循環の調節のしくみ、循環器系の基本検査	星 治
6	5/11	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	循環の生理(2)	心臓の機能、循環の調節のしくみ、循環器系の基本検査	星 治
7	5/12	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	呼吸の生理	呼吸器の機能、呼吸の調節、呼吸器系の検査	星 治
8	5/16	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	消化と吸収	消化液のその作用、栄養吸収と水分吸収、腸管運動、肝臓のはたらき	星 治
9	5/19	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	体温調節	体温、熱の産生、放熱、発汗のしくみ	星 治
10	5/23	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	内分泌の機能(1)	内分泌器官、各種ホルモンの作用	星 治
11	5/23	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	尿の生成と排泄(1)	腎臓の機能と尿の生成	藤代 瞳
12	5/26	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	尿の生成と排泄(2)	腎臓の機能と尿の生成	藤代 瞳
13	5/30	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	内分泌の機能(2)	内分泌器官、各種ホルモンの作用	星 治
14	6/2	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	栄養と代謝(1)	糖質代謝、脂質代謝、蛋白質代謝、エネルギー代謝、基礎代謝	藤代 瞳
15	6/9	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	筋肉の機能	筋肉の分類とその機能 骨格筋収縮のしくみ	星 治
16	6/9	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	栄養と代謝(2)	糖質代謝、脂質代謝、蛋白質代謝、エネルギー代謝、基礎代謝	藤代 瞳
17	6/13	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	神経、シナプス	神経生理の基礎、活動電位、神経線維の種類、興奮の伝達、シナプス	星 治
18	6/28	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	生殖機能(1)	男性生殖機能(精子形成)	藤代 瞳
19	6/28	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	生殖機能(2)	女性生殖機能(排卵、受精、着床)、妊娠と分娩	藤代 瞳
20	6/29	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	神経系の機能(1)	大脳、間脳、脳幹(延髄、橋、中脳)、小脳、脊髄、体性神経系、自律神経、神経系の検査	星 治
21	7/4	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	神経系の機能(2)	大脳、間脳、脳幹(延髄、橋、中脳)、小脳、脊髄、体性神経系、自律神経、神経系の検査	星 治
22	7/4	10:30-12:00	遠隔授業(非同期型)	感覚の生理(1)	感覚の一般的性質、視覚	星 治
23	7/5	08:50-10:20	遠隔授業(非同期型)	感覚の生理(2)	聴覚、平衡感覚、味覚	星 治
24	7/5	10:30-12:00				

授業方法

同期型もしくは非同期型授業（可能な場合は対面授業）。一部アクティブラーニングを実施する。

授業内容

生体の機能は基本的機能と高次機能に大別される。基本的機能は動物と植物の両者に共通に認められる機能で，呼吸，血液循環，消化と吸収，代謝，排泄，内分泌等の生体の維持に関する機能がこれに属する。一方，高次機能は動物において発達，特殊化した機能を意味し，運動，神経，感覚等がこれに属する。これらの生体の機能について順次，要点を講義する。また、一部演習も行う。

成績評価の方法

小テストの成績（10%）、学期末筆記試験の成績（90%）により総合的に評価する。一部，英文による出題もある。

成績評価の基準

学期末筆記試験の成績が 100 点満点で 60 点以上を合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

指定の教科書を事前に読むこと。特に，講義当日の内容に該当する項目のところは十分に押さえておく。

試験の受験資格

授業時間数の 3 分の 2 以上出席した場合に定期試験を受験することができる。出席の扱いは以下の通り

同期型の場合：講義を最初から最後まで参加しているログが確認できた場合を出席とする

非同期の場合：webclass での確認テストで 60 点以上だった場合を出席とする

教科書

シンプル生理学（改訂第 8 版）／貴邑　冨久子 著・文・その他,根来　英雄 著・文・その他,貴邑　冨久子,根来　英雄,：南江堂，2021-03-26

参考書

本郷利憲，廣重力，豊田順一，熊田衛 編集：標準生理学，医学書院

他科目との関連

人体の構造を理解した上で，それらのさまざまな機能を理解するのが生理学である。生理学は，解剖学と表裏一体をなすとともに，薬理学，生化学，栄養学，病態学等と密接な関係がある

履修上の注意事項

時間数が限られているため，講義に関連した領域について自習することが必要である。

連絡先（メールアドレス）

星　治:o-hoshi.aps@tmd.ac.jp

藤代　瞳:fujishiro.aps@tmd.ac.jp

オフィスアワー

星　治:オフィスアワーは特に定めない。事前にメールで連絡を。

湯島キャンパス3号館16階

時間割番号	012008				
科目名	生化学			科目ID	MN-230400-L
担当教員	鈴木　喜晴[SUZUKI NOBUHARU]				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	2	単位数	2
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Biochemisty

【科目責任者】鈴木喜晴

主な講義場所

zoom による遠隔授業（同期型）

授業の目的、概要等

生化学は生体に関するあらゆる学問の基礎と言っても過言ではない。長い歴史の過程で数多くの関連知見が得られ、現在も目覚ましい科学技術の発展と共に、生化学は進歩し続けている。本講義では、特に生体高分子の構造、反応、機能に着目し、細胞や組織、個体レベルでの生命現象の理解を深めることを目的とする。また、様々な生化学に関わる最新の基礎研究にも触れ、当該研究分野の現状を学ぶ。さらに、英語による解説ビデオ等から、当該分野における国際的な重要性についても理解を深める。アクティブラーニングとして、各章の終わりに演習問題を行い習得度を確認する。

授業の到達目標

国家試験に対応できる基礎知識の習得をする。さらに関連分野での基礎研究や臨床研究に応用できる実践的な知識も身につける。
各章での具体的な目標は以下の通りである。
1章：細胞の構造と構成要素について理解する。生化学における化学、物理学、遺伝学、進化論の基礎を理解する。
2章：水の分子レベルでの性質と機能を学ぶ。
3章：アミノ酸の種類と性質を理解し整理する。タンパク質の一次構造を学ぶ。
4章：タンパク質の二次構造、三次構造、四次構造を理解する。
5章：タンパク質の相互作用とその評価方法を学ぶ。
6章：触媒としての酵素の機能をエネルギー論や基質特異性から学ぶ。
7章：糖質の構造と機能を理解する。糖質の同定法や機能解析法を学ぶ。
8章：核酸の構造と機能を理解する。核酸の同定法や機能解析法（PCR など）を学ぶ。
9章：脂質の構造と機能を理解する。脂質の同定法や機能解析法を学ぶ。
10章：高エネルギーリン酸化合物や生物学的酸化還元反応を担う分子について学ぶ。
11章：解糖、糖新生、ペントースリン酸経路の仕組みを学ぶ。
12章：解糖と糖新生の協調的調節機構を学ぶ。グリコーゲンの代謝（分解と合成）の仕組みを理解する。
13章：クエン酸回路の仕組みを学ぶ。
14章：脂質の異化（β酸化反応）を理解する。
15章：アミノ酸の異化について学ぶ。
16章：ミトコンドリアでの電子伝達経路の仕組みを学ぶ。
17章：脂肪酸の生合成経路を理解する。
18章：アミノ酸やアミノ酸派生体、ヌクレオチドの生合成経路を学ぶ。
19章：各種ホルモンの分泌器官、性質、作用を整理・理解する。
20章：遺伝子、染色体、ゲノムの構造を学ぶ。
21章： DNA の複製、修復、組換えの仕組みを学ぶ。
22章： RNA の種類と合成経路、機能を整理・理解する。
23章：タンパク質の合成経路の仕組みを学ぶ。
24章：遺伝子発現調節の概要と詳細を理解する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/4	14:40-16:10	遠隔授業（同期型）	オリエンテーション／1章 生化学の基礎	本講義についての説明／1章 細胞の基礎;化学の基礎;遺伝学の基礎;進化論の基礎	鈴木　喜晴	演習問題や口頭での設問、考え問う等のアクティブラーニングも活用する。

2	4/4	16:20–17:50	遠隔授業（同期型）	2章 水／3章 アミノ酸、ペプチドおよびタンパク質	2章 水系における弱い相互作用;水、弱酸、弱塩基のイオン化;生物系のpH変化に対する緩衝作用;反応物としての水;生物の水環境への適合性／3章 アミノ酸;ペプチドとタンパク質;タンパク質研究法;タンパク質の構造 一次構造	鈴木 喜晴	演習問題や口頭での設問、考え問う等のアクティブラーニングも活用する。
3	4/8	10:30–12:00	遠隔授業（同期型）	4章 タンパク質の三次元構造／5章 タンパク質の機能	4章 タンパク質構造の概念;タンパク質の二次構造;タンパク質の三次構造と四次構造;タンパク質の変性とフォールディング／5章 リガンドに対するタンパク質の可逆的結合;タンパク質とリガンドの間の相補的相互作用	鈴木 喜晴	演習問題や口頭での設問、考え問う等のアクティブラーニングも活用する。
4	4/11	10:30–12:00	遠隔授業（同期型）	6章 酵素	6章 酵素の発見;酵素の作用機構;酵素反応速度論による作用機構の研究;酵素反応の例;調節酵素	鈴木 喜晴	演習問題や口頭での設問、考え問う等のアクティブラーニングも活用する。
5	4/13	16:20–17:50	遠隔授業（同期型）	7章 糖質と糖鎖生物学／8章 ヌクレオチドと核酸	7章 単糖と二糖;多糖;複合糖質:プロテオグリカン、糖タンパク質、スフィンゴ糖脂質;情報分子としての糖質:シュガーコード;糖質研究／8章 基本事項;核酸の構造;核酸の化学;ヌクレオチドの他の機能	鈴木 喜晴	演習問題や口頭での設問、考え問う等のアクティブラーニングも活用する。
6	4/15	08:50–10:20	遠隔授業（同期型）	9章 脂質	9章 貯蔵脂質;膜に存在する構造脂質;シグナル分子、補因子および色素としての脂質;脂質研究	鈴木 喜晴	演習問題や口頭での設問、考え問う等のアクティブラーニングも活用する。
7	4/18	10:30–12:00	遠隔授業（同期型）	10章 生体エネルギー論と生化学反応のタイプ／11章 解糖、糖新生およびペントースリン酸経路	10章 ホスホリル基転移とATP;生物学的な酸化還元反応／11章 解糖;解糖への供給経路;嫌気的条件下でのピルビン酸代謝運命:発酵;糖新生;グルコース酸化のペントースリン酸経路	鈴木 喜晴	演習問題や口頭での設問、考え問う等のアクティブラーニングも活用する。
8	4/18	13:00–14:30	遠隔授業（同期型）	12章 代謝調節の原理	12章 解糖と糖新生の協調的調節;動物におけるグリコーゲン代謝;グリコーゲンの合成と分解の協調的調節	鈴木 喜晴	演習問題や口頭での設問、考え問う等のアクティブラーニングも活用する。
9	4/22	08:50–10:20	遠隔授業（同期型）	13章 クエン酸回路／14章 脂肪酸の異化	13章 アセチルCoA（活性酢酸）の生成;クエン酸回路の反応;クエン酸回路の調節／14章 脂肪の消化、動員および運搬;脂肪酸の酸化;ケトン体	鈴木 喜晴	演習問題や口頭での設問、考え問う等のアクティブラーニングも活用する。
10	4/25	13:00–14:30	遠隔授業（同期型）	15章 アミノ酸の酸化と尿素の生成	15章 アミノ酸の代謝運命;窒素排泄と尿素回路;アミノ酸の分解経路	鈴木 喜晴	演習問題や口頭での設問、考え問う等のアクティブラーニングも活用する。
11	4/25	14:40–16:10	遠隔授業（同期型）	16章 酸化的リン酸化	16章 ミトコンドリアにおける呼吸鎖;ATP合成;酸化的リン酸化の調節;ミトコンドリア遺伝子:その起源と変異の影響	鈴木 喜晴	演習問題や口頭での設問、考え問う等のアクティブラーニングも活用する。

12	4/27	08:50–10:20	遠隔授業（同期型）	17 章 脂質の生合成／18 章 アミノ酸、ヌクレオチドおよび関連分子の生合成	17 章 脂肪酸とエイコサノイドの生合成;トリアシルグリセロールの生合成;膜リン脂質の生合成;コレステロール、ステロイド、イソプレノイドの生合成／18 章 アミノ酸の生合成;アミノ酸に由来する分子;ヌクレオチドの生合成と分解	鈴木 喜晴	演習問題や口頭での設問、考え問う等のアクティブラーニングも活用する。
13	4/27	10:30–12:00	遠隔授業（同期型）	19 章 哺乳類の代謝のホルモンによる調節と統合／20 章 遺伝子と染色体	19 章 ホルモン：多様な機能のための多様な構造;インスリンと糖尿病／20 章 染色体の成分;DNA のスーパーコイル形成;染色体の構造	鈴木 喜晴	演習問題や口頭での設問、考え問う等のアクティブラーニングも活用する。
14	4/28	08:50–10:20	遠隔授業（同期型）	21 章 DNA 代謝／22 章 RNA 代謝	21 章 DNA 複製;DNA 修復;DNA 組換え／22 章 RNA の DNA 依存的合成;RNA プロセシング;RNA 依存的な RNA と DNA の合成	鈴木 喜晴	演習問題や口頭での設問、考え問う等のアクティブラーニングも活用する。
15	5/6	08:50–10:20	遠隔授業（同期型）	23 章 タンパク質代謝／24 章 遺伝子発現調節	23 章 遺伝暗号;タンパク質合成;タンパク質のターゲティングと分解／24 章 遺伝子発現調節の原理;真核生物における遺伝子発現調節	鈴木 喜晴	演習問題や口頭での設問、考え問う等のアクティブラーニングも活用する。

授業方法

同期授業：講義スライドや資料、ビデオを用いて解説しながら進める。本講義は主に参考書1、2「レーニンジャーの新生化学（上、下）」に沿って「授業の到達目標」の下に進めて行く。アクティブラーニングとして、各章の終わりに演習問題を行い理解度を確認する。その他講義内容に応じて、口頭での設問や考えを問う等のアクティブラーニングも活用する。

授業内容

授業スケジュールを参照

成績評価の方法

1）学期末試験の成績

2）講義中の章末演習問題の成績

3）出席状況

成績評価の基準

合計回数の 3 分の 2 以上の出席を必要とする。

章末演習問題：3 問中 2 問以上正解で 1 点×21 章[初日（4 月 4 日）の講義分は適用しない]=21 点

出席点：出席 1 回で 0.6 点×15=9 点

期末筆記試験（本試験）：70 点

合計：100 点

＊期末試験後、平均点、最高点、最低点を考慮して、点数配分に多少の変更があり得る。

上記に従い、60 点以上で合格とする。60 点未満の場合、再試験（筆記試験）を行い、60 点以上で合格とする。学期末試験には英語の問題を 10%程度出題する。

準備学習等についての具体的な指示

毎回講義の前に WebClass から講義資料をダウンロードし、参考書等も利用して準備学習を行うこと。本講義は主に参考書1、2「レーニンジャーの新生化学（上、下）」に沿って「授業の到達目標」の下に進めて行くが、各自の学習目的（例：国家試験対策等）、レベルに合わせて、自主学習用の参考書を各自で選択すること。

また、本科目は、高校や教養部の生物・化学の内容をある程度修得していることを前提とした専門科目である。生化学をより専門とする検査技術学専攻との合同科目であることも理解して頂く必要がある。そのため、その修得度に達していない受講者は、自主的に学習し、講義内容を理解できるよう努力する必要がある。

試験の受験資格

前期末に筆記試験を行う。試験の受験資格は、同期型講義（zoom）の合計回数の 3 分の 2 以上の出席を必要とする。遅刻や早退となる際は、必ず科目責任者にメールで連絡し、理由を説明すること。連絡の無い遅刻や早退は出席回数を0.5 回とする。勘案すべき事情があり、受験資格の出席数が足りない場合は、その旨科目責任者にメールで連絡をすること。

参考書

レーニンジャーの新生化学 : 生化学と分子生物学の基本原理[上]／レーニンジャー, ネルソン, コックス [著],川嵜敏祐 監修,中山和久 編集,Lehninger, Albert L,Nelson, David Lee, 1942–,Cox, Michael M,川嵜, 敏祐, 1941–,中山, 和久, 1959–,: 廣川書店, 2019

レーニンジャーの新生化学 : 生化学と分子生物学の基本原理[下]／レーニンジャー, ネルソン, コックス [著],川嵜敏祐 監修,中山和久 編集,Lehninger, Albert L,Nelson, David Lee, 1942–,Cox, Michael M,川嵜, 敏祐, 1941–,中山, 和久, 1959–,: 廣川書店, 2019

生化学／石堂一巳 著,石堂, 一巳,: 南江堂, 2022

他科目との関連

分子生物学, 細胞生物学、生理学、遺伝学、栄養化学などと関連する。

履修上の注意事項

講義資料、講義動画、参考資料などは著作権の問題があるので、受講登録者以外に公開することを禁ずる。

備考

前年度と同様に章末演習問題を設けることで、アクティブラーニングと講義の予習を促す。

連絡先(メールアドレス)

鈴木喜晴 nsuzbb@tmd.ac.jp

オフィスアワー

鈴木喜晴 オフィスアワーは特に定めない 3 号館 16 階

時間割番号	012009				
科目名	薬理学Ⅰ			科目ID	MN-230500-L
担当教員	永田　将司, 今津　陽子[NAGATA MASASHI, IMAZU YOKO]				
開講時期	2022 年度後期	対象年次	2	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Pharmacology Ⅰ

【科目責任者】看護学専攻 災害・クリティカルケア看護学 今津　陽子

授業の目的、概要等

薬理学は、化学物質（薬物）と生体（個体～分子レベルを含む）との間で起こる選択的な相互作用を研究する学問である。どの視点から相互作用を考えるかによって、以下の 2 つに分けられる。①薬力学：薬物が生体に及ぼす生化学的・生理学的作用（薬理作用）を調べる。②薬物動態学：生体が薬物の吸収や分布・代謝、排泄に及ぼす影響を調べる。これらについて深い知識を有することは、適正な薬物療法を行うために必要不可欠である。

授業の到達目標

1-3 回目：薬物とは何かについて説明できる。薬物の使用目的について説明できる。薬物の体内での動きについて説明できる。

4 回目：代表的な感染症治療薬を列挙し、作用機構を説明できる。

5 回目：代用的な抗がん薬を列挙し、作用機構を説明できる。

6 回目：代表的な免疫治療薬を列挙し、作用機構を説明できる。

7 回目：代表的な抗アレルギー・抗炎症薬を列挙し、作用機構を説明できる。

8 回目：末梢での神経活動に作用する代表的な薬物を列挙し、作用機構を説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	10/5	08:50-10:20	遠隔授業（同期型）	薬理学を学ぶにあたって、薬理学の基礎知識(1)	薬理学とは何か、薬による病気の治療、薬が作用するしくみ	永田　将司	
2	10/5	10:30-12:00	遠隔授業（同期型）	薬理学の基礎知識(2)	薬の体内挙動	永田　将司	
3	10/19	08:50-10:20	遠隔授業（同期型）	薬理学の基礎知識(3)・看護業務に必要な薬の知識	薬物相互作用、薬効の個人差に影響する因子、薬物使用の有益性と危険性、薬と法律、薬に関する単位、処方せん、添付文書	永田　将司	
4	10/19	10:30-12:00	遠隔授業（同期型）	抗感染症薬	感染症治療に関する基礎事項、抗感染症薬各論、特殊な感染症の治療薬、感染症の治療における問題点	永田　将司	
5	10/26	08:50-10:20	遠隔授業（同期型）	抗がん薬	がん治療に関する基礎事項、抗がん薬各論	永田　将司	授業冒頭にWebClassにて小テスト
6	10/26	10:30-12:00	遠隔授業（同期型）	免疫治療薬	免疫系の基礎知識、免疫抑制薬、免疫増強薬・予防接種薬	永田　将司	
7	11/9	08:50-10:20	遠隔授業（同期型）	抗アレルギー・抗炎症薬	抗ヒスタミン薬と抗アレルギー薬、炎症と抗炎症薬、関節リウマチ治療薬、痛風・高尿酸血症治療薬、片頭痛治療薬	永田　将司	授業冒頭にWebClassにて小テスト
8	11/9	10:30-12:00	遠隔授業（同期型）	末梢での神経活動に作用する薬物	神経系による情報伝達、自律神経系作用薬、交感神経作用薬、副交感神経作用薬、筋弛緩薬・局所麻酔薬	永田　将司	

授業方法

Zoom を用いたオンライン形式（同期型）で行う。

講義は教科書に沿って進めるので、必ず教科書を持参すること。

また、アクティブラーニングを取り入れ、5、7 回目の講義冒頭に Webclass を用いて課題演習（小テスト）を行う。講義中に解説を行いフィードバックする。

成績評価の方法

薬理学ⅠとⅡを総合して、授業中に行う小テスト（20 点）、筆記試験（80 点）および出欠状況に基づき評価する。なお、筆記試験問題の一部は英語で出題する。

成績評価の基準

S（90 点以上）、A（89–80 点）、B（79–70 点）、C（69–60 点）、D（59 点以下）の 5 段階で評価を行う。

本試験で D の場合、再試験を行う。再試験でも D となった場合は次年度再履修が必要である。

準備学習等についての具体的な指示

解剖学・生理学・病理学をよく復習しておくこと。

試験の受験資格

薬理学Ⅰ（8 回）とⅡ（8 回）をまとめて一つの試験を行う。

全 16 回中 12 回以上出席したものに受験資格を認める。

講義は Zoom を用いたオンライン形式で行うため、最初から最後まで参加しているログが確認できた場合を出席とする。

教科書

系統看護学講座　専門基礎分野　薬理学　疾病のなりたちと回復の促進 3／吉岡　充弘／泉　剛／井関　健／横式　尚司／菅原　満：医学書院, 2018

備考

2021 年度の授業評価では大きな改善を求める点はなかったが、引き続き、アクティブラーニング（小テスト）を取り入れた能動的な学習ができる授業を行う。

連絡先（メールアドレス）

永田　将司:mna-mpha@tmd.ac.jp

オフィスアワー

永田　将司:オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡してから訪問すること

時間割番号	012010				
科目名	薬理学Ⅱ			科目ID	MN-230600-L
担当教員	永田　将司, 今津　陽子[NAGATA MASASHI, IMAZU YOKO]				
開講時期	2022 年度後期	対象年次	2	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Pharmacology Ⅱ

【科目責任者】看護学専攻 災害・クリティカルケア看護学 今津　陽子

授業の目的、概要等

薬理学は、化学物質（薬物）と生体（個体～分子レベルを含む）との間で起こる選択的な相互作用を研究する学問である。どの視点から相互作用を考えるかによって、以下の 2 つに分けられる。①薬力学：薬物が生体に及ぼす生化学的・生理学的作用（薬理作用）を調べる。②薬物動態学：生体が薬物の吸収や分布・代謝、排泄に及ぼす影響を調べる。これらについて深い知識を有することは、適正な薬物療法を行うために必要不可欠である。

授業の到達目標

1-2 回目：中枢神経系に作用する代表的な薬物を列挙し、作用機構を説明できる。

3-4 回目：心臓・血管系に作用する代表的な薬物を列挙し、作用機構を説明できる。

5 回目：呼吸器系に作用する代表的な薬物を列挙し、作用機構を説明できる。

6 回目：消化器・生殖器系に作用する代表的な薬物を列挙し、作用機構を説明できる。

7 回目：物質代謝に作用する代表的な薬物を列挙し、作用機構を説明できる。代表的な皮膚科用薬・眼科用薬を列挙し、作用機構を説明できる。漢方薬と西洋薬の違いや、漢方薬の副作用について説明できる。代表的な消毒薬を列挙し、その特徴を説明できる。

8 回目：新薬開発までの道のりを説明できる。日本国内で発生した代表的な薬害事例を説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	11/16	08:50-10:20	遠隔授業（同期型）	中枢神経系に作用する薬物(1)	中枢神経系のはたらきと薬物、全身麻酔薬、催眠薬・抗不安薬	永田　将司	授業冒頭にWebClassにて小テスト
2	11/16	10:30-12:00	遠隔授業（同期型）	中枢神経系に作用する薬物(2)	抗精神病薬、気分障害治療薬、パーキンソン症候群治療薬、抗てんかん薬、麻薬性鎮痛薬	永田　将司	
3	11/30	08:50-10:20	遠隔授業（同期型）	心臓・血管系に作用する薬物(1)	抗高血圧薬、狭心症治療薬、心不全治療薬	永田　将司	授業冒頭にWebClassにて小テスト
4	11/30	10:30-12:00	遠隔授業（同期型）	心臓・血管系に作用する薬物(2)	抗不整脈薬、利尿薬、脂質異常症治療薬、血液に作用する薬物	永田　将司	
5	12/14	08:50-10:20	遠隔授業（同期型）	呼吸器系に作用する薬物	呼吸器系に作用する薬物	永田　将司	授業冒頭にWebClassにて小テスト
6	12/14	10:30-12:00	遠隔授業（同期型）	消化器・生殖器系に作用する薬物	消化器系に作用する薬物、生殖器・泌尿器系に作用する薬物	永田　将司	
7	12/21	08:50-10:20	遠隔授業（同期型）	物質代謝に作用する薬物、皮膚科用薬・眼科用薬、漢方薬、消毒薬	ホルモンとホルモン拮抗薬、治療薬としてのビタミン、皮膚に使用する薬物、眼科用薬、漢方医学の基礎知識、漢方薬各論　消毒薬とは、消毒薬の種類と応用、消毒薬の適応	永田　将司	授業冒頭にWebClassにて小テスト
8	12/21	10:30-12:00	遠隔授業（同期型）	臨床薬理学	医薬品の開発、副作用と薬害	永田　将司	

授業方法

Zoom を用いたオンライン形式（同期型）で行う。

講義は教科書に沿って進めるので、必ず教科書を持参すること。

また、アクティブラーニングを取り入れ、1、3、5、7 回目の講義冒頭に Webclass を用いて課題演習（小テスト）を行う。講義中に解説を行いフィードバックする。

成績評価の方法

薬理学ⅠとⅡを総合して、授業中に行う小テスト、筆記試験および出欠状況に基づき評価する。なお、筆記試験問題の一部は英語で出題する。

成績評価の基準

S(90 点以上)、A(89-80 点)、B(79-70 点)、C(69-60 点)、D(59 点以下)の 5 段階で評価を行う。

本試験で D の場合、再試験を行う。再試験でも D となった場合は次年度再履修が必要である。

準備学習等についての具体的な指示

解剖学・生理学・病理学をよく復習しておくこと。

試験の受験資格

薬理学Ⅰ(8 回)とⅡ(8 回)をまとめて一つの試験を行う。

全 16 回中 12 回以上出席したものに受験資格を認める。

講義は Zoom を用いたオンライン形式で行うため、最初から最後まで参加しているログが確認できた場合を出席とする。

教科書

系統看護学講座　専門基礎分野　薬理学　疾病のなりたちと回復の促進 3／吉岡　充弘／泉　剛／井関　健／横式　尚司／菅原　満:医学書院, 2018

備考

2021 年度の授業評価では大きな改善を求める点はなかったが、引き続き、アクティブラーニング(小テスト)を取り入れた能動的な学習ができる授業を行う。

連絡先(メールアドレス)

永田　将司:mna-mpha@tmd.ac.jp

オフィスアワー

永田　将司:オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡してから訪問すること

時間割番号	012011				
科目名	病理学			科目ID	MN-230700-L
担当教員	伊藤 南, 副島 友莉恵[ITO MINAMI, SOEJIMA YURIE]				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	2	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Pathology

【科目責任者】伊藤 南

授業の目的、概要等

病理学とは疾病の本態を解析、解明するにあたり必要な学問であり、基礎と臨床との両者にまたがった医学・医療の基本となる分野である。本講義では、病理学総論として疾病病変の基礎を理解し、臨床応用への基盤を作っていただきたい。

授業の到達目標

1. 疾病病変の共通の変化、病態の本質、その病因を系統的に把握し説明できる。
2. 疾病の本態を理解し、医学・医療の基本的知識・思考を習得する。
3. 教科書の基本的用語に併記してある英語を読み書きできる。

第 1 回:病気の原因(病因)と疾患の関係を理解する。
　　ストレスに対する細胞反応・細胞障害・細胞死、組織の治癒・再生を理解する。
第 2 回:局所、全身の様々な循環障害を理解する。
第 3 回:主な代謝障害について理解する。
第 4 回:様々な炎症のメカニズム、感染症による炎症を理解する。
第 5 回:免疫現象、アレルギーのメカニズムを理解する。
第 6,7 回:腫瘍の本態と病態、代表的な悪性腫瘍について理解する。
第 8 回:先天異常、放射線による障害と細胞変化、老化と老年病について理解する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/4	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	病理学・病因論・進行性病変ほか	病理学の概要、病因、退行性病変、進行性病変	大橋 健一	講義後に確認テスト
2	4/6	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	循環障害	局所・全身の循環障害	大橋 健一	講義後に確認テスト
3	4/11	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	代謝異常症	代謝異常症	大橋 健一	講義後に確認テスト
4	4/13	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	炎症、感染症	炎症、感染症	副島 友莉恵	講義後に確認テスト
5	4/14	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	免疫	免疫、自己免疫疾患	副島 友莉恵	講義後に確認テスト
6	4/18	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	腫瘍病理総論1	良性腫瘍と悪性腫瘍、がんの発生・進展機序、原因	大橋 健一	講義後に確認テスト
7	4/20	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	腫瘍病理総論2	主要ながん、前がん病変、がんの組織型、転移	大橋 健一	講義後に確認テスト
8	4/27	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	先天異常、放射線病理学、老化	先天異常、放射線病理学、老化と老年病	副島 友莉恵	講義後に確認テスト

授業方法

Zoom による同期授業を行う。

・配布資料は事前に WebClass で公開する。講義後に確認テストを行う。

・動画は復習に使用できるよう一定期間 WebClass 上に閲覧可能な状態に置いておく。

・質問はメールや WebClass の掲示板を利用し対応する。重要な内容については同期授業の際、全員に伝える。

本講義は検査技術学専攻との合同講義である。

授業内容

授業スケジュールに各回の内容は示してある。

成績評価の方法

1）筆記試験（前期定期試験）

2）講義中または WebClass での確認テスト

定期試験の約 10%に英語の問題を出題する。

成績評価の基準

評価は筆記試験(80%)、確認テスト(20%)とし、60%以上を合格とする。また、この点数を本科目の評価とする。合格点に満たないものは再試験を実施する。再試験合格者は 60 点とする。

準備学習等についての具体的な指示

解剖学で基本的な人体の形態と構造を学習済みのものとして扱う。

配布資料は各自で WebClass よりダウンロード、印刷しておくこと。

試験の受験資格

2/3（6 回）以上の出席をもって受験資格とする。出欠の確認は、同期授業（Zoom）では講義の最初から最後まで参加しているログおよび小テストの提出により行う。特別な事情で授業に参加できない場合は、授業前に科目責任者または保健衛生教務係にメールで連絡をすること。緊急の場合には電話でもよいがその後メールすること。連絡ができないような特別な場合にはその限りではない。以上の十分な対応が行われていたと判断された場合には、事情などに応じてレポート提出により出席を代替することがあるので、指示に従うこと。

教科書

スタンダード病理学／沢辺元司, 長坂徹郎編,沢辺, 元司,長坂, 徹郎,大西, 俊造,梶原, 博毅,神山, 隆一,: 文光堂, 2015

参考書

メディックメディア社の「病気が見える」シリーズはビジュアルであり、病態の理解に役立つので推薦する。

他科目との関連

病理学は医学・医療の基本となる分野であり、解剖学、生理学といった基礎的な科目から臨床的な科目とも密接に関連している。

履修上の注意事項

講義画面の撮影は禁止する。講義動画、講義資料、参考資料などは著作権の問題があるので、受講登録者以外に公開することを禁ずる。

備考

昨年度の授業評価アンケートを踏まえ、引き続き丁寧に指導・教育し、質問の受付けと対応法を周知する。

参照ホームページ

授業で用いた資料の多くは WebClass で公開するので自学自習に役立てること。

連絡先（メールアドレス）

伊藤　南:minami.bse@tmd.ac.jp、

副島　友莉恵:soejima.mp@tmd.ac.jp

オフィスアワー

伊藤　南:3号棟16階　生体機能支援システム学教授室

随時対応しますので、事前にメール等で連絡して下さい。

副島　友莉恵:オフィスアワーは特に定めない

3 号館 16 階 生体検査科学教員室

時間割番号	012013				
科目名	栄養学			科目ID	MN-230900-L
担当教員	廣岡 佳代, 腰本 さおり[HIROOKA Kayo, KOSHIMOTO Saori]				
開講時期	2022 年度後期	対象年次	2	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Nutritional Sciences

【科目責任者】廣岡 佳代

授業の目的、概要等

栄養学の基礎を学ぶことを目的とする。健康増進、疾病予防に寄与する栄養の役割を理解し、エネルギー、栄養素の代謝とその生理的意義を学ぶ。また、妊娠や発育、加齢などの変化に応じたライフステージ栄養管理の考え方を習得し、糖尿病、腎臓病など病態の特徴に基づいた適切な栄養管理の重要性を理解する。さらに、現代社会における食糧や栄養の問題点に着目し、健康増進・疾病予防の観点から、問題解決のための洞察力を養う。 グループワークを活用したアクティブラーニングとして行う。

授業の到達目標

1回目：炭水化物・タンパク質・脂質の代謝と生理的意義を説明できる

2回目：ビタミン・ミネラルの過剰症と欠乏症について説明できる

3回目：国民健康・栄養調査からみた、現代社会における食生活の問題に対応し、必要な政策を創ることができる

4回目：成長や加齢の発達段階に応じた栄養状態ついて理解し、栄養相談の場面をシュミレートできる

5回目：糖尿病、腎臓病、脂質異常症、嚥下機能低下における栄養療法を理解し、適切な対応ができる

6回目：高尿酸血症、膵炎、褥瘡、肝硬変、心不全における栄養療法を理解し、適切な対応ができる

7回目：「日本人の食事摂取基準」と実際の食事内容を比較し、栄養バランスを分析・評価できる

8回目：栄養ケアにおける多職種との連携およびチーム医療の必要性を理解できる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	9/26	08:50-10:20	遠隔授業（同期型）	基礎栄養(1)	炭水化物・タンパク質・脂質の消化吸収と関連する食品	腰本 さおり	アクティブラーニング：グループディスカッション
2	10/3	08:50-10:20	遠隔授業（同期型）	基礎栄養(2)	ビタミン・ミネラルの過剰症と欠乏症および関連する食品	腰本 さおり	アクティブラーニング：グループディスカッション
3	10/17	08:50-10:20	遠隔授業（同期型）	公衆栄養	国民健康・栄養調査からみた我が国の現状	腰本 さおり	アクティブラーニング：グループディスカッション
4	10/31	08:50-10:20	遠隔授業（同期型）	ライフステージ栄養	幼児期、成長期、成人期、妊娠期、老年期のライフステージに応じた栄養管理の必要性	腰本 さおり	アクティブラーニング：グループディスカッション
5	11/7	08:50-10:20	遠隔授業（同期型）	病態栄養(1)	糖尿病、腎臓病、脂質異常症、嚥下機能低下の食事療法の基本と治療食の特徴	腰本 さおり	アクティブラーニング：グループディスカッション
6	11/14	08:50-10:20	遠隔授業（同期型）	病態栄養(2)	高尿酸血症、膵炎、褥瘡、肝硬変、心不全腎の食事療法の基本と治療食の特徴	腰本 さおり	アクティブラーニング：グループディスカッション
7	11/28	08:50-10:20	遠隔授業（同期型）	日本人の食事摂取基準	「日本人の食事摂取基準 2020」を用いた栄養バランスの評価	腰本 さおり	アクティブラーニング：栄養価計算
8	12/12	08:50-10:20	遠隔授業（同期型）	栄養ケアとチーム医療	食・栄養に関連したチーム医療の必要性	腰本 さおり	アクティブラーニング：グループディスカッション

授業方法

講義形式の授業に加え、学生間でのグループワーク、プレゼンテーション等アクティブラーニングを実施する。

授業内容

栄養素の消化・吸収の機序を復習した後、糖尿病、腎臓病、脂質異常症、高血圧症等に対する栄養療法と治療食の特徴を学習する。また、出生からエンドオブライフまでの成長段階に応じた食形態の変化を理解する。実際に、自分の食事を栄養価計算し、食事摂取基準値と比較することにより栄養バランスを分析・評価する手法を習得する。さらに、人生の食の意味についてグループディスカッションを行うことにより、食生活の多様性や食と QOL の関連性を考察する。

成績評価の方法

1)定期試験:6割(一部には英語の問題を含める)→試験が 60 点だった場合、6 割×60 点=36 点

2)課題レポート:2割→評価が C(60 点)だった場合、2 割×60 点=12 点

3)平常点:2割(出席とグループディスカッションへの参加度)→全出席で 2 割満点=20 点

成績評価の基準

1)定期試験:選択式問題、記述問題から、栄養素の生理機能および栄養療法の理解度を評価。満点なら 60 点

2)課題レポート:論文形式「背景」「目的」「結果」「考察」「結論」になっていること。食事の栄養価計算が正確で将来起こりうる疾病との関連や改善点について考察されていること、さらに社会的背景(社会経済や生活環境)など視野を広げて現代社会における食生活が考察されていることを評価。満点なら 20 点

3)平常点:グループディスカッションで積極的に意見交換し発表するチーム力を評価。満点なら 20 点

成績は上記3つの合計点で評価する。総合点が 60 点以上の者を合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

・炭水化物、タンパク質、脂質の代謝に関係する消化酵素やホルモンについて理解し、ビタミンやミネラルの過剰症・欠乏症について復習しておくこと。

・患者さんが食事や栄養のことで、どのような悩みを抱えているのか考え、さらに、食を取り巻く社会的背景や世界の食糧事情にも関心を持って臨むこと。

・自分の食事の栄養価計算を行うため、毎日の食生活の問題点を振り返っておくこと。

・ブレイクアウトルームのディスカッションでは、積極的に発言しコミュニケーション能力を高めること。

試験の受験資格

1. 2/3 以上の出席 (出席:対面式の講義へ出席、Zoom では最初から最後までのログが確認できた場合)

2. Webclass に出席票(リフレクションペーパー)が期日までに提出されていること、授業参加状況は内容で確認する。

参考書

栄養学 - 人体の構造と機能 3 系統看護学講座 専門基礎分野 (第13版)／中村, 丁次, 1948-,:医学書院, 2020

臨床栄養学 ナーシング・グラフィカ 疾病の成り立ち 4 (第5版)／關戸啓子編,關戸, 啓子,:メディカ出版, 2020

エッセンシャル臨床栄養学 第 9 版／佐藤 和人 編集,田中 雅彰 編集,小松 龍史 編集,佐藤 和人,田中 雅彰,小松 龍史,:医歯薬出版, 2022-03-24

尿病食事療法のための食品交換表 第 7 版／日本糖尿病学会編著,日本糖尿病学会,:文光堂, 2013

日本食品成分表 2022 - 栄養計算ソフト・電子版付 (八訂)／医歯薬出版 編集,医歯薬出版,:医歯薬出版, 2022-02-14

日本人の食事摂取基準 2020 版／伊藤貞嘉, 佐々木敏 監修,伊藤, 貞嘉, 1954-,佐々木, 敏, 1957-,:第一出版, 2020

他科目との関連

生理学, 生化学の知識を応用するものであり, それらの知識を整理しておく必要がある。また、栄養状態は治療や予後に影響を及ぼす要因であり、本講義にとどまらず、各病態を学ぶ際にも食事摂取や栄養の吸収状態を把握し、発展させて学ぶ必要がある。

備考

・グループディスカッションと発表の時間を確保し、論理的思考力、コミュニケーション能力を高める。

・基礎的な栄養学に加えて、実臨床に役立つ発展的な栄養管理を学ぶ。

連絡先(メールアドレス)

廣岡 佳代:hirooka.kayo.chn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

廣岡 佳代:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

3 号館 18 階がんエンドオブライフ看護学

時間割番号	012014				
科目名	病態学			科目ID	MN-231000-L
担当教員	田中　真琴[TANAKA Makoto]				
開講時期	2022 年度通年	対象年次	2	単位数	5
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Clinical　Medicine

【科目責任者】田中　真琴

主な講義場所

WebClass による非同期型講義、ZOOM 等による同期型講義

授業の目的、概要等

看護学では様々な健康障害をもつ人々に対する看護支援の方法を習得する。それを実現するためには、そのような健康障害をもたらす病態・疾病についての基礎知識を有することが必須である。病態学では，主として成人期における臓器・器官別の様々な病態について、その発症機序と症候・診断・治療の概要を学ぶ。成人期に照準を合わせたこの病態学の基礎知識は，異なる発達段階にある人々の病態を学ぶ上でも基本となるものである。

授業の到達目標

講義は内科学的，外科学的立場から，保健衛生学科教官の他，内科系，外科系関連教員により行われる。それらの講義を通じて医学分化の趨勢に触れるとともに，器官系統別に主要な病態について内科学的，外科学的視点を統合して発症機序と症候に対する理解を深め，患者の身体を統合的に把握する上での看護の役割の重要性を理解する。

講義時間が少ないので自学実習により理解を確実にする態度を身に付けることが重要である。その経験を通して，他の発達段階にある場合の病態を理解する基盤とするとともに，臨地実習において講義を受けていない疾患の患者を受け持つ場合にも対応できるようにする。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/25	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	オリエンテーション　内科疾患総論1	・病態学の考え方と看護における意義　・内科学の概要および内科的診断・治療の基本的考え方	田中　真琴, 角　勇樹, 川本　祐子
2	5/16	10:30-12:00	遠隔授業(非同期型)	内科疾患総論2	・病態学の考え方と看護における意義　・内科学の概要および内科的診断・治療の基本的考え方	角　勇樹
3	5/16	13:00-14:30	遠隔授業(非同期型)	代謝疾患総論	・内分泌疾・代謝疾患の病態とその症候・機序，診断法と治療	小宮　力
4	5/18	10:30-12:00	遠隔授業(非同期型)	呼吸器内科①	・呼吸器疾患の病態とその症候・機序，診断法と治療	角　勇樹
5	5/23	13:00-14:30	遠隔授業(非同期型)	外科学総論	外科学総論	岩田　乃理子
6	5/25	10:30-12:00	遠隔授業(非同期型)	呼吸器内科②	・呼吸器疾患の病態とその症候・機序，診断法と治療	角　勇樹
7	5/30	10:30-12:00	遠隔授業(非同期型)	消化器疾患総論	・消化器疾患の病態とその症候・機序，診断法と治療	大島　茂
8	5/30	13:00-14:30	遠隔授業(非同期型)	腎疾患総論	・腎疾患の病態とその症候・機序，診断法と治療	須佐　紘一郎
9	6/1	10:30-12:00	遠隔授業(非同期型)	麻酔科①	・手術麻酔	内田　篤治郎
10	6/6	10:30-12:00	遠隔授業(非同期型)	形成外科疾患総論	形成・美容外科総論	森　弘樹
11	6/6	13:00-14:30	遠隔授業(非同期型)	呼吸器外科	・肺疾患の病態とその症候・機序，診断法，手術療法	藤原　直之
12	6/8	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	消化器内科(肝胆膵)	・消化器疾患の病態とその症候・機序，診断法と治療	柿沼　晴
13	6/13	13:00-14:30	遠隔授業(非同期型)	整形外科疾患総論	・四肢骨・関節疾患、外傷、脊椎疾患の病態とその症候・機序，診断法，手術療法	王　耀東

14	6/13	14:40-16:10	遠隔授業(非同期型)	皮膚科疾患総論	・皮膚疾患の病態とその症候・機序, 診断法, 手術療法	宇賀神 つかさ
15	6/15	10:30-12:00	遠隔授業(非同期型)	放射線診断	・放射線による画像診断の意義と方法	立石 宇貴秀
16	6/17	10:30-12:00	遠隔授業(非同期型)	耳鼻咽喉科学分野	・耳鼻咽喉科領域疾患の病態とその症候・機序, 診断法, 手術療法	堤 剛
17	6/20	08:50-10:20	遠隔授業(非同期型)	循環器内科①	・循環器疾患の病態とその症候・機序, 診断法と治療	笹野 哲郎
18	6/20	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	アレルギー疾患総論		
19	6/22	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	まとめ		田中 真琴, 川本 祐子
20	6/27	08:50-10:20	遠隔授業(非同期型)	循環器内科②	・循環器疾患の病態とその症候・機序, 診断法と治療	笹野 哲郎
21	6/27	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	腎臓内科・透析療法	透析療法	飯盛 聡一郎
22	6/30	08:50-10:20	遠隔授業(非同期型)	眼科疾患総論	・眼球疾患の病態とその症候・機序, 診断法, 手術療法	
23	6/30	10:30-12:00	遠隔授業(非同期型)	婦人科疾患総論	・婦人科疾患の病態とその症候・機序, 診断法, 手術療法	
24	7/6	08:50-10:20	遠隔授業(非同期型)	乳腺疾患総論	・乳房疾患の病態とその症候・機序, 診断法, 手術療法	中川 剛士
25	9/26	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	泌尿器科	・男性生殖器と尿路疾患の病態とその症候・機序, 診断法, 手術療法	
26	9/29	10:30-12:00	遠隔授業(非同期型)	血管外科	・血管疾患の病態とその症候・機序, 診断法, 手術療法	工藤 敏文
27	10/3	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	食道外科	・食道疾患の病態とその症候・機序, 診断法, 手術療法	
28	10/5	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	胃外科	・胃疾患の病態とその症候・機序, 診断法, 手術療法	
29	10/6	08:50-10:20	遠隔授業(非同期型)	神経内科①	・神経系疾患の病態とその症候・機序, 診断法と治療	赤座 実穂
30	10/6	10:30-12:00	遠隔授業(非同期型)	神経内科②		赤座 実穂
31	10/13	13:00-14:30	遠隔授業(非同期型)	大腸肛門外科	・下部消化管疾患の病態とその症候・機序, 診断法, 手術療法	岩田 乃理子
32	10/17	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	膠原病内科	・膠原病の病態と症候・機序, 診断法と治療	保田 晋助
33	10/20	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	脳神経外科		
34	10/24	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	麻酔②	・ペインクリニック	大畑 めぐみ
35	10/28	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	放射線治療	・放射線による治療の意義と方法	桑原 宏文
36	11/14	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	心臓血管外科	・心臓疾患の病態とその症候・機序, 診断法, 手術療法	水野 友裕
37	11/28	10:30-12:00	遠隔授業(非同期型)	頭頚部外科	・中枢神経系疾患の病態とその症候・機序, 診断法, 手術療法	朝蔭 孝宏
38	11/28	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	血液内科	・血液疾患の病態とその症候・機序, 診断法と治療	山本 正英
39	12/2	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	肝胆膵外科	・肝・胆・膵疾患の病態とその症候・機序, 診断法, 手術療法	小野 宏晃
40	12/12	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	まとめ	まとめ	田中 真琴

授業方法

WebClass による非同期型講義、ZOOM 等による同期型講義、グループワーク、プレゼンテーションを実施する。

(注)予定担当者は、講師の異動や救急業務に伴い講師名および講義日の変更が生じる場合がある。

授業内容

⑴ 内科的診断・治療の基本的考え方について理解する。

⑵ 内科的治療を要する主要疾患について，器官系統別の自然経過，病態，検査・診断および治療の概要を理解する。

⑶ 外科的治療を要する疾患について，共通する病態および基本的処置・管理について理解する。

⑷ 外科的治療を要する疾患について，器官系統別の自然経過，病態，検査・診断，手術・治療，および術前・術後管理の概要を理解する。

成績評価の方法

授業への参加状況および前期・後期に筆記試験により評価する。

各講師より出題されるので，全ての総合知識が要求される（内科・外科計100問以上出題）。

小テストの成績等も加味する。

なお、筆記試験の一部に英語の問題を出題する。

成績評価の基準

出席率・小テスト・授業の参加 30%、試験結果 70%

準備学習等についての具体的な指示

教科書・参考書の該当箇所について予習をして臨むこと。

参考書

臨床病態学 : 看護のための臨床病態学 第 4 版／浅野嘉延，吉山直樹編,浅野，嘉延,吉山，直樹,:南山堂，2020

臨床外科看護総論 第 11 版／矢永勝彦，高橋則子編 ; 矢永勝彦 [ほか] 執筆,矢永，勝彦,高橋，則子,芦塚，修一,石田，祐一,衛藤，謙,:医学書院，2017

標準外科学 第 15 版／坂井義治，田邉稔，池田徳彦編集,北野，正剛,田邉，稔(外科学),池田，徳彦,坂井，義治,:医学書院，2019

病気がみえる vol.1 消化器 第 5 版／医療情報科学研究所 編集,医療情報科学研究所,:メディックメディア，2016

病気がみえる vol.2 循環器 第 4 版／医療情報科学研究所 編集,医療情報科学研究所,:メディックメディア，2017

病気がみえる vol.3 糖尿病・代謝・内分泌 第 5 版／医療情報科学研究所 編集,医療情報科学研究所,:メディックメディア，2019

病気がみえる vol.4 呼吸器 第 3 版 ／医療情報科学研究所 編集,医療情報科学研究所,:メディックメディア，2018

病気がみえる vol.5 血液 第 2 版／医療情報科学研究所 編集,医療情報科学研究所,:メディックメディア，2017

病気がみえる vol.6 免疫・膠原病・感染症 第 2 版／医療情報科学研究所 編集,医療情報科学研究所,:メディックメディア，2018

病気がみえる vol.7 脳・神経 第 2 版／医療情報科学研究所 編集,医療情報科学研究所,:メディックメディア，2017

病気がみえる vol.8 腎・泌尿器

病気がみえる vol.9 婦人科・乳腺外来

病気がみえる vol.11 運動器・整形外科

病気がみえる vol.12 眼科

病気がみえる vol.13 耳鼻咽喉科

病気がみえる vol.14 皮膚科

他科目との関連

看護の対象となる人々の疾患や障害を理解するためには，解剖学，生理学，病理学の知識を基盤にして病態を理解する必要がある。病態学では，単なる知識の集積にとどまらず，これら専門基礎科目で学習した事柄を関連づけて考えることが重要である。

履修上の注意事項

教科書・参考書の該当箇所について予習をして臨むこと。

連絡先（メールアドレス）

田中 真琴:tanaka.cc@tmd.ac.jp 3 号館 19F

オフィスアワー

田中 真琴:月曜～金曜 AM9:00-PM18:00

不在時間、対応出来ない時間もあるため、質問や相談時は、事前連絡をすることが望ましい

時間割番号	012015A				
科目名	Global Nursing Communication Ⅰ			科目ID	MN-211200-L
担当教員	近藤 暁子, JANELLE RENEE MOROSS[KONDO AKIKO, JANELLE RENEE MOROSS]				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	2	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Global Nursing Communication Ⅰ

【科目責任者】近藤暁子

クラスは英語で行う

主な講義場所

遠隔授業（同期型）,Zoom ID/Passcode はクラスによって違います。（WebClass 参照）

授業の目的、概要等

事前課題の体と医療に関連する記事を読んで、英語でクラス・ディスカッションの準備をして講義に参加する。 また、各レッスンの最後に、看護師と患者のロールプレイを実施して、患者に医療処置を説明する方法を学ぶ。 レッスン 15 では、口頭試験のロールプレイ（インストラクター：患者/学生：看護師）を行う。

学生は1年次の英語クラスレベルに基づいて、3つのクラスに割り振られる。 ネイティブレベルの英語講師がクラス全体で概念を紹介し、その後 Zoom Breakout Rooms に分かれて学生同士でディスカッションを行う。

学生は、日本とは違う文化を持つ英語講師との交流や LGBTQ について学ぶことで、英語のみならず、異文化を持つ対象を理解し、異文化間感受性能力を向上させる。

授業の到達目標

さまざまな身体システムの理解を深め、患者に手順を説明し、ディスカッションスキルを向上させ、英語で自分の意見を述べることができる（リベラルアーツ英語コースに基づくクラスレベル）

異文化間感受性能力が向上する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/6	13:00-14:30	遠隔授業（同期型）		クラス紹介と体の部分	近藤 暁子, JANELLE RENEE MOROSS, MARIA GIANINA MAYO, ウルフ 友子	(WebClass に資料がある)
2	4/13	13:00-14:30	遠隔授業（同期型）		眼科/目の検査	近藤 暁子, JANELLE RENEE MOROSS, MARIA GIANINA MAYO, ウルフ 友子	(WebClass に資料がある)
3	4/20	13:00-14:30	遠隔授業（同期型）		心臓病/心電図	近藤 暁子, JANELLE RENEE MOROSS, MARIA GIANINA MAYO, ウルフ 友子	(WebClass に資料がある)
4	4/20	14:40-16:10	遠隔授業（同期型）		呼吸器系/肺活量測定	近藤 暁子, JANELLE RENEE MOROSS, MARIA GIANINA MAYO, ウルフ 友子	(WebClass に資料がある)
5	4/27	13:00-14:30	遠隔授業（同期型）		消化器病学/上部消化管	近藤 暁子, JANELLE RENEE MOROSS, MARIA GIANINA MAYO, ウルフ 友子	(WebClass に資料がある)
6	5/11	13:00-14:30	遠隔授業（同期型）		内分泌学/血糖	近藤 暁子, JANELLE RENEE MOROSS, MARIA GIANINA MAYO, ウルフ 友子	(WebClass に資料がある)
7	5/18	13:00-14:30	遠隔授業（同期型）		泌尿器科/尿検査	近藤 暁子, JANELLE RENEE MOROSS, MARIA GIANINA MAYO, ウルフ 友子	(WebClass に資料がある)
8	5/25	13:00-14:30	遠隔授業（同期型）		神経学/脳波 LGBT 講義	近藤 暁子, JANELLE RENEE MOROSS, MARIA GIANINA MAYO, ウルフ 友子	(WebClass に説明・資料がある)

9	6/1	13:00-14:30	遠隔授業（同期型）		神経学/脳波 LGBT 講義	近藤 暁子, JANELLE RENEE MOROSS, MARIA GIANINA MAYO, ウルフ 友子	(WebClass に説明・資料がある)
10	6/8	13:00-14:30	遠隔授業（同期型）		心理学/うつ病	近藤 暁子, JANELLE RENEE MOROSS, MARIA GIANINA MAYO, ウルフ 友子	(WebClass に資料がある)
11	6/15	13:00-14:30	遠隔授業（同期型）		筋骨格系/骨粗鬆症	近藤 暁子, JANELLE RENEE MOROSS, MARIA GIANINA MAYO, ウルフ 友子	(WebClass に資料がある)
12	6/22	13:00-14:30	遠隔授業（同期型）		免疫システム/予防接種	近藤 暁子, JANELLE RENEE MOROSS, MARIA GIANINA MAYO, ウルフ 友子	(WebClass に資料がある)
13	6/29	13:00-14:30	遠隔授業（同期型）		外皮系/アトピー性皮膚炎	近藤 暁子, JANELLE RENEE MOROSS, MARIA GIANINA MAYO, ウルフ 友子	(WebClass に資料がある)
14	7/6	10:30-12:00	遠隔授業（同期型）		生殖システム/出産前ケア	近藤 暁子, JANELLE RENEE MOROSS, MARIA GIANINA MAYO, ウルフ 友子	(WebClass に資料がある)
15	7/6	13:00-14:30	遠隔授業（同期型）	期末テスト	口頭試問と作文	近藤 暁子, JANELLE RENEE MOROSS, MARIA GIANINA MAYO, ウルフ 友子	(WebClass に説明がある)

授業方法

小テスト(WebClass)、クラス全体のトピック概要、少人数グループディスカッション、ロールプレイ

授業内容

授業スケジュール参照

成績評価の方法

Vocabulary test

Class participation

Final exam: oral and essay

TOEFL

成績評価の基準

Vocabulary test: 20%

Class participation: 30%

Final exam: oral and essay: 35%

2022 TOEFL: 15%

準備学習等についての具体的な指示

毎回課題の事前学習をして質問に対する答え考え、その内容及び講義資料を持参すること。単語テストのための予習。ロールプレイの準備もしてくること。

試験の受験資格

口頭試問と作文、後期の最後のレッスンに行います。

教科書

WebClass に資料がある

履修上の注意事項

事前学習は必ず実施してくること。指定された記事を読んでディスカッションの準備をして授業に参加する。WebClass の授業開始時に行う 10 分間の語彙小テストの準備をしてくること。受験は 1 回のみであり、遅刻厳禁。5 分前には ZOOM にログインすること。　このコースの最初と最後に異文化感受性に関する調査を実施して、このコースが異文化間感受性の向上に与える影響を判断する。 また、このコースの途中に 2 回と最後に、LGBTQ の知識に関する調査も行う。 学生の回答内容は成績には関係なく、学生の知識がコースを通してどのように変化したかについて考えることができる。

備考

授業の最終日には、WebClass でアンケートを実施する。 回答は成績に影響しないが、アンケートに回答しない場合、定期試験の合格/不合格を含む成績は WebClass に表示されない。

連絡先(メールアドレス)

近藤　暁子:akondo.ind@tmd.ac.jp

JANELLE　RENEE　MOROSS:jmoross.isc@tmd.ac.jp

オフィスアワー

近藤　暁子:オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡してから訪問すること。

国際看護開発学教授室(3 号館 18 階)

JANELLE　RENEE　MOROSS:予約をしたい方は電子メールを送ってください。

時間割番号	012016				
科目名	専門基礎合同演習			科目ID	MN-251300-S
担当教員	伊藤 南[ITO MINAMI]				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	2	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Practice of Medical Sciences

【科目責任者】伊藤 南

主な講義場所

3号館7階、保健衛生学実習室3 または 遠隔

授業の目的、概要等

本学科の特徴をいかすべく, 平成 11 年度から発足した大綱化カリキュラムに必修科目として組み入れられた新科目で, 看護学専攻の専門基礎科目についての実習を統合し, 専門基礎合同演習として 8 回の実習を行う。

授業の到達目標

専門基礎科目の解剖学, 生理学, 生化学, 薬理学, 病理学, 微生物学の各担当科目について演習を行い, 専門基礎科目を学んでいく上で基礎となる幅広い知識や技術を習得する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-3	5/17	13:00-17:50	遠隔授業(同期型)	生化学	核酸の化学(DNA の抽出と精製)	鈴木 喜晴
4-6	5/31	14:00-18:50	保健衛生学実習室, 遠隔授業(同期型)	解剖学	骨学実習・肉眼解剖学実習	星 治, 藤代 瞳
7-9	6/7	13:00-17:50	保健衛生学実習室, 遠隔授業(同期型)	解剖学	骨学実習・肉眼解剖学実習	星 治, 藤代 瞳
10-12	6/14	13:00-17:50	遠隔授業(同期型), 遠隔授業(非同期型)	生理学	心電図	柿沼 晴
13-15	6/20	13:00-17:50	遠隔授業(同期型)	細菌学	細菌の染色	齋藤 良一, 太田 悠介
16-18	6/21	13:00-17:50	遠隔授業(非同期型)	細菌学	細菌の培養	齋藤 良一, 太田 悠介
19-21	7/7	13:00-17:50	保健衛生学実習室	病理学	病理解剖体肉眼観察	副島 友莉恵, 新宅 洋

授業方法

対面形式での実習、遠隔(同期、非同期)講義を含む。授業方法は各講師により異なるので、指示に従って実習を行う。コロナ肺炎等の感染症対策は大学の方針に従う。状況により授業方法の変更等がある場合は随時連絡する。

授業内容

1-3 生化学 核酸の化学(DNA の抽出と精製)

4-9 解剖学 骨学実習・肉眼解剖学実習

なお、解剖体見学は医学科の都合上、前期定期試験後に希望者を対象に行う。

10-12 生理学 心電図

13-15 細菌学 細菌の染色

16-18 細菌学 細菌の培養

19-21 病理学 病理解剖体肉眼観察

成績評価の方法

各演習科目において, 試験, 提出レポート, 標本スケッチ等により, 担当教員が個々に成績評価をおこなった後, 生体検査科学専攻主任が総合的に判定をおこなう。

成績評価の基準

各演習科目において, 試験, 提出レポート, 標本スケッチ等により, 担当教員が個々に成績を評価する。到達目標に達したものは6点、優れたものは8点、希に優れたものは10を目安に評価する。実習への参加状況、実習への取り組みや提出課題が優れていること考慮する。5人の担当教員の評価を合算したのち、総合成績(100点満点)に換算して評点とする。総合成績が60点以上のものを合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

随時、各担当教員より指示する。

試験の受験資格

オムニバス形式の実習であるので、原則としてすべての実習に出席することを求める。出席の確認は各講師の指示に従うこと。講義の無断欠席や無断早退が認められた場合には出席の用件を満たさないものとすることがある。特段の理由があると認められる場合には、代替法を担当教員より指示する。全体として 2/3 以上の出席が認められなければ評価しない。
教科書 特に指定しない。
他科目との関連 基礎ならびに専門の看護学に関係する全ての科目に関連している。
履修上の注意事項 全演習の出席を原則とする。演習に関しての詳細は各担当教員に確認すること。　実習は白衣着用のこと。
連絡先（メールアドレス） 伊藤　南:minami.bse@tmd.ac.jp、
オフィスアワー 伊藤　南:3号棟16階　生体機能支援システム学教授室 随時対応しますので、事前にメール等で連絡して下さい。

時間割番号	012017				
科目名	医療情報学			科目ID	MN-231400-L
担当教員	福井　小紀子, 本間　達[FUKUI Sakiko, HOMMA SATORU]				
開講時期	2022 年度後期	対象年次	2	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Medical Informatics

【科目責任者】福井　小紀子

授業の目的、概要等

看護学分野における医療情報の関わりを中心に，基礎的なアプリケーションソフトの実習から，オペレーティングシステムとネットワークの基礎知識，電子カルテを中心とする情報セキュリティの対策，および ICT の利用による遠隔医療や最先端の医学情報の検索まで，講義と実習を行なう.

授業の到達目標

総合的には，医療情報を正確かつ迅速に扱うために必要なコンピュータの基礎知識の修得と，これを活用してアプリケーションソフトなどを使いこなす基礎能力の修得を目標とする.

各回の目標は以下の通りである.

第 1-2 回　コンピュータの OS とアプリケーションについて基本的知識を習得し，実践できる.

第 3-4 回　コンピュータネットワークについて基本的知識を習得し，実践できる.

第 5-6 回　データの保護についてについて基本的知識を習得し，実践できる.

第 7-8 回　ITC における個人情報の保護について基本的知識を習得し，実践できる.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	11/8	13:00-14:30	遠隔授業（非同期型）	医療情報学概論	医療情報学の基礎を学ぶ。	本間 達
2	11/8	14:40-16:10	遠隔授業（非同期型）	情報リテラシー実習 1	アプリケーションソフトの基礎的な操作実習を行う。	本間 達
3	11/9	13:00-14:30	遠隔授業（非同期型）	コンピュータネットワークの基礎	ICT の基本であるコンピュータネットワークの基本構成について学ぶ	本間 達
4	11/9	14:40-16:10	遠隔授業（非同期型）	情報リテラシー実習 2	ネットワーク操作技術についての操作実習を行なう。	本間 達
5	11/18	08:50-10:20	遠隔授業（非同期型）	医療ネットワークへの接続	電子カルテなど医療従事者として患者情報を取り扱う際の法的な制限とこれに基づくアクセス制限などの必要性を学ぶ.　また，ICT を応用した遠隔医療などの最新技術についても紹介する.	本間 達
6	11/18	10:30-12:00	遠隔授業（非同期型）	情報リテラシー実習 4	医療文献を実際に検索する実習を行う。	本間 達
7	11/30	13:00-14:30	遠隔授業（非同期型）	医療情報の保護	様々なウイルスやマルウェアなどにより，ネットワークに接続したコンピュータから情報が漏洩する危険性がある。この危険性とともに，これらを防止するための様々な基本的技術について学ぶ。	本間 達
8	11/30	14:40-16:10	遠隔授業（非同期型）	情報リテラシー実習 3	ファイアウォールやセキュリティソフトの設定方法やウイルス検出時の対処方法などにかんする操作実習を行なう。	本間 達

授業方法

非同期の遠隔講義によって行う。

アクティブラーニングとして、ビデオ中で示したやり方に従って，各自で課題をこなす。

課題内容はビデオの最後と配布資料で提示する。

授業内容

看護の現場などにおいて必要とされる ICT の活用を初めとする情報学の基礎を学ぶ.

成績評価の方法

1.筆記試験，2.各回の課題，3.出席状況(ビデオ閲覧状況）について総合的に評価する.

準備学習等についての具体的な指示

レポート作成や Web ページ閲覧・e-mail などのために，日常的に使用しているコンピュータやスマートホンなどの情報端末について説明書を精読しておくことが望ましい.

また，参考書として紹介した本などを含め，情報科学に関連する成書により関連知識を予習しておくこと。

試験の受験資格

大学の規定に従う

参考書

ナースのための遠隔情報管理システム : ネットワークを利用した看護と福祉／若松秀俊 著:真興交易医書出版部, 2007

看護情報学 第 3 版／中山 和弘 著:医学書院, 2021-01-12

他科目との関連

情報科学(1 年)，保健統計学(4 年)などと関連が深い.

履修上の注意事項

講義内容の復習となるので，レポートを必ず作成し提出すること.

備考

情報検索室(M&D タワー4 階)は基本的に開放されている。本講義により学んだことをレポート作成等にただちに反映するのが望ましい.

2020 年度の授業評価では特に改善が必要な点はなかったが、引き続きアクティブラーニングを用いて能動的に学習できるよう工夫する.

連絡先(メールアドレス)

福井 小紀子:fukuisakiko.chn@tmd.ac.jp

本間 達:hommtec@tmd.ac.jp

オフィスアワー

福井 小紀子:毎週水曜日 AM10:00-12:00 3 号館 19 階福井教授室

時間割番号	012018				
科目名	保健医療福祉制度論			科目ID	MN-231500-L
担当教員	森田　久美子[MORITA KUMIKO]				
開講時期	2022 年度後期	対象年次	2	単位数	2
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Health and welfare System

【科目責任者】森田久美子

主な講義場所

遠隔授業（同期型）

授業の目的、概要等

保健医療福祉制度は、関連する制度も含めると「社会保障制度」になる。社会保障とは、5 つの社会保険(年金・医療・介護・雇用・労災)、福祉(児童・障害者・高齢者・女性などの社会的弱者対象)、生活保護、公衆衛生、医療体制と、大変幅広い分野からなる多種多様で複雑難解な制度である。しかし知識がないと申請できないという根本的な問題を抱えるため、社会保障教育が重要となる。

日本は世界一の超少子高齢社会になり、家族・地域の支えあい機能も低下して、個人の努力範囲を超える人生のリスクは高まっている。さらに世界大不況の影響で生活は不安定になり、雇用保険、生活保護などの受給者も増加している。老後や失業に備えて貧困を予防する社会保険加入が重要となるが、非正規社員の増加により社会保険のあり方も見直しを迫られている。

家族に代わる社会支援の割合が増しているが、長寿化で支援を受ける人が増加し、少子化で税金・社会保険料を負担して社会保障を支える現役世代は減少するという、財源的に厳しい時代に入った。このような受給バランスが崩れた社会において、社会保障制度を安定維持するには、あらゆる年齢の国民が健康寿命を意識し、生涯安定した収入を得ながら自立した生活ができる社会支援が必要になっている。

社会保障制度は、国民の人生・生活を安定させることで社会を安定・発展させる、車の両輪の役割を持っている。経済発展と社会保障教育で自立した国民を増やし、利用者のモラルを高めながら社会保障制度をより効果的に実施する「良い循環」をもたらす施策が求められる。

授業の到達目標

保健医療福祉に携わる専門職の対象は「人」であり、傷病・要介護・障害・失業・貧困など様々な複合リスクとニーズを抱えている。それを的確に把握して、尊厳も大切にしながら信頼関係を築き、多様な社会サービスにつなげることで、利用者主体の自立を支援する重要な職種である。またチーム医療の時代に入り、他の医療職や福祉職・ボランティアとの連携も重要になっており、地域福祉も含めた社会保障制度の知識とコミュニケーション能力が求められる。

ネットワークの中で、社会的弱者の実態把握、必要な自立支援を検討することにより総合的・効果的な支援ができる医療職を目指す。

＜各回の到達目標＞

1，2回目：健康と公衆衛生の重要性について理解し、説明できる。

3，4回目：児童福祉、障害者福祉制度について説明できる。

5，6回目：公的介護保険制度について説明できる。

7，8回目：公的年金制度について説明できる。

9，10 回目：高齢者福祉制度、生活保護等の低所得者対策について説明できる。

11，12 回目：公的医療保険制度について説明できる。

13，14 回目：災害時の保健医療福祉について説明できる。

15，16 回目：雇用保険、労災について説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-2	9/30	13:00-16:10	遠隔授業（同期型）	保健医療福祉制度論	「総論・健康と公衆衛生」社会・家族の変化、人口動態、人口静態、超少子高齢化の現状と社会保障の重要性・今後の課題、感染対策、地球環境の保護　他	森田　久美子
3-4	10/7	13:00-16:10	遠隔授業（同期型）	保健医療福祉制度論	「児童福祉制度・障害者福祉制度」児童福祉の歴史、少子化対策、保育所・学童保育の整備、社会的養護の種類、児童虐待、1人親家族の支援、障害者の自立支援サービスの種類と利用負担、共生社会の実現、就労支援、各優遇制度　他	青木　利江子，森田　久美子
5-6	10/14	13:00-16:10	遠隔授業（同期型）	保健医療福祉制度論	「公的介護保険制度」介護保険の目的・仕組・現状、制度改正の変遷、介護認定、介護予防・介護給付の違い、介護の専門職種、保険料の	森田　久美子

					地域格差、利用負担、低所得者の負担軽減、高額介護サービス費、介護報酬他	
7-8	10/21	13:00-16:10	遠隔授業（同期型）	保健医療福祉制度論	「公的年金制度」障害年金・遺族年金・老齢年金、公的年金の課題、各種年金基金他	青木 利江子, 森田 久美子
9-10	11/11	13:00-16:10	遠隔授業（同期型）	保健医療福祉制度論	「高齢者福祉制度」介護保険以外の生活支援、入所施設の種類、自治体独自の制度、虐待の現状他	森田 久美子
11-12	11/18	13:00-16:10	遠隔授業（同期型）	保健医療福祉制度論	「公的医療保険制度・医療体制の整備」日本の医療保険の特徴、歴史、職業別の健康保険制度、保険料と国庫負担、高額療養費制度、診療報酬、長寿医療制度、傷病・出産手当、医療体制、過剰病床問題他	青木 利江子, 森田 久美子
13-14	12/9	13:00-16:10	遠隔授業（同期型）	保健医療福祉制度論	「災害時の保健医療福祉」災害時に必要な対応、居住地域の災害対策、災害要配慮者対策など、グループディスカッションすることで、日本の制度を見直す視点にする。	青木 利江子, 森田 久美子
15-16	12/16	13:00-16:10	遠隔授業（同期型）	保健医療福祉制度論	「雇用保険・労災」雇用状況、労働力・失業率の動向、雇用保険のしくみ、業務災害補償制度、労災保険の対象者・保険料、労災の認定基準 他	森田 久美子

授業方法

・同期授業

ZOOM にて実施する。講義では、適宜ブレイクアウトルームに分かれてグループでディスカッション、アクティブラーニングを行う。ディスカッションをもとに内容をまとめ、グループごとに発表をするので積極的に参加すること。

授業内容　授業スケジュール参照

成績評価の方法

学期末定期試験 70%, 討論課題 10%、講義後レポート 20%などによりにより評価する。なお、定期試験の一部に英語の問題を出題する。

成績評価の基準

上記の成績評価の方法に示す各項目の成績の合計により評価を行う。試験問題は、授業の到達目標に達しているかを評価し、そのことが確認されたところ(100 点満点で 60 点以上が目安)で合格とする。なお、リアクションペーパーでの、重要な質問や、誤りの指摘などがあった場合には、最終評価において加点されることがある。

準備学習等についての具体的な指示

保健医療福祉制度に関連するニュース、新聞記事などには必ず目を通し、最新の情報を得るように努めること。

試験の受験資格

同期型の授業に 2/3 以上出席し、かつ講義に関連する課題を全て提出したものに定期試験の受験資格を与える。

なお、特別に勘案すべき事情があり指示を達成できない場合には、その事情とともに締切期日が過ぎる前に科目責任者にメールで連絡をすること。なお、緊急の場合には電話で連絡しても良いが、その後メールすること。連絡ができないような特別な事情がある場合にはその限りではない。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には、事情に応じてレポートなどで対応することとする。

参考書

国民衛生の動向、国民の福祉の動向、保険と年金の動向、厚生労働白書、
厚生統計要覧、社会保障年鑑など
その他　厚生労働省・文部科学省・内閣府のホームページ、制度ごとの情報冊子・リーフレット

他科目との関連

地域保健看護学、地域精神看護学、老年看護学、保健統計学、看護管理学・看護経済論などの分野と一部内容が重複するが、各制度の全体像を体系的に把握して整理しておくことが医療職として重要である。

履修上の注意事項

保健医療福祉制度は頻繁に改正されるため、常に最新情報を収集できるよう関心を持ち続け、幅広い相談に乗れる医療専門職をめざす。就職後の自分の人生にも役立つ。

備考　・2021 年度からの改善点

討論課題について 2021 年度は非同期型の自己学習をもとに討論を行ったが、難しいとの意見があったので 2022 年度は同期型で解説後に討論を実施することとする。

連絡先(メールアドレス)　森田　久美子:morita.phn@tmd.ac.jp

オフィスアワー　森田　久美子:10:00-17:00 3 号館 15 階地域健康増進看護学研究室

時間割番号	014001				
科目名	AI 実践演習			科目 ID	
担当教員	角　勇樹[SUMI YUKI]				
開講時期	2022 年度通年	対象年次	2～4	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：AI Practice Exercise

【科目責任者】角　勇樹

主な講義場所

Zoom による同期および非同期

授業の目的、概要等

プログラミングを行い、実行することにより AI について active learning を行う

授業の到達目標

AI について様々な基本的概念を実践して経験し、将来的な学習の方向性を理解する

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/29	16:20-17:50	遠隔授業（同期型）	Anaconda のインストール、Python の基礎、Graphical User Interface	IDE(Integrated Development Environment, 統合開発環境) の構築、Python 基本的文法、tkinter の使い方	角　勇樹
2	10/6	16:20-17:50	遠隔授業（同期型）	Anaconda のインストール、Python の基礎、Graphical User Interface	DE(Integrated Development Environment, 統合開発環境) の構築、Python 基本的文法、tkinter の使い方	角　勇樹
3	10/20	16:20-17:50	遠隔授業（同期型）	画像の扱い方	PIL の使い方	角　勇樹
4	11/10	16:20-17:50	遠隔授業（同期型）	行列、表の扱い方	panda を使い Excel とデーターのやりとり、numpy の使い方	角　勇樹
5	11/17	16:20-17:50	遠隔授業（同期型）	グラフの作り方	matplotlib の使い方	角　勇樹
6	11/24	16:20-17:50	遠隔授業（同期型）	AI その 1	NN(neural network)、Deep learning(深層学習)、Fully Connected Layer(全結合層)、Backpropagation(逆誤差伝搬)、誤差関数、データー拡張、k 分割交差検証	角　勇樹
7	12/8	16:20-17:50	遠隔授業（同期型）	AI その 2	畳み込み(convolution neural network)、Max pooling	角　勇樹
8	12/15	16:20-17:50	遠隔授業（同期型）	AI その 3	過学習、Dropout、Batch normalization、残差ネットワーク (Residual network)、転移学習	角　勇樹

授業方法

基本的概念を同期および非同期授業にて学習し、例として提示されたプログラムを改変して提示された課題提出により成績判定を行うので、自主的にプログラミングし課題を提出すること

授業内容

課題提出により成績判定を行うので、自主的にプログラミングし課題を提出すること

成績評価の方法

複数の課題提出内容により成績判定を行う

成績評価の基準

課題提出内容を相対評価し、成績をつける。課題提出を行わなかった場合、提出内容が要求水準を満たさないことが続いた場合には単位認定を行わない。

準備学習等についての具体的な指示

「医療と AI・ビッグデータ入門」を履修している必要がある。

Python について基本的な事項は理解していることが望まれる。

試験の受験資格

課題提出により成績判定を行うので、自主的にプログラミングし課題を提出すること

他科目との関連
「医療と AI・ビッグデータ入門」、「医療と AI・ビッグデータ入門」と　関連がある
履修上の注意事項
「医療と AI・ビッグデータ入門」を履修している必要がある。
備考
希望する学生にはクラウド上の高速 deep learning server アクセス権限を付与する。
連絡先（メールアドレス）
角　勇樹:ysumi.pulm@tmd.ac.jp
オフィスアワー
角　勇樹:毎週 月−金 曜日 AM.9:00−PM.17：00　3 号館 16 階 呼吸器・神経系解析学教授室 （来室の前にメールで予約してください）

時間割番号	012081				
科目名	Learning Medical English			科目ID	MN-492500-L
担当教員	大川 龍之介, 副島 友莉恵, 赤座 実穂, 太田 悠介[OKAWA RYUNOSUKE, SOEJIMA YURIE, AKAZA MIHO, OOTA Yuusuke]				
開講時期	2022 年度後期	対象年次	2～4	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

Learning Medical English

【科目責任者】大川 龍之介

主な講義場所

別途シラバスに記載。

授業の目的、概要等

現在、多くの人々が海外旅行し、多くの物資が世界中に運ばれ、多量の情報がインターネットで流れ、国際化が進んでいる。また明日を担う本学の看護学生、臨床検査学生は、世界を舞台にして活躍することが期待されている。そのためには、単なる日常英会話能力だけでなく、臨床の現場で用いる用語や患者との接遇に用いる用語など、医療における英語の知識を学ばなければならない。さらに、英語の文献を読む力、国際学会での英語のプレゼンテーション能力も身に着ける必要である。

本科目では前半では採血、検体検査、生理機能検査に関連した英語、患者への接遇について、後半では、国際誌の読み方、国際学会でのプレゼンテーションの仕方について学ぶ。募集の上限は看護、検査合わせて 12 名である。応募者が多い場合には書類、面接などにより選抜する。

授業の到達目標

本科目の到達目標は臨床の現場、国際誌、国際学会でのプレゼンテーションで用いる様々な医学英語を学び活用できることにある。学生は教科書にある基本的な英単語や語句を理解し記憶する事が求められる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	12/2	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	第1, 2章 やさしい英語, 役立つ英語, 血液検査	大川 龍之介
2	12/14	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	第3, 4章 尿検査, 便検査	大川 龍之介
3	12/19	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	第5～7章 生理機能検査①	赤座 実穂
4	12/19	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	第8～11章 生理機能検査②	赤座 実穂
5	12/21	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	第Ⅱ編 論文の読み方①	太田 悠介
6	12/21	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	第Ⅱ編 論文の読み方②	太田 悠介
7	12/23	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	第Ⅱ編 国際学会でのプレゼンテーション①	副島 友莉恵
8	12/23	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	第Ⅱ編 国際学会でのプレゼンテーション②	副島 友莉恵

授業方法

zoom による講義形式(同期型)。

授業内容

4 名の教員によるオムニバス形式

成績評価の方法

講義参加状況、小試験の成績、講義時の積極性により評価する。

1)講義の参加状況 10 点

2)小試験の成績 80 点

3)講義時の積極性 10 点

成績評価の基準

1), 2), 3)の合計が 60 点に達した場合に合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

毎回、授業前に、教科書の章を予習すること。また各担当教員の二回目の授業の最初に前回学習分の理解度を知るための小試験を行うので、復習をしておくこと。

試験の受験資格

授業に3分の2以上出席した者

教科書

臨床検査技師のための医学英語 : 実用会話・文献の読み方／奈良信雄, 西元慶治著,奈良, 信雄,西元, 慶治,Petersen, Mark,:医歯薬出版, 2019

参考書

特に指定しない。

履修上の注意事項

3 回以上欠席の場合は不可とするので出席に注意すること。

備考

科目終了後に科目についてのアンケートを WebClass で実施する。

2021 年度の授業評価結果を踏まえ、2022 年度も引き続き、丁寧に指導・教育できる体制を整える。

連絡先（メールアドレス）

大川 龍之介:ohkawa.alc@tmd.ac.jp

オフィスアワー

大川 龍之介:特定の日時を確保できないためメールでアポイントメントを取ってください.

時間割番号	012086				
科目名	実践看護英語 I			科目 ID	MN-292800-L
担当教員	近藤 暁子, 高野 歩[KONDO AKIKO, TAKANO Ayumi]				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	2	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Practicum of English for Nursing I

【科目責任者】近藤暁子

主な講義場所

ZOOM

授業の目的、概要等

異文化や看護、健康に関連する概念について英語で学ぶ。様々な文化についての記事を読み、海外の学生、留学生やクラスメートと英語でディスカッションを行う。オンライン学習システムを使用してインドネシアの学生と交流する。日本の文化を理解し、日本文化以外を持つ対象に説明したり、ディスカッションする。これらの学習を通して異文化の理解とともにコミュニケーション能力を向上させ、国際性を高めることを目的とする。

授業の到達目標

1. 幅広い教養と高い専門知識・技術の修得

異文化を理解し、看護への応用について考察できる。日本文化について理解を深め、説明できる。

2. 医療人としての豊かな感性と人間性の形成

文化の異なる海外の大学の学生、外国人講師、留学生とのディスカッションを通して様々な文化、社会的視点について類似点や相違点を理解し、英語で理解したことを述べることができる。

3. 問題提起・解決能力の修得

ディスカッションを通して他者との意見の違いを理解し、自分の意見を述べ建設的な議論ができる。

4. 自己学習能力・創造性の形成

ディスカッションを通して新たな視点を自身のアイデンティティーに取り入れて表現できる。レジリエンスの概念を看護実践にどのように取り入れるか自分の意見を述べることができる。

5. 国際性の形成

ネイティブの教員、インドネシアの学生及び留学生と建設的なディスカッションを行うことで、英語でのコミュニケーションに慣れ、躊躇なく行えるようなコミュニケーション能力を身に付ける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/13	08:50-10:20	遠隔授業（同期型）	異文化理解	Introduction & Orientation Japanese and Indonesian culture	近藤 暁子, Iqbal Pramukti	Iqbal Pramukti
2	4/20	08:50-10:20	遠隔授業（同期型）	異文化理解	International students' presentation about their culture	近藤 暁子	留学生と英語でディスカッションする
3	5/2	08:50-10:20	遠隔授業（同期型）	自分化理解	Japanese students' presentation about Japanese culture	近藤 暁子	インドネシアの学生、留学生とディスカッション Iqbal Pramukti
4	5/11	08:50-10:20	遠隔授業（同期型）	異文化理解	Experience in the United States	新津 晃右, 近藤 暁子	
5	5/11	16:20-17:50	遠隔授業（同期型）	異文化理解	Indonesian students' presentation about Indonesian culture	近藤 暁子, Iqbal Pramukti	インドネシアの学生とディスカッション Iqbal Pramukti
6	5/18	08:50-10:20	遠隔授業（同期型）	異文化理解	Japanese and Indonesian students	高野 歩, 近藤 暁子, Iqbal Pramukti	インドネシアの学生とディスカッション Iqbal Pramukti
7	5/18	16:20-17:50	遠隔授業（同期型）	異文化理解	Cultures of Death and Mourning	Jonathan Corliss	インドネシアの学生、英語教師とディスカッション

8	5/25	16:20-17:50	遠隔授業（同期型）	異文化理解	Cultures of Nursing	Jonathan Corliss	インドネシアの学生、英語教師とディスカッション
9	6/8	08:50-10:20	遠隔授業（同期型）	異文化理解	Globalization and Nursing Education	LIU Yat Wa, Justina, 近藤 暁子	香港理工大学 Justina Liu
10	6/15	16:20-17:50	遠隔授業（同期型）	異文化理解	Presentation about what discussed Indonesian students	近藤 暁子	英語によるプレゼンテーション

授業方法

1）講義と演習すべて英語で実施する。すべて ZOOM 同期型で行う。

2）4コマはインドネシアのパジャジャラン大学と共同で行う（1、3, 5、9 回目）。

3）留学生の異文化のプレゼンテーションを聞いてディスカッションする（2 回目）

4）ワシントン大学の教員の米国体験記について講義およびディスカッションを行う（4 回目）

5）ネイティブの英語教員、留学生、クラスメートと指定したトピックについてディスカッションする（6-7 回目）。

6）香港の教員の講義およびディスカッションを行う（8 回目）

7）インドネシアの学生とディスカッションしたこと、異文化について学んだことや気づいたことについてプレゼンテーションする（10 回目）

授業内容

スケジュール参照

成績評価の方法

全体的参加度：40%、自文化プレゼンテーション：30%、Final presentation: 30%

1）参加度：授業中に積極的に発言する態度などを評価する。遅刻・早退は 2 回で 1 回の欠席とする。45 分以上遅れた場合はその授業へ出席とは認められない（40%）。

2）自文化プレゼンテーション：日本の文化の 1 つを取り上げ、英語でプレゼンテーションする。評価は留学生およびクラスメート全員で行う（30%）。

インドネシアの学生とディスカッションしたこと、異文化について学んだことや気づいたことについてのプレゼンテーション（30%）

成績評価の基準

出席日数が 3 分の 2 以上あることを前提とした上で、上記合計点が 60 点以上の場合合格とする。

合計点が 90 点以上で A+,80～89 点で A,70～79 点で B,60～69 点で C とする。

準備学習等についての具体的な指示

原則として TOEFL450 点以上を受講要件とする。

試験の受験資格

試験は行わないが、単位認定には 2/3 の出席を要件とする。

教科書

Transcultural Concepts in Nursing Care 7th ed／Margaret M. Andrews & Joyceen S. Boyle：LWW, 2015

WebClass にて配布

参考書

Margaret M. Andrews, Joyceen S. Boyle Transcultural Concepts in Nursing Care 7th ed 2016 Wolters Kluwer

他科目との関連

国際保健看護学

履修上の注意事項

指定された記事を読んで分からない単語を調べてくること。

備考

下記は 2021 年度受講生の感想です。是非多くの学生の方に受講していただきたいです。

・普通に過ごしていたら留学生の方やワシントン大学の方と交流する機会がなかなかないので、とても貴重な時間でした。大変でしたが選択して良かったと思っています。もっと自分の英語力を高めて視野を広くもてるようになりたいと思うきっかけにもなりました。ありがとうございました。

・英語に対しての抵抗心が弱まりました。苦手意識はあるもののもっと話せるようになりたい、意見を言いたいという気持ちになりました。

・他の専門の授業では聞けないような、海外の看護に関する情報を知ることができ、非常に勉強になりまし

た。また、外国の大学の学生を英語で話すことが楽しかったです。
・大学に入ってから海外研修にもいけず、自分の英語が未熟だったことにも気づいたので、「将来留学をしたい」という目標を見失っていました。しかし、この授業を受けて、英語の力だけが国際的な看護師として必要なことではなくて、学習する姿勢 とか、異文化への関心とか、そういうことの方が重要なのかもしれないと気づきました。それによって、英語の勉強にも必然的に関心が戻ってきました。
全てに関して、自分の未熟さに気付かされてばかりの授業でしたが、将来について良いきっかけを掴むことができたと思います。受けてよかったです。

連絡先（メールアドレス）

近藤　暁子:akondo.ind@tmd.ac.jp

オフィスアワー

近藤　暁子:オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡してから訪問すること。
国際看護開発学教授室（3 号館 18 階）

時間割番号	012082				
科目名	国際保健福祉 B			科目 ID	MN-292700-Z
担当教員	近藤 暁子, 津田 紫緒, 高野 歩[KONDO AKIKO, TSUDA SHIO, TAKANO Ayumi]				
開講時期	2022 年度通年	対象年次	2	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Global Health and welfare B

【科目責任者】国際看護開発学 近藤暁子

主な講義場所

海外短期研修プログラム 研修機関先

- セイナヨキ応用科学大（フィンランド共和国）
- ラオス保健科学大学（ラオス人民民主共和国）
- ワシントン州（米国）
- チュラロンコン大学（タイ）
- ガーナ大学（ガーナ）
- 台北医科大学（台湾）

等

授業の目的、概要等

諸外国の医療施設、教育施設の見学・講義・実習等を通して、異文化社会での健康問題や、異なる保健医療システムを知ると共に 日本との相違を認識・体感し、グローバルな視点で看護の対象となる人々や、提供する看護の実際と課題を捉え、看護職としての専門性および国際感覚を養う。

授業の到達目標

1）研修国の保健医療福祉制度や事情および看護職の役割・活動状況について理解する。

2）1）で理解した内容について言語化し、研修報告書を作成する。

2）海外研修報告会において、1）で理解した内容および研修国での経験等について、第三者に適切に説明することができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/18	18:00-19:30	遠隔授業（同期型）	国際保健福祉	合同オリエンテーション（希望する国の医療施設, 保健福祉施設, 教育機関における見学・講義・実習等）	近藤 暁子, 高野 歩, 津田 紫緒, 川上 明希	日時は未定である。
2	10/19	16:20-17:50	その他	国際保健福祉	海外研修報告会	近藤 暁子, 高野 歩, 津田 紫緒, 川上 明希	日時は未定である。海外研修を通じた体験学習を行う。

授業方法

事前研修への参加、海外研修を通じた体験学習、海外研修報告会への参加（プレゼンテーションの実施等）

オリエンテーションは Zoom で行う。

今年度の詳細は未定である。10 月以降に海外渡航の許可がおり次第、プログラムを調整する。

授業内容

諸外国の教育機関、医療施設、保健福祉施設、老健施設における見学・講義・実習・保健活動・ボランティア活動への参加や、グループワーク・プレゼンテーション・ディスカッション等

成績評価の方法

- 研修前の準備、事前学修への参加・活動状況
- 研修期間中の見学・講義・実習・他活動等への参加状況
- 研修報告会における発表状況
- 研修報告書

成績評価の基準

事前学習、英語によるコミュニケーション、英語によるプレゼンテーション、異文化理解、研修国の保健医療制度・サービスの理解、保健医療福祉に関する実践的知識の習得、保健医療福祉に関する研究知識の習得、事後報告について、5 段階評価とする。

上記合計点が 60 点以上の場合合格とする。合計点が 90 点以上で A+,80～89 点で A,70～79 点で B,60～69 点で C とする。

準備学習等についての具体的な指示

・ 渡航国や自国の政情や社会情勢、文化、保健医療福祉事情、教育制度等の情報を事前に十分得て、事前に研修計画をすること

・ グローバル人材育成プログラムにおける海外派遣前教育プログラム(Academic English Summer Course)に必ず参加し、TOEFL を受験すること

・ 学内における英語運用力向上のための講義やイベント等に積極的に参加し、研修で困らないように、語学力の向上に努めること

・ 派遣前オリエンテーションへ参加し、危機管理など情報収集すること

試験の受験資格

試験は行わない

構成ユニット

主に、海外短期研修プログラムへの参加となる。コロナウイルス感染状況により、オンライン交流となった場合も単位認定する。

参加プログラムごとに数回実施される事前研修に必ず参加する。

海外研修へ参加し積極的に活動に取り組む。帰国後に開催予定の海外研修報告会に参加し、発表を行う。

今年度の詳細は未定である。詳細についてはオリエンテーションで説明する。

他科目との関連

国際保健福祉 A, 国際保健福祉 C, 国際保健福祉 D, 国際保健看護学

履修上の注意事項

・ 4 月(または 5 月)に開催される合同オリエンテーションに参加すること ・ 海外短期研修プログラムへの参加には、成績・語学力、及び面接評価による選考があることを理解し、十分準備をしておくこと ・ Global Communication Workshop (GCW)へ参加していることが必須である ・ 渡航前準備として、危機管理の観点から、所定の手続きを速やかに行うこと ・ 集団行動を伴う海外研修のため、担当教員により定められたスケジュールに則って行動すること

備考

本科目履修後のお願い

・ 研修参加後は、大学説明会等への参加や、下級生・後輩学生への情報提供等、積極的に大学の教育に協力すること

保健衛生学科 海外研修ガイダンスでの発表、オープンキャンパス 他

・ 本学の海外協定校等からの交換留学生のサポート、また海外からの研究者・教育者・実践者等との国際交流を推進するボランティアとして積極的に活動すること

・ 実践看護英語 I～Ⅲ とは内容が異なります。

連絡先(メールアドレス)

近藤 暁子:akondo.ind@tmd.ac.jp

津田 紫緒:3 号館 19 階地域保健看護学研究室 2 03-5803-4573 tsuda.phn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

近藤 暁子:オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡してから訪問すること。

国際看護開発学教授室(3 号館 18 階)

津田 紫緒:アポイントをとった上で随時実施

時間割番号	012100				
科目名	インディペンデントスタディ A			科目 ID	MN-293000-S
担当教員	田中　真琴[TANAKA Makoto]				
開講時期	2022 年度通年	対象年次	2	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Independent study A

【科目責任者】田中　真琴

授業の目的、概要等

人口の高齢化、自然災害、新型感染症パンデミック等、変化し続ける医療や看護を取り巻く状況に応じて、看護実践や研究を発展させ続けていくために、適切な方法で情報を探求しそれらを分析・統合して新たな知見を得ることは、看護職者に求められる重要や役割の一つである。学生自らが、受け入れ先組織・企業等を探し、受け入れ先と授業内容を作り上げ、得られた情報を分析・統合して、将来の状況変化に対応しながら、クリエイティブで柔軟な思考力に基づいて看護実践や研究を発展させていくために必要な知識やスキルの習得や向上を目指す。

授業の到達目標

1. 学生が興味・関心を寄せる課題について適切な情報が得られる組織や企業等を探し、適切な学習計画を立てることができる。

2. 学生が興味・関心を寄せる課題に関する新たな知見を得たり課題を解決したりしていくために、受け入れ先における学習経験を通じて得られた情報を分析・統合するための知識・スキルを獲得する。

3. 学生が興味・関心を寄せる課題に関する新たな知見を得たり課題を解決したりしていくために、受け入れ先における学習経験を通じて得られた情報を分析・統合した結果を説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/6	14:40-16:10	未定	学生が興味・関心を寄せる課題 1	適切な情報が得られる組織や企業等における活動への参加 1	田中　真琴
2	5/11	14:40-16:10	未定	学生が興味・関心を寄せる課題2	適切な情報が得られる組織や企業等における活動への参加 1	田中　真琴
3	6/8	14:40-16:10	未定	学生が興味・関心を寄せる課題3	適切な情報が得られる組織や企業等における活動への参加 1	田中　真琴
4	7/6	14:40-16:10	未定	学生が興味・関心を寄せる課題4	適切な情報が得られる組織や企業等における活動への参加 1	田中　真琴
5	9/28	14:40-16:10	未定	学生が興味・関心を寄せる課題 5	適切な情報が得られる組織や企業等における活動への参加 1	田中　真琴
6	10/19	14:40-16:10	未定	学生が興味・関心を寄せる課題 6	適切な情報が得られる組織や企業等における活動への参加 1	田中　真琴
7	11/16	14:40-16:10	未定	学生が興味・関心を寄せる課題 7	適切な情報が得られる組織や企業等における活動への参加にもとづく情報の分析・統合	田中　真琴
8	1/6	14:40-16:10	未定	学生が興味・関心を寄せる課題 8	適切な情報が得られる組織や企業等における活動への参加にもとづく情報の分析・統合・まとめ	田中　真琴

授業方法

各学生が興味・関心を寄せる課題に基づいて、学生自らが担当教員と相談の上、個別に具体的な学習目標・学習計画を作成し、主体的に学習する。

1. 履修登録後は、以下のように行う。

①履修を希望する学生は、インデペンデントスタディとして取り組みたい課題について、科目担当教員（学年担任、専攻主任）と相談し、その課題の指導に適する指導教員を決める。（指導教員は原則、看護学専攻の専任教員とする。）

②当該学生は、インデペンデントスタディ学習計画書（様式）（学習目標・学習内容・学習スケジュール等を含む）を作成し、その内容について、受け入れ先機関および指導教員の助言・指導を受ける。学習計画書の内容・期間は、1 単位に相当するものであること。

③作成されたインデペンデントスタディ学習計画書について、科目担当教員（学年担任）が内容等を確認し当該科目として

十分であると認められた場合に受講開始となる。

2. 授業方法

①インデペンデントスタディ学習計画書にしたがって、受け入れ先組織・企業等において、学生が興味・関心を寄せる課題に関する学習を進める。

②学習終了後、学んだ内容について情報を分析・統合し、報告書を作成し、科目担当教員(学年担任、専攻主任)へ提出する。

※本科目では、受け入れ先組織・企業等を探す際に、ベンチャー・スタートアップを利用することも可能である。
ベンチャー・スタートアップにリストアップされた会社に関するエントリーシートを学生が閲覧し、自らの関心と合致する企業があれば、ベンチャー・スタートアップ担当教員、科目担当教員(学年担任、専攻主任)等と相談の上、ベンチャー・スタートアップのルールに則って当該企業に連絡する。受入れ先組織・企業等候補の担当者と面談などを行った後、両者の合意が得られた場合マッチング成立となる。

授業内容

学生が興味・関心を寄せる課題について適切な情報が得られる組織や企業等における活動への参加、得られた情報の分析・統合
(例:医療・介護施設、企業、ベンチャー企業、ボランティア活動など)

成績評価の方法

以下の点について成績評価を行う。
1)受入れ先組織・企業等での活動状況:受入れ先担当者からのフィードバック
2)活動報告書の提出状況・内容:学習目標の到達状況

成績評価の基準

・受入れ先組織・企業等での活動状況に関する受入れ先担当者からのフィードバック(30%)
・活動報告書の提出状況・内容にもとづく、学習目標の到達状況(70%)

準備学習等についての具体的な指示

・各学生が興味・関心を寄せる課題について適切な情報が得られる組織・企業等について、各自で情報を探索しておくこと。
・学習計画書の作成と計画内容の実現に必要な受入れ先等に関する情報収集を適切に行う。
・各学生が興味・関心を寄せる課題に関する知識やスキルの習得に努める。
・学外組織において学習を行うことから、本学学生および看護を学ぶ者として適確な行動をとれるよう、コミュニケーション力、社会人としての行動や態度等に関する知識やスキルを身に着けておくこと。
・学外組織で学習を行うことから、学習計画に則って学習が進んでいることを、適宜、指導教員に報告する行動を身に着けておくこと。

試験の受験資格

試験は実施しない。

教科書

なし

参考書

なし

他科目との関連

学生が興味・関心を寄せる課題によって関連の深い科目は異なる。

履修上の注意事項

1)学生が興味・関心を寄せる課題にもとづく科目であるため、他の科目とは異なり、内容も受入れ先も受講者ごとに異なる。 2)受入れ先組織・企業等から重要な情報(個人情報を含む)の持ち出しをしないこと。 3)学習は、学生自らが指導教員と共に立てた学習計画に則って進めること。 4)受入れ先での学習期間中は、指導教員に進捗状況や学習上の困難等を、適宜報告・相談すること。 5)受入れ先担当者、指導教員や科目担当教員の指示に従って、学習を進めること。授業日時・内容(順序等)は変更することがある。

連絡先(メールアドレス)

田中 真琴:tanaka.cc@tmd.ac.jp 3 号館 19F

オフィスアワー

田中 真琴:月曜～金曜 AM9:00-PM18:00
不在時間、対応出来ない時間もあるため、質問や相談時は、事前連絡をすることが望ましい

時間割番号	012019				
科目名	基礎看護学Ⅱ			科目ID	MN-231600-L
担当教員	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 啓文, 前田 耕助, 渡邉 由香, 瀬戸 さやか[KASHIWAGI Masayo, MORIOKA Noriko, OOGAWARA Hirofumi, MAEDA Kousuke, WATANABE YUKA, SETO SAYAKA]				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	2	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Fundamental Nursing Ⅱ

【科目責任者】柏木聖代

主な講義場所

遠隔授業（非同期もしくは同期型）もしくは

保健衛生学講義室1（3号館18階）および看護実習室1・2・3・4（3号館17階）

授業の目的、概要等

基礎看護学Ⅱでは、基礎看護学Ⅰで学んだ看護の主要概念をもとに、専門職者としての科学的根拠に基づいた看護実践能力を形成するための基盤となる知識を身につけることを目的とする。看護師の役割として「療養上の世話（日常生活援助）」と「診療の補助業務」があるが、本科目では主に療養上の世話（日常生活援助）を中心に、看護技術の科学的根拠となる基本的な知識についての学びを深める。

看護技術を単なる知識と技術としてとらえるのではなく、対象の問題を解決していくために行う思考と行動の過程（看護過程）の一連として位置づけ、また、最新の科学的根拠に基づく看護実践を目指す。そのためには、人体の構造と機能を理解したうえで、看護の受け手である対象を理解する必要がある。加えて、看護の役割を理解し、看護技術を行う上で必要な情報を観察し、得た情報からアセスメントするための知識・思考力を養う必要がある。教科書に記載されている基本的知識は事前学習により学習し、論理的に考える習慣を普段から身につけておくことが必要となる。

授業の到達目標

ここで示される達成目標は、あくまでも試験に合格するレベルである。療養上の世話（日常生活援助）を中心に、専門職者として提供する看護技術の科学的根拠となる基本的な知識を習得し、知識に基づき思考できるようになることを目指す。

本科目に共通する到達目標は、看護援助の意義と対象の生活との関連について説明できること、必要な情報からのアセスメントや看護上の問題、安全・安楽・自立の観点からみた対象のニーズを具体的に説明できることである。

具体的な到達目標は以下の通りである。

1 回目：入院生活の環境を理解したうえで、入院患者に適した病床環境および環境整備における看護の役割について説明できる。

2 回目：医療安全の基本的な考え方と制度上の仕組みを理解し、リスクマネジメントにおける看護師の役割を説明できる。

入院患者の運動の意義や身体各部の構造に合わせた運動への援助方法を説明できる。

3 回目：人体の構造と機能を理解したうえで、生命維持の徴候を客観的に観察し，正確な情報を収集する方法を説明できる。

4 回目：感染予防，Infection Control の実際を学び、科学的根拠に基づいた感染防御方法について説明できる。

5 回目：入院患者の衣服の意義や清潔に保つための援助方法を説明できる。

6 回目：身体の清潔の意義や身体各部の構造と機能に基づいた清潔への援助方法を説明できる。

7 回目：入院患者における食事の意義と栄養補給，健康について説明ができる。口腔機能・嚥下機能の評価ができる。

8 回目：看護活動に必要な全身の系統的な観察方法とアセスメント方法を説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/7	13:00-14:30	保健衛生学科講義室1	環境	オリエンテーション　入院患者に適した病床環境と看護援助について学ぶ。 WebClass に資料がある。	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 啓文	同期授業（登校） アクティブラーニング：小グループディスカッション、リアクションペーパー 事前・事後レポートについては WebClass を参照
2	4/8	13:00-14:30	遠隔授業（非同期型）	安全・運動	医療事故の現状、患者の権利と責務を踏まえ、看護援助における安全や安楽を確保について概説する。 運動の意義を踏まえ、運動の援助が必要な対象への看護について学ぶ。	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 啓文	非同期授業 アクティブラーニング：確認テスト 事後レポートについては Webclass 参照

					WebClass に資料がある。		
3	4/15	13:00-14:30	遠隔授業（非同期型）	身体の観察Ⅰ	生命維持の兆候な客観的な情報収集について学ぶ。WebClass に資料がある。	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 啓文	非同期授業 アクティブラーニング：確認テスト 事後レポートについては Webclass 参照
4	4/15	14:40-16:10	遠隔授業（同期型）	感染看護	感染予防、Infection Control の実際と看護援助における感染防御策について学ぶ。WebClass に資料がある。	渡邉 由香, 柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 啓文	非常勤講師：病院看護部渡邉由香先生 同期授業（遠隔） アクティブラーニング：小グループディスカッション、リアクションペーパー 事後レポートについては WebClass を参照
5	4/22	13:00-14:30	遠隔授業（非同期型）	衣生活	衣服を清潔にする意義を踏まえ、衣生活の援助が必要な対象への看護について学ぶ。WebClass に資料がある。	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 啓文	非同期授業 アクティブラーニング：確認テスト 事後レポートについては Webclass 参照
6	5/6	13:00-14:30	遠隔授業（非同期型）	身体の清潔	身体を清潔にする意義を踏まえ、身体の構造と機能に基づく清潔への看護援助を学ぶ。WebClass に資料がある。	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 啓文	非同期授業 アクティブラーニング：確認テスト 事後レポートについては Webclass 参照
7	5/9	13:00-14:30	看護学実習室 1	食生活	食生活の意義と栄養補給を踏まえ食生活の援助が必要な対象への看護について学ぶ。WebClass に資料がある。	瀬戸 さやか, 柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 啓文	非常勤講師：病院看護部瀬戸さやか先生 同期授業（登校） アクティブラーニング：小グループディスカッション、リアクションペーパー 事前・事後レポートについては WebClass を参照
8	5/27	13:00-14:30	看護学実習室 1, 看護学実習室 2	身体の観察Ⅱ	看護援助に必要な情報を系統的に得るための主観的・客観的情報の収集とアセスメントについて学ぶ。 WebClass に資料がある。	前田 耕助, 柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 啓文	同期授業（登校） アクティブラーニング：小グループディスカッション、リアクションペーパー 事前・事後レポートについては WebClass を参照

授業方法

授業は以下のように行う。

1）講義前には当該講義内容に関して、教科書・参考書を用い、事前学習をして臨むことが必須である。

2）講義は、看護援助の意義、健康障害のある人に対する援助と看護の役割、援助を行うのに必要な情報とアセスメントを中心に行う。講義全体を通して、知識をもとに患者や看護師の「安全・安楽・自立」に基づき考えるだけでなく、考えた内容を他者に説明できるようにしておくこと。講義に必要な資料は講義前に WebClass にアップするため、随時確認すること。

3）講義で得た知識を基に、「基礎看護学演習Ⅰ」中の連動する看護技術についての実施計画書（演習時の事前・事後課題に該当）を作成すること（詳細は初回授業時に説明する）。単なる手順書ではなく、講義内容を振り返りながら、看護援助の目的や根拠について論理的に考えることが必要な内容となる。

4）同期型授業：講義中には小グループやペアによるディスカッションなどのアクティブラーニングを交えて進めていく。そのため、学生自身が教科書や事前学習で得た基本的知識をもとに思考し、主体的に講義に臨むことが必要である。

5）非同期型授業：期日までに教材を視聴の上、確認テストを受け、既定の合格点を取得することで出席とみなす。確認テストの受験がない場合、また、既定の合格点に達していない場合は、欠席とみなす。

6）本科目の内容は連動して行われる「基礎看護学演習Ⅰ」「基礎看護学Ⅲ」と密接に関連付けられている。講義で得た知識が演習における実践での科学的根拠となるだけでなく、看護過程における思考と行動の連動を果たす基盤となる。

7）事前・事後レポートを課す場合には、詳細は WebClass に掲示する（WebClass 上での提出となる）。時間を過ぎるとアクセスできなくなるため、ゆとりをもって取り組み、提出すること。提出期限を過ぎたレポートは基本的には評価しない。Excel、Word、それらの PDF 変換などの基本的なマイクロソフトのオフィス機能については、事前に自己学習しておくこと。

授業内容

日時および内容は変更する場合がある。

4月に Webclass で配布する基礎看護学開講科目日程表を参照のこと。

成績評価の方法

基礎看護学Ⅱの評価は、以下 3 つの項目により行われる。

1）筆記試験および Webclass での確認テスト：講義全般の日常生活援助について知識を問う試験を行う。なお試験問題の約 20%に英語の問題を出題するため、教科書や講義資料に英語併記してある基本的な用語を学習しておくこと。

2）事前・事後課題：基本的な知識、学生自身の考えや思考など課題で問われた内容について適切に記述されているかどうかを判断する。

3）出席・参加態度・参加状況：出席回数（ただし、2／3 以上の出席がない場合には、評価の対象外となるので注意すること）、講義中のアクティブラーニング、質疑応答での活発な発言などの積極的な参加態度を評価する。

3-1）同期型授業：授業開始時の出席確認（呼名）および最初から最後まで参加しているログが確認出来た場合に出席とみなす。

3-2）非同期授業:教材の視聴（アクセスログ）ならびに確認テストでの合格点（8 割）取得をもって出席とみなす。視聴ログがあっても確認テストで合格点に満たない場合には、出席とはみなされないので注意すること。設定されている授業日の 1 週間後までに視聴・確認テストに合格していることが望ましい。また、基礎看護学演習Ⅰの関連する技術演習の前には繰り返し視聴するなどの準備が必要である。全ての非同期授業の視聴・確認テストでの合格点の取得は 2022 年 7 月 1 日 23：59 までに行うこと。期限の延長はしないので、注意すること。

成績評価の基準

成績評価は、以下 3 つの項目で行い、各項目の成績の合計により評価を行う。1、2、3 の項目の評価は、それぞれ 50%、25%、25%とする。

1）筆記試験および Webclass での確認テスト

講義の到達目標に達しているかを評価し、そのことが確認されたところで合格とする。

2）事前・事後課題

事前・事後課題は提出期限までに、オリエンテーションで示した方法で提出された場合に評価を行う。

課題内では、敬体（ですます調）ではなく常体（である調）を使用する必要がある。必要時、引用文献・参考文献リストを付記すること。誤字脱字、指定された字数の 8 割以下である場合には、減点とする。問われたこと(知識、科学的根拠に基づく論理的な文章展開、自身の考えや思考)に対して、適切な内容が反映されている必要がある。期限を過ぎた課題は評価しないので注意すること。

3）参加態度および参加状況

積極的な参加が求められる。そのため、グループワークへの積極的な参加や質疑応答などで活発な発言など主体的な態度が見られた場合には加点する。

準備学習等についての具体的な指示

1）各講義内容を確認し、当該範囲の教科書や資料を基に事前学習をして講義に臨むこと。

2）各講義に必要な配布資料がある場合は、事前に WebClass にアップするため、各自で確認しダウンロードしておくこと。

3）各講義の事前・事後レポートは期間を設けて WebClass にアップする。各自でダウンロードし、指示された方法で提出すること。

※詳細はオリエンテーションで示す。

試験の受験資格

本科目の試験を受験するためには、全ての講義に出席することが学生としての基本となるが、少なくとも全体の 2／3 以上の出席を必要とする。

教科書

基礎看護技術 ： 看護過程のなかで技術を理解する／香春知永, 齋藤やよい 編集,香春, 知永,齋藤, やよい, 1958-,：南江堂, 2018

看護が見える vol1. 基礎看護学／医療情報科学研究所,：メディックメディア, 2018

看護が見える vol2. 臨床看護技術／医療情報科学研究所,：メディックメディア, 2018

参考書

看護技術プラクティス ： 医療安全と感染管理をふまえた／竹尾恵子監修,竹尾, 恵子,：学研メディカル秀潤社, 2015

看護が見える vol. 3 フィジカルアセスメント／医療情報科学研究所,：メディックメディア, 2019

看護が見える vol. 4 看護過程の展開／医療情報科学研究所 編集,医療情報科学研究所,：メディックメディア, 2020

写真でわかる基礎看護技術アドバンス ： 基礎的な看護技術を中心に!／吉田, みつ子,本庄, 恵子,：インターメディカ, 2020

写真でわかる臨床看護 1 アドバンス 注射・検査に関する看護技術を中心に!／本庄, 恵子,吉田, みつ子,：インターメディカ, 2020

フィジカルアセスメントの根拠がわかる!機能障害からみたからだのメカニズム／清村紀子, 工藤二郎編集,清村, 紀子,工藤, 二郎,：医学書院, 2014

根拠から学ぶ基礎看護技術／江口正信編著,江口, 正信,：サイオ出版, 2015

その他、テーマに関連した参考図書を随時紹介する。

他科目との関連

本科目と「基礎看護学演習Ⅰ」、「基礎看護学演習Ⅱ」、「基礎看護学Ⅲ」、「基礎看護学実習Ⅱ」は密接に関係しており、それぞれの科目で

学んだ知識や技術を応用して考えることが必要となる。 1 年次に学んだ「基礎看護学Ⅰ」、「基礎看護学実習Ⅰ」などの看護に関連した諸理論などでの学びや体験を振り返り、本科目で応用することが必要となる。また、本科目はこれから開講されるすべての看護専門科目で学ぶ看護技術の基盤となる。

履修上の注意事項

1）授業中にスクリーン、zoom 等の画面を撮影することを禁止する 2）講義資料等を受講者以外に配布・公開することを禁止する 3）授業日時・内容・実施方法（場所）が変更になる場合には、Webclass にて周知するので、Webclass からの連絡をオンタイムで確認できるメールアドレスに事前に転送設定しておくこと

備考

看護学の基礎となる理論や概念を学ぶために、柔軟な思考力が必要となる。これまでの学習経験や生活体験、社会体験を踏まえ、幅広い分野の書物に触れ、社会情勢にも関心を持つことが望ましい。

連絡先（メールアドレス）

柏木 聖代:kashiwagi.fnls@tmd.ac.jp 3 号館 18 階看護ケア技術開発学教授室
森岡 典子:3 号館 18 階看護ケア技術開発学研究室 3
大河原 啓文:ogawara.fnls@tmd.ac.jp

オフィスアワー

柏木 聖代:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。
森岡 典子:柏木 聖代:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。
大河原 啓文:3 号館 18 階看護ケア技術開発学研究室 2

時間割番号	012020				
科目名	基礎看護学Ⅲ			科目ID	MN-231700-L
担当教員	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 啓文[KASHIWAGI Masayo, MORIOKA Noriko, OOGAWARA Hirofumi]				
開講時期	2022 年度通年	対象年次	2	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Fundamental Nursing Ⅲ

【科目責任者】柏木聖代

授業の目的、概要等

看護は、健康問題に対する人間の反応を的確に捉え、その人にとってよりよい反応を導き出すよう援助する働きである。本科目では、根拠に基づいた看護を実践するための方法論の 1 つである、看護過程の概念と展開方法を学ぶ。

授業の到達目標

本科目では、病気をもつ人の健康課題に取り組み、援助する過程における知識を学生が獲得することが目標である。具体的には、看護実践における看護者の姿勢を理解し、看護の対象者の健康に関する情報を、既習の知識に基づいて批判的に解釈し、看護の対象者の健康について全体論的な視点から説明する。そして、看護の対象者の健康に資するための看護援助を説明できるようになることを目指す。

1回 看護実践における看護者の姿勢を説明できる。

2回 看護過程の構成要素を説明できる。看護観察について主観的情報と客観的情報が区別できる。

3回 アセスメントとは何かを説明できる。動画を見ながらアセスメントを実践できる。情報統合のやり方と関連図のルールが分かる。

4回 看護問題とは何かが分かる。NANDA-Ⅰの看護診断名の読み方が分かる。

5回 看護問題を PES 方式で表現することができる。期待される成果表現のルールを7つ言える。3つの援助計画がわかる。

6回～8回 事例の看護問題を抽出できる。事例の看護目標を設定できる。事例の援助計画を立案できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/28	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	看護過程の定義	看護過程とは何か、背景と特徴 看護過程と問題解決方法(POS)との関係	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 啓文	アクティブラーニング:グループワーク
2	4/28	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	看護過程の構成要素(1) 主観的・客観的情報、アセスメント	看護過程の構成要素-看護の観察における主観的情報と客観的情報、アセスメント	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 啓文	アクティブラーニング:グループワーク、課題あり
3	5/19	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	看護過程の構成要素(2) アセスメント、統合	看護過程の構成要素-分析、アセスメント、統合 グループワーク	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 啓文	アクティブラーニング:グループワーク、課題あり
4	5/19	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	看護過程の構成要素(3) 問題抽出、看護診断	看護過程の構成要素-問題抽出と看護診断	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 啓文	アクティブラーニング:グループワーク、課題あり
5	5/19	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	看護過程の構成要素(4) 実施・評価	看護過程の構成要素-目標(成果)と計画立案、 実施、記録(目的と種類)、問題の達成評価	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 啓文	アクティブラーニング:グループワーク、課題あり
6	6/9	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	臨床推論	主観的・客観的情報の推論パターンを使った解釈	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 啓文	アクティブラーニング:グループワーク、課題あり
7	6/9	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	事例による看護過程の展開(1)	事例による看護過程グループワーク	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 啓文	アクティブラーニング:グループワーク、課題あり
8	6/9	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	事例による看護過程の展開(2)	事例による看護過程グループワーク	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 啓文	アクティブラーニング:グループワーク、課題あり

授業方法

授業は以下のように行う。

1）授業には、授業明細に示された範囲について、事前に教科書や関連書籍等にて自己学習予習をしてから臨むことが必要である。事前課題としてレポートや動画視聴を課す場合もあるので、Webclass をよく確認すること。
2）講義：講義は事前課題の内容理解を前提とした上で、各回の中で重要なこと、発展的なことを中心に行う。講義の資料については、講義前にPDFをWebclassに挙げておくので活用すること。講義内では学生の理解を深めるため、グループワーク等のアクティブラーニングを取り入れるので、積極的に参加すること。
3）授業終了後、授業で行った課題を回収し、次の授業でフィードバックを行う。

授業内容

授業明細参照

成績評価の方法

次の項目で総合的に評価を行う。
1）出席状況、参加状況：出席回数だけでなく、授業内での発言やアクティブラーニングへの参加態度を含めて評価する。同期型遠隔授業の場合、授業開始時の出席確認（呼名）および最初から最後まで参加しているログが確認出来た場合に出席とみなす。
2）課題レポートの提出状況・内容。特別な理由なく提出期限を過ぎた場合は未提出とする。

成績評価の基準

上記の成績評価の方法に示す各項目の成績の合計により評価を行う。提出物は、提出期限が守られ、かつ、授業中に示す基準を守っているかどうかが評価基準となる。

準備学習等についての具体的な指示

1）講義日程を確認し、当該範囲のテキストを読み、講義に臨むこと。
2）事例による演習は、個人での看護展開をもとにグループワークで進めるため、指定日までに各自で看護展開を行うこと。

試験の受験資格

本科目では定期試験は実施しない。

教科書

看護が見える vol.4 看護過程の展開／医療情報科学研究所 編集,医療情報科学研究所,：メディックメディア，2020
NANDA-I 看護診断 : 定義と分類／T.ヘザー・ハードマン，上鶴重美，カミラ・タカオ・ロペス 原書編集,上鶴重美 訳,Herdman, T. Heather,上鶴，重美，1961−,Takao Lopes, Camila,：医学書院，2021

参考書

ゴードンの機能的健康パターンに基づく看護過程と看護診断／江川隆子編集,江川，隆子,：ヌーヴェルヒロカワ，2019
ゴードン博士の看護診断アセスメント指針 : よくわかる機能的健康パターン : 11 の機能的健康パターン／マージョリー・ゴードン 著,江川隆子 監訳,早野真佐子 訳,Gordon, Marjory,江川，隆子，1946−,早野，真佐子，1951−,：照林社，2006
アセスメント覚え書ゴードン機能的健康パターンと看護診断／マージョリー・ゴードン著 ; 上鶴重美訳,Gordon, Marjory,上鶴，重美,：医学書院，2009
看護過程の解体新書／石川ふみよ執筆,石川，ふみよ,：学研メディカル秀潤社，2015

他科目との関連

既習の専門知識と技術を看護実践の一連のプロセスの中に活かせるよう、これまで学習したすべての看護専門科目をよく理解しておくこと。特に、「基礎看護学Ⅰ」、「基礎看護学実習Ⅰ」、「基礎看護学Ⅱ」、「基礎看護学演習Ⅰ」、「基礎看護学実習Ⅱ」と密接な関係にある。また、本科目で修得する知識ならびに学生各自が考察した看護の役割と機能は、全ての専門科目を学ぶ上での礎となる。

履修上の注意事項

講義中にスクリーンの撮影をすることを禁止する。講義資料や動画などは著作権の問題があるので、受講登録者以外に公開することを禁ずる。講義と事例による演習を並行して行う。

備考

本科目は、あらゆる看護実践の基盤となる思考プロセスの学習であり，グループワークに積極的に参加することで，理解を深めること。

連絡先（メールアドレス）

柏木　聖代:kashiwagi.fnls@tmd.ac.jp　3 号館 18 階看護ケア技術開発学教授室
森岡　典子:3 号館 18 階看護ケア技術開発学研究室 3
大河原　啓文:ogawara.fnls@tmd.ac.jp

オフィスアワー

柏木　聖代:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。
森岡　典子:柏木　聖代:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。
大河原　啓文:3 号館 18 階看護ケア技術開発学研究室 2

時間割番号	012021				
科目名	基礎看護学演習Ⅰ			**科目ID**	MN-251800-S
担当教員	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 啓文, 岡安 健, 吉田 直美, 鈴木 瞳, 安達 奈穂子, 前田 耕助, 向林 仁美, 瀬戸 さやか[KASHIWAGI Masayo, MORIOKA Noriko, OOGAWARA Hirofumi, Takeshi Okayasu, YOSHIDA Naomi, SUZUKI Hitomi, ADACHI Naoko, MAEDA Kousuke, MUKOUBAYASHI Hitomi, SETO SAYAKA]				
開講時期	2022 年度前期	**対象年次**	2	**単位数**	2
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Seminar of Fundamental Nursing Ⅰ

【科目責任者】柏木聖代

主な講義場所

遠隔授業（同期型）もしくは

保健衛生学講義室4（3号館7階）、講義室1（3号館 18 階）、看護実習室1・2・3・4（3号館17階）ほか

授業の目的、概要等

基礎看護学演習Ⅰでは、「基礎看護学Ⅰ」で学んだ看護の主要概念や、「基礎看護学Ⅱ」で学んだ看護援助の知識をもとに、専門職者としての科学的根拠に基づいた看護実践能力を形成するための基盤となる知識と技術を身につけることを目的とする。本科目では主に日常生活援助を中心に、対象の基本的ニーズを充足するための科学的根拠に基づく看護技術についての学びを深める。また、自律的な演習への準備・参加を通して、専門職の一員としての態度と素養を養うことを目的とする。

看護技術は、看護実践の場で看護の提供者（看護者）と受け手（対象）との相互作用によって、個別性のある看護援助となる。そのため演習中には学生相互に看護者と対象の役割を取りながら、具体的な看護技術を習得する。本科目では看護技術を単なる手順として学ぶことを目的としていない。看護過程の手段としての看護技術の提供について、実施目的、その方法を取る科学的拠をもとに、対象の個別性に応じた看護援助の基盤を形成することを重視している。そのためには、既習の知識をもとに、看護を提供する上での基盤となる「安全」「安楽」「自立」に基づき看護技術を実践するため、教科書にあるような基本的知識は事前学習により学習して臨むことが必須である。

授業の到達目標

ここで示される達成目標は、あくまでも試験に合格するレベルである。日常生活援助を中心に、専門職者として個別性に応じた科学的根拠に基づく看護技術の基盤を形成することを目指す。

本科目に共通する到達目標は、①看護技術を行う目的を具体的に述べられる、②必要な情報からのアセスメントや看護上の問題、対象のニーズについて「安全」「安楽」「自立」に基づき具体的に述べられる、③目的に適した物品や方法を選択し、準備・実践できることである。加えて、科学的根拠を追及する姿勢を養い、知識を活用して考えながら行動するための基本的な技能と専門職の一員としての自律的かつ倫理的な態度を身につけることである。

具体的な到達目標は以下の通りである。

1 回目：適切な方法で手洗い、個人防護具を着脱できる。病床環境の整備方法を説明できる。清潔なクローズドベッドを作成できる。

2・3 回目：身体各部の構造に合わせた安全・安楽な方法で体位変換し、安楽な体位に整えることができる。

身体各部の構造に合わせた安全・安楽な方法で移乗（移乗後のポジショニング含む）の援助を実施できる。

4 回目：身体各部の構造に合わせた安全・安楽な方法で移送の援助を実施できる。

5・6 回目：生命の兆候を客観的に観察する方法を説明できる。正しい方法で呼吸、体温、血圧、脈拍を測定できる。

7 回目：食事の意義を理解し、適切な方法・ポジショニングで食事介助を実施できる。

8・9 回目：口腔機能を理解し、適切な方法・ポジショニングで口腔ケアを実施できる。

10 回目：清潔・不潔の概念に基づき、臥床患者の寝衣交換を安全・安楽に実施できる。

11・12 回目：清潔・不潔の概念に基づき、臥床患者のシーツ交換を安全・安楽に実施できる。

13・14 回目：フィジカルアセスメントの手技を学び、胸腹部のフィジカルアセスメントを実施できる。

15 回目：看護技術としてのコミュニケーション方法をシミュレートできる。

16 回目：科目【チーム医療導入】において他学部・他学科の学生とチーム医療についてディスカッションできる。

17-25 回目：身体各部位の構造・機能に基づいた全身清拭、手足浴、洗髪、陰部洗浄を実施できる。羞恥心に配慮して安全・安楽な床上排泄の援助を実施できる。

26-31 回目：前期を通して学んだ看護技術について、看護過程の実施計画に位置付けて、対象のアセスメントおよび科学的根拠に基づく適切な方法を用いて実施できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/7	14:40-16:10	看護学実習室1	ベッドメーキング　感染管理	病床環境を整えるための方法とベッドメーキングの方法を実践する。 基本的な感染管理対策を実践する。 WebClassに資料がある。	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 啓文	アクティブラーニング:演習、小グループディスカッション 事前・事後課題については WebClassを参照
2	4/14	13:00-14:30	看護学実習室1	体位変換・良肢位	安楽な体位の保持と体位変換の基本を、ボディメカニクスに基づき実践する。 WebClassに資料がある。	岡安 健, 柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 啓文	アクティブラーニング:演習、小グループディスカッション 事前・事後課題については WebClassを参照
3	4/14	14:40-16:10	看護学実習室1	移乗	安全・安楽に対象を移乗する方法を、ボディメカニクスに基づき実践する。 WebClassに資料がある。	岡安 健, 柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 啓文	アクティブラーニング:演習、小グループディスカッション 事前・事後課題については WebClassを参照
4	4/21	13:00-14:30	看護学実習室1, 看護学実習室2	移送	安全・安楽に対象を移送する方法を、ボディメカニクスに基づき実践する。 WebClassに資料がある。	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 啓文	アクティブラーニング:演習、小グループディスカッション 事前・事後課題については WebClassを参照
5-6	4/21	14:40-17:50	看護学実習室1, 看護学実習室2	バイタルサインの測定	生命の徴候を客観的に観察し, 情報を収集する方法として、呼吸・体温・血圧・脈拍測定の方法を実践する。加えて測定値の示す意味とその変動条件について学ぶ。 WebClassに資料がある。	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 啓文	アクティブラーニング:演習、小グループディスカッション 事前・事後課題については WebClassを参照
7	5/9	14:40-16:10	看護学実習室1	食事介助	対象の自立度に応じた食事の準備と食事介助を実践する。 WebClassに資料がある。	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 啓文	非常勤講師:瀬戸さやか先生 アクティブラーニング:演習、小グループディスカッション 事前・事後課題については WebClassを参照
8-9	5/13	08:50-12:00	看護学実習室1, 看護学実習室2, 看護学実習室3	口腔ケア	対象の口腔状態に応じた口腔ケアの準備と口腔ケアを実践する。 WebClassに資料がある。	森岡 典子, 柏木 聖代, 吉田 直美, 鈴木 瞳, 安達 奈穂子, 大河原 啓文	口腔保健衛生学科との共同 アクティブラーニング:演習、小グループディスカッション 事前・事後課題については WebClassを参照
10	5/26	13:00-14:30	看護学実習室1, 看護学実習室2	寝衣交換	床上臥床の患者への安全・安楽な衣服着脱の援助方法を実践する。 WebClassに資料がある。	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 啓文	アクティブラーニング:演習、小グループディスカッション 事前・事後課題については WebClassを参照
11-12	5/26	14:40-17:50	看護学実習室1, 看護学実習室2	シーツ交換	床上臥床の患者への安全・安楽なシーツ交換の援助方法を実践する。 WebClassに資料がある。	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 啓文	アクティブラーニング:演習、小グループディスカッション 事前・事後課題については WebClassを参照
13-14	5/27	14:40-17:50	看護学実習室1, 看護学実習室2	フィジカルアセスメント	看護活動に必要なフィジカルアセスメント方法と基本的な手技を学ぶ。 WebClassに資料がある。	前田 耕助, 柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 啓文	アクティブラーニング:演習、小グループディスカッション 事前・事後課題については WebClassを参照
15	6/2	14:40-16:10	看護学実	看護とコミュニ	コミュニケーションの理論と看護	柏木 聖代,	アクティブラーニング:演習、

			習室 1, 看護学実習室 2, 保健衛生学科講義室 1	ケーション	技術としてのコミュニケーション方法を学ぶ。 WebClass に資料がある。	森岡 典子, 大河原 啓文	小グループディスカッション 事前・事後課題については WebClass を参照
16-17	6/14	08:50-12:00	遠隔授業（同期型）	チーム医療導入	M3D3N2MT2を対象とした患者中心の医療を考えるワークショップを行える。	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 啓文	
18-20	6/16	13:00-17:50	看護学実習室 1, 看護学実習室 2	清潔ケア（全身清拭）	床上臥床患者へ安全・安楽に清潔ケア（全身清拭）を実施する方法を学ぶ。 WebClass に資料がある。 第 18-26 回までの演習の進め方については、別途提示される資料を参照すること。	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 啓文	アクティブラーニング：演習、小グループディスカッション 事前・事後課題については WebClass を参照
21-23	6/23	13:00-17:50	看護学実習室 1, 看護学実習室 2	清潔ケア（手足浴、洗髪）	床上臥床患者へ安全・安楽に清潔ケア（手足浴、洗髪）を実施する方法を学ぶ。 WebClass に資料がある。 第 18-26 回までの演習の進め方については、別途提示される資料を参照すること。	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 啓文	アクティブラーニング：演習、小グループディスカッション 事前・事後課題については WebClass を参照
24-26	7/1	13:00-17:50	看護学実習室 1, 看護学実習室 2	排泄ケア（陰部洗浄・床上排泄・おむつ交換）	床上臥床患者へ安全・安楽に陰部洗浄を実施する方法や羞恥心に配慮した床上排泄の援助を学ぶ。 WebClass に資料がある。 第 18-26 回までの演習の進め方については、別途提示される資料を参照すること。	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 啓文	アクティブラーニング：演習、小グループディスカッション 事前・事後課題については WebClass を参照
27-29	7/4	13:00-17:50	看護学実習室 1, 看護学実習室 2	基礎看護実践力評価	習得した看護技術の到達レベルを評価する。詳細は後日提示される資料を確認すること。	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 啓文	アクティブラーニング：演習、小グループディスカッション 事前・事後課題については WebClass を参照
30-32	7/8	13:00-17:50	看護学実習室 1, 看護学実習室 2	基礎看護実践力評価	習得した看護技術の到達レベルを評価する。詳細は後日提示される資料を確認すること。	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 啓文	アクティブラーニング：演習、小グループディスカッション 事前・事後課題については WebClass を参照

授業方法

授業は以下のように行う。詳細は「基礎看護学Ⅱ」でのオリエンテーションで示す。

1）演習前には当該演習内容に関して、教科書や資料を用いて自己学習を行い、根拠に基づく実施計画書を各自作成して臨むことが必須である。

2）演習は小グループ単位に分かれて進める。そのため、各学生が教科書や事前学習で得た基本的知識をもとに思考し、主体的に臨むことが必要である。必要物品の準備を行い、実施に適した環境と患者を整え、実践し原状復帰するまでをそれぞれの事前計画に沿って行う。実際に実践したうえで得た気づきや修正事項を、実施計画書に朱書きで追加していくこと。事前準備を行わずに演習に臨むと他学生の学習の妨げになるため、必ず十分な準備の下参加すること。演習に必要な資料は演習前に WebClass にアップするため、随時確認する。実施計画書の指定フォームは WebClass より各自ダウンロードし、朱書き後の計画書は期日までに WebClass 上に提出すること。
また、演習時は必ずユニフォームと実習靴を着用し、身だしなみを整えること。開始前に身だしなみの確認を行う。また、演習 2 週間前から健康調査を行い、所定の健康調査票に記載すること（当日必ず持参すること）。演習に使用する物品には各自が自宅から持参する物品もあるため、WebClass にアップする演習スケジュールを事前に確認し準備すること。

3）本科目の内容は連動して行われる「基礎看護学Ⅲ」「基礎看護学Ⅱ」と密接に関連付けられている。講義中に考え、討議した内容が本科目の基盤となる。

4）実施計画書以外の事前・事後課題がある場合には、WebClassにて掲示され、WebClass上での提出となる。時間を過ぎるとアクセスでき

なくなるため、ゆとりをもって取り組み、提出すること。提出期限を過ぎた課題は基本的には評価しない。
5）本科目の時間内にすべての看護技術の到達目標を達成することは難しい。演習時間内にできなかった項目や繰り返しの演習を必要とする項目に関しては、空き時間を使って積極的に自主練習することにより、目標達成を目指す。

授業内容

日時および内容は変更する場合がある。
4月に Webclass で配布する基礎看護学開講科目日程表を参照のこと。

成績評価の方法

基礎看護学演習Ⅰの評価は、以下 4 つの項目により行われる。
1）基礎看護実践力評価：習得した看護技術の到達レベルを問う技術評価を行う。示された患者情報を基に、看護過程の展開の一連として、看護問題・目標に対する計画実施として日常生活援助を実施する。科学的根拠に基づき、適切な物品と方法を選択して、看護技術を実施する。
2）各看護技術の実施計画書：演習前の事前課題として、各看護技術の実施計画書（目的、アセスメント、根拠に基づく実施手順など）を作成すること。各自が立てた実施計画書を基に演習を実施し、看護師・患者役を体験した上で感じたことやグループ内での討議の結果を踏まえ、計画書の内容に朱書きで加筆・修正を行う（事後課題に相当）。看護技術は実践を通して得る気づきが重要であり、実施計画書への加筆修正により言語化することが重要となる。完成した計画書は「基礎看護実習Ⅱ」における看護計画に基づく看護実践の際の基礎資料となる。
3）事前・事後課題：課題内では、敬体（ですます調）ではなく常体（である調）を使用する必要がある。必要時、引用文献・参考文献リストを付記すること。誤字脱字、指定された字数の 8 割以下である場合には、減点とする。問われたこと(知識、科学的根拠に基づく論理的な文章展開、自身の考えや思考)に対して、適切な内容が反映されている必要がある。期限を過ぎた課題は評価しないので注意すること。
4）出席回数、参加態度：出席回数（ただし）、演習への準備状況、身だしなみ、演習中、質疑応答などでの活発な発言などの積極的な参加態度を評価する。

成績評価の基準

成績評価は、以下 4 項目で行い、各項目の成績の合計により評価を行う。1）～4）の項目の評価は、それぞれ 40%、20%、20%、20%とする。
1）基礎看護実践力評価
患者情報に沿ってアセスメントした看護問題に対する看護計画として立案した日常生活援助技術に対して、到達目標に達しているかを評価し、そのことが確認されたところで合格とする。到達目標を達成するためには、繰り返しの自主練習による習得を必要とする。
2）各看護技術の実施計画書
　各看護技術の実施計画書において、目的、アセスメント、根拠に基づく実施手順など必要項目が網羅されていない場合、演習後の加筆・修正が行われていない場合は減点となる。教科書・講義資料・参考書・学術論文など自ら根拠に基づく看護技術方法を論理的に記述出来ている場合には加点となる。期限を過ぎて提出された計画書は評価の対象とならないので、提出期限を注意すること。
3）事前・事後課題
課題内では、敬体（ですます調）ではなく常体（である調）を使用する必要がある。必要時、引用文献・参考文献リストを付記すること。誤字脱字、指定された字数の 8 割以下である場合には、減点とする。問われたこと(知識、科学的根拠に基づく論理的な文章展開、自身の考えや思考)に対して、適切な内容が反映されている必要がある。期限を過ぎた課題は評価しないので注意すること。
4）参加態度および参加状況
基礎看護学演習Ⅰでは、学生自身が目的に応じたその時に最適な援助方法を、学生同士の話し合いと実践をしながら組み立てる必要がある。演習への積極的な参加や活発な発言など主体的な態度が見られた場合には加点する。

準備学習等についての具体的な指示

1）各演習内容を確認し、当該範囲の教科書や資料、動画を基に事前学習をして臨むこと。
2）各演習に必要な配布資料がある場合は、事前に WebClass にアップするため、各自で確認しダウンロードしておくこと。
3）各演習の事前・事後課題は期間を設けて WebClass にアップする。各自でダウンロードし、指示された方法で提出すること。
※詳細はオリエンテーションで示す。

試験の受験資格

本科目の試験を受験するためには、全ての講義に出席することが学生としての基本となるが、少なくとも全体の 2／3 以上の出席を必要とする。

教科書

基礎看護技術 ： 看護過程のなかで技術を理解する／香春知永, 齋藤やよい編集,香春, 知永,齋藤, やよい,：南江堂, 2018
看護が見える vol.1 基礎看護技術／医療情報科学研究所,：メディックメディア, 2018
看護が見える vol.2 臨床看護技術／医療情報科学研究所,：メディックメディア, 2018

参考書

基礎看護学Ⅱの参考図書を参照すること。

テーマに関連した参考図書を随時紹介する。

他科目との関連

本科目と「基礎看護学Ⅱ」、「基礎看護学演習Ⅱ」、「基礎看護学Ⅲ」、「基礎看護学実習Ⅱ」は密接に関係しており、それぞれの科目で学んだ知識や技術を応用して考えることが必要となる。 1 年次に学んだ「基礎看護学Ⅰ」、「基礎看護学実習Ⅰ」などの看護に関連した諸理論などでの学びや体験を振り返り、本科目で応用することが必要となる。また、本科目はこれから開講されるすべての看護専門科目で学ぶ看護技術の基盤となる。

履修上の注意事項

1）授業中にスクリーン、zoom 等の画面を撮影することを禁止する 2）講義資料等を受講者以外に配布・公開することを禁止する 3）授業日時・内容・実施方法（場所）が変更になる場合には、Webclass にて周知するので、Webclass からの連絡をオンタイムで確認できるメールアドレスに事前に転送設定しておくこと

備考

看護学の基盤となる理論や概念を踏まえ科学的根拠に基づく看護技術を学ぶため、柔軟な思考力と考えたことを演習で実践する力が必要となる、これまでの学習経験や生活体験、社会体験を踏まえ、幅広い分野の書物や研究論文に触れ、社会情勢にも関心を持つことが望ましい。

連絡先（メールアドレス）

柏木 聖代:kashiwagi.fnls@tmd.ac.jp 3 号館 18 階看護ケア技術開発学教授室

森岡 典子:3 号館 18 階看護ケア技術開発学研究室 3

大河原 啓文:ogawara.fnls@tmd.ac.jp

オフィスアワー

柏木 聖代:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

森岡 典子:柏木 聖代:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

大河原 啓文:3 号館 18 階看護ケア技術開発学研究室 2

時間割番号	012022				
科目名	基礎看護学演習Ⅱ			**科目ID**	MN-251900-S
担当教員	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 啓文, 寺嶋 美帆, 瀬戸 さやか, 渡邉 由香[KASHIWAGI Masayo, MORIOKA Noriko, OOGAWARA Hirofumi, TERAJIMA Miho, SETO SAYAKA, WATANABE YUKA]				
開講時期	2022 年度後期	**対象年次**	2	**単位数**	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Seminar of Fundamental Nursing Ⅱ

【科目責任者】柏木聖代

主な講義場所

遠隔授業（同期型/非同期型）もしくは

保健衛生学講義室1（3号館 18階）、および看護実習室1・2・3・4（3号館17階）ほか

授業の目的、概要等

基礎看護学演習Ⅱでは、基礎看護学Ⅰで学んだ看護の主要概念や、基礎看護学Ⅱ・基礎看護学演習Ⅰ・基礎看護学実習Ⅰで学んだ知識や技術をもとに、専門職者としての科学的根拠に基づいた看護実践能力を形成するための基盤となる知識と技術を身につけることを目的とする。本科目では主に診療の補助を中心に、対象の基本的ニーズを充足するための科学的根拠に基づく看護技術について、シミュレーターを用いて学びを深める。また、自律的な演習への準備・参加を通して、専門職の一員としての態度と素養を養うことを目的とする。

看護技術は、看護実践の場で看護の提供者（看護者）と受け手（対象）との相互作用によって、個別性のある看護援助となる。そのため演習中には学生相互に看護者と対象の役割を取りながら、具体的な看護技術を習得する。本科目では看護技術を単なる手順として学ぶことを目的としていない。看護技術の実施目的、その方法を取る科学的拠をもとに、対象の個別性に応じた看護援助の基盤を形成することを重視している。そのためには、既習の知識をもとに、看護を提供する上での基盤となる「安全」「安楽」「自立」に基づき看護技術を実践するため、教科書にあるような基本的知識は事前学習により学習して臨むことが必須である。

授業の到達目標

ここで示される達成目標は、あくまでも試験に合格するレベルである。診療の補助を中心に、専門職者として個別性に応じた科学的根拠に基づく看護技術の基盤を形成することを目指す。

本科目に共通する到達目標は、看護技術を行う目的を具体的に述べられる、必要な情報からのアセスメントや看護上の問題、対象のニーズについて「安全」「安楽」「自立」に基づき具体的に述べられる、目的に適した物品や方法を選択し、準備・実践できることである。加えて、科学的根拠を追及する姿勢を養い、知識を活用して考えながら行動するための基本的な技能と態度を身に着けることである。

具体的な到達目標は以下の通りである。

1 回目：排泄の意義を踏まえて、排泄における看護の役割と援助方法を説明できる。

2 回目：検査における看護師の役割を説明できる。

3 回目：適切に無菌操作を実施できる。

4・5 回目：排泄に関するアセスメントに基づき、羞恥心に配慮して安全・安楽に一時的導尿をシミュレートできる。

6・7 回目：薬物療法における看護の役割について説明できる。

8-10 回目： ：安全で確実な与薬を実施する方法をシミュレートできる。

11-12 回目検査時の看護師の役割を踏まえて、静脈からの採血をシミュレートできる。

13-15 回目：基礎看護学実習Ⅱで計画した看護援助を実施し、評価できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	10/28	13:00-14:30	遠隔授業（非同期型）	排泄	排泄の援助が必要な対象への看護を学ぶ。 WebClass に資料がある。	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 啓文	アクティブラーニング：小テスト事前・事後レポートについては WebClass を参照
2	10/28	14:40-16:10	遠隔授業（非同期型）	検査	検査における看護師の役割と援助方法を学ぶ。 WebClass に資料がある。	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 啓文	アクティブラーニング：小テスト事前・事後レポートについては WebClass を参照
3-5	11/4	13:00-17:50	看護学実習室 1, 看護学実習室 3	無菌操作・導尿	滅菌手袋の装着, 滅菌物の取り扱いの方法を学び、実践する。 無菌操作を踏まえて、モデルを用いて一時的導尿を実	森岡 典子, 柏木 聖代, 寺嶋 美帆, 大河原 啓文	アクティブラーニング：演習、小グループディスカッション 事前・事後レポートについては WebClass を参照

					践する。 WebClass に資料がある。		
6-7	11/7	13:00-16:10	遠隔授業(非同期型)	与薬	与薬における看護師の役割と援助方法を学ぶ。 WebClass に資料がある。	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 啓文	アクティブラーニング:小テスト 事前・事後レポートについては WebClass を参照
8-10	12/1	13:00-17:50	看護学実習室 1, 看護学実習室 2, 看護学実習室 3	注射法	安全・安楽に留意してモデルを用いて筋肉内注射を実践する。無菌操作を踏まえた与薬準備・実施方法を学ぶ。 WebClass に資料がある。	森岡 典子, 柏木 聖代, 寺嶋 美帆, 大河原 啓文	アクティブラーニング:演習、小グループディスカッション 事前・事後レポートについては WebClass を参照
11-12	12/6	13:00-16:10	看護学実習室 1, 看護学実習室 2, 看護学実習室 3	採血	採血における看護師の役割を踏まえ、モデルを用いて静脈血採血を実践する。 WebClass に資料がある。	森岡 典子, 柏木 聖代, 寺嶋 美帆, 大河原 啓文	アクティブラーニング:演習、小グループディスカッション 事前・事後レポートについては WebClass を参照
13-15	12/13	13:00-17:50	看護学実習室 1, 看護学実習室 2, 看護学実習室 3	看護技術 GW	「基礎看護学実習Ⅱ」で計画した看護技術を学生同士で実践・評価する。 WebClass に資料がある。	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 啓文	アクティブラーニング:演習、小グループディスカッション 事前・事後レポートについては WebClass を参照

授業方法

授業方法

授業は以下のように行う。詳細は「基礎看護学Ⅱ」でのオリエンテーションで示す。

1)本科目は、講義形式の授業と演習形式の授業からなる。いずれの授業形式の場合にも、当該授業内容に関して、教科書・参考書を用い、事前学習をして臨むことが必須である。

2)講義

・看護援助の意義、健康障害のある人に対する援助と看護の役割、援助を行うのに必要な情報とアセスメントを中心に行う。講義全体を通して、知識をもとに患者や看護師の「安全・安楽・自立」に基づき考えるだけでなく、考えた内容を他者に説明できるようにしておくこと。

・主に非同期で行われるため、期日までに教材を視聴の上、確認テストを受け、既定の合格点を取得することで出席とみなす。

・教材の視聴ログがあっても、確認テストの受験がない場合、また、既定の合格点に達していない場合は、欠席とみなす。

3)演習

・講義で得た知識を基に、「基礎看護学演習Ⅱ」中の連動する看護技術についての実施計画書(演習時の事前・事後課題に該当)を作成すること(詳細は初回授業時に説明する)。単なる手順書ではなく、講義内容を振り返りながら、看護援助の目的や根拠について論理的に考えることが必要な内容となる。

・演習前には当該演習内容に関して、教科書や資料を用いて事前レポートを回答・提出するなど、事前学習をして臨むことが必須である。

・演習は小グループ単位に分かれて進める。そのため、各学生が教科書や事前学習で得た基本的知識をもとに思考し、主体的に臨むことが必要である。必要物品の準備を行い、実施に適した環境と患者を整え、実践し原状復帰するまでをそれぞれの事前計画に沿って行う。実際に実践したうえで得た気づきや修正事項を、実施計画書に朱書きで追加していくこと。事前準備を行わずに演習に臨むと他学生の学習の妨げになるため、必ず十分な準備の下参加すること。演習に必要な資料は演習前に WebClass にアップするため、随時確認する。

・演習時は必ずユニフォームと実習靴を着用し、身だしなみを整えること。開始前に身だしなみの確認を行う。また、演習 2 週間前から健康調査を行い、所定の健康調査票に記載すること(当日必ず持参すること)。演習に使用する物品には各自が自宅から持参する物品もあるため、WebClass にアップする演習スケジュールを事前に確認し準備すること。

4)実施計画書以外の事前・事後課題がある場合には、WebClassにて掲示され、WebClass上での提出となる。時間を過ぎるとアクセスできなくなるため、ゆとりをもって取り組み、提出すること。提出期限を過ぎた課題は基本的には評価しない。

5)本科目の時間内にすべての看護技術の到達目標を達成することは難しい。演習時間内にできなかった項目や繰り返しの演習を必要とする項目に関しては、空き時間を使って積極的に自主練習することにより、目標達成を目指す。ただし、危険度の高い採血や注射などの自己演習は許可できない。

授業内容

日時および内容は変更する場合がある。

基礎看護学Ⅱのオリエンテーションで配布する基礎看護学開講科目日程表を参照のこと。

成績評価の方法

基盤看護学演習Ⅱの評価は、以下 4 つの項目により行われる。

1）非同期型授業の確認テストおよび筆記試験：非同期授業時の確認テストおよび期末に実施される筆記試験の合計点とする。

2）各看護技術の実施計画書：演習前の事前課題として、各看護技術の実施計画書（目的、アセスメント、根拠に基づく実施手順など）を作成すること。各自が立てた実施計画書を基に演習を実施し、看護師・患者役を体験した上で感じたことやグループ内での討議の結果を踏まえ、計画書の内容に朱書きで加筆・修正を行う（事後課題に相当）。看護技術は実践を通して得る気づきが重要であり、実施計画書への加筆修正により言語化することが重要となる。

3）事前・事後課題：課題内では、敬体（ですます調）ではなく常体（である調）を使用する必要がある。必要時、引用文献・参考文献リストを付記すること。誤字脱字、指定された字数の 8 割以下である場合には、減点とする。問われたこと(知識、科学的根拠に基づく論理的な文章展開、自身の考えや思考)に対して、適切な内容が反映されている必要がある。期限を過ぎた課題は評価しないので注意すること。

4）出席回数、参加態度：出席回数（ただし）、演習への準備状況、身だしなみ、演習中、質疑応答などでの活発な発言などの積極的な参加態度を評価する。非同期授業については、教材の視聴（アクセスログ）ならびに確認テストでの合格点（8 割）取得をもって出席とみなす。視聴ログがあっても確認テストで合格点に満たない場合には、出席とはみなされないので注意すること。設定されている授業日の 1 週間後までに視聴・確認テストに合格していることが望ましい。また、基礎看護学演習Ⅰの関連する技術演習の前には繰り返し視聴するなどの準備が必要である。全ての非同期授業の視聴・確認テストでの合格点の取得は 2022 年 12 月 13 日 23：59 までに行うこと。期限の延長はしないので、注意すること。

成績評価の基準

成績評価は、以下 4 つの項目で行い、各項目の成績の合計により評価を行う。1）～4）の項目の評価は、それぞれ 50%、20%、20%、10%とする。

1）非同期型授業の確認テストおよび筆記試験

講義の到達目標に達しているかを評価し、そのことが確認されたところで合格とする。

2）各看護技術の実施計画書

各看護技術の実施計画書において、目的、アセスメント、根拠に基づく実施手順など必要項目が網羅されていない場合、演習後の加筆・修正が行われていない場合は減点となる。教科書・講義資料・参考書・学術論文など自ら根拠に基づく看護技術方法を論理的に記述出来ている場合には加点となる。期限を過ぎて提出された計画書は評価の対象とならないので、提出期限を注意すること。

3）事前・事後課題

課題内では、敬体（ですます調）ではなく常体（である調）を使用する必要がある。必要時、引用文献・参考文献リストを付記すること。誤字脱字、指定された字数の 8 割以下である場合には、減点とする。問われたこと(知識、科学的根拠に基づく論理的な文章展開、自身の考えや思考)に対して、適切な内容が反映されている必要がある。期限を過ぎた課題は評価しないので注意すること。

4）参加態度および参加状況

基礎看護学演習Ⅰでは、学生自身が目的に応じたその時に最適な援助方法を、学生同士の話し合いと実践をしながら組み立てる必要がある。演習への積極的な参加や活発な発言など主体的な態度が見られた場合には加点する。

準備学習等についての具体的な指示

1）各演習内容を確認し、当該範囲の教科書や資料、動画を基に事前学習をして臨むこと。

2）各演習に必要な配布資料がある場合は、事前に WebClass にアップするため、各自で確認しダウンロードしておくこと。

3）各演習の事前・事後レポートは期間を設けて WebClass にアップする。各自でダウンロードし、指示された方法で提出すること。

※詳細はオリエンテーションで示す。

試験の受験資格

本科目の試験を受験するためには、全ての講義に出席することが学生としての基本となるが、少なくとも全体の 2／3 以上の出席を必要とする。

教科書

基礎看護技術 : 看護過程のなかで技術を理解する／香春知永, 齋藤やよい 編集,香春, 知永,齋藤, やよい, 1958-,:南江堂, 2018

看護が見える vol.2 臨床看護技術／医療情報科学研究所,:メディックメディア, 2018

参考書

看護が見える vol.1 基礎看護技術／医療情報科学研究所,:メディックメディア, 2018

看護が見える vol.3 フィジカルアセスメント／医療情報科学研究所,:メディックメディア, 2019

看護が見える vol.4 看護過程の展開／医療情報科学研究所 編集,医療情報科学研究所,:メディックメディア, 2020

看護技術プラクティス : 医療安全と感染管理をふまえた／竹尾恵子監修,竹尾, 恵子,:学研メディカル秀潤社, 2015

注射・検査に関する看護技術を中心に!／本庄, 恵子,吉田, みつ子,:インターメディカ, 2020

フィジカルアセスメントの根拠がわかる!機能障害からみたからだのメカニズム／清村紀子, 工藤二郎編集,清村, 紀子,工藤, 二郎,:医学書

院, 2014
根拠から学ぶ基礎看護技術／江口正信編著,江口, 正信,:サイオ出版, 2015
テーマに関連した参考図書を随時紹介する。

他科目との関連

本科目と「基礎看護学Ⅱ」、「基礎看護学演習Ⅰ」、「基礎看護学Ⅲ」、「基礎看護学実習Ⅱ」は密接に関係しており、それぞれの科目で学んだ知識や技術を応用して考えることが必要となる。 既習の解剖学、生理学、薬理学などの基礎科目や、1 年次に学んだ専門科目も密接に関連しているため、それらの学びを振り返っておくこと。 また、本科目はこれから開講されるすべての看護専門科目で学ぶ看護技術の基盤となる。

履修上の注意事項

1）授業中にスクリーン、zoom 等の画面を撮影することを禁止する 2）講義資料等を受講者以外に配布・公開することを禁止する 3）授業日時・内容・実施方法（場所）が変更になる場合には、Webclass にて周知するので、Webclass からの連絡をオンタイムで確認できるメールアドレスに事前に転送設定しておくこと

備考

看護学の基盤となる理論や概念を踏まえ科学的根拠に基づく看護技術を学ぶため、柔軟な思考力と考えたことを演習で実践する力が必要となる、これまでの学習経験や生活体験、社会体験を踏まえ、幅広い分野の書物や研究論文に触れ、社会情勢にも関心を持つことが望ましい。

連絡先（メールアドレス）

柏木 聖代:kashiwagi.fnls@tmd.ac.jp 3 号館 18 階看護ケア技術開発学教授室
森岡 典子:3 号館 18 階看護ケア技術開発学研究室 3
大河原 啓文:ogawara.fnls@tmd.ac.jp

オフィスアワー

柏木 聖代:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。
森岡 典子:柏木 聖代:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。
大河原 啓文:3 号館 18 階看護ケア技術開発学研究室 2

時間割番号	012023				
科目名	基礎看護学実習Ⅱ			**科目ID**	MN-272000-E
担当教員	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 啓文[KASHIWAGI Masayo, MORIOKA Noriko, OOGAWARA Hirofumi]				
開講時期	2022 年度後期	**対象年次**	2	**単位数**	2
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Practice of Fundamental Nursing Ⅱ

【科目責任者】柏木聖代

主な講義場所

保健衛生学講義室1(3号館18階)、保健衛生学講義室 4(3号館7階)、看護実習室1・2(3号館17階)、東京医科歯科大学病院

授業の目的、概要等

本科目では、患者への日常生活援助技術を中心にした看護過程を実際の臨床現場において展開することで、既習の知識・技術を統合して看護実践の場面に適用し, 看護の理論と実践を結び付けて理解できる能力を養う。医療を受ける人々と取り巻く環境を理解し、個別性を考慮した看護実践の基礎を学ぶ。本科目での経験・学びは、3 年次以降に行われる領域別看護実習を展開するための基盤となる。

また、自律的な実習への参加を通して、専門職の一員としての態度と倫理的な判断の素養を養うことを目的とする。

授業の到達目標

1)受け持ち患者を全人的に捉え、日常生活援助を中心とした看護過程を展開できる。

(1)看護師が対象をどのような視点でとらえているのか説明できる。

(2)対象の個別性を重視した看護目標を立案できる。

(3)対象のニーズを捉え、基本的な看護技術(日常生活援助)を実践できる。

(4)看護実践を通して、対象の看護目標の評価を行い、今後の看護目標に活かすことができる。

(5)指導看護師および教員の助言の基、臨床推論・臨床判断の基本的な考え方を知り、実践できる。

2)臨床場面における看護師としての倫理的な姿勢、態度を模倣できる。

(1)事故を予防し安全を促進する責任を説明できる。

(2)感染防止の実際を討論できる。

(3)生命の尊厳とプライバシー保護の方法と重要性を説明できる。

3)医療の場で働く他職種の活動を知り、看護の専門性をふまえた連携について説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	6/2	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 1	実習オリエンテーション	実習オリエンテーション	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 啓文	アクティブラーニング:実習
2-5	9/1	08:50-16:10	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1, 看護学実習室 2	基礎看護学実習Ⅱ	詳細は実習要項参照	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 啓文	アクティブラーニング:実習 グループワーク、討論、実習記録などの提出物については実習要項参照
6-9	9/2	08:50-16:10	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1, 看護学実習室 2	基礎看護学実習Ⅱ	詳細は実習要項参照	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 啓文	アクティブラーニング:実習 グループワーク、討論、実習記録などの提出物については実習要項参照
10-13	9/5	08:50-16:10	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1, 看護学実習室 2	基礎看護学実習Ⅱ	詳細は実習要項参照	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 啓文	アクティブラーニング:実習 グループワーク、討論、実習記録などの提出物については実習要項参照
14-17	9/6	08:50-16:10	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1, 看護学実習室 2	基礎看護学実習Ⅱ	詳細は実習要項参照	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 啓文	アクティブラーニング:実習 グループワーク、討論、実習記録などの提出物については実習要項参照
18-21	9/7	08:50-16:10	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1, 看護学実習室 2	基礎看護学実習Ⅱ	詳細は実習要項参照	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 啓文	アクティブラーニング:実習 グループワーク、討論、実習記録などの提出物については実習要項参照
22-25	9/8	08:50-16:10	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1,	基礎看護学実習Ⅱ	詳細は実習要項参照	柏木 聖代, 森岡 典子,	アクティブラーニング:実習 グループワーク、討論、実習記録などの提出

			看護学実習室2			大河原 啓文	物については実習要項参照
26-29	9/9	08:50-16:10	保健衛生学科講義室4, 看護学実習室1, 看護学実習室2	基礎看護学 実習Ⅱ	詳細は実習要 項参照	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 啓文	アクティブラーニング:実習 グループワーク、討論、実習記録などの提出物については実習要項参照
30-33	9/12	08:50-16:10	保健衛生学科講義室4, 看護学実習室1, 看護学実習室2	基礎看護学 実習Ⅱ	詳細は実習要 項参照	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 啓文	アクティブラーニング:実習 グループワーク、討論、実習記録などの提出物については実習要項参照
34-37	9/13	08:50-16:10	保健衛生学科講義室4, 看護学実習室1, 看護学実習室2	基礎看護学 実習Ⅱ	詳細は実習要 項参照	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 啓文	アクティブラーニング:実習 グループワーク、討論、実習記録などの提出物については実習要項参照
38-39	9/14	08:50-12:00	保健衛生学科講義室4, 看護学実習室1, 看護学実習室2	基礎看護学 実習Ⅱ	詳細は実習要 項参照	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 啓文	アクティブラーニング:実習 グループワーク、討論、実習記録などの提出物については実習要項参照

授業方法

6月2日(木)3限にオリエンテーションを実施
9月1日(木)～9月14日(水)病院実習(予定)
詳細については実習要項参照のこと。

授業内容

詳細については、後日配布する実習要項に提示する。

成績評価の方法

基礎看護学実習Ⅱの評価は、以下3つの項目により行われる。実習への出席は評価を行うための最低条件であるため、成績評価には加味しない。ただし、以下3項目は独立した評価項目ではなく、互いに連動していることに注意すること。
1)実習記録(40%):最終的に提出する看護過程や実習記録の内容を考慮して評価する。
2)病棟での実践(40%):病棟での実習参加状況や、患者の個別性に応じた看護ケアの実践状況などを評価する。
3)態度および参加状況(20%):実習中やグループワーク、質疑応答での活発な発言などの積極的な参加態度や、身だしなみや時間厳守、約束事を守れているかなどの実習態度を評価する。

成績評価の基準

成績評価は、以下3つの項目で、総合的に評価する。各評価項目の詳細については、実習要項参照。
1)実習記録
実習記録が提出期限までに、実習要項に書かれた正しい方法で提出さていた場合に評価を行う。
記録物は敬体(ですます調)ではなく常体(である調)を使用する必要がある。また実習記録は感想文や実施した看護援助の列挙を求めてはいない。そのため、実習中に実施した内容や実地指導者からの助言などから学んだことや、自身で感じたことや考えたことを具体的に記載した内容を評価する。
2)病棟での実践
病棟での看護実践について、目的に応じた物品や援助方法を選択できているか、実地指導者や指導教員からのアドバイスを次の看護援助に活かせているかなどを評価する。
3)実習態度および参加状況
基礎看護学実習Ⅱでは積極的な参加が求められる。そのため、実習やグループワークへの積極的な参加や質疑応答などで活発な発言など主体的な態度が見られた場合には加点する。また看護を学ぶ学習者としての態度を示すことも実習目標であるため、身だしなみを整える、時間厳守する、約束事を守るなどを行えている場合にも加点する。

準備学習等についての具体的な指示

1)実習要項を熟読し、基礎看護学実習Ⅱの目的・目標を理解すること。
2)基礎看護学Ⅱおよび基礎看護学演習Ⅰで学習した看護および看護技術、基礎看護学Ⅲで学習した看護過程について、実習初日までに復習しておくこと。
3)夏休み期間中の実習室の使用を認める(要申請)ので、各自で十分に練習を行うこと。ただし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況に伴う本学活動制限に準拠する。

試験の受験資格

この実習に参加できる学生は、基礎看護学Ⅰ、基礎看護学Ⅱ、基礎看護学演習Ⅰ、基礎看護学実習Ⅰの単位を修得した者に限る。
本科目では試験を実施しない。成績評価を行うためには、すべての実習日程に出席することが学生としての基本となるが、少なくとも実習

期間の 3／4 以上の出席が必要である。1 日の実習時間のうち、3／4 以上の時間を参加することで出席とする。また遅刻および早退は時間の長さに関わらず、2 回で 1 日の欠席とみなす。
詳細は実習要項参照。

教科書

基礎看護学Ⅱの教科書を参照のこと

参考書

基礎看護学Ⅱの参考書を参照のこと

他科目との関連

これまでに学んだ基礎看護学等の知識・技術を実際の医療場面に活用し発展させる実習であるため、これまで学んだ内容と密接な関係にある。特に基礎看護学Ⅱ、基礎看護学演習Ⅰでの知識や技術、基礎看護学Ⅲでの看護過程に関する知識は、実習を行う上で必ず必要となるため、十分に振り返っておくこと。

履修上の注意事項

1）実習内容・実施方法（場所）が変更になる場合には、Webclass にて周知するので、Webclass からの連絡をオンタイムで確認できるメールアドレスに事前に転送設定しておくこと。 2）時間を厳守し、実習生にふさわしい態度を持ち、身だしなみを整えて実習に臨むこと。 3）実習の場は医療の場のため、態度・言葉遣いなどにも注意すること。 4）実習中に得た患者の情報は、絶対に電子メールや Web サイト、SNS などでインターネット上に発信しないこと。 ※その他詳細は実習要項を参照すること。

備考

実習要項を良く熟読し、実習に参加すること。

連絡先（メールアドレス）

柏木 聖代:kashiwagi.fnls@tmd.ac.jp 3 号館 18 階看護ケア技術開発学教授室
森岡 典子:3 号館 18 階看護ケア技術開発学研究室 3
大河原 啓文:ogawara.fnls@tmd.ac.jp

オフィスアワー

柏木 聖代:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。
森岡 典子:柏木 聖代:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。
大河原 啓文:3 号館 18 階看護ケア技術開発学研究室 2

時間割番号	012024				
科目名	成人看護学Ⅰ			科目ID	MN-232100-L
担当教員	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子[TANAKA Makoto, KAWAKAMI Aki, KAWAMOTO YUKO]				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	2	単位数	2
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Adult Health Nursing Ⅰ

【科目責任者】田中 真琴

主な講義場所

Zoom による同期型授業

授業の目的、概要等

成人看護学は, Ⅰ～Ⅲで構成している。そのうち、Ⅰは成人期にある人々の特徴を理解し、外科的治療および内科的治療を必要とする患者の急性期から回復期、慢性期、終末期にいたる疾病段階にある人々に対して必要な看護の原則について講義、グループワーク、課題発表を通して学ぶ。これを通して、健康障害のある患者の看護を身体系統別に理解する上での基礎的知識を養う。

授業の到達目標

・成人期にある人々の特徴を理解できる。
・成人期の健康問題とその影響、必要な看護ケアを理解できる。
・外科的・内科的治療を必要とする患者の看護ケアを理解できる。
・回復期, 慢性期, 終末期、退院に関する看護ケアを理解できる。
1～2 回目:成人期の特徴と健康問題を理解できる。
3～5 回目:慢性病患者の特徴と看護について理解できる。
6 回目:手術を受ける患者の心身の特徴と看護について理解できる。
7 回目:手術看護の役割を理解できる。
8～9 回目:術後の心身の変化と看護について理解できる。
10,12 回目:がん患者の治療と特徴、看護について理解できる。
11 回目:救急医療システムと看護の役割について理解できる。
13,15 回目:退院調整活動に関して理解できる。
14 回目:終末期にある患者への看護の役割について理解できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/15	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	成人看護学概論(1)	オリエンテーション・成人期の特徴と成人各期の理解	田中 真琴
2	4/22	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	成人看護学概論(2)	成人の健康問題と健康生活を促す看護	田中 真琴
3	4/28	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	慢性病患者の看護(1)	慢性病の動向、慢性病患者の特徴の理解	田中 真琴
4	5/6	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	慢性病患者の看護(2)	慢性病患者の生活支援方法とQOLについて	田中 真琴
5	5/12	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	慢性病患者の看護(3)	患者理解とセルフマネージメントを支える看護	田中 真琴
6	5/12	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	手術患者の看護(1)(総論・術前の看護)	手術を受ける患者の心身の特徴と術前における看護の実際	川上 明希
7	5/20	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	手術患者の看護(2)(術中の看護)	手術室看護師の役割と看護の実際	川上 明希
8	6/3	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	手術患者の看護(3)(術後の看護①)	術後急性期における看護(観察、全人的アセスメント、合併症予防、回復促進のためのケアについて)	川本 祐子
9	6/10	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	手術患者の看護(4)(術後の看護②)	術後回復期における看護(後障害への適応に向けた看護の役割と家族支援について)	川本 祐子
10	6/10	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	がん看護(1)	がん患者を取り巻く諸問題と看護の展望	田中 真琴
11	6/13	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	救急看護	本邦における救急医療システムと看護の役割	佐々木 吉子
12	6/17	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	がん看護(2)	がんの治療の特徴(特に化学療法と放射線療法)と治療の伴うさまざまな問題、看護支援について	田中 真琴
13	6/24	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	退院支援(1)	退院調整活動の理解:基礎編	川上 明希
14	6/27	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	終末期看護	終末期にある患者や家族の様子や看護支援につい	藤原 紀子

					て	
15	6/30	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	退院支援(2)	退院調整活動の実際:応用編	川上 明希

授業方法

講義、グループワーク、課題発表、講義前後の課題

授業内容

授業明細参照

成績評価の方法

1. 学期末筆記試験
2. 個人レポート
3. 授業中および前後の課題への取り組み(グループワーク、小テスト、授業後レポートの内容など)
4. 授業への出席状況、参加態度

で評価する。

・筆記試験の受験資格は、授業への出席が 3 分の 2 以上である。

・筆記試験の一部に英語の問題を出題する。

・授業に欠席したものは、原則として欠席回の該当課題提出を認めない

成績評価の基準

総合得点が 60 点以上の者を合格とする。

1. 学期末筆記試験(90%)
2. 個人レポート(10%)
3. 授業中および前後の課題への取り組み(減点方式)
4. 授業への出席状況、参加態度(減点方式)

詳細は初回授業で説明する。

準備学習等についての具体的な指示

事前に教科書等に目を通し、事前課題がある場合は提出すること。

教科書

系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学総論(第 15 版)/小松浩子他:医学書院, 2018

臨床外科看護総論(第 11 版)/矢永勝彦, 髙橋則子 編,:医学書院, 2017

参考書

周手術期看護論(第 3 版)/雄西智恵美, 秋元典子 編集,:ヌーヴェルヒロカワ, 2014

周術期の臨床判断を磨く : 手術侵襲と生体反応から導く看護/鎌倉やよい, 深田順子 著,:医学書院, 2008

術中/術後の生体反応と急性期看護/竹内登美子編著,竹内, 登美子,:医歯薬出版, 2019

テーマによる参考図書の紹介

履修上の注意事項

解剖・生理学, 病態学を習得のこと。

備考

・その他

授業日程、内容は変更することがある。

連絡先(メールアドレス)

田中 真琴:tanaka.cc@tmd.ac.jp 3 号館 19F

川上 明希:akikawakami.cc@tmd.ac.jp 3 号館 17F

川本 祐子:kawamoto.cc@tmd.ac.jp 3 号館 19F

オフィスアワー

田中 真琴:月曜～金曜 AM9:00-PM18:00

不在時間、対応出来ない時間もあるため、質問や相談時は、事前連絡をすることが望ましい

時間割番号	012025				
科目名	成人看護学Ⅱ			科目ID	MN-232200-L
担当教員	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子[TANAKA Makoto, KAWAKAMI Aki, KAWAMOTO YUKO]				
開講時期	2022 年度後期	対象年次	2	単位数	2
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Adult Health NursingⅡ

【科目責任者】田中 真琴

主な講義場所

Zoom 講義

授業の目的、概要等

既習の病態学および成人看護学Ⅰをもとに, 身体系統別の健康障害を有する成人期にある人々を理解し,それらの人々に対しての具体的な看護支援方法を、講義、事例検討、討論等を通して学ぶ。

授業の到達目標

アセスメント, 一般的看護問題とその成因および看護活動が理解できる。

1～2 回目:脳神経系に障害のある患者の看護について理解できる。

3～4 回目:呼吸器系に障害のある患者の看護について理解できる。

5～6 回目:循環器系に障害のある患者の看護について理解できる。

7～8 回目:腎疾患患者、内分泌・代謝系に障害のある患者の看護について理解できる。

9 回目:感覚器系に障害のある患者の看護について理解できる。

10 回目:運動器系に障害のある患者の看護について理解できる。

11～12 回目:消化器系に障害のある患者の看護について理解できる。

13 回目:泌尿器系に障害のある患者の看護について理解できる。

14 回目:女性生殖器系に障害のある患者の看護について理解できる。

15 回目:膠原病・難病患者の看護について理解できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/30	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	脳神経系障害患者の看護(1)		田中 真琴
2	9/30	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	脳神経系障害患者の看護(2)		田中 真琴
3	10/7	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	呼吸器系障害患者の看護(1)	「基礎編」	矢富 有見子
4	10/7	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	呼吸器系障害患者の看護(2)	「実践編」	矢富 有見子
5	10/14	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	循環器系障害患者の看護(1)	「急性期看護」	梅田 亜矢
6	10/14	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	循環器系障害患者の看護(2)	「回復期・慢性期看護」	梅田 亜矢
7	10/21	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	腎障害患者の看護		小坂 志保
8	10/21	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	内分泌・代謝系障害患者の看護		小坂 志保
9	10/24	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	感覚器障害患者の看護(1)		花出 正美
10	11/4	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	運動器疾患患者の看護		植田 満美子
11	11/11	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	消化器系障害患者の看護(1)	「管腔臓器編」	田中 真琴
12	11/11	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	消化器系障害患者の看護(2)	「肝胆膵編」	田中 真琴
13	11/24	08:50-10:20	遠隔授業(非同期型)	泌尿器系障害患者の看護		川上 明希
14	11/25	08:50-10:20	遠隔授業(非同期型)	女性生殖器系障害患者の看護		川本 祐子
15	12/9	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	膠原病・難病患者の看護		鵜沢 久美子

授業方法

講義、グループワーク、講義前後の課題

授業内容

授業明細参照

成績評価の方法

1. 学期末筆記試験

2. 授業中および前後の課題への取り組み(グループワーク、小テスト、授業後レポートの内容など)

3. 授業への出席状況、参加態度

で評価する。

・筆記試験の受験資格は、授業への出席が 3 分の 2 以上である。

・筆記試験の一部に英語の問題を出題する。

・出席していない回の該当課題の提出は原則認めない。

成績評価の基準

総合得点が 60 点以上の者を合格とする。

1. 学期末筆記試験(100%)

2. 授業中および前後の課題への取り組み(減点方式)

3. 授業への出席状況、参加態度(減点方式)

詳細は初回授業で説明する。

準備学習等についての具体的な指示

事前に参考図書に目を通し、事前課題がある場合は提出すること。

参考書

疾患別看護過程の展開(第 6 版)／石川ふみよ, 高谷真由美監修,石川, ふみよ,高谷, 真由美,:学研メディカル秀潤社, 2020

エビデンスに基づく疾患別看護ケア関連図／山本則子編集,山本, 則子,阿部, 俊子,:中央法規出版, 2014

臨床病態学 : 看護のための／浅野嘉延, 吉山直樹編,浅野, 嘉延,吉山, 直樹,:南山堂, 2020

成人看護学総論／小松浩子 [ほか] 著,小松, 浩子,:医学書院, 2018

臨床外科看護総論／矢永勝彦, 高橋則子編 ; 矢永勝彦 [ほか] 執筆,矢永, 勝彦,高橋, 則子,芦塚, 修一,石田, 祐一,衛藤, 謙,:医学書院, 2017

テーマによる参考図書の紹介

他科目との関連

前期での成人看護学Ⅰ(概論)および解剖・生理学, 病態学の授業資料や教科書等を参照し、内容をよく理解しておくこと。

履修上の注意事項

解剖学, 生理学, 病態学, 薬理学との知識を統合させながら, 講義内容の理解に努めること。

備考

その他

授業日程、内容は変更することがある。

連絡先(メールアドレス)

田中 真琴:tanaka.cc@tmd.ac.jp 3 号館 19F

川上 明希:akikawakami.cc@tmd.ac.jp 3 号館 17F

川本 祐子:kawamoto.cc@tmd.ac.jp 3 号館 19F

オフィスアワー

田中 真琴:月曜～金曜 AM9:00-PM18:00

不在時間、対応出来ない時間もあるため、質問や相談時は、事前連絡をすることが望ましい

時間割番号	012026				
科目名	精神看護学			科目ID	MN-232300-L
担当教員	高野 歩, 松長 麻美, 竹内 崇, 田村 赳紘, 塩飽 裕紀, 三木 崇弘, 松本 有紀子, 治徳 大介, 岡田 幸之, 長沼 洋一, 松岡 裕美, 稲次 基希, 渡辺 純一[TAKANO Ayumi, MATSUNAGA Asami, TAKEUCHI TAKASHI, TAMURA Takehiro, SHIWAKU Hiroki, MIKI Takahiro, MATSUMOTO Yukiko, JITOKU DAISUKE, OKADA TAKAYUKI, NAGANUMA Yoichi, MATSUOKA HIROMI, INAJI MOTOKI, WATANABE Junnichi]				
開講時期	2022 年度後期	対象年次	2	単位数	2
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Psychiatric Nursing

【科目責任者】高野 歩

主な講義場所

対面授業(保健衛生学講義室1(3 号館 18 階))

※新型コロナウイルス感染症拡大時は、大学の感染対策レベルに応じて、対面から Zoom に変更することがある。

授業の目的、概要等

精神看護実践の前提となる、精神疾患の病態、精神科診断学、治療学等の精神医学の基礎知識を習得する。司法精神医療等、精神医療の関連領域における治療の理論や方法について理解する。精神医療・精神保健福祉における法律、制度、施策に関する知識を習得し、わが国における課題について考察する。これらの内容を看護学の視点から再考し、看護職の役割や看護援助への活用について考察する。

授業の到達目標

□精神疾患の症状や治療法、精神保健福祉政策に関する基礎知識を身につける。

□心理社会的療法や家族支援の方法に関する基礎知識を身につける。

□リカバリーを促進する支援・看護とは何か説明できる。

1～8・10 回目:精神的な機能の障害を精神医学的な疾患論、障害学、診断学に基づいて評価する方法、薬物療法について説明できる。

9 回目:司法精神医学における精神疾患の評価と精神鑑定について学び、司法精神医療の制度や治療について説明できる。

11・12 回目:精神医療と精神科看護の歴史について理解を深め、わが国の精神保健福祉をめぐる法律、制度、施策の実際や課題について説明できる。

13 回目:リエゾン精神看護について学び、精神看護専門看護師の役割やリエゾンチーム医療の活動内容について説明できる。

14 回目:急性期・回復期・慢性期における看護援助について学び、また行動制限のあり方および実施方法について説明できる。

15～16 回目:心理社会的療法、精神科リハビリテーション、家族支援の理論や方法、ストレングスモデルやリカバリーの考え方に基づいた支援・看護について説明できる。また、精神保健医療チームにおける看護職の役割や看護援助の方法について説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/29	13:00-14:30	保健衛生学科講義室1	精神障害の分類、疫学	精神疾患の診断分類、障害学に基づく理解、精神障害の疫学、精神医療・精神保健福祉の概要	高野 歩, 松長 麻美
2	9/29	14:40-16:10	保健衛生学科講義室1	器質性精神病の診断と治療	意識障害・せん妄による精神症状、健忘その他の認知障害、身体疾患による精神症状、診断、治療	竹内 崇, 高野 歩, 松長 麻美
3	10/6	13:00-14:30	保健衛生学科講義室1	統合失調症の診断と治療	統合失調症、妄想性障害の症状、診断、治療	田村 赳紘, 高野 歩, 松長 麻美
4	10/6	14:40-16:10	保健衛生学科講義室1	気分障害の診断と治療	うつ状態と躁状態、気分障害の症状、診断、治療	塩飽 裕紀, 高野 歩, 松長 麻美
5	10/13	14:40-16:10	保健衛生学科講義室1	神経症性障害、ストレス関連性障害、身体表現性障害およびパーソナリティ障害の診断と治療	神経症性障害の概念、不安障害、強迫性障害、解離性転換性障害、身体表現性障害／パーソナリティ障害の症状、診断、治療	松本 有紀子, 高野 歩, 松長 麻美
6	10/13	16:20-17:50	保健衛生学科講義室1	小児期に発症する行動・情緒障害の診断と治療	発達障害・素行障害の症状、診断、治療、支援の方法	三木 崇弘, 高野 歩, 松長 麻美

7	10/20	13:00-14:30	保健衛生学科講義室1	物質関連障害および嗜癖性障害群の診断と治療	物質使用障害、ギャンブル障害、ゲーム障害の症状、診断、治療	治徳 大介, 高野 歩, 松長 麻美
8	10/20	14:40-16:10	保健衛生学科講義室1	精神科の薬物療法	向精神薬の薬理作用と副作用	田村 赳紘, 高野 歩, 松長 麻美
9	11/10	13:00-14:30	保健衛生学科講義室1	司法精神医学・看護	精神障害に起因する司法的問題、精神疾患の評価と精神鑑定の概要、司法精神医療の制度と治療	岡田 幸之, 高野 歩, 松長 麻美
10	11/10	14:40-16:10	保健衛生学科講義室1	てんかんの診断と治療	てんかん発作の病態と診断、治療、てんかん性精神障害に対する介入	稲次 基希, 高野 歩, 松長 麻美
11	11/17	13:00-14:30	保健衛生学科講義室1	精神医療と精神科看護の歴史	精神医療および精神科看護の歴史、精神障害者の人権とアドボカシー	長沼 洋一, 高野 歩, 松長 麻美
12	11/17	14:40-16:10	保健衛生学科講義室1	精神保健福祉をめぐる法律、制度、施策	精神保健福祉法と関連法規の概要、精神保健福祉法と入院制度、精神保健福祉施策の現状と課題	長沼 洋一, 高野 歩, 松長 麻美
13	12/8	13:00-14:30	保健衛生学科講義室1	リエゾン精神医学・看護	リエゾン精神医学・看護の概要、身体疾患患者における精神的な問題と介入、リエゾン精神看護専門看護師の役割	松岡 裕美, 高野 歩, 松長 麻美
14	12/8	14:40-16:10	保健衛生学科講義室1	病期に応じた精神科看護実践	急性期・回復期・慢性期における看護援助、行動制限のあり方および実施方法	渡辺 純一, 高野 歩, 松長 麻美
15	12/15	13:00-14:30	保健衛生学科講義室1	心理社会的療法と看護(1)	心理社会的療法(心理教育、認知行動療法、SSTなど)の理論と方法	高野 歩, 松長 麻美
16	12/15	14:40-16:10	保健衛生学科講義室1	心理社会的療法と看護(2)	家族支援の理論と方法、セルフケアモデルの理論と看護、ストレングスモデルの理論と活用、リカバリー指向の支援・看護	高野 歩, 松長 麻美

授業方法

授業は以下の方法で行う。

1. 講義:講義は、対面授業とする。各回の中で重要なこと、看護実践に必要な応用的内容を中心に行う。講義資料は、講義前に Webclass にて配布するので、各自手元に用意すること。

2. 授業中のグループワーク:実践的な内容について、グループワークを行うことがある。

3. リフレクティブレポート:各回の授業終了後、授業で学んだことや感想、質問等を WebClass の指定の場所に提出すること。質問に対しては、次回の授業で説明するか、WebClass にて回答を掲示する。

授業中、教員と学生との間でのディスカッション、グループワーク、小テストにより、アクティブラーニングを実施する。

授業内容

授業計画参照

成績評価の方法

次の 3 つの方法により評価する。

1. 筆記試験(60%):授業で学習した重要な事項について選択式問題形式で出題する。授業で取り上げた内容に関する過去の看護師国家試験問題についても、出題範囲に含まれる。筆記試験の成績は、例えば筆記試験(100 点満点)の結果が 70 点である場合、その得点の 60%である、60%×70 点= 42 点が成績となる。

2. 授業への参加状況(20%):出席、確認テスト、グループワーク参加状況、授業中の質問等により総合的に評価する。精神看護学の成績の 20%を授業への参加状況により評価する。

3. リフレクティブレポート(20%):レポート提出状況、レポートの内容により評価する。精神看護学の成績の 20%をリフレクティブレポートにより評価する。

成績評価の基準

上記の成績評価の方法に示す各項目の成績の合計により評価を行い、100 点満点中 60 点以上を合格とする。なお、授業中およびリフレクティブレポートでの、重要な質問や、誤りの指摘などがあった場合には、最終評価において加点されることがある。

準備学習等についての具体的な指示

教科書の該当箇所について予習をして臨むこと。既習の関連する他科目(主に薬理学)の授業を復習しておくこと。

試験の受験資格

授業の出席(2/3 以上とする)、リフレクティブレポートの提出(2/3 以上)を必要とする。

教科書

精神看護の基礎／武井麻子著者代表,武井, 麻子,:医学書院, 2021

精神看護の展開／武井麻子著者代表,武井, 麻子,:医学書院, 2021

武井麻子他著「系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学[1][2]」医学書院、2021

参考書

授業内で適宜提示する。

他科目との関連

地域精神看護学、精神看護学演習、精神看護学実習と関連する。

履修上の注意事項

WebClass の精神看護学のコースに適宜資料をアップするので参照すること。

備考

臨床現場での具体的事例を提示しつつ、学生の理解を促進できるように授業を構成する。

連絡先(メールアドレス)

高野 歩:ayumi-takano.pn@tmd.ac.jp

松長 麻美: asamim.pn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

高野 歩:事前にメールでアポイントを取り、研究室を訪ねてきてください(3 号館 18 階精神保健看護学分野研究室 2)。

松長 麻美:事前にメールでアポイントを取り、研究室を訪ねてきてください(3 号館 15 階精神保健看護学研究室)

時間割番号	012027				
科目名	小児看護学Ⅰ			科目ID	MN-232400-L
担当教員	岡光 基子, 矢郷 哲志[OKAMITSU MOTOKO, YAGOU Satoshi]				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	2	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Pediatric Nursing Ⅰ

【科目責任者】 岡光 基子

主な講義場所

Zoom 又は保健衛生学講義室1(3号館18階)

授業の目的、概要等

小児は成長発達する存在であり, 大人とは質的に異なる面がある。小児の特徴を生涯発達の視点から理解し, また, 学校保健の視点から成長期にある幼児, 児童, 生徒, 学生の健康の保持増進をはかるための, 学校教育および学校保健管理活動について, 講義, 討論, 演習などを通して学習する。

授業の到達目標

第1回:子ども観の変遷, 小児保健統計, ヘルスプロモーションの概念について説明できる
第2回:乳児期の形態, 運動, 精神的発達、生活について説明できる
第3回:幼児期の形態, 運動, 精神的発達, 生活について説明できる
第4回:学童期の形態, 運動, 精神的発達, 生活について説明できる
第5回:学校保健の目的, 対象, 内容, 方法, 学校保健法について説明できる
第6回:学校保健管理の実際(健康診断・相談, 生活・環境管理, 学校安全)について説明できる
第7回:学校給食・栄養教育の意義・目的, 食育推進事業の実際について説明できる
第8回:思春期の形態, 運動, 精神的発達, 生活について説明できる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	5/20	13:00-14:30	保健衛生学科講義室1	子どもとは, 小児の健康	子ども観の変遷 小児保健統計・ヘルスプロモーション	岡光 基子	アクティブラーニング:討論、リアクションペーパー
2	5/20	14:40-16:10	保健衛生学科講義室1	乳児期の成長発達	乳児期の運動・精神的発達、日常生活、健康問題の特徴	矢郷 哲志	アクティブラーニング:討論、リアクションペーパー
3	6/3	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	幼児期の成長発達	幼児期の運動・精神的発達、日常生活、健康問題の特徴	岡光 基子	アクティブラーニング:討論、リアクションペーパー
4	6/3	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	学童期の成長発達	学童期の運動・精神的発達、日常生活、健康問題の特徴	矢郷 哲志	アクティブラーニング:討論、リアクションペーパー
5	6/10	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	学校保健総論	学校保健の目的、対象、内容、方法、学校保健法	小出 由紀子	アクティブラーニング:討論、演習(ロールプレイ)、リアクションペーパー
6	6/10	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	学校保健管理の実際(1)	健康診断・相談、生活・環境管理、学校安全	小出 由紀子	アクティブラーニング:討論、演習(ロールプレイ)、リアクションペーパー
7	6/17	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	学校保健管理の実際(2)	学校給食・栄養教育	島崎 聡子	アクティブラーニング:討論、リアクションペーパー
8	6/17	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	思春期の成長発達	思春期の運動・精神的発達、日常生活、健康問題の特徴	幸本 敬子	アクティブラーニング:討論、リアクションペーパー

授業内容

子どもの成長発達の理解, 子どもをとりまく環境と生活の理解と支援を学ぶために, また, 学校保健の理念と実践, 技法を学ぶため, 以下の講義内容を編成する。
講義の他, 事例を用いたロールプレイや討論などアクティブラーニングを行う。講義毎に講義内容に関する質問や疑問, 学び, 感想など

をリアクションペーパーに記載してもらい，講義終了後に回収する。
成績評価の方法 定期試験(70%)，課題レポート(10%)，リアクションペーパー(10%)，講義への参加状況(10%)により総合的に評価する。原則として、2/3 以上出席した場合に成績評価の対象とする。指示に従わない場合は，受験資格を失うので注意すること。尚，試験の一部に英語の問題を出題する。
成績評価の基準 上記の成績評価に示す各項目の成績の合計により評価する。試験問題は，授業の到達目標に達しているかを評価し，そのことが確認されたところで合格とする。
準備学習等についての具体的な指示 初回の授業でレポート課題を提示する。教科書を読んで事前学習して講義に臨み，事前課題がある場合にはそれに従うこと。
教科書 ナーシング・グラフィカ 小児看護学(1)：小児の発達と看護 第 6 版／中野綾美編：メディカ出版，2019 ナーシング・グラフィカ 小児看護学(2)：小児看護技術 第 4 版／中野 綾美編：メディカ出版，2019
他科目との関連 「小児看護学Ⅰ」は，各発達段階の形態的，機能的，心理・社会的特徴について学習するため，「解剖学」，「生理学」など他の専門科目と密接な関りを持つ。
履修上の注意事項 WebClass の該当コースに適宜資料をアップするので参照すること。
連絡先（メールアドレス） 岡光 基子:motoko.cfn@tmd.ac.jp 3 号館 19F 矢郷 哲志:sycfn@tmd.ac.jp 3 号館 18F
オフィスアワー 岡光 基子:随時（必ず事前に連絡を入れること）

時間割番号	012028				
科目名	小児看護学演習Ⅰ			科目ID	MN-252500-S
担当教員	岡光 基子, 矢郷 哲志[OKAMITSU MOTOKO, YAGOU Satoshi]				
開講時期	2022 年度後期	対象年次	2	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Seminar of Pediatric Nursing Ⅰ

【科目責任者】 岡光 基子

主な講義場所

Zoom 又は保健衛生学講義室1(3号館18階)

授業の目的、概要等

多様化しつつある子どもの環境および生活の中で, 小児看護は発達と健康を支援するための知識・技術が幅広く求められている。小児特有の疾患を理解し, 必要な看護ケアと技術を講義, 討論などを通して学習する。

授業の到達目標

第1回:小児看護の特徴, 医療システム, 病気・入院による子どもと家族の反応について説明できる
第2回:小児の神経, 運動器疾患の病態と治療について説明できる
第3回:小児の外科系疾患の病態と治療について説明できる
第4回:小児の内分泌・代謝性疾患の病態と治療について説明できる
第5回:小児の肝、消化患、腎疾患の病態と治療について説明できる
第6回:小児の循環器疾患, 川崎病の病態と治療について説明できる
第7回:小児の呼吸器疾患, 感染症の病態と治療, 予防接種の要点について説明できる
第8回:小児の血液・腫瘍性疾患, アレルギー疾患, 免疫疾患の病態と治療について説明できる
第9回:急性疾患をもつ小児の観察・アセスメント, 看護の要点について説明できる
第10回:1型糖尿病をもつ小児の生活, 看護の要点について説明できる
第11回:周手術期にある小児と家族への看護の要点について説明できる
第12回:慢性疾患をもつ小児と家族への心理社会的支援について説明できる
第13回:慢性腎臓病をもつ小児の生活, 看護の要点について説明できる
第14回:小児がんをもつ小児の生活, 看護の要点について説明できる
第15回:ターミナル期にある小児の看護の要点について説明できる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	9/27	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	小児看護の対象と役割	小児看護とは(小児と医療システム)／小児を取り巻く環境Ⅰ:病気・入院による子どもと家族の反応	岡光 基子	アクティブラーニング:討論、リアクションペーパー
2	9/27	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	小児疾患論(1)	神経、運動器疾患	荒木 聡	アクティブラーニング:討論、リアクションペーパー
3	10/4	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	小児疾患論(3)	疾患論:小児外科	岡本 健太郎	アクティブラーニング:討論、リアクションペーパー
4	10/4	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	小児疾患論(2)	疾患論:内分泌・代謝性疾患	小野 真	アクティブラーニング:討論、リアクションペーパー
5	10/18	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	小児疾患論(4)	疾患論:腎疾患	宇田川 智宏	アクティブラーニング:討論、リアクションペーパー
6	10/18	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	小児疾患論(5)	疾患論:循環器、川崎病	細川 奨	アクティブラーニング:討論、リアクションペーパー
7	10/24	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	小児疾患論(6)	疾患論:呼吸器、感染症、予防接種	細川 奨	アクティブラーニング:討論、リアクションペーパー
8	10/25	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	小児疾患論(7)	疾患論:血液・腫瘍性疾患、アレルギー、免疫	梶原 道子	アクティブラーニング:討論、リアクションペーパー
9	11/1	13:00-14:30	遠隔授業	急性疾患をもつ	小児の急性期の主要症状と看護	岡光 基子	アクティブラーニング:討

			(同期型)	小児の看護(1)			論、リアクションペーパー
10	11/1	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	慢性疾患をもつ 小児の看護(1)	1 型糖尿病をもつ小児と家族の看護	矢郷 哲志	アクティブラーニング:討 論、リアクションペーパー
11	11/15	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	急性疾患をもつ 小児の看護(2)	周手術期にある小児と家族の看護 (外科系疾患)	村田 知佐恵	アクティブラーニング:討 論、リアクションペーパー
12	11/15	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	慢性疾患をもつ 小児の看護(4)	慢性疾患をもつ小児と家族の心理 社会的支援	村瀬 有紀子	アクティブラーニング:討 論、リアクションペーパー
13	11/21	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	慢性疾患をもつ 小児の看護(3)	慢性腎臓病をもつ小児と家族の看 護	矢郷 哲志	アクティブラーニング:討 論、リアクションペーパー
14	11/22	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	慢性疾患をもつ 小児の看護(2)	小児がんをもつ小児と家族の看護	永吉 美智枝	アクティブラーニング:討 論、リアクションペーパー
15	11/22	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	慢性疾患をもつ 小児の看護(5)	ターミナル期にある小児の看護	篠原 美代	アクティブラーニング:討 論、リアクションペーパー

授業内容

小児特有の疾患を理解し，看護実践に必要な知識とスキルを習得するための学習をする。講義に加え，グループディスカッションや演習などアクティブラーニングを行う。講義毎に，講義内容に関する質問や疑問，学び，感想などをリアクションペーパーに記載してもらい、講義終了後に回収する。

成績評価の方法

定期試験(70%)，課題レポート(10%)，リアクションペーパー(10%)，授業への参加状況(10%)により総合的に評価する。原則として，2/3 以上出席した場合に成績評価の対象とする。指示に従わない場合は，受験資格を失うので注意すること。尚，試験の一部に英語の問題を出題する。

成績評価の基準

上記の成績評価に示す各項目の成績の合計により評価する。試験問題は，授業の到達目標に達しているかを評価し，そのことが確認されたところで合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

講義で扱う範囲について事前に教科書を読んだ上で講義に臨みこと。事前課題がある場合には，それに従うこと。

教科書

≪系統看護学講座 専門分野Ⅱ≫ 小児看護学[2] 小児臨床看護各論 (第 14 版)／奈良間 美保他:医学書院，2020

ナーシング・グラフィカ 小児看護学(1):小児の発達と看護 第 6 版／中野綾美編:メディカ出版，2019

他科目との関連

「小児看護学演習Ⅰ」は，「小児看護学Ⅰ」で学んだ健康な小児の理解を基に，小児の疾患，小児看護の各論について学習する。「解剖学」「生理学」「小児看護学Ⅰ」で学習した小児の形態的，機能的，心理・社会的特徴について知識を習得していることが必要である。

履修上の注意事項

WebClass の該当コースに適宜資料をアップするので参照すること。

連絡先(メールアドレス)

岡光 基子:motoko.cfn@tmd.ac.jp 3 号館 19F

矢郷 哲志:sycfn@tmd.ac.jp 3 号館 18F

オフィスアワー

岡光 基子:随時(必ず事前に連絡を入れること)

時間割番号	012089				
科目名	地域保健看護学Ⅰ			科目ID	MN-232900-L
担当教員	月野木 ルミ, 津田 紫緒[TSUKINOKI Rumi, TSUDA SHIO]				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	2	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Community Health Nursing Ⅰ

【科目責任者】：月野木 ルミ

主な講義場所

・遠隔授業（Zoom 同期型）　・保健衛生学講義室 4（3 号館 7 階）ほか

授業の目的、概要等

地域保健看護学Ⅰは，人々の健康課題やそれに関連する生活上の課題を，総合的に達成し，解決するための基盤となるものである。地域看護・公衆衛生看護は，地域の健康課題の把握に基づき，家庭や地域社会で生活する人々を対象とし，健康の保持・増進，疾病の予防，健康回復と悪化の予防，リハビリテーションなど地域における活動の基盤となる。現在行われている地域看護・公衆衛生看護に関係する諸制度を，歴史や実際の活動の学習を通して考える。地域の特性を把握した上で，ライフサイクル，健康レベル，疾病のプロセスに合わせたセルフケアに基づく，看護の方法の選択と，諸機関との協働で組織的に展開するための活動についてグループワークなどを活用したアクティブラーニングを含む一連の講義から習得する。

授業の到達目標

1)「1-8 回」地域看護・公衆衛生看護活動の目的，活動の成立要件，活動のすすめ方の基本的なプロセスを理解する。

2)「1-8 回」ヘルスケアシステムにおける地域看護・公衆衛生看護の機能を理解する。

3)「3-4 回」地域看護・公衆衛生看護活動の法律・歴史を理解し，今後の活動について考えられる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/12	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	地域保健看護学Ⅰ（総論）	地域看護・公衆衛生看護の定義と目的、方法	月野木 ルミ
2	4/12	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	地域保健看護学Ⅰ（総論）	地域看護・公衆衛生看護の定義と目的、方法	月野木 ルミ, 津田 紫緒
3	4/19	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	地域保健看護学Ⅰ（総論）	地域保健の法律と地域看護・公衆衛生看護活動の歴史	森田 久美子
4	4/19	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	地域保健看護学Ⅰ（総論）	地域保健の法律と地域看護・公衆衛生看護活動の歴史	森田 久美子
5	4/26	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	地域保健看護学Ⅰ（総論）	地域看護・公衆衛生看護の対象と活動の展開	津田 紫緒
6	4/26	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	地域保健看護学Ⅰ（総論）	地域看護・公衆衛生看護の対象と活動の展開	津田 紫緒
7	5/10	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	地域保健看護学Ⅰ（総論）	地域保健・福祉行政と看護活動の展開	鹿島田 祐子, 月野木 ルミ, 津田 紫緒
8	5/10	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	地域保健看護学Ⅰ（総論）	地域看護・公衆衛生看護活動の実際	鹿島田 祐子, 月野木 ルミ, 津田 紫緒

授業方法

講義形式の授業に加え、グループワーク・プレゼンテーションおよび事例や統計資料を活用した学習展開を学生が主体的に行う。

授業内容

授業は以下の方法で行う。

1.講義：事前または講義開始時に示す資料を基づく講義（対面・遠隔同期型）を行う。

2.グループワーク：グループに分かれ事前または授業中に示す課題について討議し、その結果を学生間で共有する。また学習成果をまとめて、個人、グループ単位で提出する。

3.課題レポート：事前に示す課題について、資料収集・整理の上、考察を加え提出する。

成績評価の方法　以下の項目について総合的に評価を行う。

1）出席状況

・対面授業への出欠、Zoom ログイン記録から確認する参加状況。

2)課題への取り組み姿勢・授業への参加態度

・授業中の取り組みや反応を評価するため、原則 Zoom のカメラはオンとする。

・授業中の発言状況、グループワーク・資料の作成・プレゼンテーションへの責任ある参加状況を評価する。

3)課題レポート

・レポートの期限内提出状況・内容により評価する。課題提出は、期限以降は受け付けない

4)定期試験 3　※教科書や配布資料等に記載された英語(単語や文章)、授業内容に関連する過去の国家試験問題も出題範囲とする。

成績評価の基準

1)出席状況(遅刻、欠席は減点)

2)課題への取り組み姿勢・授業への参加態度(10%)

3)課題レポート(20%)

4)期末テスト(70%)

上記 1)～4)の成績評価の方法に示す各項目の成績の合計により評価を行い、100 点満点中 60 点以上を合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

授業内容の理解を深めるため、次回の講義で取り扱う内容について教科書や参考書の当該箇所や資料を事前に読んでおくこと。また、事後学習として、授業で学んだことについて資料などを用いて振り返ることが望ましい。

試験の受験資格　本学試験規則に準じ、授業に 2／3 以上出席していること。

教科書

公衆衛生看護学　第3版／上野 昌江 編集,和泉 京子 編集,上野 昌江,和泉 京子,:中央法規出版, 2021-12-13

(DVD) 地域看護活動とヘルスプロモーション　第 1 巻　地域看護学概論／佐々木明子他監修:丸善出版株式会社, 2007

(DVD) 地域看護活動とヘルスプロモーション　第 3 巻　ヘルスプロモーションの展開／清水洋子他監修:丸善出版株式会社, 2007

(DVD) 地域看護活動とヘルスプロモーション/続・地域看護活動とヘルスプロモーション／佐々木明子他監修:丸善出版株式会社, 2014

参考書

国民衛生の動向 2021/2022 (厚生の指標 2021 年 8 月増刊)／厚生労働統計協会／編集,:厚生労働統計協会, 2021-08

最新公衆衛生看護学　第 3 版／宮﨑美砂子, 北山三津子, 春山早苗, 田村須賀子 編集,宮崎, 美砂子,北山, 三津子,春山, 早苗,田村, 須賀子,:日本看護協会出版会, 2021

新版 保健師業務要覧 第 4 版 2021 年版／井伊久美子, 勝又浜子, 森永裕美子, 荒木田美香子, 坂本真理子, 村嶋幸代 編,井伊, 久美子, 勝又, 浜子,森永, 裕美子,荒木田, 美香子,坂本, 真理子, 看護学,村嶋, 幸代, 1951-,:日本看護協会出版会, 2021

実践ヘルスプロモーション:precede-proceed モデルによる企画と評価／ローレンス・W.グリーン、マーシャル・W.クロイター 著、 神馬征峰 訳:医学書院, 2005

公衆衛生看護学概論 第 5 版 (標準保健師講座)／標, 美奈子,:医学書院, 2019

最新保健学講座 1　公衆衛生看護学概論／金川克子 編:メヂカルフレンド社, 2015

衛生行政大要　改訂第 24 版:日本公衆衛生協会, 2016

地域看護学／福島道子 著,福島, 道子,:オーム社, 2007

地域保健福祉活動のための地域看護アセスメントガイド : 地区活動ならびに施策化のアセスメント・活動計画・評価計画の立案／佐伯和子編著,佐伯, 和子,:医歯薬出版, 2018

公衆衛生看護学／上野昌江, 和泉京子編,上野, 昌江,和泉, 京子,:中央法規出版, 2016

他科目との関連

地域保健看護学Ⅰは, 基礎看護学や臨床看護学の各科目との関連領域でもあり両者の相違や関連も明らかにする。また、地域保健看護学Ⅱ、Ⅲ、演習、実習の基盤となる科目である。

履修上の注意事項

1)原則として、授業中の入退室は認めない。　2)授業中にスクリーン、Zoom 等の画面を撮影することを禁止する。　3)講義資料等を、受講登録者以外に配布・公開することを禁止する。　4)WebClass やメールを通じた資料配布・連絡を行う場合があるので、担当教員の指示に従い確認すること。　5)授業日時・内容(順序等)・方法は変更することがある。

連絡先(メールアドレス)

月野木　ルミ:r-tsukinoki.phn@tmd.ac.jp

津田　紫緒:3 号館 19 階地域保健看護学研究室 2　03-5803-4573　tsuda.phn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

月野木　ルミ:火、木曜:12-13 時　3 号館 19 階

津田　紫緒:アポイントをとった上で随時実施

時間割番号	012029				
科目名	在宅看護学Ⅰ			科目ID	MN-232600-L
担当教員	福井　小紀子, 野口　麻衣子[FUKUI Sakiko, NOGUCHI Maiko]				
開講時期	2022 年度後期	対象年次	2	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Home Care Nursing Ⅰ

【科目責任者】福井　小紀子

主な講義場所

Zoom、もしくは講義室1

授業の目的、概要等

保健医療福祉の中での在宅看護、特に訪問看護の役割機能を学ぶとともに、制度の中で展開される看護実践について理解する。

授業の到達目標

この科目では、保健医療福祉の領域、特に地域で生活する人々、自宅で療養生活を送る人々に対して、実際の看護提供の仕組みを理解した上で、看護の役割と実際について説明できることが求められる。

なお、授業に臨むにあたっては、当該日に扱う対象の特徴等について、既習科目の資料やテキストを用いて復習しておくことが求められる。

厚生労働省の「見える化」システム、日本医師会の地域医療情報システム等を用いて地域における保健医療福祉の現状を把握しておくことが望ましい。

①在宅ケアを支える保険医療福祉の仕組みについて説明できる。
②訪問看護で提供されるケアについて説明できる。
③慢性疾患・高齢療養者の特徴を知り、在宅での看護の役割を説明できる。
④終末期にある在宅療養者の特徴を知り、在宅での看護の視点を説明できる。
⑤精神疾患療養者の特徴を知り、在宅での看護の視点を説明できる。
⑥小児の療養者の特徴を知り、在宅での看護の視点を説明できる。
⑦訪問看護での安全管理、危機管理について説明できる。
⑧在宅における様々なサービス、資源について説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/26	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	在宅看護学Ⅰ	在宅看護学総論 在宅ケアのしくみ	福井 小紀子, 野口 麻衣子
2	10/3	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	在宅看護学Ⅰ	在宅ケアにおける様々なサービス・資源	福井 小紀子, 野口 麻衣子
3	10/17	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	在宅看護学Ⅰ	訪問看護の実際 慢性・高齢疾患療養者	福井 小紀子, 野口 麻衣子
4	10/24	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	在宅看護学Ⅰ	訪問看護の実際 終末期療養者	福井 小紀子, 野口 麻衣子
5	10/31	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	在宅看護学Ⅰ	訪問看護の実際 精神疾患療養者	福井 小紀子, 野口 麻衣子, 中野 真樹子
6	11/7	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	在宅看護学Ⅰ	訪問看護の実際 小児の療養者	福井 小紀子, 野口 麻衣子, 岩本 大希
7	11/14	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	在宅看護学Ⅰ	訪問看護の安全管理・危機管理	福井 小紀子, 野口 麻衣子, 谷口 由紀子
8	11/21	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	在宅看護学Ⅰ	訪問看護の実際 管理者の視点から	福井 小紀子, 野口 麻衣子

授業方法

授業は以下のように行う。

1)授業には、授業明細に示された範囲について事前に予習をしてから臨むことが必要である。

2)講義:講義は、各回の中で重要なこと、発展的なことを中心に行う。基本的なことで、教科書を見れば簡単にわかるようなことは自習に任せる。必要に応じでグループディスカッションを取り入れ、理解を深める。講義の資料については、講義前に PDF を Webclass にあげておくので授業前に必ず目を通しておく。

3)リアクションペーパー:Webclass に提示する項目に、授業終了後回答、送信してもらう。講義への関心、講義内容の理解については、講義内容の改善に役立てる。また、学んだことの概要や、講義への感想・意見を整理することは、復習や自己の課題を見出す助けとなる。

授業内容

授業内容な授業スケジュールに示してある。

各回の授業では、授業内容の解説、討議、リアクションペーパーで示された内容についての質疑応答を行う。

成績評価の方法

在宅看護学Ⅰは、以下の 3 つの項目で評価を行う。なお、重要項目のうち、専門分野では英単語を用いることが想定されるものについては、英文による問題もありうる。

1)定期試験:60%;全体で 6 割以上の得点を必須とする。授業全般のうち、重要事項について知識と応用を問う問題を出題する。試験は、授業中に示した症例または同レベル程度のものを理解し、説明できることが必要となる。

2)授業中の討議後に課される課題:20%;グループで討議した内容について、グループごとに課題を提出する。グループメンバー全員で確認のうえで提出されたものとする。提示された締め切り日までに提出すること。締め切りを過ぎた場合には未提出の扱いとする。

3)出席状況:20%

成績評価の基準

上記の成績評価の方法に示す各項目の成績の合計(60 点未満:不合格、60－69 点:可、70－79 点:良、80－89 点:優、90 点:秀)により評価を行う。試験問題、課題は、授業の達成目標に達しているかを評価し、そのことが確認されたところで合格とする。

なお、リアクションペーパーにおいて、授業で提供した内容以上の深い学びや、重要な指摘などがあった場合には、最終評価において加点されることがある。

準備学習等についての具体的な指示

達成目標や授業内容の中に具体的に示されている項目について、準備してから授業に臨むことが求められる。WebClass にあらかじめ授業資料や課題、学習に必要情報をアップロードするので、各自ダウンロード等し、講義までに目を通しておくこと。

授業前に習得が必要な課題については、事前課題として提示するため、WebClass の該当項目を定期的に確認すること。課題に取り組んでいる際に生じた疑問については、自身の見解を整理し、解決すべき点を明確にして授業に参加すること。

試験の受験資格

次のすべてが、後期の定期試験ならびに追・再試験を受験する資格となる。

授業日程の3分の2以上の出席が認められた者に試験受験資格を与える。授業参加状況は、リアクションペーパーに記載された内容で確認する。授業内容の計 8 回の授業に参加し、課される課題を提示された期限までに提出すること。

なお、Zoom での実施の場合は、出席は講義の最初から最後まで参加しているログが確認できた場合とする。

特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や、授業に参加できない場合には、その事情とともに、締め切り期日が過ぎる前、ならびに授業が始まる前までに科目責任者または医学教務係にメールのように日時の記録が残る形で連絡することを必須とする。なお、急の場合には電話でもよいが、その後にメールはすること。連絡ができないような特別な事情があったと後で判断された場合には、その限りではない。

これらの十分な対応が行われていたと判断された場合には、事情等に応じてレポート等での対応を行うこととする。

教科書

地域・在宅看護論[1] 地域・在宅看護の基盤 第 6 版／河原 加代子 著・文・その他,河原 加代子,:医学書院, 2022-02-28

地域・在宅看護論[2] 地域・在宅看護の実践 第 6 版／河原 加代子 著・文・その他,河原 加代子,:医学書院, 2022-02-28

参考書

写真でわかる訪問看護アドバンス : 訪問看護の世界を写真と動画で学ぶ!／押川真喜子監修,押川, 真喜子,:インターメディカ, 2020

他科目との関連

3年次に学習する在宅看護学Ⅱ、在宅看護学演習、在宅看護学実習の基礎となる科目であるので、2年次に履修および単位取得していることが進級に必要である。

備考

2021 年度の授業内容の構成を見直した。

連絡先(メールアドレス)

福井 小紀子:fukuisakiko.chn@tmd.ac.jp

野口 麻衣子:noguchimaiko.chn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

福井 小紀子:毎週水曜日 AM10:00-12:00 3 号館 19 階福井教授室

野口 麻衣子:毎週月曜日 12時～13時 3号館18階在宅ケア看護学研究室

第３学年

2022年度時間割(看専攻:第3学年)

2022.3.30

(前期)

		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
3/30	水																
31	木																
4/1	金																

			8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
4/4	月																	
5	火					母性看護学Ⅰ(1)	同期型(zoom)			成人看護学演習(1)	非同期型(webclass)		成人看護学演習(2)	同期型(zoom)		成人看護学演習(3)	同期型(zoom)	
6	水	［自］インディペンデントスタディB	Global Nursing Communication Ⅱ(1)	同期型(zoom)		Global Nursing Communication Ⅱ(2)	同期型(zoom)											
7	木									母性看護学演習(1)	登校(面接授業)	実習室2 講義室2	母性看護学演習(2)	登校(面接授業)	実習室2 講義室2	母性看護学Ⅰ(2)	登校(面接授業)	講義室1
8	金		小児看護学Ⅱ(1)	同期型(zoom)		小児看護学演習Ⅱ(1)	同期型(zoom)			地域精神看護学(1)	非同期型(webclass)		地域精神看護学(2)	非同期型(webclass)				

			8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
4/11	月	［自］インディペンデントスタディB	老年看護学(1)	登校(面接授業)	講義室1	老年看護学(2)	登校(面接授業)	講義室1	M&Dタワー2階共用講義室1,2	精神看護学演習(1)	登校(面接授業)	講義室1	精神看護学演習(2)	登校(面接授業)	講義室1			
12	火		母性看護学Ⅱ(1)	登校(面接授業)	講義室1	母性看護学Ⅱ(2)	登校(面接授業)	講義室1	3号館講義室5 M&Dタワー2階共用講義室2	老年看護学演習(1)	登校(面接授業)	実習室	老年看護学演習(2)	登校(面接授業)	実習室	老年看護学演習(3)	登校(面接授業)	実習室
13	水		［自］実践看護英語Ⅱ(1)	同期型(zoom)		Global Nursing Communication Ⅱ(3)	同期型(zoom)											
14	木		在宅看護学Ⅱ(1)	登校(面接授業)	講義室1	在宅看護学Ⅱ(2)	登校(面接授業)	講義室1	M&Dタワー2階共用講義室1,2	小児看護学演習Ⅱ(2)	登校(面接授業)	講義室2 実習室2,3	小児看護学演習Ⅱ(3)	登校(面接授業)	講義室2 実習室2,3	小児看護学演習Ⅱ(4)	登校(面接授業)	講義室2 実習室2,3
15	金					地域保健看護学Ⅱ(1)	同期型(zoom)			地域保健看護学Ⅱ(2)	同期型(zoom)		地域精神看護学(3)	同期型(zoom)				

			8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
4/18	月	［自］インディペンデントスタディB	老年看護学(3)	登校(面接授業)	講義室1	老年看護学(4)	登校(面接授業)	講義室1	3号館講義室1,2,3	［選］リハビリテーション看護学(1)	登校(面接授業)	講義室2	精神看護学演習(3)	非同期型(webclass)				
19	火		母性看護学Ⅰ(3)	同期型(zoom)		母性看護学Ⅲ(1)	同期型(zoom)			移動時間			成人看護学演習(4)	登校(面接授業)	実習室	成人看護学演習(5)	登校(面接授業)	実習室
20	水		［自］実践看護英語Ⅱ(2)	同期型(zoom)		Global Nursing Communication Ⅱ(4)	同期型(zoom)			成人看護学Ⅲ(1)	同期型(zoom)							
21	木		小児看護学Ⅱ(2)	同期型(zoom)		小児看護学Ⅱ(3)	同期型(zoom)			母性看護学Ⅰ(4)	同期型(zoom)		母性看護学Ⅲ(2)	同期型(zoom)		母性看護学Ⅲ(3)	同期型(zoom)	
22	金		在宅看護学Ⅱ(3)	同期型(zoom)		在宅看護学Ⅱ(4)	同期型(zoom)			地域精神看護学(4)	同期型(zoom)		母性看護学Ⅱ(3)	同期型(zoom)		母性看護学演習(3)	同期型(zoom)	

			8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
4/25	月	［自］インディペンデントスタディB	老年看護学(5)	登校(面接授業)	講義室1	老年看護学(6)	登校(面接授業)	講義室1	M&Dタワー2階共用講義室1,2	精神看護学演習(4)	非同期型(webclass)		［選］リハビリテーション看護学(2)	登校(面接授業)	講義室2			
26	火								M&Dタワー2階共用講義室1,2	老年看護学演習(4)	登校(面接授業)	講義室1	老年看護学演習(5)	登校(面接授業)	講義室1	老年看護学演習(6)	登校(面接授業)	講義室1
27	水		母性看護学Ⅱ(4)	同期型(zoom)		Global Nursing Communication Ⅱ(5)	同期型(zoom)											
28	木		在宅看護学Ⅱ(5)	同期型(zoom)		在宅看護学Ⅱ(6)	同期型(zoom)			小児看護学Ⅱ(4)	同期型(zoom)		小児看護学Ⅱ(5)	同期型(zoom)		小児看護学Ⅱ(6)	同期型(zoom)	
29	金	昭和の日																

			8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
5/2	月	インディペンデントスタディB	［自］実践看護英語Ⅱ(3)	同期型(zoom)														
3	火	憲法記念日																
4	水	みどりの日																
5	木	こどもの日																
6	金	インディペンデントスタディB								精神看護学演習(5)	非同期型(webclass)							

			8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
5/9	月	［自］インディペンデントスタディB	老年看護学(7)	登校(面接授業)	講義室1	老年看護学(8)	登校(面接授業)	講義室1	M&Dタワー2階共用講義室1,2	［選］リハビリテーション看護学(3)	登校(面接授業)	講義室2	母性看護学Ⅲ(4)	登校(面接授業)	講義室1	母性看護学演習(4)	登校(面接授業)	実習室2
10	火		母性看護学Ⅱ(5)	登校(面接授業)	講義室1	母性看護学Ⅱ(6)	登校(面接授業)	講義室1	M&Dタワー2階共用講義室1,2	老年看護学演習(7)	登校(面接授業)	実習室	老年看護学演習(8)	登校(面接授業)	実習室	老年看護学演習(9)	登校(面接授業)	講義室1
11	水		［自］実践看護英語Ⅱ(4)	同期型(zoom)		Global Nursing Communication Ⅱ(6)	同期型(zoom)									［自］実践看護英語Ⅱ(5)	同期型(zoom)	
12	木		成人看護学Ⅲ(2)	同期型(zoom)		成人看護学Ⅲ(3)	同期型(zoom)			母性看護学Ⅱ(7)	同期型(zoom)		母性看護学Ⅲ(5)	同期型(zoom)		母性看護学Ⅲ(6)	同期型(zoom)	
13	金					地域保健看護学Ⅱ(3)	同期型(zoom)			地域保健看護学Ⅱ(4)	同期型(zoom)		地域精神看護学(5)	同期型(zoom)				

			8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
5/16	月	［自］インディペンデントスタディB	老年看護学(9)	登校(面接授業)	講義室1	老年看護学(10)	登校(面接授業)	講義室1	M&Dタワー2階共用講義室1,2	精神看護学演習(6)	登校(面接授業)	講義室1	［選］リハビリテーション看護学(4)	登校(面接授業)	講義室2			
17	火		母性看護学Ⅱ(8)	登校(面接授業)	1	母性看護学演習(5)	登校(面接授業)	1	M&Dタワー2階共用講義室1 3号館講義室1	老年看護学演習(10)	登校(面接授業)	実習室	老年看護学演習(11)	登校(面接授業)	講義室1	老年看護学演習(12)	登校(面接授業)	講義室1
18	水		［自］実践看護英語Ⅱ(6)	同期型(zoom)		Global Nursing Communication Ⅱ(7)	同期型(zoom)						Global Nursing Communication Ⅱ(8)	同期型(zoom)		［自］実践看護英語Ⅱ(7)	同期型(zoom)	
19	木		在宅看護学Ⅱ(7)	登校(面接授業)	講義室1	在宅看護学Ⅱ(8)	登校(面接授業)	講義室1	M&Dタワー2階共用講義室1 3号館講義室1	小児看護学演習Ⅱ(5)	登校(面接授業)	講義室2 実習室2,3	小児看護学演習Ⅱ(6)	登校(面接授業)	講義室2 実習室2,3	小児看護学演習Ⅱ(7)	登校(面接授業)	講義室2 実習室2,3
20	金		地域保健看護学Ⅱ(5)	同期型(zoom)		地域保健看護学Ⅱ(6)	同期型(zoom)			地域精神看護学予備日	未定		地域精神看護学(6)	同期型(zoom)				

⑧		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
5/23	月	老年看護学(11)	登校(面接授業)	講義室1	老年看護学(12)	登校(面接授業)	講義室1	M&Dタワー2階 共用講義室1,2	精神看護学演習 (7)	登校(面接授業)	講義室1	〔選〕リハビリテーション看護学(5)	登校(面接授業)	実習室1 講義室2			
24	火	母性看護学Ⅲ (7)	同期型 (zoom)		母性看護学Ⅰ(5)	同期型(zoom)			移動時間			成人看護学演習 (6)	登校(面接授業)	実習室	成人看護学演習 (7)	登校(面接授業)	実習室
25	水				Global Nursing Communication Ⅱ(9)	同期型(zoom)									〔自〕実践看護英語Ⅱ(8)	同期型 (zoom)	
26	木				成人看護学Ⅲ(4)	同期型(zoom)			母性看護学演習 (6)	同期型(zoom)		母性看護学演習 (7)	同期型(zoom)				
27	金	地域保健看護学Ⅱ(7)	同期型 (zoom)						地域精神看護学 (7)	同期型(zoom)		在宅看護学演習 (1)	同期型(zoom)				

〔自〕インディペンデントスタディB

⑨		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10		講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
5/30	月	老年看護学(13)	登校(面接授業)	講義室1	老年看護学(14)	登校(面接授業)	講義室1	M&Dタワー2階 共用講義室1,2	精神看護学演習 (8)	登校(面接授業)	講義室1	〔選〕リハビリテーション看護学(6)	非同期型 (webclass)	講義室2			
31	火	母性看護学Ⅰ (6)	登校(面接授業)	講義室1	母性看護学Ⅰ(7)	登校(面接授業)	講義室1	M&Dタワー2階 共用講義室1,2	老年看護学演習 (13)	登校(面接授業)	講義室1	老年看護学演習 (14)	登校(面接授業)	講義室1	老年看護学演習 (15)	登校(面接授業)	講義室1
6/1	水				Global Nursing Communication Ⅱ(10)	同期型(zoom)			移動時間			母性看護学演習 (8)	登校(面接授業)	実習室2&3 &4	母性看護学演習 (9)	登校(面接授業)	実習室2&3&4
2	木				成人看護学Ⅲ(5)	同期型(zoom)			小児看護学Ⅱ(7)	同期型(zoom)		小児看護学Ⅱ(8)	同期型(zoom)		小児看護学演習 Ⅱ(8)	同期型 (zoom)	
3	金	在宅看護学演習(2)	登校(面接授業)	講義室1 実習室2, 4	在宅看護学演習 (3)	登校(面接授業)	講義室1 実習室2, 4	3号館講義室 1,2,3	地域精神看護学 (8)	登校(面接授業)	講義室1	地域保健看護学 予備日					

〔自〕インディペンデントスタディB

⑩		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
6/6	月	老年看護学(15)	登校(面接授業)	講義室1	老年看護学(16)	登校(面接授業)	講義室1	3号館講義室 1,2,3	精神看護学演習 (9)	登校(面接授業)	講義室1	〔選〕リハビリテーション看護学(7)	登校(面接授業)	実習室1 講義室2	〔選〕リハビリテーション看護学(8)	登校(面接授業)	実習室1 講義室2
7	火				成人看護学Ⅲ(6)	同期型(zoom)			移動時間			母性看護学演習 (10)	登校(面接授業)	実習室1 &2&講義室1	母性看護学演習 (11)	登校(面接授業)	実習室1 &2&講義室1
8	水	地域保健看護学Ⅱ(8)	同期型 (zoom)		Global Nursing Communication Ⅱ(11)	同期型(zoom)			疫学(1)	同期型(zoom)		疫学(2)	同期型(zoom)		〔自〕実践看護英語Ⅱ(9)	非同期型 (webclass)	
9	木	母性看護学演習(12)	登校(面接授業)	実習室1 &2&講義室1	母性看護学演習 (13)	登校(面接授業)	実習室1 &2&講義室1		移動時間			成人看護学演習 (8)	同期型(zoom)		成人看護学演習 (9)	同期型 (zoom)	
10	金	在宅看護学演習(4)	登校(面接授業)	講義室1 実習室2, 4	在宅看護学演習 (5)	登校(面接授業)	講義室1 実習室2, 4	M&Dタワー2階 共用講義室1,2 (※13時まで退室厳守！)	在宅看護学演習 (6)	登校(面接授業)	講義室1 実習室2, 4	在宅看護学演習 (7)	登校(面接授業)	講義室1 実習室2, 4			

〔自〕インディペンデントスタディB

⑪		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
6/13	月	老年看護学(17)	登校(面接授業)	講義室1	老年看護学(18)	登校(面接授業)	講義室1	M&Dタワー2階 共用講義室1,2	精神看護学演習 (10)	登校(面接授業)	講義室1	精神看護学演習 (11)	登校(面接授業)	講義室1			
14	火	母性看護学Ⅰ (8)	同期型 (zoom)		母性看護学Ⅲ(8)	同期型(zoom)						成人看護学演習 (10)	登校(面接授業)	実習室	成人看護学演習 (11)	登校(面接授業)	実習室
15	水	成人看護学Ⅲ (7)	同期型 (zoom)		Global Nursing Communication Ⅱ(12)	同期型(zoom)			疫学(3)	同期型(zoom)		疫学(4)	同期型(zoom)		〔自〕実践看護英語Ⅱ(10)	同期型 (zoom)	
16	木	疫学(5)	同期型 (zoom)		疫学(6)	同期型(zoom)			小児看護学演習 Ⅱ(9)	同期型(zoom)		小児看護学演習 Ⅱ(10)	同期型(zoom)		小児看護学演習 Ⅱ(11)	同期型 (zoom)	
17	金	在宅看護学演習(8)	登校(面接授業)	講義室1 実習室2, 4	在宅看護学演習 (9)	登校(面接授業)	講義室1 実習室2, 4	M&Dタワー2階 共用講義室1,2	在宅看護学演習 (10)	登校(面接授業)	講義室1 実習室2, 4	在宅看護学演習 (11)	登校(面接授業)	講義室1 実習室2, 4			

〔自〕インディペンデントスタディB

⑫		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
6/20	月	老年看護学(19)	登校(面接授業)	講義室1	老年看護学(20)	登校(面接授業)	講義室1	3号館講義室 1,2,3 (※13時まで退室厳守！)	精神看護学演習 (12)	登校(面接授業)	講義室1	精神看護学演習 (13)	登校(面接授業)	講義室1			
21	火	疫学(7)	同期型 (zoom)		疫学(8)	同期型(zoom)			移動時間			成人看護学演習 (12)	同期型(zoom)		成人看護学演習 (13)	同期型 (zoom)	
22	水	Global Nursing Communication Ⅱ (13)	同期型 (zoom)		Global Nursing Communication Ⅱ(14)	同期型(zoom)			小児看護学演習 Ⅱ(12)	同期型(zoom)		小児看護学演習 Ⅱ(予備)			小児看護学演習 Ⅱ(予備)		
23	木	小児看護学演習Ⅱ(13)	登校(面接授業)	講義室2 実習室2,3	小児看護学演習 Ⅱ(14)	登校(面接授業)	講義室2 実習室2,3					成人看護学Ⅲ(8)	非同期型 (webclass)				
24	金	在宅看護学演習(12)	登校(面接授業)	講義室2,3 実習室2, 4	在宅看護学演習 (13)	登校(面接授業)	講義室2,3 実習室2, 4	M&Dタワー2階 共用講義室1 3号館講義室2,3	在宅看護学演習 (14)	登校(面接授業)	講義室2,3 実習室2, 4	在宅看護学演習 (15)	登校(面接授業)	講義室2,3 実習室2, 4			

〔自〕インディペンデントスタディB

⑬		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
6/27	月	老年看護学(21)	登校(面接授業)	講義室1	老年看護学(22)	登校(面接授業)	講義室1	M&Dタワー2階 共用講義室1 3号館講義室1	精神看護学演習 (14)	登校(面接授業)	講義室1	精神看護学演習 (15)	登校(面接授業)	講義室1			
28	火	小児看護学演習Ⅱ(15)	登校(面接授業)	講義室1	保育園実習オリエンテーション(各園)												
29	水				Global Nursing Communication Ⅱ(15)	同期型(zoom)											
6/30	木								母性看護学演習 (14)	登校(面接授業)	実習室2&3 &4	母性看護学演習 (15)	登校(面接授業)	実習室2&3 &4	母性看護学演習 (16)	登校(面接授業)	実習室2
7/1	金	保育園実習オリエンテーション(各園)															

〔自〕インディペンデントスタディB

⑭		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
7/4	月	老年看護学(23)	同期型 (zoom)		老年看護学(24)	同期型(zoom)			精神看護学演習 (16)	同期型(zoom)							
5	火				移動時間				成人看護学演習 (14)	登校(面接授業)	実習室1,2	成人看護学演習 (15)	登校(面接授業)	実習室1,2	成人看護学演習 (16)	登校(面接授業)	実習室1,2
6	水																
7	木	前期定期試験															
8	金	前期定期試験															

〔自〕インディペンデントスタディB

	②																	
7/11	月	前期定期試験																
12	火	前期定期試験																
13	水	前期定期試験																
14	木	前期定期試験																
15	金	前期定期試験																

【TOEFL/ITP】
７月の定期試験時に実施
Global Nursing Communication Ⅱ(16)
Global Nursing Communication Ⅱ(17)

	①		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
7/18	月	海の日																
19	火	保育園実習																
20	水	保育園実習																
21	木	保育園実習																
22	金	保育園実習																

			8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
7/25	月																	
26	火																	
27	水																	
28	木																	
29	金																	

夏季休業 7/25(月)～

			8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
9/5	月																	
6	火																	
7	水																	
8	木																	
9	金																	

	①		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
9/12	月	（自）インディペンデントスタディB	小児看護学実習オリエンテーション				登校(面接授業)	講義室2		臨地実習								
13	火		臨地実習															
14	水		臨地実習															
15	木		臨地実習															
16	金																	

	②		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
9/19	月		敬老の日															
20	火	（自）インディペンデントスタディB	母性看護学実習オリエンテーション（実習室2）															
21	水		在宅看護学実習オリエンテーション														登校(面接授業)	講義室2
22	木		臨地実習															
23	金		秋分の日															

	③		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
9/26	月	（自）インディペンデントスタディB	小児看護学実習オリエンテーション				登校(面接授業)	講義室2		臨地実習								
27	火		臨地実習															
28	水																	
29	木		臨地実習															
30	金																	

	④		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
10/3	月	ディペンデントスタ	臨地実習															
4	火																	
5	水		卒業論文Ⅰ(1)	登校(面接授業)	講義室1	卒業論文Ⅰ(2)	登校(面接授業)	講義室1										
6	木	ディペンデントスタ	臨地実習															
7	金																	

	⑤		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
10/10	月		スポーツの日															
11	火	ディペンデン	臨地実習															
12	水		創立記念行事															
13	木	ディペンデントスタ	臨地実習															
14	金																	

	⑥		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
10/17	月	（自）インディペンデントスタディB	臨地実習															
18	火																	
19	水																	
20	木		臨地実習 pm母性看護学実習オリエンテーション															
21	金		臨地実習 (1-4限)精神看護学実習振り返り（講義室2）															

	⑦		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
10/24	月	（自）インディペンデントスタディB	臨地実習															
25	火																	
26	水		卒業論文Ⅰ(3)	同期型(zoom)		卒業論文Ⅰ(4)	同期型(zoom)											
27	木		臨地実習															
28	金																	

	⑧		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
10/31	月	（自）インディペンデントスタディB	臨地実習															
11/1	火		臨地実習															
2	水		臨地実習															
3	木		文化の日															
4	金	ペンデン	臨地実習 精神看護学実習振り返り（講義室2）															

⑨		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
11/7	月	〔自〕インディペンデントスタディB	小児看護学実習オリエンテーション						臨地実習								
8	火		臨地実習														
9	水				卒業論文Ⅰ(5)	同期型(zoom)											
10	木		臨地実習														
11	金																

⑩		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
11/14	月	〔自〕インディペンデントスタディB	臨地実習														
15	火																
16	水				卒業論文Ⅰ(6)	同期型(zoom)											
17	木		臨地実習 pm母性看護学実習オリエンテーション														
18	金		臨地実習														

⑪		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
11/21	月	ディペンデントスタ	臨地実習														
22	火		臨地実習														セミナー室4
23	水		勤労感謝の日														
24	木	ディペンデントスタ	臨地実習														
25	金																

⑫		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
11/28	月	〔自〕インディペンデントスタディB	臨地実習														
29	火																
30	水		卒業論文Ⅰ(7)	同期型(zoom)		卒業論文Ⅰ(8)	同期型(zoom)										
12/1	木		臨地実習														
2	金		臨地実習 12／2(1-4限)精神看護学実習振り返り(講義室2)												〔自〕Learning Medical English(1)	同期型(zoom)	

⑬		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
12/5	月	〔自〕インディペンデントスタディB	小児看護学実習オリエンテーション			登校(面接授業)	講義室2		臨地実習								
6	火		臨地実習														
7	水		卒業論文Ⅰ(9/10)/卒論発表会													登校又は同期型(zoom)	講義室1・2
8	木		臨地実習														
9	金																

⑭		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
12/12	月	〔自〕インディペンデントスタディB	臨地実習														
13	火																
14	水		卒業論文Ⅰ(11)	同期型(zoom)		卒業論文Ⅰ(12)	同期型(zoom)			学内進路説明会					〔自〕Learning Medical English(2)	同期型(zoom)	
15	木		臨地実習 pm　母性看護学実習オリエンテーション														
16	金		臨地実習														

⑮		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
12/19	月	〔自〕インディペンデントスタディB										〔自〕Learning Medical English(3)	同期型(zoom)		〔自〕Learning Medical English(4)	同期型(zoom)	
20	火																
21	水											〔自〕Learning Medical English(5)	同期型(zoom)		〔自〕Learning Medical English(6)	同期型(zoom)	
22	木																
23	金		〔自〕Learning Medical English(7)	同期型(zoom)		〔自〕Learning Medical English(8)	同期型(zoom)										

冬季休業
12/26(月)～

	①		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
1/2	月																	
3	火																	
4	水	【自】インディペンデントスタディA	卒業論文Ⅰ(13)	同期型(zoom)		卒業論文Ⅰ(14)	同期型(zoom)											
5	木																	
6	金																	

	②		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
1/9	月		成人の日															
10	火	【自】インディペンデントスタディB	臨地実習															
11	水					卒業論文Ⅰ(15)	非同期型(webclass)											
12	木		臨地実習															
13	金																	

	③		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
1/16	月	【自】インディペンデントスタディB	臨地実習															
17	火																	
18	水					卒業論文Ⅰ(16)	非同期型(webclass)											
19	木		臨地実習															
20	金																	

	④		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
1/23	月	【自】インディペンデントスタディB	臨地実習															
24	火																	
25	水																	
26	木		臨地実習															
27	金																	

	⑤		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
1/30	月	【自】インディペンデントスタディB	臨地実習															
31	火																	
2/1	水																	
2	木		臨地実習															
3	金		臨地実習 2/3(1-4限)精神看護学実習振り返り(講義室:講義室2orM&Dタワー講義室使用)															

	⑥		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
2/6	月	【自】インディペンデントスタディB								在宅看護学実習報告会			在宅看護学実習報告会					
7	火									老年看護学実習振り返り学習								
8	水																	
9	木																	
10	金																	

	⑥		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
2/13	月																	
14	火																	
15	水																	
16	木																	
17	金																	

春季休業 2/20(月)～

時間割番号	012031				
科目名	疫学			科目ID	MN-330100-L
担当教員	柏木 聖代, 横山 徹爾, 森岡 典子[KASHIWAGI Masayo, Tetsuji Yokoyama, MORIOKA Noriko]				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	3	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Epidemiology

【科目責任者】柏木 聖代

授業の目的、概要等

疫学は，人間集団を対象にして，疾病，異常，障害，さらに，健康の頻度（率）の分布を記述し，これらの状態を規定している因子を研究する学問である。一言でいうと，集団レベルで，原因不明の疾病の原因を追求する学問である。

授業の到達目標

1.疫学の概要と、有病率・罹患率・死亡率等の疾病頻度の指標を説明できる。（総論 1）

2.記述疫学の方法と長所・短所、用いる指標、証拠能力について説明できる。（総論 1）

3.症例・対照研究、コホート研究、介入研究の方法と長所・短所、用いる指標、証拠能力について説明できる。（総論 2,3）

4.観察研究における交絡の意味と、因果関係に関する Hill の判断基準を説明できる。（総論 4）

5.循環器疾患の動向とリスク因子について説明できる。（各論 1）

6.がんの動向とリスク因子について説明できる。（各論 2）

7.環境が健康に与える影響を疫学的に考察できる。（各論 3）

8.健康課題解決のための疫学研究を提案できる。（演習）

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	6/8	13:00-14:30	遠隔授業（同期型）	総論 1	疫学の概要、疾病頻度の測定	横山 徹爾, 柏木 聖代, 森岡 典子	リアルタイム投票ツールやグループディスカッションを用いて例題に取り組む
2	6/8	14:40-16:10	遠隔授業（同期型）	総論 2	記述疫学、横断研究、生態学的研究	横山 徹爾	リアルタイム投票ツールやグループディスカッションを用いて例題に取り組む
3	6/15	13:00-14:30	遠隔授業（同期型）	総論 3	症例・対照研究、コホート研究、介入研究	横山 徹爾	リアルタイム投票ツールやグループディスカッションを用いて例題に取り組む
4	6/15	14:40-16:10	遠隔授業（同期型）	総論 4	因果関係の推理、交絡変数の調整	横山 徹爾	リアルタイム投票ツールやグループディスカッションを用いて例題に取り組む
5	6/16	08:50-10:20	遠隔授業（同期型）	各論 1	循環器疾患の疫学	横山 徹爾	リアルタイム投票ツールやグループディスカッションを用いて例題に取り組む
6	6/16	10:30-12:00	遠隔授業（同期型）	各論 2	がんの疫学	横山 徹爾	リアルタイム投票ツールやグループディスカッションを用いて例題に取り組む
7	6/21	08:50-10:20	遠隔授業（同期型）	各論 3	環境問題と疫学	横山 徹爾	リアルタイム投票ツールやグループディスカッションを用いて例題に取り組む
8	6/21	10:30-12:00	遠隔授業（同期型）	演習	健康問題の解決	横山 徹爾	グループワークで疫学研究計画を立案する

授業方法

同期型の遠隔講義とする。講義とグループワーク演習。zoom のブレイクアウトセッションを用いて、講義時は学生間でのディスカッションを随時行い、グループワーク演習時は各グループで疫学研究計画を立案する。

授業内容

総論では，疫学の原理と方法に関する基礎的知識を学習する。各論では，わが国における生活習慣病対策や疫学研究等を材料にして，疫学方法論の知識を深める。演習では，具体的な事例を題材にして，健康問題の発見，当該健康問題の原因追及，予防対策の樹立，予防対策の実施，予防対策の評価をシミュレーションし，疫学の応用あるいは公衆衛生活動のあり方を学習する。

成績評価の方法

筆記試験8割（80 点満点），グループワーク演習の課題レポート2割（20 点満点）により評価する。

成績評価の基準

筆記試験，グループワーク演習の課題レポートで採点し，60 点以上（C:60-69 点，B:70-79 点，A:80-89 点，A+:90 点以上）を合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

循環器疾患，がん，感染症，その他一般的な疾患の定義，症状，診断，治療，予防の概要を知っておくことが大切である。統計学の入門レベル，例えば，平均値，標準偏差，平均値の差の検定，率の差の検定，相関係数の算出とその意義ぐらいを習得しておくことは必須である。

試験の受験資格

本学試験規則に準じ、授業に 2/3 以上以上出席していること。

zoom での出席は、講義を最初から最後まで参加しているログが確認出来た場合とする。

教科書

疫学入門演習 : 原理と方法／田中平三著,田中, 平三,:南山堂, 1998

参考書

はじめて学ぶやさしい疫学 : 日本疫学会標準テキスト／日本疫学会監修,日本疫学会,:南江堂, 2018

空間疫学への招待 : 疾病地図と疾病集積性を中心として／丹後俊郎, 横山徹爾, 高橋邦彦著,丹後, 俊郎,横山, 徹爾,高橋, 邦彦 ,:朝倉書店, 2007

他科目との関連

衛生学・公衆衛生学の基礎的学問である。保健統計学は，疫学的研究の手段として利用される。疫学の考え方，疫学で使われる手法は卒業論文，学位論文などの研究にも密接に結びついている。

履修上の注意事項

教科書は必携

備考

2021 年度の授業評価では特に改善が必要な点はなかったが、例年の通り、例題を用いて理解を深められるよう工夫した講義を行い、最後に各グループで疫学研究計画を立案して知識の定着を図る。

連絡先（メールアドレス）

柏木 聖代:kashiwagi.fnls@tmd.ac.jp 3 号館 18 階看護ケア技術開発学教授室

森岡 典子:柏木 聖代: kashiwagi.fnls@tmd.ac.jp 3 号館 18 階看護ケア技術開発学教授室

オフィスアワー

柏木 聖代:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

森岡 典子:柏木 聖代:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

時間割番号	012032A				
科目名	Global Nursing Communication Ⅱ			科目 ID	MN-310300-L
担当教員	近藤 暁子, JANELLE RENEE MOROSS[KONDO AKIKO, JANELLE RENEE MOROSS]				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	3	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Global Nursing Communication Ⅱ

【科目責任者】近藤暁子

主な講義場所

遠隔授業（同期型）, Zoom ID/Passcode はクラスによって違います。（WebClass 参照）

授業の目的、概要等

医療ケアや患者とのコミュニケーションに関連する英語を学ぶ。さらに、患者-看護師のロールプレイを行い、レッスン 15 では、口頭試験のロールプレイ（インストラクター：患者/学生：看護師）を行う。

前年度の TOEFL スコアと GNCI の成績に基づいて、3 つのクラスレベルに分ける。 ネイティブレベルの英語講師がクラス全体で概念を紹介し、その後 Zoom Breakout Rooms で学生は小グループディスカッションを行う。日本とは違う文化を持つ英語教員による英語の授業や LGBTQ について学ぶことで英語力のみならず異文化間感受性能力を向上させることを目標とする。

授業の到達目標

英語で病院の部署や専門分野について説明し、患者から病状について情報収集し、治療や処置について説明できる（3 つのクラスによりレベルが異なる）。

異文化間感受性能力が向上する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/6	08:50-10:20	遠隔授業（同期型）		病院部門/専門医	近藤 暁子, JANELLE RENEE MOROSS, WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH	(WebClass に資料がある)
2	4/6	10:30-12:00	遠隔授業（同期型）		病院で指示を与える	近藤 暁子, JANELLE RENEE MOROSS, WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH	(WebClass に資料がある)
3	4/13	10:30-12:00	遠隔授業（同期型）		症状	近藤 暁子, JANELLE RENEE MOROSS, WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH	(WebClass に資料がある)
4	4/20	10:30-12:00	遠隔授業（同期型）		怪我	近藤 暁子, JANELLE RENEE MOROSS, WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH	(WebClass に資料がある)
5	4/27	10:30-12:00	遠隔授業（同期型）		入院/医療面接	近藤 暁子, JANELLE RENEE MOROSS, WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH	(WebClass に資料がある)
6	5/11	10:30-12:00	遠隔授業（同期型）		バイタルサイン	近藤 暁子, JANELLE RENEE MOROSS, WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH	(WebClass に資料がある)
7	5/18	10:30-12:00	遠隔授業（同期型）		検査：血液/画像 LGBT 講義	近藤 暁子, JANELLE RENEE MOROSS, WARREN ASHLEY ROBERT,	(WebClass に資料・説明がある)

						WARREN L ELIZABETH	
8	5/18	14:40-16:10	遠隔授業（同期型）		検査：血液/画像 LGBT 講義	近藤 暁子, JANELLE RENEE MOROSS, MARIA GIANINA MAYO, ウルフ 友子	(WebClass に資料・説明がある)
9	5/25	10:30-12:00	遠隔授業（同期型）		術前の指示/ケア	近藤 暁子, JANELLE RENEE MOROSS, WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH	(WebClass に資料がある)
10	6/1	10:30-12:00	遠隔授業（同期型）		痛みのスケール /痛みの種類	近藤 暁子, JANELLE RENEE MOROSS, WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH	(WebClass に資料がある)
11	6/8	10:30-12:00	遠隔授業（同期型）		術後の指示/ケア	近藤 暁子, JANELLE RENEE MOROSS, WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH	(WebClass に資料がある)
12	6/15	10:30-12:00	遠隔授業（同期型）		薬	近藤 暁子, JANELLE RENEE MOROSS, WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH	(WebClass に資料がある)
13	6/22	08:50-10:20	遠隔授業（同期型）		日常生活動作	近藤 暁子, JANELLE RENEE MOROSS, WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH	(WebClass に資料がある)
14	6/22	10:30-12:00	遠隔授業（同期型）		退院指示	近藤 暁子, JANELLE RENEE MOROSS, WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH	(WebClass に資料がある)
15	6/29	10:30-12:00	遠隔授業（同期型）	期末テスト	口頭試問と作文	近藤 暁子, JANELLE RENEE MOROSS, WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH	(WebClass に説明がある)
16	7/13	10:30-12:00	遠隔授業（同期型）	TOEFL 受験		近藤 暁子, JANELLE RENEE MOROSS, WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH	
17	7/13	13:00-14:30	遠隔授業（同期型）	TOEFL 受験		近藤 暁子, JANELLE RENEE MOROSS, WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH	

授業方法

小テスト(WebClass)、クラス全体のトピック概要、少人数グループディスカッション、ロールプレイ

授業内容

授業スケジュール参照

成績評価の方法

Vocabulary test

Class participation

Final exam: oral and essay

2022 TOEFL

成績評価の基準

Vocabulary test: 20%

Class participation: 30%

Final exam: oral and essay 35%

2022 TOEFL: 15%

準備学習等についての具体的な指示

毎回課題の事前学習をして質問に対する答えを考え、その内容及び講義資料を持参すること。単語テストのための予習、ロールプレイの準備もしてくること。

試験の受験資格

口頭試問と作文、最後のレッスンに行います。

教科書

WebClass 参照

他科目との関連

事前学習は必ず実施してくること。指定された記事を読んでディスカッションの準備をして授業に参加する。WebClass の授業開始時に行われる 10 分間の語彙クイズに備えること。受験は 1 回のみであり、遅刻厳禁。5 分前には ZOOM にログインすること。　このコースの最初と最後に異文化間感受性に関する調査を実施し、このコースが異文化間感受性に与える影響を評価する。 このコースの途中に 2 回と最後に、LGBTQ の知識に関する調査も行う。学生の回答内容は成績には関係なく、学生の知識がコースを通してどのように変化したかについて考えることができる。

備考

授業の最終日には、WebClass でアンケートを実施する。 回答は成績に影響しないが、アンケートに回答しない場合、定期試験の合格/不合格を含む成績は WebClass に表示されない。

連絡先（メールアドレス）

近藤　暁子:akondo.ind@tmd.ac.jp

JANELLE　RENEE　MOROSS:jmoross.isc@tmd.ac.jp

オフィスアワー

近藤　暁子:オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡してから訪問すること。

国際看護開発学教授室（3 号館 18 階）

JANELLE　RENEE　MOROSS:予約をしたい方は電子メールを送ってください。

時間割番号	012033				
科目名	卒業論文Ⅰ			科目ID	MN-330400-L
担当教員	近藤 暁子, 澁川 穂積, 小笹 由香[KONDO AKIKO, SHIBUKAWA HOZUMI, Yuka Ozasa]				
開講時期	2022 年度後期	対象年次	3	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Thesis Ⅰ

【科目責任者】近藤暁子

主な講義場所

ZOOM

授業の目的、概要等

研究の基礎知識、文献の読み方・まとめ方、研究計画書の書き方の基本について学ぶ。データベースを使用して実際文献検索を行い、4年次の卒業論文Ⅱに向けた準備を行う。文献のクリティークを通して論文の内容をうのみにするのではなく、批判的に読む訓練を行う。英語の論文を読むことで英語論文に慣れ、日本国内のことのみならず、世界的に視野を広げることを目指す。4 年生の卒業論文発表会に参加することで、1 年後の目標を明確にする。

授業の到達目標

1. 幅広い教養と高い専門知識・技術の修得

日本語の論文のみならず、英語の論文を読むことで視野を広げ、英語論文に慣れる(7、8、13-16 回)。

2. 医療人としての豊かな感性と人間性の形成

看護・保健専門職における研究の意義と必要性を理解する。看護の質の向上のためにはどのような研究が必要か考えることができる(1-5,9-12 回)。

論文のクリティークのグループワークを通して、自分の意見を述べ、他の学生の意見を取り入れ協力することで、全体としてより完成度の高いアウトカム(クリティークのまとめ)を導くことができる(8 回)。

3. 問題提起・解決能力の修得

看護実践としてルチンで行われていることに対し、その意義やエビデンスに基づく看護実践であるか考え、先行研究からの情報も踏まえ、看護研究テーマとして取り上げることができる。

原著論文のクリティークを行うことができる(6-8 回)。

4. 自己学習能力・創造性の形成

他の課題や実習期間なども考慮して時間管理し、授業に臨むことができる(1-16 回)。

4 年次の卒業論文の進め方を理解し、研究テーマを絞り、テーマに沿った方法を検討するプロセスを理解することができる。

研究計画書の書き方を理解する(13 回)。

研究を行いたい分野を決め、関連する文献のまとめができる(14-16 回)。

5. 国際性の形成

日本国内のことのみならず、英語論文も読んで世界的にどのような先行研究が行われ、どのような看護研究が必要かを考えることができる(1－16 回)。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	10/5	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 1	看護研究の基礎知識	看護研究とは何か 看護研究の種類、方法の特徴	近藤 暁子	
2	10/5	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 1	看護研究の基礎知識	文献検索の意義と方法 PubMed CINAHAL での検索方法	近藤 暁子, 澁川 穂積	図書館での演習
3	10/26	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	看護研究の基礎知識	質的研究	近藤 暁子	
4	10/26	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	看護研究の基礎知識	研究の倫理	小笹 由香	
5	11/9	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	看護研究の基礎知識	量的研究	近藤 暁子	

6	11/16	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	文献の読み方	クリティークの方法	近藤 暁子	
7	11/30	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	論文講読	英語原著論文講読	近藤 暁子	グループディスカッション
8	11/30	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	論文講読	英語原著論文	近藤 暁子	
9	12/7	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	卒論発表会聴講	卒論発表会聴講	近藤 暁子	開催状況に応じて登校授業とする可能性がある。
10	12/7	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	卒論発表会聴講	卒論発表会聴講	近藤 暁子	開催状況に応じて登校授業とする可能性がある。
11-12	12/14	08:50-12:00	遠隔授業(同期型)	卒業論文Ⅱのオリエンテーション	卒業論文Ⅱのオリエンテーション		
13	1/4	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	研究計画書	研究計画書の書き方	近藤 暁子	
14	1/4	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	文献研究の例	文献研究の例	近藤 暁子	Abuliezi Renaguli
15	1/11	10:30-12:00	遠隔授業(非同期型)	文献検索	図書館で各自行う	近藤 暁子	自己学習
16	1/18	10:30-12:00	遠隔授業(非同期型)	文献検索	図書館で各自行う	近藤 暁子	自己学習

授業方法

講義、原著論文講読、文献検索演習、4 年生の卒論発表会への参加も含む。

講義は教員が一方的に話すのではなく、適宜学生に質問する。この回答内容により評価は行わないので、積極的に自分の意見を述べるようにすること。自発的な発言者がない場合は名簿からランダムに指名する。

講義の際、卒業生が卒業論文をもとに雑誌に発表した論文(日本語・英語)を例として取り上げながら、論文の読解方法、研究テーマの絞り方、研究計画書の書き方、論文の書き方を学ぶ。

12 月 7 日は 4 年生の卒業論文発表会に出席し、1 年後に自分が発表することを想定し、目標を明確にする。

その日に学んだこと、印象に残ったことを記述し、WebClass に翌日 24 時までに入力する。授業開始時の出欠確認と感想の提出を持ってその日の出席とする。

12 月 14 日は 4 年生の卒業論文Ⅱの分野を決める方法についてのオリエンテーションを行う。卒論Ⅰの出席としてカウントする。必ず出席すること。

同期授業(対面または ZOOM)と非同期型の日時を確認すること。

授業内容

看護研究の基本、文献の読み方、研究計画書の書き方、文献検索

成績評価の方法

参加度・学習態度 30%、文献クリティーク 30% 、最終課題 40%

1) 参加度・学習態度 30%:出席状況、授業中に積極的に発言する態度などを評価する。遅刻・早退は 2 回で 1 回の欠席とする。ネット環境により ZOOM のカメラをオフにすることはある程度認めるが、講義中に問いかけた際返答がない場合は減点する。

2) 文献クリティーク(英語 1 文献) 30%:7、8 回で行った英語論文のクリティークについて、グループワークおよび講義内での解説を聞いた上で理解したことを各自まとめて提出する。(提出期限 1 月 6 日 24 時 課題提出遅れ(1 日につき-1 点))

3)最終課題 40%:「自分の興味のあるテーマに関する研究領域で明らかになっていることと明らかになっていないことをまとめ、研究テーマを絞る」指定の書式に記入する。(提出期限:2 月 9 日 24 時 課題提出遅れ(1 日につき-1 点))

成績評価の基準

出席日数が 3 分の 2 以上あることを前提とした上で、上記合計点が 60 点以上の場合合格とする。

合計点が 90 点以上で A+,80～89 点で A,70～79 点で B,60～69 点で C とする。

準備学習等についての具体的な指示

実習中の講義であるが、時間管理を行い、事前学習・事後学習を行うこと。

試験の受験資格

試験は行わないが、単位認定には 2/3 の出席を要件とする。

教科書

黒田裕子の看護研究 Step by Step 第 5 版 医学書院 2017 ISBN:9784260015967

看護研究サポートブック第 4 版 足立はるゑ著 MC メディカ出版 2017 ISBN:978-4-8404-6126-9

主に上記 2 つのテキストを使用して講義資料を作成する。一括購入とはしないが、必要に応じて各自購入すること。

参考書

看護研究サポートブック : ワークシートで研究計画書がラクラク完成!／足立はるゑ 著,:メディカ出版, 2017

よくわかる質的研究の進め方・まとめ方 : 看護研究のエキスパートをめざして／グレッグ美鈴, 麻原きよみ, 横山美江 編著,:医歯薬出

版, 2007
よくわかる看護研究の進め方・まとめ方 : 量的研究のエキスパートをめざして／横山美江 編,:医歯薬出版, 2011
黒田裕子の看護研究 Step by Step／黒田裕子 著,黒田, 裕子, 1954–,:医学書院, 2017

履修上の注意事項

ZOOM での接続は時間がかかる場合があるので、5 分前には行うこと。 やむを得ず欠席する場合は教員に連絡すること。

備考

実習時期がグループによって違うということで、最終課題の提出期限を遅めに設定している（成績入力期限直前）。そのため提出が遅れたり、点数が不足していた場合その後の補習は困難であるため、しっかり学習して期限に遅れないよう提出すること。
教科書があまり活用されていないようなので、一斉購入ではなく、各自必要に応じて購入してもらうこととする。
「授業後の感想を 300 字も書くのは多すぎた」というコメントがありましたが、学んだ内容を記述することである程度講義内容の復習としていただきたいと思っています。しかし、実習中であることも鑑みて 250 語以上と変更します。

連絡先（メールアドレス）

近藤 暁子:akondo.ind@tmd.ac.jp

オフィスアワー

近藤 暁子:オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡してから訪問すること。
国際看護開発学教授室（3 号館 18 階）

時間割番号	012081				
科目名	Learning Medical English			科目ID	MN-492500-L
担当教員	大川 龍之介, 副島 友莉恵, 赤座 実穂, 太田 悠介[OKAWA RYUNOSUKE, SOEJIMA YURIE, AKAZA MIHO, OOTA Yuusuke]				
開講時期	2022 年度後期	対象年次	2～4	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

Learning Medical English

【科目責任者】大川 龍之介

主な講義場所

別途シラバスに記載。

授業の目的、概要等

現在、多くの人々が海外旅行し、多くの物資が世界中に運ばれ、多量の情報がインターネットで流れ、国際化が進んでいる。また明日を担う本学の看護学生、臨床検査学生は、世界を舞台にして活躍することが期待されている。そのためには、単なる日常英会話能力だけでなく、臨床の現場で用いる用語や患者との接遇に用いる用語など、医療における英語の知識を学ばなければならない。さらに、英語の文献を読む力、国際学会での英語のプレゼンテーション能力も身に着ける必要である。

本科目では前半では採血、検体検査、生理機能検査に関連した英語、患者への接遇について、後半では、国際誌の読み方、国際学会でのプレゼンテーションの仕方について学ぶ。募集の上限は看護、検査合わせて 12 名である。応募者が多い場合には書類、面接などにより選抜する。

授業の到達目標

本科目の到達目標は臨床の現場、国際誌、国際学会でのプレゼンテーションで用いる様々な医学英語を学び活用できることにある。学生は教科書にある基本的な英単語や語句を理解し記憶する事が求められる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	12/2	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	第1, 2章 やさしい英語, 役立つ英語, 血液検査	大川 龍之介
2	12/14	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	第3, 4章 尿検査, 便検査	大川 龍之介
3	12/19	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	第5～7章 生理機能検査①	赤座 実穂
4	12/19	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	第8～11章 生理機能検査②	赤座 実穂
5	12/21	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	第Ⅱ編 論文の読み方①	太田 悠介
6	12/21	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	第Ⅱ編 論文の読み方②	太田 悠介
7	12/23	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	第Ⅱ編 国際学会でのプレゼンテーション①	副島 友莉恵
8	12/23	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	第Ⅱ編 国際学会でのプレゼンテーション②	副島 友莉恵

授業方法

zoom による講義形式(同期型)。

授業内容

4 名の教員によるオムニバス形式

成績評価の方法

講義参加状況、小試験の成績、講義時の積極性により評価する。

1)講義の参加状況 10 点

2)小試験の成績 80 点

3)講義時の積極性 10 点

成績評価の基準

1), 2), 3)の合計が 60 点に達した場合に合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

毎回、授業前に、教科書の章を予習すること。また各担当教員の二回目の授業の最初に前回学習分の理解度を知るための小試験を行うので、復習をしておくこと。

試験の受験資格

授業に3分の2以上出席した者。

教科書

臨床検査技師のための医学英語 : 実用会話・文献の読み方／奈良信雄, 西元慶治著,奈良, 信雄,西元, 慶治,Petersen, Mark,:医歯薬出版, 2019

参考書

特に指定しない。

履修上の注意事項

3 回以上欠席の場合は不可とするので出席に注意すること。

備考

科目終了後に科目についてのアンケートを WebClass で実施する。

2021 年度の授業評価結果を踏まえ、2022 年度も引き続き、丁寧に指導・教育できる体制を整える。

連絡先（メールアドレス）

大川 龍之介:ohkawa.alc@tmd.ac.jp

オフィスアワー

大川 龍之介:特定の日時を確保できないためメールでアポイントメントを取ってください.

時間割番号	012087				
科目名	実践看護英語Ⅱ			科目ID	MN-392900-L
担当教員	近藤 暁子, 高野 歩[KONDO AKIKO, TAKANO Ayumi]				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	3	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Practicum of English for Nursing Ⅱ

【科目責任者】近藤暁子

主な講義場所

ZOOM

授業の目的、概要等

異文化や看護、健康に関連する概念について英語で学ぶ。様々な文化についての記事を読み、海外の学生、留学生やクラスメートと英語でディスカッションを行う。オンライン学習システムを使用してインドネシアの学生と交流する。日本の文化を理解し、日本文化以外を持つ対象に説明したり、ディスカッションする。これらの学習を通して異文化の理解とともにコミュニケーション能力を向上させ、国際性を高めることを目的とする。

授業の到達目標

1. 幅広い教養と高い専門知識・技術の修得

異文化を理解し、看護への応用について考察できる。日本文化について理解を深め、説明できる。

2. 医療人としての豊かな感性と人間性の形成

文化の異なる海外の大学の学生、外国人講師、留学生とのディスカッションを通して様々な文化、社会的視点について類似点や相違点を理解し、英語で理解したことを述べることができる。

3. 問題提起・解決能力の修得

ディスカッションを通して他者との意見の違いを理解し、自分の意見を述べ建設的な議論ができる。

4. 自己学習能力・創造性の形成

ディスカッションを通して新たな視点を自身のアイデンティティーに取り入れて表現できる。レジリエンスの概念を看護実践にどのように取り入れるか自分の意見を述べることができる。

5. 国際性の形成

ネイティブの教員、インドネシアの学生及び留学生と建設的なディスカッションを行うことで、英語でのコミュニケーションに慣れ、躊躇なく行えるようなコミュニケーション能力を身に付ける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/13	08:50-10:20	遠隔授業（同期型）	異文化理解	Introduction & Orientation Japanese and Indonesian culture	近藤 暁子, Iqbal Pramukti	Iqbal Pramukti
2	4/20	08:50-10:20	遠隔授業（同期型）	異文化理解	International students' presentation about their culture	近藤 暁子	留学生と英語でディスカッションする
3	5/2	08:50-10:20	遠隔授業（同期型）	自分化理解	Japanese students' presentation about Japanese culture	近藤 暁子	インドネシアの学生、留学生とディスカッション Iqbal Pramukti
4	5/11	08:50-10:20	遠隔授業（同期型）	異文化理解	Experience in the United States	新津 晃右, 近藤 暁子	
5	5/11	16:20-17:50	遠隔授業（同期型）	異文化理解	Indonesian students' presentation about Indonesian culture	近藤 暁子, Iqbal Pramukti	インドネシアの学生とディスカッション Iqbal Pramukti
6	5/18	08:50-10:20	遠隔授業（同期型）	異文化理解	Japanese and Indonesian students	高野 歩, 近藤 暁子, Iqbal Pramukti	インドネシアの学生とディスカッション Iqbal Pramukti
7	5/18	16:20-17:50	遠隔授業（同期型）	異文化理解	Cultures of Death and Mourning	Jonathan Corliss	インドネシアの学生、英語教師とディスカッション

8	5/25	16:20-17:50	遠隔授業（同期型）	異文化理解	Cultures of Nursing	Jonathan Corliss	インドネシアの学生、英語教師とディスカッション
9	6/8	16:20-17:50	遠隔授業（非同期型）	異文化理解	Globalization and Nursing Education	LIU Yat Wa, Justina, 近藤 暁子	香港理工大学 Justina Liu
10	6/15	16:20-17:50	遠隔授業（同期型）	異文化理解	Presentation about what discussed Indonesian students	近藤 暁子	英語によるプレゼンテーション

授業方法

1）講義と演習すべて英語で実施する。すべて ZOOM 同期型で行う。

2）4 コマはインドネシアのパジャジャラン大学と共同で行う（1、3, 5、9 回目）。

3）留学生の異文化のプレゼンテーションを聞いてディスカッションする（2 回目）

4）ワシントン大学の教員の米国体験記について講義およびディスカッションを行う（4 回目）

5）ネイティブの英語教員、留学生、クラスメートと指定したトピックについてディスカッションする（6-7 回目）。

6）香港の教員の講義およびディスカッションを行う（8 回目）

7）インドネシアの学生とディスカッションしたこと、異文化について学んだことや気づいたことについてプレゼンテーションする（10 回目）

授業内容

スケジュール参照

成績評価の方法

全体的参加度：40%、自文化プレゼンテーション：30%、Final presentation: 30%

1）参加度：授業中に積極的に発言する態度などを評価する。遅刻・早退は 2 回で 1 回の欠席とする。45 分以上遅れた場合はその授業へ出席とは認められない（40%）。

2）自文化プレゼンテーション：日本の文化の 1 つを取り上げ、英語でプレゼンテーションする。評価は留学生およびクラスメート全員で行う（30%）。

インドネシアの学生とディスカッションしたこと、異文化について学んだことや気づいたことについてのプレゼンテーション（30%）

成績評価の基準

出席日数が 3 分の 2 以上あることを前提とした上で、上記合計点が 60 点以上の場合合格とする。

合計点が 90 点以上で A+,80～89 点で A,70～79 点で B,60～69 点で C とする。

準備学習等についての具体的な指示

原則として TOEFL450 点以上を受講要件とする。

試験の受験資格

試験は行わないが、単位認定には 2/3 の出席を要件とする。

教科書

Transcultural Concepts in Nursing Care 7th ed／Margaret M. Andrews & Joyceen S. Boyle：LWW, 2015

WebClass にて配布

参考書

Margaret M. Andrews, Joyceen S. Boyle Transcultural Concepts in Nursing Care 7th ed 2016 Wolters Kluwer

他科目との関連

国際保健看護学

履修上の注意事項

指定された記事を読んで分からない単語を調べてくること。

備考

下記は 2021 年度受講生の感想です。是非多くの学生の方に受講していただきたいです。

・普通に過ごしていたら留学生の方やワシントン大学の方と交流する機会がなかなかないので、とても貴重な時間でした。大変でしたが選択して良かったと思っています。もっと自分の英語力を高めて視野を広くもてるようになりたいと思うきっかけにもなりました。ありがとうございました。

・英語に対しての抵抗心が弱まりました。苦手意識はあるもののもっと話せるようになりたい、意見を言いたいという気持ちになりました。

・他の専門の授業では聞けないような、海外の看護に関する情報を知ることができ、非常に勉強になりました。また、外国の大学の学生を英語で話すことが楽しかったです。
・大学に入ってから海外研修にもいけず、自分の英語が未熟だったことにも気づいたので、「将来留学をしたい」という目標を見失っていました。しかし、この授業を受けて、英語の力だけが国際的な看護師として必要なことではなくて、学習する姿勢 とか、異文化への関心とか、そういうことの方が重要なのかもしれないと気づきました。それによって、英語の勉強にも必然的に関心が戻ってきました。
全てに関して、自分の未熟さに気付かされてばかりの授業でしたが、将来について良いきっかけを掴むことができたと思います。受けてよかったです。

連絡先（メールアドレス）

近藤　暁子:akondo.ind@tmd.ac.jp

オフィスアワー

近藤　暁子:オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡してから訪問すること。
国際看護開発学教授室（3 号館 18 階）

時間割番号	012083				
科目名	国際保健福祉 C			科目 ID	MN-392800-Z
担当教員	近藤 暁子, 津田 紫緒, 高野 歩[KONDO AKIKO, TSUDA SHIO, TAKANO Ayumi]				
開講時期	2022 年度通年	対象年次	3	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Global Health and welfare C

【科目責任者】国際看護開発学 近藤暁子

主な講義場所

海外短期研修プログラム 研修機関先

- セイナヨキ応用科学大（フィンランド共和国）
- ラオス保健科学大学（ラオス人民民主共和国）
- ワシントン州（米国）
- チュラロンコン大学（タイ）
- ガーナ大学（ガーナ）
- 台北医科大学（台湾）

等

授業の目的、概要等

諸外国の医療施設、教育施設の見学・講義・実習等を通して、異文化社会での健康問題や、異なる保健医療システムを知ると共に 日本との相違を認識・体感し、グローバルな視点で看護の対象となる人々や、提供する看護の実際と課題を捉え、看護職としての専門性および国際感覚を養う。

授業の到達目標

1）研修国の保健医療福祉制度や事情および看護職の役割・活動状況について理解する。

2）1）で理解した内容について言語化し、研修報告書を作成する。

2）海外研修報告会において、1）で理解した内容および研修国での経験等について、第三者に適切に説明することができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/18	18:00-19:30	遠隔授業（同期型）	国際保健福祉	合同オリエンテーション（希望する国の医療施設, 保健福祉施設, 教育機関における見学・講義・実習等）	近藤 暁子, 高野 歩, 津田 紫緒, 川上 明希	日時は未定である。
2	10/19	16:20-17:50	その他	国際保健福祉	海外研修報告会	近藤 暁子, 高野 歩, 津田 紫緒, 川上 明希	日時は未定である。海外研修を通じた体験学習を行う。

授業方法

事前研修への参加、海外研修を通じた体験学習、海外研修報告会への参加（プレゼンテーションの実施等）

オリエンテーションは Zoom で行う。

今年度の詳細は未定である。10 月以降に海外渡航の許可がおり次第、プログラムを調整する。

授業内容

諸外国の教育機関、医療施設、保健福祉施設、老健施設における見学・講義・実習・保健活動・ボランティア活動への参加や、グループワーク・プレゼンテーション・ディスカッション等

成績評価の方法

- 研修前の準備、事前学修への参加・活動状況
- 研修期間中の見学・講義・実習・他活動等への参加状況
- 研修報告会における発表状況
- 研修報告書

成績評価の基準

事前学習、英語によるコミュニケーション、英語によるプレゼンテーション、異文化理解、研修国の保健医療制度・サービスの理解、保健医療福祉に関する実践的知識の習得、保健医療福祉に関する研究知識の習得、事後報告について、5 段階評価とする。

上記合計点が 60 点以上の場合合格とする。合計点が 90 点以上で A+,80～89 点で A,70～79 点で B,60～69 点で C とする。

準備学習等についての具体的な指示

・ 渡航国や自国の政情や社会情勢、文化、保健医療福祉事情、教育制度等の情報を事前に十分得て、事前に研修計画をすること

・ グローバル人材育成プログラムにおける海外派遣前教育プログラム(Academic English Summer Course)に必ず参加し、TOEFL を受験すること

・ 学内における英語運用力向上のための講義やイベント等に積極的に参加し、研修で困らないように、語学力の向上に努めること

・ 派遣前オリエンテーションへ参加し、危機管理など情報収集すること

試験の受験資格

試験は行わない

構成ユニット

主に、海外短期研修プログラムへの参加となる。コロナウイルス感染状況により、オンライン交流となった場合も単位認定する。

参加プログラムごとに数回実施される事前研修に必ず参加する。

海外研修へ参加し積極的に活動に取り組む。帰国後に開催予定の海外研修報告会に参加し、発表を行う。

今年度の詳細は未定である。詳細についてはオリエンテーションで説明する。

他科目との関連

国際保健福祉 A, 国際保健福祉 B, 国際保健福祉 D, 国際保健看護学

履修上の注意事項

・ 4 月(または 5 月)に開催される合同オリエンテーションに参加すること ・ 海外短期研修プログラムへの参加には、成績・語学力、及び面接評価による選考があることを理解し、十分準備をしておくこと ・ Global Communication Workshop (GCW)へ参加していることが必須である ・ 渡航前準備として、危機管理の観点から、所定の手続きを速やかに行うこと ・ 集団行動を伴う海外研修のため、担当教員により定められたスケジュールに則って行動すること

備考

本科目履修後のお願い

・ 研修参加後は、大学説明会等への参加や、下級生・後輩学生への情報提供等、積極的に大学の教育に協力すること

保健衛生学科 海外研修ガイダンスでの発表、オープンキャンパス 他

・ 本学の海外協定校等からの交換留学生のサポート、また海外からの研究者・教育者・実践者等との国際交流を推進するボランティアとして積極的に活動すること

・ 実践看護英語 I～Ⅲ とは内容が異なります。

連絡先(メールアドレス)

近藤 暁子:akondo.ind@tmd.ac.jp

津田 紫緒:3 号館 19 階地域保健看護学研究室 2 03-5803-4573 tsuda.phn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

近藤 暁子:オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡してから訪問すること。

国際看護開発学教授室(3 号館 18 階)

津田 紫緒:アポイントをとった上で随時実施

時間割番号	012101				
科目名	インディペンデントスタディB			科目ID	MN-393000-S
担当教員	田中　真琴[TANAKA Makoto]				
開講時期	2022 年度通年	対象年次	3	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Independent study B

【科目責任者】田中　真琴

授業の目的、概要等

人口の高齢化、自然災害、新型感染症パンデミック等、変化し続ける医療や看護を取り巻く状況に応じて、看護実践や研究を発展させ続けていくために、適切な方法で情報を探求しそれらを分析・統合して新たな知見を得ることは、看護職者に求められる重要や役割の一つである。学生自らが、受け入れ先組織・企業等を探し、受け入れ先と授業内容を作り上げ、得られた情報を分析・統合して、将来の状況変化に対応しながら、クリエイティブで柔軟な思考力に基づいて看護実践や研究を発展させていくために必要な知識やスキルの習得や向上を目指す。

授業の到達目標

1. 学生が興味・関心を寄せる課題について適切な情報が得られる組織や企業等を探し、適切な学習計画を立てることができる。

2. 学生が興味・関心を寄せる課題に関する新たな知見を得たり課題を解決したりしていくために、受け入れ先における学習経験を通じて得られた情報を分析・統合するための知識・スキルを獲得する。

3. 学生が興味・関心を寄せる課題に関する新たな知見を得たり課題を解決したりしていくために、受け入れ先における学習経験を通じて得られた情報を分析・統合した結果を説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/6	14:40-16:10	未定	学生が興味・関心を寄せる課題1	適切な情報が得られる組織や企業等における活動への参加1	田中　真琴
2	5/11	14:40-16:10	未定	学生が興味・関心を寄せる課題2	適切な情報が得られる組織や企業等における活動への参加1	田中　真琴
3	6/8	14:40-16:10	未定	学生が興味・関心を寄せる課題3	適切な情報が得られる組織や企業等における活動への参加1	田中　真琴
4	7/6	14:40-16:10	未定	学生が興味・関心を寄せる課題4	適切な情報が得られる組織や企業等における活動への参加1	田中　真琴
5	9/28	14:40-16:10	未定	学生が興味・関心を寄せる課題5	適切な情報が得られる組織や企業等における活動への参加1	田中　真琴
6	10/19	14:40-16:10	未定	学生が興味・関心を寄せる課題6	適切な情報が得られる組織や企業等における活動への参加1	田中　真琴
7	11/16	14:40-16:10	未定	学生が興味・関心を寄せる課題7	適切な情報が得られる組織や企業等における活動への参加にもとづく情報の分析・統合	田中　真琴
8	1/6	14:40-16:10	未定	学生が興味・関心を寄せる課題8	適切な情報が得られる組織や企業等における活動への参加にもとづく情報の分析・統合・まとめ	田中　真琴

授業方法

各学生が興味・関心を寄せる課題に基づいて、学生自らが担当教員と相談の上、個別に具体的な学習目標・学習計画を作成し、主体的に学習する。

1. 履修登録後は、以下のように行う。

①履修を希望する学生は、インデペンデントスタディとして取り組みたい課題について、科目担当教員(学年担任、専攻主任)と相談し、その課題の指導に適する指導教員を決める。(指導教員は原則、看護学専攻の専任教員とする。)

②当該学生は、インデペンデントスタディ学習計画書(様式)(学習目標・学習内容・学習スケジュール等を含む)を作成し、その内容について、受け入れ先機関および指導教員の助言・指導を受ける。学習計画書の内容・期間は、1 単位に相当するものであること。

③作成されたインデペンデントスタディ学習計画書について、科目担当教員(学年担任)が内容等を確認し当該科目として十分であると認められた場合に受講開始となる。

2. 授業方法

①インデペンデントスタディ学習計画書にしたがって、受け入れ先組織・企業等において、学生が興味・関心を寄せる課題に関する学習を進める。

②学習終了後、学んだ内容について情報を分析・統合し、報告書を作成し、科目担当教員（学年担任、専攻主任）へ提出する。

※本科目では、受け入れ先組織・企業等を探す際に、ベンチャー・スタートアップを利用することも可能である。
ベンチャー・スタートアップにリストアップされた会社に関するエントリーシートを学生が閲覧し、自らの関心と合致する企業があれば、ベンチャー・スタートアップ担当教員、科目担当教員（学年担任、専攻主任）等と相談の上、ベンチャー・スタートアップのルールに則って当該企業に連絡する。受入れ先組織・企業等候補の担当者と面談などを行った後、両者の合意が得られた場合マッチング成立となる。

授業内容

学生が興味・関心を寄せる課題について適切な情報が得られる組織や企業等における活動への参加、得られた情報の分析・統合
（例：医療・介護施設、企業、ベンチャー企業、ボランティア活動など）

成績評価の方法

以下の点について成績評価を行う。
1）受入れ先組織・企業等での活動状況：受入れ先担当者からのフィードバック
2）活動報告書の提出状況・内容：学習目標の到達状況

成績評価の基準

・受入れ先組織・企業等での活動状況に関する受入れ先担当者からのフィードバック（30%）
・活動報告書の提出状況・内容にもとづく、学習目標の到達状況（70%）

準備学習等についての具体的な指示

・各学生が興味・関心を寄せる課題について適切な情報が得られる組織・企業等について、各自で情報を探索しておくこと。
・学習計画書の作成と計画内容の実現に必要な受入れ先等に関する情報収集を適切に行う。
・各学生が興味・関心を寄せる課題に関する知識やスキルの習得に努める。
・学外組織において学習を行うことから、本学学生および看護を学ぶ者として適確な行動をとれるよう、コミュニケーション力、社会人としての行動や態度等に関する知識やスキルを身に着けておくこと。
・学外組織で学習を行うことから、学習計画に則って学習が進んでいることを、適宜、指導教員に報告する行動を身に着けておくこと。

試験の受験資格

試験は実施しない。

教科書

なし

参考書

なし

他科目との関連

学生が興味・関心を寄せる課題によって関連の深い科目は異なる。

履修上の注意事項

1）学生が興味・関心を寄せる課題にもとづく科目であるため、他の科目とは異なり、内容も受入れ先も受講者ごとに異なる。 2）受入れ先組織・企業等から重要な情報（個人情報を含む）の持ち出しをしないこと。 3）学習は、学生自らが指導教員と共に立てた学習計画に則って進めること。 4）受入れ先での学習期間中は、指導教員に進捗状況や学習上の困難等を、適宜報告・相談すること。 5）受入れ先担当者、指導教員や科目担当教員の指示に従って、学習を進めること。授業日時・内容（順序等）は変更することがある。

連絡先（メールアドレス）

田中　真琴:tanaka.cc@tmd.ac.jp　3 号館 19F

オフィスアワー

田中　真琴:月曜～金曜　AM9:00-PM18:00
不在時間、対応出来ない時間もあるため、質問や相談時は、事前連絡をすることが望ましい

時間割番号	012034				
科目名	成人看護学Ⅲ			科目ID	MN-330500-L
担当教員	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子[TANAKA Makoto, KAWAKAMI Aki, KAWAMOTO YUKO]				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	3	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Adult Health NursingⅢ

【科目責任者】田中 真琴

主な講義場所

zoom による同期型授業または非同期型授業

授業の目的、概要等

成人看護学を取り巻く最近注目されている話題についての概要を講義やグループ討論等を通して学ぶ。これにより国内外での社会の動きに目を向ける意識をより高めることと, 社会的ニーズの変化に対応すべく看護の役割を果たしている第一線の看護の専門家の努力や開拓の困難さを学ぶ。

授業の到達目標

・各話題について, 注目される社会的背景や概要を理解する。

・各話題についての開拓者としての努力や困難さを理解し、質疑ができる。

1 回目:専門職としての看護の発展について理解する。

2 回目:NP、看護管理者の活動の実際を理解する。

3 回目:CNS の活動の実際を理解する。

4 回目:臨床研究を支えるリサーチナースの役割(国内外の動向)を理解する。

5 回目:チーム医療における看護の役割を理解する。

6 回目:看護過程の発表・討論の準備ができる。

7 回目:エイズ治療の現状を踏まえ、コーディネータや看護の役割を理解する。

8 回目:高度先進・先端医療における看護の役割を理解する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/20	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	専門職としての発展	専門職集団としての発展、専門職者としての成長について	田中 真琴
2	5/12	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	NP および看護管理者としての活動	アメリカでの Advanced nurse および本邦での看護管理者としての取り組み	鈴木 美穂
3	5/12	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	CNS の活動	CNS(Clinical Nurse Specialist)の役割と活動内容	荒井 知子
4	5/26	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	リサーチナースの役割	臨床研究を支えるリサーチナースの役割(国内外の動向)	藤原 紀子
5	6/2	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	チーム医療	クリティカルケア看護におけるチーム医療	古厩 智美
6	6/7	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	事例発表準備	事例の関連図・問題リストの完成、発表資料の提出	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
7	6/15	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	HIV/AIDS コーディネーターナースの役割	めざましく発展するエイズ治療の現状をふまえた HIV/AIDS 患者の看護ケア	杉野 祐子
8	6/23	14:40-16:10	遠隔授業(非同期型)	先端医療と看護の役割	高度医療・先端医療に果たす看護の役割	山中 源治

授業内容

各講義は, 5～10分間の質疑応答時間を設けることがあるので, 積極的な質疑を行うこと。

授業日程、内容は変更することがある。

成績評価の方法

筆記試験は行わない。最終レポート提出資格は、授業への出席が 3 分の 2 以上である。

1. 最終レポート

2. 授業中および前後の課題への取り組み（グループワーク、授業後小レポートの提出および内容など）
3. 授業への出席状況、参加態度
で評価する。
・授業に欠席したものは原則として欠席回の該当課題の提出を認めない

成績評価の基準

総合得点が 60 点以上の者を合格とする。
1. 最終レポート（70%）
2. 授業中および前後の課題への取り組み(30%)
3. 授業への出席状況、参加態度（減点方式）
詳細は初回授業で説明する。

準備学習等についての具体的な指示

事前に各話題についての知識をまとめておく。
事前課題がある場合は提出すること。

教科書

各担当者の指定による。

他科目との関連

成人看護学Ⅰ，Ⅱを習得しておくこと。

履修上の注意事項

医療関係の時事的話題をとりあげた新聞やテレビ番組からも情報を得ることも心がけること。

連絡先（メールアドレス）

田中　真琴:tanaka.cc@tmd.ac.jp　3 号館 19F
川上　明希:akikawakami.cc@tmd.ac.jp　3 号館 17F
川本　祐子:kawamoto.cc@tmd.ac.jp　3 号館 19F

オフィスアワー

田中　真琴:月曜～金曜　AM9:00-PM18:00
不在時間、対応出来ない時間もあるため、質問や相談時は、事前連絡をすることが望ましい

時間割番号	012035				
科目名	成人看護学演習			科目ID	MN-350600-S
担当教員	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子[TANAKA Makoto, KAWAKAMI Aki, KAWAMOTO YUKO]				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	3	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Seminar of Adult Health Nursing

【科目責任者】田中 真琴

主な講義場所

看護学実習室(3号館17階)での対面授業、zoom による同期型授業、非同期型授業のいずれかで行う

授業の目的、概要等

成人看護学の一部として3年次に, 既習の病態および成人看護学の講義内容と関連づけて, 成人期にあり, 急性, 慢性に経過する健康障害を有する人々に適用される看護の問題解決の思考過程および手技的技術を, 患者体験を含めて段階的に修得する。

授業の到達目標

2年での学習を基礎に、上記内容を習得し、臨地実習が円滑に展開できるようにする。

1 回目:成人患者の看護過程の方法を理解することができる。

2～3 回目:授業の進め方について理解し、事例についてグループ討論ができる。

4～5 回目:体液管理の基礎と合併症予防の方法を理解し、実践できる。看護過程のグループ討論ができる。

6～7 回目:術後観察・術後離床方法を理解し、基礎的な技術を実践できる。看護過程のグループ討論ができる。

8～9 回目:看護過程前半部分を発表し討論できる。看護過程についてグループ討論ができる。

10～11 回目:回復促進・悪化予防のケアについて理解し、基礎的な技術を実践できる。看護計画を完成させ、事例発表の準備を完了できる。

12～13 回目:創傷ケアと基本的な術後援助について理解し、基礎的な技術を実践できる。看護過程後半部分を発表し討論できる。

14～16 回目:技術試験で看護技術を適切に行うことができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/5	13:00-14:30	遠隔授業(非同期型)	看護過程概論	成人患者の看護過程の具体的方法	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
2-3	4/5	14:40-17:50	遠隔授業(同期型)	オリエンテーション・看護過程演習	授業の説明 看護過程:事例説明・様式1の作成	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
4-5	4/19	14:40-17:50	看護学実習室1, 看護学実習室2	技術演習・看護過程演習	技術演習:輸液管理・術前リハビリテーション 看護過程:様式2まで完成	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
6-7	5/24	14:40-17:50	看護学実習室1, 看護学実習室2	技術演習・看護過程演習	技術演習:術後観察・術後離床 看護過程:関連図・問題リストの作成	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
8-9	6/9	14:40-17:50	遠隔授業(同期型)	看護過程発表・演習	看護過程:前半部分の成果発表、教員からの総評、看護問題1つに対し看護計画を作成	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
10-11	6/14	14:40-17:50	看護学実習室1, 看護学実習室2	技術演習・看護過程演習	技術演習:吸引・血糖測定 看護過程:看護計画の完成, 発表準備	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子, 青木 春恵
12-13	6/21	14:40-17:50	遠隔授業(同期型)	技術演習・看護過程発表	技術演習:創傷管理・技術試験説明 看護過程:後半部分の成果発表会、教員からの総評	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
14-16	7/5	13:00-17:50	看護学実習室1, 看護学実習室2	技術試験	詳細は後日発表	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子, 青木 春恵, 徐 廷美

授業方法

講義、グループワーク、課題発表、技術演習、授業前後の課題

授業内容

授業日程、内容は変更することがある。

成績評価の方法

1. 学期末筆記試験

2. 事例および行動計画表の内容
3. 技術試験
4. 授業への出席状況、演習に臨む身だしなみや態度、小テスト、小レポートの提出状況など
で評価する。
・筆記試験の受験資格は、授業への出席が 3 分の 2 以上である。
・筆記試験の一部に英語の問題を出題する。
・授業に欠席したものは原則として欠席回の該当課題の提出を認めない

成績評価の基準

総合得点が 60 点以上の者を合格とする。
1. 学期末筆記試験(50%)
2. 事例および行動計画表の内容(20%)
3. 技術試験(12%)
4. 授業後小レポート(18%)
5. 授業への出席状況、演習に臨む身だしなみや態度、課題の提出状況など(減点方式)
で評価する。
詳細は初回授業で説明する。

準備学習等についての具体的な指示

事前学習の資料を配布するので学習して演習を受けること。

参考書

術中/術後の生体反応と急性期看護／竹内登美子編著,竹内, 登美子,:医歯薬出版, 2019
周術期の臨床判断を磨く : 手術侵襲と生体反応から導く看護／鎌倉やよい, 深田順子 著,:医学書院, 2008
臨床病態学 : 看護のための／浅野嘉延, 吉山直樹編,浅野, 嘉延,吉山, 直樹,:南山堂, 2020
周手術期看護論(第 3 版)／雄西智恵美, 秋元典子 編集,:ヌーヴェルヒロカワ, 2014
臨床外科看護総論(第 11 版)／矢永勝彦, 髙橋則子 編,:医学書院, 2017
系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学総論(第 15 版)／小松浩子他:医学書院, 2018
疾患別看護過程の展開(第6版)／石川ふみよ, 高谷真由美監修,石川, ふみよ,高谷, 真由美,:学研メディカル秀潤社, 2020
テーマによる参考図書の紹介

他科目との関連

基礎看護学に引き続き, 他の発達段階にある人々に対する看護技術および問題解決過程の基本となり, 臨地実習(成人看護学実習)を円滑に行う上で必須の科目であるので, 積極的に正確に学ぶ態度が必要である。

履修上の注意事項

技術演習に関しては, 学内での演習であるが, 臨地実習と同じ心構えで臨み, 服装, 態度には充分注意すること。事前学習ならびに復習を心がけること。

連絡先(メールアドレス)

田中 真琴:tanaka.cc@tmd.ac.jp 3 号館 19F
川上 明希:akikawakami.cc@tmd.ac.jp 3 号館 17F
川本 祐子:kawamoto.cc@tmd.ac.jp 3 号館 19F

オフィスアワー

田中 真琴:月曜～金曜 AM9:00-PM18:00
不在時間、対応出来ない時間もあるため、質問や相談時は、事前連絡をすることが望ましい

時間割番号	012036				
科目名	成人看護学実習			**科目ID**	MN-370700-E
担当教員	田中　真琴, 川上　明希, 川本　祐子[TANAKA Makoto, KAWAKAMI Aki, KAWAMOTO YUKO]				
開講時期	2022 年度後期	**対象年次**	3	**単位数**	3
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Clinical Practice of Adult Health Nursing Ⅰ

【科目責任者】田中　真琴

授業の目的、概要等

さまざまな健康段階にある成人・老年期の入院患者を1名以上受け持ち，その疾病・治療経過を踏まえながら患者の全人的理解に努め，既習の知識・技術の統合あるいは新たな学習により，必要な看護を指導者とともに実践し，評価することを学ぶ。

授業の到達目標

1）患者の健康・機能障害を理解し，援助する。
（1）健康・機能障害の原因・誘因を理解する。
（2）患者の自覚症状・他覚症状を把握する。
（3）健康状態を系統的に観察する。
（4）患者の望む療養生活や治療法の選択を理解し，適切な援助をする。
（5）行われる検査・治療・処置の目的と内容を理解する。
（6）患者が検査・治療・処置を適切に受けられるように援助する。
2）生命が脅かされている場合には，生命維持・回復のための看護活動ができる。
3） 異常の予防・早期発見・機能回復のための援助をする。
（1）予測される悪化因子を指摘する。
（2）悪化の徴候を早期に発見し，予防的な看護活動を行う。
（3）機能回復のための適切な看護活動を行う。
4）健康・機能障害に伴う日常生活上の制限に対し，援助を行う。
（1）患者・家族が機能障害をどのように受けとめているかを把握する。
（2）日常生活上の制限を身体的・心理的・社会的側面に沿って理解する。
（3）日常生活上の制限をできるだけ軽減するように援助する。
（4）患者の症状，苦痛を和らげるような援助を行う。
（5）患者の心理的・社会的問題を把握する。
（6）患者の心理的・社会的問題の解決への援助をする。
（7）自己管理を阻害する因子を指摘する。
（8）自己管理ができるように援助する。
（9）患者に必要な社会的資源を列挙する。
（10）日常生活の制約上の家族の心理的・社会的問題を把握する。
（11）家族の心理的・社会的問題の解決への援助をする。
5）リハビリテーション期における援助を行う。
（1）リハビリテーション訓練が円滑に受けられるように援助する。
（2）病棟内の日常生活でリハビリテーション訓練内容や成果を活用した援助をする。
6）在宅療養・社会復帰に向けての援助を行う。
（1）患者に適した退院後の日常生活目標を設定する。
（2）退院後の生活目標に向けて，適切な援助を行う。
7）医療チームにおける看護師の役割を理解する。
（1）医師，その他の関係職種の役割を理解する。
（2）チームにおける看護師の役割を理解する。
8）以上に関して患者個別の問題を看護過程を用いて実践する。
（1）情報収集する。
（2）収集した情報を分析，統合し，看護診断する。
（3）具体的な目標を設定する。

（4）目標達成のための看護活動を計画する。
（5）計画した看護活動を実践する。
（6）展開した看護過程を評価する。
9）看護専門職としてふさわしい態度を身につける。
（1）看護技術の一般的手順と原則をふまえ，患者の個別性を加味し，実施においては十分な復習と準備を行う。
（2）患者の援助においては常に安全と安楽を考慮する。
（3）患者の持てる力を生かした援助方法を考える。
（4）情報収集を看護援助に生かすとともに，看護援助をしながら情報収集をする。
（5）援助を提供する側・される側の視点から，のぞましい手順や方法を考え，実践する。
（6）グループメンバー間で互いに協調しながら実習に臨む。
（7）看護とは何かを考え，学究的態度（文献活用・事例検討）で実習する。
（8）丁寧で親切な接遇を心がける。
（9）連絡・報告には責任をもつ。
（10）受け持ち看護師や指導者に相談し，助言やコメントを積極的に得ようと努める。
（11）看護援助の実践に先立ち，患者の了解ならびに受け持ち看護師との連絡・調整を行う。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/26	08:00-17:00	その他（保・先端侵襲緩和ケア看護学分野）	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
2	9/27	08:00-17:00	その他（保・先端侵襲緩和ケア看護学分野）	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
3	9/29	08:00-17:00	その他（保・先端侵襲緩和ケア看護学分野）	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
4	9/30	08:00-17:00	その他（保・先端侵襲緩和ケア看護学分野）	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
5	10/3	08:00-17:00	その他（保・先端侵襲緩和ケア看護学分野）	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
6	10/4	08:00-17:00	その他（保・先端侵襲緩和ケア看護学分野）	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
7	10/6	08:00-17:00	その他（保・先端侵襲緩和ケア看護学分野）	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
8	10/7	08:00-17:00	その他（保・先端侵襲緩和ケア看護学分野）	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
9	10/11	08:00-17:00	その他（保・先端侵襲緩和ケア看護学分野）	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
10	10/13	08:00-17:00	その他（保・先端侵襲緩和ケア看護学分野）	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
11	10/14	08:00-17:00	その他（保・先端侵襲緩和ケア看護学分野）	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
12	10/31	08:00-17:00	その他（保・先端侵襲緩和ケア看護学分野）	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
13	11/1	08:00-17:00	その他（保・先端侵襲緩和ケア看護学分野）	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
14	11/4	08:00-17:00	その他（保・先端侵襲緩和ケア看護学分野）	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
15	11/7	08:00-17:00	その他（保・先端侵襲緩和ケア看護学分野）	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
16	11/8	08:00-17:00	その他（保・先端侵襲緩和ケア看護学分野）	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子

17	11/10	08:00-17:00	その他(保・先端侵襲緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
18	11/11	08:00-17:00	その他(保・先端侵襲緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
19	11/14	08:00-17:00	その他(保・先端侵襲緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
20	11/15	08:00-17:00	その他(保・先端侵襲緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
21	11/17	08:00-17:00	その他(保・先端侵襲緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
22	11/18	08:00-17:00	その他(保・先端侵襲緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
23	11/28	08:00-17:00	その他(保・先端侵襲緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
24	11/29	08:00-17:00	その他(保・先端侵襲緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
25	12/1	08:00-17:00	その他(保・先端侵襲緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
26	12/2	08:00-17:00	その他(保・先端侵襲緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
27	12/5	08:00-17:00	その他(保・先端侵襲緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
28	12/6	08:00-17:00	その他(保・先端侵襲緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
29	12/8	08:00-17:00	その他(保・先端侵襲緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
30	12/9	08:00-17:00	その他(保・先端侵襲緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
31	12/12	08:00-17:00	その他(保・先端侵襲緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
32	12/13	08:00-17:00	その他(保・先端侵襲緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
33	12/15	08:00-17:00	その他(保・先端侵襲緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
34	12/16	08:00-17:00	その他(保・先端侵襲緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
35	1/10	08:00-17:00	その他(保・先端侵襲緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
36	1/12	08:00-17:00	その他(保・先端侵襲緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
37	1/13	08:00-17:00	その他(保・先端侵襲緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
38	1/16	08:00-17:00	その他(保・先端侵襲緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
39	1/17	08:00-17:00	その他(保・先端侵襲緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
40	1/19	08:00-17:00	その他(保・先端侵襲緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
41	1/20	08:00-17:00	その他(保・先端侵襲	成人看護学実習	詳細については実習要項	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子

			緩和ケア看護学分野)		参照	
42	1/23	08:00-17:00	その他(保・先端侵襲緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
43	1/24	08:00-17:00	その他(保・先端侵襲緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
44	1/26	08:00-17:00	その他(保・先端侵襲緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
45	1/27	08:00-17:00	その他(保・先端侵襲緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子

授業内容

(詳細については実習要項参照)

成績評価の方法

実習への出席状況、実習に臨む態度、身だしなみおよび記録物により評価する。
健康管理含め、医療専門職として適切な姿勢、行動がとれることを重視する。

成績評価の基準

以下の視点より総合的に評価し、総合得点が 60 点以上の者を合格とする。なお、4 分の 3 以上の出席がない場合には、単位認定できない。

1. 病棟実習内容・記録
2. 手術室見学レポート
3. 実習への出席状況
4. 実習に臨む態度, 身だしなみ

準備学習等についての具体的な指示

看護実践に必要な基礎技術を復習すること(実習室での練習日を設ける)。
看護過程や実習病棟の疾患と看護については特に復習してのぞむこと。

備考

・ツイッター等への投稿に対する注意事項について
実習で知り得た患者や住民の情報を、無断で外部に持ち出したり、不用意に公の場で話したり、ソーシャルメディア(ツイッター、ブログ、ソーシャルネットワーキングサービス、動画共有サイトなど)に発信してはならない。諸君の軽率な行動が、個人情報の漏洩や、個人の尊厳・感情を傷つけることにつながり、受け入れ先をはじめ多くの人に迷惑をかけることになる。いったん拡散した情報は取り消すことができないので、情報の取り扱いに注意すること。
・健康管理を含め、医療専門職して適切な姿勢、行動がとれることを重視する。
・実習要項を精読したうえで実習に臨むこと。

連絡先(メールアドレス)

田中 真琴:tanaka.cc@tmd.ac.jp 3 号館 19F
川上 明希:akikawakami.cc@tmd.ac.jp 3 号館 17F
川本 祐子:kawamoto.cc@tmd.ac.jp 3 号館 19F

オフィスアワー

田中 真琴:月曜～金曜 AM9:00-PM18:00
不在時間、対応出来ない時間もあるため、質問や相談時は、事前連絡をすることが望ましい

時間割番号	012037				
科目名	地域精神看護学			科目ID	MN-330800-L
担当教員	高野 歩, 松長 麻美, 栗林 一人, 陣立 良太, 宮本 有紀, 金子 慈史, 松本 俊彦, 木戸 芳史[TAKANO Ayumi, MATSUNAGA Asami, KURIBAYASHI Kazuto, JINTATE RYOTA, MIYAMOTO Yuki, KANEKO Yoshifumi, MATSUMOTO TOSHIHIKO, KIDO Yoshifumi]				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	3	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Community Psychiatric Nursing

【科目責任者】高野 歩

主な講義場所

第 1、2 回: Webclass 上での動画講義（非同期型）

第 3～7 回: Zoom 講義（同期型）

第 8 回: 対面授業（保健衛生学講義室1（3 号館 18 階））

※新型コロナウイルス感染症拡大時は、大学の感染対策レベルに応じて、対面から Zoom に変更することがある。

授業の目的、概要等

様々な精神的健康問題に関する社会状況と支援方法について理解する。地域で生活する精神障害を有する人の健康や生活の質の向上を支援するために必要な社会資源に関する基礎知識を習得する。精神保健医療福祉システムの中で看護職が担う役割について考察する。

授業の到達目標

□地域精神保健福祉の状況や地域で生活する精神障害者に対する具体的な支援方法について説明できる。

□リカバリーを促進する支援のあり方について説明できる。

1 回目：地域精神保健をめぐる社会状況や精神障害者の地域生活について理解を深め、退院促進や地域定着支援について説明できる。

2 回目：地域における精神障害者への多職種連携による支援の実際と、看護師が行う支援と役割について説明できる。

3 回目：リカバリーとスティグマに関する理念や課題について理解し、リカバリー志向の支援について説明できる。

4 回目：地域で暮らす精神障害者に対する保健師の支援について説明できる。

5 回目：アディクションや自傷について理解を深め、実際の支援について説明できる。

6 回目：災害時のメンタルヘルスと支援について理解を深め、支援の方法について説明できる。

7 回目：精神科訪問看護、精神科アウトリーチについて理解し、看護師の役割や支援内容について説明できる。

8 回目：精神科デイケアにおける援助、就労支援、様々な社会資源について説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/8	13:00-14:30	遠隔授業（非同期型）	地域精神保健看護　精神障害者が地域で暮らすということ	地域精神保健看護とは、退院促進、地域移行、地域定着支援、精神障害と生活障害、自立支援をめぐる課題	高野 歩, 栗林 一人
2	4/8	14:40-16:10	遠隔授業（非同期型）	精神障害者への地域支援	精神障害者への地域での相談支援事業、地域活動支援センターでの事業、就労継続支援事業、グループホーム	高野 歩, 栗林 一人
3	4/15	14:40-16:10	遠隔授業（同期型）	リカバリーとスティグマ	リカバリーの考え方、スティグマの構造、アンチスティグマ	松長 麻美, 高野 歩, 栗林 一人
4	4/22	13:00-14:30	遠隔授業（同期型）	精神保健福祉をめぐる社会状況と看護職による精神障害者への地域支援	保健所・市区町村における精神保健看護、地域精神保健のシステムと地域資源	陣立 良太, 高野 歩, 栗林 一人
5	5/13	14:40-16:10	遠隔授業（同期型）	アディクションの理解と支援	アディクションの要因、支援の実際（治療プログラム、自助グループなど）	松本 俊彦, 高野 歩, 松長 麻美, 栗林 一人
6	5/20	14:40-16:10	遠隔授業（同期型）	災害時のメンタルヘルス	災害時のメンタルヘルス支援、Psychological First Aid	宮本 有紀, 高野 歩, 松長 麻美, 栗林 一人
7	5/27	13:00-14:30	遠隔授業（同期型）	精神科アウトリーチによる支援の実際	精神科訪問看護、精神科アウトリーチにおける看護師の支援の実際と役割	木戸 芳史, 高野 歩, 松長 麻美, 栗林 一人

8	6/3	13:00-14:30	保健衛生学科講義室1	社会復帰支援	社会資源、精神科デイケアの理念と活動、就労支援	金子 慈史, 高野 歩, 松長 麻美, 栗林 一人

授業方法

授業は以下の方法で行う。

1. 講義:講義は、Webclass 上での動画講義(非同期型)、Zoom によるオンライン講義(同期型)、もしくは対面授業とする。様々な精神的健康問題に関する内容をオムニバス形式で取り上げる。講義資料は、講義前に Webclass にて配布するので、各自手元に用意すること。
2. 授業中のグループワーク:実践的な内容について、グループワークを行うことがある。
3. 授業中の小テスト:講義内容に関連した知識の確認を小テスト形式(Zoom の投票機能)で行うことがある。
4. 確認テスト:Webclass 上での動画講義受講後、Webclass 上で確認テストを実施する。
5. リフレクティブレポート:各回の授業終了後、授業で学んだことや感想、質問等を WebClass の指定の場所に提出すること。質問に対しては、次回の授業で説明するか、WebClass にて回答を掲示する。

授業中、教員と学生との間でのディスカッション、グループワーク、小テストにより、アクティブラーニングを実施する。

授業内容 別表参照

成績評価の方法

次の 3 つの方法により評価する。

1. 筆記試験(60%):授業で学習した重要な事項について選択式問題形式で出題する。授業で取り上げた内容に関する過去の看護師国家試験問題についても、出題範囲に含まれる。筆記試験の成績は、例えば筆記試験(100 点満点)の結果が 70 点である場合、その得点の 60%である、60%×70 点= 42 点が成績となる。
2. 授業への参加状況(20%):出席、確認テスト、グループワーク参加状況、授業中の質問等により総合的に評価する。地域精神看護学の成績の 20%を授業への参加状況により評価する。
3. リフレクティブレポート(20%):レポート提出状況、レポートの内容により評価する。地域精神看護学の成績の 20%をリフレクティブレポートにより評価する。

成績評価の基準

上記の成績評価の方法に示す各項目の成績の合計により評価を行い、100 点満点中 60 点以上を合格とする。なお、授業中およびリフレクティブレポートでの、重要な質問や、誤りの指摘などがあった場合には、最終評価において加点されることがある。

準備学習等についての具体的な指示

教科書の該当箇所について予習をして臨むこと。既習の関連する他科目(主に精神看護学)の授業を復習しておくこと。精神障害を有する人の理解を深めるために、体験記を読んでおくことを奨励する。

試験の受験資格

授業の出席(2/3 以上とする。WebClass 上での動画講義受講状況および確認テスト、Zoom ログイン状況、対面授業の出席状況から、講義を最初から最後まで参加していることを確認する)及び、リフレクティブレポートの提出(2/3 以上)を必要とする。

教科書

精神看護の基礎/武井麻子著者代表,武井, 麻子,:医学書院, 2021

精神看護の展開/武井麻子著者代表,武井, 麻子,:医学書院, 2021

武井麻子他著「系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学[1][2]」医学書院、2021

参考書

授業内で適宜提示する。

他科目との関連

精神看護学で学習した精神疾患の症状や治療方法に関する知識を基に、地域で生活する精神障害者の支援のあり方について学ぶ。また、実際の支援計画の立案や実践については、精神看護学演習、精神看護学実習と関連する。

履修上の注意事項

WebClass の地域精神看護学のコースに適宜資料をアップするので参照すること。 講義中にスクリーンの撮影をするのを禁止する。講義動画、講義資料、参考資料などは著作権の問題があるので、受講登録者以外に公開することを禁ずる。

備考

学生の予習・復習の時間を考慮し、講義資料を Webclass 上にアップする。

連絡先(メールアドレス)

高野 歩:ayumi-takano.pn@tmd.ac.jp

松長 麻美: asamim.pn@tmd.ac.jp

栗林 一人:kazuto-kuribayashi.pn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

高野　歩:事前にメールでアポイントを取り、研究室を訪ねてきてください（3 号館 18 階精神保健看護学分野研究室 2）。

松長　麻美:事前にメールでアポイントを取り、研究室を訪ねてきてください（3 号館 15 階精神保健看護学研究室）

栗林　一人:事前にメールでアポイントを取り、研究室を訪ねてきてください（3 号館 15 階精神保健看護学研究室）

時間割番号	012038				
科目名	精神看護学演習			科目ID	MN-350900-S
担当教員	高野 歩, 松長 麻美, 栗林 一人, 浦尾 悠子[TAKANO Ayumi, MATSUNAGA Asami, KURIBAYASHI Kazuto, URAO Yuko]				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	3	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Psychiatric Nursing Seminar

【科目責任者】 高野 歩

主な講義場所

対面授業の場合は、保健衛生学講義室1 (3 号館 18 階)、実習室

または、非同期型講義、Zoom による同期型講義

※新型コロナウイルス感染症拡大時は、大学の感染対策レベルに応じて、対面から Zoom に変更することがある。

授業の目的、概要等

演習を通じて精神看護の実践に必要な援助の理論と方法を習得する。精神障害を有する人における精神疾患と生活障害との関連について、セルフケアモデルやストレングスモデルによりアセスメントし、必要な看護援助を考案する。援助的な対人関係を構築する技術を身につけ、精神障害を有する人の回復、成長、自立を支援するための知識と技術を身につける。グループワークを通して、他者と協働して学習する能力を養う。

授業の到達目標

□セルフケアモデル・ストレングスモデルに基づき、精神疾患を有する患者の状態をアセスメントできる。

□精神疾患を有する人に対する看護援助の方法を理解し、看護計画を立案できる。

□援助的対人関係とは何か理解し、患者・看護師関係を評価する方法を説明できる。

□認知行動療法の理論を理解し、基本的な技法の一部を実践できる。

1 回目:精神看護の目的と機能について理解を深め、生物・心理・社会モデルに基づくアセスメント方法を説明することができる。

2 回目:精神障害を有する人の体験談を聞き、精神障害を抱えて生きることについて理解を深め、リカバリー指向の支援のあり方について説明することができる。

3～5 回目:精神障害の病態や症状(幻覚・妄想、抑うつ・躁状態、不安、心的外傷、物質依存・行動嗜癖、自傷・自殺)に応じた看護について理解を深め、必要な看護援助方法について説明できる。

6 回目:精神看護における援助関係構築やコミュニケーション技法に関する理論を理解し、自分自身のコミュニケーションスタイルについて振り返り、コミュニケーションを看護実践に活かす方法を説明することができる。

7 回目: セルフケアモデルに基づくアセスメントや支援について理解し、実践できる。援助的な対人関係について理解し、患者・看護師関係や援助プロセスの評価ができる。

8～11 回、14～15 回目:模擬事例(統合失調症、うつ病、アルコール使用障害)を用いて、看護援助に必要な情報を収集できる。生物・心理・社会モデルやセルフケアモデルに基づき患者の状態をアセスメントし、看護計画を立案できる。

12・13 回:認知行動療法の理論を理解し、基本的な技法の一部を実践できる。

16 回目:精神看護における看護過程展開について理解を深め、精神看護学実習に必要な知識と技術を整理することができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/11	13:00-14:30	保健衛生学科講義室1	精神看護の目的と機能	精神的健康の維持と増進、精神看護の役割と機能、生物・心理・社会モデル、精神保健医療福祉の現状と課題	高野 歩, 栗林 一人
2	4/11	14:40-16:10	保健衛生学科講義室1	精神障害と共に生きる	リカバリー指向の支援、ピアサポート	高野 歩, 栗林 一人
3	4/18	14:40-16:10	遠隔授業(非同期型)	病態や症状に応じた看護(1)	幻覚・妄想状態の理解と看護、自閉・意欲低下・認知機能障害の理解と看護	高野 歩, 栗林 一人
4	4/25	13:00-14:30	遠隔授業(非同期型)	病態や症状に応じた看護(2)	抑うつ・躁状態の理解と看護、不安や心的外傷の理解と看護	高野 歩, 栗林 一人
5	5/6	13:00-14:30	遠隔授業(非同期型)	病態や症状に応じた看護(3)	物質依存・行動嗜癖の理解と看護、自傷・自殺に対する看護	高野 歩, 松長 麻美, 栗林 一人

6	5/16	13:00-14:30	保健衛生学科講義室1	援助的な対人関係の構築	患者・看護師関係とコミュニケーション、異和感の対自化、プロセスレコードの活用	高野 歩, 松長 麻美, 栗林 一人
7	5/23	13:00-14:30	保健衛生学科講義室1	セルフケアモデルに基づく看護	セルフケアモデルに基づくアセスメント、ストレングスモデルの理解と活用	高野 歩, 松長 麻美, 栗林 一人
8	5/30	13:00-14:30	保健衛生学科講義室1	模擬事例を用いた看護過程の演習（1）	ペーパーペイシェントを用いた看護展開演習のオリエンテーション	高野 歩, 松長 麻美, 栗林 一人
9	6/6	13:00-14:30	保健衛生学科講義室1	模擬事例を用いた看護過程の演習（2）	精神看護における情報収集とアセスメント （自己学習、質問受付）	高野 歩, 松長 麻美, 栗林 一人
10	6/13	13:00-14:30	保健衛生学科講義室1	模擬事例を用いた看護過程の演習（3）	看護計画の立案 （自己学習、質問受付）	高野 歩, 松長 麻美, 栗林 一人
11	6/13	14:40-16:10	保健衛生学科講義室1	模擬事例を用いた看護過程の演習（4）	事例演習の情報共有、相互レクチャーの準備	高野 歩, 松長 麻美, 栗林 一人
12	6/20	13:00-14:30	保健衛生学科講義室1	認知行動療法の基礎と実践(1)	認知行動療法の理論	浦尾 悠子, 高野 歩, 松長 麻美, 栗林 一人
13	6/20	14:40-16:10	保健衛生学科講義室1	認知行動療法の基礎と実践(2)	認知行動療法の基本的手法の理解と実践	浦尾 悠子, 高野 歩, 松長 麻美, 栗林 一人
14	6/27	13:00-14:30	保健衛生学科講義室1	模擬事例を用いた看護過程の演習（5）	事例演習相互レクチャー、質疑応答	高野 歩, 松長 麻美, 栗林 一人
15	6/27	14:40-16:10	保健衛生学科講義室1	模擬事例を用いた看護過程の演習（6）	事例演習相互レクチャー、質疑応答	高野 歩, 松長 麻美, 栗林 一人
16	7/4	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	演習のまとめ、実習オリエンテーション	事例演習のまとめ、精神看護学実習のオリエンテーション	高野 歩, 松長 麻美, 栗林 一人

授業方法

授業は以下の方法で行う。

1. 講義：対面での講義・演習、動画や資料を用いた非同期型講義により実施する。講義は、各回の中で重要なこと、発展的なことを中心に行う。教科書に記載してある基本的な内容は自己学習とする。講義資料は、講義前に Webclass にて配布するので、各自ダウンロードして準備しておくこと。

2. グループワーク：実践的な内容について、グループワークを行う。グループワークを実施する前に個人で課題に取り組み、グループワークでは課題の共有、ディスカッション、発表、質疑応答を行う。

3. 授業後の確認テスト：講義内容に関連した知識の確認を WebClass 上で行う。

4. リフレクティブレポート：各回の授業終了後、授業で学んだことや感想、質問等を WebClass の指定の場所に提出すること。質問に対しては、次回の授業で説明するか、WebClass にて回答を掲示する。

授業中、教員と学生との間でのディスカッション、グループワーク、小テストにより、アクティブラーニングを実施する。

授業内容

授業計画参照

成績評価の方法

次の 3 つの方法により評価する。

1. グループワーク参加状況・発表内容（40%）：グループワークでの貢献、発表内容、質疑応答の内容により総合的に評価する。精神看護学演習の成績の 40%をグループワーク参加状況・発表内容により評価する。

2. 授業への参加状況（20%）：出席、授業中の質問等により総合的に評価する。精神看護学演習の成績の 20%を授業への参加状況により評価する。

3. リフレクティブレポート(20%):レポート提出状況、レポートの内容により評価する。精神看護学演習の成績の 20%をリフレクティブレポートにより評価する。
4. 確認テスト(20%):非同期授業における確認テストの点数により評価する。精神看護学演習の成績の 20%を確認テストにより評価する。

成績評価の基準

上記の成績評価の方法に示す各項目の成績の合計により評価を行い、100 点満点中 60 点以上を合格とする。なお、授業中およびリフレクティブレポートでの、重要な質問や、誤りの指摘などがあった場合には、最終評価において加点されることがある。

準備学習等についての具体的な指示

教科書の該当箇所について予習をして臨むこと。関連する他科目(主に精神看護学、地域精神看護学)の授業を復習しておくこと。

試験の受験資格

授業の出席(2/3 以上とする。対面授業の出席状況、WebClass 上での動画講義受講状況および確認テストから講義を最初から最後まで参加していることを確認する)、リフレクティブレポートの提出(2/3 以上)を必要とする。

教科書

精神看護の基礎／武井麻子著者代表,武井, 麻子,:医学書院, 2021
精神看護の展開／武井麻子著者代表,武井, 麻子,:医学書院, 2021
武井麻子他著「系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学[1][2]」医学書院、2021

参考書

リカバリー・退院支援・地域連携のためのストレングスモデル実践活用術／萱間真美著,萱間, 真美,:医学書院, 2016
援助技法としてのプロセスレコード : 自己一致からエンパワメントへ／宮本真巳編著,宮本, 真巳,:精神看護出版, 2003
自己理解・対象理解を深めるプロセスレコード : プロセスレコードが書ける、読める、評価できる本／長谷川雅美編著,長谷川, 雅美,:日総研出版, 2017
オレムのセルフケアモデル事例を用いた看護過程の展開／宇佐美しおり, 鈴木啓子, Patricia Underwood 共著,宇佐美, しおり,鈴木, 啓子,Underwood, Patricia R.,:ヌーヴェルヒロカワ, 2007
萱間真美「リカバリー・退院支援・地域連携のためのストレングスモデル実践活用術」医学書院、2016
宮本真巳「援助技法としてのプロセスレコード」精神看護出版、2003
長谷川 雅美「自己理解・対象理解を深めるプロセスレコード 第 2 版」日総研出版、2017
宇佐美しおり「オレムのセルフケアモデル―事例を用いた看護過程の展開 第 2 版」ヌーヴェルヒロカワ、2007

他科目との関連

精神看護学で学習した精神疾患の症状や治療方法に関する知識を基に、精神症状のアセスメント、看護計画の立案方法について学ぶ。

履修上の注意事項

WebClass の精神看護学演習のコースに適宜資料をアップするので参照すること。

備考

学生の進行・理解状況に応じてグループワークの時間を設定し、学生間で十分なディスカッションができるようにする。

連絡先(メールアドレス)

高野 歩:ayumi-takano.pn@tmd.ac.jp
松長 麻美: asamim.pn@tmd.ac.jp
栗林 一人:kazuto-kuribayashi.pn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

高野 歩:事前にメールでアポイントを取り、研究室を訪ねてきてください(3 号館 18 階精神保健看護学分野研究室 2)。
松長 麻美:事前にメールでアポイントを取り、研究室を訪ねてきてください(3 号館 15 階精神保健看護学研究室)
栗林 一人:事前にメールでアポイントを取り、研究室を訪ねてきてください(3 号館 15 階精神保健看護学研究室)

時間割番号	012039				
科目名	精神看護学実習			科目ID	MN-371000-E
担当教員	高野 歩, 松長 麻美[TAKANO Ayumi, MATSUNAGA Asami]				
開講時期	2022 年度後期	対象年次	3	単位数	2
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Practice of Psychiatric and Mental Health Nursing

【科目責任者】高野 歩

授業の目的、概要等

精神障害者に対する理解を深め、自己理解および対人関係を構築、発展させるプロセスを通して、精神看護実践の基本的能力を修得する。地域施設において、地域で生活する精神障害者の社会参加の実態にふれることを通じて、精神障害と生活状況との関連についての理解を深めながら、精神障害者の地域生活支援の方法について学ぶ。また、精神障害者の地域生活の質の向上と社会参加の支援に向けて看護師が担うべき役割について学修する。

授業の到達目標

1) 患者の発病までの経過や現在の状態について、生物学的・心理学的・社会学的側面から理解し、精神状態がセルフケア行動に及ぼす影響をアセスメントすることができる。

2) 患者のリカバリー(自己実現に向けた生き方)およびストレングスへの理解を深め、患者の地域における自立と社会参加についての視点を看護計画に反映することができる。

3) 患者ー看護師(学生)関係の構築を図り、看護計画を立案、必要な看護援助の実施・評価・修正を行うことができる。

4) 患者との間で体験した対人関係についてプロセスレコードで振り返りを行い、自己の対人関係の特徴を知り、自分自身の言動が患者に及ぼす影響について認識を深め、自己の持味を生かしながら援助的な対人関係の構築を図ることができる。

5) 患者への病棟での支援と地域での支援を関連させて考え、様々な社会資源や、支援者の役割について理解を深めることができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/11	08:30-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野 歩, 松長 麻美
2	10/13	08:30-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野 歩, 松長 麻美
3	10/14	08:30-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野 歩, 松長 麻美
4	10/17	08:30-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野 歩, 松長 麻美
5	10/18	08:30-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野 歩, 松長 麻美
6	10/20	08:30-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野 歩, 松長 麻美
7	10/21	08:30-16:00	保健衛生学科講義室2	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野 歩, 松長 麻美
8	10/24	08:30-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野 歩, 松長 麻美
9	10/25	08:30-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野 歩, 松長 麻美
10	10/27	08:30-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野 歩, 松長 麻美
11	10/28	08:30-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野 歩, 松長 麻美
12	10/31	08:30-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野 歩, 松長 麻美
13	11/1	08:30-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野 歩, 松長 麻美
14	11/2	08:30-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野 歩, 松長 麻美
15	11/4	08:30-16:00	保健衛生学科講義室2	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野 歩, 松長 麻美
16	11/21	08:30-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野 歩, 松長 麻美
17	11/22	08:30-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野 歩, 松長 麻美
18	11/24	08:30-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野 歩, 松長 麻美
19	11/25	08:30-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野 歩, 松長 麻美
20	11/30	08:30-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野 歩, 松長 麻美
21	12/1	08:30-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野 歩, 松長 麻美
22	12/2	08:30-16:00	保健衛生学科講義室2	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野 歩, 松長 麻美
23	1/23	08:30-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野 歩, 松長 麻美
24	1/24	08:30-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野 歩, 松長 麻美

25	1/26	08:30-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野 歩, 松長 麻美
26	1/27	08:30-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野 歩, 松長 麻美
27	1/30	08:30-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野 歩, 松長 麻美
28	1/31	08:30-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野 歩, 松長 麻美
29	2/2	08:30-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野 歩, 松長 麻美
30	2/3	08:30-16:00	保健衛生学科講義室 2	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野 歩, 松長 麻美

授業方法

実習は以下の方法で行う。

1. 精神科病棟において入院されている患者 1 名を受け持ち、関わりを発展させるとともに、患者の状態のアセスメント、看護計画の立案、実施、評価、修正を行う。

2. 患者との体験を振り返り、自己理解、患者理解を深めるため、「プロセスレコード」を用い、看護場面の再構成を行う。

3. 地域施設において、地域で生活する精神障害者やスタッフと関わり、地域生活や社会参加の実態にふれる。

4. 毎日、実習指導者、教員、学生が参加するカンファレンスを行い、実習で学んだこと、疑問などについて他者と討論、共有、検討し、理解を深める。

5. 各クールの実習最終日は、学内にて、実習全体の振り返り、学びの共有を行う。

実習中、カンファレンスにおいて、学びの共有、ディスカッションを行い、学生間の相互作用、実習指導者及び教員・学生間でのアクティブラーニングを実施する。

授業内容

(詳細については実習要項参照)

成績評価の方法

次の 3 つの方法により評価する。

1. 実習への出席状況・参加態度(20%):出席、日々の具体的な活動状況、カンファレンスへの参加状況等により評価する。精神看護学実習の成績の 20%を実習への出席状況・参加態度により評価する。

2. 実習への取り組み(60%):患者との関係性の構築、患者理解及び患者の状態のアセスメント、看護計画の立案・実施・評価、プロセスレコードを用いての自己理解、実習目標への到達度、学生の自己評価により評価する。精神看護学実習の成績の 60%を実習への取り組みにより評価する。

3. 記録物・レポート(20%):記録提出状況、記録の内容により評価する。精神看護学実習の成績の 20%を記録物・レポートにより評価する。

成績評価の基準

上記の成績評価の方法に示す各項目の成績の合計により評価を行い、100 点満点中 60 点以上を合格とする。なお、実習中、受け持ち患者の疾患等に関して事前課題(レポート)への追記などがあった場合には、最終評価において加点されることがある。

準備学習等についての具体的な指示

事前課題(レポート)を課す。課題の内容、提出方法は教員の指示に従うこと。

試験の受験資格

単位認定に必要な出席時間は、実習時間(祝日は含まない)の3/4以上とする。

教科書

精神看護の基礎／武井麻子著者代表,武井, 麻子,:医学書院, 2021

精神看護の展開／武井麻子著者代表,武井, 麻子,:医学書院, 2021

武井麻子他著「系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学[1][2]」医学書院、2021

参考書

自己理解・対象理解を深めるプロセスレコード : プロセスレコードが書ける、読める、評価できる本／長谷川雅美, 白波瀬裕美編著,長谷川, 雅美,白波瀬, 裕美,:日総研出版, 2001

リカバリー・退院支援・地域連携のためのストレングスモデル実践活用術／萱間真美著,萱間, 真美,:医学書院, 2016

長谷川雅美編集「自己理解・対象理解を深めるプロセスレコード プロセスレコードが書ける、読める、評価できる本」日総研出版、2001

萱間 真美著「リカバリー・退院支援・地域連携のための ストレングスモデル実践活用術」医学書院、2016

他科目との関連

精神看護学、地域精神看護学、精神看護学演習と関連する。

履修上の注意事項

1) 個人情報の管理に留意し、実習で知り得た患者の情報を無断で外部に持ち出したり、不用意に公の場で話したり、ソーシャルメディア

に発信してはならない。個人を特定されうる個人情報は、記録やメモ帳に記載しないこと。メモ帳は紛失しないように注意、工夫すること。
2) やむを得ず遅刻や欠席をしなくてはならないことが予めわかっている場合は、前日までに連絡すること。遅刻・欠席の連絡が当日の朝になる場合は、担当教員の携帯電話およびメールアドレスに連絡すること。

備考

1) 実習指導者と連携を取りつつ、学生の学習状況に応じてさらに効果的な実習が行えるよう実施していく。
2) 祝日や学内行事に伴い実習日程が変更になることがある。実習オリエンテーションで正式な日程を伝える。

連絡先(メールアドレス)

高野　歩:ayumi-takano.pn@tmd.ac.jp
松長　麻美: asamim.pn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

高野　歩:事前にメールでアポイントを取り、研究室を訪ねてきてください(3 号館 18 階精神保健看護学分野研究室 2)。
松長　麻美:事前にメールでアポイントを取り、研究室を訪ねてきてください(3 号館 15 階精神保健看護学研究室)

時間割番号	012040				
科目名	小児看護学Ⅱ			科目ID	MN-331100-L
担当教員	岡光 基子, 矢郷 哲志[OKAMITSU MOTOKO, YAGOU Satoshi]				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	3	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Pediatric Nursing Ⅱ

【科目責任者】 岡光 基子

主な講義場所

Zoom 又は保健衛生学講義室1（3号館18階）

授業の目的、概要等

小児看護学の実践に必要な基礎的知識, アセスメント技術, さらには, 小児を取り巻く保健・医療・福祉の最新の動向に触れながら, 様々な健康問題や障害をもつ小児と, きょうだい児を含めたその家族を理解し, 求められる看護支援について考察する。

なお, この授業は小児看護学演習Ⅱと組み合わせて行う。

授業の到達目標

第1回:小児及び家族のアセスメントの方法, ツール, 留意点について説明できる

第2回:アタッチメント、ボンディング、親子の発達課題について理解し、親子の関係性をアセスメントする方法を説明できる

第3回:小児の発達アセスメントの方法を理解し, シュミレートすることができる

第4回:障害をもつ小児と家族の生活と看護の要点について説明できる

第5回:疾患をもつ小児の家族およびきょうだい児への看護の要点について説明できる

第6回:退院支援、小児科外来における看護師の役割と看護の要点について説明できる

第7回:虐待の予防と発見における看護師の役割と看護の要点について説明できる

第8回:心疾患をもつ小児と家族への看護の要点について説明できる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/8	08:50-10:20	遠隔授業（同期型）	小児のアセスメント(1)	小児の観察技術, アセスメントツールの活用	岡光 基子	アクティブラーニング:討論、リアクションペーパー
2	4/21	08:50-10:20	遠隔授業（同期型）	小児のアセスメント(3)	親子の関係性のアセスメント:アタッチメント、ボンディング、親子の相互作用のスキル、親子の発達課題	矢郷 哲志	アクティブラーニング:討論、リアクションペーパー
3	4/21	10:30-12:00	遠隔授業（同期型）	小児のアセスメント(2)	子どもの発達のアセスメント	藤本 昌樹	アクティブラーニング:討論、リアクションペーパー
4	4/28	13:00-14:30	遠隔授業（同期型）	健康障害をもつ子ども・家族への看護(1)	障がいをもつ小児の在宅における看護	鈴木 征吾	アクティブラーニング:討論、リアクションペーパー
5	4/28	14:40-16:10	遠隔授業（同期型）	健康障害をもつ子ども・家族への看護(3)	健康障害をもつ子どもの家族およびきょうだい児への支援	熊谷 祐美	アクティブラーニング:討論、リアクションペーパー
6	4/28	16:20-17:50	遠隔授業（同期型）	健康障害をもつ子ども・家族への看護(4)	退院支援及び小児科外来における子どもと家族への看護	矢郷 哲志	アクティブラーニング:討論、リアクションペーパー
7	6/2	13:00-14:30	遠隔授業（同期型）	健康障害をもつ子ども・家族への看護(5)	子どもの虐待:虐待の予防と発見	岡光 基子	アクティブラーニング:討論、リアクションペーパー
8	6/2	14:40-16:10	遠隔授業（同期型）	健康障害をもつ子ども・家族への看護(2)	先天性心疾患をもつ小児と家族の看護	権守 礼美	アクティブラーニング:討論、リアクションペーパー

授業内容

「小児看護学Ⅰ」,「小児看護学演習Ⅰ」において学習した小児看護の実践に必要な基本的知識, 技術の上に積み重ねる構成で, 小児看護実践に必要な知識及び最新の小児看護学の動向を学習する事を目的としている。演習, グループ・ワークを中心とした小児看護学演習Ⅱと組み合わせて, 自ら学び, 実践に活用できる技能を習得する。講義の他, グループディスカッションや演習などアクティブラーニングを行う。講義毎に, 講義内容に関する質問や疑問, 学び, 感想などをリアクションペーパーに記載してもらい, 講義終了後に回収する。

成績評価の方法

定期試験(70%), 課題レポート(10%), リアクションペーパー(10%), 授業への参加状況(10%)により総合的に評価する。原則として, 2/3 以上出席した場合に成績評価の対象とする。指示に従わない場合は, 受験資格を失うので注意すること。尚, 試験の一部に英語の問題を出題する。

成績評価の基準

上記の成績評価に示す各項目の成績の合計により評価する。試験問題は, 授業の到達目標に達しているかを評価し, そのことが確認されたところで合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

教科書を読んで事前学習して臨み、事前課題がある場合にはそれに従うこと。

教科書

≪系統看護学講座 専門分野Ⅱ≫ 小児看護学[2] 小児臨床看護各論 (第 14 版)／奈良間 美保他:医学書院, 2020

ナーシング・グラフィカ 小児看護学(1):小児の発達と看護 第 6 版／中野 綾美他:メディカ出版, 2019

ナーシング・グラフィカ 小児看護学(2):小児看護技術 第 4 版／中野 綾美他:メディカ出版, 2019

2年時に購入済みのものを使用する。

参考書

廣瀬たい子 編著:看護のための乳幼児精神保健(金剛出版)

他科目との関連

「小児看護学Ⅱ」は,「小児間看護学Ⅰ」,「小児看護学演習Ⅰ」,「小児看護学演習Ⅱ」,「在宅看護学Ⅰ」などの他の専門科目と密接な関連がある。

備考

WebClass の該当コースに適宜資料をアップするので参照すること。

連絡先(メールアドレス)

岡光 基子:motoko.cfn@tmd.ac.jp 3 号館 19F

矢郷 哲志:sycfn@tmd.ac.jp 3 号館 18F

オフィスアワー

岡光 基子:随時(必ず事前に連絡を入れること)

時間割番号	012041				
科目名	小児看護学演習Ⅱ			科目ID	MN-351200-S
担当教員	岡光 基子, 矢郷 哲志[OKAMITSU MOTOKO, YAGOU Satoshi]				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	3	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Seminar of Pediatric Nursing Ⅱ

【科目責任者】 岡光 基子

主な講義場所

保健衛生学講義室1(3号館18階), 講義室2(3号館8階), 看護学実習室2・3(3号館17階)又は Zoom

授業の目的、概要等

基本的な小児看護学技術の習得を図る。また、小児の成長発達を踏まえて, 日常生活援助の要点や遊びの意義などについて理解を深める。さらに, グループワークを通して, 主な小児疾患の病態生理を理解し, 健康障害を持つ小児とその家族の身体的・精神的・社会的変化を多用な視点から捉えながら, 求められる看護を考察することで, 小児看護学領域における看護の思考過程を学習する。

なお, この授業は小児看護学Ⅱと組み合わせて行う。

授業の到達目標

第 1 回:子どもの生活と医療の環境を考え, 、子どもの安全と療養環境について説明できる。

第 2-4 回:日常生活における子どもと家族への支援(抱っこ, 食事, 更衣, 排泄, 清潔等)に関する知識を理解し, 基本的手技を正しく行うことができる。

第 5-7 回:検査や処置に関する看護技術とケア(身体計測, バイタルサイン測定など)に関する知識を理解し, 基本的手技を正しく行うことができる。

第 8-11 回:事例に基づいて, 疾患の病態生理, 治療, 検査, 処置, 成長発達, 看護技術及び留意点を理解し, 看護過程を展開することができる。

第 12 回:事例について、グループワークを通して学習した内容を適切な方法で発表し, 質疑応答・ディスカッションを通して理解を深めることができる。

第 13-14 回:検査や処置に関する看護技術とケア(一次救命処置など)に関する知識を理解し, 基本的手技を正しく行うことができる。

第 15 回:保育園実習の目的, 目標, スケジュール, 注意事項について説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/8	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	子どもの安全と療養環境	子どもの生活と医療の環境を考える	矢郷 哲志	アクティブラーニング:討論、グループワーク、リアクションペーパー
2-4	4/14	13:00-17:50	保健衛生学科講義室 2, 看護学実習室 2, 看護学実習室 3	日常生活における子どもと家族への支援	抱っこ, 食事, 更衣, 排泄, 清潔など	岡光 基子, 矢郷 哲志	事前・事後課題、アクティブラーニング:演習
5-7	5/19	13:00-17:50	保健衛生学科講義室 2, 看護学実習室 2, 看護学実習室 3	検査や処置に関する看護技術とケア(1)	身体計測, バイタルサイン測定, 輸液管理など	岡光 基子, 矢郷 哲志	事前・事後課題 アクティブラーニング:演習
8	6/2	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	ペーパーペーシェント	オリエンテーション	岡光 基子, 矢郷 哲志	アクティブラーニング:TBL
9-11	6/16	13:00-17:50	遠隔授業(同期型)	ペーパーペーシェント	グループワーク(関連図, 看護計画の立案)	岡光 基子, 矢郷 哲志	アクティブラーニング:TBL
12	6/22	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	ペーパーペーシェント	グループワーク(発表)	岡光 基子, 矢郷 哲志	アクティブラーニング:TBL
13-14	6/23	08:50-12:00	保健衛生学科講義室 2, 看護学実習室 2, 看護学実習室 3	検査や処置に関する看護技術とケア(1)	一次救命処置など	岡光 基子, 矢郷 哲志	事前・事後課題、アクティブラーニング:演習
15	6/28	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 1	保育園実習オリエンテーション	保育園実習に関するオリエンテーション	岡光 基子, 矢郷 哲志	

授業内容

チーム基盤型学習（TBL）を用いて子どもの生活と看護について考え、学習する。技術演習は、小児の特性や看護技術に関する事前課題の内容を踏まえて実施するため、事前学習と事前課題の提出が必須である。小児特有の疾患を持つ事例を用いたグループワークを通して，成長発達，疾患の病態生理，家族背景などを学習，アセスメントし，看護過程を展開しながら，看護計画を立案する。各グループの学習成果を発表し，ディスカッションする。

成績評価の方法

定期試験（50%），事前課題・発表資料・発表内容（10%），出席・演習への参加態度（40%）により総合的に評価する。原則として，2/3 以上出席した場合に成績評価の対象とする。指示に従わない場合は，受験資格を失うので注意すること。尚，試験の一部に英語の問題を出題する。

成績評価の基準

上記の成績評価に示す各項目の成績の合計により評価する。試験問題は、授業の到達目標に達しているかを評価し、そのことが確認されたところで合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

教科書を読んで事前学習をして課題に臨みこと。事前事後課題が提示された場合には、それに従うこと。

教科書

≪系統看護学講座 専門分野Ⅱ≫ 小児看護学[2] 小児臨床看護各論（第 14 版）／奈良間 美保他：医学書院，2020

ナーシング・グラフィカ 小児看護学⑴：小児の発達と看護 第 6 版／中野 綾美他：メディカ出版，2019

ナーシング・グラフィカ 小児看護学⑵：小児看護技術 第 4 版／中野 綾美他：メディカ出版，2019

演習に必要な資料は開講時に配布する。

教科書は，２年時に購入済みのものを使用する。

参考書

開講時に参考文献リストを配布する。

他科目との関連

「小児看護学演習Ⅱ」は，これまでの小児看護学の学習を統合して，実技および看護過程を展開して小児看護学実習で活用できる知識と技術を整理する科目であるため，「小児看護学Ⅰ」，「小児看護学演習Ⅰ」，「小児看護学Ⅱ」で学んだ知識の応用と実践が必要となる。

履修上の注意事項

技術演習に関しては，臨地実習と同じ心構えで臨み，服装，態度には充分留意すること。演習、グループワークを基本とした授業なので，自己学習・出席・演習に臨む態度を重視する。WebClass の該当コースに適宜資料をアップするので参照すること。

連絡先（メールアドレス）

岡光 基子:motoko.cfn@tmd.ac.jp 3 号館 19F

矢郷 哲志:sycfn@tmd.ac.jp 3 号館 18F

オフィスアワー

岡光 基子:随時（必ず事前に連絡を入れること）

時間割番号	012042				
科目名	小児看護学実習			科目ID	MN-371300-E
担当教員	岡光 基子, 矢郷 哲志[OKAMITSU MOTOKO, YAGOU Satoshi]				
開講時期	2022 年度後期	対象年次	3	単位数	2
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Practice of Pediatric Nursing

【科目責任者】 岡光 基子

授業の目的、概要等

小児と家族に対する実際のケアを通して，発達する小児の特徴を理解する。また，健康障害をもつ小児を全人的に理解する。さらに，対象とその家族の必要としている援助は何かを理解し，小児看護を実践するための基礎的能力と技術・態度を養う。

授業の到達目標

本実習は，小児看護学学内実習と保育園実習，および病棟での臨床実習から構成される。

（1） 小児看護学学内実習

目的:小児看護に必要なスキルを習得する。

目標:

1）小児看護に必要な技術を習得する。

2）小児，特に言葉を持たない発達段階における子どもとのコミュニケーション方法を理解し，習得する。

（2）臨地実習（保育園実習）

目的:健康な小児の日常生活行動を実際の保育活動を通して学び，成長・発達の特徴を把握する。

目標:

1）子どもの成長・発達，および生活を理解する。

2）子どもと家族の支援に必要な基本的な観察技術を習得する。

3）小児の生活における保健行動，健康管理の概要を知る。

（3）臨床実習（病棟実習）

目的:疾病あるいは障害を持つ小児に接する体験を通して，小児の特徴を理解し，小児とその家族の必要としている援助を考え，実施する。

目標:

1）疾病、あるいは健康障害をもつ小児およびその家族との治療的関係のあり方を学ぶ。

2）健康障害が，小児およびその家族に及ぼす影響を理解する。

3）健康障害をもつ小児と家族への看護のために，対象を理解し，必要な援助を行う能力を養う。

4）小児をとりまく医療，保健，福祉の連携の中で小児看護の役割を理解する。

（4）学生に期待するもの

1）既習の学習を統合して，実際の場面で遭遇する問題・課題に積極的に取り組む。

2）実習期間中，各自の学習目標を明確にし，それに向かって意欲的に取り組む。

3）小児のケアに際しては特に安全に対する配慮を行う。

4）実習期間中は自己の健康管理に注意する。

5）感染源とならないために，抗体価検査を必ず受けること。また必要に応じて予防接種
を受ける等の対策が推奨される。

6）スタッフの一員であり，かつ学習する者としての自覚と責任をもって行動する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	7/19	08:30-17:00	その他（保・小児・家族発達看護学分野）	小児看護学実習	保育園実習 詳細については実習要項参照	岡光 基子, 矢郷 哲志
2	7/20	08:30-17:00	その他（保・小児・家族発達看護学分野）	小児看護学実習	保育園実習 詳細については実習要項参照	岡光 基子, 矢郷 哲志
3	7/21	08:30-17:00	その他（保・小児・家族発達看護学分野）	小児看護学実習	保育園実習 詳細については実習要項参照	岡光 基子, 矢郷 哲志
4	7/22	08:30-17:00	その他（保・小児・家族発達看護学分野）	小児看護学実習	保育園実習 詳細につ	岡光 基子, 矢郷 哲志

					いては実習要項参照	
5	9/12	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	岡光 基子, 矢郷 哲志
6	9/13	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	岡光 基子, 矢郷 哲志
7	9/14	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	岡光 基子, 矢郷 哲志
8	9/15	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	岡光 基子, 矢郷 哲志
9	9/16	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	岡光 基子, 矢郷 哲志
10	9/26	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	岡光 基子, 矢郷 哲志
11	9/27	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	岡光 基子, 矢郷 哲志
12	9/28	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	岡光 基子, 矢郷 哲志
13	9/29	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	岡光 基子, 矢郷 哲志
14	9/30	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	岡光 基子, 矢郷 哲志
15	10/3	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	岡光 基子, 矢郷 哲志
16	10/4	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	岡光 基子, 矢郷 哲志
17	10/5	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	岡光 基子, 矢郷 哲志
18	10/6	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	岡光 基子, 矢郷 哲志
19	10/7	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	岡光 基子, 矢郷 哲志
20	11/7	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	岡光 基子, 矢郷 哲志
21	11/8	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	岡光 基子, 矢郷 哲志
22	11/9	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	岡光 基子, 矢郷 哲志
23	11/10	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	岡光 基子, 矢郷 哲志
24	11/11	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	岡光 基子, 矢郷 哲志
25	11/14	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	岡光 基子, 矢郷 哲志
26	11/15	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	岡光 基子, 矢郷 哲志
27	11/17	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	岡光 基子, 矢郷 哲志
28	11/18	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	岡光 基子, 矢郷 哲志

29	12/5	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	岡光 基子, 矢郷 哲志
30	12/6	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	岡光 基子, 矢郷 哲志
31	12/8	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	岡光 基子, 矢郷 哲志
32	12/9	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	岡光 基子, 矢郷 哲志
33	12/12	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	岡光 基子, 矢郷 哲志
34	12/13	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	岡光 基子, 矢郷 哲志
35	12/14	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	岡光 基子, 矢郷 哲志
36	12/15	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	岡光 基子, 矢郷 哲志
37	12/16	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	岡光 基子, 矢郷 哲志
38	1/10	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	岡光 基子, 矢郷 哲志
39	1/11	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	岡光 基子, 矢郷 哲志
40	1/12	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	岡光 基子, 矢郷 哲志
41	1/13	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	岡光 基子, 矢郷 哲志
42	1/16	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	岡光 基子, 矢郷 哲志
43	1/17	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	岡光 基子, 矢郷 哲志
44	1/18	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	岡光 基子, 矢郷 哲志
45	1/19	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	岡光 基子, 矢郷 哲志
46	1/20	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	岡光 基子, 矢郷 哲志

授業内容

(詳細については実習要項参照)

成績評価の方法

病棟実習及び保育園実習において、以下の項目について総合的に評価する。

1)出席状況・実習に臨む態度(20%):出席、日々の取り組み・態度・積極性、カンファレンスへの参加状況等により評価する。

2)実習の内容(60%):患児・家族の理解、関係性の構築、状態のアセスメント、看護過程の展開、看護実践等により評価する。

3)記録物・課題レポート(20%):記録の提出状況、記録・レポートの内容により評価する。

成績評価の基準

成績評価の方法に示す各項目について総合的に評価する(60 点未満:不合格、60-69 点:C、70-79 点:B、80-89 点:A、90 点以上:A+)。実習の達成目標に達しているかを評価し、そのことが確認された場合に合格とする。なお、4 分の 3 以上の出席がない場合には、単位認定ができない。遅刻・欠席は減点の対象になることがある。

準備学習等についての具体的な指示

実習オリエンテーション時に課題を提示する。

備考

ツイッター等への投稿に対する注意事項について

実習で知り得た患者や住民の情報を、無断で外部に持ち出したり、不用意に公の場で話したり、ソーシャルメディア（ツイッター、ブログ、ソーシャルネットワーキングサービス、動画共有サイトなど）に発信してはならない。諸君の軽率な行動が、個人情報の漏洩や、個人の尊厳・感情を傷つけることにつながり、受け入れ先をはじめ多くの人に迷惑をかけることになる。いったん拡散した情報は取り消すことができないので、情報の取り扱いに注意すること。

連絡先（メールアドレス）

岡光　基子:motoko.cfn@tmd.ac.jp　3 号館 19F

矢郷　哲志:sycfn@tmd.ac.jp　3 号館 18F

オフィスアワー

岡光　基子:随時（必ず事前に連絡を入れること）

時間割番号	012043				
科目名	母性看護学Ⅰ			科目ID	MN-331400-L
担当教員	大久保　功子，三隅　順子[OKUBO NORIKO, MISUMI JUNKO]				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	3	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Maternal and Infant Nursing Ⅰ

【科目責任者】大久保功子

主な講義場所

保健衛生学講義室1（3号館18階）

ZOOM の場合はこの限りではない。

授業の目的、概要等

この科目では，母性看護学の概論を学習する。母性看護学は，人間の健康を性と生殖の側面から考え，看護が必要な状況や支援方法を理解する科目である。ここでは性と生殖に関わる健康課題について，個人，家族，集団，地域社会に対する看護展開，多様な文化背景や価値観に考慮した看護展開を考える視点を養う。

授業の到達目標

母性看護学の中心的な概念であるリプロダクティブヘルス／ライツの考え方を理解する。それをもとに、母性看護学のケア対象を、様々な側面から捉え、身体的・心理的・社会的特徴を理解し，健康の保持増進に向けた看護の基本的な考え方や理論を理解する。

リプロダクティブヘルス／ライツの概念の発祥と日本の女性の状況について説明できる(①)。

DV や性暴力などによって起こりうる健康問題と急性期対応について理解できる(③⑧)。

女性の生殖に関わる身体の機能と周産期の変化について説明できる(②)。

現在の生殖補助医療に関わる医療の基礎について説明できる(④)。

LGBTI の基礎知識について説明できる。また医療の課題について考えることができる(⑥⑦)。

異常のある児の家族に対する看護ケアの根拠について説明できる(⑤)。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/5	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	母性看護学Ⅰ	解剖学テストの日程案内　母性看護学オリエンテーション　リプロダクティブヘルスに関するディスカッション	大久保　功子，三隅　順子
2	4/7	16:20-17:50	保健衛生学科講義室1	母性看護学Ⅰ	女性生殖機能	石川　智則
3	4/19	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	母性看護学Ⅰ	不妊・出生前診断	辰巳　嵩征
4	4/21	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	母性看護学Ⅰ	性感染症・性暴力被害者の看護	三隅　順子
5	5/24	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	母性看護学Ⅰ	異常のある児と家族の看護	大久保　功子
6	5/31	08:50-10:20	保健衛生学科講義室1	母性看護学Ⅰ	セクシュアル・マイノリティーと医療	笠原　士織，三隅　順子
7	5/31	10:30-12:00	保健衛生学科講義室1	母性看護学Ⅰ	セクシュアル・マイノリティーと医療	三隅　順子，笠原　士織
8	6/14	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	母性看護学Ⅰ	DV 被害者の急性期看護	三隅　順子

授業方法

講義、反転授業

授業内容

周産期女性の身体のみならず社会的な背景などについて広く課題を考えられるようなテーマで講義を行う。

成績評価の方法

学期末テストの成績を9割，その他レスポンスペーパーの提出及び講義への出席率を1割とし，総合的に評価する。全提出物が期限内に提出され内容も関連したことが書かれていればテストの点に 10 点加算される．欠席 1 回につき-5 点減点，遅刻早退は交通機関の遅延などがない限り 1 回につき-3 点減点。90 点以上で A＋，80 点以上 A，70 点以上 B，60 点以上 C とする。

試験内容は，講義で話した内容および，該当する教科書の範囲から学期末テストでは，母性看護の領域でよく用いられる専門用語に関しては，英語での出題もあるので学習しておくこと。

成績評価の基準

60 点以上で合格とする。

90 点以上で A＋，80 点以上 A，70 点以上 B，60 点以上 C とする。

準備学習等についての具体的な指示

リプロダクティブヘルスにかかわる社会的な時事等をとらえておくこと。また、各講義の基礎的な内容についてはテキストで予習をしておくこと。

またレポート課題などは事前に提示するので、各自関連する文献等の収集をすること。文献検索方法については、1 年次の看護の統合と実践Ⅰで学ぶ機会が準備されているので、利用できる知識にしておくことが望まれる。その他、図書館オリエンテーションなども利用し、検索の経験を積んでおくこと。

試験の受験資格

2/3 の出席をしていること。ZOOM においては指定された時間のアクセスの記録および画面で顔が写っていることを条件とする。

教科書

母性看護実践の基本／横尾京子, 中込さと子 編,:メディカ出版, 2019

母性看護学Ⅰ:ライフサイクル／齋藤いずみ, 長谷川ともみ, 三隅順子 編集,:南江堂, 2022

母性看護学Ⅱ:マタニティサイクル : 母と子そして家族へのよりよい看護実践／大平光子, 井上尚美, 大月恵理子, 佐々木くみ子, 林ひろみ 編集,:南江堂, 2022

フォレンジック看護 性暴力被害者支援の基本から実践まで／加納尚美,李節子,家吉望み:医歯薬出版, 2016

包括的性教育 : 人権、性の多様性、ジェンダー平等を柱に／浅井春夫著,浅井, 春夫,:大月書店, 2020

・ナーシンググラフィカ 母性看護実践の基本 母性看護学①, メディカ出版, 2019.

・前原澄子:新看護観察のキーポイントシリーズ 母性Ⅰ, 中央法規, 2011.

・前原澄子:新看護観察のキーポイントシリーズ 母性Ⅱ, 中央法規, 2011.

・我妻堯:リプロダクティブヘルス, 南江堂, 2002.

・砂川秀樹、RYOJI:カミングアウト・レターズ, 太郎次郎社エディタス, 2007.

・長沖暁子:AID で生まれるということ, 萬書房, 2014.

参考書

うそをつく子 : 助けを求められなかった少女の物語／トリイ・ヘイデン 著,入江真佐子 訳,Hayden, Torey L. ,いりえ／まさこ,:早川書房

シーラという子 : 虐待されたある少女の物語／トリイ・ヘイデン著 ; 入江真佐子訳,Hayden, Torey L.,入江, 真佐子,:早川書房, 2021

カミングアウト・レターズ : 子どもと親、生徒と教師の往復書簡／Ryoji, 砂川秀樹 編,:太郎次郎社エディタス, 2007

AID で生まれるということ : 精子提供で生まれた子どもたちの声／非配偶者間人工授精で生まれた人の自助グループ, 長沖暁子 編著,:萬書房, 2014

母と子のアタッチメント : 心の安全基地／ボウルビィ 著,二木武 監訳,:医歯薬出版, 1993

ウェルネスからみた母性看護学過程＋病態関連図／佐世正勝:医学書院, 2012

からだのためのポリヴェーガル理論 : 迷走神経から不安・うつ・トラウマ・自閉症を癒すセルフ・エクササイズ／スタンレー・ローゼンバーグ著 ; 花丘ちぐさ訳,Rosenberg, Stanley,花丘, ちぐさ,:春秋社, 2021

なぜ私は凍りついたのか : ポリヴェーガル理論で読み解く性暴力と癒し／花丘 ちぐさ 著・文・その他,花丘 ちぐさ 編集,椹木 京子 著・文・その他,宮地 尚子 著・文・その他,周藤 由美子 著・文・その他,田中 嘉寿子 著・文・その他,山本 潤 著・文・その他,中島 幸子 著・文・その他,松本 功 著・文・その他,長江 美代子 著・文・その他,糸井 岳史 著・文・その他,中村 修 著・文・その他,ステファン・W・ポージェス 著・文・その他,C・スー・カーター 著・文・その他,レベッカ・ベイリー 著・文・その他,花丘 ちぐさ,椹木 京子,宮地 尚子,周藤 由美子,田:春秋社, 2021-12-02

他科目との関連 この授業は, 母性看護学Ⅱ, Ⅲ, 母性看護学演習の基礎となる内容である。

履修上の注意事項

専門的な知識, 対応経験のある講師が講義に来る。欠席すると再度聴講することは難しい。授業のテーマに対して積極的に質問をし、自分の看護に対する考え方の基盤作りに努めるとともに、対象理解に必要な材料を批判的に見る習慣をつけてほしい。

備考 個人情報の保護については、自分自身のみならず、患者情報、講義で利用した写真等も含め十分に配慮すること。

参照ホームページ WebClass の母性看護学コースで適宜 up する。

連絡先(メールアドレス)

大久保 功子:kouko.rhn@tmd.ac.jp 3号館 19F

三隅 順子:j.misumi.rhn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

三隅 順子:前期:毎週火曜日午後 後期(臨地実習期間):毎週水曜日午後(会議時除く)

アポイントを取っていただければ、前期に関してはこの限りではありません。

場所／3 号館 17 階リプロ 3 研

時間割番号	012044				
科目名	母性看護学Ⅱ			科目ID	MN-331500-L
担当教員	大久保　功子，三隅　順子[OKUBO NORIKO, MISUMI JUNKO]				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	3	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Maternal and Infant Nursing Ⅱ

【科目責任者】大久保功子

主な講義場所

保健衛生学講義室1（3号館18階）

ZOOM ではこの限りではない。

授業の目的、概要等

母性看護学は，人間の健康を性と生殖の側面から考え，看護が必要な状況や支援方法を理解する科目である。ここでは主に，妊娠・分娩・産褥期の生理的な変化の過程とそこから逸脱した状況に関する病態生理、診断、治療、そして新生児の胎外生活への適応過程とその時期に生じやすい異常の早期発見と予防、ならびに診療の補助に関する基本的な知識を習得する。

授業の到達目標

母性看護学の対象，特に妊産褥婦と新生児の身体的特徴を理解し，健康の保持増進，正常からの逸脱の予防と早期発見、適切な看護を提供するために必要な医学的知識を習得する。

妊娠期、分娩時の異常とアセスメント項目を説明できる(②④)。

胎児・胎盤の異常とアセスメント項目を説明できる(①)。

母乳栄養(褥婦の進行性変化)のメカニズムについて説明できる(③)。

新生児の適応、異常とアセスメント項目について説明できる(⑤⑦⑧)。

褥婦の異常とアセスメント項目を説明できる（⑥）。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/12	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 1	母性看護学Ⅱ	異常妊娠	齊藤　和毅
2	4/12	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 1	母性看護学Ⅱ	胎児・胎盤系の生理・機能	大久保　功子
3	4/22	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	母性看護学Ⅱ	母乳栄養	井村　真澄
4	4/27	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	母性看護学Ⅱ	異常分娩	宮坂　尚幸
5	5/10	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 1	母性看護学Ⅱ	新生児の生理・適応	大久保　功子
6	5/10	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 1	母性看護学Ⅱ	産褥期の観察とアセスメント	三隅　順子
7	5/12	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	母性看護学Ⅱ	新生児の異常	大久保　功子
8	5/17	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 1	母性看護学Ⅱ	新生児の観察とアセスメント	大久保　功子

授業方法

講義、反転授業

成績評価の方法

解剖テスト 3 割，学期末試験 7 割，出席率（遅刻欠席減点方式）から総合的に評価する。母性看護学の領域でよく用いられる専門用語に関しては，テストに出題されるので学習しておくこと。解剖テストに関しては，2 年修了後の春休みに課題が出されるのでその範囲の自習を怠らないこと。

欠席 1 回につき-5 点減点，遅刻早退は交通機関の遅延などがない限り 1 回につき-3 点減点。90 点以上で A＋，80 点以上 A，70 点以上 B，60 点以上 C とする。

成績評価の基準

60 点以上を合格とする。

90 点以上で A＋，80 点以上 A，70 点以上 B，60 点以上 C とする。

準備学習等についての具体的な指示

周産期ににかかわる医学的な基礎知識を習得するために、各講義に関連した解剖学、生理学などの基礎医学のテキストを用い予習をしておくこと。

その上で、周産期特有の生理・異常を学ぶことができれば理解は深まる。また医学に関しては、常に新しい情報を得ておかなければ、その看護を考える上でも支障がでるので、各自関連する文献等の収集を継続すること。文献検索方法については、1 年次の看護の統合と実

践Ⅰで学ぶ機会が準備されているので、利用できる知識にしておくことが望まれる。その他、図書館オリエンテーションなども利用し、検索の経験を積んでおくこと。

試験の受験資格

2／3 の出席をしていること。

ZOOM 講義でも同様であるが、ネットにアクセスし、画面に顔を出していることが条件となる。

教科書

母性看護実践の基本／横尾京子, 中込さと子 編,:メディカ出版, 2019

母性看護学Ⅰ:ライフサイクル／齋藤いずみ, 長谷川ともみ, 三隅順子 編集,:南江堂, 2022

母性看護学Ⅱ:マタニティサイクル : 母と子そして家族へのよりよい看護実践／大平光子, 井上尚美, 大月恵理子, 佐々木くみ子, 林ひろみ 編集,:南江堂, 2022

:社

・ナーシンググラフィカ 母性看護実践の基本 母性看護学①, メディカ出版, 2019.

・前原澄子:新看護観察のキーポイントシリーズ 母性Ⅰ, 中央法規, 2011.

・前原澄子:新看護観察のキーポイントシリーズ 母性Ⅱ, 中央法規, 2011.

・大鷹美子監訳:ウィリアムス臨床産科マニュアル, 株式会社メジカルビュー社, 2009

参考書

ウィリアムス臨床産科マニュアル／大鷹美子 監訳,:メジカルビュー社, 2019

母と子のアタッチメント : 心の安全基地／ボウルビィ 著,二木武 監訳,:医歯薬出版, 1993

みえる生命誕生 : 受胎・妊娠・出産／池ノ上克, 前原澄子 監訳,SARAH BREWER, SHAONI BHATTACHARYA, JUSTINE DAVIES, SHEENA MEREDITH, PENNY PRESTON 著,:南江堂, 2013

ウェルネスからみた母性看護学過程＋病態関連図／佐世正勝:医学書院, 2016

マタニティアセスメントガイド／吉沢豊予子, 鈴木幸子編著,吉沢, 豊予子,鈴木, 幸子,:真興交易医書出版部, 2019

その他, 講義の進行の伴い, 参考文献を提示する。

他科目との関連

この科目は, 母性看護学演習と同時に受講することを前提として計画され, 後期の母性看護学実習を行う上で必須の基礎知識を学ぶ科目である。この科目及び母性看護学演習の単位を取得していない場合, 母性看護学実習には参加できない。

履修上の注意事項

二年次に学習した専門基礎科目の内容の復習をしてから受講して欲しい。 3 年になって 2 回目の講義で解剖学テストを行う。

備考

個人情報の保護については、自分自身のことのみならず、患者情報、講義で使用した写真などについても十分配慮すること。

参照ホームページ

WebClass の母性看護学のコースに適宜資料をアップする。

連絡先(メールアドレス)

大久保 功子:kouko.rhn@tmd.ac.jp 3号館 19F

三隅 順子:j.misumi.rhn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

三隅 順子:前期:毎週火曜日午後

後期(臨地実習期間):毎週水曜日午後(会議時除く)

アポイントを取っていただければ、前期に関してはこの限りではありません。

場所／3 号館 17 階リプロ 3 研

時間割番号	012045				
科目名	母性看護学Ⅲ			科目ID	MN-331600-L
担当教員	大久保　功子，三隅　順子[OKUBO NORIKO, MISUMI JUNKO]				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	3	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Maternal and Infant Nursing Ⅲ

【科目責任者】大久保功子

主な講義場所

保健衛生学講義室1（3号館18階）

授業の目的、概要等

母性看護学は，人間の健康を性と生殖の側面から考え，看護的な援助が必要な状況や援助方法を理解する科目である。ここでは主に，妊娠・分娩・育児期の女性と新生児期のこども，および家族の看護課題と看護援助に関する基本的な知識を習得する。

授業の到達目標

妊娠、分娩、産褥期の女性と新生児に対する看護の基本的な考え方を理解する。さらに，看護計画の立案，実施・評価を行うための基本的な知識を習得し，健康状態のアセスメントが行えることを目標とする。

妊娠期の予防的な看護ケアについて根拠とともに説明できる(①②③)。

分娩期の予防的な看護ケアについて根拠とともに説明できる(④)。

新生児の予防的な看護ケアについて根拠とともに説明できる(⑤⑦)。

産褥期の予防的な看護ケアについて根拠とともに説明できる(⑥⑧)。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/19	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	母性看護学Ⅲ	妊娠期の看護①	大久保　功子
2	4/21	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	母性看護学Ⅲ	妊娠期の看護②	大久保　功子
3	4/21	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	母性看護学Ⅲ	妊娠期の看護③	大久保　功子
4	5/9	14:40-16:10	保健衛生学科講義室1	母性看護学Ⅲ	産婦の看護ケア	三隅　順子
5	5/12	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	母性看護学Ⅲ	NICU の看護	大久保　功子
6	5/12	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	母性看護学Ⅲ	褥婦の看護ケア	三隅　順子
7	5/24	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	母性看護学Ⅲ	新生児の看護ケア	大久保　功子
8	6/14	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	母性看護学Ⅲ	産後の女性への退院支援	三隅　順子

授業方法

講義、反転授業

成績評価の方法

学期末試験で9割，グループディスカッションへの参加の程度および退院支援案の内容で1割、他出席率（減点方式）から総合的に評価する。また、母性看護の領域でよく用いられる専門用語に関しては，英語での出題もあるので学習しておくこと。

全提出物が期限内に提出され内容も関連したことが書かれていればテストの点に 10 点加算される．欠席 1 回につき-5 点減点，遅刻早退は交通機関の遅延などがない限り 1 回につき-3 点減点。

成績評価の基準

60 点以上を合格とする。

90 点以上で A＋，80 点以上 A，70 点以上 B，60 点以上 C とする。

準備学習等についての具体的な指示

周産期の看護に関する各講義の基礎的な内容についてはをテキストで予習をしておくこと。また、この科目の基盤として、基礎看護学や成人看護学で学んだ看護過程の展開や関連図についての知識が必要である。再度、その点について復習をしておくこと。また、関連する臨床のガイドラインなどにも目を通しておくことが望ましい。

試験の受験資格

2／3 の出席をしていること。

教科書

母性看護実践の基本／横尾京子，中込さと子 編：メディカ出版，2019

母性看護学Ⅱ：マタニティサイクル ： 母と子そして家族へのよりよい看護実践／大平光子，井上尚美，大月恵理子，佐々木くみ子，林ひろ

み 編集,:南江堂, 2022
エビデンスをもとに答える妊産婦・授乳婦の疑問 92／堀内成子総編集 ; 飯田真理子 [ほか] 分担編集,堀内, 成子,飯田, 真理子,中村, 幸代,永森, 久美子,八重, ゆかり,:南江堂, 2015
マタニティアセスメントガイド／吉沢豊予子, 鈴木幸子編著,吉沢, 豊予子,鈴木, 幸子,:真興交易医書出版部, 2019
・ナーシンググラフィカ 母性看護実践の基本 母性看護学①, メディカ出版, 2012.
・前原澄子:新看護観察のキーポイントシリーズ 母性Ⅰ, 中央法規, 2011.
・前原澄子:新看護観察のキーポイントシリーズ 母性Ⅱ, 中央法規, 2011.
・Karen M Stolte,(小西恵美子・太田勝正訳):健康増進のためのウェルネス看護診断, 南江堂
・ 本庄英雄, 宮中史子:周産期エキスパートナーシング 改訂第2版, 南江堂, 2003.
・ マレー・エンキン, 他:妊娠・出産ケアガイド, 医学書院, 1999.
・ 平山宗宏:母子健康・栄養ハンドブック, 医師薬出版, 2000.
・ 堀内成子:産褥・退院支援ガイドブック, ペリネイタルケア 2003 年夏季増刊, メディカ出版, 2003.
・ 北川真理子, 内山和美:今日の助産 改訂第2版, 南江堂, 2009.

参考書

今日の助産 : マタニティサイクルの助産診断・実践過程／北川眞理子, 内山和美編集,北川, 真理子,内山, 和美,生田, 克夫,:南江堂, 2019
周産期エキスパートナーシング／本庄英雄, 宮中文子 編,:南江堂, 2003
妊娠・出産ケアガイド : 安全で有効な産科管理／マレー・エンキン [ほか]著,北井啓勝 監訳,:医学書院エムワイダブリュー, 1997
ウエルネスからみた母性看護過程+病態関連図 第 3 版／佐世正勝, 石村由利子編,佐世, 正勝,石村, 由利子,:医学書院, 2016
その他, 講義の進行の伴い, 参考文献を提示する。

他科目との関連

この科目は, 母性看護学演習と同時に受講することを前提として計画され, 後期の母性看護学実習を行う上で必須の基礎知識を学ぶ科目である。他の看護専門科目で学習した看護理論, 看護過程の考え方などを十分理解した上で参加していただきたい。

履修上の注意事項

講義では, 学生に問題を投げかけ, 学生がそれについて意見を出し合う時間を多く持つ予定である。自分の意見を積極的に述べ, 他者に論理的に説明する能力を高める努力をしてほしい。

備考

個人情報の保護については、自分自身のみならず、患者情報、講義で用いた写真などに関して十分配慮すること。

参照ホームページ

WebClass の母性看護学のコースに適宜資料をアップする。

連絡先(メールアドレス)

大久保 功子:kouko.rhn@tmd.ac.jp 3号館 19F
三隅 順子:j.misumi.rhn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

三隅 順子:前期:毎週火曜日午後
後期(臨地実習期間):毎週水曜日午後(会議時除く)
アポイントを取っていただければ、前期に関してはこの限りではありません。
場所／3 号館 17 階リプロ 3 研

時間割番号	012046				
科目名	母性看護学演習			科目ID	MN-351700-S
担当教員	大久保 功子, 三隅 順子, 廣山 奈津子[OKUBO NORIKO, MISUMI JUNKO, HIROYAMA NATSUKO]				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	3	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Seminar of Maternal and Infant Nursing

【科目責任者】大久保功子

主な講義場所

保健衛生学講義室1（3号館18階）、看護学実習室2（3号館17階）ほか

対面不可の状況の場合は ZOOM で同期とする。

ただし、対面でないと出来ない演習も含まれているため，その場合は延期となる可能性もある。

授業の目的、概要等

この科目では，母性看護学で学んだ基礎知識を，実際の看護展開に活用できるよう，複数の周産期の女性事例に関する看護計画立案を通して母性看護学領域に特有の看護の思考過程を習得する。また、母性看護学領域に特有の援助技術を実習室における技術演習、ロールプレイを通して習得する。

授業の到達目標

母性看護学で学習した知識を基礎として，母子の健康をアセスメントし看護援助の計画・立案が行え，母性看護学の対象と看護援助の特徴をふまえた看護技術を習得し，母性看護学実習を行う上で必要な看護実践能力を養うことを目標とする。

母性看護学ⅠⅡⅢで学んだことを活かし、ペーパークライエントのアセスメントができる。

母性看護学ⅠⅡⅢで学んだことを活かし、ペーパークライエントに対する看護計画ができる。

アセスメント手技の実演ができる。

ケアの手技の実演ができる。

模擬クライエントに対する退院支援（保健指導）の実演ができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/7	13:00-14:30	保健衛生学科講義室2, 看護学実習室2	母性看護学演習	妊産褥婦ケア：食事アセスメント/妊産婦へのフットケア	大久保 功子, 三隅 順子
2	4/7	14:40-16:10	保健衛生学科講義室2, 看護学実習室2	母性看護学演習	妊産褥婦ケア：食事アセスメント/妊産婦へのフットケア	大久保 功子, 三隅 順子
3	4/22	16:20-17:50	遠隔授業（同期型）	母性看護学演習	授乳に関する援助	井村 真澄
4	5/9	16:20-17:50	看護学実習室2, 看護学実習室3	母性看護学演習	模擬分娩見学	中根 直子, 三隅 順子, 河合 蘭, 中山 富子
5	5/17	10:30-12:00	保健衛生学科講義室1	母性看護学演習	産褥事例の看護計画立案　発表準備（グループワーク）	三隅 順子
6-7	5/26	13:00-16:10	遠隔授業（同期型）	母性看護学演習	産褥事例看護過程の展開 看護計画グループ発表	三隅 順子, 大久保 功子
8-9	6/1	14:40-17:50	看護学実習室2, 看護学実習室3, 看護学実習室4	母性看護学演習	技術テストにむけての技術練習：妊産婦・褥婦・新生児	三隅 順子, 廣山 奈津子
10-11	6/7	14:40-17:50	看護学実習室1, 看護学実習室2, 保健衛生学科講義室1	母性看護学演習	技術テスト：妊産婦観察、新生児観察、褥婦観察　技術演習：沐浴	三隅 順子, 大久保 功子, 廣山 奈津子
12-13	6/9	08:50-12:00	看護学実習室1, 看護学実習室2, 保健衛生学科講義室1	母性看護学演習	技術テスト：妊産婦観察、新生児観察、褥婦観察　技術演習：沐浴	三隅 順子, 大久保 功子, 廣山 奈津子
14	6/30	13:00-14:30	看護学実習室2, 看護学実習室3, 看護学実習室4	母性看護学演習	褥婦の退院に向けた退院支援：ロールプレイ	三隅 順子, 廣山 奈津子, 大久保 功子, 人見 綾

15	6/30	14:40-16:10	看護学実習室2, 看護学実習室3, 看護学実習室4	母性看護学演習	褥婦の退院に向けた退院支援:ロールプレイ	三隅 順子, 廣山 奈津子, 大久保 功子, 人見 綾
16	6/30	16:20-17:50	看護学実習室2	母性看護学演習	実習オリエンテーション 各病棟から	大久保 功子, 三隅 順子, 廣山 奈津子, 瀬戸 愛

授業方法

グループワーク、グループ発表、技術テスト、ロールプレイなど

授業内容

実習に出て用いる思考および技術の基礎の練習。テストに向けての練習は WebClass にアップした技術デモの視聴や実習室での実演で準備すること。

成績評価の方法

レポート, 技術テスト,ロールプレイから総合的に評価する。出席を重視する。全出席の場合は加点、欠席は減点対象となる。

・レポート点【10%】:表紙がついているか、見出しが適切か、段落ごとに 1 マス下げてあるか、適切な文献で根拠を押さえているか、自分の意見・考察が述べられているか、それらの区別がつくように書いているか、指定文字数にほぼ達しているか、文献を複数用いているか、文献リストの書き方が正しいかなどで評価する。

・技術演習テスト【45%(妊産婦 15 褥婦 15 新生児 15)】:各項目とも合否どちらかとする。 Web Class に up する映像を視聴し、事前練習してテストに臨むこと。特別な事情がない限り、視聴履歴がないことも減点対象とする。

・看護過程＆ロールプレイ【40%】:準備/発表内容/態度、看護過程記録の期限内提出と内容で評価する。

成績評価の基準

総合で 60 点以上であること。

90 点以上で A＋, 80 点以上 A, 70 点以上 B, 60 点以上 C とする。

準備学習等についての具体的な指示

周産期の看護に関する各講義の基礎的な内容についてはをテキストで予習をしておくこと。

基礎看護学や成人看護学で学ぶ看護過程や関連図については習得されていることが前提ルので復習をしておくこと。臨床の状況について引きつけて考えるためには、母性衛生、助産学会誌などの学術誌、およびペリネイタルケアや助産雑誌などの専門職のための月刊誌などの内容に日常的にアクセスしておくことが望ましい。

教科書

母性看護技術 = Practice to maternal nursing／荒木奈緒, 中込さと子, 小林康江編,荒木, 奈緒,中込, さと子,小林, 康江,:メディカ出版, 2019

母性看護学Ⅱ:マタニティサイクル : 母と子そして家族へのよりよい看護実践／大平光子 [ほか] 編集,大平, 光子,井上, 尚美,大月, 恵理子,佐々木, くみ子,林, ひろみ,:南江堂, 2018

食品成分表／香川 明夫 監修,香川 明夫,:女子栄養大学出版部, 2020

エビデンスをもとに答える妊産婦・授乳婦の疑問 92／堀内成子 総編集,飯田真理子, 中村幸代, 永森久美子, 八重ゆかり 分担編集,堀内, 成子, 1955-,飯田, 真理子,中村, 幸代,永森, 久美子,:南江堂, 2015

マタニティアセスメントガイド／吉沢豊予子, 鈴木幸子編著,吉沢, 豊予子,鈴木, 幸子,:真興交易医書出版部, 2019

・ナーシンググラフィカ 母性看護実践の基本 母性看護学①, メディカ出版, 2012.

・前原澄子:新看護観察のキーポイントシリーズ 母性Ⅰ, 中央法規, 2011.

・前原澄子:新看護観察のキーポイントシリーズ 母性Ⅱ, 中央法規, 2011.

・横尾京子, 中込さと子:ナーシング・グラフィカ 31 母性看護学ー母性看護技術, メディカ出版, 2007.

・WHO, (戸田律子訳):WHOの59カ条 お産のケア実践ガイド, 農文協, 1997.

・Doenges,M.E.&Moorhouse,M.F.(柴山森二郎監訳):看護診断にもとづく母性・新生児看護ケアプラン, 医学書院, 1998.

・ Karen M Stolte,(小西恵美子・太田勝正訳):健康増進のためのウェルネス看護診断, 南江堂

・ 松原まなみ, 山西みな子:母乳育児の看護学 考え方とケアの実際, メディカ出版, 2003.

・ 鈴木幸子, 吉沢豊予子:新版 マタニティアセスメントガイド, 新興交易医書出版部, 2003.

・ 末原紀美代:正常産のケア指針, MCメディカ出版, 2002.

・ 進 純郎:周産期の臨床手技106, MCメディカ出版, 2002.

・ 堀内成子:産褥・退院支援ガイドブック, MCメディカ出版, 2003.

・ 長谷川充子:周産期の保健指導とケアQ＆A, MCメディカ出版, 2003.

・ レズリー・ページ:新助産学, メディカ出版, 2002.

参考書

WHOの59カ条お産のケア実践ガイド／WHO／〔編〕,戸田律子／訳：農山漁村文化協会, 1999

出産革命のヒロインたち：アメリカのお産が変わったとき／マーゴット・エドワーズ, メアリー・ウォルドルフ 著,河合蘭 訳,：メディカ出版, 1997

母乳育児支援スタンダード／日本ラクテーション・コンサルタント協会編,日本ラクテーション・コンサルタント協会,：医学書院, 2015

今日の助産：マタニティサイクルの助産診断・実践過程／北川眞理子, 内山和美編集,北川, 真理子,内山, 和美,生田, 克夫,：南江堂, 2019

マタニティアセスメントガイド／吉沢豊予子, 鈴木幸子編著,吉沢, 豊予子,鈴木, 幸子,：真興交易医書出版部, 2019

写真でわかる助産技術：妊産婦の主体性を大切にしたケア、安全で母子に優しい助産のわざ／平澤美恵子, 村上睦子 監修,：インターメディカ, 2012

マタニティ診断ガイドブック／日本助産診断実践学会編集；齋藤益子［ほか］執筆,日本助産診断実践学会,齋藤, 益子,：医学書院, 2020

母性Ⅰ／前原澄子 編,前原, 澄子, 1936-2019,：中央法規出版, 2011

母性Ⅱ／前原澄子 編,前原, 澄子, 1936-2019,：中央法規出版, 2011

佐世正勝、石村由利子：ウェルネスからみた母性看護過程＋病態関連図、医学書院、2016.

他科目との関連

この科目は，母性看護学と同時に受講することを前提として計画され，後期の母性看護学実習を行う上で必須の基礎知識と基礎技術を習得するための科目である。他の看護専門科目で習得した看護技術を母性看護学のケアの特徴に沿って活用していくため，既習の知識・技術を十分理解した上で参加していただきたい。また，この科目は，母性看護学実習に参加するための取得必須科目である。

履修上の注意事項

演習は身体を使って練習することがメインであるため，欠席すると同じレベルの補習はできないので注意していただきたい。

備考

個人情報保護法および専門職としての守秘義務等に鑑み，自分が知り得た情報の扱いには気をつけること。

参照ホームページ

WebClass の母性看護学演習のコースに適宜資料をアップする。

Youtube にも下記について up している。

赤ちゃんの沐浴(1 か月まで)：https://www.youtube.com/watch?v=T2P9cS1M9ds

赤ちゃんのおむつ換え：https://www.youtube.com/watch?v=Nham8QzkuXY

赤ちゃんの全身観察：https://www.youtube.com/watch?v=IworWl6_gFo&t=2s

連絡先（メールアドレス）

大久保 功子:kouko.rhn@tmd.ac.jp 3号館 19F

三隅 順子:j.misumi.rhn@tmd.ac.jp

廣山 奈津子:nhiro.rhn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

三隅 順子:前期：毎週火曜日午後

後期（臨地実習期間）：毎週水曜日午後（会議時除く）

アポイントを取っていただければ、前期に関してはこの限りではありません。

場所／3 号館 17 階リプロ 3 研

廣山 奈津子:平日 AM10:00 -PM5:00 3 号館 15 階 高齢社会看護システム管理学分野 教員室 3

時間割番号	012047				
科目名	母性看護学実習			科目ID	MN-371800-E
担当教員	大久保　功子, 三隅　順子, 廣山　奈津子[OKUBO NORIKO, MISUMI JUNKO, HIROYAMA NATSUKO]				
開講時期	2022 年度後期	対象年次	3	単位数	2
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Practice of Maternal and Infant Nursing

【科目責任者】大久保功子

主な講義場所

看護学実習室2（3号館17階）、附属病院、賛育会病院ほか

授業の目的、概要等

この科目では，母性看護学で学んだ基礎知識を，実際の看護展開に活用できるよう，周産期の女性に関する看護計画立案と実践を通して母性看護学領域に特有の看護の思考過程および基礎技術を習得する。

授業の到達目標

母性看護学で学習した知識を基礎として，母子の健康をアセスメントし看護援助の計画・立案が行え，母性看護学の対象と看護援助の特徴をふまえた看護技術を習得し，母性看護学実習を行う上で必要な看護実践能力を養うことを目標とする。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/26	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	母性看護学実習	技術テスト・オリエンテーション	三隅　順子, 大久保　功子, 廣山　奈津子
2	9/27	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅　順子, 大久保　功子, 廣山　奈津子
3	9/29	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅　順子, 大久保　功子, 廣山　奈津子
4	9/30	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅　順子, 廣山　奈津子
5	10/3	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅　順子, 大久保　功子, 廣山　奈津子
6	10/4	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅　順子, 大久保　功子, 廣山　奈津子
7	10/6	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅　順子, 廣山　奈津子
8	10/7	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅　順子, 大久保　功子, 廣山　奈津子
9	10/11	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	技術テスト・オリエンテーション	三隅　順子, 大久保　功子, 廣山　奈津子
10	10/13	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅　順子, 大久保　功子, 廣山　奈津子
11	10/14	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅　順子, 大久保　功子, 廣山　奈津子
12	10/17	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅　順子, 廣山　奈津子
13	10/18	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅　順子, 大久保　功子, 廣山　奈津子
14	10/20	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅　順子, 大久保　功子, 廣山　奈津子
15	10/21	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅　順子, 大久保　功子, 廣山　奈津子
16	10/24	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘル	母性看護学実習	技術テスト・オリエンテ	三隅　順子, 大久保　功子,

			ス看護学分野), 外部病院等		ーション	廣山 奈津子
17	10/25	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 廣山 奈津子
18	10/27	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 大久保 功子, 廣山 奈津子
19	10/28	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 大久保 功子, 廣山 奈津子
20	10/31	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 廣山 奈津子
21	11/1	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 大久保 功子, 廣山 奈津子
22	11/4	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 廣山 奈津子
23	11/7	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	母性看護学実習	技術テスト・オリエンテーション	三隅 順子, 大久保 功子, 廣山 奈津子
24	11/8	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 大久保 功子, 廣山 奈津子
25	11/10	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 廣山 奈津子
26	11/11	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 大久保 功子, 廣山 奈津子
27	11/14	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 大久保 功子, 廣山 奈津子
28	11/15	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	母性看護学実習	産科領域での看護実習	大久保 功子, 三隅 順子, 廣山 奈津子
29	11/17	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 大久保 功子, 廣山 奈津子
30	11/18	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 大久保 功子, 廣山 奈津子
31	11/21	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	母性看護学実習	技術テスト・オリエンテーション	三隅 順子, 大久保 功子
32	11/22	08:00-17:00	外部病院等	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子
33	11/24	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 廣山 奈津子
34	11/25	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 廣山 奈津子
35	11/28	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子
36	11/29	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子
37	12/1	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子
38	12/2	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子
39	12/5	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	母性看護学実習	技術テスト・オリエンテーション	三隅 順子, 大久保 功子, 廣山 奈津子
40	12/6	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子
41	12/8	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘル	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子

			ス看護学分野), 外部病院等			
42	12/9	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子
43	12/12	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子
44	12/13	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子
45	12/15	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子
46	12/16	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子
47	1/10	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	母性看護学実習	技術テスト/オリエンテーション	三隅 順子, 大久保 功子, 廣山 奈津子
48	1/11	08:00-17:00	外部病院等	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子
49	1/12	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子
50	1/13	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子
51	1/16	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子
52	1/17	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子
53	1/19	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子
54	1/20	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子
55	1/23	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	母性看護学実習	技術テスト/オリエンテーション	三隅 順子, 大久保 功子, 廣山 奈津子
56	1/24	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子
57	1/26	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子
58	1/27	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子
59	1/30	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子
60	1/31	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子
61	2/2	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子
62	2/3	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子

授業方法

病院での受持に対する看護過程の展開実習および見学実習。

授業内容

受持への看護過程を展開し、指導者とともに看護を提供する。

成績評価の方法

実習初日技術テスト 4 種目中 3 種目不合格であった場合は、患者の安全が担保できないため、その時点で落第とする。

病棟に出てからの評価は以下の通りである。

臨床での思考，態度，技術の側面から総合的に評価する。

A. 看護の思考過程　40%

情報収集、アセスメント、看護問題・課題の抽出、目標、具体策の設定、看護計画の評価などを実習記録と実習内容からそれぞれ 5 段階で評価する。

B. 看護技術　25%

観察技術、援助技術などを実習内容からそれぞれ 5 段階で評価する。

C. 実習態度・意欲　35%

積極性、責任感、チームワーク、社会性など専門職としての態度、行動をそれぞれ 5 段階で評価し、ABC の合計をもって総合評価する。

出席を重視する。技術テストをクリアしていた場合でも、3/4 以上の出席がなければ落第とする。

成績評価の基準

90 点以上で A＋，80 点以上 A，70 点以上 B，60 点以上 C とする。

準備学習等についての具体的な指示

周産期の看護に関する各講義の基礎的な内容についてはをテキストで予習をしておくこと。

基礎看護学や成人看護学で学ぶ看護過程や関連図については習得されていることが前提ルので復習をしておくこと。臨床の状況について引きつけて考えるためには、母性衛生、助産学会誌などの学術誌、およびペリネイタルケアや助産雑誌などの専門職のための月刊誌などの内容に日常的にアクセスしておくことが望ましい。

試験の受験資格

母性看護学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、演習を修了していること。

モジュールの単位判定

3／4 の出席があること。

教科書

母性看護技術 = Practice to maternal nursing／荒木奈緒，中込さと子，小林康江編,荒木，奈緒,中込，さと子,小林，康江,：メディカ出版，2019

母性／前原澄子 編,前原，澄子,1936-2019,：中央法規出版，2011

母性Ⅱ／前原澄子 編,：中央法規出版，2011

エビデンスをもとに答える妊産婦・授乳婦の疑問 92／堀内成子 総編集,飯田真理子，中村幸代，永森久美子，八重ゆかり 分担編集,堀内,成子,1955-,飯田，真理子,中村，幸代,永森，久美子,：南江堂，2015

マタニティアセスメントガイド／吉沢豊予子，鈴木幸子編著,吉沢，豊予子,鈴木，幸子,：真興交易医書出版部，2019

・ナーシンググラフィカ 母性看護実践の基本 母性看護学①，メディカ出版，2019.

・前原澄子：新看護観察のキーポイントシリーズ 母性Ⅰ，中央法規，2011.

・前原澄子：新看護観察のキーポイントシリーズ 母性Ⅱ，中央法規，2011.

・横尾京子，中込さと子：ナーシング・グラフィカ 31 母性看護学ー母性看護技術，メディカ出版，2007.

・WHO，（戸田律子訳）：WHOの59カ条 お産のケア実践ガイド，農文協，1997.

・北山眞理子ら：今日の助産，南江堂，2013.

・Doenges,M.E.&Moorhouse,M.F.（柴山森二郎監訳）：看護診断にもとづく母性・新生児看護ケアプラン，医学書院，1998.

・ Karen M Stolte,（小西恵美子・太田勝正訳）：健康増進のためのウェルネス看護診断，南江堂

・ 松原まなみ，山西みな子：母乳育児の看護学 考え方とケアの実際，メディカ出版，2003.

・ 鈴木幸子，吉沢豊予子：新版 マタニティアセスメントガイド，新興交易医書出版部，2016.

・ 末原紀美代：正常産のケア指針，MCメディカ出版，2002.

・ 進 純郎：周産期の臨床手技106，MCメディカ出版，2002.

・ 堀内成子：産褥・退院支援ガイドブック，MCメディカ出版，2003.

・ 長谷川充子：周産期の保健指導とケアQ＆A，MCメディカ出版，2003.

参考書

WHOの59カ条お産のケア実践ガイド／WHO／〔編〕,戸田律子／訳,：農山漁村文化協会，1999

ウエルネスからみた母性看護過程+病態関連図／佐世正勝，石村由利子編,佐世，正勝,石村，由利子,：医学書院，2016

母乳育児の看護学 ： 考え方とケアの実際／松原まなみ，山西みな子 著,：メディカ出版，2003

母乳育児支援スタンダード 2 版／日本ラクテーション・コンサルタント協会編,日本ラクテーション・コンサルタント協会,：医学書院，2015

マタニティアセスメントガイド／吉沢豊予子，鈴木幸子編著,吉沢，豊予子,鈴木，幸子,：真興交易医書出版部，2019

写真でわかる助産技術 ： 妊産婦の主体性を大切にしたケア、安全で母子に優しい助産のわざ／平澤美恵子，村上睦子 監修,：インターメディカ，2012

その他，演習の進行に伴い参考文献を提示する。

他科目との関連

この科目は，母性看護学と同時に受講することを前提として計画され，後期の母性看護学実習を行う上で必須の基礎知識と基礎技術を習得するための科目である。他の看護専門科目で習得した看護技術を母性看護学のケアの特徴に沿って活用していくため，既習の知識・技術を十分理解した上で参加していただきたい。また，この科目は，母性看護学実習に参加するための取得必須科目である。

履修上の注意事項

演習が主体であるため，欠席すると補習はできないので注意してほしい。

備考

個人情報の保護については、患者情報の記録への取り扱いに注意し病棟外での会話を慎むこと、また患者のみならず自分自身の情報についても安全のために注意して扱うこと。

参照ホームページ

赤ちゃんの沐浴(1 か月まで):https://www.youtube.com/watch?v=T2P9cS1M9ds

赤ちゃんのおむつ換え:https://www.youtube.com/watch?v=Nham8QzkuXY

赤ちゃんの全身観察:https://www.youtube.com/watch?v=IworWl6_gFo&t=2s

連絡先(メールアドレス)

大久保　功子:kouko.rhn@tmd.ac.jp　3号館 19F

三隅　順子:j.misumi.rhn@tmd.ac.jp

廣山　奈津子:nhiro.rhn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

三隅　順子:前期:毎週火曜日午後

後期(臨地実習期間):毎週水曜日午後(会議時除く)

アポイントを取っていただければ、前期に関してはこの限りではありません。

場所／3 号館 17 階リプロ 3 研

廣山　奈津子:平日　AM10:00 –PM5:00 3 号館 15 階 高齢社会看護システム管理学分野 教員室 3

時間割番号	012048				
科目名	老年看護学			科目ID	MN-331900-L
担当教員	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江[OGATA YASUKO, SASAKI Miki, YUMOTO YOSHIE]				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	3	単位数	3
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Gerontological Nursing

【科目責任者】緒方泰子

主な講義場所

・遠隔授業（同期型）または（非同期型）

・対面の場合は、保健衛生学講義室 1（3号館 18階）ほか

授業の目的、概要等

高齢者の心身・社会経済的な変化に関する理解を基盤として、老年期に発症しやすい健康障害・機能障害とそれらに対する基本的な支援技術を習得する。老年看護学の背景となる日本社会における保健・医療・福祉の動向を知り，医療チームの一員として多角的な視野をもって看護を提供するための基本的な態度を養う。グループワーク等を活用したアクティブラーニングとして行う。

授業の到達目標

1）高齢者の健康障害とそれに伴う諸問題、およびそれらに対する基本的な支援について理解し説明できる。

2）高齢者と家族に対する看護援助の基本を理解し説明できる。

3）高齢者の健康状態を維持するための保健・福祉・医療の活動、看護の役割について理解し説明できる。

4）多くの人生経験をつんだ高齢者を尊重する態度を示すことができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/11	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 1	老年看護学	高齢者を理解するための基本的概念について学ぶ。 高齢者の視点を理解し、看護の基本姿勢を養う。	緒方 泰子, 湯本 淑江, 佐々木 美樹
2	4/11	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 1	老年看護学	老年期に特有な身体的特徴や変化について理解する（1）。	緒方 泰子, 湯本 淑江, 佐々木 美樹
3	4/18	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 1	老年看護学	高齢者ケアにおけるリスク管理	緒方 泰子, 湯本 淑江, 佐々木 美樹
4	4/18	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 1	老年看護学	薬物動態・静態の加齢変化と高齢者に与薬する薬物の特徴、薬剤管理の基本的知識について学ぶ。	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江
5	4/25	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 1	老年看護学	老年期に特有な身体的特徴や変化について理解する（2）。	緒方 泰子, 湯本 淑江, 佐々木 美樹
6	4/25	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 1	老年看護学	老年期に特有な身体的特徴や変化について理解する（3）。	緒方 泰子, 湯本 淑江, 佐々木 美樹
7	5/9	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 1	老年看護学	老年期に特有な身体的特徴や変化について理解する（4）。	緒方 泰子, 湯本 淑江, 佐々木 美樹
8	5/9	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 1	老年看護学	高齢患者の急性期、慢性疾患の事例をもとに看護過程を展開する（1）。	緒方 泰子, 湯本 淑江, 佐々木 美樹
9	5/16	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 1	老年看護学	老年期に特有な身体的特徴や変化について理解する（5）。	緒方 泰子, 湯本 淑江, 佐々木 美樹
10	5/16	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 1	老年看護学	老年症候群・高齢者の転倒やせん妄の実際と予防ケア、身体抑制の方法や身体抑制回避・解除に向けた取り組みについて学ぶ。	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江, 和田 奈美子
11	5/23	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 1	老年看護学	高齢者・ケアに関連する課題とケアの基本を学ぶ（1）。	緒方 泰子, 湯本 淑江, 々木 美樹
12	5/23	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 1	老年看護学	特別養護老人ホームなど、医療機関以外での看護師の役割について学ぶ。	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江, 川崎 千鶴子
13	5/30	08:50-10:20	保健衛生学	老年看護学	高齢者・ケアに関連する課題とケアの基本を学ぶ	緒方 泰子, 湯本 淑江,

			科講義室1		(2)。	佐々木 美樹
14	5/30	10:30-12:00	保健衛生学科講義室1	老年看護学	高齢者看護における倫理的ジレンマとそれに対する意思決定プロセスを学ぶ。	緒方 泰子, 湯本 淑江, 佐々木 美樹, 長尾 祥子
15	6/6	08:50-10:20	保健衛生学科講義室1	老年看護学	高齢者・ケアに関連する課題とケアの基本を学ぶ(3)。	緒方 泰子, 湯本 淑江, 佐々木 美樹
16	6/6	10:30-12:00	保健衛生学科講義室1	老年看護学	高齢者をケアする介護職と看護職の連携のあり方を学ぶ。	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江, 望月 太敦
17	6/13	08:50-10:20	保健衛生学科講義室1	老年看護学	高齢者・ケアに関連する課題とケアの基本を学ぶ(4)。	緒方 泰子, 湯本 淑江, 佐々木 美樹
18	6/13	10:30-12:00	保健衛生学科講義室1	老年看護学	退院支援、地域と病院の連携、看護の継続などの実態及びこれらに関する高齢者における課題について学ぶ。	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江, 乙坂 佳代
19	6/20	08:50-10:20	保健衛生学科講義室1	老年看護学	高齢患者の急性期、慢性疾患の事例をもとに看護過程を展開する(2)。	緒方 泰子, 湯本 淑江, 佐々木 美樹
20	6/20	10:30-12:00	保健衛生学科講義室1	老年看護学	認知症の病態および症状とその基本的支援方法を学ぶ。	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江, 村山 紀子
21	6/27	08:50-10:20	保健衛生学科講義室1	老年看護学	高齢者と終末期について学ぶ。	緒方 泰子, 湯本 淑江, 佐々木 美樹
22	6/27	10:30-12:00	保健衛生学科講義室1	老年看護学	高齢患者の急性期、慢性疾患の事例をもとに看護過程を展開する(3)。	緒方 泰子, 湯本 淑江, 佐々木 美樹
23	7/4	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	老年看護学	高齢患者の急性期、慢性疾患の事例をもとに看護過程を展開する(4)。	緒方 泰子, 湯本 淑江, 佐々木 美樹
24	7/4	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	老年看護学	高齢患者の急性期、慢性疾患の事例をもとに看護過程を展開する(5)。	緒方 泰子, 湯本 淑江, 佐々木 美樹

授業方法

講義形式の授業に加え、学生間でのグループワークやプレゼンテーション、モデルケースを使用しての看護展開を学生自らが行う。

成績評価の方法

以下の項目について総合的に評価を行う。

1)出席状況

・ 出席とは、対面授業への参加や、同期型授業への参加を指す。

2)課題への取り組み姿勢・授業への参加態度

・ 同期型授業では、原則、Zoom のカメラはオンとし、顔が映るように設定する。

・ 授業中の発言状況、グループワーク・資料の作成・プレゼンテーションへの責任ある参加度合いを評価する。

3)期末テスト

・ テキストや配布資料等に記載された英語(単語や文章)を試験に引用するため、よく理解しておく必要がある。

成績評価の基準

1)出席状況(30%)

・ Zoom での出席:講義を最初から最後まで参加しているログが確認出来た場合。

・ 非同期型の場合:webclass での確認テストが提出された場合を出席とする。

2)課題への取り組み姿勢・授業への参加態度(30%)

3)期末テスト(40%)

※上記1)~3)の配分を基本に総合的に評価する。提出期限を守らない場合、減点の対象となる。繰り返し提出期限を過ぎる場合は、成績評価の対象としない。総合得点が 60 点以上の者を合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

・授業中に提示された課題について、グループ毎に取り組み(グループワーク)、学習成果を発表する機会を設けている。

・課題についての事前準備学習(情報収集、資料作成など)が必要となる。課題には、老年医学等の英文の専門書を用いて行うものも含まれる。

・学習の資料には、下記参考書、授業を通じて配布した資料などを用いるとよい。

試験の受験資格

本学試験規則に準じ、授業に 3／4 以上出席していること。

・出席とは、対面授業あるいは遠隔授業（同期型）に、授業の最初から最後まで参加している場合をいう。非同期型の場合は、webclass での確認テストが提出された場合を出席とする。

教科書

最新老年看護学第 3 版 2021 年版／水野敏子 [ほか] 編,水野, 敏子,高山, 成子,三重野, 英子,會田, 信子,水谷, 信子,：日本看護協会出版会, 2021

参考書

実践!高齢者のフィジカルアセスメント : 手技と事例で学ぶ : 老化を理解して、異常を見逃さない! : オールカラー : 病院・在宅・訪問で使える／角濱春美 著,大西基喜 医学監修,：メディカ出版, 2017

Ham's primary care geriatrics : a case-based approach Seventh Edition／[edited by] Richard J. Ham ... [et al.],Ham, Richard J.,Sloane, Philip D.,Warshaw, Gregg A.,Potter, Jane F.,Flaherty, Ellen,：Elsevier/Saunders, 2021

生活機能からみた老年看護過程+病態・生活機能関連図／山田律子, 萩野悦子, 内ケ島伸也, 井出訓 編集,：医学書院, 2016

根拠と事故防止からみた老年看護技術／亀井智子 編集,：医学書院, 2016

認知症ケアガイドブック = GUIDEBOOK FOR DEMENTIA CARE／日本看護協会 編集,日本看護協会,：照林社, 2016

老年看護学技術 : 最後までその人らしく生きることを支援する／真田弘美, 正木治恵編集,真田, 弘美,正木, 治恵,：南江堂, 2020

他科目との関連

対象別看護として高齢者を対象としているため，病態学，生理学などの基礎的な医学知識や基礎・成人看護学における内容をふまえながら，高齢者の特徴等にもとづく看護学の授業を展開する。

履修上の注意事項

1）原則として、授業中の入退室は認めない。 2）授業中にスクリーン、Zoom 等の画面を撮影することを禁止する。 3）講義資料等を、受講登録者以外に配布・公開することを禁止する。 4）WebClass やメールを通じた資料配布・連絡を行う場合があるので、担当教員の指示に従い確認すること。 5）授業日時・内容（順序等）・方法は変更することがある。

備考

・授業内では，グループワークを実施し，その実施結果のプレゼンテーションを行う。積極的に参加すること。

・オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

2021 年度の授業評価を踏まえ、授業を受けやすい環境調整を行う（例：遠隔授業時のハイリング防止等）。

連絡先（メールアドレス）

緒方 泰子:yogata.gh@tmd.ac.jp 3 号館 19 階

オフィスアワー

緒方 泰子:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

時間割番号	012049				
科目名	老年看護学演習			科目ID	MN-352000-S
担当教員	佐々木 美樹, 緒方 泰子, 湯本 淑江[SASAKI Miki, OGATA YASUKO, YUMOTO YOSHIE]				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	3	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Seminar of Gerontological Nursing

【科目責任者】佐々木美樹

主な講義場所

・対面または遠隔授業（同期型）

・対面の場合は，保健衛生学講義室2（3号館8階）、看護学実習室1（3号館 17 階）ほか

授業の目的、概要等

高齢社会を迎え、老年看護における独自の看護の役割と機能を果たすため、身体的・精神的・社会的な看護ケアの専門的な知識や技術が求められている。特に、老年期の特徴を踏まえて高齢者の心身の健康状態を適切にアセスメントし、必要な看護やケアを提供することは、看護職者の役割として重要である。老年看護学の実践に必要な基礎的なアセスメントの知識・技術について、演習を通じて習得する。また、患者の立場を経験することを通じて、対象の立場に立った看護やケアを提供していく重要な視点について学ぶ。グループワーク、プレゼンテーション、演習等を活用したアクティブラーニングとして行う。

授業の到達目標

1）老年期にある対象の健康障害・機能障害をアセスメントするための基本技術を習得する。

2）老年期にある対象の身体的・精神的・社会的側面の知識に基づき、1）の基本技術を実施できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/12	13:00-14:30	看護学実習室 1	老年看護学演習	ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄとは何か 査定の基本技術・生活状況・精神状態（認知機能・うつ）	緒方 泰子, 湯本 淑江, 佐々木 美樹
2	4/12	14:40-16:10	看護学実習室 1	老年看護学演習	腹部のアセスメント	緒方 泰子, 湯本 淑江, 佐々木 美樹
3	4/12	16:20-17:50	看護学実習室 1	老年看護学演習	頭頸部（頭髪・頭蓋・目・耳・鼻・口）のアセスメント	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江
4	4/26	13:00-14:30	看護学実習室 1	老年看護学演習	胸部（心臓）のアセスメント	緒方 泰子, 湯本 淑江, 佐々木 美樹
5	4/26	14:40-16:10	看護学実習室 1	老年看護学演習	摂食・嚥下機能のアセスメント	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江, 雨宮 輝美
6	4/26	16:20-17:50	看護学実習室 1	老年看護学演習	呼吸器のアセスメント	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江
7	5/10	13:00-14:30	看護学実習室 1	老年看護学演習	神経系のアセスメント	緒方 泰子, 湯本 淑江, 佐々木 美樹
8	5/10	14:40-16:10	看護学実習室 1	老年看護学演習	認知症のケア	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江, 藤原 麻由礼
9	5/10	16:20-17:50	看護学実習室 1	老年看護学演習	高齢者のニーズのアセスメント	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江, 落合 祐子
10	5/17	13:00-14:30	看護学実習室 1	老年看護学演習	高齢者の感染のアセスメント	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江, 網中眞由美
11	5/17	14:40-16:10	看護学実習室 1	老年看護学演習	皮膚のアセスメント	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江, 松下 真由子
12	5/17	16:20-17:50	看護学実習室 1	老年看護学演習	筋骨格系のアセスメント	湯本 淑江, 緒方 泰子, 佐々木 美樹
13	5/31	13:00-14:30	看護学実習室 1	老年看護学演習	フィジカルアセスメント総括1	緒方 泰子, 湯本 淑江, 佐々木 美樹
14	5/31	14:40-16:10	看護学実習室 1	老年看護学演習	フィジカルアセスメント総括2（1）	緒方 泰子, 湯本 淑江, 佐々木 美樹
15	5/31	16:20-17:50	看護学実習室 1, 看護学実習室 2, 看護学実習室 3, 看護学実習室 4,	老年看護学演習	フィジカルアセスメント総括2（2）	緒方 泰子, 湯本 淑江, 佐々木 美樹

			保健衛生学科講義室1			

授業方法

グループワーク、プレゼンテーション、演習

（老年期にある対象を理解した上で、看護援助の知識に基づいた技術をグループワーク、プレゼンテーション、演習から養う。）

成績評価の方法

以下の項目により評価を行う。

1）出席状況・授業への参加態度

※出席とは同期型授業または対面授業への参加をさす。

Zoom での出席は、最初から最後までのログが確認できた場合とする。

※原則、Zoom のカメラはオンとし，顔が映るように設定する。

2）技術テスト

成績評価の基準

1）出席状況・授業への参加態度（30%）

※全出席で積極的な授業参加　満点（30 点）

2）技術テスト（70%）

※的確に実施できた場合　満点（100 点×70%＝70 点）

準備学習等についての具体的な指示

1）講義・演習内容について、テキストの当該個所を事前学習しておくこと。テキストに掲載されていない講義内容は授業中に資料として配布するが、関連する内容について他の書籍等で確認しておくとなおよい。

2）WebClass やメールを通じた資料配布・連絡を行う場合があるので、担当教員の指示に従い確認すること。

3）演習着については、随時指定する。

試験の受験資格

本学試験規則に準じ、授業に 2／3 以上出席していること。

教科書

フィジカルアセスメント完全ガイド = Physical Assessment Ultimate Guide／藤崎郁 執筆,伴信太郎 医学監修・実技指導,：学研メディカル秀潤社，2017

参考書

実践!高齢者のフィジカルアセスメント：手技と事例で学ぶ：老化を理解して、異常を見逃さない!：オールカラー：病院・在宅・訪問で使える／角濱春美 著,大西基喜 医学監修,：メディカ出版，2017

根拠と事故防止からみた老年看護技術／亀井智子編集,亀井，智子,：医学書院，2020

生活機能からみた老年看護過程+病態・生活機能関連図／山田律子，内ケ島伸也編集,山田，律子,内ヶ島，伸也,秋下，雅弘,：医学書院，2020

他科目との関連

老年看護学をふまえて、演習を行う。

履修上の注意事項

1）原則として、授業中の入退室は認めない。　2）授業中にスクリーン、Zoom 等の画面を撮影することを禁止する。　3）原則として欠席は認めない　4）講義資料等を、受講登録者以外に配布・公開することを禁止する。　5）授業日時・内容（順序等）・方法は変更することがある。

備考

・授業内では、グループワークを実施し、その結果のプレゼンテーションを行うこともある。積極的に参加すること。

・オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

・2021 年度の授業評価では改善が必要な点はなかったが、遠隔授業を行うことになった際には、自宅でも実技演習が行えるよう工夫する（物品の事前配布等）。

連絡先（メールアドレス）

佐々木　美樹:m-sasaki.gh@tmd.ac.jp

オフィスアワー

佐々木　美樹:オフィスアワーは特に定めないが，事前にアポイントをとったうえで訪問してください。

連絡先メール：m-sasaki.gh@tmd.ac.jp

時間割番号	012050				
科目名	リハビリテーション看護学			科目ID	MN-392100-L
担当教員	佐々木 美樹, 緒方 泰子, 湯本 淑江[SASAKI Miki, OGATA YASUKO, YUMOTO YOSHIE]				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	3	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Rehabilitation Nursing

【科目責任者】佐々木美樹

主な講義場所

・遠隔授業（同期型・非同期型）

・対面の場合は、保健衛生学講義室2（3号館8階）ほか

授業の目的、概要等

リハビリテーションに関する概念や理論、リハビリテーションに関わる多職種の役割・機能・具体的活動について学ぶとともに、リハビリテーションにおける多職種連携や看護の役割について理解する。更に、リハビリテーションに関する基本的な技術や看護について講義や、演習等のアクティブラーニングを通して修得する。

授業の到達目標

1）リハビリテーション看護学の位置づけを明確にするとともに、リハビリテーションの概念を人間の基本的生活を保障するための人権思想や、ノーマライゼーション、QOLの観点から説明できる。

2）リハビリテーション看護の概念、対象、方法を学び、リハビリテーションチームにおける看護、他の専門職種の役割・機能と連携によるチームアプローチを理解する。

3）リハビリテーション分野における活動、作業療法、言語療法等の基本を理解し説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/18	13:00-14:30	保健衛生学科講義室2	リハビリテーション医学総論	リハビリテーション医学総論、運動器・脳血管疾患のリハビリテーション、廃用症候群	緒方 泰子, 湯本 淑江, 佐々木 美樹, 酒井 朋子
2	4/25	14:40-16:10	保健衛生学科講義室2	リハビリテーションに関わる職種：言語聴覚士	言語療法とは何か、言語聴覚士の役割・機能、言語障害の種類と評価法、言語訓練(失語症、構語障害)	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江, 泉田 陸
3	5/9	13:00-14:30	保健衛生学科講義室2	リハビリテーション看護の実際（1）	摂食嚥下障害におけるリハビリテーション看護	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江, 仙 みづえ
4	5/16	14:40-16:10	保健衛生学科講義室2	リハビリテーションにおける多職種連携	リハビリテーションにおける多職種連携、実際の活動例	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江, 大川 智恵子
5	5/23	14:40-16:10	保健衛生学科講義室2, 看護学実習室1	リハビリテーションに関わる職種：理学療法士	理学療法とは何か、理学療法の役割・機能、機能障害における評価法、機能回復訓練と補助具による支援	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江, 岡安 健
6	5/30	14:40-16:10	保健衛生学科講義室2	リハビリテーション看護の実際（2）	脊椎損傷を持つ患者へのリハビリテーション看護	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江, 室岡 陽子
7	6/6	14:40-16:10	保健衛生学科講義室2, 看護学実習室1	リハビリテーションに関わる職種：作業療法士	作業療法とは何か、作業療法士の役割・機能、作業療法の種類と評価法、作業療法訓練	緒方 泰子, 湯本 淑江, 佐々木 美樹, 新田 淳子
8	6/6	16:20-17:50	保健衛生学科講義室2, 看護学実習室1	リハビリテーションにおける多職種連携と看護の役割	高齢者へのハビリテーション看護・多職種連携	緒方 泰子, 湯本 淑江, 佐々木 美樹

授業方法

講義、演習、グループワーク、プレゼンテーションなど

成績評価の方法

以下の項目により評価を行う。

1）出席状況・授業への参加態度
※出席とは同期型授業、または対面への授業への参加をさす。
zoom での出席は、講義を最初から最後まで参加しているログが確認出来た場合とする。
非同期型の場合は、課されたレポート等の提出が確認された場合とする。
※原則、Zoom のカメラはオンとし，顔が映るように設定する。
2）リフレクションレポート
3）授業に関連した課題レポート
※課題レポートは、講義内容に関連した分野の研究論文（英文）をもとに作成する。研究論文（英文）は後日提示する。

成績評価の基準

1）出席状況・授業への参加態度（20%）
※全出席で積極的な授業参加　満点（20 点）
2）リフレクションレポート（10%）
※全授業に対して提出　満点（10 点）
2）授業に関連した課題レポート（70%）
※課題レポートの内容　満点（70 点＝100 点×70%）

準備学習等についての具体的な指示

講義内容について予習をしておくこと。テーマごとに専門の講師が講義を行う予定なので、基礎知識があると質問がしやすいという利点がある。
また後期の老年看護学実習においてリハビリテーションが必要な患者を受け持つ機会もあるため、実習の前にリハビリテーションの知識を深めておくことでより良い実習に向けた準備となる。

試験の受験資格

本学試験規則に準じ、授業に 2／3 以上出席していること。

参考書

リハビリテーション看護（改訂第 3 版）：障害のある人の可能性とともに歩む／酒井　郁子 編集,金城　利雄 編集,深堀　浩樹 編集,酒井　郁子,金城　利雄,深堀　浩樹,：南江堂，2021-01-19

他科目との関連

解剖学、生理学、疾病論などの医学知識、基礎看護学、ライフサイクル別看護学、在宅ケア論、地域看護学系の教科目のみならず、社会福祉学、保健医療制度論などの分野と関係づけていくことが必要である。 後期の臨地実習でリハビリテーション病院を希望する者は、この科目を履修すること。病院の受け入れ人数には上限がある。ただし、今年度は、感染拡大の影響を受け、病院の受け入れ中止の可能性もある。

履修上の注意事項

1）原則として、授業中の入退室は認めない。　2）授業中にスクリーン、Zoom 等の画面を撮影することを禁止する。　3）講義資料等を、受講登録者以外に配布・公開することを禁止する。　4）実技を学ぶ際の服装については随時指示する。　5）授業日時・内容（順序等）・方法は変更することがある。

備考

・授業内では，グループワークを実施し、その結果のプレゼンテーションを行う。積極的に参加すること。
・オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。
・2021 年度の授業評価では改善が必要な点はなかったが、グループワーク等のアクティブラーニングに加え、疑問点等への丁寧な対応を継続する。

連絡先（メールアドレス）

佐々木　美樹:m-sasaki.gh@tmd.ac.jp

オフィスアワー

佐々木　美樹:オフィスアワーは特に定めないが，事前にアポイントをとったうえで訪問してください。
連絡先メール：m-sasaki.gh@tmd.ac.jp

時間割番号	012051				
科目名	老年看護学実習			科目ID	MN-372200-E
担当教員	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江[OGATA YASUKO, SASAKI Miki, YUMOTO YOSHIE]				
開講時期	2022 年度後期	対象年次	3	単位数	3
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Gerontological Nursing Practicum

【科目責任者】緒方泰子

授業の目的、概要等

老年期にある人と家族の特徴を理解し，対象の個別性や状況に応じた看護の必要性を十分に考慮した上で，看護実践を展開する。

各学生は患者 1 名を担当し、看護計画を立て看護過程を展開する、実践をリフレクションしながら学習するという特徴をもったアクティブラーニングとして行う。

授業の到達目標

（1）老年期にある人とその家族（以下，対象者とする）の身体的・心理的・社会的側面を統合し，全体像をとらえ，看護過程を展開する。

1）情報収集

①対象者の身体的側面の情報を収集する。（健康障害の経過，治療，予後など）

②対象者の心理的側面の情報を収集する。（生きがいなど対象者が大切にしていることも含める）

③家族的背景およびソーシャルサポートなどの社会的側面の情報を収集する。

2）アセスメント

①対象者の日常生活全般における動作や活動の障害および精神機能のレベルを分析する。

②対象者の自立と依存のバランスを考え，自己決定やセルフケア能力のレベルを明らかにする。

③対象者の潜在している能力や機能を的確に判断する。

④対象者の特徴を統合し，全体像を図示し，説明する。

⑤看護問題について，個別性を反映した適切な表現で記述する。

3）計画立案

①看護問題に対し，長期的・短期的目標を設定する。

②状況に合わせて，看護上の問題の優先順位をつける。

③対象者の個別性を考慮し，実施可能な看護援助を記述する。

④スタッフとの連携を図るため，計画を説明し共有する。

4）計画の実施

①対象者の安全・安楽を考慮し，的確な技術で実施する。

②看護援助に対する対象者の反応に応じて，計画を修正する。

③実施した看護援助の状況を，スタッフに説明することができる。

5）評価

①目標への達成度の評価を記述する。

②評価に基づき，看護計画を修正する。

（2）保健・医療・福祉のスタッフの役割・活動内容を理解し，看護の役割，活動内容について考える。

1）対象者に関わる保健・医療・福祉職の活動内容を把握する。

2）看護と介護を比較し，共通点，相違点を考える。

3）看護の役割・活動の課題と展望を考える。

（3）高齢者の専門医療機関（老人病院）や施設の特徴を理解する。

一般病院と高齢者の専門医療機関や施設について，基本的なシステムの違いを知るとともに，ケアに関連してどのような課題があるのかを整理する。

*各実習期間を通じて上記目標が達成される

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-5	9/26	08:50-17:50	看護学実習室 1	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江
6-10	9/27	08:50-17:50	その他（保・高齢社会看	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹,

			護ケア開発学分野)			湯本 淑江
11-15	9/29	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江
16-20	9/30	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江
21-25	10/3	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江
26-30	10/4	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江
31-35	10/6	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江
36-40	10/7	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江
41-45	10/11	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江
46-50	10/13	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江
51-55	10/14	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江
56-60	10/17	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江
61-65	10/18	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江
66-70	10/20	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江
71-75	10/21	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江
76-80	10/24	08:50-17:50	看護学実習室1	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江
81-85	10/25	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江
86-90	10/27	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江
91-95	10/28	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江
96-100	10/31	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江
101-105	11/1	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江
106-110	11/4	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江
111-115	11/7	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江
116-120	11/8	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江
121-125	11/10	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江
126-130	11/11	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江

131-135	11/14	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江
136-140	11/15	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江
141-145	11/17	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江
146-150	11/18	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江
151-155	11/21	08:50-17:50	看護学実習室1	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江
156-160	11/22	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江
161-165	11/24	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江
166-170	11/25	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江
171-175	11/28	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江
176-180	11/29	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江
181-185	12/1	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江
186-190	12/2	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江
191-195	12/5	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江
196-200	12/6	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江
201-205	12/8	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江
206-210	12/9	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江
211-215	12/12	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江
216-220	12/13	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江
221-225	12/15	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江
226-230	12/16	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江
231-235	1/10	08:50-17:50	看護学実習室1	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江
236-240	1/12	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江
241-245	1/13	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江
246-250	1/16	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江
251-255	1/17	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹,

			護ケア開発学分野)			湯本 淑江
256-260	1/19	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江
261-265	1/20	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江
266-270	1/23	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江
271-275	1/24	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江
276-280	1/26	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江
281-285	1/27	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江
286-290	1/30	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江
291-295	1/31	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江
296-300	2/2	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江
301-305	2/3	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江
306-307	2/7	13:00-16:10	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江

授業内容

(詳細については実習要項参照)

成績評価の方法

1)出席状況

2)実習への取組態度

3)看護計画等の記録物の内容

4)課題レポート

成績評価の基準

1)出席状況 25% *必要出席日数は本学試験規則に準じ、全実習日数の3/4以上。

2)実習への取組態度 10%

3)看護計画等の記録物の内容・提出期限の順守 40%

4)課題レポートの内容・提出期限の順守 25%

上記1)～4)の配分を基本に総合的に評価する。

提出期限を守らない場合、減点の対象となる。繰り返し提出期限を過ぎる場合は、成績評価の対象としない。

総合得点が 60 点以上の者を合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

実習初日の学内演習で、受け持ち患者が概ね決定するため、関連する疾患などを自己学習する必要がある。老年期の患者は疾患が多いため、前期の講義などで疾病、薬剤、検査、アセスメントなどの基礎知識を押さえておくことで、実習が順調に進む。学習の資料には、下記参考書、前期の「老年看護学」授業資料などを用いるとよい。

参考書

ユマニチュード入門／本田美和子, イヴ・ジネスト, ロゼット・マレスコッティ 著,:医学書院, 2014

図解・症状からみる老いと病気とからだ／高橋龍太郎 著,:中央法規出版, 2002

高齢者の看護技術 : カラー写真で学ぶ／大塚眞理子 編著,:医歯薬出版, 2012

エビデンスに基づく症状別看護ケア関連図／阿部俊子 監修,小板橋喜久代, 山本則子 編集,:中央法規出版, 2013

高齢者排尿障害マニュアル : より適切な対応をめざして／老人泌尿器科学会 編,:メディカルレビュー社, 2002

高齢者介護施設の褥瘡ケアガイドライン／高齢者施設における褥瘡ケアガイドライン作成委員会 編,:中央法規出版

整形外科／加藤光宝 編.：中央法規出版, 2011

高次脳機能障害学／石合純夫 著,：医歯薬出版, 2012

備考

ツイッター等のソーシャルメディアへの投稿に対する注意事項について

実習で知り得た患者や住民の情報を、無断で外部に持ち出したり、不用意に公の場で話したり、ソーシャルメディア（ツイッター、ブログ、ソーシャルネットワーキングサービス、動画共有サイトなど）に発信してはならない。諸君の軽率な行動が、個人情報の漏洩や、個人の尊厳・感情を傷つけることにつながり、受け入れ先をはじめ多くの人に迷惑をかけることになる。いったん拡散した情報は取り消すことができないので、情報の取り扱いに注意すること。

2021 年度の授業評価結果を踏まえ、2022 年度も引き続き、丁寧に指導・教育できる体制を整える。

実習期間中は、上記時間割日程に含まれていない日程であっても実習を行う可能性がある。

（例：10 月 18・20・21、11 月 15・17・18 日、12 月 12・13・15・16 日、1 月 30・31、2 月 2・3 日）

連絡先（メールアドレス）

緒方　泰子:yogata.gh@tmd.ac.jp　3 号館 19 階

佐々木　美樹:m-sasaki.gh@tmd.ac.jp

湯本　淑江:yumoto.gh@tmd.ac.jp

オフィスアワー

緒方　泰子:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

佐々木　美樹:オフィスアワーは特に定めないが，事前にアポイントをとったうえで訪問してください。

連絡先メール：m-sasaki.gh@tmd.ac.jp

時間割番号	012053				
科目名	地域保健看護学Ⅱ			科目ID	MN-332400-L
担当教員	月野木 ルミ, 津田 紫緒[TSUKINOKI Rumi, TSUDA SHIO]				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	3	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Community Health Nursing Ⅱ

【科目責任者】：月野木 ルミ

主な講義場所

・遠隔授業（Zoom 同期型）

・保健衛生学講義室 2（3 号館 8 階）ほか

別途指示する

授業の目的、概要等

地域看護・公衆衛生看護の対象を、個人、家族や集団、地区組織の枠組みで理解する。その基礎となる家族看護学等の理論と支援の実際を講義およびグループワークなどを活用したアクティブラーニングを通して学ぶ。

授業の到達目標

1）「1-8 回」家族看護学等の理論体系と実際の家族支援、集団・地域支援について理解する。

2）「3-4,8 回」乳幼児から高齢者までを対象とする地域看護・公衆衛生看護の場面においてみられる多様な家族像を理解し、その家族の健康課題を把握し，看護の支援の方法を理解する。また、家族アセスメントの方法を理解する。

3）「1,5-7 回」地区組織活動の考え方、地域における集団支援、地域づくりにおける実際について理解する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/15	10:30-12:00	遠隔授業（同期型）	地域保健看護学Ⅱ	家族および家族看護学の概念と理論	月野木 ルミ, 津田 紫緒
2	4/15	13:00-14:30	遠隔授業（同期型）	地域保健看護学Ⅱ	家族および家族看護学の概念と理論	月野木 ルミ, 津田 紫緒
3	5/13	10:30-12:00	遠隔授業（同期型）	地域保健看護学Ⅱ	家族の健康課題に応じた家族支援	津田 紫緒
4	5/13	13:00-14:30	遠隔授業（同期型）	地域保健看護学Ⅱ	家族に対する支援の実際	津田 紫緒
5	5/20	08:50-10:20	遠隔授業（同期型）	地域保健看護学Ⅱ	地区組織活動の実際1：文京区社会福祉協議会	榎本 涼子
6	5/20	10:30-12:00	遠隔授業（同期型）	地域保健看護学Ⅱ	地区組織活動の実際2：文京区社会福祉協議会	根本 真紀
7	5/27	08:50-10:20	遠隔授業（同期型）	地域保健看護学Ⅱ	地域のおける集団・組織支援の概論とまとめ	月野木 ルミ
8	6/8	08:50-10:20	遠隔授業（同期型）	地域保健看護学Ⅱ	保健師の行う家族支援の実際	菊池 宏幸

授業方法

講義形式の授業に加え、グループワーク・プレゼンテーションおよび事例や統計資料を活用した学習展開を学生が主体的に行う。

授業内容

授業は以下の方法で行う。

1.講義：事前または講義開始時に示す資料を基づく講義（対面・遠隔同期型）を行う。

2.グループワーク：グループに分かれ事前または授業中に示す課題について討議し、その結果を学生間で共有する。また学習成果をまとめて、個人、グループ単位で提出する。

3.課題レポート：事前に示す課題について、資料収集・整理の上、考察を加え提出する。

成績評価の方法

以下の項目について総合的に評価を行う。

1）出席状況

・対面授業への出欠、Zoom ログイン記録から確認する参加状況。

2）課題への取り組み姿勢・授業への参加態度

・授業中の取り組みや反応を評価するため、原則 Zoom のカメラはオンとする。

・授業中の発言状況、グループワーク・資料の作成・プレゼンテーションへの責任ある参加状況を評価する。

3）課題レポート

・レポートの期限内提出状況・内容により評価する。

成績評価の基準

1)出席状況(欠席、遅刻等を減点)

2)課題への取り組み姿勢・授業への参加態度や(30%)

3)課題レポート(70%)

上記 1)～3)の成績評価の方法に示す各項目の成績の合計により評価を行い、100 点満点中 60 点以上を合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

授業内容の理解を深めるため、次回の講義で取り扱う資料や教科書の該当箇所(参考書を含む)を事前に読んでおくこと。また、事後学習として、授業で学んだことについて、資料を用いてふりかえる振り返ることが望ましい。

試験の受験資格

本科目では定期試験は実施しない。

教科書

公衆衛生看護学／上野昌江, 和泉京子編,上野, 昌江,和泉, 京子,:中央法規出版, 2016

(DVD)地域看護活動とヘルスプロモーション/続・地域看護活動とヘルスプロモーション(丸善出版株式会社)

参考書

家族看護学 : 理論と実践 第 5 版／鈴木和子, 渡辺裕子, 佐藤律子著,鈴木, 和子(看護学),渡辺, 裕子,佐藤, 律子,:日本看護協会出版会, 2019

家族生活力量モデル:アセスメントスケールの活用法／家族ケア研究会 編著:医学書院, 2002

家族看護学:理論とアセスメント／Marilyn M. Friedman 著、野嶋佐由美 監訳:へるす出版, 1993

地域看護学講座2 家族ケア(第 2 版)／島内節 編:医学書院, 1999

国民衛生の動向 2021/2022 (厚生の指標 2021 年 8 月増刊)／国民衛生の動向 2021/2022 (厚生の指標 2021 年 8 月増刊):中央法規出版, 2021-08

保健師業務要覧／井伊久美子, 勝又浜子, 森永裕美子, 荒木田美香子, 坂本真理子, 村嶋幸代 編,井伊, 久美子,勝又, 浜子,森永, 裕美子,荒木田, 美香子,坂本, 真理子, 看護学,村嶋, 幸代, 1951-,:日本看護協会出版会, 2021

公衆衛生看護学 第3版／上野 昌江 編集,和泉 京子 編集,上野 昌江,和泉 京子,:中央法規出版, 2021-12-13

他科目との関連

本科目は地域保健看護学Ⅰのほかに母性看護、小児看護、成人看護、老年看護の発達段階別看護領域すべてに関連する。関連科目の学習を振り返りつつ、家族看護、地域の視点で統合することが必要である。

履修上の注意事項

1)原則として、授業中の入退室は認めない。 2)授業中にスクリーン、Zoom 等の画面を撮影することを禁止する。 3)講義資料等を、受講登録者以外に配布・公開することを禁止する。 4)WebClass やメールを通じた資料配布・連絡を行う場合があるので、担当教員の指示に従い確認すること。 5)授業日時・内容(順序等)・方法は変更することがある。

連絡先(メールアドレス)

月野木 ルミ:r-tsukinoki.phn@tmd.ac.jp

津田 紫緒:3 号館 19 階地域保健看護学研究室 2 03-5803-4573 tsuda.phn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

月野木 ルミ:火、木曜:12-13 時 3 号館 19 階

津田 紫緒:アポイントをとった上で随時実施

時間割番号	012054				
科目名	在宅看護学Ⅱ			科目ID	MN-332500-L
担当教員	福井　小紀子, 野口　麻衣子[FUKUI Sakiko, NOGUCHI Maiko]				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	3	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Home Care Nursing Ⅱ

【科目責任者】福井　小紀子

主な講義場所

Zoom、もしくは講義室1

授業の目的、概要等

在宅看護を支える制度や社会情勢の動向を捉え、施設と地域の連携、看看連携、多職種連携、ケアや病院マネジメントの実際から看護の役割を理解する。

授業の到達目標

この科目では、広く保健医療福祉の制度や社会情勢の動向を考慮したうえで、施設と地域の連携、看護職連携、他職種連携等のケアコーディネートの理論と実践を理解し、看護職の役割と実際を説明できることが求められる。

なお、授業に臨むにあたっては、当該日に扱う内容に関連していると考える既習科目の資料やテキストを用いて復習しておくことが求められる。さらに、それらについて地域で生活する人々の視点で自身の考えを整理するため、教科書「地域・在宅看護論」および「関連図で理解する在宅看護過程」に目を通して確認しておくことが望ましい。

①在宅ケアを支える保険医療福祉の仕組みについて既習の知識から説明できる。
②地域包括ケアシステムの概念を理解し、実際について説明できる。
③医療保険、介護保険及び公費医療を説明できる。
④在宅療養者の生活を支える外来看護の役割を知り、看護のあり方を考察し、説明できる。
⑤在宅療養者の生活を支える入退院支援看護師の役割を知り、看護のあり方を考察し、説明できる。
⑥地域で生活する人々へのケアを予防的看護の視点から説明できる。
⑦在宅看護における倫理的課題とその対応方法を例を挙げて説明できる。
⑧在宅看護におけるリスクマネジメントの特徴を例を挙げて説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/14	08:50-10:20	保健衛生学科講義室1	在宅看護学Ⅱ	在宅ケアを支える法制度・社会のしくみ	福井　小紀子, 野口　麻衣子
2	4/14	10:30-12:00	保健衛生学科講義室1	在宅看護学Ⅱ	病院マネジメントから見た多職種連携	福井　小紀子, 野口　麻衣子, 橋口　猛志
3	4/22	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	在宅看護学Ⅱ	(仮)小児・医療的ケア児への在宅での看護	福井　小紀子, 野口　麻衣子, 谷口　由紀子
4	4/22	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	在宅看護学Ⅱ	ケアマネジメントの理論と実際	福井　小紀子, 野口　麻衣子, 石山　麗子
5	4/28	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	在宅看護学Ⅱ	看護職による起業	福井　小紀子, 野口　麻衣子, 高丸　慶
6	4/28	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	在宅看護学Ⅱ	(仮)医療法人・社会福祉法人の立場からの地域包括	福井　小紀子, 野口　麻衣子, 大田　章子
7	5/19	08:50-10:20	保健衛生学科講義室1	在宅看護学Ⅱ	(仮)訪問診療医からみた在宅医療の現状と看護職への期待	福井　小紀子, 野口　麻衣子, 長嶺　由衣子
8	5/19	10:30-12:00	保健衛生学科講義室1	在宅看護学Ⅱ	医療施設等との連携・協働の実際	福井　小紀子, 野口　麻衣子, 菅野　人美

授業方法

授業は以下のように行う。

1) 授業には、授業明細に示された範囲について事前に予習をしてから臨むことが必要である。

2)講義:講義は、各回の中で重要なこと、発展的なことを中心に行う。基本的なことで、教科書を見れば簡単にわかるようなことは自習に任せる。必要に応じでグループディスカッションを取り入れ、理解を深める。講義の資料については、講義前に PDF を Webclass にあげて

おくので授業前に必ず目を通しておく。
3)リアクションペーパー:Webclass に提示する項目に、授業終了後回答、送信してもらう。講義への関心、講義内容の理解については、講義内容の改善に役立てる。また、学んだことの概要や、講義への感想・意見を整理することは、復習や自己の課題を見出す助けとなる。

授業内容

授業内容な授業スケジュールに示してある。
各回の授業では、授業内容の解説、討議、リアクションペーパーで示された内容についての質疑応答を行う。

成績評価の方法

在宅看護学Ⅱは、以下の 3 つの項目で評価を行う。なお、重要項目のうち、専門分野では英単語を用いることが想定されるものについては、英文による問題もありうる。
1) 定期試験:60%;全体で 6 割以上の得点を必須とする。授業全般のうち、重要事項について知識と応用を問う問題を出題する。試験は、授業中に示した症例または同レベル程度のものを理解し、説明できることが必要となる。
2) 授業中の討議後に課される課題:20%;グループで討議した内容について、グループごとに課題を提出する。グループメンバー全員で確認のうえで提出されたものとする。提示された締め切り日までに提出すること。締め切りを過ぎた場合には未提出の扱いとする。
3)出席状況:20%

成績評価の基準

上記の成績評価の方法に示す各項目の成績の合計(60 点未満:不合格、60－69 点:可、70－79 点:良、80－89 点:優、90 点:秀)により評価を行う。小テスト、試験問題、課題は、授業の達成目標に達しているかを評価し、そのことが確認されたところで合格とする。
なお、リアクションペーパーにおいて、授業で提供した内容以上の深い学びや、重要な指摘などがあった場合には、最終評価において加点されることがある。

準備学習等についての具体的な指示

達成目標や授業内容の中に具体的に示されている項目について、準備してから授業に臨むことが求められる。WebClass にあらかじめ授業資料や課題、学習に必要情報をアップロードするので、各自ダウンロード等し、講義までに目を通しておくこと。
授業前に習得が必要な課題については、事前課題として提示するため、WebClass の該当項目を定期的に確認すること。課題に取り組んでいる際に生じた疑問については、自身の見解を整理し、解決すべき点を明確にして授業に参加すること。
介護保険等の法制度に関しては、2 年次「保健医療福祉制度論」の学習内容を振り返り、参考書等の関連資料に目を通しておくこと。
在宅看護過程については、教科書1の第Ⅰ・Ⅱ章をよく読んでおくこと。

試験の受験資格

次のすべてが、前期の定期試験ならびに追・再試験を受験する資格となる。
授業日程の3分の2以上の出席が認められた者に試験受験資格を与える。授業参加状況は、リアクションペーパーに記載された内容で確認する。授業内容の計 8 回の授業に参加し、課される課題を提示された期限までに提出すること。
なお、Zoom の場合は、出席は講義の最初から最後まで参加しているログが確認できた場合とする。
特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や、授業に参加できない場合には、その事情とともに、締め切り期日が過ぎる前、ならびに授業が始まる前までに科目責任者または医学教務係にメールのように日時の記録が残る形で連絡することを必須とする。なお、急の場合には電話でもよいが、その後にメールはすること。連絡ができないような特別な事情があったと後で判断された場合には、その限りではない。
これらの十分な対応が行われていたと判断された場合には、事情等に応じてレポート等での対応を行うこととする。

教科書

地域・在宅看護論[1] 地域・在宅看護の基盤 第 6 版／河原 加代子 著・文・その他,河原 加代子,:医学書院, 2022-02-28
地域・在宅看護論[2] 地域・在宅看護の実践 第 6 版／河原 加代子 著・文・その他,河原 加代子,:医学書院, 2022-02-28

参考書

写真でわかる訪問看護アドバンス : 訪問看護の世界を写真と動画で学ぶ!／押川真喜子監修,押川, 真喜子,:インターメディカ, 2020
:インターメディカ

他科目との関連

2年次に学習した在宅看護学Ⅰをさらに発展させ、訪問看護における看護過程やケアマネジメントを学ぶことにより、在宅看護学実習での療養者への支援の展開につながる科目である。

備考

2021 年度の授業内容の構成を見直した。

連絡先(メールアドレス)

福井 小紀子:fukuisakiko.chn@tmd.ac.jp
野口 麻衣子:noguchimaiko.chn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

福井　小紀子:毎週水曜日 AM10:00-12:00　3 号館 19 階福井教授室

野口　麻衣子:毎週月曜日　12時～13時　3号館18階在宅ケア看護学研究室

時間割番号	012055				
科目名	在宅看護学演習			科目ID	MN-352600-S
担当教員	福井　小紀子, 野口　麻衣子[FUKUI Sakiko, NOGUCHI Maiko]				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	3	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Seminar of Home Care Nursing

【科目責任者】福井　小紀子

主な講義場所

Zoom、または講義室1

授業の目的、概要等

療養者の状態が多様化する在宅看護の現状に対応するよう、訪問看護における援助技術、および具体的な看護の展開を学ぶ。

授業の到達目標

この科目では、保健医療福祉の領域、特に地域で生活する人々、自宅で療養生活を送る人々への看護で必要とされるフィジカルアセスメント、呼吸管理、コミュニケーション技術、リハビリテーション技術、摂食嚥下、褥瘡等に関する技術の根拠と実際について理解し、個別の状況に合わせたケアの実際と具体的看護援助の方法を説明できることが求められる。

なお、授業に臨むにあたっては、当該日に扱う看護技術についての既習科目での資料やテキストを用いて復習しておくことが求められる。さらに、教科書に目を通し、看護のポイントを整理しておくことが望ましい。

①演習を通じて在宅での援助技術のポイントを整理し説明できる。

②コミュニケーションスキルトレーニング(CST)を受け、ポイントを説明できる。

③難病療養者の呼吸管理の目的と特徴を知り、コミュニケーションの基礎知識と技術を提示できる。

④在宅療養者の摂食嚥下の援助の目的と特徴を知り、理論と実践を説明できる。

⑤在宅における摂食嚥下機能の評価方法と仕組みについて説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	5/27	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	在宅看護学演習	オリエンテーション・看護過程事例　(事例の提示、記録様式・フェイスシート等の説明も含む)	福井　小紀子, 野口　麻衣子
2-3	6/3	08:50-12:00	看護学実習室2, 看護学実習室4, 保健衛生学科講義室1	在宅看護学演習	コミュニケーション・スキル・トレーニング	福井　小紀子, 野口　麻衣子
4-5	6/10	08:50-12:00	看護学実習室2, 看護学実習室4, 保健衛生学科講義室1	在宅看護学演習	看護過程①②　ロールプレイ演習 初回訪問	福井　小紀子, 野口　麻衣子
6	6/10	13:00-14:30	看護学実習室2, 看護学実習室4, 保健衛生学科講義室1	在宅看護学演習	科学技術と在宅看護の融合	福井　小紀子, 野口　麻衣子
7	6/10	14:40-16:10	看護学実習室2, 看護学実習室4, 保健衛生学科講義室1	在宅看護学演習	ビッグデータでみる在宅看護	福井　小紀子, 野口　麻衣子
8-9	6/17	08:50-12:00	看護学実習室2, 看護学実習室4, 保健衛生学科講義室1	在宅看護学演習	看護過程③④グループワーク 修正、看護計画策定	福井　小紀子, 野口　麻衣子
10-11	6/17	13:00-16:10	看護学実習室2, 看護学実習室4, 保健衛生学科講義室1	在宅看護学演習	難病療養者の呼吸管理(人工呼吸療法)・コミュニケーション方法	福井　小紀子, 野口　麻衣子, 中山　優季
12-13	6/24	08:50-12:00	保健衛生学科講義室2, 保健衛生学科講義室3, 看護学実習室2,	在宅看護学演習	在宅療養者の摂食嚥下の援助: 理論と実際	福井　小紀子, 野口　麻衣子, 戸原　玄

			看護学実習室4			
14-15	6/24	13:00-16:10	保健衛生学科講義室2, 保健衛生学科講義室3, 看護学実習室2, 看護学実習室4	在宅看護学演習	看護過程⑤⑥ロールプレイ演習 計画を実施、再度ロールプレイ	福井 小紀子, 野口 麻衣子

授業方法

授業は以下のように行う。

1)授業には、授業明細に示された範囲について事前に予習をしてから臨むことが必要である。

2)講義:演習の前に講義を行う。講義は、各回の中で重要なこと、発展的なことを中心に行う。基本的なことで、教科書を見れば簡単にわかるようなことは自習に任せる。講義の資料については、講義前に PDF を Webclass にあげておくので授業前に必ず目を通しておく。

3)演習:数人のグループに分かれて行う。グループメンバー一個々が積極的に参加し、役割を遂行できるよう互いに協力し合う。

4)リアクションペーパー:Webclass に提示する項目に、授業終了後回答、送信してもらう。講義への関心、講義内容の理解については、講義内容の改善に役立てる。また、学んだことの概要や、講義への感想・意見を整理することは、復習や自己の課題を見出す助けとなる。

授業内容

授業内容な授業スケジュールに示してある。

各回の授業では、授業内容の解説、討議、リアクションペーパーで示された内容についての質疑応答を行う。

成績評価の方法

成績評価の方法

在宅看護学演習は、以下の 2 つの項目で評価を行う。なお、重要項目のうち、専門分野では英単語を用いることが想定されるものについては、英文による問題もありうる。

1)定期試験:60%;全体で 6 割以上の得点を必須とする。授業全般のうち、重要事項について知識と応用を問う問題を出題する。試験は、授業中に示した症例または同レベル程度のものを理解し、説明できることが必要となる。

2)授業中の討議後に課される課題:20%;グループで討議した内容について、グループごとに課題を提出する。グループメンバー全員で確認のうえで提出されたものとする。提示された締め切り日までに提出すること。締め切りを過ぎた場合には未提出の扱いとする。

3)出席状況:20%

成績評価の基準

上記の成績評価の方法に示す各項目の成績の合計(60 点未満:不合格、60－69 点:可、70－79 点:良、80－89 点:優、90 点:秀)により評価を行う。試験問題、課題は、授業の達成目標に達しているかを評価し、そのことが確認されたところで合格とする。

なお、リアクションペーパーにおいて、授業で提供した内容以上の深い学びや、重要な指摘などがあった場合には、最終評価において加点されることがある。

準備学習等についての具体的な指示

達成目標や授業内容の中に具体的に示されている項目について、準備してから授業に臨むことが求められる。WebClass にあらかじめ授業資料や課題、学習に必要情報をアップロードするので、各自ダウンロード等し、講義までに目を通しておくこと。

授業前に習得が必要な課題については、事前課題として提示するため、WebClass の該当項目を定期的に確認すること。課題に取り組んでいる際に生じた疑問については、自身の見解を整理し、解決すべき点を明確にして授業に参加すること。

試験の受験資格

次のすべてが、前期の定期試験ならびに追・再試験を受験する資格となる。

授業日程の3分の2以上の出席が認められた者に試験受験資格を与える。授業参加状況は、リアクションペーパーに記載された内容で確認する。授業内容の計 15 回の授業に参加し、課される課題を提示された期限までに提出すること。

なお、Zoom の場合は、出席は講義の最初から最後まで参加しているログが確認できた場合とする。

特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や、授業に参加できない場合には、その事情とともに、締め切り期日が過ぎる前、ならびに授業が始まる前までに科目責任者または医学教務係にメールのように日時の記録が残る形で連絡することを必須とする。なお、急の場合には電話でもよいが、その後にメールはすること。連絡ができないような特別な事情があったと後で判断された場合には、その限りではない。

これらの十分な対応が行われていたと判断された場合には、事情等に応じてレポート等での対応を行うこととする。

教科書

地域・在宅看護論[1] 地域・在宅看護の基盤 第 6 版／河原 加代子 著・文・その他,河原 加代子,:医学書院, 2022-02-28

地域・在宅看護論[2] 地域・在宅看護の実践 第 6 版／河原 加代子 著・文・その他,河原 加代子,:医学書院, 2022-02-28

参考書

写真でわかる訪問看護アドバンス : 訪問看護の世界を写真と動画で学ぶ!／押川真喜子監修,押川, 真喜子,:インターメディカ, 2020

他科目との関連

既習科目はすべて関連するが、特に、在宅看護学Ⅰ・Ⅱ、各分野の演習については、本科目の基礎となるものであるため十分に復習し、活用する。

履修上の注意事項

在宅看護学演習はグループで行うことが多いため、出席が必要となる。 授業資料はすべて著作物であるため、著作権の関係上、SNS等での流出等がないよう細心の注意をする。 授業日程等は変更の可能性があるため、WebClass、メール等を確認すること。

備考

2021 年度の授業内容の構成を見直した。

連絡先(メールアドレス)

福井 小紀子:fukuisakiko.chn@tmd.ac.jp

野口 麻衣子:noguchimaiko.chn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

福井 小紀子:毎週水曜日 AM10:00-12:00 3 号館 19 階福井教授室

野口 麻衣子:毎週月曜日 12時～13時 3号館18階在宅ケア看護学研究室

時間割番号	012056				
科目名	在宅看護学実習			科目ID	MN-372700-E
担当教員	福井　小紀子, 野口　麻衣子[FUKUI Sakiko, NOGUCHI Maiko]				
開講時期	2022 年度後期	対象年次	3	単位数	2
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Practice of Home Care Nursing

【科目責任者】福井　小紀子

主な講義場所

Zoom もしくは教室、配置された実習場

授業の目的、概要等

在宅療養者と家族に対する在宅ケアの実際と展開方法を知り、その地域包括ケアシステムにおいて活動する看護職の役割を学ぶ。

授業の到達目標

この科目では、地域で生活する人々、自宅で療養生活を送る人々とその家族への在宅ケアの実際と看護展開を学ぶため、3つの場で実習し、看護職の役割を説明できることが求められる。

なお、実習に臨むにあたっては、既習科目での資料やテキストを用いて知識と看護技術の確認をしておくことが求められる。

1) 訪問看護実習

① 訪問看護利用者とその家族の療養上の問題をアセスメントすることができる。

② 訪問看護利用者と家族に必要な看護を見出し、看護計画を立案できる。

③ 同行訪問と事例検討により在宅での看護提供の実際を説明することができる。

④ 在宅療養に必要な社会資源の活用および多職種連携について説明することができる。

2) 地域包括実習

① 介護保険制度を含む保険医療福祉制度に関連する制度の仕組みを説明することができる。

② 地域包括支援に関する具体的ケア提供の方法を説明することができる。

③ 療養者を取り巻く関係施設や各専門職との連携、マネジメントについて説明することができる。

3) 入退院支援実習

① 在宅療養を基盤とする療養者の病院入院中の退院に向けての準備の実際を説明できる。

② 退院時に支援が必要となる療養者の在宅療養上の課題を挙げて説明することができる。

③ 退院に向けての支援活動に関わる多職種の役割を説明することができる。

④ 施設間連携、多職種連携における看護職の位置づけ、および療養者支援における看護の役割を理解できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/21	08:00-17:00	保健衛生学科講義室 2	在宅看護学実習オリエンテーション	詳細については実習要項参照	福井　小紀子, 野口　麻衣子
2	9/26	08:00-17:00	看護学実習室 3, その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井　小紀子, 野口　麻衣子
3	9/27	08:00-17:00	看護学実習室 3, その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井　小紀子, 野口　麻衣子
4	9/29	08:00-17:00	看護学実習室 3, その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井　小紀子, 野口　麻衣子
5	9/30	08:00-17:00	看護学実習室 3, その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井　小紀子, 野口　麻衣子
6	10/3	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井　小紀子, 野口　麻衣子
7	10/4	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井　小紀子, 野口　麻衣子
8	10/6	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井　小紀子, 野口　麻衣子

9	10/7	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子, 野口 麻衣子
10	10/11	08:00-17:00	看護学実習室3, その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子, 野口 麻衣子
11	10/13	08:00-17:00	看護学実習室3, その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子, 野口 麻衣子
12	10/14	08:00-17:00	看護学実習室3, その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子, 野口 麻衣子
13	10/17	08:00-17:00	看護学実習室3, その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子, 野口 麻衣子
14	10/18	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子, 野口 麻衣子
15	10/20	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子, 野口 麻衣子
16	10/21	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子, 野口 麻衣子
17	10/24	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子, 野口 麻衣子
18	10/25	08:00-17:00	看護学実習室3, その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子, 野口 麻衣子
19	10/27	08:00-17:00	看護学実習室3, その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子, 野口 麻衣子
20	10/28	08:00-17:00	看護学実習室3, その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子, 野口 麻衣子
21	10/31	08:00-17:00	看護学実習室3, その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子, 野口 麻衣子
22	11/1	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子, 野口 麻衣子
23	11/4	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子, 野口 麻衣子
24	11/7	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子, 野口 麻衣子
25	11/8	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子, 野口 麻衣子
26	11/10	08:00-17:00	看護学実習室3, その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子, 野口 麻衣子
27	11/11	08:00-17:00	看護学実習室3, その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子, 野口 麻衣子
28	11/14	08:00-17:00	看護学実習室3, その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子, 野口 麻衣子
29	11/15	08:00-17:00	看護学実習室3, その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子, 野口 麻衣子
30	11/17	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子, 野口 麻衣子
31	11/18	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子, 野口 麻衣子
32	11/21	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子, 野口 麻衣子
33	11/24	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要	福井 小紀子, 野口 麻衣子

					項参照	
34	11/25	08:00-17:00	看護学実習室4, その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子, 野口 麻衣子
35	11/28	08:00-17:00	看護学実習室4, その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子, 野口 麻衣子
36	11/29	08:00-17:00	看護学実習室4, その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子, 野口 麻衣子
37	12/1	08:00-17:00	看護学実習室4, その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子, 野口 麻衣子
38	12/2	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子, 野口 麻衣子
39	12/5	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子, 野口 麻衣子
40	12/6	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子, 野口 麻衣子
41	12/8	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子, 野口 麻衣子
42	12/9	08:00-17:00	看護学実習室4, その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子, 野口 麻衣子
43	12/12	08:00-17:00	看護学実習室4, その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子, 野口 麻衣子
44	12/13	08:00-17:00	看護学実習室4, その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子, 野口 麻衣子
45	12/15	08:00-17:00	看護学実習室4, その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子, 野口 麻衣子
46	12/16	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子, 野口 麻衣子
47	1/10	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子, 野口 麻衣子
48	1/11	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子, 野口 麻衣子
49	1/12	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子, 野口 麻衣子
50	1/13	08:00-17:00	看護学実習室3, その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子, 野口 麻衣子
51	1/16	08:00-17:00	看護学実習室3, その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子, 野口 麻衣子
52	1/17	08:00-17:00	看護学実習室3, その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子, 野口 麻衣子
53	1/19	08:00-17:00	看護学実習室3, その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子, 野口 麻衣子
54	1/20	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子, 野口 麻衣子
55	1/23	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子, 野口 麻衣子
56	1/24	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子, 野口 麻衣子
57	1/26	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子, 野口 麻衣子

58	1/27	08:00-17:00	看護学実習室3, その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子, 野口 麻衣子
59	1/30	08:00-17:00	看護学実習室3, その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子, 野口 麻衣子
60	1/31	08:00-17:00	看護学実習室3, その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子, 野口 麻衣子
61	2/2	08:00-17:00	看護学実習室3, その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子, 野口 麻衣子
62	2/3	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子, 野口 麻衣子
63	2/6	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子, 野口 麻衣子

授業方法

実習は以下のように行う。実習方法の詳細については、実習要項参照のこと。

1) 訪問看護実習:訪問看護ステーションにて 4 日間の実習を行う。実習施設の事例を通して、訪問看護の実際を学ぶ。1例の訪問看護計画を立案する。

2) 地域包括実習:地域包括支援センターにて 2 日間の実習を行う。実習中は、担当者(主任ケアマネジャー、保健師・看護師、社会福祉士等)の活動の見学を通して学ぶ。併設施設での活動についても積極的に見学し、実地指導者と相談の上事業等にも参加する。

3) 入退院支援実習:実地指導者の業務に合わせて、入退院に関する活動を見学する。退院に向けての療養上の課題を見出し、支援計画を立案する。

4) カンファレンス等:実習施設で実施されるミーティングやカンファレンスには接触的に参加する。各実習の最終日には学生主体のカンファレンスを実地指導や、教員参加のもと開催し、自身の学びと意見と述べる。

5) 実習記録:日々の実習目標や学びを記載する記録、看護過程展開に関する記録、レポート等、実習に必要な記録用紙は、あらかじめ Webclass に提示する。実習記録は実習後の評価面接までを期日にすべて提出する。

6) 評価面接:実習終了後、教員との評価面接にて実習全体の振り返りをする。それにより自身の今後の課題を見出す助けとなる。

授業内容

＊ 詳細については実習要項参照

成績評価の方法

在宅看護学実習は、以下の項目で評価を行う。

出席:4分の3以上の出席が認められた者を評価対象とする。

実習への取り組みの姿勢と態度:20%;日々の実習目標や学びを記した日誌を毎日提出する。提出された内容と実地指導者より得られた情報から評価する。

カンファレンスへの参加状況:20%;カンファレンス開催に向けての準備や当日の発言内容から評価する。

実習記録内容:40%;実習目標に照らし合わせて評価する。

評価面接:20%;自己評価表をもとに、実習全体の振り返りから実習目標の達成状況を評価する。

成績評価の基準

上記の成績評価の方法に示す各項目の成績の合計(60 点未満:不合格、60－69 点:可、70－79 点:良、80－89 点:優、90 点:秀)により評価を行う。実習の達成目標に達しているかを評価し、そのことが確認されたところで合格とする。

なお、レポートにおいて、実習で学んだことを中心に、文献等を用いて考察を深め、提供した実習内容以上の学びがあった場合には、最終評価において加点されることがある。欠席については、減点の対象になることがある。

準備学習等についての具体的な指示

在宅看護学Ⅰ、Ⅱ、演習の学習で用いた資料を見直し、保健医療福祉の制度や様々な場で働く看護の役割、看護技術について復習して、実習に臨むことが求められる。看護過程の展開については、授業で用いた資料や教科書に示されていてる事例を用いて、自身で看護過程の展開をし直し、理解が曖昧な部分について確認しておくことが望ましい。WebClass にあらかじめ実習で用いるアセスメント用紙をアップロードするので、有効活用する。

実習室を使用して看護技術の練習を希望する場合は、、教員へ申し出ること。

試験の受験資格

在宅看護学実習は、一部 Zoom、その他対面で行われるが、これには必ず出席すること。実習参加状況については、日々提出する日誌にて確認し、提出されない場合には、以後の実習への参加は認めない。

出席は Zoom の場合には、開始時一人ひとり呼名にて確認する。

無断欠席や、無断早退があった場合には、出席の要件を満たさないとみなすことがある。2 度までは警告する。特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や、実習に参加できない場合には、その事情とともに、締め切り期日が過ぎる前、ならびに実習が始まる前までに科目責任者もしくは担当教員にメールのように日時の記録が残る形で連絡することを必須とする。なお、急の場合には電話でもよいが、その後にメールはすること。連絡ができないような特別な事情があったと後で判断された場合には、その限りではない。

これらの十分な対応が行われていたと判断された場合には、事情等に応じてレポート等での対応を行うこととする。

教科書

地域・在宅看護論[1] 地域・在宅看護の基盤 第 6 版／河原 加代子 著・文・その他,河原 加代子,:医学書院, 2022-02-28

地域・在宅看護論[2] 地域・在宅看護の実践 第 6 版／河原 加代子 著・文・その他,河原 加代子,:医学書院, 2022-02-28

参考書

写真でわかる訪問看護アドバンス : 訪問看護の世界を写真と動画で学ぶ!／押川真喜子監修,押川, 真喜子,:インターメディカ, 2020

履修上の注意事項

宅看護学実習は実地での学びを中心とするため、出席が必要となる。

備考

ツイッター等への投稿に対する注意事項について

実習で知り得た患者や住民の情報を、無断で外部に持ち出したり、不用意に公の場で話したり、ソーシャルメディア（ツイッター、ブログ、ソーシャルネットワーキングサービス、動画共有サイトなど）に発信してはならない。諸君の軽率な行動が、個人情報の漏洩や、個人の尊厳・感情を傷つけることにつながり、受け入れ先をはじめ多くの人に迷惑をかけることになる。いったん拡散した情報は取り消すことができないので、情報の取り扱いに注意すること。

連絡先（メールアドレス）

福井 小紀子:fukuisakiko.chn@tmd.ac.jp

野口 麻衣子:noguchimaiko.chn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

福井 小紀子:毎週水曜日 AM10:00-12:00 3 号館 19 階福井教授室

野口 麻衣子:毎週月曜日 12時～13時 3号館18階在宅ケア看護学研究室

第４学年

2022年度時間割（看護学専攻：第4学年）

2022.3.30

（前期）　　・・・保健師コースを選択する者のみが履修する科目　　・・・保健師コースを選択しない者が履修する科目

			8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
3/28	月																	
29	火																	
30	水																	
31	木																	
4/1	金																	

①			8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
4/4	月	総合実習Ⅱ																
5	火	総合実習Ⅱ				国際保健看護学(1)	同期型(zoom)											
6	水	総合実習Ⅱ				卒業論文Ⅱ(1)												
7	木	総合実習Ⅱ				看護の統合と実践Ⅱ(1)	同期型(zoom)			地域保健看護学Ⅲ(1)	同期型(zoom)		地域保健看護学Ⅲ(2)	同期型(zoom)				
8	金	総合実習Ⅱ																

②			8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
4/11	月	総合実習Ⅱ				産業保健学(1)	同期型(zoom)			地域保健看護学Ⅲ(3)	同期型(zoom)		地域保健看護学Ⅲ(4)	同期型(zoom)		総合実習Ⅰ・Ⅱオリエンテーション	同期型(zoom)	
12	火	総合実習Ⅱ	国際保健看護学(2)	同期型(zoom)		国際保健看護学(3)	同期型(zoom)			健康教育学演習(1)	同期型(zoom)		健康教育学演習(2)	同期型(zoom)				
13	水	総合実習Ⅱ	［自］実践看護英語Ⅲ(1)	同期型(zoom)		卒業論文Ⅱ(2)												
14	木	総合実習Ⅱ				看護の統合と実践Ⅱ(2)	同期型(zoom)			地域保健看護学演習(1)	同期型(zoom)		地域保健看護学演習(2)	同期型(zoom)				
15	金	総合実習Ⅱ								緩和ケア看護学Ⅰ(1)	同期型(zoom)		緩和ケア看護学Ⅰ(2)	同期型(zoom)				

③			8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
4/18	月	総合実習Ⅱ	（北区）2022年度合同オリエンテーション予定															
19	火	総合実習Ⅱ	国際保健看護学(4)	登校(面接授業)	講義室1	国際保健看護学(5)	登校(面接授業)	講義室1										
20	水	総合実習Ⅱ	［自］実践看護英語Ⅲ(2)	同期型(zoom)		卒業論文Ⅱ(3)												
21	木	総合実習Ⅱ								地域保健看護学Ⅲ(5)	同期型(zoom)		地域保健看護学演習(3)	同期型(zoom)				
22	金	総合実習Ⅱ								緩和ケア看護学Ⅰ(3)	同期型(zoom)		緩和ケア看護学Ⅰ(4)	同期型(zoom)				

④			8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
4/25	月	総合実習Ⅱ	産業保健学(2)	同期型(zoom)		産業保健学(3)	同期型(zoom)			地域保健看護学演習(4)	同期型(zoom)		地域保健看護学演習(5)	同期型(zoom)				
26	火	総合実習Ⅱ				看護の統合と実践Ⅱ(3)	同期型(zoom)			健康教育学演習(3)	同期型(zoom)		健康教育学演習(4)	同期型(zoom)				
27	水	総合実習Ⅱ				卒業論文Ⅱ(4)												
28	木	総合実習Ⅱ	地域保健看護学実習：足立区オリ	登校(面接授業)	学外	地域保健看護学実習：足立区オリ	登校(面接授業)	学外										
29	金		昭和の日															

⑤			8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
5/2	月	実習	［自］実践看護英語Ⅲ(3)	同期型(zoom)														
3	火		憲法記念日															
4	水		みどりの日															
5	木		こどもの日															
6	金	実習								緩和ケア看護学Ⅰ(5)	同期型(zoom)		緩和ケア看護学Ⅰ(6)	同期型(zoom)				

⑥			8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
5/9	月	総合実習Ⅱ	産業保健学(4)	同期型(zoom)		産業保健学(5)	同期型(zoom)			地域保健看護学Ⅲ(6)	同期型(zoom)		地域保健看護学Ⅲ(7)	同期型(zoom)		保健統計学(1)	同期型(zoom)	
10	火	総合実習Ⅱ	国際保健看護学(6)	同期型(zoom)		国際保健看護学(7)	同期型(zoom)			健康教育学演習(5)	同期型(zoom)		健康教育学演習(6)	同期型(zoom)				
11	水	総合実習Ⅱ	［自］実践看護英語Ⅲ(4)	同期型(zoom)		卒業論文Ⅱ(5)										［自］実践看護英語Ⅲ(5)	同期型(zoom)	
12	木	総合実習Ⅱ	看護の統合と実践Ⅱ(4)	登校(面接授業)	講義室1	看護の統合と実践Ⅱ(5)	登校(面接授業)	講義室1	M&Dタワー2階共用講義室1 3号館講義室1	地域保健看護学演習(6)	登校(面接授業)	実習室 講義室1	地域保健看護学演習(7)	登校(面接授業)	実習室 講義室1			
13	金	総合実習Ⅱ								緩和ケア看護学Ⅰ(7)	同期型(zoom)		緩和ケア看護学Ⅰ(8)	同期型(zoom)				

⑦			8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
5/16	月	総合実習Ⅱ								地域保健看護学Ⅲ(8)	同期型(zoom)		地域保健看護学Ⅲ(9)	同期型(zoom)		保健統計学(2)	同期型(zoom)	
17	火	総合実習Ⅱ	国際保健看護学(8)	同期型(zoom)		国際保健看護学(9)	同期型(zoom)			健康教育学演習(7)	同期型(zoom)		健康教育学演習(8)	同期型(zoom)				
18	水	総合実習Ⅱ	［自］実践看護英語Ⅲ(6)	同期型(zoom)		卒業論文Ⅱ(6)										［自］実践看護英語Ⅲ(7)	同期型(zoom)	
19	木	総合実習Ⅱ				看護の統合と実践Ⅱ(6)	同期型(zoom)											
20	金	総合実習Ⅱ								［選］緩和ケア看護学Ⅱ(1)	同期型(zoom)		［選］緩和ケア看護学Ⅱ(2)	同期型(zoom)				

⑧			8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
5/23	月	総合実習Ⅱ〔自〕インディペンデントスタディC	保健統計学(3)	同期型(zoom)		産業保健学(6)	同期型(zoom)			地域保健看護学Ⅲ(10)	同期型(zoom)		地域保健看護学Ⅲ(11)	同期型(zoom)				
24	火		国際保健看護学(10)	同期型(zoom)		国際保健看護学(11)	同期型(zoom)			健康教育学演習(9)(14:00～15:30)	登校(面接授業)	講義室1	健康教育学演習(10)(15:40～17:10)	登校(面接授業)	講義室1	健康教育学演習(11)(17:20～18:50)	非同期型(webclass)	
25	水					卒業論文Ⅱ(7)										〔自〕実践看護英語Ⅲ(8)	同期型(zoom)	
26	木		看護の統合と実践Ⅱ(7)	登校(面接授業)	講義室1	看護の統合と実践Ⅱ(8)	登校(面接授業)	講義室1	M&Dタワー2階 共用講義室1 3号館講義室1	地域保健看護学演習(8)	登校(面接授業)	講義室1	地域保健看護学演習(9)	登校(面接授業)	講義室1			
27	金									〔選〕緩和ケア看護学Ⅱ(3)	同期型(zoom)		〔選〕緩和ケア看護学Ⅱ(4)	同期型(zoom)				

⑨			8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
5/30	月	総合実習Ⅱ〔自〕インディペンデントスタディC	産業保健学(7)	同期型(zoom)		産業保健学(8)	同期型(zoom)			地域保健看護学Ⅲ予備日	同期型(zoom)		地域保健看護学Ⅲ予備日	同期型(zoom)		保健統計学(4)	同期型(zoom)	
31	火					国際保健看護学(12)	同期型(zoom)			健康教育学演習(12)	非同期型(webclass)		健康教育学演習(13)	非同期型(webclass)		健康教育学演習(14)	非同期型(webclass)	
6/1	水					卒業論文Ⅱ(8)												
2	木					看護の統合と実践Ⅱ(9)	同期型(zoom)			地域保健看護学Ⅲ(12)	同期型(zoom)		地域保健看護学Ⅲ(13)	同期型(zoom)				
3	金		地域保健看護学予備	同期型(zoom)		地域保健看護学予備	同期型(zoom)			〔選〕緩和ケア看護学Ⅱ(5)	同期型(zoom)		〔選〕緩和ケア看護学Ⅱ(6)	同期型(zoom)				

⑩			8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
6/6	月	総合実習Ⅱ〔自〕インディペンデントスタディC	保健統計学(5)	同期型(zoom)		保健統計学(6)	同期型(zoom)			看護の統合と実践Ⅱ(10)	同期型(zoom)		看護の統合と実践Ⅱ(11)	同期型(zoom)				
7	火		国際保健看護学(13)	同期型(zoom)		国際保健看護学(14)	同期型(zoom)			健康教育学演習(15)	同期型(zoom)		健康教育学演習(16)	同期型(zoom)				
8	水		〔自〕実践看護英語Ⅲ(9)	同期型(zoom)		卒業論文Ⅱ(9)												
9	木									地域保健看護学演習(10)	同期型(zoom)		地域保健看護学演習(11)	同期型(zoom)		地域保健看護学演習(12)	同期型(zoom)	
10	金		地域保健看護学Ⅲ(14)	同期型(zoom)		地域保健看護学Ⅲ(15)	同期型(zoom)			〔選〕緩和ケア看護学Ⅱ(7)	同期型(zoom)		〔選〕緩和ケア看護学Ⅱ(8)	同期型(zoom)				

⑪			8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
6/13	月	総合実習Ⅱ〔自〕インディペンデントスタディC	保健統計学(7)	同期型(zoom)		保健統計学(8)	同期型(zoom)			看護の統合と実践Ⅱ(12)	同期型(zoom)		看護の統合と実践Ⅱ(13)	同期型(zoom)		看護の統合と実践実習オリエンテーション(16:20～17:00)	同期型(zoom)	
14	火		国際保健看護学(15)	同期型(zoom)						地域保健看護学演習(13)	登校(面接授業)	講義室1	地域保健看護学演習(14)	登校(面接授業)	講義室1			
15	水					卒業論文Ⅱ(10)										〔自〕実践看護英語Ⅲ(10)	同期型(zoom)	
16	木									地域保健看護学演習(15)	登校(面接授業)	講義室1	地域保健看護学演習(16)	登校(面接授業)	講義室1			
17	金									地域保健看護学予備日	登校(面接授業)		地域保健看護学予備日	登校(面接授業)				

12/(土)			8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
6/20	月	実習 ディペンデン								看護の統合と実践Ⅱ(14)	同期型(zoom)		看護の統合と実践Ⅱ(15)	同期型(zoom)				
21	火		前期定期試験															
22	水		前期定期試験															
23	木		前期定期試験															
24	金		前期定期試験															

①			8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
6/27	月																	
28	火		看護の統合と実践実習：包括医療統合教育(チーム医療入門(予定))															
29	水		看護の統合と実践実習：包括医療統合教育(チーム医療入門(予定))															
6/30	木		看護の統合と実践実習(場所:　講義室1、講義室3)						M&Dタワー2階 共用講義室1 3号館講義室1									
7/1	金		看護の統合と実践実習(場所:　講義室1、講義室3)						M&Dタワー2階 共用講義室1 3号館講義室1									

②			8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
7/4	月		看護の統合と実践実習(場所:講義室1、2)						M&Dタワー2階 共用講義室1 3号館講義室1									
5	火		看護の統合と実践実習(場所:講義室1、2、実習室3、4)						M&Dタワー2階 共用講義室1 3号館講義室1									
6	水		看護の統合と実践実習(場所:同期型授業(zoom))															
7	木		看護の統合と実践実習(場所:講義室2、実習室1～4)						M&Dタワー2階 共用講義室1 3号館講義室2									
8	金		看護の統合と実践実習(場所:同期型授業(zoom))															

③			8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
7/11	月		看護の統合と実践実習(場所:同期型授業(zoom))															
12	火		看護の統合と実践実習(場所:実習室1～4)						M&Dタワー2階 共用講義室1 実習室1～4									
13	水		看護の統合と実践実習(場所:同期型授業(zoom))															
14	木		看護の統合と実践実習(場所:実習室1～4)						M&Dタワー2階 共用講義室1 実習室1～4									
15	金		看護の統合と実践実習(場所:同期型授業(zoom))															

	④			8:50〜10:20	授業形態	講義室	10:30〜12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00〜14:30	授業形態	講義室	14:40〜16:10	授業形態	講義室	16:20〜17:50	授業形態	講義室
7/18	月			海の日															
19	火			看護の統合と実践実習　実習発表会(場所:実習室1〜4)						M&Dタワー2階 共用講義室1 実習室1〜4						16:10〜17:10 総合実習Ⅰオリエンテーション			
20	水			看護の統合と実践実習(同期型授業(zoom))															
21	木																		
22	金																		

夏季休業　7/25(月)〜

				8:50〜10:20	授業形態	講義室	10:30〜12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00〜14:30	授業形態	講義室	14:40〜16:10	授業形態	講義室	16:20〜17:50	授業形態	講義室
7/25	月																		
26	火																		
27	水																		
28	木																		
29	金																		

（後期） ※臨地実習の詳細については，別途連絡する。

	①			8:50〜10:20	授業形態	講義室	10:30〜12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00〜14:30	授業形態	講義室	14:40〜16:10	授業形態	講義室	16:20〜17:50	授業形態	講義室
9/5	月	総合実習Ⅱ	(自)インディペンデントスタディC																
6	火																		
7	水			卒業論文Ⅱ															
8	木																		
9	金																		

	②			8:50〜10:20	授業形態	講義室	10:30〜12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00〜14:30	授業形態	講義室	14:40〜16:10	授業形態	講義室	16:20〜17:50	授業形態	講義室
9/12	月	総合実習Ⅱ	(自)インディペンデントスタディC	臨地実習 / 総合実習Ⅰ															
13	火			臨地実習 / 地域保健看護学実習															
14	水			卒業論文Ⅱ															
15	木			臨地実習															
16	金			地域保健看護学実習　オリエンテーション														登校(面接授業)	1

	③			8:50〜10:20	授業形態	講義室	10:30〜12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00〜14:30	授業形態	講義室	14:40〜16:10	授業形態	講義室	16:20〜17:50	授業形態	講義室
9/19	月			敬老の日															
20	火	総合実習Ⅱ	(自)インディペンデントスタディC	臨地実習															
21	水			卒業論文Ⅱ															
22	木			臨地実習															
23	金			秋分の日															

	④			8:50〜10:20	授業形態	講義室	10:30〜12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00〜14:30	授業形態	講義室	14:40〜16:10	授業形態	講義室	16:20〜17:50	授業形態	講義室
9/26	月	総合実習Ⅱ	(自)インディペンデントスタディC	臨地実習															
27	火			臨地実習															
28	水			卒業論文Ⅱ															
29	木			臨地実習													(自)AI 実践演習(1)	同期型(zoom)	移動時間が無い学
30	金			臨地実習															

	⑤			8:50〜10:20	授業形態	講義室	10:30〜12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00〜14:30	授業形態	講義室	14:40〜16:10	授業形態	講義室	16:20〜17:50	授業形態	講義室
10/3	月	総合実習Ⅱ	(自)インディペンデントスタディC	臨地実習															
4	火			臨地実習															
5	水			卒業論文Ⅱ															
6	木			臨地実習													(自)AI 実践演習(2)	同期型(zoom)	移動時間が無い学
7	金			臨地実習															

	⑥			8:50〜10:20	授業形態	講義室	10:30〜12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00〜14:30	授業形態	講義室	14:40〜16:10	授業形態	講義室	16:20〜17:50	授業形態	講義室
10/10	月			スポーツの日															
11	火	実習	ペンデン	卒業論文Ⅱ															
12	水			創立記念行事															
13	木	総合実習Ⅱ	ディペンデントスタ	臨地実習															
14	金			臨地実習															

	⑦			8:50〜10:20	授業形態	講義室	10:30〜12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00〜14:30	授業形態	講義室	14:40〜16:10	授業形態	講義室	16:20〜17:50	授業形態	講義室
10/17	月	総合実習Ⅱ	(自)インディペンデントスタディC	臨地実習															
18	火			臨地実習															
19	水			卒業論文Ⅱ															
20	木			臨地実習													(自)AI 実践演習(3)	同期型(zoom)	移動時間が無い学
21	金			臨地実習															

	⑧			8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
10/24	月	総合実習Ⅱ	〔自〕インディペンデントスタディC	臨地実習															
25	火			臨地実習															
26	水			卒業論文Ⅱ															
27	木			臨地実習															
28	金			臨地実習															

	⑨			8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
10/31	月	総合実習Ⅱ	〔自〕インディペンデントスタディC	臨地実習															
11/1	火			臨地実習															
2	水			臨地実習															
3	木			文化の日															
4	金	実習	ペンデン	臨地実習															

	⑩			8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
11/7	月	総合実習Ⅱ	〔自〕インディペンデントスタディC	臨地実習															
8	火			臨地実習															
9	水			卒業論文Ⅱ															
10	木			臨地実習													(自)AI 実践演習(4)	同期型(zoom)	移動時間
11	金			臨地実習															

	⑪			8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
11/14	月	総合実習Ⅱ	〔自〕インディペンデントスタディC	臨地実習															
15	火			臨地実習															
16	水			卒業論文Ⅱ															
17	木			臨地実習													(自)AI 実践演習(5)	同期型(zoom)	移動時間
18	金			臨地実習															

	⑫			8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
11/21	月	総合実習1	インディペンデントスタディC																
22	火			卒業論文Ⅱ															
23	水			勤労感謝の日															
24	木	総合実習1	インディペンデントスタディC	地域保健看護学実習実習報告会											登校(面接授業)	1,2,3	(自)AI 実践演習(6)	同期型(zoom)	移動時間
25	金																		

	⑬			8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
11/28	月		〔自〕インディペンデントスタディC																
29	火																		
30	水			卒業論文Ⅱ															
12/1	木																		
2	金																〔自〕Learning Medical English(1)	同期型(zoom)	

	⑭			8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
12/5	月		〔自〕インディペンデントスタディC																
6	火																		
7	水			卒業論文Ⅱ（発表会） 講義室1・2						3号館講義室 1,2,3									
8	木																(自)AI 実践演習(7)	同期型(zoom)	移動時間
9	金																		

	⑮			8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
12/12	月		〔自〕インディペンデントスタディC																
13	火																		
14	水			卒業論文Ⅱ													〔自〕Learning Medical English(2)	同期型(zoom)	
15	木																(自)AI 実践演習(8)	同期型(zoom)	移動時間
16	金																		

	⑯			8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
12/19	月		〔自〕インディペンデントスタディC											〔自〕Learning Medical English(3)	同期型(zoom)		〔自〕Learning Medical English(4)	同期型(zoom)	
20	火																		
21	水													〔自〕Learning Medical English(5)	同期型(zoom)		〔自〕Learning Medical English(6)	同期型(zoom)	
22	木																		
23	金			〔自〕Learning Medical English(7)	同期型(zoom)		〔自〕Learning Medical English(8)	同期型(zoom)											

冬季休業 12/26(月)～

	①			8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
1/2	月																		
3	火																		
4	水		ペンデントスタディ																
5	木																		
6	金																		

	②			8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
1/9	月			成人の日															
10	火																		
11	水																		
12	木																		
13	金																		

	③			8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	昼食会場	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
1/16	月																		
17	火																		
18	水																		
19	木																		
20	金																		

春季休業
1/23(月)～

時間割番号	012058				
科目名	保健統計学			科目ID	MN-430200-L
担当教員	佐々木 美樹, 寺本 妙子, 緒方 泰子, 湯本 淑江[SASAKI Miki, TERAMOTO TAEKO, OGATA YASUKO, YUMOTO YOSHIE]				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	4	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Health Statistics

【科目責任者】佐々木 美樹

授業の目的、概要等

本科目では保健統計学の基礎を学ぶ。客観的指標であるデータの収集, 処理・分析, 結果の解釈という一連の流れを理解し, 科学的根拠として捉えられる数量的表現の理解を目指す。演習も取り入れ, 実際にパソコン上でデータ処理を試みる。

授業の到達目標

1 回目:記述統計学の基本用語を説明できる。度数分布表, ヒストグラムの作成や統計量(平均値, 標準偏差)の算出が適切にできる。

2 回目:相関, 回帰, 確率分布について説明できる。2 つの変数について散布図を描き, 相関係数と回帰式を算出することができる。

3 回目:母集団と標本について説明し, 母集団平均を推定することができる。

4 回目:統計的仮説検定について説明し, 2 つの平均値の差の検定(t 検定)を適切に実行することができる。

5 回目:ノンパラメトリック検定について説明し, クロス集計, 及び χ^2 検定を適切に実行することができる。

6 回目:分散分析について説明し, 一元配置分散分析, 及び二元配置分散分析を適切に実行することができる。

7 回目:人口動態統計について説明し, 人口動態データの分析, 及び解釈を適切におこなうことができる。

8 回目:量的研究のデザインに適したデータの処理, 統計的分析について説明し, 結果の解釈を適切におこなうことができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	5/9	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	保健統計の概要(Ⅰ)	尺度, 記述統計学(度数分布, 代表値, 散布度), データ処理の演習	寺本 妙子, 佐々木 美樹, 緒方 泰子, 湯本 淑江	パソコン演習
2	5/16	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	保健統計の概要(Ⅱ)	相関, 回帰, 確率分布, データ処理の演習	寺本 妙子	パソコン演習
3	5/23	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	母集団統計値	母集団と標本, 母集団平均の推定	寺本 妙子	パソコン演習
4	5/30	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	仮説検定(Ⅰ)	統計的仮説検定, 平均値の差の検定	寺本 妙子	パソコン演習
5	6/6	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	仮説検定(Ⅱ)	ノンパラメトリック検定	寺本 妙子	パソコン演習
6	6/6	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	分散分析	一元配置分散分析, 二元配置分散分析, 多重比較	寺本 妙子	パソコン演習
7	6/13	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	演習(Ⅰ)	人口統計, データ処理の演習	寺本 妙子	パソコン演習
8	6/13	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	演習(Ⅱ)	量的研究のデザイン, データ処理の演習	寺本 妙子	パソコン演習

授業方法

同期授業であり, zoom において実施する。知識とスキルに関する情報伝達を講義形式でおこない, その後の演習において, 実際にパソコン上でデータの分析を行う。演習および質疑応答も交え, アクティブラーニングを実施する。

授業内容

授業は講義と演習を中心に進める。毎回の演習では課題用ワークシートを活用し, パソコンでデータ処理に取り組む(Microsoft Excel 使用)。課題は毎回提出し, 到達目標の達成を目指す。

成績評価の方法

課題(ワークシート)の提出 4 割, 定期試験 6 割とする。ワークシートは 1 回の提出につき 5 点の配点とする(全回提出で 40 点となる:5 点×8 回=40 点)。例えば, 2 回未提出で試験が 60 点だった場合, 課題は 30 点(5 点×6 回提出=30 点), 試験は 36 点と換算し(60 点×6 割=36 点), 合計 66 点となる。

なお, 定期試験の一部に英語の問題を出題する。

成績評価の基準

筆記試験，課題（ワークシート）で採点し，60 点以上を合格とする。具体的には，次の基準に従う。A+：卓越して到達目標に達している，A：優れて到達目標に達している，B：十分に到達目標に達している，C：概ね到達目標に達している。

準備学習等についての具体的な指示

授業内容は，参考書（別記）に基づいて構成されているので，該当箇所を事前学習しておくことを勧める。

試験の受験資格

試験の受験資格として 2/3 以上の出席を要する。同期型授業（zoom）のため，講義を最初から最後まで参加しているログが確認出来た場合に出席とする。

参考書

やさしい保健統計学 = Health statistics made simple／縣俊彦著,県，俊彦,：南江堂，2019

ナースのための統計学／高木廣文 著,高木，広文,1950–,：医学書院，2009

：南江堂

備考

zoom での講義を基にパソコン演習を行う授業であるため，予習復習を行うこと。

2021 年度の授業評価を踏まえ、引き続き練習問題や課題を用いて知識の定着を促す工夫をする。

連絡先（メールアドレス）

佐々木　美樹:m-sasaki.gh@tmd.ac.jp

オフィスアワー

佐々木　美樹:オフィスアワーは特に定めないが，事前にアポイントをとったうえで訪問してください。

連絡先メール：m-sasaki.gh@tmd.ac.jp

時間割番号	012059A				
科目名	国際保健看護学			科目ID	MN-430400-L
担当教員	近藤 暁子[KONDO AKIKO]				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	4	単位数	2
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:International Health Nursing

【科目責任者】近藤暁子

主な講義場所

ZOOM

授業の目的、概要等

諸外国の健康問題の状況と、医療制度や医療・保健・看護制度について講義する。学生同士のディスカッションや情報交換の機会持つことで国内外の医療/健康問題について考えを深める。模擬患者を想定した留学生と英語でコミュニケーションをとる演習を通して国内の外国人患者への対応方法について学ぶ。

海外で活動経験のある講師や日本の病院で異文化を持つ患者の対応を行っている講師の話を聞き、異文化につて理解し、異文化を持つ対象に対する対応方法や活動の意義について学ぶ。

授業の到達目標

1. 幅広い教養と高い専門知識・技術の修得

諸外国の医療や看護の現状を理解し、各国・地域の歴史・社会システムの変遷との関連から、人々のかかえる健康問題や医療・保健・看護問題の本質は何であるかを考えることができる(1-15 回)。

2. 医療人としての豊かな感性と人間性の形成

模擬患者を使用して日本語の話せない患者と英語等でコミュニケーションをとり、異文化を持つ対象のニーズを把握する感性を身に付ける(13-14 回)。

日本国内における外国人の医療/健康問題について考えることができる。異文化を持つ患者のアセスメントができる(13-14 回)。

3. 問題提起・解決能力の修得

様々な性的嗜好を持つ人々に対し、偏見をなくし、医療従事者の立場としての対応方法も身に付ける(10-11)。

4. 自己学習能力・創造性の形成

「国際保健看護学」の講義で学んだことを将来どのように生かしていきたいか、今後の自己課題と達成方法について述べることができる(最終課題)。

5. 国際性の形成

異文化や違う価値観を持つ他者とコミュニケーションを取り、正しい・正しくないではなく、違いとして理解し、受け入れることができる(1ー15 回)。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/5	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	Introduction to Global Health Nursing 国際保健看護学概論	グローバルヘルスと看護 LGBTQ 調査①	近藤 暁子	
2	4/12	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	先進国の医療・看護	Nursing study in the United States	近藤 暁子	
3	4/12	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	異文化の理解	ウイグル・イスラム文化と必要な医療的配慮	近藤 暁子	Abuliezi Renaguli
4	4/19	08:50-10:20	保健衛生学科講義室1	国内の国際化	本学附属病院の外国人対応について 外国人患者への対応演習説明	近藤 暁子, 岡田 卓也	
5	4/19	10:30-12:00	保健衛生学科講義室1	開発途上国における健康課題とその背景	低所得国における看護の現状と国際医療協力活動①	駒形 朋子	
6	5/10	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	国際活動	国際機関の活動と国際保健医療協力	中村 桂子	

7	5/10	10:30-12:00	遠隔授業（同期型）	先進国の医療・看護	米国の教育・保険制度	Ann L. Eckhardt, 近藤 暁子	
8	5/17	08:50-10:20	遠隔授業（同期型）	国際協力	政府開発援助（Official Development Assistance ;ODA）での国際協力	野口 真貴子	
9	5/17	10:30-12:00	遠隔授業（同期型）	国際協力	日本のODAプロジェクトの実際（母子保健プロジェクト）	野口 真貴子	
10	5/24	08:50-10:20	遠隔授業（同期型）	異文化理解	LGBT/SDGsと看護についての学習・発表準備 LGBTQ 調査②	近藤 暁子	2 グループに分かれて実施 近藤暁子/平井寛季
11	5/24	10:30-12:00	遠隔授業（同期型）	異文化理解	LGBT/SDGsと看護についての学習・発表準備 LGBTQ 調査②	近藤 暁子	2 グループに分かれて実施 近藤暁子/平井寛季
12	5/31	10:30-12:00	遠隔授業（同期型）	世界の看護問題	SDGsと看護についての発表	駒形 朋子, 近藤 暁子	グループごとに英語で発表する
13	6/7	08:50-10:20	遠隔授業（同期型）	国内の国際化	外国人患者への対応演習	近藤 暁子	留学生とコミュニケーション演習
14	6/7	10:30-12:00	遠隔授業（同期型）	国内の国際化	外国人患者への対応演習	近藤 暁子	演習内容の発表
15	6/14	08:50-10:20	遠隔授業（同期型）	国内の国際 3	まとめ：国内外の健康課題と看護 LGBTQ 調査③ 異文化間感受性調査②	近藤 暁子	近藤暁子/平井寛季

授業方法

1） 本科目は講義、グループディスカッション、演習を交えて行う。

2） 本科目はアクティブラーニング方式で行い、講義でも教員が一方的に話すのではなく、学生の発言や意見交換を推奨する。回答内容は評価影響しないので、積極的に自分の意見を述べるようにすること。なお、自発的な発言者がない場合はランダムに指名し、発言を求める。

3） 外国人患者への対応演習では、留学生が自身の患者体験事例を作成し、日本語が話せない患者を演じる。学生は英語もしくは留学生の言語、筆談、ジェスチャーなどで工夫しながら、必要な看護援助を考える。

4） SDGsの目標ごとに 5, 6 名でグループ学習を行い、まとめたものを発表する。

毎回授業の後に学生はその日に学んだこと、印象に残ったことや質問等（日々の感想）を記述して WebClass から提出する。授業開始時の出欠確認と感想の提出を持って、その日の出席とする。

全て同期型であるが、対面講義の場合と ZOOM の場合があるので予定を確認すること。また感染状況により、変更になる可能性があるため教務からのお知らせに注意すること。

授業内容

授業スケジュール参照

成績評価の方法

参加度(30%)、WHO の役割の日本語訳（5%）、日々の感想 （15%)、 模擬患者のアセスメント(20%) 、グローバルヘルスと看護の発表（20%）、最終レポート(10%)

1） 参加度(30%)：出席状況、授業中に積極的に発言する態度などを評価する。遅刻・早退は 2 回で 1 回の欠席とする。45 分以上遅れた場合はその授業へ出席とは認められない。

2） WHO の役割の日本語訳（5%）：内容を正確に理解しているか。翻訳された日本語の表現力も評価する。

3） 日々の感想 （15%)：その回の目標が達成できているかどうか評価する。

4） 模擬患者のアセスメント(20%)：グループごとに患者役の留学生の話を聞き、必要な情報を収集する。1.事前準備・対策、2. 情報収集したこと、3. アセスメントと看護ケア、4. 演習を通して感じたことや今後の対策についてまとめ、グループごとに提出する。

5） グローバルヘルスと看護の発表（20%）：世界的な健康課題についてグループで 1 つずつ取り上げ、英語でまとめて発表する。メンバー全員が少なくとも一部は発表すること。グループごとに評価する。

最終レポート(10%)：「国際保健看護学」の講義で学んだことを将来どのように生かしていきたいか、今後の自己課題と達成方法について（A4 1 ページ以内にまとめる）。

成績評価の基準

出席日数が 3 分の 2 以上あることを前提とした上で、上記合計点が 60 点以上の場合合格とする。

合計点が 90 点以上で A+,80～89 点で A,70～79 点で B,60～69 点で C とする。

準備学習等についての具体的な指示

WHO http://www.who.int/en/ と JICA https://www.jica.go.jp/ の役割について学習して来ること。

試験の受験資格

試験は行わないが、単位認定には 2/3 の出席を要件とする。

参考書

State of the World's Nursing 2020 世界の看護 2020／国立国際医療研究センター国際医療協力局訳. http://kyokuhp.ncgm.go.jp/library/other_doc/2020/Sekainokango2020_light_n.pdf

国際看護学 : グローバル・ナーシングに向けての展開／南裕子 監修,新川加奈子, 大野夏代, 神原咲子 編集,:中山書店, 2013

ワークショップ版・世界がもし 100 人の村だったら 第 4 版／100 人村教材編集委員会:開発教育協会, 2014

知って考えて実践する国際看護／近藤麻理 著,:医学書院, 2011

他科目との関連

国際保健福祉、実践看護英語

履修上の注意事項

本科目において異文化感受性能力を向上させることを目標とするため、授業の初回及び最終日に異文化感受性能力に関する調査を実施する。また LGBT に関する意識調査も行う。しかし、その回答内容は成績とは無関係である。 やむを得ず欠席する場合は教員に連絡すること。 ZOOM での接続は時間がかかる場合があるので、5 分前には接続すること。

備考

グループワークを個別評価するかグループ単位で評価するかは学生間で賛否両論あるようですが、全員の方に貢献して頑張っていただくため、去年に引き続き個別評価としたいと思います。

「感想やレポートが英語ならば、授業自体も英語で実施してはどうかと思いました。」という意見がありました。学生間で英語力に差があることが推測されるため、英語と日本語を交えた授業を少しずつ増やしていきたいと思います。

連絡先(メールアドレス)

近藤 暁子:akondo.ind@tmd.ac.jp

オフィスアワー

近藤 暁子:オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡してから訪問すること。

国際看護開発学教授室(3 号館 18 階)

時間割番号	012060				
科目名	産業保健学			科目ID	MN-430500-L
担当教員	森田　久美子[MORITA KUMIKO]				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	4	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Occupational Health Nursing

【科目責任者】森田久美子

主な講義場所

遠隔授業（同期型）

授業の目的、概要等

働く人の健康指導と健康管理，並びに職業起因性障害や災害の予防に関する指導と管理のあり方は保健師にとって必須の事項であり，その考え方や実践の方法を身につけることを前提とした産業保健活動の理論を究明する。

授業の到達目標

産業に関わる看護師・保健師は産業医やコ・メディカルスタッフと協働して，そこに勤務する職業人としての個人に対する健康の保持・増進の支援や集団に対する公衆衛生活動を要求される。そしてその業務の遂行には，保健師としての倫理観と人格が求められ，保健・医療・福祉・文化・行政などの学際的な幅広い知識や技能に基づいた問題解決能力を身につける上での基本的な概念を修得させる必要がある。

産業という個々の管理社会とそれを取り囲む外環境とが調和され，社会的に対応できない個人や企業を生ぜしめないような予防的保健活動と健康増進活動の意義を認識させ，自由な発想で個人や社会の痛みを理解でき，望ましい保健分野における社会機構を考えられる基礎学力を身につけることを目標とする。

＜各回の到達目標＞

1 回目：産業保健の概要を理解し、現在問題となっていること、改善すべき点について説明できる。

2 回目：産業保健の理念、歴史、法律について説明できる。

3 回目：産業看護活動の具体的内容について説明できる。

4～5 回目：労働者の心の健康支援について具体例をあげながら説明できる。

6 回目：労働災害について説明できる。

7～8 回目：衛生管理、人事労務管理について説明できる。また、事例演習に積極的に参加し、発言できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/11	10:30-12:00	遠隔授業（同期型）	産業保健学	「産業保健学総論」 地域保健における産業保健の位置づけ、現状、最新のトピック等について学ぶ。	森田　久美子
2	4/25	08:50-10:20	遠隔授業（同期型）	産業保健学	「産業保健・看護の理念と歴史、法律」 産業保健・看護の歴史、産業看護の定義・職務、関連法規、企業に求められる健康管理について学ぶ。	森田　久美子, 中野　愛子
3	4/25	10:30-12:00	遠隔授業（同期型）	産業保健学	「産業看護活動」 産業看護活動の実際、ハラスメント、自殺対策等について学ぶ。	森田　久美子, 中野　愛子
4	5/9	08:50-10:20	遠隔授業（同期型）	産業保健学	「労働者の心の健康支援 1」 疲労、職場のストレス、精神疾患と労働災害について学ぶ。	森田　久美子, 中野　愛子
5	5/9	10:30-12:00	遠隔授業（同期型）	産業保健学	「労働者の心の健康支援 2」 予防、復職支援、事例学習、諸外国の産業看護活動について学ぶ。	森田　久美子, 中野　愛子
6	5/23	10:30-12:00	遠隔授業（同期型）	産業保健学	「労働災害」 職業性疾病、作業関連疾患、労働災害、女性労働者の支援について学ぶ。	森田　久美子
7	5/30	08:50-10:20	遠隔授業（同期型）	産業保健学	「衛生管理、人事労務管理1」 関連法令に基づく衛生施策の立て方、人事労務管理の基本的な考え方、人事労務問題への対応について学ぶ。	森田　久美子, 長谷川　梢
8	5/30	10:30-12:00	遠隔授業（同期型）	産業保健学	「人事労務管理2」 事例演習（判例検討）	森田　久美子, 長谷川　梢

授業方法

・同期授業

ZOOM にて実施する。講義では、適宜プレイクアウトルームに分かれてグループでディスカッション、アクティブラーニングを行う。ディスカッションをもとに内容をまとめ、グループごとに発表をしてもらうので積極的に参加すること。

授業内容

公衆衛生学に裏付けられた個人および集団の健康保持・増進をメインテーマとして，働く人々が快適な職場環境で健康を損なうことなく，仕事を自分に適合させて肉体的・精神的・社会的に良好な状態を維持増進させる上での基礎知識を系統的に付与する。

そのためには，健康な人も健康に障害を持った人も，労働という営みの中で，保健指導を進める上での最重要課題を取り上げて事例を列挙しながら，産業保健の理念・歴史・健康管理体制・労働者の実態・労働内容・労働環境・産業疲労・業務上疾病（職業性疾患）・産業災害とその対策や予防方法などについて理解を深める。

成績評価の方法

学期末定期試験 70%，討論課題 10%、講義後レポート 20%などにより評価する。なお、定期試験の一部に英語の問題を出題する。

成績評価の基準

上記の成績評価の方法に示す各項目の成績の合計により評価を行う。試験問題は、授業の到達目標に達しているかを評価し、そのことが確認されたところ（100 点満点で 60 点以上が目安）で合格とする。なお、リアクションペーパーでの、重要な質問や、誤りの指摘などがあった場合には、最終評価において加点されることがある。

準備学習等についての具体的な指示

シラバスに書かれている内容について、事前に参考書等などで予習をしてくることが望ましい。

試験の受験資格

同期型の授業に 2/3 以上出席し、かつ講義に関連する課題を全て提出したものに定期試験の受験資格を与える。

なお、特別に勘案すべき事情があり指示を達成できない場合には、その事情とともに締切期日が過ぎる前に科目責任者にメールで連絡をすること。なお、緊急の場合には電話で連絡しても良いが、その後メールすること。連絡ができないような特別な事情がある場合にはその限りではない。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には、事情に応じてレポートなどで対応することとする。

参考書

眞野喜洋，遠藤立一（監著）：健康管理者のための公衆衛生学，圭文社，東京

眞野喜洋（監著）：スタンダード公衆衛生学，文光堂，東京

松田正巳他：対象別地域看護活動、医学書院

平山朝子，宮地文子（編集）：産業保健指導論，公衆衛生看護大学体系＃6，日本看護協会出版会，東京

(財)厚生統計協会：国民衛生の動向，厚生の指標臨時増刊，(財)厚生統計協会，東京

森　晃爾（編集）：産業保健ハンドブック，労働調査会，東京

中央労働災害防止協会：労働衛生のしおり，東京

成人地域看護活動（地域看護学講座 No7），医学書院

など産業保健に関する書籍はすべて参考となるが，購入の折にはできるだけ新しい数値の乗った統計データを有するものから選ぶこと。

他科目との関連

地域保健看護学とは密接な関係にあり，クロス・オーバーする領域が多い。 母性，成人老人，精神の各保健学，看護学とも関連性が高い。 基礎学力としての生理学，薬理学，病理学などの知識は講義の理解を深める上で重要である。

履修上の注意事項

産業保健学は他領域とそれぞれ深く係る学際性の高い分野なので，日頃からマスメディアの医療が関与する社会ニュースなどにも関心を持つことが望ましい。

備考

・前年度からの改善点

講義資料は事前に配布し、講義前に予習するように周知する。

連絡先（メールアドレス）

森田　久美子:morita.phn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

森田　久美子:10:00-17:00 3 号館 15 階地域健康増進看護学研究室

時間割番号	012061				
科目名	健康教育学演習			科目ID	MN-450600-S
担当教員	森田 久美子[MORITA KUMIKO]				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	4	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Health Education

【科目責任者】森田久美子

主な講義場所

遠隔授業(同期・非同期)

授業の目的、概要等

健康教育の実践に必要なさまざまな理論・技術について、演習を通じて習得する。

授業の到達目標

健康教育は、小児から高齢者まで、さまざまな対象に行われるものであり、その手法も教育する場や人数、対象者の理解度により柔軟に対応していく必要がある。そのため、しっかり理論を学んだ上で、グループワーク・デモンストレーションを行い、健康教育の基本的な技術を身につける。

<各回の到達目標>

1, 2回目:健康教育の目的、対象、手法を理解し説明できる。

3, 4回目:健康教育の理論について理解し、説明できる。

5−8回目:健康教育において、テーマの選定から計画、実施、評価の一連の流れを理解し説明できる。

9, 10 回目:健康教育の計画書の立案ができる。

11−14 回目:健康教育に必要な媒体の考案・作成ができる。

15−16 回目:設定したテーマにあった健康教育のデモ発表ができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-2	4/12	13:00-16:10	遠隔授業(同期型)	健康教育学演習	健康教育 総論 構成的エンカウンターの体験、講義 動機づけ面接法 他	森田 久美子
3-4	4/26	13:00-16:10	遠隔授業(同期型)	健康教育学演習	健康教育の理論と展開方法	森田 久美子, 綾部 明江
5-6	5/10	13:00-16:10	遠隔授業(同期型)	健康教育学演習	個人を対象とした健康教育の実際 ヘルスコミュニケーション、個別指導場面のロールプレイ、自己課題シートに基づいた面接、ディスカッション	森田 久美子
7-8	5/17	13:00-16:10	遠隔授業(同期型)	健康教育学演習	健康教育のテーマの決め方、計画書の作成方法	森田 久美子
9-10	5/24	14:00-17:10	保健衛生学科講義室 1	健康教育学演習	集団を対象とした健康教育の実際	森田 久美子
11	5/24	17:20-18:50	遠隔授業(非同期型)	健康教育学演習	グループワーク① 健康教育実施のための情報収集、テーマ設定、計画書の作成	森田 久美子, 津田 紫緒
12-14	5/31	13:00-17:50	遠隔授業(非同期型)	健康教育学演習	グループワーク② 健康教育に必要な媒体の作成、発表練習	森田 久美子, 津田 紫緒
15-16	6/7	13:00-16:10	遠隔授業(同期型)	健康教育学演習	健康教育発表会、まとめ	森田 久美子, 津田 紫緒

授業方法

・非同期授業

指示された講義資料・参考資料を閲覧し、指示にあるように課題に回答する。また、WebClass にあるリアクションペーパーに毎回記入して提出すること。質問が記入されている場合には個別もしくは全体に対して返答をする。

・同期授業

ZOOM にて実施する。講義では、適宜ブレイクアウトルームに分かれてグループでディスカッション、アクティブラーニングを行う。ディスカッションをもとに内容をまとめ、グループごとに発表をしてもらうので積極的に参加すること。

授業内容

授業スケジュールを参照

成績評価の方法

レポート 70%、プレゼンテーション 30%により評価する。

成績評価の基準

上記の成績評価の方法に示す各項目の成績の合計により評価を行う。なお、リアクションペーパーでの、重要な質問や、誤りの指摘などがあった場合には、最終評価において加点されることがある。

準備学習等についての具体的な指示

シラバスに書かれている内容について、事前に参考書等などで予習をしてくることが望ましい。

試験の受験資格

同期型の授業に 2/3 以上出席し、かつ演習に関連する課題を全て提出したものに試験(レポート)の受験資格を与える。
なお、特別に勘案すべき事情があり指示を達成できない場合には、その事情とともに締切期日が過ぎる前に科目責任者にメールで連絡をすること。なお、緊急の場合には電話で連絡しても良いが、その後メールすること。連絡ができないような特別な事情がある場合にはその限りではない。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には、事情に応じてレポートなどで対応することとする。

教科書

・Educational Video Online　地域看護活動とヘルスプロモーション/
　続・地域看護活動とヘルスプロモーション、佐々木明子他監修、丸善出版株式会社、
　2007・2008/2013・2014
・DVD 続・地域看護活動とヘルスプロモーション　第 1 巻　公衆衛生看護活動に
　おける健康教育、佐々木明子他監修、丸善出版株式会社、2013

参考書

・松本千明著:健康行動理論の基礎, 医歯薬出版株式会社
・畑　栄一、土井由利子編:行動科学　健康づくりのための理論と応用
・国民衛生の動向
・佐々木明子、井原一成編:新体系　看護学全書　健康支援と社会保障制度②公衆衛生学,
　メヂカルフレンド社

他科目との関連

健康教育では、専門的知識を一般の人々にも理解できる内容・言葉に置き換えて教育するので、すでに履修してきた保健・看護の各専門分野の知識をしっかり習得していることが必要である。また、病院内だけではなく地域で健康教育を行うことも多いので、地域保健看護学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・演習との関連が強い。保健師コース選択者は健康教育学演習で学んだことを、地域保健看護学実習で実践することもある。

履修上の注意事項

演習の課題に主体的に取り組み、発表や討議を通して、学習を深めることを期待する。学生の積極的な参加を望む。

備考

・前年度からの改善点
グループワークの時間が足りないという意見があったので、グループワークの時間を長めにとるようにする。

連絡先(メールアドレス)

森田　久美子:morita.phn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

森田　久美子:10:00-17:00 3 号館 15 階地域健康増進看護学研究室

時間割番号	012062				
科目名	卒業論文Ⅱ			科目ID	MN-460700-S
担当教員	田中　真琴[TANAKA Makoto]				
開講時期	2022 年度通年	対象年次	4	単位数	2
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Thesis Ⅱ

【科目責任者】看護学専攻主任　田中 真琴

担当教員：看護先進科学専攻教授・准教授・講師・助教全員

主な講義場所

所属分野の研究室等（配置分野の教員の指示に従う）

所属分野の決定を受けた後，所属分野の教員に研究指導場所等の確認を取ること。

授業の目的、概要等

選択したテーマに沿って、指導教員から個々に具体的な研究指導を受ける。

指導教員のもとで研究を行い、論文にまとめる。

別に定める『医学部保健衛生学科看護学専攻卒業論文実施要項』を参照のこと。

授業の到達目標

看護・保健に関する研究のプロセスを経験することを通じて、論文の読み方、研究の進め方、論文のまとめ方、発表の仕方等の基本的知識・技術等を習得することを目的とする。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/6	10:30-12:00	各研究室	卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	田中 真琴
2	4/13	10:30-12:00	各研究室	卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	田中 真琴
3	4/20	10:30-12:00	各研究室	卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	田中 真琴
4	4/27	10:30-12:00	各研究室	卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	田中 真琴
5	5/11	10:30-12:00	各研究室	卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	田中 真琴
6	5/18	10:30-12:00	各研究室	卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	田中 真琴
7	5/25	10:30-12:00	各研究室	卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	田中 真琴
8	6/1	10:30-12:00	各研究室	卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	田中 真琴
9	6/8	10:30-12:00	各研究室	卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	田中 真琴
10	6/15	10:30-12:00	各研究室	卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	田中 真琴
11-15	9/7	08:50-17:50	各研究室	卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	田中 真琴
16-19	9/14	08:50-16:10	各研究室	卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	田中 真琴
20	9/14	16:20-17:50	各研究室	卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	田中 真琴
21-24	9/21	08:50-16:10	各研究室	卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	田中 真琴
25	9/21	16:20-17:50	各研究室	卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	田中 真琴
26-29	9/28	08:50-16:10	各研究室	卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	田中 真琴
30	9/28	16:20-17:50	各研究室	卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	田中 真琴
31-35	10/5	08:50-17:50	各研究室	卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	田中 真琴
36-40	10/11	08:50-17:50	各研究室	卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	田中 真琴
41-45	10/19	08:50-17:50	各研究室	卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	田中 真琴
46-50	10/26	08:50-17:50	各研究室	卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	田中 真琴
51-55	11/9	08:50-17:50	各研究室	卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	田中 真琴
56-60	11/16	08:50-17:50	各研究室	卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	田中 真琴
61-64	11/24	08:50-16:10	各研究室	卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	田中 真琴
65	11/30	08:50-10:20	各研究室	卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	田中 真琴
66	11/30	10:30-12:00	各研究室	卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	田中 真琴
67	11/30	13:00-14:30	各研究室	卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	田中 真琴

68	11/30	14:40-16:10	各研究室	卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	田中 真琴
69	11/30	16:20-17:50	各研究室	卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	田中 真琴
70	12/7	08:50-10:20	各研究室	卒論発表会	卒論発表会	田中 真琴
71	12/7	10:30-12:00	各研究室	卒論発表会	卒論発表会	田中 真琴
72	12/7	13:00-14:30	各研究室	卒論発表会	卒論発表会	田中 真琴
73	12/7	14:40-16:10	各研究室	卒論発表会	卒論発表会	田中 真琴
74	12/7	16:20-17:50	各研究室	卒論発表会	卒論発表会	田中 真琴
75	12/14	08:50-10:20	未定	卒論まとめ	卒論まとめ	田中 真琴
76	12/14	10:30-12:00	未定	卒論まとめ	卒論まとめ	田中 真琴
77	12/14	13:00-14:30	未定	卒論まとめ	卒論まとめ	田中 真琴
78	12/14	14:40-16:10	未定	卒論まとめ	卒論まとめ	田中 真琴

授業方法

同期授業/非同期授業も含め、所属分野の方針にしたがって研究を行う。ゼミ形式など双方向型の授業形態とする。

授業内容

・所属分野の教員の指導のもと、学生が主体的に研究活動を行う。

・日時:授業開始から卒論発表会までの間の原則水曜日 2 時限。

・所属分野毎に定めたスケジュールによる。

成績評価の方法

別に定める『医学部保健衛生学科看護学専攻卒業論文実施要項』の評価及び単位認定を参照のこと。

研究指導を担当した各分野長が、研究発表までの過程を評価し、最終的に専攻主任が成績を認定する。

卒業研究論文(本文および抄録)と卒業研究発表で評価する。

1)研究活動への取り組み状況

2)卒業研究論文

・卒業研究論文本文と抄録を提出する。

・形 式 :別紙(卒業論文フォーム)の規定に従う。

・期限までに提出のない者には単位を認定しない。

3)卒業研究発表

・1人につき発表5分, 討論2分程度。

・Power Point を使用した口頭発表を行う。

成績評価の基準

所属分野の指導教員(分野長)が研究発表までの過程(以下 1)2)3))を、総合的に評価する。

1)研究活動への取り組み状況

2)卒業研究論文

3)卒業研究発表

※別に定める『医学部保健衛生学科看護学専攻卒業論文実施要項』の評価基準を参照のこと。

準備学習等についての具体的な指示

卒業論文Ⅰで学習した研究概説、研究倫理、外国語文献検索方法について復習をしておくこと。

試験の受験資格

試験は実施しない

教科書

特に指定しない。

参考書

APA 論文作成マニュアル/アメリカ心理学会 (APA) 著,前田樹海, 江藤裕之, 田中建彦 訳,:医学書院, 2011

看護研究 : 原理と方法/D.F.ポーリット, C.T.ベック 著,近藤潤子 監訳,後藤桂子, 新道幸恵, 松岡惠, 高木廣文, 羽山由美子 訳,:医学書院, 2010

大学院のシラバスも参考にすること。

他科目との関連

全ての科目で学んだことを応用するため、全ての科目と関連する。

備考

・保健衛生学科看護学の各分野に配属され、当該分野において、教授・准教授・講師・助教が指導教員（研究指導の責任者）となり、教員全員が指導にあたる。

・指導する学生数は原則として教授4名、准教授3名、講師2名、助教１名とする。

・2021 年度の授業評価を踏まえ、状況が許す限り、対面でのゼミを取り入れる等、学生が相談しやすい体制をつくる。不明点等があれば、適宜、配属分野の教員に相談すること。

連絡先（メールアドレス）

田中　真琴:tanaka.cc@tmd.ac.jp　3 号館 19F

オフィスアワー

田中　真琴:月曜～金曜　AM9:00-PM18:00

不在時間、対応出来ない時間もあるため、質問や相談時は、事前連絡をすることが望ましい

時間割番号	014001				
科目名	AI 実践演習			科目 ID	
担当教員	角　勇樹[SUMI YUKI]				
開講時期	2022 年度通年	対象年次	2～4	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：AI Practice Exercise

【科目責任者】角　勇樹

主な講義場所

Zoom による同期および非同期

授業の目的、概要等

プログラミングを行い、実行することにより AI について active learning を行う

授業の到達目標

AI について様々な基本的概念を実践して経験し、将来的な学習の方向性を理解する

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/29	16:20-17:50	遠隔授業（同期型）	Anaconda のインストール、Python の基礎、Graphical User Interface	IDE(Integrated Development Environment, 統合開発環境)の構築、Python 基本的文法、tkinter の使い方	角　勇樹
2	10/6	16:20-17:50	遠隔授業（同期型）	Anaconda のインストール、Python の基礎、Graphical User Interface	DE(Integrated Development Environment, 統合開発環境)の構築、Python 基本的文法、tkinter の使い方	角　勇樹
3	10/20	16:20-17:50	遠隔授業（同期型）	画像の扱い方	PIL の使い方	角　勇樹
4	11/10	16:20-17:50	遠隔授業（同期型）	行列、表の扱い方	panda を使い Excel とデーターのやりとり、numpy の使い方	角　勇樹
5	11/17	16:20-17:50	遠隔授業（同期型）	グラフの作り方	matplotlib の使い方	角　勇樹
6	11/24	16:20-17:50	遠隔授業（同期型）	AI その 1	NN(neural network)、Deep learning(深層学習)、Fully Connected Layer(全結合層)、Backpropagation(逆誤差伝搬)、誤差関数、データー拡張、k 分割交差検証	角　勇樹
7	12/8	16:20-17:50	遠隔授業（同期型）	AI その 2	畳み込み(convolution neural network)、Max pooling	角　勇樹
8	12/15	16:20-17:50	遠隔授業（同期型）	AI その 3	過学習、Dropout、Batch normalization、残差ネットワーク(Residual network)、転移学習	角　勇樹

授業方法

基本的概念を同期および非同期授業にて学習し、例として提示されたプログラムを改変して提示された課題提出により成績判定を行うので、自主的にプログラミングし課題を提出すること

授業内容

課題提出により成績判定を行うので、自主的にプログラミングし課題を提出すること

成績評価の方法

複数の課題提出内容により成績判定を行う

成績評価の基準

課題提出内容を相対評価し、成績をつける。課題提出を行わなかった場合、提出内容が要求水準を満たさないことが続いた場合には単位認定を行わない。

準備学習等についての具体的な指示

「医療と AI・ビッグデータ入門」を履修している必要がある。

Python について基本的な事項は理解していることが望まれる。

試験の受験資格

課題提出により成績判定を行うので、自主的にプログラミングし課題を提出すること

他科目との関連

「医療と AI・ビッグデータ入門」、「医療と AI・ビッグデータ入門」と　関連がある

履修上の注意事項

「医療と AI・ビッグデータ入門」を履修している必要がある。

備考

希望する学生にはクラウド上の高速 deep learning server アクセス権限を付与する。

連絡先（メールアドレス）

角　勇樹:ysumi.pulm@tmd.ac.jp

オフィスアワー

角　勇樹:毎週 月-金 曜日 AM.9:00-PM.17:00　3 号館 16 階 呼吸器・神経系解析学教授室

（来室の前にメールで予約してください）

時間割番号	012081				
科目名	Learning Medical English			科目ID	MN-492500-L
担当教員	大川 龍之介, 副島 友莉恵, 赤座 実穂, 太田 悠介[OKAWA RYUNOSUKE, SOEJIMA YURIE, AKAZA MIHO, OOTA Yuusuke]				
開講時期	2022 年度後期	対象年次	2～4	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

Learning Medical English

【科目責任者】大川 龍之介

主な講義場所

別途シラバスに記載。

授業の目的、概要等

現在、多くの人々が海外旅行し、多くの物資が世界中に運ばれ、多量の情報がインターネットで流れ、国際化が進んでいる。また明日を担う本学の看護学生、臨床検査学生は、世界を舞台にして活躍することが期待されている。そのためには、単なる日常英会話能力だけでなく、臨床の現場で用いる用語や患者との接遇に用いる用語など、医療における英語の知識を学ばなければならない。さらに、英語の文献を読む力、国際学会での英語のプレゼンテーション能力も身に着ける必要である。

本科目では前半では採血、検体検査、生理機能検査に関連した英語、患者への接遇について、後半では、国際誌の読み方、国際学会でのプレゼンテーションの仕方について学ぶ。募集の上限は看護、検査合わせて 12 名である。応募者が多い場合には書類、面接などにより選抜する。

授業の到達目標

本科目の到達目標は臨床の現場、国際誌、国際学会でのプレゼンテーションで用いる様々な医学英語を学び活用できることにある。学生は教科書にある基本的な英単語や語句を理解し記憶する事が求められる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	12/2	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	第1, 2章 やさしい英語, 役立つ英語, 血液検査	大川 龍之介
2	12/14	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	第3, 4章 尿検査, 便検査	大川 龍之介
3	12/19	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	第5～7章 生理機能検査①	赤座 実穂
4	12/19	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	第8～11章 生理機能検査②	赤座 実穂
5	12/21	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	第Ⅱ編 論文の読み方①	太田 悠介
6	12/21	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	第Ⅱ編 論文の読み方②	太田 悠介
7	12/23	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	第Ⅱ編 国際学会でのプレゼンテーション①	副島 友莉恵
8	12/23	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	第Ⅱ編 国際学会でのプレゼンテーション②	副島 友莉恵

授業方法

zoom による講義形式(同期型)。

授業内容

4 名の教員によるオムニバス形式

成績評価の方法

講義参加状況、小試験の成績、講義時の積極性により評価する。

1)講義の参加状況 10 点

2)小試験の成績 80 点

3)講義時の積極性 10 点

成績評価の基準

1), 2), 3)の合計が 60 点に達した場合に合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

毎回、授業前に、教科書の章を予習すること。また各担当教員の二回目の授業の最初に前回学習分の理解度を知るための小試験を行うので、復習をしておくこと。

試験の受験資格

授業に3分の2以上出席した者

教科書

臨床検査技師のための医学英語 : 実用会話・文献の読み方／奈良信雄, 西元慶治著,奈良, 信雄,西元, 慶治,Petersen, Mark,:医歯薬出版, 2019

参考書

特に指定しない。

履修上の注意事項

3 回以上欠席の場合は不可とするので出席に注意すること。

備考

科目終了後に科目についてのアンケートを WebClass で実施する。

2021 年度の授業評価結果を踏まえ、2022 年度も引き続き、丁寧に指導・教育できる体制を整える。

連絡先（メールアドレス）

大川 龍之介:ohkawa.alc@tmd.ac.jp

オフィスアワー

大川 龍之介:特定の日時を確保できないためメールでアポイントメントを取ってください.

時間割番号	012088				
科目名	実践看護英語Ⅲ			科目ID	MN-492700-L
担当教員	近藤 暁子, 高野 歩[KONDO AKIKO, TAKANO Ayumi]				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	4	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Practicum of English for NursingⅢ

【科目責任者】近藤暁子

主な講義場所

ZOOM

授業の目的、概要等

異文化や看護、健康に関連する概念について英語で学ぶ。様々な文化についての記事を読み、海外の学生、留学生やクラスメートと英語でディスカッションを行う。オンライン学習システムを使用してインドネシアの学生と交流する。日本の文化を理解し、日本文化以外を持つ対象に説明したり、ディスカッションする。これらの学習を通して異文化の理解とともにコミュニケーション能力を向上させ、国際性を高めることを目的とする。

授業の到達目標

1. 幅広い教養と高い専門知識・技術の修得

異文化を理解し、看護への応用について考察できる。日本文化について理解を深め、説明できる。

2. 医療人としての豊かな感性と人間性の形成

文化の異なる海外の大学の学生、外国人講師、留学生とのディスカッションを通して様々な文化、社会的視点について類似点や相違点を理解し、英語で理解したことを述べることができる。

3. 問題提起・解決能力の修得

ディスカッションを通して他者との意見の違いを理解し、自分の意見を述べ建設的な議論ができる。

4. 自己学習能力・創造性の形成

ディスカッションを通して新たな視点を自身のアイデンティティーに取り入れて表現できる。レジリエンスの概念を看護実践にどのように取り入れるか自分の意見を述べることができる。

5. 国際性の形成

ネイティブの教員、インドネシアの学生及び留学生と建設的なディスカッションを行うことで、英語でのコミュニケーションに慣れ、躊躇なく行えるようなコミュニケーション能力を身に付ける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/13	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	異文化理解	Introduction & Orientation Japanese and Indonesian culture	近藤 暁子, Iqbal Pramukti	Iqbal Pramukti
2	4/20	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	異文化理解	International students' presentation about their culture	近藤 暁子	留学生と英語でディスカッションする
3	5/2	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	自分化理解	Japanese students' presentation about Japanese culture	近藤 暁子	インドネシアの学生、留学生とディスカッション Iqbal Pramukti
4	5/11	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	異文化理解	Experience in the United States	新津 晃右, 近藤 暁子	
5	5/11	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	異文化理解	Indonesian students' presentation about Indonesian culture	近藤 暁子, Iqbal Pramukti	インドネシアの学生とディスカッション Iqbal Pramukti
6	5/18	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	異文化理解	Japanese and Indonesian students	高野 歩, 近藤 暁子, Iqbal Pramukti	インドネシアの学生とディスカッション Iqbal Pramukti
7	5/18	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	異文化理解	Cultures of Death and Mourning	Jonathan Corliss	インドネシアの学生、英語教師とディスカッション

8	5/25	16:20-17:50	遠隔授業（同期型）	異文化理解	Cultures of Nursing	Jonathan Corliss	インドネシアの学生、英語教師とディスカッション
9	6/1	08:50-10:20	遠隔授業（同期型）	異文化理解	Globalization and Nursing Education	LIU Yat Wa, Justina, 近藤 暁子	香港理工大学 Justina Liu
10	6/15	16:20-17:50	遠隔授業（同期型）	異文化理解	Presentation about what discussed Indonesian students	近藤 暁子	英語によるプレゼンテーション

授業方法

1） 講義と演習すべて英語で実施する。すべて ZOOM 同期型で行う。

2） 4 コマはインドネシアのパジャジャラン大学と共同で行う（1、3, 5、9 回目）。

3） 留学生の異文化のプレゼンテーションを聞いてディスカッションする（2 回目）

4） ワシントン大学の教員の米国体験記について講義およびディスカッションを行う（4 回目）

5） ネイティブの英語教員、留学生、クラスメートと指定したトピックについてディスカッションする（6-7 回目）。

6） 香港の教員の講義およびディスカッションを行う（8 回目）

7） インドネシアの学生とディスカッションしたこと、異文化について学んだことや気づいたことについてプレゼンテーションする（10 回目）

授業内容

スケジュール参照

成績評価の方法

全体的参加度：40%、自文化プレゼンテーション：30%、Final presentation: 30%

1） 参加度：授業中に積極的に発言する態度などを評価する。遅刻・早退は 2 回で 1 回の欠席とする。45 分以上遅れた場合はその授業へ出席とは認められない（40%）。

2） 自文化プレゼンテーション：日本の文化の 1 つを取り上げ、英語でプレゼンテーションする。評価は留学生およびクラスメート全員で行う（30%）。

インドネシアの学生とディスカッションしたこと、異文化について学んだことや気づいたことについてのプレゼンテーション（30%）

成績評価の基準

出席日数が 3 分の 2 以上あることを前提とした上で、上記合計点が 60 点以上の場合合格とする。

合計点が 90 点以上で A+,80～89 点で A,70～79 点で B,60～69 点で C とする。

準備学習等についての具体的な指示

原則として TOEFL450 点以上を受講要件とする。

試験の受験資格

試験は行わないが、単位認定には 2/3 の出席を要件とする。

教科書

Transcultural Concepts in Nursing Care 7th ed／Margaret M. Andrews & Joyceen S. Boyle：LWW, 2015

WebClass にて配布

参考書

Margaret M. Andrews, Joyceen S. Boyle Transcultural Concepts in Nursing Care 7th ed 2016 Wolters Kluwer

他科目との関連

国際保健看護学

履修上の注意事項

指定された記事を読んで分からない単語を調べてくること。

備考

下記は 2021 年度受講生の感想です。是非多くの学生の方に受講していただきたいです。

・普通に過ごしていたら留学生の方やワシントン大学の方と交流する機会がなかなかないので、とても貴重な時間でした。大変でしたが選択して良かったと思っています。もっと自分の英語力を高めて視野を広くもてるようになりたいと思うきっかけにもなりました。ありがとうございました。

・英語に対しての抵抗心が弱まりました。苦手意識はあるもののもっと話せるようになりたい、意見を言いたいという気持ちになりました。

・他の専門の授業では聞けないような、海外の看護に関する情報を知ることができ、非常に勉強になりました。また、外国の大学の学生を英語で話すことが楽しかったです。

・大学に入ってから海外研修にもいけず、自分の英語が未熟だったことにも気づいたので、「将来留学をしたい」という目標を見失っていました。しかし、この授業を受けて、英語の力だけが国際的な看護師として必要なことではなくて、学習する姿勢 とか、異文化への関心とか、そういうことの方が重要なのかもしれないと気づきました。それによって、英語の勉強にも必然的に関心が戻ってきました。
全てに関して、自分の未熟さに気付かされてばかりの授業でしたが、将来について良いきっかけを掴むことができたと思います。受けてよかったです。

連絡先（メールアドレス）

近藤　暁子:akondo.ind@tmd.ac.jp

オフィスアワー

近藤　暁子:オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡してから訪問すること。
国際看護開発学教授室（3 号館 18 階）

時間割番号	012084				
科目名	国際保健福祉 D			科目 ID	MN-492600-Z
担当教員	近藤 暁子, 津田 紫緒, 高野 歩[KONDO AKIKO, TSUDA SHIO, TAKANO Ayumi]				
開講時期	2022 年度通年	対象年次	4	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Global Health and welfare D

【科目責任者】国際看護開発学 近藤暁子

主な講義場所

海外短期研修プログラム 研修機関先

- セイナヨキ応用科学大（フィンランド共和国）
- ラオス保健科学大学（ラオス人民民主共和国）
- ワシントン州（米国）
- チュラロンコン大学（タイ）
- ガーナ大学（ガーナ）
- 台北医科大学（台湾）

等

授業の目的、概要等

諸外国の医療施設、教育施設の見学・講義・実習等を通して、異文化社会での健康問題や、異なる保健医療システムを知ると共に 日本との相違を認識・体感し、グローバルな視点で看護の対象となる人々や、提供する看護の実際と課題を捉え、看護職としての専門性および国際感覚を養う。

授業の到達目標

1）研修国の保健医療福祉制度や事情および看護職の役割・活動状況について理解する。

2）1）で理解した内容について言語化し、研修報告書を作成する。

2）海外研修報告会において、1）で理解した内容および研修国での経験等について、第三者に適切に説明することができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/18	18:00-19:30	遠隔授業（同期型）	国際保健福祉	合同オリエンテーション（希望する国の医療施設, 保健福祉施設, 教育機関における見学・講義・実習等）	近藤 暁子, 高野 歩, 津田 紫緒, 川上 明希	日時は未定である。
2	10/19	16:20-17:50	その他	国際保健福祉	海外研修報告会	近藤 暁子, 高野 歩, 津田 紫緒, 川上 明希	日時は未定である。海外研修を通じた体験学習を行う。

授業方法

事前研修への参加、海外研修を通じた体験学習、海外研修報告会への参加（プレゼンテーションの実施等）

オリエンテーションは Zoom で行う。

今年度の詳細は未定である。10 月以降に海外渡航の許可がおり次第、プログラムを調整する。

授業内容

諸外国の教育機関、医療施設、保健福祉施設、老健施設における見学・講義・実習・保健活動・ボランティア活動への参加や、グループワーク・プレゼンテーション・ディスカッション等

成績評価の方法

- 研修前の準備、事前学修への参加・活動状況
- 研修期間中の見学・講義・実習・他活動等への参加状況
- 研修報告会における発表状況
- 研修報告書

成績評価の基準

事前学習、英語によるコミュニケーション、英語によるプレゼンテーション、異文化理解、研修国の保健医療制度・サービスの理解、保健医療福祉に関する実践的知識の習得、保健医療福祉に関する研究知識の習得、事後報告について、5 段階評価とする。

上記合計点が 60 点以上の場合合格とする。合計点が 90 点以上で A+,80～89 点で A,70～79 点で B,60～69 点で C とする。

準備学習等についての具体的な指示

・ 渡航国や自国の政情や社会情勢、文化、保健医療福祉事情、教育制度等の情報を事前に十分得て、事前に研修計画をすること

・ グローバル人材育成プログラムにおける海外派遣前教育プログラム(Academic English Summer Course)に必ず参加し、TOEFL を受験すること

・ 学内における英語運用力向上のための講義やイベント等に積極的に参加し、研修で困らないように、語学力の向上に努めること

・ 派遣前オリエンテーションへ参加し、危機管理など情報収集すること

試験の受験資格

試験は行わない

構成ユニット

主に、海外短期研修プログラムへの参加となる。コロナウイルス感染状況により、オンライン交流となった場合も単位認定する。

参加プログラムごとに数回実施される事前研修に必ず参加する。

海外研修へ参加し積極的に活動に取り組む。帰国後に開催予定の海外研修報告会に参加し、発表を行う。

今年度の詳細は未定である。詳細についてはオリエンテーションで説明する。

他科目との関連

国際保健福祉 A, 国際保健福祉 B, 国際保健福祉 C, 国際保健看護学

履修上の注意事項

・ 4 月(または 5 月)に開催される合同オリエンテーションに参加すること ・ 海外短期研修プログラムへの参加には、成績・語学力、及び面接評価による選考があることを理解し、十分準備をしておくこと ・ Global Communication Workshop (GCW)へ参加していることが必須である ・ 渡航前準備として、危機管理の観点から、所定の手続きを速やかに行うこと ・ 集団行動を伴う海外研修のため、担当教員により定められたスケジュールに則って行動すること

備考

本科目履修後のお願い

・ 研修参加後は、大学説明会等への参加や、下級生・後輩学生への情報提供等、積極的に大学の教育に協力すること

保健衛生学科 海外研修ガイダンスでの発表、オープンキャンパス 他

・ 本学の海外協定校等からの交換留学生のサポート、また海外からの研究者・教育者・実践者等との国際交流を推進するボランティアとして積極的に活動すること

・ 実践看護英語 I～Ⅲ とは内容が異なります。

連絡先(メールアドレス)

近藤 暁子:akondo.ind@tmd.ac.jp

津田 紫緒:3 号館 19 階地域保健看護学研究室 2 03-5803-4573 tsuda.phn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

近藤 暁子:オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡してから訪問すること。

国際看護開発学教授室(3 号館 18 階)

津田 紫緒:アポイントをとった上で随時実施

時間割番号	012102				
科目名	インディペンデントスタディ C			科目 ID	MN-493000-S
担当教員	田中　真琴[TANAKA Makoto]				
開講時期	2022 年度通年	対象年次	4	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Independent study C

【科目責任者】田中　真琴

授業の目的、概要等

人口の高齢化、自然災害、新型感染症パンデミック等、変化し続ける医療や看護を取り巻く状況に応じて、看護実践や研究を発展させ続けていくために、適切な方法で情報を探求しそれらを分析・統合して新たな知見を得ることは、看護職者に求められる重要や役割の一つである。学生自らが、受け入れ先組織・企業等を探し、受け入れ先と授業内容を作り上げ、得られた情報を分析・統合して、将来の状況変化に対応しながら、クリエイティブで柔軟な思考力に基づいて看護実践や研究を発展させていくために必要な知識やスキルの習得や向上を目指す。

授業の到達目標

1. 学生が興味・関心を寄せる課題について適切な情報が得られる組織や企業等を探し、適切な学習計画を立てることができる。

2. 学生が興味・関心を寄せる課題に関する新たな知見を得たり課題を解決したりしていくために、受け入れ先における学習経験を通じて得られた情報を分析・統合するための知識・スキルを獲得する。

3. 学生が興味・関心を寄せる課題に関する新たな知見を得たり課題を解決したりしていくために、受け入れ先における学習経験を通じて得られた情報を分析・統合した結果を説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/6	14:40-16:10	未定	学生が興味・関心を寄せる課題 1	適切な情報が得られる組織や企業等における活動への参加 1	田中　真琴
2	5/11	14:40-16:10	未定	学生が興味・関心を寄せる課題2	適切な情報が得られる組織や企業等における活動への参加 1	田中　真琴
3	6/8	14:40-16:10	未定	学生が興味・関心を寄せる課題3	適切な情報が得られる組織や企業等における活動への参加 1	田中　真琴
4	7/6	14:40-16:10	未定	学生が興味・関心を寄せる課題4	適切な情報が得られる組織や企業等における活動への参加 1	田中　真琴
5	9/28	14:40-16:10	未定	学生が興味・関心を寄せる課題 5	適切な情報が得られる組織や企業等における活動への参加 1	田中　真琴
6	10/19	14:40-16:10	未定	学生が興味・関心を寄せる課題 6	適切な情報が得られる組織や企業等における活動への参加 1	田中　真琴
7	11/16	14:40-16:10	未定	学生が興味・関心を寄せる課題 7	適切な情報が得られる組織や企業等における活動への参加 にもとづく情報の分析・統合	田中　真琴
8	1/6	14:40-16:10	未定	学生が興味・関心を寄せる課題 8	適切な情報が得られる組織や企業等における活動への参加 にもとづく情報の分析・統合・まとめ	田中　真琴

授業方法

各学生が興味・関心を寄せる課題に基づいて、学生自らが担当教員と相談の上、個別に具体的な学習目標・学習計画を作成し、主体的に学習する。

1. 履修登録後は、以下のように行う。

①履修を希望する学生は、インデペンデントスタディとして取り組みたい課題について、科目担当教員（学年担任、専攻主任）と相談し、その課題の指導に適する指導教員を決める。（指導教員は原則、看護学専攻の専任教員とする。）

②当該学生は、インデペンデントスタディ学習計画書（様式）（学習目標・学習内容・学習スケジュール等を含む）を作成し、その内容について、受け入れ先機関および指導教員の助言・指導を受ける。学習計画書の内容・期間は、1 単位に相当するものであること。

③作成されたインデペンデントスタディ学習計画書について、科目担当教員（学年担任）が内容等を確認し当該科目として

十分であると認められた場合に受講開始となる。

2. 授業方法

①インデペンデントスタディ学習計画書にしたがって、受け入れ先組織・企業等において、学生が興味・関心を寄せる課題に関する学習を進める。

②学習終了後、学んだ内容について情報を分析・統合し、報告書を作成し、科目担当教員（学年担任、専攻主任）へ提出する。

※本科目では、受け入れ先組織・企業等を探す際に、ベンチャー・スタートアップを利用することも可能である。
ベンチャー・スタートアップにリストアップされた会社に関するエントリーシートを学生が閲覧し、自らの関心と合致する企業があれば、ベンチャー・スタートアップ担当教員、科目担当教員（学年担任、専攻主任）等と相談の上、ベンチャー・スタートアップのルールに則って当該企業に連絡する。受入れ先組織・企業等候補の担当者と面談などを行った後、両者の合意が得られた場合マッチング成立となる。

授業内容

学生が興味・関心を寄せる課題について適切な情報が得られる組織や企業等における活動への参加、得られた情報の分析・統合
（例：医療・介護施設、企業、ベンチャー企業、ボランティア活動など）

成績評価の方法

以下の点について成績評価を行う。
1）受入れ先組織・企業等での活動状況：受入れ先担当者からのフィードバック
2）活動報告書の提出状況・内容：学習目標の到達状況

成績評価の基準

・受入れ先組織・企業等での活動状況に関する受入れ先担当者からのフィードバック（30%）
・活動報告書の提出状況・内容にもとづく、学習目標の到達状況（70%）

準備学習等についての具体的な指示

・各学生が興味・関心を寄せる課題について適切な情報が得られる組織・企業等について、各自で情報を探索しておくこと。
・学習計画書の作成と計画内容の実現に必要な受入れ先等に関する情報収集を適切に行う。
・各学生が興味・関心を寄せる課題に関する知識やスキルの習得に努める。
・学外組織において学習を行うことから、本学学生および看護を学ぶ者として適確な行動をとれるよう、コミュニケーション力、社会人としての行動や態度等に関する知識やスキルを身に着けておくこと。
・学外組織で学習を行うことから、学習計画に則って学習が進んでいることを、適宜、指導教員に報告する行動を身に着けておくこと。

試験の受験資格

試験は実施しない。

教科書

なし

参考書

なし

他科目との関連

学生が興味・関心を寄せる課題によって関連の深い科目は異なる。

履修上の注意事項

1）学生が興味・関心を寄せる課題にもとづく科目であるため、他の科目とは異なり、内容も受入れ先も受講者ごとに異なる。 2）受入れ先組織・企業等から重要な情報（個人情報を含む）の持ち出しをしないこと。 3）学習は、学生自らが指導教員と共に立てた学習計画に則って進めること。 4）受入れ先での学習期間中は、指導教員に進捗状況や学習上の困難等を、適宜報告・相談すること。 5）受入れ先担当者、指導教員や科目担当教員の指示に従って、学習を進めること。授業日時・内容（順序等）は変更することがある。

連絡先（メールアドレス）

田中　真琴:tanaka.cc@tmd.ac.jp　3 号館 19F

オフィスアワー

田中　真琴:月曜～金曜　AM9:00–PM18:00
不在時間、対応出来ない時間もあるため、質問や相談時は、事前連絡をすることが望ましい

時間割番号	012077				
科目名	地域保健看護学Ⅲ			科目ID	MN-492100-L
担当教員	月野木 ルミ, 津田 紫緒[TSUKINOKI Rumi, TSUDA SHIO]				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	4	単位数	2
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Community Health NursingⅢ

【科目責任者】：月野木 ルミ

主な講義場所

・遠隔授業（Zoom 同期型）

・保健衛生学講義室 4（3 号館 7 階）ほか

授業の目的、概要等

地域で生活している人々に対する保健看護活動について学ぶ。成人高齢者と母子・心身障害児及び，感染症・災害・健康危機管理における，地域保健システムとヘルスニーズのアセスメント，保健看護活動の展開方法，評価の視点を講義およびグループワークなどを活用したアクティブラーニングを含む一連の講義から習得する。

授業の到達目標

1)「1～15 回」成人高齢者・母子・心身障害児及び，感染症・災害・健康危機管理における保健看護活動の目的と基盤になる地域保健システムについて理解する。

2)「1 回」地域における災害・健康危機管理時の保健看護活動の展開と評価ついて理解する。

3)「3,4,6,7 回」地域における母子の保健看護活動の展開方法と評価について理解する。

4)「5,8,9 回」地域における成人、高齢者、難病者の保健看護活動の展開方法と評価について理解する。

5)「10,11 回」地域における感染症に対する保健看護活動の展開方法と評価ついて理解する。

6)「12 回」離島における保健看護活動の展開方法と評価ついて理解する。

7)「13 回」心身障害児の保健看護活動の展開方法と評価について理解する。

8)「14,15 回」地域における看護管理活動の展開方法と評価について理解する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/7	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	地域保健看護学Ⅲ	災害時・健康危機管理時の保健活動の展開	津田 紫緒
2	4/7	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	地域保健看護学Ⅲ	高齢者保健看護活動(介護予防、高齢者への虐待予防活動)	月野木 ルミ
3	4/11	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	地域保健看護学Ⅲ	母子保健看護活動の目的と保健医療福祉システム	清水 洋子
4	4/11	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	地域保健看護学Ⅲ	母子保健活動の展開(妊産婦への保健看護活動)	清水 洋子
5	4/21	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	地域保健看護学Ⅲ	成人期の保健福祉施策と保健医療福祉システム	新井 久美子
6	5/9	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	地域保健看護学Ⅲ	母子保健活動の展開(乳幼児健診, 相談, 学級)	清水 洋子
7	5/9	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	地域保健看護学Ⅲ	母子保健活動の展開(ハイリスク母子への活動)	清水 洋子
8	5/16	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	地域保健看護学Ⅲ	成人高齢者保健看護活動の展開(健康診査、健康相談)	山口 忍
9	5/16	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	地域保健看護学Ⅲ	難病者保健看護活動の展開	小倉 朗子
10	5/23	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	地域保健看護学Ⅲ	感染症保健活動の展開(結核, 感染症, エイズに対する保健活動の展開)	高松 泉, 津田 紫緒
11	5/23	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	地域保健看護学Ⅲ	感染症保健活動の展開(結核, 感染症, エイズに対する保健活動の展開)	高松 泉, 津田 紫緒
12	6/2	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	地域保健看護学Ⅲ	離島における保健活動の展開	丸山 あかね
13	6/2	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	地域保健看護学Ⅲ	心身障害児療育と保健指導	野村 政子
14	6/10	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	地域保健看護学Ⅲ	地域における看護管理活動	菊池 宏幸
15	6/10	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	地域保健看護学Ⅲ	地域における看護管理活動	菊池 宏幸

授業方法

講義形式の授業に加え、グループワーク・プレゼンテーションおよび事例や統計資料を活用した学習展開を学生が主体的に行う。

成績評価の方法

以下の項目について総合的に評価を行う。

1)出席状況

・対面授業への出欠、Zoom ログイン記録から確認する参加状況。

2)課題への取り組み姿勢・授業への参加態度

・授業中の取り組みや反応を評価するため、原則 Zoom のカメラはオンとする。

・授業中の発言状況、グループワーク・資料の作成・プレゼンテーションへの責任ある参加状況を評価する。

4)課題レポート

・レポートの期限内提出状況・内容により評価する。

3)定期試験

※教科書や配布資料等に記載された英語(単語や文章)、授業内容に関連する過去の国家試験問題も出題範囲とする。

成績評価の基準

1)出席状況(欠席、遅刻等を減点)

2)課題への取り組み姿勢・授業への参加態度(15%)

3)課題レポート(15%)

4)期末テスト(70%)

上記 1)～4)の成績評価の方法に示す各項目の成績の合計により評価を行い、100 点満点中 60 点以上を合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

授業内容の理解を深めるため、次回の講義で取り扱う資料(教科書、参考書を含む)を事前に読んでおき、グループ討議時には、積極的に参加すること。また、事後学習として、授業で学んだことについて、資料を用いてふりかえる振り返ることが望ましい。

試験の受験資格

本学試験規則に準じ、授業に 2／3 以上出席していること。

教科書

公衆衛生看護学 = Public Health Nursing／上野昌江, 和泉京子 編集,上野, 昌江,和泉, 京子,: 中央法規出版, 2016

国民衛生の動向 2021/2022 (厚生の指標 2021 年 8 月増刊)／一般財団法人 厚生労働統計 協会: 厚生労働統計協会, 2021-08

Educational Video Online (DVD) 地域看護活動とヘルスプロモーション 第 4 巻 新潟県中越沖地震にみる災害看護活動／佐々木明子他監修: 丸善出版株式会社, 2007

Educational Video Online (DVD) 続・地域看護活動とヘルスプロモーション 第 1 巻 公衆衛生看護活動における健康教育／佐々木明子他監修: 丸善出版株式会社, 2013

Educational Video Online 地域看護活動とヘルスプロモーション/続・地域看護活動とヘルスプロモーション、佐々木明子他監修、丸善出版株式会社、2007・2008/2013・1014

参考書

最新保健学講座 3 公衆衛生看護活動論 1 ライフステージの特性と保健活動／金川克子 編: メヂカルフレンド社, 2015

最新保健学講座 4 公衆衛生看護活動論 2 心身の健康問題と保健活動／金川克子 編: メヂカルフレンド社, 2015

新体系看護学全書 健康支援と社会保障制度 2 公衆衛生学／佐々木明子、井原一成 編集: メヂカルフレンド社, 2016

公衆衛生看護技術 第 4 版 (標準保健師講座)／中村, 裕美子,: 医学書院, 2020

新体系 看護学全書 統合分野 看護の統合と実践 災害看護学／辺見弘 監修、小井土雄一、山西文子 編: メヂカルフレンド社, 2013

最新 保健学講座 7 保健医療福祉行政論／野村陽子 編: メヂカルフレンド社, 2015

新版 保健師業務要覧 第 4 版 2021 年版／井伊久美子, 勝又浜子, 森永裕美子, 荒木田美香子, 坂本真理子, 村嶋幸代 編,井伊, 久美子, 勝又, 浜子,森永, 裕美子,荒木田, 美香子,坂本, 真理子, 看護学,村嶋, 幸代, 1951-,: 日本看護協会出版会, 2021

最新公衆衛生看護学 第 3 版 2019 年版／宮﨑美砂子, 北山三津子, 春山早苗, 田村須賀子 編,: 日本看護協会出版会, 2018

公衆衛生看護学 第3版／上野 昌江 編集,和泉 京子 編集,上野 昌江,和泉 京子,: 中央法規出版, 2021-12-13

他科目との関連

成人看護学, 老年看護学, 母性看護学, 小児看護学, 疫学, 保健統計学, 保健医療福祉制度論などの科目の応用を必要とする。

履修上の注意事項

1)原則として、授業中の入退室は認めない。 2)授業中にスクリーン、Zoom 等の画面を撮影することを禁止する。 3)講義資料等を、受講登録者以外に配布・公開することを禁止する。 4)WebClass やメールを通じた資料配布・連絡を行う場合があるので、担当教員の指示に従い確認すること。 5)授業日時・内容(順序等)・方法は変更することがある。

連絡先（メールアドレス）

月野木　ルミ:r-tsukinoki.phn@tmd.ac.jp

津田　紫緒:3 号館 19 階地域保健看護学研究室 2　03-5803-4573　tsuda.phn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

月野木　ルミ:火、木曜:12-13 時　3 号館 19 階

津田　紫緒:アポイントをとった上で随時実施

時間割番号	012078				
科目名	地域保健看護学演習			科目ID	MN-492200-S
担当教員	月野木 ルミ, 津田 紫緒[TSUKINOKI Rumi, TSUDA SHIO]				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	4	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Seminar of Community Health Nursing

【科目責任者】:月野木 ルミ

主な講義場所

・遠隔授業(Zoom 同期型)

・保健衛生学講義室 1(3 号館 18 階)、実習室

・都内児童相談所ほか

授業の目的、概要等

地域保健看護活動の具体的な手法である地区診断と地域の保健福祉資源, 家庭訪問・相談, 地区組織活動等の活動方法について学ぶ。実際の地域を想定し、学習者が主体となって統計資料等の収集、分析を行い、地域特性の把握, 地域のヘルスニーズのアセスメント, 計画の立案, 活動の展開方法や評価についてグループワークを通して学習する。地域保健看護活動の基礎的な実践についてロールプレイなどの演習を通して必要な知識と技術を習得する。

授業の到達目標

1~7 回目

1)地域の人々の生活, 地域保健システム, 地域の社会資源など地域特性について理解する。

2)地域診断の目的と展開方法, 評価方法を学ぶ。

3)地区組織活動の目的・展開方法を理解する。

4)健康相談活動の目的・技法を理解する。

5)家庭訪問の実施方法を習得する。

8 回目~12 回目、15 回目、16 回目

1)特定の地域を設定し、グループで地域診断を展開する。

2)グループで展開した地域診断のプロセス、結果を発表し、討議を通して理解を深める。

13、14 回目

1)児童相談所の活動目的、機能、保健師の役割を理解する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/14	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	地域保健看護学演習	わが国の地域保健看護活動, 展開の指針	月野木 ルミ
2	4/14	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	地域保健看護学演習	地域診断の目的, 展開方法	月野木 ルミ, 津田 紫緒
3	4/21	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	地域保健看護学演習	地区活動の展開方法と評価	新井 久美子
4	4/25	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	地域保健看護学演習	地区組織活動の目的、展開	綾部 明江
5	4/25	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	地域保健看護学演習	地区組織活動の目的、展開	綾部 明江
6	5/12	13:00-14:30	看護学実習室 2, 看護学実習室 3, 保健衛生学科講義室 1	地域保健看護学演習	健康相談の目的、方法	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
7	5/12	14:40-16:10	看護学実習室 2, 看護学実習室 3, 保健衛生学科講義室 1	地域保健看護学演習	新生児訪問演習	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
8	5/26	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 1	地域保健看護学演習	地域保健看護学実習オリエンテーション 地域診断演習 1	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
9	5/26	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 1	地域保健看護学演習	地域診断演習 1	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
10	6/9	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	地域保健看護学演習	地域診断演習 2 まとめ・グループワーク	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子

11	6/9	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	地域保健看護学演習	地域診断演習2 まとめ・グループワーク	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
12	6/9	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	地域保健看護学演習	地域診断演習2 まとめ・グループワーク	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
13	6/14	13:00-14:30	その他(保・地域保健看護学分野)	地域保健看護学演習	児童相談センターにおける活動	津田 紫緒
14	6/14	14:40-16:10	その他(保・地域保健看護学分野)	地域保健看護学演習	児童相談センターにおける活動	津田 紫緒
15	6/16	13:00-14:30	保健衛生学科講義室1	地域保健看護学演習	地域診断演習3 地域診断発表会	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
16	6/16	14:40-16:10	保健衛生学科講義室1	地域保健看護学演習	地域診断演習3 地域診断発表会	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子

授業方法

講義形式の授業に加え、グループワークによる調査学習、学習成果のプレゼンテーションおよびロールプレイ等による実技演習を行う。

成績評価の方法

以下の項目について総合的に評価を行う。

1)出席状況

・対面授業への出欠、Zoom ログイン記録から確認する参加状況。

2)課題への取り組み姿勢・授業への参加態度

・授業中の取り組みや反応を評価するため、原則 Zoom のカメラはオンとする。

・授業中の発言状況、グループワーク・資料の作成・プレゼンテーションへの責任ある参加状況を評価する。

3)課題レポート

・レポートの期限内提出状況・内容により評価する。

成績評価の基準

1)出席状況(欠席、遅刻を減点する)

2)課題への取り組み姿勢・授業への参加態度、発表(30%)

3)課題レポート(70%)

上記 1)～3)の成績評価の方法に示す各項目の成績の合計により評価を行い、100 点満点中 60 点以上を合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

授業内容の理解を深めるため、次回の講義で取り扱う資料(教科書、参考書を含む)を事前に読んでおくこと。また、事後学習として、授業で学んだことについて、資料を用いて振り返ることが望ましい。

試験の受験資格

本科目では定期試験は実施しない。

教科書

公衆衛生看護学 = Public Health Nursing／上野昌江, 和泉京子 編集,上野, 昌江,和泉, 京子,:中央法規出版, 2016

国民衛生の動向 2021/2022 (厚生の指標 2021 年 8 月増刊)／厚生統計協会 編:厚生労働統計協会, 2021-08

Educational Video Online (DVD) 地域看護活動とヘルスプロモーション 第2巻 家庭訪問の展開とコミュニケーション技術／錦織正子他監修:丸善出版株式会社, 2007

Educational Video Online (DVD)続・地域看護活動とヘルスプロモーション 第2巻 公衆衛生看護学活動における健康相談／佐々木明子他監修:丸善出版株式会社, 2013

Educational Video Online (DVD)続・地域看護活動とヘルスプロモーション 第3巻 公衆衛生看護学活動における地区組織活動・自主グループ／佐々木明子他監修:丸善出版株式会社, 2014

教科書6 (DVD) 続・地域看護活動とヘルスプロモーション 第4巻 公衆衛生看護学活動における地域診断、佐々木明子他監修、丸善出版株式会社、2014

教科書7 (DVD) 地域看護活動とヘルスプロモーション/続・地域看護活動とヘルスプロモーション、佐々木明子他監修、丸善出版株式会社、2007

教科書8 【教材用】母子健康手帳 はいはい(C) H31 年度版、株式会社母子保健事業団、2019

教科書9 (DVD) 新・地域看護活動とヘルスプロモーション 第1巻 地域ケアシステム、佐々木明子他監修、丸善出版株式会社、2019

参考書

コミュニティアズパートナー:地域看護学の理論と実際／エリザベス・T. アンダーソン、ジュディス・マクファーレイン 編、金川克子、早川和生 監訳:医学書院, 2007

最新 保健学講座 5 公衆衛生看護管理論／平野かよ子 編:メヂカルフレンド社, 2015

地域看護診断／金川克子、田高悦子 編:東京大学出版会, 2011

新版 保健師業務要覧 第 4 版 2021 年版／井伊久美子, 勝又浜子, 森永裕美子, 荒木田美香子, 坂本真理子, 村嶋幸代 編,井伊, 久美子, 勝又, 浜子,森永, 裕美子,荒木田, 美香子,坂本, 真理子, 看護学,村嶋, 幸代, 1951−,:日本看護協会出版会, 2021

Community As Partner: Theory And Practice in Nursing(8th Edition)／Elizabeth T. Anderson、Judith McFarlane 著:Wolters Kluwer, 2018

最新保健学講座 別巻 1 健康教育論／宮坂忠夫 編:メヂカルフレンド社, 2013

地域保健福祉活動のための地域看護アセスメントガイド : 地区活動ならびに施策化のアセスメント・活動計画・評価計画の立案／佐伯和子編著,佐伯, 和子,:医歯薬出版, 2018

公衆衛生看護学 第3版／上野 昌江 編集,和泉 京子 編集,上野 昌江,和泉 京子,:中央法規出版, 2021−12−13

他科目との関連

地域保健看護学で学んだ知識を学生各自が総合的に活用する必要がある。また, この科目は地域保健看護学実習を行う上で必須の知識と技術を学ぶための科目である。

履修上の注意事項

1)原則として、授業中の入退室は認めない。 2)授業中にスクリーン、Zoom 等の画面を撮影することを禁止する。 3)講義資料等を、受講登録者以外に配布・公開することを禁止する。 4)WebClass やメールを通じた資料配布・連絡を行う場合があるので、担当教員の指示に従い確認すること。 5)授業日時・内容(順序等)・方法および場所は変更することがある。

連絡先(メールアドレス)

月野木 ルミ:r−tsukinoki.phn@tmd.ac.jp

津田 紫緒:3 号館 19 階地域保健看護学研究室 2 03−5803−4573 tsuda.phn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

月野木 ルミ:火、木曜:12−13 時 3 号館 19 階

津田 紫緒:アポイントをとった上で随時実施

時間割番号	012079				
科目名	地域保健看護学実習			科目ID	MN-492300-E
担当教員	月野木 ルミ, 津田 紫緒[TSUKINOKI Rumi, TSUDA SHIO]				
開講時期	2022 年度通年	対象年次	4	単位数	3
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Practice of Community Health Nursing

【科目責任者】:月野木 ルミ

授業の目的、概要等

【保健所・保健センター】

地域保健活動の第一線機関である保健所・保健センターの役割と機能を理解する。また, 地域保健看護活動の意義と保健師の役割を理解する。地域特性をふまえて健康問題をとらえることの必要性を理解し, 家庭や地域社会で生活する人々に対する保健・医療・福祉活動を学ぶ。また, 地域保健における看護管理の機能について理解する。

さらに, グループワークやフィールドワークなどのアクティブラーニングを用いて地域保健看護活動の計画・実践・評価の一連の過程を学習し, 地域保健看護活動の展開と方法と専門性を理解する。

【学校】

学校教育における保健活動の目的と保健教育, 保健管理および養護教諭の活動について学ぶ。

学校保健と地域保健の関係と, 看護専門職としての役割について理解を深める。

【産業】

企業における産業保健の取り組みならびに保健師の役割と業務について学ぶ。

産業保健と地域保健の連携と, 看護専門職としての役割について理解を深める。

授業の到達目標

【保健所・保健センター】

1)地域保健活動の実践機関としての保健所の機能と活動の展開法について理解する。

2)保健所・保健センター等の保健師の役割を理解する。

3)地域診断をもとに, 地域特性を反映した地域保健看護活動の計画・実施・評価の方法を理解する。

4)個人・家族・集団の健康課題に応じた地域保健看護活動の展開方法と技術を理解する。

5)健康教育の実施の方法を理解する。

6) 住民のニーズに応じた関係機関, 他職種との連携・チームワークの方法を理解する。

7) 地域保健看護活動の今日的動向と法的根拠を理解する。

8) 地域保健における看護管理の機能について理解する。

【学校】

1)学校教育における保健活動の体系と活動の実際について, 理解を深める。

2)養護教諭の活動について, 理解を深める。

3)地域の関係機関との連携について学ぶ。

【産業】

1)企業における保健活動の体系と活動の実際について, 理解を深める。

2)産業保健師の活動について理解を深める。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/18	08:50-10:20	その他	地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
2	4/18	10:30-12:00	その他	地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
3	4/28	13:00-14:30	その他	地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
4	4/28	14:40-16:10	その他	地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
5	9/12	08:50-10:20	その他	地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細について	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子

					は実習要項参照	
6	9/12	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
7	9/12	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
8	9/12	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
9	9/12	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
10	9/13	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
11	9/13	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習全体オリエンテーション:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
12	9/13	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習全体オリエンテーション:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
13	9/13	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習全体オリエンテーション:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
14	9/13	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習全体オリエンテーション:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
15	9/15	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
16	9/15	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
17	9/15	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
18	9/15	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
19	9/15	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
20	9/16	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習全体オリエンテーション:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
21	9/16	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習全体オリエンテーション:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
22	9/16	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習全体オリエンテーション:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
23	9/16	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習全体オリエンテーション:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
24	9/16	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習全体オリエンテーション:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
25	9/22	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細について	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子

					は実習要項参照	
26	9/22	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
27	9/22	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
28	9/22	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
29	9/22	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
30	9/23	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
31	9/23	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
32	9/23	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
33	9/23	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
34	9/23	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
35	9/26	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
36	9/26	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
37	9/26	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
38	9/26	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
39	9/26	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
40	9/27	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
41	9/27	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
42	9/27	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
43	9/27	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
44	9/27	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
45	9/29	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
46	9/29	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
47	9/29	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
48	9/29	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
49	9/30	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子

50	9/30	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
51	9/30	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
52	9/30	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
53	9/30	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
54	10/3	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
55	10/3	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
56	10/3	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
57	10/3	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
58	10/3	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
59	10/4	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
60	10/4	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
61	10/4	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
62	10/4	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
63	10/4	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
64	10/6	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
65	10/6	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
66	10/6	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
67	10/6	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
68	10/7	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
69	10/7	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
70	10/7	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
71	10/7	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
72	10/7	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
73	10/13	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
74	10/13	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細について	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子

					は実習要項参照	
75	10/13	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
76	10/13	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
77	10/13	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
78	10/14	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
79	10/14	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
80	10/14	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
81	10/14	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
82	10/14	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
83	10/17	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
84	10/17	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
85	10/17	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
86	10/17	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
87	10/17	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
88	10/18	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
89	10/18	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
90	10/18	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
91	10/18	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
92	10/18	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
93	10/20	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
94	10/20	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
95	10/20	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
96	10/20	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
97	10/21	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
98	10/21	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子

99	10/21	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
100	10/21	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
101	10/21	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
102	10/24	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
103	10/24	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
104	10/24	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
105	10/24	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
106	10/24	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
107	10/25	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
108	10/25	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
109	10/25	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
110	10/25	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
111	10/25	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
112	10/27	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
113	10/27	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
114	10/27	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
115	10/27	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
116	10/27	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
117	10/28	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
118	10/28	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
119	10/28	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
120	10/28	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
121	10/28	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
122	10/31	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
123	10/31	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細について	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子

					は実習要項参照	
124	10/31	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
125	10/31	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
126	10/31	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
127	11/1	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
128	11/1	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
129	11/1	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
130	11/1	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
131	11/1	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
132	11/2	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
133	11/2	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
134	11/2	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
135	11/2	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
136	11/2	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
137	11/4	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
138	11/4	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
139	11/4	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
140	11/4	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
141	11/4	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
142	11/7	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
143	11/7	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
144	11/7	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
145	11/7	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
146	11/7	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
147	11/8	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子

148	11/8	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
149	11/8	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
150	11/8	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
151	11/8	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
152	11/10	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
153	11/10	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
154	11/10	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
155	11/10	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
156	11/11	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
157	11/11	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
158	11/11	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
159	11/11	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
160	11/11	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
161	11/14	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
162	11/14	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
163	11/14	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
164	11/14	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
165	11/14	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
166	11/15	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
167	11/15	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
168	11/15	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
169	11/15	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
170	11/15	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
171	11/17	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
172	11/17	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細について	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子

					は実習要項参照	
173	11/17	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
174	11/17	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
175	11/18	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
176	11/18	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
177	11/18	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
178	11/18	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
179	11/18	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子

授業方法

実習中は、グループワークによる調査学習、フィールドワーク（地域診断、地区踏査）およびロールプレイ・模擬実践などの実技演習などのアクティブラーニングを行う。

また、カンファレンスにおける学生間、臨地指導者及び教員・学生間でディスカッションにより理解を深めるとともに、学習成果のプレゼンテーションを通して学びの共有を図る。

授業内容

詳細については実習要項参照

成績評価の方法

以下の項目について総合的に評価を行う。

1）出席状況

・臨地実習日程のみならず、学内外オリエンテーション、報告会、事前準備、記録作成・指導についての参加状況。

2）実習への取り組み姿勢・参加態度

・実習前後含む期間中の積極性、グループワークや・資料作成などのグループ共同作業、報告会での発表などの参加状況を評価する。

3）実習記録物の内容

・記録物の期限内提出状況・内容により評価する。

成績評価の基準

1）出席状況（欠席、遅刻の減点）

2）実習への取り組み姿勢・参加態度（20%）

3）実習記録物の内容（個人 30%、グループ（40%）

4） 報告会(10%)

上記 1）～4）の成績評価の方法に示す各項目の成績の合計により評価を行い、100 点満点中 60 点以上を合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

実習開始前に地域保健看護関連の本・資料等を熟読し、知識の整理・確認を行い、実習地でのプレゼンテーションやグループ討議に備えること。

試験の受験資格

本科目では定期試験は実施しない。

教科書

(DVD)新・地域看護活動とヘルスプロモーション　第 1 巻　地域ケアシステム／佐々木明子他監修：丸善出版株式会社, 2019

(DVD)新・地域看護活動とヘルスプロモーション　第 4 巻　学校保健／青柳千春監修：丸善出版株式会社, 2019

参考書

新版 保健師業務要覧 第 4 版 2021 年版／井伊久美子, 勝又浜子, 森永裕美子, 荒木田美香子, 坂本真理子, 村嶋幸代 編,井伊, 久美子, 勝又, 浜子,森永, 裕美子,荒木田, 美香子,坂本, 真理子, 看護学,村嶋, 幸代, 1951-,：日本看護協会出版会, 2021

国民衛生の動向 2021/2022 (厚生の指標 2021 年 8 月増刊)：一般財団法人 厚生労働統計協会, 2021-08

公衆衛生看護学　第3版／上野 昌江 編集,和泉 京子 編集,上野 昌江,和泉 京子,：中央法規出版, 2021-12-13

備考

ツイッター等への投稿に対する注意事項について

実習で知り得た患者や住民の情報を、無断で外部に持ち出したり、不用意に公の場で話したり、ソーシャルメディア（ツイッター、ブログ、ソーシャルネットワーキングサービス、動画共有サイトなど）に発信してはならない。諸君の軽率な行動が、個人情報の漏洩や、個人の尊厳・感情を傷つけることにつながり、受け入れ先をはじめ多くの人に迷惑をかけることになる。いったん拡散した情報は取り消すことができないので、情報の取り扱いに注意すること。

連絡先（メールアドレス）

月野木　ルミ:r-tsukinoki.phn@tmd.ac.jp

津田　紫緒:3 号館 19 階地域保健看護学研究室 2　03-5803-4573　tsuda.phn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

月野木　ルミ:火、木曜:12-13 時　3 号館 19 階

津田　紫緒:アポイントをとった上で随時実施

時間割番号	012067A				
科目名	緩和ケア看護学Ⅰ			科目ID	MN-431000-L
担当教員	廣岡　佳代[HIROHKA Kayo]				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	4	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Palliative Care Ⅰ

【科目責任者】 廣岡 佳代

主な講義場所

Zoom での同期授業を実施する。

授業の目的、概要等

緩和ケア、終末期ケア(エンドオブライフケア)に関する諸概念・諸理論について学習し、緩和ケア、終末期ケアを必要とする人々への援助方法論を深める。

授業の到達目標

1) 緩和ケアを必要とする人々とその家族の特徴を理解し、QOL の向上を目指した看護についてその理論と実際を理解する。

2) がん、非がん疾患をもつ患者への症状コントロールや意思決定支援、療養の体制作りについて理解する。

3) がん患者の家族・遺族への支援について理解する。

4) チーム医療について理解し、看護師の役割について考察することができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/15	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	緩和ケア・終末期ケアの概論	緩和ケア・終末期ケアの概論	廣岡 佳代
2	4/15	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	在宅ホスピスの緩和ケア	在宅におけるホスピス、緩和ケアの実際について(訪問看護)	廣岡 佳代
3	4/22	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	家族・遺族支援	がん患者の家族・遺族への支援	三條 真紀子, 廣岡 佳代
4	4/22	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	緩和ケアの概論	病院における緩和ケア	佐藤 信吾, 野里 洵子, 廣岡 佳代
5	5/6	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	チーム医療　ケアする人のケア	病院におけるチーム医療　ケアする人のケア	本松 裕子, 廣岡 佳代
6	5/6	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	緩和ケアにおける意思決定支援	がん患者の意思決定支援	浅海 くるみ, 廣岡 佳代
7	5/13	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	在宅ホスピスにおける医学的管理	在宅ホスピスについて 在宅で療養するがん患者、非がん患者の医学的管理について	平原 佐斗司, 廣岡 佳代
8	5/13	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	在宅ホスピスにおける医学的管理	在宅ホスピスについて 在宅で療養するがん患者、非がん患者の医学的管理について	平原 佐斗司, 廣岡 佳代

授業方法

グループディスカッションを活用したアクティブラーニングを実施する。

講義は、各回の中で重要なこと、発展的なことを中心に行う。必要に応じでグループディスカッションを取り入れ、理解を深める。講義の資料については、講義前に PDF を Web Class にあげておくので授業前に必ず目を通しておく。

リアクションペーパー:Web Class に提示する項目に、授業終了後回答、送信してもらう。講義への関心、講義内容の理解については、講義内容の改善に役立てる。また、学んだことの概要や、講義への感想・意見を整理することは、復習や自己の課題を見出す助けとなる。

授業内容

1)がんを中心とした診断期からの緩和ケアについて理解する。

2)在宅におけるがん患者、非がん患者の医学的管理について理解する。

3)在宅ホスピスにおける訪問看護について理解する。

4)家族・遺族への支援、医療者のグリーフへの支援を理解する。

成績評価の方法

以下の項目について、総合的に評価を行う。

1)出席状況:30%

2)課題への取り組み姿勢:30%

※ 原則、Zoom のカメラはオンとし、顔が映るように設定する。

※ 授業中の発言状況、グループディスカッション、プレゼンテーションへの責任ある参加度合い。

3)レポート:40%

※ 提示された締め切り日までに提出すること。締め切りを過ぎた場合には未提出の扱いとする。

成績評価の基準

課題は、授業の到達目標に達しているかを評価し、そのことが確認されたところで合格とする。なお、リアクションペーパーにおいて、授業で提供した内容以上の深い学びや、重要な指摘などがあった場合には、最終評価において加点されることがある。欠席については、減点の対象になることがある。総合得点が 60 点以上のものを合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

がん看護、緩和ケア、終末期ケア・ターミナルケア・ホスピス・エンドオブライフケア等に関する書籍(手記・概説・実践報告等)を検索し、関心のある本少なくとも 1 冊は熟読して置くこと。

試験の受験資格

授業内容の計 8 回の授業に参加し、課される課題を提示された期限までに提出すること。授業参加状況は、リアクションペーパーに記載された内容で確認する。

なお、本授業は Zoom での実施のため、出席は講義の最初から最後まで参加しているログが確認できた場合とする。

特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や、集合セッションに参加できない場合には、その事情とともに、締め切り期日が過ぎる前、ならびに集合セッションの始まる前までに科目責任者または医学教務課にメールのように日時の記録が残る形で連絡することを必須とする。なお、緊急の場合には電話でもよいが、その後メールはすること。連絡ができないような特別の事情があったと判断された場合には、その限りではない。これらの十分な対応が行われていたと判断された場合には、事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。

参考書

絵でみるターミナルケア : 人生の最期を豊かに生き抜く人へのかぎりない援助／佐藤禮子 監修,浅野美知恵 編集,佐藤, 礼子, 1939-, 浅野, 美知恵,:学研メディカル秀潤社, 2015

緩和ケア／宮下光令編,宮下, 光令,:メディカ出版, 2022

他科目との関連

母性看護・小児看護・成人看護・高齢者看護の発達段階別看護領域全てに関連する。3 年次までの講義および実習で体験した終末期看護の内容を統合させて学習する。

履修上の注意事項

積極的に講師や学生同士で疑問や考えについて話し合い、理解を深め、自身の課題を見出せるように取り組むこと。 1)授業中にスクリーン・Zoom 等の撮影をすることを禁止する。 2)講義資料等を、受講登録者以外に配布・公開することを禁止する。 3)授業日時・内容(順序等)・方法は変更することがある。

連絡先(メールアドレス)

廣岡 佳代:hirooka.kayo.chn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

廣岡 佳代:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

3 号館 18 階がんエンドオブライフ看護学

時間割番号	012067B				
科目名	緩和ケア看護学Ⅱ			科目ID	MN-491100-L
担当教員	廣岡　佳代[HIROHKA Kayo]				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	4	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Palliative Care Ⅱ

【科目責任者】廣岡　佳代

主な講義場所

Zoom での同期授業を実施する。

授業の目的、概要等

社会においてがんサバイバーを支える支援や家族・遺族の支援の実際について学ぶ。

エンドオブライフにおけるコミュニケーションについて学ぶ。

授業の到達目標

1)診断から終末期まで、がんとともに生きる人々の QOL の向上を目指した看護や社会的支援について理解し、説明できる。

2)がんとともに生きる患者の家族の苦悩を理解し、看取りおよびその後の家族に対する看護を理解し、説明できる。

3)がんと共に生きる人々と家族の全人的苦痛についての理解を深め、その支援について自らの意見を述べることができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	5/20	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	緩和ケアの実際	緩和ケアの実際について学ぶ	廣岡　佳代
2	5/20	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	緩和ケアの実際	「緩和ケアの実際～子どもから高齢者まで～」福田裕子先生(まちのナースステーション八千代統括所長)から学ぶ	廣岡　佳代
3	5/27	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	エンドオブライフにある人とのコミュニケーション	エンドオブライフにある人とのコミュニケーションや支援のあり方を学ぶ	廣岡　佳代
4	5/27	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	エンドオブライフにある人とのコミュニケーション	エンドオブライフにある人とのコミュニケーションや支援のあり方を学ぶ	廣岡　佳代
5	6/3	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	家族・遺族を支える支援	家族・遺族を支える支援について学ぶ	廣岡　佳代
6	6/3	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	家族・遺族を支える支援	家族・遺族を支える支援について学ぶ	廣岡　佳代
7	6/10	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	がんと共に生きる人を支える医療・看護	がん患者の心理・社会的問題に対する支援 NPO 法人　がんと暮らしを考える会　賢見卓也先生から学ぶ	廣岡　佳代
8	6/10	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	がんと共に生きる人を支える医療・看護	がん患者の心理・社会的問題に対する支援 NPO 法人　がんと暮らしを考える会　賢見卓也先生から学ぶ	廣岡　佳代

授業方法

グループディスカッションを活用したアクティブラーニングを実施する。

講義は、各回の中で重要なこと、発展的なことを中心に行う。必要に応じでグループディスカッションを取り入れ、理解を深める。講義の資料については、講義前に PDF を Webclass にあげておくので授業前に必ず目を通しておく。

リアクションペーパー:Webclass に提示する項目に、授業終了後回答、送信してもらう。講義への関心、講義内容の理解については、講義内容の改善に役立てる。また、学んだことの概要や、講義への感想・意見を整理することは、復習や自己の課題を見出す助けとなる。

授業内容

授業内容は、授業スケジュールに示してある。

成績評価の方法

以下の項目について、総合的に評価を行う。

1)出席状況:30%

2)課題への取り組み姿勢:30%

※原則、Zoom のカメラはオンとし、顔が映るように設定する。

※授業中の発言状況、グループディスカッション、プレゼンテーションへの責任ある参加度合い。
3)レポート:40%
※ 提示された締め切り日までに提出すること。締め切りを過ぎた場合には未提出の扱いとする。

成績評価の基準

課題は、授業の到達目標に達しているかを評価し、そのことが確認されたところで合格とする。なお、リアクションペーパーにおいて、授業で提供した内容以上の深い学びや、重要な指摘などがあった場合には、最終評価において加点されることがある。欠席については、減点の対象になることがある。総合得点が 60 点以上のものを合格とする

準備学習等についての具体的な指示

がん体験者やその家族の経験について手記や研究論文などを 1 冊(1 篇)以上読んでおくなど、達成目標や授業内容の中に具体的に示されている項目について、準備してから授業に臨むことが求められる。
WebClass にあらかじめ授業資料や課題、学習に必要情報をアップロードするので、各自ダウンロード等し、講義までに目を通しておくこと。

試験の受験資格

授業内容の計 8 回の授業に参加し、課される課題を提示された期限までに提出すること。授業参加状況は、リアクションペーパーに記載された内容で確認する。
なお、本授業は Zoom での実施のため、出席は講義の最初から最後まで参加しているログが確認できた場合とする。
特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や、集合セッションに参加できない場合には、その事情とともに、締め切り期日が過ぎる前、ならびに集合セッションの始まる前までに科目責任者または医学教務課にメールのように日時の記録が残る形で連絡することを必須とする。なお、緊急の場合には電話でもよいが、その後メールはすること。連絡ができないような特別の事情があったと出判断された場合には、その限りではない。これらの十分な対応が行われていたと判断された場合には、事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。

参考書

絵でみるターミナルケア : 人生の最期を生き抜く人へのかぎりない援助／佐藤禮子 監修,浅野美知恵 編.:学習研究社, 2006
死を前にした人にあなたは何ができますか?／小澤竹俊著,小澤, 竹俊,:医学書院, 2017
緩和ケア／宮下光令編,宮下, 光令,:メディカ出版, 2022

他科目との関連

母性看護・小児看護・成人看護・高齢者看護の発達段階別看護領域全てに関連する。3 年次までの講義および実習で体験した内容を統合させて学習する。

履修上の注意事項

積極的に講師や学生同士で疑問や考えについて話し合い、理解を深め、自身の課題を見出せるように取り組むこと。 1)授業中にスクリーン・Zoom 等の撮影をすることを禁止する。 2)講義資料等を、受講登録者以外に配布・公開することを禁止する。 3)授業日時・内容(順序等)・方法は変更することがある。

連絡先(メールアドレス)

廣岡 佳代:hirooka.kayo.chn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

廣岡 佳代:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。
3 号館 18 階がんエンドオブライフ看護学

時間割番号	012068				
科目名	看護の統合と実践Ⅱ			科目ID	MN-431200-L
担当教員	佐々木 吉子, 今津 陽子, 野口 綾子, 濱舘 陽子, 緒方 泰子, 柏木 聖代, 尾立 篤子, 佐藤 主光, 麻原 きよみ, 小野 和代, 森脇 睦子, 小笹 由香[SASAKI YOSHIKO, IMAZU YOKO, NOGUCHI Ayako, HAMADATE Yoko, OGATA YASUKO, KASHIWAGI Masayo, ORYUU Atsuko, SATO MOTOHIRO, ASAHARA Kiyomi, ONO KAZUYO, MORIWAKI MUTSUKO, OZASA YUKA]				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	4	単位数	2
実務経験のある教員による授業	該当する				

Integration of acquaintances for nursing practice Ⅱ

【科目責任者】佐々木吉子

主な講義場所

3 号館 18 階保健衛生学科講義室1,Zoom による同期型授業

（ネットワーク接続の問題のため、自宅からの参加ができない学生が接続するための講義室については必要に応じ連絡する）

授業の目的、概要等

本科目では、看護専門職に必要とされる知識・技術・態度について、これまでの学修内容に看護倫理やマネジメント、政策の視点を含めて熟考・統合し、看護をより俯瞰的に捉えるとともに、必要なスキルを身に着けることを目的とする。そのため、看護倫理、看護マネジメント、医療制度・経済について知識を深めるとともに、保健・医療の現場で遭遇する、個人、集団の心身の危機的状況や、医療事故、災害等に対応するために必要な手技や多職種との連携の仕方について学修する。

授業では、専門家から講義を受けて知識を深めるとともに、医療チームにおいて多職種と連携しながら看護が果たす役割を探究し、学生自身のキャリアプランを発展させる。

本科目は、四大学連合複合領域コースの看護学以外の領域を専攻する学生の受講も歓迎し、多様な立場から看護を捉えディスカッションに参加することを期待する。

授業の到達目標

1）看護倫理、看護マネジメント、医療制度・経済、政策について知識を深め、これらの視点を含めて看護観を発展させ、社会において看護が果たす役割について、自身の考えを表現することができる。

2)医療現場における多職種連携において看護職が担う役割やリーダーシップのあり方について理解することができる。

3)看護専門職に必要とされる知識、技術、態度に関する学修内容を統合し、学生自身のキャリアプランを発展させる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/7	10:30-12:00	遠隔授業（同期型）	オリエンテーション キャリアマネジメント	オリエンテーション／看護職のキャリアマネジメント	佐々木 吉子	講義、グループディスカッション、発表
2	4/14	10:30-12:00	遠隔授業（同期型）	チーム医療①	チーム医療とコミュニケーションスキル	今津 陽子	講義、グループディスカッション、発表
3	4/26	10:30-12:00	遠隔授業（同期型）	チーム医療②	災害時における保健医療福祉の連携	佐々木 吉子	講義、グループディスカッション、発表
4	5/12	08:50-10:20	保健衛生学科講義室1	チーム医療④	急性・重症患者ケア	野口 綾子	講義、グループディスカッション、発表
5	5/12	10:30-12:00	保健衛生学科講義室1	チーム医療③	患者の栄養管理	今津 陽子	講義、グループディスカッション、発表
6	5/19	10:30-12:00	遠隔授業（同期型）	医療・看護の質保証①	病院のクオリティ・マネジメント	森脇 睦子	講義、グループディスカッション、発表
7	5/26	08:50-10:20	保健衛生学科講義室1	看護に関する政策②	看護政策の決定過程	柏木 聖代	講義、グループディスカッション、発表
8	5/26	10:30-12:00	保健衛生学科講義	看護倫理	看護倫理	麻原 きよみ	講義、グループディスカッション、発表

			室1				
9	6/2	10:30-12:00	遠隔授業（同期型）	看護組織とマネジメント②	看護組織におけるマネジメントとマネジャー育成	緒方 泰子	講義、グループディスカッション、発表
10	6/6	13:00-14:30	遠隔授業（同期型）	医療・看護の質保証②	病院における医療安全	小野 和代	講義、グループディスカッション、発表
11	6/6	14:40-16:10	遠隔授業（同期型）	看護に関する政策①	財政と医療：経済学の視点	佐藤 主光	講義、グループディスカッション、発表
12	6/13	13:00-14:30	遠隔授業（同期型）	看護組織とマネジメント①	組織文化と職場環境	尾立 篤子	講義、グループディスカッション、発表
13	6/13	14:40-16:10	遠隔授業（同期型）	医療・看護の質保証③	看護研究と看護実践	小笹 由香	講義、グループディスカッション、発表
14	6/20	14:30-16:00	遠隔授業（同期型）	看護の統合と実践実習オリエンテーション	ミドルマネジメント（看護師長の役割）の実際	佐々木 吉子, 今津 陽子, 野口 綾子, 濱舘 陽子	講義、グループディスカッション、発表
15	6/20	16:10-17:40	遠隔授業（同期型）	医療・看護の質保証④	トップマネジメントの実際（看護部長の役割）	佐々木 吉子, 今津 陽子, 野口 綾子, 濱舘 陽子	講義、グループディスカッション、発表

授業方法

講義形式の授業に加えて、各回のテーマに基づき、学生間でのグループワーク、プレゼンテーション、全体でのディスカッションを行う。

本科目では、指定する授業回においては、その学習効果を高めるため、事前課題と事後課題を設定する。事前課題は、講師から提示された事前課題や、当該授業に対する関心や講師への質問について、当該授業の前回授業の翌日の 13:00 までに WebClass より提出する。また、事後課題は、当該講義の内容から考察したことや自身の今後の課題について振り返り、授業を通して得た学びをまとめ、授業の翌日の 13:00 までに WebClass より提出する。

授業内容

授業明細の通り

成績評価の方法

本科目の評価は、出席状況、各回の事前課題と事後課題、授業への参加姿勢、最終レポートにより総合的に評価する。

最終レポートは、講義で学習した内容の中で自身が特に関心を持ったテーマを 1 つ選び、そのテーマにおける現場で問題・課題となっていることについて、自分の意見を述べた上で文献を用い論じる。さらに、自身が臨床現場で活動する上で求められる能力をどのように修得するか、現時点での具体的なプランを考察する。2022 年 6 月 27 日(月)13:00 までに、WebClass より提出する。

成績評価の基準

1）出席状況 10%（全出席で 10 点満点、1 回欠席するごとに 1 点減点する）

2）事前課題 20%（全回遅延なく提出で 20 点満点、遅延状況、記載内容＊に応じて減点する）

3）事後課題 20%（全回遅延なく提出で 20 点満点、遅延状況、記載内容＊に応じて減点する）

4）授業への参加姿勢 10%（授業中の態度、発言等の積極性、グループワークでの貢献などを、10 点満点で評価する）

5）最終レポート 40%（遅延なく提出で 40 点満点、遅延状況、記載内容＊に応じて減点する）

＊事前課題、事後課題、最終レポートの記載内容の評価は以下の基準に照らして行う。

A（100%）：授業内容を発展させ、課題に対して期待を超える記述ができている。最終レポートについては、課題に応じたテーマが設定され、明瞭かつ一貫性・論理的が保たれており、文字数、文献の引用方法など規定に沿っている。

B（80%）：授業内容を理解し、目標に相応する意見や考察が記載できている。

C（60%）：課題に対して、容認可能な記述ができている。

D（40%）：課題に対しての記述ができていない。授業内容と関係が薄いか、不適切な記述となっている。

E（0%）：未提出

準備学習等についての具体的な指示

前週の講義時に事前学習の内容について指示を行うため、確認すること。看護・医療に関する制度・政策に関するニュース等の情報収集を積極的に行うこと。授業の進行と合わせて、3 年次までの履修科目の知識、技術、態度に関する既習内容について振り返り、本

講義の学習内容と結び付けて理解すること。

試験の受験資格

最終レポートを提出するためには、2/3 以上の授業への出席を必要とする。Zoom での出席は、講義を最初から最後まで参加しているログが確認出来た場合とする。

教科書

授業資料の作成に用いた書籍・資料は参考資料として必要に応じて提示する。

他科目との関連

既習の看護の専門科目および看護の統合と実践実習・保健医療福祉制度論との関連が深い。

履修上の注意事項

内容・日時・場所については変更が生じうるので教務係や担当教員からの連絡を確認すること。　　講義資料は WebClass「 N4 看護の統合と実践Ⅱ 2022」にて講義日前日の正午までには公開するので、講義までに各自で準備しておくこと。

連絡先（メールアドレス）

佐々木 吉子:y-sasaki.dn@tmd.ac.jp

今津 陽子:imazu.dn@tmd.ac.jp 3 号館 18 階

野口 綾子:ayak.dcn@tmd.ac.jp

濱舘 陽子:hamadate.dcn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

佐々木 吉子:平日 AM.9:30-PM.5:30 3 号館 19 階 災害・クリティカルケア看護学分野教授室

今津 陽子:平日 AM.10:00-PM.5:00 3 号館 18 階 災害・クリティカルケア看護学分野准教授室

野口 綾子:平日 AM.9:00-PM.5:00 3 号館 18 階 災害・クリティカルケア看護学分野研究室 2

濱舘 陽子:平日 AM.9:00-PM.5:00 3 号館 18 階 災害・クリティカルケア看護学分野研究室 2

時間割番号	012070				
科目名	看護の統合と実践実習			科目 ID	MN-471400-E
担当教員	佐々木　吉子, 今津　陽子, 野口　綾子, 濱舘　陽子[SASAKI YOSHIKO, IMAZU YOKO, NOGUCHI Ayako, HAMADATE Yoko]				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	4	単位数	3
実務経験のある教員による授業	該当する				

Practice of integration of acquaintances for Nursing Practice

【科目責任者】佐々木　吉子

主な講義場所

東京医科歯科大学医学部附属病院　病棟、ER センター、外来、3 号館 17 階看護学実習室 1,2,3,4

授業の目的、概要等

本科目では、病院機能全体において看護職が果たす役割を総合的な体験・実践を通して理解することを目的とする。そのため、病棟（夜勤を含む）、外来や専門診療部門における看護職の機能や役割について学ぶとともに、医療安全のための行動や、チーム医療における多職種との連携や協働に看護職が果たす役割について、見学、シャドウイング、ミーティングへの参加などを通して理解する。また、既習の知識や技術を基盤として、病棟におけるパートナーシップ・ナーシングや、クリティカルケア部門における重症患者のケアのマネジメント、歯科看護、外来患者の療養生活の支援を経験し、優先性を考慮した多重課題への対応や、チームにおける協働について学ぶ。さらに、災害やグローバル化に伴って生じる諸問題に注目し、看護職として果たすべき役割について理解するとともに、シミュレーションを通して、必要な知識とスキルを修得する。以上を通して、現場の看護職に求められる知識・技術・態度についてあらためて考察し、自らの課題を見出し、総合的な看護実践能力を高める。

授業の到達目標

1)病棟（夜勤を含む）、外来や専門診療部門における看護職の役割について理解し、説明することができる。
2)病院組織における、医療安全のための行動や、チーム医療における多職種との連携や協働に看護職が果たす役割について理解し、説明することができる。
3)既習の知識や技術を基盤として、病棟におけるパートナーシップ・ナーシングや、クリティカルケア部門での重症患者のケア・マネジメント、歯科看護、外来患者の療養生活 の支援について見学、または一部経験することを通して、優先性を考慮した多重課題への対応やチームにおける協働について学び、これらの要点について説明することができる。
4)災害やグローバル化に伴って生じる諸問題について、病院での備えや実践内容を理解し、有事に看護職として果たすべき役割について検討し、シミュレーションを通して対応に必要な知識とスキルを修得することができる。
5)まとめの会において各自の学びを共有し、病院機能全体における看護職の多様な役割や、現場の看護職に求められる知識・技術・態度についてあらためて考察し、自らの課題を述べることができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	6/13	16:20-17:50	遠隔授業（同期型）	実習オリエンテーション	実習オリエンテーション	佐々木　吉子, 今津　陽子, 野口　綾子, 濱舘　陽子
2	6/28	08:00-17:00	遠隔授業（同期型）	チーム医療入門	他学科・他大学学生とのグループワーク	今津　陽子, 野口　綾子
3	6/29	08:00-17:00	遠隔授業（同期型）	チーム医療入門	他学科・他大学学生とのグループワーク	今津　陽子, 野口　綾子
4	6/30	08:00-17:00	保健衛生学科講義室 3, 保健衛生学科講義室 1	看護の統合と実践実習	災害看護実習①・歯科看護実習	佐々木　吉子, 今津　陽子, 野口　綾子, 濱舘　陽子
5	7/1	08:00-17:00	保健衛生学科講義室1, 保健衛生学科講義室 3	看護の統合と実践実習	看護管理実習・災害看護実習②のどちらか	佐々木　吉子, 今津　陽子, 野口　綾子, 濱舘　陽子
6	7/4	08:00-17:00	保健衛生学科講義室 2, 保健衛生学科講義室 1	看護の統合と実践実習	看護管理実習・災害看護実習②のどちらか	佐々木　吉子, 今津　陽子, 野口　綾子, 濱舘　陽子
7	7/5	08:00-17:00	保健衛生学科講義室 2, 看護学実習室 3, 看護学実習室 4, 保健衛生学科講義室 1	看護の統合と実践実習	夜勤実習・在宅療養支援実習・歯学部実習・クリティカル看護実習・課題学習日のいずれか	佐々木　吉子, 今津　陽子, 野口　綾子, 濱舘　陽子

8	7/6	08:00–17:00	遠隔授業(同期型)	看護の統合と実践実習	夜勤実習・在宅療養支援実習・歯学部実習・クリティカル看護実習・課題学習日のいずれか	佐々木 吉子, 今津 陽子, 野口 綾子, 濱舘 陽子
9	7/7	08:00–17:00	保健衛生学科講義室 2, 看護学実習室 1, 看護学実習室 2, 看護学実習室 3, 看護学実習室 4	看護の統合と実践実習	夜勤実習・在宅療養支援実習・歯学部実習・クリティカル看護実習・課題学習日のいずれか	佐々木 吉子, 今津 陽子, 野口 綾子, 濱舘 陽子
10	7/8	08:00–17:00	遠隔授業(同期型)	看護の統合と実践実習	夜勤実習・在宅療養支援実習・歯学部実習・クリティカル看護実習・課題学習日のいずれか	佐々木 吉子, 今津 陽子, 野口 綾子, 濱舘 陽子
11	7/11	08:00–17:00	遠隔授業(同期型)	看護の統合と実践実習	多重課題実習	佐々木 吉子, 今津 陽子, 野口 綾子, 濱舘 陽子
12	7/12	08:00–17:00	看護学実習室 1, 看護学実習室 2, 看護学実習室 3, 看護学実習室 4	看護の統合と実践実習	夜勤実習・在宅療養支援実習・歯学部実習・クリティカル看護実習・課題学習日のいずれか	佐々木 吉子, 今津 陽子, 野口 綾子, 濱舘 陽子
13	7/13	08:00–17:00	遠隔授業(同期型)	看護の統合と実践実習	夜勤実習・在宅療養支援実習・歯学部実習・クリティカル看護実習・課題学習日のいずれか	佐々木 吉子, 今津 陽子, 野口 綾子, 濱舘 陽子
14	7/14	08:00–17:00	看護学実習室 1, 看護学実習室 2, 看護学実習室 3, 看護学実習室 4	看護の統合と実践実習	夜勤実習・在宅療養支援実習・歯学部実習・クリティカル看護実習・課題学習日のいずれか	佐々木 吉子, 今津 陽子, 野口 綾子, 濱舘 陽子
15	7/15	08:00–17:00	遠隔授業(同期型)	看護の統合と実践実習	夜勤実習・在宅療養支援実習・歯学部実習・クリティカル看護実習・課題学習日のいずれか	佐々木 吉子, 今津 陽子, 野口 綾子, 濱舘 陽子
16	7/19	08:00–17:00	看護学実習室 1, 看護学実習室 2, 看護学実習室 3, 看護学実習室 4	看護の統合と実践実習	医療安全実習(チームビルディング演習、KYT、プレゼンテーション、ディスカッション)	佐々木 吉子, 今津 陽子, 野口 綾子, 濱舘 陽子
17	7/20	08:00–16:00	遠隔授業(同期型)	実習発表会	グループワーク、プレゼンテーション、ディスカッション	佐々木 吉子, 今津 陽子, 野口 綾子, 濱舘 陽子

授業方法

本実習は、以下の内容について、学内および本学大学病院における講義、演習、シミュレーション、現場見学、シャドーイング、グループディスカッションを組み合わせたハイブリッド実習を行う。

1. チーム医療入門
2. 医療安全実習
3. 看護管理実習
4. 多重課題実習
5. 夜勤実習
6. 在宅療養支援実習
7. 災害看護実習
8. クリティカルケア看護実習
9. 歯学部実習
10. 実習発表会

授業内容

1.チーム医療入門

他学部・他学科学生と合同で事例を用いた演習を中心とした学習を行なう。

2.医療安全実習
病院組織における医療安全のための行動の理解のために、附属病院の医療安全担当看護師による実践的な講義・演習と病棟における見学実習を行なう。
3.看護管理実習
1) 病棟の特徴と看護師長と日勤帯リーダーのコミュニケーションについてオリエンテーションを受ける。
2) 日勤帯のリーダーのシャドウイングを行なう。
4.多重課題実習
多重課題への対応を安全に効果的に行うために、パートナーシップ・ナーシングなどの看護体制の見学や複数の患者を受け持つスタッフナースのシャドウイングを通して学ぶ。
5.夜勤実習
1) 夜勤帯の看護師のシャドウイングを行なう。
2) 1)のシャドウイングから交代制勤務に従事する上での体調の管理方法を実践・考察する。
6.在宅療養支援実習
外来患者が在宅で療養生活を送るうえで必要な支援について、化学療法室、糖尿病足外来、血液浄化療法部の看護師のシャドウイングを通して学ぶ。
7.クリティカルケア実習(ER センター、学内シミュレーション)
クリティカルな状況におけるシミュレーション実習と ICU、ER センターにおける見学実習を行う。
8.災害看護実習
災害発生時の看護に関する実践的な講義・演習(シミュレーション教育を含む)と医学部附属病院における見学実習を行なう。
9.歯科看護実習
口腔外科病棟、口腔外科外来にてスタッフナースのシャドウイングを行う。
10.実習報告会
看護の統合と実践実習における学習内容を学生・教員・実習指導者・看護管理者に対して発表する。

成績評価の方法

本科目の評価は、出席状況、事前課題、実習記録、参加姿勢、実習発表会での発表、最終レポートにより総合的に評価する。
最終レポートは、実習での経験を振り返り、病院機能全体における看護職の多様な役割や、現場の看護職に求められる知識・技術・態度について、自らのキャリア・プランに照らして自身の課題を述べる。レポートには任意のタイトルを設定し、1200 字程度で記載する。
2022 年 6 月 27 日(月)13:00 までに、WebClass より提出する。

成績評価の基準

1)出席状況 20%(全出席で 20 点満点、1 回欠席するごとに 2 点、遅刻するごとに 1 点減点する)
2)事前課題 10%(全回遅延なく提出で 10 点満点、遅延状況、記載内容＊に応じて減点する)
3)実習記録 30%(全回遅延なく提出で 30 点満点、遅延状況、記載内容＊に応じて減点する)
4)参加姿勢 10%(授業中の態度、発言等の積極性、グループへの貢献などを、10 点満点で評価する)
5) 実習発表会 10%(発表内容、積極性、グループへの貢献などを、10 点満点で評価する)
6)最終レポート 20%(遅延なく提出で 20 点満点、遅延状況、記載内容＊に応じて減点する)
＊事前課題、実習記録、最終レポートの記載内容の評価は以下の基準に照らして行う。
A(100%):実習内容を発展させ、課題に対して期待を超える記述ができている。最終レポートについては、課題に応じたテーマが設定され、明瞭かつ一貫性・論理的が保たれており、文字数など規定に沿っている。
B(80%):授業内容を理解し、目標に相応する意見や考察が記載できている。
C(60%):課題に対して、容認可能な記述ができている。
D(40%):課題に対しての記述ができていない。授業内容と関係が薄いか、不適切な記述となっている。
E(0%):未提出

準備学習等についての具体的な指示

看護の統合と実践実習の詳細は 6 月 13 日(月)5 限の看護の統合と実践実習オリエンテーション時に、実習要項を用いて説明する。

試験の受験資格

6/13(月)5 限のオリエンテーションへの出席を実習参加の要件とする。

教科書

授業資料の作成に用いた書籍・資料は参考資料として必要に応じて提示する。

他科目との関連

本科目は統合科目として位置づけられており、既習のすべての科目と関連がある。その中でも、看護の統合と実践Ⅱとの関連が深

い。

備考

＊内容については実習協力施設等の都合により変更される可能性がある。

＊詳細については実習要項参照のこと。

ツイッター等への投稿に対する注意事項について

実習で知り得た患者や住民の情報を、無断で外部に持ち出したり、不用意に公の場で話したり、ソーシャルメディア（ツイッター、ブログ、ソーシャルネットワーキングサービス、動画共有サイトなど）に発信してはならない。諸君の軽率な行動が、個人情報の漏洩や、個人の尊厳・感情を傷つけることにつながり、受け入れ先をはじめ多くの人に迷惑をかけることになる。いったん拡散した情報は取り消すことができないので、情報の取り扱いに注意すること。

連絡先（メールアドレス）

佐々木　吉子:y-sasaki.dn@tmd.ac.jp

今津　陽子:imazu.dn@tmd.ac.jp　3 号館 18 階

野口　綾子:ayak.dcn@tmd.ac.jp

濱舘　陽子:hamadate.dcn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

佐々木　吉子:平日　AM.9:30-PM.5:30 3 号館 19 階　災害・クリティカルケア看護学分野教授室

今津　陽子:平日　AM.10：00-PM.5：00 3 号館 18 階　災害・クリティカルケア看護学分野准教授室

野口　綾子:平日　AM.9:00-PM.5:00　3 号館 18 階　災害・クリティカルケア看護学分野研究室 2

濱舘　陽子:平日　AM.9:00-PM.5:00 3 号館 18 階　災害・クリティカルケア看護学分野研究室 2

時間割番号	012091				
科目名	総合実習Ⅰ			科目ID	MN-492800-E
担当教員	近藤 暁子[KONDO AKIKO]				
開講時期	2022 年度通年	対象年次	4	単位数	2
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Comprehensive Practicum Ⅰ

【科目責任者】近藤暁子

主な講義場所

東京医科歯科大学医学部附属病院

授業の目的、概要等

4 年間で学習した知識と技術を統合し、複雑な社会的背景を持ち、様々な病状・病期にある患者、あるいは異文化を持つ複数の患者に対し、主体的に看護実践できる力を高める。また、看護の統合と実践実習で学習した多職種との連携、医療安全、管理的、国際的な視点を踏まえ、チーム医療の中での看護師の役割を実践の中で学ぶ。

授業の到達目標

1. 病棟看護師がペアで情報を共有して協力し、チームとして看護援助を展開する方法をシャドウイングを通して学ぶ。
2. 患者を複数受け持ち、患者の健康障害、その治療や看護を理解できる。
3. 発達段階、心理的、社会的、文化的背景を踏まえ、患者を全人的に理解できる。
4. 看護過程に沿って情報を系統的に収集、整理し、個別性に応じたケアの方向性を明らかにし、患者の安全・安楽を考慮し看護実践を行える。
5. 複数の患者に対し優先順位を考慮し指導看護師とともに対応できる。
6. 患者・家族を中心とした保健医療福祉チームにおける多職種の連携を理解することができる。
7. 患者の権利擁護、意思決定を支える重要性を理解し、倫理的な行動がとれる。
8. シャドウイングによる学びを振り返り、自身のこれからの看護の課題を見いだす。

授業方法

詳細については実習要項参照。

授業内容

コロナウイルスの感染予防のため、例年と異なり、学生同士の密を軽減させる方法で実施する。

各病棟において、複数の患者を受け持っているペアの看護師に対し学生 1 名がついてシャドウイングを行い、優先順位を考慮しながら、実践している内容を学習する。

多職種と連携したチームでの医療を学ぶため、専門外来（コンチネンスケア、ストマ）、多職種連携チーム（Rapid Assessment Support、リエゾン、排尿ケアチーム、褥瘡ラウンド）、医療連携支援センターについての講義を受け、事例などについてのディスカッションなどを通して理解を深める。

緩和ケア実習では、講義、事例検討、ロールプレイにより全人的苦痛を持つ人への向き合い方を学ぶ。国際実習ではペーパーペイシェントを使用した事例検討や留学生とのロールプレイにより、外国人患者への対応方法を学ぶ。

演習では、外国人患者の事例、緩和ケアを受ける患者の事例について、情報収集、アセスメント、看護計画の立案、実施、評価まで行う。

成績評価の方法

1）実践内容　緩和ケア実習　5%、国際実習　5%

演習　20%

多職種連携実習　20%

病棟シャドウイング実習　30%

2）最終レポート　20%

準備学習等についての具体的な指示

実習のオリエンテーションを 7 月 19 日（火）16 時 10 分～17 時 10 分、講義室 2 にて実施する。必ず出席すること。

試験の受験資格

1) 単位認定は、原則として実習時間の 4 分の 3 以上の出席を最低限の条件とする。

（上記条件においては、対象となる実習時間は課題学習日を除いた 8 日間とし、6 日以上の出席が必要である）

2) 遅刻および早退は、時間の長さにかかわらず原則として 2 回で 1 日の欠席とする。

履修上の注意事項 コロナの感染状況により変更になる可能性がある。
備考 「病棟がシャドーイング実習だったので、事例演習で複数受け持ち体験ができるとさらに良かったと思います。」という意見がありました。できるだけ実施できるように検討します。
連絡先（メールアドレス） 近藤　暁子:akondo.ind@tmd.ac.jp
オフィスアワー 近藤　暁子:オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡してから訪問すること。 国際看護開発学教授室（3 号館 18 階）

時間割番号	012092				
科目名	総合実習Ⅱ			科目ID	MN-492900-E
担当教員	田中　真琴[TANAKA Makoto]				
開講時期	2022 年度通年	対象年次	4	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Comprehensive　Practicum Ⅱ

【科目責任者】看護学専攻主任　田中 真琴

【担当教員】 看護学専攻全教員　教授・准教授・講師・助教

主な講義場所

保健衛生学講義室1（3 号館 18 階）、講義室2（3 号館 8 階）、看護実習室1・2（3 号館 17 階）、医学部附属病院、学外施設等。

詳細については、別途実習要項が提示される。

授業の目的、概要等

目的：配置された各専門分野において、既存の知識・技術を統合し、専門分野における看護実践能力を高める力を培う。

概要：各専門分野で、卒業論文Ⅱの取り組みと連動させるなどして、実践的・発展的な実習を行う。教員と双方向にコミュニケーションを取り進めていく。

授業の到達目標

配属された各専門分野において、以下のうち一つに該当する実習を行うことで、各自の目標を達成することができる。

1. 実践的な実習：卒業論文Ⅱの取り組みと関連する場等において、これまでの自己の看護実践上の強みや課題を踏まえ、以下の①～⑤の能力を高めて統合する臨地実習を行う。

1）全人的に対象をとらえる基本的能力を修得する。

2）ヒューマンケアを提供するために必要な基本的能力を修得する。

3）根拠に基づく看護を展開できるために必要な基本的能力を修得する。

4）健康課題に対応した看護を展開できる基本的能力を修得する。

5）環境とチームとの関係の中で看護を実践する能力を修得する。

2. 発展的な実習：各専門分野に特有の場に赴き、看護専門職や、対象者ならびに対象者に関連する人々との相互作用を通して、以下の①～④の能力や態度を高めて発展させる臨地実習を行う。

1）生涯専門職として研鑽を継続していくための基本的態度を錬成する。

2）学生自身がさらに深めていきたいテーマを見出し、自立的に取り組んでいくための基本的能力を修得する。

3）看護専門職の専門性を発展させていくために基盤となる視点をもち、実践力を研鑽していく姿勢を涵養する。

4）実践と研究との関係を見出し、研究的な視点をもって実践を俯瞰する基本的能力を修得する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/11	16:20-17:50	遠隔授業（同期型）	総合実習Ⅱ	オリエンテーション	田中　真琴	
2-6	4/13	08:50-17:50	各研究室	総合実習Ⅱ	担当教員の指示による	田中　真琴	能動的・主体的に実習に取り組むこと。
7-11	5/11	08:50-17:50	各研究室	総合実習Ⅱ	担当教員の指示による	田中　真琴	能動的・主体的に実習に取り組むこと。
12-16	6/1	08:50-17:50	各研究室	総合実習Ⅱ	担当教員の指示による	田中　真琴	能動的・主体的に実習に取り組むこと。
17-21	10/5	08:50-17:50	各研究室	総合実習Ⅱ	担当教員の指示による	田中　真琴	能動的・主体的に実習に取り組むこと。
22-26	11/9	08:50-17:50	各研究室	総合実習Ⅱ	担当教員の指示による	田中　真琴	能動的・主体的に実習に取り組むこと。

授業方法

実習期間は、4月～11 月の期間に、各分野が設定した任意の 5 日間とする。指定された場所で臨地実習を通じたアクティブラーニングを実施する。

授業内容

担当教員の指示による。

各実習の詳細については、別途実習要項が提示される。

成績評価の方法

期間中3／4以上の出席がない場合には、単位認定できない。

出席の定義は、各分野の指示に従うこと。例えば、Zoom 等遠隔授業の場合は、講義を最初から最後まで参加しているログが確認できた

場合、非同期型の場合は、webclass 等での確認テストが提出された場合を出席とする等。

成績評価の基準

実習への出席および実習への取り組み、記録物、レポートなどにより総合的に評価する。

準備学習等についての具体的な指示

これまでの講義および実習内容を復習したうえで臨むこと。また、実習施設は医療の場であるため、看護学を学ぶ学生としての節度ある態度で実習に臨むこと。

試験の受験資格

試験は実施しない

教科書

各分野の指示に従う。

参考書

各分野の指示に従う。

他科目との関連

これまでに学んだことを応用するため、全ての科目と関連する。

履修上の注意事項

・各実習の詳細については、別途実習要項が提示される。 ・授業日時・内容(順序等)は変更することがある。 ・成績は、各分野において評価し専攻主任が認定する。

備考

1)実習中に得た患者の情報は、絶対に電子メールや Web サイト、SNS などでインターネット上に発信しない。

2)SNS を通じて患者から連絡があった場合はすぐに返信せずに、担当教員へ報告し対応の指示を受ける。

2021 年度の授業評価では改善が必要な点はなかったが、2022 年度は状況が許す限り、臨地で実習ができるよう調整する。

連絡先(メールアドレス)

田中 真琴:tanaka.cc@tmd.ac.jp 3 号館 19F

オフィスアワー

田中 真琴:月曜～金曜 AM9:00-PM18:00

不在時間、対応出来ない時間もあるため、質問や相談時は、事前連絡をすることが望ましい

学生周知事項

学 生 周 知 事 項

1 連絡・通知

すべての告示，通知，連絡（試験関係，休講，講義室変更，奨学金関係，健康診断，授業料の納付，呼び出し等）は，Web Class（電子掲示板）により行います。

新たに掲示があった場合はメーリングリストで周知するので、1日に1回はメールを確認するように心がけ、見落として不利益を被らないよう十分注意してください。

2 電話等による学生の呼び出し等

電話等による学生の呼び出しは，緊急かつ重大な場合を除いて一切行わないので，各関係者に説明しておいて下さい。

3 学生証

学生証は，本学の学生である旨を証明するものです。

入学時に交付したものを**4年間使用**しますので，紛失・破損等のないよう大切に取り扱って下さい。

また，定期試験受験時，通学定期券の購入時等に提示を求められたときに提示できるよう，常に携帯するようにして下さい。

（1） 再交付

学生証を紛失又は破損等した場合は，速やかに学務企画課（1号館西1階）に申し出て，再交付の手続きをとって下さい。

再交付には費用がかかりますので注意してください。また再交付まで約1ヶ月近くかかります。

（2） 返却

卒業，退学，除籍，又は有効期間が経過した場合は，速やかに学生証を学務企画課に返却して下さい。なお、返却できない場合は費用を負担することになります。

4 証明書等

証明書等は，保健衛生教務係にて発行するものと，自動発行機にて発行するものがあります。

（1） **保健衛生教務係（受付時間：8:30～17:15）**

次に掲げるものは，保健衛生教務係で発行しますので証明書交付願を提出して下さい。

（交付は，原則として，提出のあった日の明後日となります。）

①成績証明書

②調査書

③英文の在学証明書（交付に1週間程度要します。）

④通学証明書（交通機関から請求された場合に限る。）

バス及び鉄道の通学定期券を購入する場合は，住居の最寄り駅又は大学の最寄り駅にて学生証を提示し，直接購入して下さい。

⑤実習用定期

卒業研究等により本学以外の地に通学する場合は，実習用定期の発行が可能な為，必要が生じた者は，保健衛生教務係に申し出てください。

なお，鉄道会社の許可を受けるまでに**1ヶ月程度要します**ので留意してください。（例：4月から必要な場合は，2月中に手続きをとること。）

※その他：上記以外の証明書等については，個々に保健衛生教務係に相談して下さい。

（2） **自動発行機（利用時間：月～金　8：30～21：00）**

在学証明書・卒業見込み証明書（第4学年在籍者のみ）は，学生談話室（5号館4階）に設置されている[自動発行機]にて発行します。

（問い合わせ先）学務企画課企画調査係（03-5803-5074）

5 学生旅客運賃割引証（学割証）

（1） 学生が課外活動又は帰省などでJR線を利用する場合，乗車区間が片道100kmを超えるときに旅客運賃の割引（2割）を受けることができるものです。

この制度は，修学上の経済的負担を軽減し，学校教育の振興に寄与することを目的とするものなので，計画的に使用すること。（年間使用限度：10枚／人）

（2） 次に掲げる行為があったときは，普通運賃の2倍の追徴金を取られるばかりでなく，本学の全学生に対する学割証の発行が停止されることがありますので，乱用又は不正に使用することのないよう注意して下さい。

①他人名義の学割証を使って乗車券を購入したとき

②名義人が乗車券を購入し，これを他人に使用させたとき

③使用有効期間を経過したものを使用したとき

（3） 学割証は，学生談話室（5号館4階）に設置されている「自動発行機」にて発行します。

（利用時間：8：30～21：00）

（問い合わせ先）学生支援事務室　学生支援総括係（03-5803-5077）

6 住所・氏名等の変更

本人又は保証人の住所・本籍又は氏名等（電話番号を含む。）に変更が生じた場合は，速やかに保健衛生教務係に申し出て所定の手続きをとって下さい。

この手続きを怠った場合，大学から本人又は保証人に緊急に連絡する必要が生じても連絡が取れないので注意して下さい。

7 休学，復学，退学，欠席

（1） 休学

病気その他の事由により，引き続き3ヶ月以上休学する場合は，「休学願」を保健衛生教務係に提出し，学長の許可を受けて下さい。（病気の場合は，医師の診断書を添付して下さい。）

なお，休学にあたっては，事前*に「**学年担当教員**」又は「**グループ担当教員**」と面談し，**休学事由**及び**休学によって生じる修学上の諸問題**等について十分相談して下さい。

また，休学を許可される期間は，**在学期間内通算して2年を超えることができません**。（特別の事情があると学長が認めたときは，更に1年以内の休学を許可することがありますので，事前に保健衛生教務係に相談してください。）＊2か月前までが望ましい。

（2） 復学

休学している学生が，休学許可期間の途中又は満了時に復学を希望する場合は，復学願（保証人連著）を保健衛生教務係に提出し，学長の許可を受けて下さい。（病気を事由に休学した場合は，医師の診断書と保健管理センター発行の復学に関する意見書を添付して下さい。）

（3） 退学

病気その他の事由により，学業を継続することが困難となり，退学しようとする場合は，退学願（保証人連著）を保健衛生教務係に提出し，学長の許可を受けて下さい。

なお，退学するにあたっては，事前*に学年担当教員，グループ担当教員と面談し，退学事由等について十分相談して下さい。＊2か月前までが望ましい。

（4） 授業の欠席

病気その他特別な事情により授業を欠席する（した）場合は，欠席届を保健衛生教務係に提出して下さい。（病気の場合は，「診断書」を添付して下さい。）

8 ロッカーの貸与

各人にロッカー(学部在籍中は，同じロッカーを使用)を貸与します。
私物は講義室等に置かず、全てロッカーに保管して下さい。
教室及びロッカー室内での盗難が多発しているので，貴重品等の管理は厳重にして下さい。
また，各人の責による備品等の破損については，各人の負担により現状に復して下さい。

9 授業中(大学行事，課外授業を含む。)の本人及び賠償責任が伴う事故等

入学時に加入した「学校教育災害傷害保険」(学研災)及び「医学生教育研究賠償責任保険」(医学賠)の対象となります。
(詳細は「学生生活の手引」参照)
なお，**針刺し事故(B型・C型肝炎)**が起こった場合は，職員健康管理室安全衛生係(5号館：03-5803-4619)へ連絡のうえ指示を受けた後，保健衛生教務係に事故報告書を提出して下さい。
ただし，他人に対する針刺し事故については上記の「医学賠」保険の対象となります。

10 遺失物及び拾得物

学内での遺失物又は拾得物の届出は以下のとおりとなります。
・遺失または拾得した建物の防災センターまたは守衛所

11 その他

(1) クラブ，サークル等宛の郵便物等は，学生支援課の窓口で保管していますので，責任者は適宜確認して下さい。なお，個人宛の郵便物等は，特別の場合を除き大学に配達されることがないようお願いします。
(2) 事務上の窓口
① 教務事務・・・・・・医学部保健衛生教務係(3号館6階：03-5803-5119)
② 授業料の納入・・・・・・・財務部財務企画課資金管理係(1号館西3階：03-5803-5042)
③ 奨学金・授業料免除・・・・学生支援事務室　学生支援総括係
(5号館3階：03-5803-5077)
④ 針刺し事故・・・・・・・・・・・職員健康管理室安全衛生係(5号館3階：03-5803-4619)

台風等の自然災害や交通機関運休による休講措置（湯島地区）

台風等の自然災害や交通機関運休に伴う湯島地区で行う授業、試験の休講措置等について

台風等の自然災害や交通機関運休に伴う授業の休講、試験の延長を決定した場合は、下記により本学のホームページ「学生生活」のお知らせ欄に掲載します。

〇台風などで首都圏に直接災害が予想される場合

・午前の授業を休講、午前の試験を延期とする場合は、午前６時３０分までに公示する。
・午後の授業を休講、午後の試験を延期とする場合は、午前１０時までに公示する。

〇首都圏における交通機関(JR 及び大手私鉄・地下鉄など）が全面的に運転を休止している場合

・午前の授業を休講、午前の試験を延期とする場合は、午前６時３０分までに公示する。
・午後の授業を休講、午後の試験を延期とする場合は、午前１０時までに公示する。

URL
https://www.tmd.ac.jp/faculties/kyukou/

《参 考》

諸　様　式

1　**証明書交付願**（自動発行機にて発行しているものを除く。）
　証明書は，原則として請求日の明後日以降発行する。（英文によるものを除く。）

2　**住所・本籍地変更届**
　変更したことを証明する書類が必要です。（運転免許証、戸籍抄本等）

3　**改姓届（戸籍抄本添付）**

4　**保証人変更届**

5　**学生証（身分証明証）紛失、盗難、破損届 兼 再発行申請書**
　学生証の再発行を申請する時に、学務企画課企画調査係に提出

6　**授業欠席届**（病気の場合は「診断書」を添付）
　病気その他特別な事情により授業を欠席する場合に提出

7　**再試験申請書**（未提出者は，権利を喪失するので必ず提出すること。）
　定期試験不合格者は，原則再試験実施日の7日前までに教務係に提出

8　**再試験欠席届**
　病気その他特別な事情により再試験を欠席した場合に提出

9　**追試験申請書**（未提出者は，権利を喪失するので必ず提出すること。）
　病気，他やむを得ない理由により定期試験を欠席した者は，原則当該定期試験終了後5日以内に教務係に提出

10 **休学願**
　グループ担当教員又は学年担当教員の面談後，専攻主任の面談（押印）を受けてから提出
　（緊急時等で専攻主任が不在の場合は，教育委員長の面談で可）

11 **休学期間延長願**
　グループ担当教員又は学年担当教員の面談後，専攻主任の面談（押印）を受けてから提出
　（緊急時等で専攻主任が不在の場合は，教育委員長の面談で可）

12 **復学願**
　グループ担当教員又は学年担当教員の面談後，専攻主任の面談（押印）を受けてから提出
　（緊急時等で専攻主任が不在の場合は、教育委員長の面談で可）

13 **退学願**
　グループ担当教員又は学年担当教員の面談後，専攻主任の面談（押印）を受けてから提出
　（緊急時等で専攻主任が不在の場合は、教育委員長の面談で可）

医学部長	事 務 長	副事務長	係　　長	起案者
専				

証　明　書　交　付　願

（西暦）　　年　　月　　日

医　学　部　長　　殿

□　医学部医学科　第　　学年
□　医学部保健衛生学科　第　　学年
（☑看護学専攻　□検査技術学専攻）
□　医学部医学科専攻生（　　講座・分野）
□　医学部保健衛生学科専攻生
（　　学専攻）

学籍番号 | | | | | | | | |

氏　　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

生年月日（西暦）　　年　　月　　日生

下記により証明書（**和文・英文**）の交付をお願いいたします。

記

証明書の種類	枚　数	※証明書番号	請求理由及び提出先
1．**成績証明書** **厳封（□希望　□不要）**			（請求理由）
2．**卒業見込証明書** （M6・N4・MT4 のみ発行）			
3．**在学証明書** （英文のみ）			（提出先）
4．**在学期間証明** （専攻生のみ）			
5．**終了証明書** （専攻生のみ）			
6．**ＣＢＴ成績表**			
7．			（備考）

注）1．「※証明書番号」欄は記入しないこと。
2．受取の際本人確認のために学生証（身分証明書）を提示していただきます。
代理で受け取る場合は必ず委任状を持参してください。

医学部長	事務長	副事務長	係　長	起案者
専				

住所・本籍地変更届

（西暦）　　年　　月　　日

東京医科歯科大学医学部長　　殿

□　医学部医学科　第　　学年

□　医学部保健衛生学科　第　　学年

（□看護学専攻　□検査技術学専攻）

学籍番号 | | | | | | | | |

氏　　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

このたび，下記のとおり変更しましたのでお届けいたします。

記

変　更　者	□本　人 □保　証　人　（保証人氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿　続柄：＿＿＿＿）
□ 住　　所	〒			－					TEL. ＿＿＿＿＿＿＿＿
□ 本 籍 地	

注）変更該当個所の□をチェックしてください。

注）提出の際は、変更内容の分かる書類（運転免許証・住民票・戸籍謄本・外国人登録証等）を提示してください。

教務ｼｽﾃﾑ	債権変更	学籍簿	名簿

医学部長	事務長	副事務長	係　　長	起案者
専				

改　　姓　　届

（西暦）　　年　　月　　日

東京医科歯科大学医学部長　　殿

□　医学部医学科　第　　学年

□　医学部保健衛生学科　第　　学年

（□看護学専攻　□検査技術学専攻）

学籍番号

氏　　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

このたび，下記のとおり改姓しましたのでお届けいたします。

記

（ﾌﾘｶﾞﾅ） 旧　　姓		（ﾌﾘｶﾞﾅ） 新　　姓	
（改姓理由）			

注）戸籍抄本又は謄本を添付すること。

教務ｼｽﾃﾑ	債権変更	学籍簿	台帳	名簿

医学部長	事務長	副事務長	係　　長	起案者
専				

保　証　人　変　更　届

（西暦）　　年　　月　　日

東京医科歯科大学医学部長　　殿

□　医学部医学科　第　　学年

□　医学部保健衛生学科　第　　学年

（□看護学専攻　□検査技術学専攻）

学籍番号 | | | | | | | | |

氏　　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印

このたび，下記のとおり保証人（正･副）を変更しましたのでお届けいたします。

記

(ﾌﾘｶﾞﾅ) 氏　　名	 印 年　　月　　日生	学生との関係	
		職　　業	
		本　籍　地	
住　　所	〒 □□□－□□□□　　TEL.＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿		

注）氏名欄に押印してください。

債権変更	学籍簿

別紙様式

事務部長	課　　長	副 課 長	専門職員	係　　長	係　　員
㊙	㊙				

学生証（身分証明書）紛失、盗難、破損届

兼　再発行申請書

年　　月　　日

国立大学法人東京医科歯科大学長　殿

年度入学　　第　　学年

□ 学部（　　学部　　学科　　専攻）
□ 修士課程　　□ 博士課程
□ 博士（前期）課程　□ 博士（後期）課程
（　　分野）
□ その他（　　）

学籍番号 第 | | | | | | | | | 号

氏　　名（自署）

生年月日　　年　　月　　日生

下記のとおり、学生証（身分証明書）を（紛失しました・盗難に遭いました・破損しました）ので、届け出るとともに、再発行を申請（します。しません。）
なお、学生証（身分証明書）が見つかったときは、直ちに申し出ます。

記

理由・紛失状況等

・紛失(盗難)日時：　　年　　月　　日　　時　　分頃

・警察への届出日等：　　年　　月　　日（　　警察署）

再発行手数料
□本人負担
□免除

財務企画課確認欄

※　必要事項を記入のうえ、財務企画課収入管理係で再発行にかかる手数料 1,500 円を支払うこと。
なお、既納の手数料は、いかなる理由があっても返還しません。

医学部長	学 科 長	専攻主任	事務長	副事務長	係　　長	起案者
専	専	専	専	専		

授　業　欠　席　届

（西暦）　　年　　月　　日

医　学　部　長　　殿

□　医学部医学科　第　　学年

□　医学部保健衛生学科　第　学年

（□看護学専攻　□検査技術学専攻）

学籍番号 | | | | | | | | |

氏　　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

下記のとおり，授業を（欠席します／欠席しました）のでお届けいたします。

記

１．欠席期間　　自（西暦）　　年　　月　　日

至（西暦）　　年　　月　　日

２．欠席理由（病気による場合は，医師の診断書を添付すること。）

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

医学部長	学 科 長	専攻主任	事務長	副事務長	係　　長	起案者
専	専	専	専	専		

再　試　験　申　請　書

（西暦）　　年　　月　　日

医　学　部　長　　殿

□　医学部医学科　第　　学年

□　医学部保健衛生学科　第　　学年

（□看護学専攻　□検査技術学専攻）

学籍番号 | | | | | | | | |

氏　　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

下記科目について，再試験の申請をしますのでよろしくお願いいたします。

記

申請科目名	担当教員名	申請科目名	担当教員名
1．		6．	
2．		7．	
3．		8．	
4．		9．	
5．		10.	

医学部長	学 科 長	専攻主任	事務長	副事務長	係　　長	起案者
専	専	専				

再　試　験　欠　席　届

（西暦）　　年　　月　　日

医　学　部　長　　殿

□　医学部医学科　第　　学年

□　医学部保健衛生学科　第　　学年

（　　学専攻）

学籍番号

氏　　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

下記のとおり再試験を欠席しましたのでお届けいたします。

記

１．試験科目名　：　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿（教員名：　　）

（西暦）　　年　　月　　日施行

２．欠 席 理 由（病気による場合は，医師の診断書を添付すること。）

医学部長	学 科 長	専攻主任	事務長	副事務長	係　　長	起案者
専	専	専	専	専		

追　試　験　申　請　書

（西暦）　　年　　月　　日

医　学　部　長　　殿

□　医学部医学科　第　　学年

□　医学部保健衛生学科　第　　学年

（□看護学専攻　□検査技術学専攻）

学籍番号 | | | | | | | | |

氏　　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

下記のとおり定期試験を欠席しましたので，追試験を施行してくださいますようお願いいたします。

記

１．試験科目名　：　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿（教員名：　　）

（西暦）　　年　　月　　日施行

２．欠 席 理 由（病気による場合は，医師の診断書を添付すること。）

休　　学　　願

年　　月　　日

東京医科歯科大学長　　殿

教授認印

医学部　　科　第　　学年

（　　学専攻）

学 籍 番 号 | | | | | | | | |

(ﾌﾘｶﾞﾅ)

本 人 氏 名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

保 証 人 氏 名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

参照用

下記のとおり休学したいので，ご許可くださいますようお願いいたします。

記

１．休学理由

２．休学期間　　自　　年　　月　　日

至　　年　　月　　日　　（　　ヶ月）

３．休学中の連絡先

本　　人	〒 □□□ － □□□□　　TEL. ＿＿＿＿＿＿＿＿
保 証 人	〒 □□□ － □□□□　　TEL. ＿＿＿＿＿＿＿＿

注)１．休学理由は，裏面にできるだけ具体的に記入してください。
２．休学理由が，病気を理由とする場合は，医師の診断書を添付してください。

財務管理課収入管理掛照合欄	
前期授業料	後期授業料

休 学 期 間 延 長 願

年　　月　　日

東京医科歯科大学長　　殿

教授認印

医学部　　科　第　　学年

（　　学専攻）

学 籍 番 号 | | | | | | | | |

(ﾌﾘｶﾞﾅ)

本 人 氏 名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

保証人氏名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

下記のとおり休学期間を延長したいので，ご許可くださいますようお願いいたします。

参照用

1．休学期間延長理由

2．休学延長期間

年　　月　　日～　　年　　月　　日までのところ

年　　月　　日～　　年　　月　　日まで延長（　　ヶ月）

3．休学中の連絡先

本　　人	〒 □□□－□□□□　TEL. ＿＿＿＿＿＿＿＿
保 証 人	〒 □□□－□□□□　TEL. ＿＿＿＿＿＿＿＿

注）1．休学理由は，裏面にできるだけ具体的に記入してください。

2．休学理由が，病気を理由とする場合は,医師の診断書を添付してください。

、経理課出納掛照合欄	
前期授業料	後期授業料

復　　学　　願

年　　月　　日

東京医科歯科大学長　　殿

教授認印

参照用

医学部　　科　第　　学年

（　　学専攻）

学 籍 番 号

(ﾌﾘｶﾞﾅ)

本 人 氏 名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

保証人氏名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

下記のとおり休学しておりましたが，　　年　　月　　日付けで復学したいので，ご許可くださいますようお願いいたします。

記

１．休学理由

２．休学許可期間　　自　　年　　月　　日

至　　年　　月　　日

注)病気を理由として休学した場合は,医師の診断書を添付してください。

退　　学　　願

年　　月　　日

東京医科歯科大学長　　殿

教授認印

参照用

科　第　　学年

学専攻）

学籍番号

(ﾌﾘｶﾞﾅ)

本人氏名 _____

(ﾌﾘｶﾞﾅ)

保証人氏名 _____

下記のとおり退学したいので，ご許可くださいますようお願いいたします。

記

1．退学理由

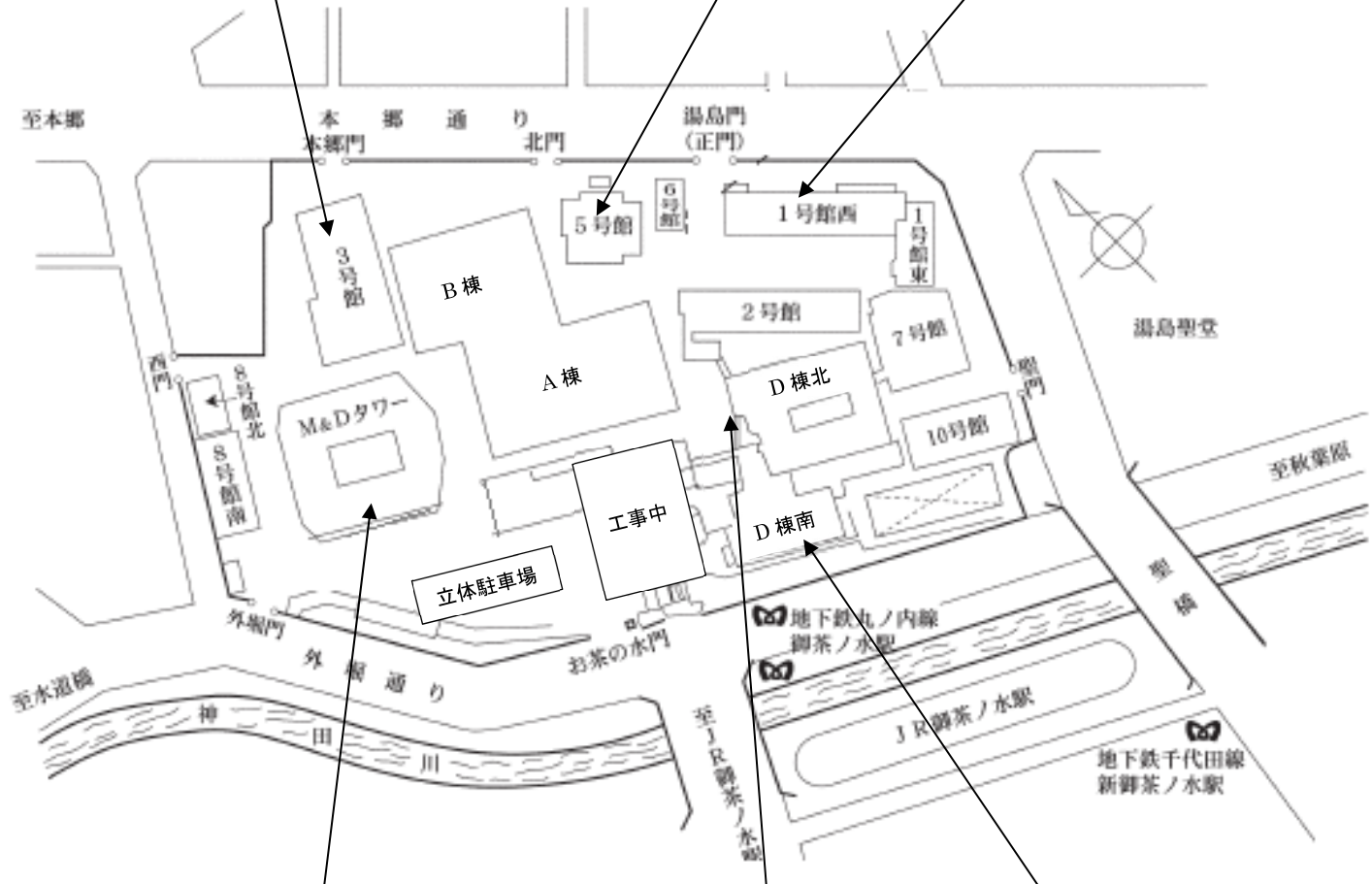
2．退 学 日　　年　　月　　日付

注）退学理由は，裏面にできるだけ具体的に記入してください。

経理課出納掛照合欄	
前期授業料	後期授業料

講義室一覧

講義室等一覧



<u>３号館</u>
保健衛生学講義室１（１８階）
保健衛生学講義室２・３（８階）
保健衛生学講義室４・５（７階）
医学部事務部保健衛生教務係（６階）

<u>５号館</u>
保健管理センター（２階）
第２ゼミナール室（２階）
大学生協（地下１階）

<u>１号館西</u>
学務企画課（１階）
演習室１・２（６階）
OH 第３講義室（７階）

<u>M&D タワー</u>
共用講義室１・２（２階）
情報検索室（４階）
共用セミナー室４（２２階）
共用セミナー室１０（８階）
共用セミナー室１１（６階）
共用セミナー室１２（６階）

<u>D 棟北</u>
防災センター横
D 棟時間外入口

<u>D 棟南</u>
歯学部特別講堂（４階）

参　考

東京医科歯科大学学則

（平成１６年４月１日
規程第４号）

第１章　総則

第１条　本学は、医学及び歯学の理論並びに応用を教授研究し、併せて人格の陶冶をなすものである。

２　各学科における人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的については、当該学科において別に定める。

第２条　本学に、国立大学法人東京医科歯科大学組織運営規程（平成１６年規程第１号。以下「組織運営規程」という。）の定めるところにより、次の学部及び学科を置く。

医学部　医学科
　　保健衛生学科
歯学部　歯学科
　　口腔保健学科

２　医学部保健衛生学科に、看護学専攻及び検査技術学専攻を置く。

３　歯学部口腔保健学科に、口腔保健衛生学専攻及び口腔保健工学専攻を置く。

４　本学に、組織運営規程の定めるところにより、教養部を置く。

第３条　医学部医学科及び歯学部歯学科の修業年限は６年、医学部保健衛生学科及び歯学部口腔保健学科の修業年限は４年とする。

第４条　学生の入学定員、編入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。

学　部	学科・専攻		入学定員	編入学定員	収容定員
医学部			人	人	人
	医　学　科		８５	５（２年次編入）	５３５
	保健衛生学科				
	看護学専攻		５５		２２０
	検査技術学専攻		３５		１４０
歯学部					
	歯　学　科		５３		３１８
	口腔保健学科				
	口腔保健衛生学専攻		２２		８８
	口腔保健工学専攻		１０	５（２年次編入）	５５

第２章　授業科目

第５条　削除

第６条　本学の授業科目は、全学に共通する教育科目（以下「全学共通科目」という。）と専門に関する教育科目（以下「専門科目」という。）とする。

２　全学共通科目は教養部において、専門科目は各学部において行う。
３　全学共通科目の開設授業科目及び単位数は、別に定める。
４　専門科目の開設授業科目及び単位数は、別に定める。

第３章　学年、学期及び休業日

第７条　学年は、４月１日に始まり、翌年３月３１日に終わる。

第８条　学年を分けて、次の学期とする。
前期　４月１日から９月３０日まで
後期　１０月１日から翌年３月３１日まで

第９条　授業を行わない日（以下「休業日」という。）は次のとおりとする。
⑴ 日曜日及び土曜日
⑵ 国民の祝日に関する法律（昭和２３年法律第１７８号）に規定する休日
⑶ 本学創立記念日　　１０月１２日
⑷ 春季休業
⑸ 夏季休業
⑹ 冬季休業
２　前項の規定にかかわらず、教育上必要がある場合には、休業日に授業を行うことができる。
３　第１項第４号から第６号の期間は、各学部において別に定める。
４　第１項に定めるもののほか、学長は、臨時の休業日を定めることができる。

第４章　入学、休学、転学、留学、退学及び除籍

第１０条　入学の時期は、学年の始期とする。

第１１条　本学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。
⑴ 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
⑵ 通常の課程による１２年の学校教育を修了した者又は通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者
⑶ 外国において、学校教育における１２年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
⑷ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
⑸ 専修学校の高等課程（修業年限が３年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
⑹ 文部科学大臣の指定した者（昭和２３年文部省告示第４７号）
⑺ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成１７年文部科学省令第１号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同省令附則第２条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和２６年文部省令第１３号）に定める大学入学資格検定に合格した者を含む。）
⑻ 学校教育法第９０条第２項の規定により大学に入学した者であって、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
⑼ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、１８歳に達したもの

第１２条　大学医学部医学科の卒業者で歯学部歯学科に、大学歯学部歯学科の卒業者で医学部医学科に編入学を希望する者があるときは、欠員がある場合に限り、選考の上、相当の学年に入学の許可をすることがある。

第１３条　大学医学部医学科の学生で医学部医学科に､大学歯学部歯学科の学生で歯学部歯学科に、大学（短期大学並びに外国の大学及び短期大学を含む。）の学生で医学部保健衛生学科又は歯学部口腔保健学科に転入学を希望する者があるときは、欠員がある場合に限り、選考の上、相当の学年に入学を許可することがある。

第１４条　医学部医学科の２年次に編入学をすることができる者は、次の各号の一に該当する者で、選考の上、入学を許可する。

⑴ 大学を卒業した者（医学を履修する課程を卒業した者を除く。）

⑵ 学校教育法（昭和２２年法律第２６号）第１０４条第４項の規定により学士の学位を授与された者

⑶ 外国において、学校教育における１６年の課程を修了した者（学校教育における１５年の課程を修了し、学士の学位に相当する学位を取得したと大学において認めた者を含む。）

第１５条　削除

第１６条　医学部保健衛生学科の２年次に編入学することができる者は、四大学連合憲章に基づく協定による複合領域コースを履修しており、かつ、協定大学の学部に２年次以上在学した者で、選考の上、入学を許可する。

第１７条　削除

第１８条　削除

第１８条の２　歯学部口腔保健学科口腔保健工学専攻の２年次編入学をすることができる者は、次の各号の一に該当する者で、選考の上、入学を許可する。

⑴ 高等専門学校又は短期大学を卒業した者

⑵ 大学を卒業した者

⑶ 歯科技工士を養成する専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者

第１９条　本学学生で退学した者が再び入学を請うときは、欠員がある場合に限り、選考の上、原学年以下に入学を許可することがある。

２　前項に規定するもののほか、第２５条の規定による休学者が退学（休学期間満了のため学部を退学した者をいう。）し、本学医学部医学科又は歯学部歯学科に再び入学を志願するときは、原学科の原学年以上に入学を許可する。ただし、懲戒事由等に相当する事由があると認められる志願者の入学については、選考の上許可するものとする。

３　前２項に規定するもののほか、第３１条の２の規定による退学者が本学医学部医学科又は歯学部歯学科に再び入学を志願するときは、退学時の在籍学科の在籍学年以上に入学を許可する。ただし、懲戒事由等に相当する事由があると認められる志願者の入学については、選考の上許可するものとする。

第２０条　編入学、転入学及び再入学により入学し、その後所定の年限在学した者は、第３条に規定する年限を在学したものとみなす。

第２１条　本学に入学を志願する者は、所定の手続により、学長に願い出なければならない。

第２２条　入学志願者については、学長が当該学部教授会及び教養部教授会の意見を聴いて選考を行う。
２　前項に規定するもののほか、入学者の選考に関し必要な事項は別に定める。

第２３条　前条の選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は、定められた期日までに本学の学生としての本分を守る旨、誓約書に署名し、その他所定の書類を提出するとともに、入学料を納付するものとする。ただし、第４５条の規定により入学料の免除又は徴収猶予を申請し受理された者にあっては、当該免除又は徴収猶予を許可し又は不許可とするまでの間、入学料の徴収を猶予する。
２　学長は、前項の手続を完了した者に入学を許可する。
３　学長は、入学（再入学及び転入学等を含む。）を許可した者に対し、学生証を交付するものとする。
４　前項に規定するもののほか、学生証に関し必要な事項は別に定める。

第２４条　学生は、病気、留学その他の事由により引き続き３月以上休学しようとするときは、所定の手続きにより、学長に願い出て許可を受けなければならない。この場合、学長は当該学部教授会に意見を聴いて（全学共通科目を履修している学生については、教養部長から当該学部長への通知による。）、その可否を決定するものとする。

第２５条　本学医学部医学科又は歯学部歯学科に４年以上在学した者が引き続き大学院医歯学総合研究科博士課程に在学するために休学しようとするときは、所定の手続により、学長に願い出て許可を受けなければならない。この場合、学長は当該学部教授会に意見を聴いて、その可否を決定するものとする。

第２６条　前２条の規定による休学者で、休学期間中にその事由が消滅したときは、所定の手続きにより、復学の許可を学長に願い出ることができる。この場合、学長は当該学部教授会に意見を聴いて（全学共通科目を履修している学生については、教養部長から当該学部長への通知による。）、その可否を決定するものとする。

第２７条　休学期間は、通算して２年を超えることはできない。ただし、特別の事由があるときは、学長は当該学部教授会の意見を聴いて（全学共通科目を履修している学生については、教養部長から当該学部長への通知による。）、さらに１年以内の休学を許可することがある。
２　大学院医歯学総合研究科博士課程に在学する者の第２４条の規定による休学期間及び第２５条の規定による休学期間は、第１項の規定にかかわらず、通算して３年を超えることができない。ただし、特別の事由があるときは、学長は当該学部教授会の意見を聴いて（全学共通科目を履修している学生については、教養部長から当該学部長への通知による。）、さらに１年以内の休学を許可することができる。
３　休学した期間は、修業年限及び在学年限に算入しない。

第２８条　学長は、学生が病気その他の事由により修学が不適当と認められるときは、当該学部教授会の意見を聴いて（全学共通科目を履修している学生については、教養部長から当該学部長への通知による。）、休学を命ずることがある。

第２９条　学生は、学長の許可なくして、他の大学、本学の他の学科又は専攻に入学を志願するこ

とはできない。

第３０条　学生が転学しようとするときは、所定の手続きにより、学長に願い出て許可を受けるものとする。この場合、学長は当該学部教授会に意見を聴いて（全学共通科目を履修している学生については、教養部長から当該学部長への通知による。）、その可否を決定するものとする。
２　前項の許可を与えたときは、退学とする。

第３０条の２　本学の学生が学修のため外国の大学等（外国の学校教育制度に位置づけられた教育施設で学位授与権を有するもの又はこれに相当する教育研究機関で、かつ本学と学生交流協定を締結した又は事前の協議をおこなったものをいう。）に留学を願い出たときは、それが教育上有益と認められた場合において許可することがある。
２　前項の規定による許可は、当該学部教授会の意見を聴いて、学長が決定する。
３　前項の許可を得て留学する期間は、原則１年以内とする。ただし、特別の理由がある場合には、さらに１年を限度として留学期間の延長を認めることがある。
４　第３項の許可を受けて留学した期間は、第３条に規定する修業年限及び第３２条に規定する在学年限に算入する。ただし、第２４条の規定により許可された留学（以下「休学留学」という。）については、この限りではない。
５　留学を許可された学生は、休学留学の場合を除き、留学期間中においても本学の授業料を納付しなければならない。
６　留学を許可された学生において、次の各号の一に該当したときには、本学と外国の大学等との協議に基づき、教授会等の意見を聴いて学長が留学を取り消すことができる。
（1）外国の大学等が所在する国の情勢や自然災害等により、学修が困難であると認められるとき。
（2）留学生として、外国の大学等の規則に違反し、又はその本分に反する行為が認められるとき。
（3）その他留学の趣旨に反する行為があると認められるとき。
７　留学に関する必要な事項は、別に定める。

第３１条　学生が病気その他の事由で退学しようとするときは、所定の手続きにより、学長に願い出てその許可を受けるものとする。この場合、学長は当該学部教授会に意見を聴いて（全学共通科目を履修している学生については、教養部長から当該学部長への通知による。）、その可否を決定するものとする。

第３１条の２　四大学連合憲章に基づく協定による複合領域コースを履修している者が協定大学に編入学するために退学しようとするときは、所定の手続きにより、学長に願い出て許可を受けなければならない。この場合、学長は当該学部教授会に意見を聴いて、その可否を決定するものとする。

第３２条　医学部医学科及び歯学部歯学科の学生は１０年を、医学部保健衛生学科及び歯学部口腔保健学科の学生は８年を超えて在学することができない。
２　編入学、転入学及び再入学により入学した者の在学年限は、各学部において定める。

第３３条　学長は、学生が次の各号の一に該当するときは、当該学部教授会の意見を聴いて（全学共通科目を履修している学生については、教養部長から当該学部長への通知による。）、除籍する。
(1) 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者
(2) その他病気等の事由により、成業の見込みがないと認められる者
(3) 在学期間が第３２条に定める在学年限を超える場合に退学の意思を示さないとき。

(4) 第２４条、第２５条又は第２８条により休学し、第２７条に定める期間内に復学又は退学の意思を示さないとき。
(5) 死亡又は行方不明となったとき。
(6) 入学料の免除の申請をした者で、免除を許可されなかったもの又は半額免除を許可されたものが、納付すべき入学料を免除の不許可又は半額免除の許可を告知した日から起算して１４日以内に納付しないとき。
(7) 入学料の徴収猶予の申請をした者で、徴収猶予を許可されなかった者が、納付すべき入学料を徴収猶予の不許可を告知した日から起算して１４日以内に納付しないとき。
(8) 入学料の徴収猶予を許可された者が、納付期限までに入学料を納付しないとき。
(9) 授業料を所定の期日までに納入しない者で、督促を受け、なおかつ納入を怠るとき。
２　前項第６号は、第４５条第３項の規定により徴収猶予の申請をした者には適用しない。

第５章　教育課程、履修方法及び単位等

第３４条　本学は、各学部及び学科の教育上の目的を達成するために必要な授業科目を自ら開設し、体系的に教育課程を編成するものとする。
２　教育課程の編成に当たっては、本学は、学部等の専攻に係る専門の学芸を教授するとともに、幅広く深い教養及び総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するよう適切に配慮するものとする。

第３４条の２　教育課程は、各授業科目を必修科目、選択科目及び自由科目に分け、これを各年次に配当して編成するものとする。
２　前項の授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。
３　文部科学大臣の別に定めるところにより、前項の授業を、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。
４　第２項の授業を、外国において履修させることが出来る。また前項の規定により、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても、同様とする。
５　卒業に必要な修得すべき単位数のうち、前２項の規定による方法で履修し修得した単位数は、６０単位を超えないものとする。ただし、卒業要件となる単位数が１２４単位を超える学科にあっては、その超える単位数を６０単位に加えて卒業要件として認定することができる。

第３４条の３　本学において必要と認めるときは、学校教育法第１０５条に規定する本学の学生以外の者を対象とした特別の課程を編成するものとする。
２　前項に定めるもののほか、特別の課程の編成に関し必要な事項は、別に定める。

第３４条の４　学生が授業科目を履修し、試験に合格したときは、所定の単位を与える。
２　前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究等の授業科目については、その学修の成果を評価して試験によらずに単位を与えることができる。

第３５条　前条に定める他、履修及び学習の評価方法については、各学部及び教養部の教授会の意見を聴いて学長が定める。

第３６条　１単位の授業科目を、４５時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学習等を考慮して、１単位当たりの授業時間を次の基準により、各学部及び教養部の教授会の意見を聴いて学長が定める。

⑴ 講義及び演習については、１５時間から３０時間の範囲

⑵ 実験、実習及び実技については、３０時間から４５時間の範囲

第３６条の２　一年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め、三十五週にわたることを原則とする。

第３６条の３　各授業科目の授業は、十週又は十五週にわたる期間を単位として行うものとする。ただし、教育上必要があり、かつ、十分な教育効果をあげることができると認められる場合には、この限りでない。

第３６条の４　本学は、学生に対して、授業の方法及び内容並びに一年間の授業の計画をあらかじめ明示するものとする。

２　本学は、学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっては、客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行うものとする。

第３６条の５　各授業科目の評価は、A＋、A、B、C、D、Ｆに分け、A＋、A、B、C を合格とし、D、Ｆを不合格とする。

２　学修の評価に関し必要な事項は別に定める。

３　学生は、学修の評価に対し不服があるときは、所定の手続きにより異議を申し立てることができる。

第３６条の６　本学大学院に進学を志望する学生に対し、所属する学部の長が教育上有益と認めるときは、学生が進学する研究科の長の許可を得て、当該研究科の授業を履修することができる。

２　前項に定めるもののほか、本学大学院の授業科目の履修に関し必要な事項は、別に定める。

第３７条　本学の教育上有益と認めるときは、本学に入学（編入学、転入学等を除く。）する前の大学（短期大学を含む。）において修得した単位（大学設置基準（昭和３１年文部省令第２８号）第３１条第１項及び第２項の規定する科目等履修生及び特別の課程（履修証明プログラム）履修生として修得した単位を含む。）は合計３０単位を限度として、本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。ただし、第３条に定める修業年限を短縮することはできない。

２　前項に係る手続き等については、各学部及び教養部において定める。

第３８条　本学の教育上有益と認めるときは、学生が本学の定めるところにより他の大学において履修した授業科目について修得した単位を、本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

２　前項の規定により修得したとみなすことのできる単位数は、前条第１項及び同条第４項の規定により修得したものとみなす単位数と合わせて３０単位を限度とする。

３　第１項に係る手続き等については、各学部及び教養部において定める。
４　第１項の規定は、第３０条の２により学生が外国の大学等に留学する場合、休学留学の場合、外国の大学等が行なう通信教育における授業科目を我が国において履修する場合及び学生が外国の大学等の教育課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該教育課程における授業科目を我が国において履修する場合においても準用する。

第６章　卒業及び学位

第３９条　卒業の認定は、第３条に定める年限を在学し、かつ、第６条第３項及び第４項に定める授業科目を、医学部医学科においては２１０単位以上、歯学部歯学科においては２２１単位以上、医学部保健衛生学科看護学専攻においては１３１単位以上、医学部保健衛生学科検査技術学専攻においては１３８単位以上、歯学部口腔保健学科口腔保健衛生学専攻においては１２９単位以上、歯学部口腔保健学科口腔保健工学専攻においては１２７単位以上を修得した者に対し、当該学部教授会の意見を聴いて学長が行う。

第４０条　前条による卒業者には、次の区分により学士の学位を授与する。

学　部	学科・専攻	学　　位
医　学　部	医学科	学士（医　　学）
	保健衛生学科	
	看護学専攻	学士（看　護　学）
	検査技術学専攻	学士（保　健　学）
歯　学　部	歯学科	学士（歯　　学）
	口腔保健学科	学士（口腔保健学）

第７章　検定料、入学料及び授業料

第４１条　授業料、入学料及び検定料の額については、別に定める。

第４２条　入学志願者は、出願と同時に検定料を納付しなければならない。

第４３条　授業料の額は、別に定めるところによるものとし、年額の２分の１ずつを次の２期に分けて納付しなければならない。

前期　　５月３１日まで
後期　　１１月３０日まで

２　前項の規定にかかわらず、学生の申出があったときは、前期に係る授業料を徴収するときに、当該年度の後期に係る授業料を併せて徴収するものとする。
３　入学年度の前期又は前期及び後期に係る授業料については、第１項の規定にかかわらず、入学を許可される者の申出があったときは、入学を許可するときに徴収するものとする。
４　第１項の授業料納入の告知・督促は、所定の場所（医学部掲示板・歯学部掲示板・教養部掲示板）に掲示するものとする。

第４４条　既納料金は、如何なる理由があっても返還しない。
２　第４２条の規定に基づき徴収した検定料について、第１段階目の選抜で不合格となった者から返還の申出があったときは、前項の規定にかかわらず、第２段階目の選抜に係る額に相当する額を返還する。
３　前条第３項の規定に基づき授業料を納付した者が、入学年度の前年度の３月３１日までに入学を辞退した場合には、第１項の規定にかかわらず、納付した者の申出により当該授業料に相当する額を返還する。
４　前条第２項及び第３項の規定に基づき授業料を納付した者が、後期分授業料の徴収時期以前に休学又は退学した場合には、第１項の規定にかかわらず、後期分の授業料に相当する額を返還する。
５　学生又は学生の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が風水害等の災害を受ける等やむを得ない事情があると学長が認めた場合には、授業料、入学料及び検定料について、第１項の規定にかかわらず、返還することができる。

第４５条　本学に入学前１年以内において、入学する者の学資負担者が死亡し、又は入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け、入学料の納付が著しく困難であると認められる者及び当該者に準ずる者であって、学長が相当と認める事由がある者については、本人の申請により、入学料の全額又は半額を免除することがある。
２　本学に入学する者であって､経済的理由によって納付期限までに入学料の納付が　困難であり、かつ、学業優秀と認められる者、入学前１年以内において学資負担者が死亡し、又は入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け、納付期限までに入学料の納付が困難であると認められる者及びその他やむを得ない事情があると認められる者については、本人の申請により、入学料の徴収猶予をすることがある。
３　入学料の免除の申請をした者で、免除を許可されなかつた者又は半額免除を許可された者のうち、前項該当する者は、免除の不許可又は半額免除の許可を告知した日から起算して１４日以内に徴収猶予の申請をすることができる。
４　前３項の取扱いについては、別に定める。

第４６条　停学に処せられた者の授業料は徴収するものとする。

第４７条　行方不明、その他やむを得ない事情がある者の授業料は本人又は保証人の申請により徴収を猶予することがある。

第４８条　死亡又は行方不明のため除籍され、或は授業料の未納を理由として退学を命ぜられた者の未納の授業料は全額を免除することがある。

第４９条　授業料の納付期限以前に休学又は退学の許可を受けた者の授業料の全額又はその一部を免除することがある。
２　前項の取扱については別に定める。
３　各学期の中途で復学する者のその期の授業料は、復学当月から当該学期末までの月割計算により復学の際徴収する。

第５０条　経済的理由によって授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者及び学生又は学生の学資負担者が風水害等の災害を受け、授業料の納付が困難と認められる者については、本人の申請により授業料の全額若しくはその一部を免除又は徴収猶予することがある。
２　前項の取扱いについては別に定める。

第５１条　削除

第５２条　削除

第８章　大学院

第５３条　本学に、組織運営規程の定めるところにより、大学院を置く。
２　大学院の学則は、別に定める。

第９章　外国人留学生

第５４条　外国人で、大学において教育を受ける目的をもって入国し、本学に入学を志願する者があるときは、本学の教育研究に支障のない場合に限り、選考の上、外国人留学生として入学を許可することがある。
２　外国人留学生については、別に定める。

第１０章　科目等履修生、聴講生、特別聴講学生及び短期交流学生

第５５条　本学の学生以外の者で、本学が開設する一又は複数の授業科目を履修することを志願する者があるときは、選考の上、科目等履修生として入学を許可することがある。
２　前項により入学した者には、第３４条の規定を準用し、単位を与える。
３　その他科目等履修生については、別に定める。

第５６条　特定の授業科目について聴講を志願する者があるときは、選考の上、聴講生として入学を許可することがある。
２　聴講生については、別に定める。

第５７条　他の大学の学部学生で、当該大学との協定に基づき、本学が開設する一又は複数の授業科目の履修を志願する者があるときは、選考の上、特別聴講学生として入学を許可する。
２　特別聴講学生については、別に定める。

第５７条の２　本学以外の国内外の教育施設に学生として在学中である者で、本学の教員から特定の事項について、指導又は助言を受け本学で研究又は研修等を行うことを志願するものがあるときは、短期交流学生として受入を許可することがある。
２　短期交流学生に関し必要な事項は、別に定める。

第１１章　懲　戒

第５８条　学長は、学生が本学の諸規則に違反し、その他学生の本分に反する行為をしたときは、当該学部教授会の意見を聴いて（全学共通科目を履修している学生については、教養部長から当該学部長への通知による。）、これを懲戒する。
２　懲戒は、退学、停学、訓告とする。
３　前項の退学は、次の各号の一に該当する者に対して行う。
(1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
(2) 学内の秩序を著しく乱し、その他学生としての本分に著しく反した者
４　懲戒に関し必要な事項は、別に定める。

第１２章　寄　　宿　　舎

第５９条　本学に寄宿舎を置く。

２　寄宿舎に関する規定は、別に定める。

附　則

１　この学則は、平成１６年４月１日から施行する。

２　第４条の規定にかかわらず、歯学部口腔保健学科の平成１６年度から平成１８年度までの３年次編入学員及び収容定員は、次のとおりとする。

区分＼年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
３年次編入学定員	―	―	１０
収容定員	２５	５０	８５

３　国立大学法人の成立前の東京医科歯科大学に平成１６年３月３１日に在学し、引き続き本学の在学者となった者（以下「在学者」という。）及び平成１６年４月１日以後在学者の属する学年に再入学、転入学び編入学する者の教育課程の履修については、この学則の規定にかかわらず、なお従前の例による。

４　この学則の施行前に廃止前の東京医科歯科大学学則（昭和２７年学規第１号）の規定によりなされた手続その他の行為は、この学則の相当規定によりなされた手続その他の行為とみなす。

附　則（平成１７年３月２３日規程第２号）

１　この学則は、平成１７年４月１日から施行する。

２　平成１７年３月３１日において現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成１７年４月１日以降在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表（２）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成１８年３月２８日規程第１号）

１　この学則は平成１８年４月１日から施行する。

２　平成１８年３月３１日において現に本学に在学する者（以下在学者という。）及び平成１８年４月１日以降在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の第３９条、別表（１）及び別表（２）の規定にかかわらず、なお従前の例による

附　則（平成１９年３月２９日規程第３号）

１　この学則は、平成１９年４月１日から施行する。

２　平成１９年３月３１日において現に本学に在学する者（平成１８年度に入学した者を除く。以下「在学者」という。）及び平成１９年４月１日以降在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表（２）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２０年１月１６日規程第１号）

１　この学則は、平成２０年４月１日から施行する。

２　改正後の第４条の規定にかかわらず、医学部保健衛生学科及び歯学部口腔保健学科の平成２０年度から平成２２年度までの収容定員は、次のとおりとする。

学部・学科・専攻	収　容　定　員		
	平成２０年度	平成２１年度	平成２２年度
医学部保健衛生学科			
看護学専攻	２１５	２１０	２１５
検査技術学専攻	１３５	１３０	１３５
歯学部口腔保健学科	１１８	１１６	１１８

附　則（平成２０年３月２６日規程第５号）

１　この学則は、平成２０年４月１日から施行する。

２　平成２０年４月１日において現に本学に在学する者（平成１８年度に入学した者を除く。以下「在学者」という。）及び２０年４月１日以降在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表（１）及び別表（２）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２１年１月８日規程第１号）

１　この学則は、平成２１年４月１日から施行する。

２　この学則改正前に、本学に４年以上在学し、引き続き大学院医歯学総合研究科博士課程に入学するため、平成２１年４月１日より休学を願い出ている者については、改正後の東京医科歯科大学学則第２５条の２の規程を適用する

３　この学則の施行の際限に本学に４年以上在学し、引き続き大学院医歯学総合研究科博士課程に入学するため、退学した者が再び入学を志願する場合の取扱いは、なお従前の例による。

４　平成２１年３月３１日において現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２１年４月１日以降在学者の属する学年に再入学、転入学する者については、改正後の別表（２）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２１年３月１９日規程第３号）

１　この学則は、平成２１年４月１日から施行する。

２　改正後の第４条の規定にかかわらず、医学部医学科の平成２１年度から平成２５年度までの収容定員は、次のとおりとする。

学部・学科	収　容　定　員				
	平成２１年度	平成２２年度	平成２３年度	平成２４年度	平成２５年度
医学部医学科	４８０	４９０	５００	５１０	５２０

３　平成２１年３月３１日において現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２１年４月１日以降在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表（１）及び別表（２）の規定にかかわらず、なお従前の例による。ただし、平成２１年４月１日以降に歯学部口腔保健学科に３年次編入学する者については、改正後の別表（２）の規定を適用する。

附　則（平成２１年１２月１８日規程第９号）

この規程は、平成２２年１月１日から施行する。

附　則（平成２２年３月３０日規程第３号）

１　この学則は，平成２２年４月１日から施行する。

２　改正後の第４条の規定にかかわらず、医学部医学科の平成２２年度から平成２６年度までの収容定員は、次のとおりとする。

学部・学科	収　容　定　員				
	平成２２年度	平成２３年度	平成２４年度	平成２５年度	平成２６年度
医学部医学科	５００	５２０	５４０	５６０	５８０

３　平成２２年３月３１日において現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２２年４月１日以降在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２３年３月４日規程第１号）

１　この学則は、平成２３年４月１日から施行する。

２　改正後の第４条の規定にかかわらず、医学部医学科の平成２３年度から平成２７年度までの収容定員は、次のとおりとする。

年度	収　容　定　員

区分	平成２３年度	平成２４年度	平成２５年度	平成２６年度	平成２７年度
収容定員	５２５	５５０	５７５	６００	６１５

３　改正後の第４条の規定にかかわらず、歯学部歯学科の平成２３年度から平成２７年度までの収容定員は、次のとおりとする。

年度／区分	収　容　定　員				
	平成２３年度	平成２４年度	平成２５年度	平成２６年度	平成２７年度
収容定員	３５８	３４６	３３４	３２２	３２０

４ 改正後の第４条の規定にかかわらず､歯学部口腔保健学科の平成２３年度から平成２５年度までの収容定員は、次のとおりとする。

	年度／区分	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
口腔保健衛生学専攻	収容定員	１１５	１１０	１０５
口腔保健工学専攻	２年次編入定員		５	５
	収容定員	１０	２５	４０

附　則（平成２３年６月３０日規程第６号）

この学則は、平成２４年４月１日から施行する。

附　則（平成２４年３月３０日規程第３号）

１　この学則は、平成２４年４月１日から施行する。

２　改正後の第４条の規定にかかわらず、医学部医学科の平成２４年度から平成２７年度までの編入学定員等は、次のとおりとする。

年度／区分	平成２４年度	平成２５年度	平成２６年度	平成２７年度
編入学定員	５（２年次編入） ５（３年次編入）	５（２年次編入）	５（２年次編入）	５（２年次編入）
収容定員	５５５	５８０	６０５	６２０

３　平成２４年度においては、改正後の第１４条の「２年次」は「３年次及び２年次」と読み替えるものとする。

附　則（平成２４年９月２８日規程第８号）

この学則は、平成２４年１０月１日から施行する。

附　則（平成２５年３月１２日規程第２号）

１　この学則は、平成２５年４月１日から施行する。

２　改正後の第４条の規定にかかわらず、医学部医学科の平成２５年度から平成２９年度までの収容定員は、次のとおりとする。

年度／区分	平成２５年度	平成２６年度	平成２７年度	平成２８年度	平成２９年度
収容定員	５８１	６０７	６２３	６２９	６３０

附　則（平成２７年３月３０日規則第５１号）

この学則は、平成２７年４月１日から施行する。

附　則（平成２８年３月３１日規程第４号）

この内規は、平成２８年４月１日から施行する。

附　則（平成２８年５月１１日規程第７号）

この学則は、平成２８年５月１１日から施行し、平成２８年５月１日から適用する。

附　則（平成２８年１２月１２日規程第１１号）

この学則は、平成２８年１２月１２日から施行し、平成２８年４月１日から適用する。

附　則（平成２９年３月３１日規程第１号）

この学則は、平成２９年４月１日から施行する。

附　則（平成３０年５月１日規程第１号）

この学則は、平成３０年５月１日から施行し、平成３０年４月１日から適用する。

附　則（令和２年３月３１日規程第２号）

１　この学則は、令和２年４月１日から施行する。

２　改正後の第４条の規定にかかわらず、医学部医学科の令和２年度から令和８年度までの入学定員等は、「地域の医師確保等の観点からの令和２年度医学部入学定員の増加について（令和元年９月２日付け元文科高第３９１号・医政医発０９０２第３号文部科学省高等教育局長・厚生労働省医政局長通知）」に基づき、次のとおりとする。

区分＼年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
入学定員	１００	１００	８５	８５	８５
編入学定員	５（２年次編入）	５（２年次編入）	５（２年次編入）	５（２年次編入）	５（２年次編入）
収容定員	６３０	６２９	６１３	５９７	５８１

区分＼年度	令和７年度	令和８年度
入学定員	８５	８５
編入学定員	５（２年次編入）	５（２年次編入）
収容定員	５６５	５５０

附　則（令和２年１１月１０日規程第９号）

１　この学則は、令和３年４月１日から施行する。

２　改正後の第４条の規定にかかわらず、歯学部口腔保健学科口腔保健衛生学専攻の令和３年度の収容定員は、次のとおりとする。

区分＼年度	令和３年度
収容定員	９４

附　則（令和３年３月２４日規程第６号）

１　この学則は、令和３年４月１日から施行する。

２　令和年３月３１日において現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び令和３年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（令和３年１２月２１日規程第１０号）

１　この学則は、令和４年４月１日から施行する。

２　令和４年３月３１日において現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び令和４年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の規

定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（令和４年１月１７日規程第１号）

１　この学則は、令和４年４月１日から施行する。

２　令和4年3月31日において現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び令和4年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

３　改正後の第４条の規定にかかわらず、医学部医学科の令和４年度から令和９年度までの入学定員等は、「地域の医師確保等の観点からの令和４年度医学部入学定員の増加について（令和３年８月１６日付け３文科高第５０１号・医政発０８１６第９号文部科学省高等教育局長・厚生労働省医政局長通知）」に基づき、次のとおりとする。

年度 区分	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
入学定員	１００	８５	８５	８５	８５	８５
編入学定員	５（２年次編入）	５（２年次編入）	５（２年次編入）	５（２年次編入）	５（２年次編入）	５（２年次編入）
収容定員	６２８	６１２	５９６	５８０	５６５	５５０

東京医科歯科大学における学生の懲戒に関する申合せ

（平成２０年２月８日
申　　合　　せ）

１．目的

この申合せは、東京医科歯科大学学則（以下「学則」という。）第５８条の規定に基づく学生の懲戒に関し、基本的な考え方、手続、標準その他の必要な事項を定めることにより、その適正及び公正を図ることを目的とする。

２．基本的な考え方

⑴ 学生に対する懲戒は、大学の規律、秩序を維持し、教育目的を達成するため、一定の事由の発生を要件として、学生に対して制裁を課すものである。

⑵ 懲戒は、懲戒対象行為の態様、結果、影響等を総合的に検討し、教育的配慮を加えたうえで行うものとする。

⑶ 懲戒の取扱いについては、刑事訴追の有無を処分決定の絶対的な基準とはしないものとする。

３．懲戒の種類

懲戒の種類は、退学、停学及び訓告とする。

⑴ 退学

退学は、学生の身分を失わせることである。

⑵ 停学

① 停学は、一定の期間登校を禁止することである。

② 停学は、無期停学及び有期停学とする。

③ 有期停学の期間は６か月未満とする。

④ 停学期間は、在学年限に含め、修業年限には含めないものとする。ただし、短期間（１か月以内）の場合には、在学年限及び修業年限に含めることができる。

⑤ 無期停学は、原則として６か月を経過した後でなければ解除することができない。

⑥ 停学期間には、学則第９条の「休業日」を含むものとする。

⑶ 訓告

訓告は、懲戒対象行為について、注意を与え、将来にわたってそのようなことがないように戒めることである。

４．謹慎

学生の当該行為が懲戒に該当することが明白であり、かつ、停学以上の懲戒がなされることが確実である場合は、部局長（医学部長、歯学部長又は教養部長をいう。以下同じ。）は、当該学生に懲戒決定前に謹慎を命ずることができる。この場合、謹慎の期間は特に定めないが、この間は当該学生の登校を禁止する。

なお、謹慎の期間はその全部又は一部を停学期間に通算することができる。

５．停学期間中の措置

(1) 停学期間中の学生に対して当該部局は、面談等により、更正に向けた指導を適宜行うものとする。
(2) 前項に規定する面談等は、必要に応じカウンセラー等の専門家の協力を得て行うことができるものとする。
(3) 停学期間中の休学の願い出は、受理しないものとする。

６．懲戒の手続

(1) 調査委員会の設置

①学部長は、懲戒に相当すると思われる学生の行為（以下「事案」という。）を知ったときは、直ちに学長に報告するとともに、当該学生が所属する学部教授会の議を経て、当該学部教授会の構成員で組織する調査委員会を設置するものとする。

なお、調査委員会には、事案により当該学部教授会の構成員以外の者を加えることができる。

②調査委員会は、当該事案について、調査及び事実の確認を行い、懲戒に関する事実認定の報告書（様式１）を作成するものとする。

(2) 事情聴取等

①調査委員会は、調査に当たり当該学生に対し事情聴取を行うものとする。ただし、学生が心身の故障、身柄の拘束、その他の事由により直接事情聴取を受けることができないときは、これに替えて文書による質問、照会等により事情聴取することができる。

②調査委員会は、事情聴取に際し、当該学生に口頭又は文書により弁明する機会を与えるものとする。

(3) 調査等の結果の報告

調査委員会は、懲戒に関する事実認定の報告書を学部長に提出するものとする。

(4) 教授会審議

学部長は、調査委員会の報告に基づき、当該学部教授会において、懲戒の要否及び種類・程度を審議し、その結果を学長に報告するものとする。

(5) 懲戒の決定

学長は、学部長の報告に基づき、懲戒の要否及び種類・程度を決定するものとする。

(6) 懲戒通知書の交付等

学部長は、学長の命により当該学生に対し懲戒通知書（様式２）を交付するものとする。

(7) 懲戒処分の告知及び告示

学長は、懲戒処分を決定したときは、通知書の交付をもって当該学生及び保証人に告知し、教育研究評議会に報告し、当該学生の所属、懲戒の種類及び事由を告示する。

(8) 懲戒に関する記録

懲戒処分を行ったときは、学籍簿の「特記事項」に記載するものとする。

(9) 退学願いの不受理

学部長は、懲戒の手続中の学生から自主退学の願い出があった場合は、これを受理しないものとする。

(10) その他

二つ以上の部局に関わる事案があるときは、当該部局長は相互に連絡協議するものとする。

７．不服が申立てられた場合の手続

(1) 懲戒を受けた学生は、その処分について、事実誤認、新事実の発見、処分の種類または内容等について異議がある場合には、懲戒通知書を受領した日の翌日から起算して１４日以内

に、学長に対し書面をもって不服申立てをすることができる。ただし、不服申立てにより懲戒の効力は停止しない。

⑵ 学長は懲戒を受けた学生から不服申立てがあった場合には、学部長に再審議を行わせることができる。

⑶ 学部長は、当該学部教授会に再審議をする旨を報告の上、新たな構成員で組織される調査委員会に再調査等を行わせるものとする。

⑷ 学長は、再調査等の結果に基づく処分内容を当該学生に通知しなければならない。

８．無期停学の解除

⑴ 学部長は、無期停学処分を受けた学生について、指導教員等と協議し、その反省の程度及び学習意欲等を総合的に判断して、その処分を解除することが適当であると思われるときは、当該学部教授会の議を経て、学長に申出るものとする。

⑵ 学長は、学部長の申出に基づき、無期停学の解除を決定するものとする。

⑶ 学部長は、学長の命により当該学生に対し停学解除通知書（様式３）を交付するものとする。

９．試験の無効等

⑴ 試験の無効

試験における不正行為を行った学生が受験した当該科目の試験は無効とする。

⑵ 停学期間中の受験及び履修手続

停学期間中の受験は認めない。ただし、履修手続きは可能とする。

１０．懲戒の標準は、別表のとおりとする。

１１．科目等履修生等の懲戒

この申合せの規定は、学則第１０章及び第１２章に規定する科目等履修生、聴講生及び特別聴講学生並びに大学院研究生の懲戒について準用する。

１２．大学院学生の懲戒

大学院学生の懲戒については、この申合せの規定を準用する。この場合において、以下のように字句を読み替えるものとする。

⑴ 「学部教授会」を「研究科運営委員会等」

⑵ 「学部長」、「部局長（医学部長、歯学部長、教養部長をいう。以下同じ。）」及び部局長を「研究科長等」

⑶ 「試験」を「試験（単位認定を目的とした定期試験をいう。）」

⑷ 様式２ 中、「東京医科歯科大学学則第５８条」を「東京医科歯科大学大学院学則第６０条の規定により準用する東京医科歯科大学学則第５８条」

なお、この申合せにおける「大学院学生」には、大学院学則（平成１６年４月１日規程第５号）第１２章から第１４章までに規定する聴講生、特別聴講学生及び特別研究学生、科目等履修生を含むものとする。 」

１３．守秘義務

学生の懲戒等に関する事項に関わった職員は、事実上知りえた情報を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。

１４. この申合せの改廃は、学生支援・保健管理機構運営委員会において行う。

附　則

この申合せは、平成２０年２月８日から施行する。

附　則（平成２４年２月２４日制定）

１　この申合せは、平成２４年４月１日から施行する。

２　この申合せの施行日において本学に専攻生として在籍する者の取扱いについては、平成２４年９月３０日まで、なお従前の例による。

附　則（平成２８年１０月２１日制定）

この申合せは、平成２８年１０月２１日から施行する。

附　則（平成３０年２月２０日制定）

この申合せは、平成３０年４月１日から施行する。

附　則（平成３０年１２月１３日制定）

この申合せは、平成３０年１２月１３日から施行し、平成３０年１１月３０日から適用する。

別表

懲戒の標準

・懲戒対象行為の標準的な例及び懲戒の種類は次の表のとおりとする。

懲戒対象行為の標準的な例	懲戒の種類
１．試験における不正行為	
(1)　代理（替玉）受験を行った場合又は行わせた場合	退学
(2)　許可されていないノート及び参考書等を参照した場合	停学
(3)　答案を交換した場合	停学
(4)　その他、試験において不正行為を行った場合	停学又は訓告
２．その他の懲戒対象行為	
(1) 殺人、傷害、強盗、放火、誘拐、窃盗、痴漢等の犯罪	
①　殺人、傷害、強盗、強姦、放火、誘拐等の犯罪を行った場合	退学
②　窃盗、詐欺、恐喝等の犯罪を行った場合	退学又は停学
③　痴漢（のぞき見、盗撮等を含む）を行った場合	停学又は訓告
(2) 交通事故・交通法規違反	
①　人身事故を伴う交通事故を起こした場合であって、次のいずれかに該当する場合であること （ア）ひき逃げ行為をしたとき （イ）その原因行為が飲酒運転、無免許運転、暴走運転等悪質なとき （ウ）被害者を死に至らしめたとき（過失がない場合を除く）	退学又は停学
②　飲酒運転、無免許運転、暴走運転等の重大な交通法規違反を犯した場合	退学、停学又は訓告
(3) ハラスメント等行為 性的関係の強要、飲酒の強要、いじめや嫌がらせ、ストーカー行為を行った場合	退学、停学又は訓告
(4) 社会的モラルを問われる行為	
①　未成年者の飲酒	停学又は訓告
②　未成年者に飲酒を勧めた場合・容認した場合	停学又は訓告
③　喧嘩、酩酊、喧騒等により、警察等に通報されるなど迷惑をかける行為	停学又は訓告
④　その他本学の名誉・信用を失墜させる行為	停学又は訓告
(5) 薬物犯罪 違法薬物の売買又はその仲介、違法薬物の自己使用等を行った場合	退学又は停学
(6) 個人情報の漏えい 授業又は実習・研修等で知り得た、教職員、学生及び患者の個人情報を漏らした場合	
①　情報の漏えいが故意の場合	退学又は停学
②　情報の漏えいが過失の場合	停学又は訓告
(7) コンピュータ等の不正行為コンピュータ及びコンピュータネットワークの不正使用等並びにこれらを利用した不正行為	退学、停学又は訓告
(8) 本学の教育・研究活動を妨げる不正行為	
①　研究成果作成の際に論文やデータの捏造を行った場合	退学、停学又は訓告
②　剽窃を行った場合	停学又は訓告
③　知的財産を喪失させる行為又は妨げる行為を行った場合	退学又は停学

④　学生の学修、研究及び正当な活動並びに教職員の業務を暴力、威力等の不当な手段によって妨害した場合	退学又は停学

３．再犯学生の懲戒

過去に懲戒を受けた学生が、再び懲戒対象行為を行った場合は、より「悪質性」が高いものとみなし、各標準を超える重い懲戒を行うことがある。

備考

・「標準的な例」に掲げられていない行為についても、懲戒の対象となる場合がある。

・「懲戒の種類」に掲げられていない種類の懲戒が課せられる場合もある。

様式１

年　　月　　日

懲戒に関する事実認定の報告書

１．対象学生 ・　学部（研究科）　　学科（専攻）　課程・コース・学籍番号
・氏名　　年 月 日生
・入学年月　　年 月
・現住所　　電話番号

２．事件の経緯・概要

３．学生の弁明

４．審議経緯

５．その他参考資料等

記載要領

○ ２は，事件の経緯，概要，大学側の対応，事実の確認等について年月日順に記載する。
○ ３は，当該学生が行った弁明について，日時，場所，証拠，証人，補佐人の有無，内容等を記載する。
○ ５は，その他の必要事項又は参考資料があれば記載又は添付する。

様式２

懲戒通知書

学 部 名　学籍番号　　氏　　名

東京医科歯科大学学則第５８条の規定により，下記のとおり懲戒する。

記

１．懲戒の種類

２．停学の期間（停学の場合）

３．処分理由

交付日付　　年　　月　　日

東京医科歯科大学長

印

この処分についての不服申立ては、東京医科歯科大学における学生の懲戒に関する申合せ６．により、この説明を受領した日の翌日から起算して１４日以内に、学長に対し書面をもってすることができる。

様式３

停学解除通知書

学 部 名　　学籍番号　　氏　　名

東京医科歯科大学における学生の懲戒に関する申合せ７の規定により，

年　　月　　日付けで停学を解除する。

年　　月　　日

東京医科歯科大学長

印

様式４

告　　示

東京医科歯科大学における学生の懲戒に関する申合せに基づき、次のとおり懲戒処分を行った。

１．懲戒処分となった学生の学部等
（学部の場合は学科まで記載。大学院の場合は専攻まで記載。）

２．処分内容
（退学の場合）　　退　学
（停学の場合）　　停　学（有期停学の場合は期間）
（例：　　年　　月　　日　～　　年　　月　　日）
（訓告の場合）　　訓　告

３．処分理由

年　　月　　日

国立大学法人
東 京 医 科 歯 科 大 学 長

印

東京医科歯科大学学部専門科目履修規則

（平成２２年３月３０日
規　則　第　４　１　号）

（趣旨）
第１条　東京医科歯科大学における専門に関する教育科目（以下「専門科目」という。）の履修に関しては、東京医科歯科大学学則（平成１６年規程第４号。以下「学則」という。）定めるもののほか、この規則の定めるところによる。

（専門科目の単位数及び履修学年）
第２条　専門科目の単位数及び履修学年については、別表１に定めるとおりとする。
２　前項の単位数及び履修学年は、医学部教授会又は歯学部教授会の意見を聴いて学長が定めるものとする。

（授業）
第３条　専門科目の授業は、講義、演習若しくは実習により行い、必修科目、選択科目又は自由科目とする。

（授業時間）
第４条　学則第３６条に定める１単位当たりの授業時間は、次のとおりとする。
(1) 講義及び演習については、１５時間から３０時間
(2) 実習については、３０時間から４５時間
２　前項の授業時間の設定においては、次の事項に配慮しなければならない。
(1) 学習目標を十分に満たすこと
(2) 履修時間及び自主的学修時間の確保
３　第１項の規定にかかわらず、医学部保健衛生学科検査技術学専攻の講義実習の１単位当たりの授業時間は２５時間とし、講義１０時間・実習１５時間の割合で構成する。

（編入学者、転入学者の単位認定）
第５条　学則第１２条から第１８条の２までの規定により編入学及び転入学の許可をするときは、既修得単位を全学共通科目及び専門科目に相当する単位として、一部又は全部を認定するものとする。
２　前項の認定は、全学共通科目に相当する科目については教養部において、専門科目に相当する科目については、当該学生が在籍する学部（以下「在籍学部」という。）において行うものとする。
３　在籍学部は、入学を許可する学年及び履修方法等について、教養部と協議するものとする。

（再入学の単位認定）
第６条　学則第１９条の規定により再入学を許可された者の当該学部における既修得単位は、全学共通科目及び当該学部専門科目の単位として、一部または全部を認定する。

（編入学者、転入学者、再入学者の在学年限）
第７条　学則第１２条から第１９条の規定により、編入学、転入学及び再入学を許可された者の在学年限は、学則第３２条第１項に定める在学年限から入学を許可されたまでの経過学年数を減じた年数とする。

（試験及び単位）
第８条　履修した授業科目については、試験を行う。ただし、試験を行うことが困難な授業科目等については、試験によらず、学修の成果をもって、又は指定した課題についての報告をもって試験に替えることがある。
２　前項の試験に合格したときは、所定の単位を与える。
３　実習を伴わない授業科目については、試験に合格したときは所定の単位を与える。ただし、一授業科目の試験を分割して実施する科目については、そのすべての試験に合格しなければ単位を修得することができない。

４　実習を伴う授業科目については、試験に合格し、かつ、その授業科目の実習修了の認定が行われなければ所定の単位を修得することができない。
５　学習の評価は、別表２のとおりとする。
６　単位の認定は、医学部教授会又は歯学部教授会の議を経て当該学部長がこれを行う。
７　試験の方法に関しては別に定める。

（進級等要件）
第９条　学生は、別表３に示す要件を満たさなければ、進級又は所定の授業科目の履修又は単位を修得することができない。
２　医学部医学科並びに歯学部歯学科及び口腔保健学科にあっては、休学期間を除き、同一学年の在籍は２年までとし、２年を超える学生は、特別に考慮すべき事由のない限り、学則第３３条第１項第１号に規定する「成業の見込みがない」者として、同条により除籍する。
３　前項の場合において、大学は、教授会等における審議を行う前に、除籍の対象となる学生に対し、書面又は口頭による弁明の機会を与えなければならない。ただし、当該学生が、弁明の機会を与えられたにもかかわらず、正当な理由なく欠席し、又は文書を提出しなかった場合は、この権利を放棄したものとみなす。
４　第２項の場合において、教授会等における審議の後、当該学生から不服が申立てられた場合で、学部長が再審議の必要性があると判断したときは、学部長は、教育委員会等に再度審議を行わせるものとする。

（卒業認定）
第１０条　学生の卒業認定は、学則第３９条により行うものとする。

（補足）
第１１条　この規則に定めるもののほか履修に関し必要な事項は各学部教授会の議を経て別に定める。

附　則
１　この規則は、平成２２年４月１日から施行する。
２　東京医科歯科大学医学部履修規則（平成１６年規則第２０１号）は、廃止する。
３　東京医科歯科大学歯学部履修規則（平成１６年規則第２１３号）は、廃止する。
４　平成２２年３月３１日において現に医学部に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２２年４月１日以降在学者の属する学年に再入学，転入学するものについては，改正後の別表の規程にかかわらず，なお従前の東京医科歯科大学医学部履修規則の例による。
５　平成２２年３月３１日において現に歯学部に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２２年４月１日以降在学者の属する学年に再入学，転入学する者については，改正後の別表の規程にかかわらず，なお従前の東京医科歯科大学歯学部履修規則の例による。

附　則（平成２３年３月４日規則第１５号）
１　この規則は、平成２３年４月１日から施行する。
２　平成２３年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２３年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２４年２月３日規則第１９号）
１　この規則は、平成２４年４月１日から施行する。
２　平成２４年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２４年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２４年３月３０日規則第６０号）
１　この規則は、平成２４年４月１日から施行する。
２　平成２４年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２４年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２５年３月２９日規則第５６号）
１　この規則は、平成２５年４月１日から施行する。

２　平成２５年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２５年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表１（３）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２５年５月３０日規則第７３号）

この規則は、平成２５年５月３０日から施行し、平成２５年４月１７日から適用する。

附　則（平成２６年３月２５日規則第８号）

（施行期日等）

１　この規則は、平成２６年４月１日から施行する。

（在学する者等に関する経過措置）

２　平成２５年１０月１日の在学者については、平成２５年度に医学部又は歯学部１年次に入学した者にのみ改正後の別表１（７）を適用する。

（平成２５年度に全学科共通選択科目を履修する者に関する経過措置）

３　前項の規定にかかわらず、平成２５年度に全学科共通選択科目を履修する者の改正後の別表１（７）は、次のとおりとし、平成２５年１０月１日から適用する。

全学科共通選択科目

授業科目		単位数	履修対象学年					
			1年	2年	3年	4年	5年	6年
選択科目	医療リーダーシップ特論１	1	○	○				
	医療リーダーシップ特論２	1		○				
	医療リーダーシップ特論３	1		○				
	医療リーダーシップ特論４	1			○	○（※２）		
	医療リーダーシップ特論５	1			○（※１）			
	国際教養特論１	1	○	○				
	国際教養特論２	1		○	○	○（※２）		
	国際教養特論３	1		○	○	○（※２）		
	計	8						

※１　医学部医学科及び歯学部歯学科に在籍する学生に限り履修することができる。

※２　医学部保健衛生学科及び歯学部口腔保健学科に在籍する学生に限り履修することができる。

※３　医療リーダーシップ特論は、原則として、１を履修しなければ２を、２を履修しなければ３を、３を履修しなければ４を、４を履修しなければ５を履修することができない。

※４　国際教養特論は、原則として、１を履修しなければ２を、２を履修しなければ３を履修することができない。

附　則（平成２７年３月１０日規則第１６号）

１　この規則は、平成２７年４月１日から施行する。

２　平成２７年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２７年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２７年３月１０日規則第１７号）

１　この規則は、平成２７年４月１日から施行する。

２　平成２７年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２７年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２７年６月１日規則第１４０号）

（施行期日等）

１　この規則は、平成２７年４月１日から施行する。

（在学する者等に関する経過措置）

２　前項の規定にかかわらず、平成２３年度から平成２６年度までに入学した者のうち、平成２６年１２月１日において、現に本学に在学する者（以下「平成２３年度以降に入学した在学者」という。）及び平成２７年４月１日以降に平成２３年度以降に入学した在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者の別表１（４）の

「

包括臨床実習	41											○	○	○

」は、

「

包括臨床実習	43											○	○	○

」と、

「

長寿口腔健康科学コース	2				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
計	168	1～6												

」は、

「

長寿口腔健康科学コース		2			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
計	168	1～8												

」と読み替え、平成２６年１２月１日から適用する。

３　平成２２年度以前に入学した者のうち、平成２６年１２月１日において、現に本学に在学する者（以下「平成２２年度以前に入学した在学者」という。）及び平成２７年４月１日以降に平成２２年度以前に入学した在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。ただし、歯学科専門科目学科課程表については、次のとおりとし、平成２６年１２月１日から適用する。

授業科目	３年		４年		５年		６年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
人体の構造と機能	○	○						
生命の分子的基盤と細胞の機能	○							
病理		○						
感染と生体防御		○						
生体材料		○						
歯科放射線基礎		○						
歯科医療入門	○							
歯科医療基礎			○					
咬合育成・発達				○				
う蝕と歯髄疾患				○	○			
歯周病					○			
咬合回復				○	○			
顎口腔医療					○	○		
全身と歯科医療					○	○		
臨床体験実習	○	○		○				
学年混合選択セミナー	○		○		○			
課題統合セミナー		○		○	○			
総合課題演習	○	○						

研究体験実習			○					
臨床情報処理						○		
包括臨床実習						○	○	○
デンタルエクスターンシップ（選択科目）※	○	○	○	○	○	○	○	○
長寿口腔健康科学コース（選択科目）	○	○	○	○	○	○	○	○

※所定のプログラムを修了した学生に対し、１プログラムにつき１単位を認定する。
但し、同一年次・年度に認定できる単位は、１単位を上限とする。

附　則（平成２８年３月３１日規則第７０号）

１　この規則は、平成２８年４月１日から施行する。

２　平成２８年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２８年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

３　前項の規定にかかわらず、別表１（２）の「

Learning Medical English				○	○	○	

」は、平成２８年４月１日から適用する。

附　則（平成２８年３月３１日規則第７１号）

１　この規則は、平成２８年４月１日から施行する。

２　平成２８年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２８年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２８年３月３１日規則第７３号）

（施行期日等）

１　この規則は、平成２８年４月１日から施行する。

（在学する者等に関する経過措置）

２　平成２８年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２８年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表１の（２）及び（３）のうち次に掲げる科目並びに（７）及び（８）を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表１（２）　国際保健福祉Ⅰ、国際保健福祉Ⅱ及び国際保健福祉Ⅲ

別表１（３）　アドバンスド生理機能検査学、短期海外研修（Ⅰ）、短期海外研修（Ⅱ）、短期海外研修（Ⅲ）及びLearning Medical English

３　平成２８年３月３１日において現に本学に在学する者が履修した科目の学習の評価については、次のとおり読み替えるものとする。

評価区分	評価
秀	Ａ＋
優	Ａ
良	Ｂ
可	Ｃ
不可	Ｄ

附則（平成２８年１１月７日規則第１５９号）

１　この規則は、平成２９ 年４月１日から施行する。

２　平成２９年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及　び平成２９年４月１日以降に　在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

３　前項の規定にかかわらず、別表１（２）の「

実践看護英語						○	

」は、平成２９年４月１日から適用する。

附　則（平成２９年３月３０日規則第５０号）

１　この規則は、平成２９ 年４月１日から施行する。
２　平成２９年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２９年４月１日以降に　在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表 １ の（２）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお、従前の例による。
別表１（２）実践看護英語Ⅰ、実践看護英語Ⅱ及び実践看護英語Ⅲ

附　則（平成２９年３月３１日規則第５４号）

この規則は、平成２９年４月１日から施行する。

附　則（平成２９年６月１日規則第６８号）

（施行期日等）
１　この規則は、平成２９年６月１日から施行し、平成２９年４月１日から適用する。
（在学する者等に関する経過措置）
２　平成２９年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２９年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表１の（１）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
別表１（１）　研究実践プログラムⅠ、研究実践プログラムⅡ、研究実践プログラムⅢ、
研究実践プログラムⅣ及び研究実践プログラムⅤ

附　則（平成２９年７月６日規則第１０１号）

（施行期日等）
１　この規則は、平成２９年７月６日から施行し、平成２９年４月１日から適用する。
（在学する者等に関する経過措置）
２　平成２９年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２９年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表３（１）医学科（７）及び注３を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２９年１２月２７日規則第１３７号）

この規則は、平成２９年１２月２７日から施行し、平成２９年４月１日から適用する

附　則（平成３０年５月８日規則第３２号）

１　この規則は、平成３０年５月８日から施行し、平成３０年４月１日から適用する。
２　平成３０年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成３０年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表１（２）及び（３）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお、従前の例による。
別表１（２）　国際保健福祉Ａ、国際保健福祉Ｂ、国際保健福祉Ｃ、国際保健福祉Ｄ
別表１（３）　短期海外研修（Ａ）、短期海外研修（Ｂ）、短期海外研修（Ｃ）、短期海外研修（Ｄ）
生体医工学の科目については、平成２８年度入学者から適用する。

附　則（平成３０年９月２６日規則第１３０号）

１　この規則は、平成３１年４月１日から施行する。
２　平成３１年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成３１年４月１日以降に、在学者の属する学年に再入学、転入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成３０年１０月２４日規則第１３１号）

この規則は、平成３１年４月１日から施行する。

附　則（平成３０年１２月２０日規則第１１９号）

１　この規則は、平成３１年４月１日から施行する。
２　平成２７年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２７年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（令和元年５月８日規則第５５号）

（施行期日等）
１　この規則は、令和元年５月８日から施行し、平成３１年４月１日から適用する。
（在学する者等に関する経過措置）
２　平成３１年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成３１年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表１の（１）の次に掲げる科目及び別表３（１）医学科（８）及び注４を除いて、改正後の別表の規定にかかわら

ず、なお従前の例による。
別表１（１）臨床実習Ⅰ、臨床実習Ⅱ
附　則（令和元年５月８日規則第５６号）
（施行期日等）
１　この規則は、令和元年５月８日から施行し、平成３１年４月１日から適用する。
（在学する者等に関する経過措置）
２　平成３１年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成３１年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表１の（１）及び（４）並びに別表３（１）及び（３）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
別表１（１）　総合診療・地域医療
別表１（４）　総合診療・地域医療
別表３（１）　総合診療・地域医療
別表３（３）　総合診療・地域医療
附　則（令和２年３月１１日規則第４９号）
（施行期日等）
１　この規則は、令和２年４月１日から施行する。
（在学する者等に関する経過措置）
２　令和２年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び令和２年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表１（１）、（３）及び（４）の次に掲げる科目並びに別表３（１）の（５）、注１及び別表３（３）の（４）、注を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
別表１（１）　医歯学基盤教育（ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅢ）、社会医学及び行動科学
別表１（３）　神経科学、心電図判読、Learning Medical English
別表１（４）　医歯学基盤教育（ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅢ）
３　前項の規定にかかわらず、Learning Medical Englishについては、平成３１年４月１日に入学した者のみ改正後の別表１（３）を適用する。
附　則（令和３年１月１５日　規則第３号）
１　この規則は、令和３年１月１５日から施行し、令和２年４月１日から適用する。
２　令和２年３月３１日において、現に本学に在学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
附　則（令和３年２月３日　規則第１６号）
（施行期日等）
１　この規則は、令和３年２月３日より施行し、令和２年４月１日から適用する。
（在学する者等に関する経過措置）
２　令和２年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び令和２年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表１（７）及び別表２のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
別表１（７）及び別表２　オンライン異文化交流
附　則（令和３年３月３１日規則第４０号）
この規則は、令和３年４月１日から施行する。ただし、第９条、別表１（４）及び別表３（１）は、令和２年４月１日から適用する。
（施行期日等）
附　則（令和４年１月１７日規則第６号）
１　この規則は、令和４年４月１日から施行する。
２　令和４年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び令和４年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表１（２）及び別表１（３）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例（別表１（３）電子顕微鏡学を除く。）による。
別表１（２）インディペンデントスタディＡ
別表１（２）インディペンデントスタディＢ
別表１（２）インディペンデントスタディＣ
別表１（３）生命理工学概論
附　則（令和４年１月３１日規則第１０号）
１　この規則は、令和４年４月１日から施行する。

２　令和４年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び令和４年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表１（７）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表１（７）ポストコロナ社会における感染症対策

附　則（令和４年２月１５日規則第１５号）

１　この規則は、令和４年４月１日から施行する。

（在学する者等に関する経過措置）

２　令和４年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び令和４年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正前の別表１（７）のうち次に掲げる科目は、令和５年３月３１日までの間は存続するものとする。

別表１（７）　Introduction to Medical Anthropology

別表１（７）　Decision-making in the Health Sciences

別表１（７）　Health in Contemporary Japanese Society

附　則（令和４年３月１日規則第１６号）

１　この規則は、令和４年４月１日より施行する。

２　令和４年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び令和４年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表１（６）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表１　（６）　口腔保健工学エクスターンシップ

別表１（１）医学科　省略

（２）保健衛生学科（看護学専攻）教育課程

授業科目		単位数			履修学年				備　考
		必修	選択	自由	１年	２年	３年	４年	
専門基礎分野	解剖学	3			○				
	生理学	3				○			
	生化学	2				○			
	薬理学Ⅰ	1				○			
	薬理学Ⅱ	1				○			
	病理学	1				○			
	微生物学	1			○				
	栄養学	1				○			
	疫学	1					○		
	病態学	5				○			
	Global Nursing Communication Ⅰ	1				○			
	Global Nursing Communication Ⅱ	1					○		
	専門基礎合同演習	1				○			
専門共通分野	保健統計学	1						○	
	医療情報学	1				○			
	国際保健看護学Ⅰ	1			○				
	国際保健看護学Ⅱ	1						○	
	産業保健学	1						○	
	保健医療福祉制度論	2				○			
	看護制度論	1			○				
	健康教育学演習	1				○			
	卒業論文Ⅰ	1					○		
	卒業論文Ⅱ	2						○	
	癒しのケア論	1			○				
	AI 実践演習			1		○		○	※５
	Learning Medical English			1		○	○	○	※５
	実践看護英語Ⅰ			1		○			
	実践看護英語Ⅱ			1			○		
	実践看護英語Ⅲ			1				○	
	国際保健福祉Ａ			1	○				
	国際保健福祉Ｂ			1		○			
	国際保健福祉Ｃ			1			○		

		国際保健福祉Ｄ			1				○	
		インディペンデントスタディＡ			1		○			
		インディペンデントスタディＢ			1			○		
		インディペンデントスタディＣ			1				○	
専門領域別分野	基礎看護学	人間の健康と看護	1			○				
		基盤看護学Ⅰ	1				○			
		基盤看護学Ⅱ	1				○			
		基盤看護学演習Ⅰ	2				○			
		基盤看護学演習Ⅱ	1				○			
		基盤看護学実習Ⅰ	1			○				
		基盤看護学実習Ⅱ	2				○			
		フィジカルアセスメント	1				○			
	成人看護学	成人の健康と看護	2				○			
		成人看護学	2				○			
		クリティカルケア看護学	1					○		
		成人看護学演習	1					○		
		成人・老年看護学実習Ⅰ	3					○		
		緩和ケア看護学Ⅰ	1					○		
		緩和ケア看護学Ⅱ※３		1				○		
	精神看護学	心の健康と看護Ⅰ	2				○			
		心の健康と看護Ⅱ	1					○		
		精神看護学演習	1					○		
		精神看護学実習	2					○		
	小児看護学	小児の健康と看護	1				○			
		小児看護学Ⅰ	1				○			
		小児看護学Ⅱ	1					○		
		小児看護学演習	1					○		
		小児看護学実習	2					○		
	母性看護学	性と生殖と健康と看護	1					○		
		周産看護学Ⅰ	1					○		
		周産看護学Ⅱ	1					○		
		周産看護学演習	1					○		
		周産看護学実習	2					○		
	老年看護学	高齢者の健康と看護	1					○		
		老年看護学	2					○		
		老年看護学演習	1					○		
		リハビリテーション看護学※３		1				○		
		成人・老年看護学実習Ⅱ	3					○		
	地域保	地域保健看護学Ⅰ	1				○			
		地域保健看護学Ⅱ	1					○		
		地域保健看護学Ⅲ※１		2					○	

		地域保健看護学演習Ⅰ※１		2					○	
		地域保健看護学演習Ⅱ※１		1					○	
		地域保健看護学実習※１		4					○	
	在宅看護学	在宅看護学Ⅰ	2				○			
		在宅看護学Ⅱ	2					○		
		在宅看護学演習	1					○		
		在宅看護学実習	2					○		
	看護の統合と実践	看護の統合と実践Ⅰ	1			○				
		看護の統合と実践Ⅱ	1				○			
		看護の統合と実践実習	3						○	
		災害看護学	1				○			
		クリティカルシンキング・クリエイティブシンキング	1						○	
		看護マネジメント学	1						○	
		成人・老年看護学実習Ⅲ※２		2					○	
		緩和ケア看護学実習※４		1					○	
		国際看護学実習※４		1					○	
計			97	15	12					

・保健師国家試験受験資格取得を選択する者は，※１の４科目を選択すること。保健師国家試験受験資格取得を選択しない者は，※２の科目を選択し，※３の２科目の中から１科目，※４の２科目中から１科目選択すること。

・※５　履修学年が複数年にわたっている授業科目では、そのいずれかの学年で履修することができる。

（３）保健衛生学科（検査技術学専攻）教育課程

区 分	授業科目	単位数			履修学年（履修対象学年）				備考
		必修	選択	自由	１年	２年	３年	４年	
形態・病態制御学系	人体構造学講義	3			○				
	人体構造学実習	1				○			
	病理検査学講義	4				○			
	病理検査学実習	2				○			
	血液検査学講義	2					○		
	血液検査学実習	2					○		
物質・代謝学系	生化学講義	3				○			
	生化学実習	1				○			
	分析化学検査学Ⅰ	2			○				講義・実習
	分析化学検査学Ⅱ	4				○			講義・実習
	分析化学検査学Ⅲ	3					○		講義・実習
機能調節・制御学系	医用システム情報学講義(Ⅰ)	1				○			
	医用システム情報学講義(Ⅱ)	1					○		
	医用システム情報学実習(Ⅰ)	1				○			
	医用システム情報学実習(Ⅱ)	1					○		
	生理学講義	3				○			
	臨床生理検査学講義(Ⅰ)	2				○			
	臨床生理検査学講義(Ⅱ)	2					○		
	生理学実習	1				○			
	臨床生理検査学実習(Ⅰ)	3				○			
	臨床生理検査学実習(Ⅱ)	2					○		
病因・病態学系	病原体検査学講義(Ⅰ)	1			○				
	病原体検査学講義(Ⅱ)	3					○		
	病原体検査学実習(Ⅰ)	1				○			
	病原体検査学実習(Ⅱ)	2					○		
	免疫検査学講義	3				○			
	免疫検査学実習	2					○		
	遺伝子･染色体検査学講義	2				○			
	遺伝子検査学実習	1					○		
検査管理・社会医学系	臨床検査総合管理学	2			○				
	医学情報処理演習(Ⅰ)	1				○			
	医学情報処理演習(Ⅱ)	1					○		
	公衆衛生学講義	2						○	

	公衆衛生学実習	1						○	
	医療概論・関係法規	1						○	
総合分野	臨床病態学（Ⅰ）	2				○			
	臨床病態学（Ⅱ）	2					○		
	総合講義	3						○	
	臨地実習	12					○		
	卒業研究（Ⅰ）	1					○		
	卒業研究（Ⅱ）	6						○	
	遺伝学		1			○	○	○	※
	生命理工学概論		1			○	○		※
	生体医工学		2				○		
	分子生物学		1			○	○	○	※
	心臓生理学		1			○	○	○	※
	アドバンスド生理機能検査学		1				○	○	※
	心電図判読		1				○	○	※
	AI 実践演習		1			○		○	※
	四大学連合複合領域コース開講科目					○	○	○	※
	薬理学	2				○			
	短期海外研修Ａ			1	○				
	短期海外研修Ｂ			1		○			
	短期海外研修Ｃ			1			○		
	短期海外研修Ｄ			1				○	
外国語	GlobalCommunication（Ⅰ）	2				○			
	GlobalCommunication（Ⅱ）	2					○		
	Learning Medical English		1			○	○	○	※
	English for Health Care Sciences（Ⅰ）		1			○	○	○	※
	English for Health Care Sciences（Ⅱ）		1			○	○	○	※
計		99	12	4					

（選択科目の履修）

１　卒業要件として選択科目の中から６単位以上を修得しなければならない。第４学年ではそのうち２単位以上を修得しなければならない。

２　四大学連合複合領域コース開講科目は，同コースで開講する授業科目のうち，東京工業大学又は一橋大学が開講する授業科目の単位を修得した場合，４単位を上限として単位を修得したものとみなすことができる。開講科目など詳細は「複合領域コース　履修の手引き」を確認すること。

（自由科目の履修）

３　自由科目は卒業要件には含まれない。

※　履修学年が複数年にわたっている授業科目では、そのいずれかの学年で履修することができる。

（４）歯学科～（６）口腔保健学科（口腔保健工学専攻）　省略

（７）全学科共通自由科目

授業科目	単位数	履修対象学年					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
Moral and Political Philosophy for Medicine	1	○	○	○	○	○	○
Biosocial Research Topics	1	○	○	○	○	○	○
Problem-solving in the Health Sciences	1	○	○	○	○	○	○
Applied Critical Thinking for Health Sciences	1	○	○	○	○	○	○
Fundamentals of Global Health	1	○	○	○	○	○	○
Leadership	1	○	○	○	○	○	○
Negotiation	1	○	○	○	○	○	○
Design Thinking	1	○	○	○	○	○	○
オンライン異文化交流（※）	0.5～3	○	○	○	○	○	○
ポストコロナ社会における感染症対策	1	○	○	○	○	○	○
計	9.5～12						

※　所定のプログラムを修了した学生に対し、0.5単位を認定する。但し、同一年次・年度に認定できる単位は、0.5単位を上限とする。

（８）医学科地域特別枠推薦入試入学者必修科目　省略

別表２

評価基準	評価	単位認定
当該科目の到達目標を期待された水準を超えて達成した	Ａ＋	合格
当該科目の到達目標を全て達成した	Ａ	
当該科目の到達目標を概ね達成した	Ｂ	
当該科目の到達目標のうち最低限を達成した	Ｃ	
当該科目の到達目標を達成していない	Ｄ	不合格
到達目標の達成度を評価できない	Ｆ	

※全学科共通自由科目のうち、「オンライン異文化交流」の評価は、以下のとおりとする。

評価基準	評価	単位認定
当該科目の到達目標を達成している	合格	合格
当該科目の到達目標を達成していない	不合格	不合格

別表３

（１）医学科　省略

（２）保健衛生学科（看護学専攻及び検査技術学専攻）

（１） （看護学専攻）第１学年の専門科目のうち、実習科目に未履修科目があるときは、第２学年に進級することができない。 （検査技術学専攻）第１学年の専門科目のうち、講義実習科目に未履修科目があるときは、第２学年に進級することができない。
（２） （看護学専攻）第２学年の必修科目（実習科目を除く。）に未履修科目があるとき、４科目以上の不合格科目があるとき、又は第２学年の必修科目となっている実習科目に不合格科目があるときは、原則として、第３学年に進級することができない。但し、実習科目が不合格の場合は、未履修科目とみなす。 （検査技術学専攻）第１学年の専門科目及び第２学年の必修科目に未履修科目または不合格科目があるときは第３学年に進級することはできない。
（３） （看護学専攻）第２学年及び第３学年の必修科目に未履修科目または不合格科目があるときは、第４学年に進級することはできない。 （検査技術学専攻）第３学年の必修科目に未履修科目または不合格科目があるときは、第４学年に進級することはできない。

備考

未履修科目：授業科目を３分の２以上（実習科目の場合は４分の３以上）履修しなかった科目、又は授業科目を３分の２以上（実習科目の場合は４分の３以上）履修したにも関わらず試験等を放棄し、単位認定できない科目。再履修を要する。

不合格科目：授業科目を３分の２以上履修し、試験等を経て不合格の認定となった科目。

（３）歯学科～（５）口腔保健学科（口腔保健工学専攻）　省略

東京医科歯科大学医学部保健衛生学科履修内規

平成２３年　２月１６日
医学部保健衛生学科長制定

（趣旨）

第１条　この内規は、東京医科歯科大学学部専門科目履修規則（平成２２年規則第４１号。以下「履修規則」という。）第１１条に基づき、医学部保健衛生学科における専門に関する教育科目の履修に関し、必要な事項を定めるものとする。

（学習の評価）

第２条　科目試験の成績については、授業科目ごとに担当教員が採点し、履修規則別表２のとおり学習の評価を行う。

２　正当な理由がなく試験を受験しなかった場合の評価は、Ｆとする。

３　第１項及び前項の学習の評価に、平常の学修の成果を加味することができる。

４　合否判定の結果について異議がある学生は、掲示後１週間以内に別に定める「成績評価異議申し立て書」を医学部事務部保健衛生教務係に提出することができる。

（仮進級）

第３条　進級要件を満たさない者については、特別な事情がある場合に限り、保健衛生学科教育委員会において協議し、仮進級を認めることができる。

２　仮進級者は、翌年度に実施される不合格科目の定期試験を受験し、合格しなければならない。

（ＧＰ）

第４条　評価とＧＰとの対応は次のとおりとする。

評価	Ａ＋	Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｆ
GP	4.0	3.5	3.0	2.0	1.0	0.0

２ 卒業要件に含まない科目のうち、単位を認定されなかった科目については、未履修科目とし、ＧＰＡ（Grade Point Average）の計算式には算入しない。

３　選択科目及び自由科目のうち、卒業要件に含まない単位のＧＰについては、学生の申請があれば、ＧＰＡの計算式に算入しないものとする。

４　前項の申請時期は、第４学年の後期履修登録時とし、以降の変更は原則として認めない。

附　則

１　この内規は、平成２３年４月１日から施行する。

２　国立大学法人の成立前の東京医科歯科大学医学部に平成２３年３月３１日に在学し、引き続き本学部の在学者となったもの（以下「在学者」という。）及び平成２３年４月１日以降在学者の属する学年に再入学、転入学及び編入学する者については、この内規の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２８年３月３１日制定）

１　この内規は、平成２８年４月１日から施行する。

２　平成２８年３月３１日において現に本学に在学する者が履修した科目の学習の評価については、次のとおり読み替えるものとする。

評価区分	評価
秀	Ａ＋
優	Ａ
良	Ｂ
可	Ｃ
不可	Ｄ

附　則（平成２８年１０月１２日制定）

この内規は、平成２８年１１月１日から施行する。

（第２条関係）

平成　　年　　月　　日

成績評価異議申し立て書

学部＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

学科・専攻＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

学籍番号＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

授業科目名		担当教員	
（問い合わせ内容）			
担当教員への連絡	年　　月　　日に　　にて連絡		
（教員の回答）　　年　　月　　日			
学生への連絡	年　　月　　日　に連絡		
担当教員から教務係への連絡	成績訂正：有（訂正後の成績　　）・無 年　　月　　日　　氏名		
教務係確認欄	年　　月　　日		

2022年度入学者(1年生)

授業科目			単位数			履修学年				備考
			必修	選択	自由	1年	2年	3年	4年	(旧カリ対応科目等)
専門基礎分野		解剖学	3			○				
		生理学	3				○			
		生化学	2				○			
		薬理学Ⅰ	1				○			
		薬理学Ⅱ	1				○			
		病理学	1				○			
		微生物学	1			○				
		栄養学	1				○			
		疫学	1					○		
		病態学	5				○			
		Global Nursing Communication Ⅰ	1				○			
		Global Nursing CommunicationⅡ	1					○		
		専門基礎合同演習	1				○			
専門共通分野		保健統計学	1						○	
		医療情報学	1				○			
		国際保健看護学Ⅰ	1			○				
		国際保健看護学Ⅱ	1						○	
		産業保健学	1						○	
		保健医療福祉制度論	2				○			
		看護制度論	1			○				
		健康教育学演習	1				○			
		卒業論文Ⅰ	1					○		
		卒業論文Ⅱ	2						○	
		癒しのケア論	1			○				
		AI 実践演習※5			1		○		○	※5
		Learning Medical English※5			1		○	○	○	※5
		実践看護英語Ⅰ			1		○			
		実践看護英語Ⅱ			1			○		
		実践看護英語Ⅲ			1				○	
		国際保健福祉A			1	○				
		国際保健福祉B			1		○			
		国際保健福祉C			1			○		
		国際保健福祉D			1				○	
		インディペンデントスタディA			1		○			
		インディペンデントスタディB			1			○		
		インディペンデントスタディC			1				○	
専門領域別分野	基礎看護学	人間の健康と看護	1			○				
		基盤看護学Ⅰ	1				○			
		基盤看護学Ⅱ	1				○			
		基盤看護学演習Ⅰ	2				○			
		基盤看護学演習Ⅱ	1				○			
		基盤看護学実習Ⅰ	1			○				
		基盤看護学実習Ⅱ	2				○			
		フィジカルアセスメント	1				○			
	成人看護学	成人の健康と看護	2				○			
		成人看護学	2				○			
		クリティカルケア看護学	1					○		
		成人看護学演習	1					○		
		成人・老年看護学実習Ⅰ	3					○		
		緩和ケア看護学Ⅰ	1					○		
		緩和ケア看護学Ⅱ※3		1				○		※3
	精神看護学	心の健康と看護Ⅰ	2				○			
		心の健康と看護Ⅱ	1					○		
		精神看護学演習	1					○		
		精神看護学実習	2					○		
	小児看護学	小児の健康と看護	1				○			
		小児看護学Ⅰ	1				○			
		小児看護学Ⅱ	1					○		
		小児看護学演習	1					○		
		小児看護学実習	2					○		
	母性看護学	性と生殖と健康と看護	1					○		
		周産看護学Ⅰ	1					○		
		周産看護学Ⅱ	1					○		
		周産看護学演習	1					○		
		周産看護学実習	2					○		
	老年看護学	高齢者の健康と看護	1					○		
		老年看護学	2					○		
		老年看護学演習	1					○		
		リハビリテーション看護学※3		1				○		※3
		成人・老年看護学実習Ⅱ	3					○		
	地域保健看護学	地域保健看護学Ⅰ	1				○			
		地域保健看護学Ⅱ	1					○		
		地域保健看護学Ⅲ※1		2					○	※1
		地域保健看護学演習Ⅰ※1		2					○	※1
		地域保健看護学演習Ⅱ※1		1					○	※1
		地域保健看護学実習※1		4					○	※1
	在宅看護学	在宅看護学Ⅰ	2				○			
		在宅看護学Ⅱ	2					○		
		在宅看護学演習	1					○		
		在宅看護学実習	2					○		
	看護の統合と実践	看護の統合と実践Ⅰ	1			○				
		看護の統合と実践Ⅱ	1				○			
		災害看護学	1				○			
		クリティカルシンキング・クリエイティブシンキング	1						○	
		看護マネジメント学	1						○	
		看護の統合と実践実習	3						○	
		成人・老年看護学実習Ⅲ※2		2					○	※2
		緩和ケア看護学実習※4		1					○	※4
		国際看護学実習※4		1					○	※4
計			97	15	12					

・保健師国家試験受験資格取得を選択する者は，※１の４科目を選択すること。
保健師国家試験受験資格取得を選択しない者は，※２の科目を選択し，※３の２科目の中から１科目、
※４の２科目の中から１科目選択すること。
・※５　履修学年が複数年にわたっている授業科目では、そのいずれかの学年で履修することができる。

2021年度入学者(主に2年生)

授業科目			単位数			履修学年				備考
			必修	選択	自由	1年	2年	3年	4年	(旧カリ対応科目等)
専門基礎分野		解剖学	3			○				
		生理学	3				○			
		生化学	2				○			
		薬理学Ⅰ	1				○			
		薬理学Ⅱ	1				○			
		病理学	1				○			
		微生物学	1			○				
		栄養学	1				○			
		疫学	1					○		
		病態学	5				○			
		Global Nursing Communication Ⅰ	1				○			
		Global Nursing Communication Ⅱ	1					○		
		専門基礎合同演習	1				○			
専門共通分野		保健統計学	1						○	
		医療情報学	1				○			
		国際保健看護学	2						○	
		産業保健学	1						○	
		保健医療福祉制度論	2				○			
		健康教育学演習	1						○	
		卒業論文Ⅰ	1					○		
		卒業論文Ⅱ	2						○	
		AI 実践演習			1		○		○	※4
		Learning Medical English			1		○	○	○	※4
		実践看護英語Ⅰ			1		○			
		実践看護英語Ⅱ			1			○		
		実践看護英語Ⅲ			1				○	
		国際保健福祉A			1	○				
		国際保健福祉B			1		○			
		国際保健福祉C			1			○		
		国際保健福祉D			1				○	
		インディペンデントスタディA			1		○			2022年度より開講
		インディペンデントスタディB			1			○		2022年度より開講
		インディペンデントスタディC			1				○	2022年度より開講
専門領域別分野	基礎看護学	基礎看護学Ⅰ	1			○				
		基礎看護学Ⅱ	1				○			
		基礎看護学Ⅲ	1				○			
		基礎看護学演習Ⅰ	2				○			
		基礎看護学演習Ⅱ	1				○			
		基礎看護学実習Ⅰ	1			○				
		基礎看護学実習Ⅱ	2				○			
	成人看護学	成人看護学Ⅰ	2				○			
		成人看護学Ⅱ	2				○			
		成人看護学Ⅲ	1					○		
		成人看護学演習	1					○		
		成人看護学実習	3					○		
	精神看護学	精神看護学	2				○			
		地域精神看護学	1					○		
		精神看護学演習	1					○		
		精神看護学実習	2					○		
		看護心理学※3		1		○	○			※4
	小児看護学	小児看護学Ⅰ	1				○			
		小児看護学Ⅱ	1					○		
		小児看護学演習Ⅰ	1				○			
		小児看護学演習Ⅱ	1					○		
		小児看護学実習	2					○		
	母性看護学	母性看護学Ⅰ	1					○		
		母性看護学Ⅱ	1					○		
		母性看護学Ⅲ	1					○		
		母性看護学演習	1					○		
		母性看護学実習	2					○		
	老年看護学	老年看護学	3					○		
		老年看護学演習	1					○		
		リハビリテーション看護学※3		1				○		
		老年看護学実習	3					○		
	地域保健看護学	地域保健看護学Ⅰ	1				○			
		地域保健看護学Ⅱ	1					○		
		地域保健看護学Ⅲ※1		2					○	
		地域保健看護学演習※1		1					○	
		地域保健看護学実習※1		3					○	
	在宅看護学	在宅看護学Ⅰ	1				○			
		在宅看護学Ⅱ	1					○		
		在宅看護学演習	1					○		
		緩和ケア看護学Ⅰ	1						○	
		緩和ケア看護学Ⅱ※3		1					○	
		在宅看護学実習	2					○		
	統合看護との実践	看護の統合と実践Ⅰ	2			○				
		看護の統合と実践Ⅱ	2						○	
		看護の統合と実践実習	3						○	
	総合実習	総合実習Ⅰ※2		2					○	
		総合実習Ⅱ※2		1					○	
計			91	12	12					

・保健師国家試験受験資格取得を選択する者は，※１の３科目を選択すること。
保健師国家試験受験資格取得を選択しない者は，※２の２科目を選択し，※３の３科目の中から１科目選択すること。
・※４　履修学年が複数年にわたっている授業科目では、そのいずれかの学年で履修することができる。

2020年度入学者(主に3年生)

授業科目			単位数			履修学年				備考
			必修	選択	自由	1年	2年	3年	4年	(旧カリ対応科目等)
専門基礎分野		解剖学	3			○				
		生理学	3				○			
		生化学	2				○			
		薬理学Ⅰ	1				○			
		薬理学Ⅱ	1				○			
		病理学	1				○			
		微生物学	1			○				
		栄養学	1				○			
		疫学	1					○		
		病態学	5				○			
		Global Nursing Communication Ⅰ	1				○			
		Global Nursing Communication Ⅱ	1					○		
		専門基礎合同演習	1				○			
専門共通分野		保健統計学	1						○	
		医療情報学	1				○			
		国際保健看護学	2						○	
		産業保健学	1						○	
		保健医療福祉制度論	2				○			
		健康教育学演習	1						○	
		卒業論文Ⅰ	1					○		
		卒業論文Ⅱ	2						○	
		AI 実践演習			1		○		○	※4
		Learning Medical English			1		○	○	○	※4
		実践看護英語Ⅰ			1		○			
		実践看護英語Ⅱ			1			○		
		実践看護英語Ⅲ			1				○	
		国際保健福祉A			1	○				
		国際保健福祉B			1		○			
		国際保健福祉C			1			○		
		国際保健福祉D			1				○	
		インディペンデントスタディB			1			○		2022年度より開講
		インディペンデントスタディC			1				○	2022年度より開講
専門領域別分野	基礎看護学	基礎看護学Ⅰ	1			○				
		基礎看護学Ⅱ	1				○			
		基礎看護学Ⅲ	1				○			
		基礎看護学演習Ⅰ	2				○			
		基礎看護学演習Ⅱ	1				○			
		基礎看護学実習Ⅰ	1			○				
		基礎看護学実習Ⅱ	2				○			
	成人看護学	成人看護学Ⅰ	2				○			
		成人看護学Ⅱ	2				○			
		成人看護学Ⅲ	1					○		
		成人看護学演習	1					○		
		成人看護学実習	3					○		
	精神看護学	精神看護学	2				○			
		地域精神看護学	1					○		
		精神看護学演習	1					○		
		精神看護学実習	2					○		
		看護心理学※3		1		○	○			※4
	小児看護学	小児看護学Ⅰ	1				○			
		小児看護学Ⅱ	1					○		
		小児看護学演習Ⅰ	1				○			
		小児看護学演習Ⅱ	1					○		
		小児看護学実習	2					○		
	母性看護学	母性看護学Ⅰ	1					○		
		母性看護学Ⅱ	1					○		
		母性看護学Ⅲ	1					○		
		母性看護学演習	1					○		
		母性看護学実習	2					○		
	老年看護学	老年看護学	3					○		
		老年看護学演習	1					○		
		リハビリテーション看護学※3		1				○		
		老年看護学実習	3					○		
	地域保健看護学	地域保健看護学Ⅰ	1				○			
		地域保健看護学Ⅱ	1					○		
		地域保健看護学Ⅲ※1		2					○	
		地域保健看護学演習※1		1					○	
		地域保健看護学実習※1		3					○	
	在宅看護学	在宅看護学Ⅰ	1				○			
		在宅看護学Ⅱ	1					○		
		在宅看護学演習	1					○		
		緩和ケア看護学Ⅰ	1						○	
		緩和ケア看護学Ⅱ※3		1					○	
		在宅看護学実習	2					○		
	看護の統合と実践	看護の統合と実践Ⅰ	2			○				
		看護の統合と実践Ⅱ	2						○	
		看護の統合と実践実習	3						○	
	総合実習	総合実習Ⅰ※2		2					○	
		総合実習Ⅱ※2		1					○	
計			91	12	11					

・保健師国家試験受験資格取得を選択する者は，※１の３科目を選択すること。
保健師国家試験受験資格取得を選択しない者は，※２の２科目を選択し，※３の３科目の中から１科目選択すること。
・※４　履修学年が複数年にわたっている授業科目では、そのいずれかの学年で履修することができる。

保健衛生学科(看護学専攻)教育課程

平成31(2019)年度入学者(主に4年生)

授業科目			単位数			履修学年				備考
			必修	選択	自由	1年	2年	3年	4年	(旧カリ対応科目等)
専門基礎分野		解剖学	3			○				
		生理学	3				○			
		生化学	2				○			
		薬理学Ⅰ	1				○			
		薬理学Ⅱ	1				○			
		病理学	1				○			
		微生物学	1			○				
		栄養学	1				○			
		疫学	1					○		
		病態学	5				○			
		Global Nursing Communication Ⅰ	1				○			
		Global Nursing CommunicationⅡ	1					○		
		専門基礎合同演習	1				○			
専門共通分野		保健統計学	1						○	
		医療情報学	1				○			
		国際保健看護学	2						○	
		産業保健学	1						○	
		保健医療福祉制度論	2				○			
		健康教育学演習	1						○	
		卒業論文Ⅰ	1					○		
		卒業論文Ⅱ	2						○	
		AI 実践演習			1		○		○	※4
		Learning Medical English			1		○	○	○	※4
		実践看護英語Ⅰ			1		○			
		実践看護英語Ⅱ			1			○		
		実践看護英語Ⅲ			1				○	
		国際保健福祉A			1	○				
		国際保健福祉B			1		○			
		国際保健福祉C			1			○		
		国際保健福祉D			1				○	
		インディペンデントスタディC			1				○	2022年度より開講
専門領域別分野	基礎看護学	基礎看護学Ⅰ	1			○				
		基礎看護学Ⅱ	1				○			
		基礎看護学Ⅲ	1				○			
		基礎看護学演習Ⅰ	2				○			
		基礎看護学演習Ⅱ	1				○			
		基礎看護学実習Ⅰ	1			○				
		基礎看護学実習Ⅱ	2				○			
	成人看護学	成人看護学Ⅰ	2				○			
		成人看護学Ⅱ	2				○			
		成人看護学Ⅲ	1					○		
		成人看護学演習	1					○		
		成人看護学実習	3					○		
	精神看護学	精神看護学	2				○			
		地域精神看護学	1					○		
		精神看護学演習	1					○		
		精神看護学実習	2					○		
		看護心理学※3		1		○	○			※4
	小児看護学	小児看護学Ⅰ	1				○			
		小児看護学Ⅱ	1					○		
		小児看護学演習Ⅰ	1				○			
		小児看護学演習Ⅱ	1					○		
		小児看護学実習	2					○		
	母性看護学	母性看護学Ⅰ	1					○		
		母性看護学Ⅱ	1					○		
		母性看護学Ⅲ	1					○		
		母性看護学演習	1					○		
		母性看護学実習	2					○		
	老年看護学	老年看護学	3					○		
		老年看護学演習	1					○		
		リハビリテーション看護学※3		1				○		
		老年看護学実習	3					○		
	地域保健看護学	地域保健看護学Ⅰ	1				○			
		地域保健看護学Ⅱ	1					○		
		地域保健看護学Ⅲ※1		2					○	
		地域保健看護学演習※1		1					○	
		地域保健看護学実習※1		3					○	
	在宅看護学	在宅看護学Ⅰ	1				○			
		在宅看護学Ⅱ	1					○		
		在宅看護学演習	1					○		
		緩和ケア看護学Ⅰ	1						○	
		緩和ケア看護学Ⅱ※3		1					○	
		在宅看護学実習	2					○		
	看護の統合と実践	看護の統合と実践Ⅰ	2			○				
		看護の統合と実践Ⅱ	2						○	
		看護の統合と実践実習	3						○	
	合同実習	総合実習Ⅰ※2		2					○	
		総合実習Ⅱ※2		1					○	
計			91	12	10					

・保健師国家試験受験資格取得を選択する者は，※１の３科目を選択すること。
　保健師国家試験受験資格取得を選択しない者は，※２の２科目を選択し，※３の３科目の中から１科目選択すること。
・※4　履修学年が複数年にわたっている授業科目では、そのいずれかの学年で履修することができる。

平成30(2018)年度入学者(主に4年生)

授業科目			単位数			履修学年				備考
			必修	選択	自由	1年	2年	3年	4年	(旧カリ対応科目等)
専門基礎分野		解剖学Ⅰ	2			○				
		解剖学Ⅱ	1				○			
		生理学	3				○			
		生化学	2				○			
		薬理学Ⅰ	1				○			
		薬理学Ⅱ	1				○			
		病理学	1				○			
		微生物学	1				○			
		栄養学	1				○			
		疫学	1					○		
		病態学	5				○			
		Global Nursing Communication Ⅰ	1				○			旧：英文講読Ⅰ
		Global Nursing Communication Ⅱ	1					○		旧：英文講読Ⅱ
		専門基礎合同演習	1				○			
専門共通分野		保健統計学	1						○	
		医療情報学	1				○			
		国際保健看護学	2						○	
		産業保健学	1						○	
		保健医療福祉制度論	2				○			
		健康教育学演習	1						○	
		卒業論文Ⅰ	1					○		
		卒業論文Ⅱ	2						○	
		AI 実践演習			1		○		○	※4
		Learning Medical English			1		○	○	○	※4
		実践看護英語Ⅰ			1		○			
		実践看護英語Ⅱ			1			○		
		実践看護英語Ⅲ			1				○	
		国際保健福祉A			1	○				
		国際保健福祉B			1		○			
		国際保健福祉C			1			○		
		国際保健福祉D			1				○	
		インディペンデントスタディB			1			○		2022年度より開講
		インディペンデントスタディC			1				○	2022年度より開講
専門領域別分野	基礎看護学	基礎看護学Ⅰ	1			○				
		基礎看護学Ⅱ	1				○			
		基礎看護学Ⅲ	1				○			
		基礎看護学演習Ⅰ	2				○			
		基礎看護学演習Ⅱ	1				○			
		基礎看護学実習Ⅰ	1			○				
		基礎看護学実習Ⅱ	2				○			
	成人看護学	成人看護学Ⅰ	2				○			
		成人看護学Ⅱ	2				○			
		成人看護学Ⅲ	1					○		
		成人看護学演習	1					○		
		成人看護学実習	3					○		
	精神看護学	精神看護学	2				○			
		地域精神看護学	1					○		
		精神看護学演習	1					○		
		精神看護学実習	2					○		
		看護心理学※3		1		○	○			※4
	小児看護学	小児看護学Ⅰ	1				○			
		小児看護学Ⅱ	1					○		
		小児看護学演習Ⅰ	1				○			
		小児看護学演習Ⅱ	1					○		
		小児看護学実習	2					○		
	母性看護学	母性看護学Ⅰ	1					○		
		母性看護学Ⅱ	1					○		
		母性看護学Ⅲ	1					○		
		母性看護学演習	1					○		
		母性看護学実習	2					○		
	老年看護学	老年看護学	3					○		
		老年看護学演習	1					○		
		リハビリテーション看護学※3		1				○		
		老年看護学実習	3					○		
	地域保健看護学	地域保健看護学Ⅰ	1				○			
		地域保健看護学Ⅱ	1					○		
		地域保健看護学Ⅲ※1		2					○	
		地域保健看護学演習※1		1					○	
		地域保健看護学実習※1		3					○	
	在宅看護学	在宅看護学Ⅰ	1				○			
		在宅看護学Ⅱ	1					○		
		在宅看護学演習	1					○		
		緩和ケア看護学Ⅰ	1						○	
		緩和ケア看護学Ⅱ※3		1					○	
		在宅看護学実習	2					○		
	看護の統合と実践	看護の統合と実践Ⅰ	2			○				
		看護の統合と実践Ⅱ	2						○	
		看護の統合と実践実習	3						○	
	総合実習	総合実習Ⅰ※2		2					○	
		総合実習Ⅱ※2		1					○	
計			91	12	11					

・保健師国家試験受験資格取得を選択する者は，※１の３科目を選択すること。
　保健師国家試験受験資格取得を選択しない者は，※２の２科目を選択し，※３の３科目の中から１科目選択すること。
・※４　履修学年が複数年にわたっている授業科目では、そのいずれかの学年で履修することができる。

保健衛生学科(看護学専攻)教育課程

平成29(2017)年度入学者(主に4年生)

授業科目			単位数			履修学年				備考
			必修	選択	自由	1年	2年	3年	4年	(旧カリ対応科目等)
専門基礎分野		解剖学Ⅰ	2			○				
		解剖学Ⅱ	1				○			
		生理学	3				○			
		生化学	2				○			
		薬理学Ⅰ	1				○			
		薬理学Ⅱ	1				○			
		病理学	1				○			
		微生物学	1				○			
		栄養学	1				○			
		疫学	1					○		
		病態学	5				○			
		Global Nursing Communication Ⅰ	1				○			旧：英文講読Ⅰ
		Global Nursing Communication Ⅱ	1					○		旧：英文講読Ⅱ
		専門基礎合同演習	1				○			
専門共通分野		保健統計学	1						○	
		医療情報学	1				○			
		国際保健看護学	2						○	
		産業保健学	1						○	
		保健医療福祉制度論	2				○			
		健康教育学演習	1						○	
		卒業論文Ⅰ	1					○		
		卒業論文Ⅱ	2						○	
		AI 実践演習			1		○		○	※4
		Learning Medical English			1		○	○	○	※4
		実践看護英語Ⅰ			1		○			
		実践看護英語Ⅱ			1			○		
		実践看護英語Ⅲ			1				○	
		国際保健福祉B			1		○			旧:国際保健福祉Ⅰ
		国際保健福祉C			1			○		旧:国際保健福祉Ⅱ
		国際保健福祉D			1				○	旧:国際保健福祉Ⅲ
		インディペンデントスタディB			1			○		2022年度より開講
		インディペンデントスタディC			1				○	2022年度より開講
専門領域別分野	基礎看護学	基礎看護学Ⅰ	1			○				
		基礎看護学Ⅱ	1				○			
		基礎看護学Ⅲ	1				○			
		基礎看護学演習Ⅰ	2				○			
		基礎看護学演習Ⅱ	1				○			
		基礎看護学実習Ⅰ	1			○				
		基礎看護学実習Ⅱ	2				○			
	成人看護学	成人看護学Ⅰ	2				○			
		成人看護学Ⅱ	2				○			
		成人看護学Ⅲ	1					○		
		成人看護学演習	1					○		
		成人看護学実習	3					○		
	精神看護学	精神看護学	2				○			
		地域精神看護学	1					○		
		精神看護学演習	1					○		
		精神看護学実習	2					○		
		看護心理学※3		1		○	○			※4
	小児看護学	小児看護学Ⅰ	1				○			
		小児看護学Ⅱ	1					○		
		小児看護学演習Ⅰ	1				○			
		小児看護学演習Ⅱ	1					○		
		小児看護学実習	2					○		
	母性看護学	母性看護学Ⅰ	1					○		
		母性看護学Ⅱ	1					○		
		母性看護学Ⅲ	1					○		
		母性看護学演習	1					○		
		母性看護学実習	2					○		
	老年看護学	老年看護学	3					○		
		老年看護学演習	1					○		
		リハビリテーション看護学※3		1				○		
		老年看護学実習	3					○		
	地域保健看護学	地域保健看護学Ⅰ	1				○			
		地域保健看護学Ⅱ	1					○		
		地域保健看護学Ⅲ※1		2					○	
		地域保健看護学演習※1		1					○	
		地域保健看護学実習※1		3					○	
	在宅看護学	在宅看護学Ⅰ	1				○			
		在宅看護学Ⅱ	1					○		
		在宅看護学演習	1					○		
		緩和ケア看護学Ⅰ	1						○	
		緩和ケア看護学Ⅱ※3		1					○	
		在宅看護学実習	2					○		
	看護の統合と実践	看護の統合と実践Ⅰ	2			○				
		看護の統合と実践Ⅱ	2						○	
		看護の統合と実践実習	3						○	
	統合実習	総合実習Ⅰ※2		2					○	
		総合実習Ⅱ※2		1					○	
計			91	12	10					

・保健師国家試験受験資格取得を選択する者は，※1の3科目を選択すること。
保健師国家試験受験資格取得を選択しない者は，※2の2科目を選択し，※3の3科目の中から1科目選択すること。
・※4　履修学年が複数年にわたっている授業科目では、そのいずれかの学年で履修することができる。

東京医科歯科大学試験規則

（平成２３年４月１日
規　則　第　１　号）

（趣旨）

第１条　この規則は、東京医科歯科大学における全学に共通する教育科目及び専門に関する教育科目（以下「授業科目」という。）の試験に関して、東京医科歯科大学学則（平成１６年規程第４号。以下「学則」という。）、東京医科歯科大学全学共通科目履修規則（平成１６年規則第２１７号。）及び東京医科歯科大学学部専門科目履修規則（平成２２年規則第４１号。）に定めるもののほか、必要な事項を定める。

（試験の種類）

第２条　試験は、本試験、追試験及び再試験とする。

（試験の方法）

第３条　試験は、筆答試験、コンピュータ活用試験、口答試験及び実地試験のいずれかによって行う。

（本試験）

第４条　本試験は、定期試験及び共用試験をいう。

２　共用試験は、医学部医学科及び歯学部歯学科において行う。

（定期試験）

第５条　定期試験とは、履修した授業科目について行う試験をいう。

２　定期試験の実施日時は、試験実施日の２週間前までに公示する。

３　定期試験を受験することのできる者は原則として次のとおりとする。

(1) 講義及び演習　　当該授業科目の授業時間数の３分の２以上履修した者

(2) 実習　　当該授業科目の授業時間数の４分の３以上履修した者

４　定期試験の結果は、公示する。

５　第３項に定めるもののほか、定期試験の受験資格に関し必要な事項は、医学部、歯学部又は教養部（以下「部局」という。）において別に定めることができる。

（共用試験）

第６条　共用試験とは、知識・問題解決能力を主として評価する多肢選択形式のコンピュータ活用試験（ＣＢＴ）及び技能・態度を主として評価する客観的臨床能力試験（ＯＳＣＥ）をいう。

２　共用試験の実施日時は、試験実施日の２週間前までに公示する。

３　共用試験を受験することのできる者は医学部医学科及び歯学部歯学科において

別に定める。
４　共用試験の結果は、公示する。

（追試験）
第７条　追試験とは、病気、その他止むを得ない理由により本試験を受験できなかった者に対して行う試験をいう。ただし、追試験は原則として１回限りとする。
２　追試験を受験しようとする者（以下「追試験申請者」という。）は、所定の受験申請書に医師の診断書等の証明書類を添えて、本試験終了後原則として５日以内に医学部長、歯学部長又は教養部長（以下「学部長等」という。）に願い出て、許可を受けなければならない。
３　学部長等は、前項の申請について、教育委員会又は教務委員会と協議のうえ、その可否を決定し、追試験申請者に通知するものとする。
４　追試験受験決定が否の場合は、本試験を不合格とする。
５　試験の結果は、公示する。
６　第２項に定めるもののほか、追試験の申請に関し必要な事項は、部局において別に定めることができる。

（再試験）
第８条　再試験とは、本試験又は追試験を受験し、不合格となった者に対し行う試験をいう。ただし、再試験は、原則として１回限りとする。
２　再試験の実施日時は、指定の期日までに公示する。
３　再試験は当該学部長等の判断により、受験を許可しないことがある。
４　再試験受験決定が否の場合は、当該授業科目を不合格とする。
５　試験の結果は、公示する。
６　第３項に定めるもののほか、再試験の許可に関し必要な事項は、部局において別に定めることができる。

（試験の成績）
第９条 本試験、追試験及び再試験による成績については、科目責任者が１００点満点で採点し、６０点以上を「当該科目の到達目標のうち最低限を達成した」ものとして合格とする。
２ 共用試験の成績については、前項の規定にかかわらず、医学部医学科及び歯学部歯学科において別に定める。

（成績の報告）
第１０条　科目責任者は、本試験、追試験及び再試験について所定の用紙に採点結果を記入し、指定の期日までに当該学部長等に報告しなければならない。
２　医学科教育委員会委員長又は歯学科教育委員会委員長は、共用試験について所定の用紙に採点結果を記入し、指定の期日までに当該学部長に報告しなければならない。

（罰則）

第１１条　試験において不正行為があったときは、学則第５８条の規定による懲戒の手続きをとるものとする。

（補則）

第１２条　この規則に定めるもののほか、試験に関し必要な事項は別に定める。

附　則

１　この規則は、平成２３年４月１日から施行する。

２　東京医科歯科大学医学部試験規則（平成１６年規則２０２号）は廃止する。

３　東京医科歯科大学歯学部試験規則（平成１６年規則２１４号）は廃止する。

４ この規則は、平成23年3月31日において現に医学部または歯学部に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成23年4月1日以降在学者が所属する学年に再入　学、転入学するものについては、改正後の規則にかかわらず、なお従前の東京医科　歯科大学医学部試験規則または東京医科歯科大学歯学部試験規則の例による。

附　則（平成28年3月31日規則第74号）

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

東京医科歯科大学医学部保健衛生学科試験内規

（平成２３年　２月１６日
医学部保健衛生学科長制定）

（趣旨）

第１条　この内規は、東京医科歯科大学試験規則（平成２３年４月１日規則第１号。以下「試験規則」という。）第８条第６項及び第１２条に基づき、医学部保健衛生学科における専門に関する教育科目の試験に関し、必要な事項を定めるものとする。

（再試験）

第２条　再試験の時期は、原則として後期終了後の定期試験実施期間後に予め設定した再試験期間内に実施するものとする。ただし、第４学年で履修した科目の再試験は、第４学年の年度末とする。

２　再試験の実施日時は、試験実施日２週間前までに公示する。

３　再試験を受験しようとする者は、所定の受験申請書により原則として試験期日７日前までに医学部長に願い出なければならない。

附　則

１　この内規は、平成２３年４月１日から施行する。

２　東京医科歯科大学医学部に平成２３年３月３１日に在学し、引き続き本学部の在学者となったもの（以下「在学者」という。）及び平成２３年４月１日以後在学者の属する学年に再入学、転入学及び編入学する者に係る試験については、この内規の規定にかかわらず、なお従前の例による。

東京医科歯科大学学部教育におけるＧＰＡ制度
取り扱いに関する要項

平成２８年３月３１日
制　　定

（目的）

第１条　東京医科歯科大学の学部教育におけるＧＰＡ（Grade Point Average）制度の運用については、東京医科歯科大学全学共通科目履修規則（平成１６年制定）、東京医科歯科大学医学部医学科専門科目履修内規（平成２３年制定）、東京医科歯科大学医学部保健衛生学科履修内規（平成２３年制定）、東京医科歯科大学歯学部歯学科専門科目履修内規（平成２３年制定）、東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科専門科目履修内規（平成２３年制定）に定めるほか、この要項の定めるところによる。

（定義）

第２条　この要項において、ＧＰＡとは、個々の学生の学習到達度をはかる数値で、履修登録した科目毎の評価（A^{+}，Ａ，Ｂ，Ｃ，Ｄ，Ｆ）を４から０までの点数に置き換えて単位数を掛け、その総和を履修登録単位数の合計で割った平均点とする。

２　ＧＰＡ対象授業科目は、次の各号を除く授業科目とする。

(1) A^{+}，Ａ，Ｂ，Ｃ，Ｄ，Ｆによる学習の評価を行わない科目

(2) 他大学等で単位を修得し、本学として学習の評価を行わず「認定」とした科目

(3) 卒業要件に含まない科目のうち学生が申請して学科等が認めた科目（成績表ではＧＰＡ除外科目として明示される）

(4) ＧＰＡへの算入が適当でないと学科等が認めた科目（シラバスおよび成績表ではＧＰＡ除外科目として明示される）

（学習の評価及びＧＰ）

第３条　学習の評価及びGrade Point（ＧＰ）は、次のとおりとする。

評　価	ＧＰ	評価基準
A^{+}	４．０	当該科目の到達目標を期待された水準を超えて達成した
Ａ	３．５	当該科目の到達目標を全て達成した
Ｂ	３．０	当該科目の到達目標を概ね達成した
Ｃ	２．０	当該科目の到達目標のうち最低限を達成した
Ｄ	１．０	当該科目の到達目標を達成していない
Ｆ	０．０	到達目標の達成度を評価できない

（ＧＰＡの種類及び計算方法）

第４条　ＧＰＡは、当該学年に履修した第２条第２項に定めるＧＰＡ対象授業科目につい

て、「当該年度のＧＰＡ」、「累積ＧＰＡ」に区分し、各区分は次に定める方法により計算するものとする。

＊ ＧＰＡの計算式

$$\text{当該年度のＧＰＡ} = \frac{\begin{array}{l}（\ ４\times A^{+}\text{取得単位数}＋３．５\times\text{Ａ取得単位数}＋３\times\text{Ｂ取得単位数}\\ ＋２\times\text{Ｃ取得単位数}＋１\times\text{Ｄ取得単位数}＋０\times\text{Ｆ取得単位数}）\end{array}}{\text{当該年度の総履修登録単位数}}$$

$$\text{累積ＧＰＡ} = \frac{\begin{array}{l}（４\times A^{+}\text{取得単位数}＋３．５\times\text{Ａ取得単位数}＋３\times\text{Ｂ取得単位数}\\ ＋２\times\text{Ｃ取得単位数}＋１\times\text{Ｄ取得単位数}＋０\times\text{Ｆ取得単位数}）\end{array}}{\text{総履修登録単位数}}$$

２　前項の計算式において、総履修登録単位数には不可となった科目の単位を含むが、履修取消とした科目の単位は含まない。

３　計算値は四捨五入して小数第２位まで求めるものとする。

（ＧＰＡ計算期日）

第５条　ＧＰＡの計算は、学年ごとに所定の期日までに確定した成績に基づいて行う。

（成績証明書への記載）

第６条　成績証明書への記載は、累積ＧＰＡを使用する。

（その他）

第７条　この要項に定めるもののほか、ＧＰＡ制度の実施に関して必要な事項は、各学科等において、別に定める。

附　則

１　この要項は、平成２８年４月１日から施行し、平成 28 年度入学者から適用する。

平成 27 年度以前入学者についても、GPA を計算する場合は、秀を A^{+}、優を A、良を B、可を C、不可を D、評価なしを F とみなし、適用する。

附　則（平成３０年９月６日制定）

この要項は、平成３０年９月６日から施行し、平成３０年４月１日から適用する。

国立大学法人東京医科歯科大学における授業欠席に関する取扱要項

令和２年１１月３０日
制　　定

（趣旨）
第１条　この要項は、国立大学法人東京医科歯科大学（以下「本学」という。）における授業欠席に関する取扱いについて必要な事項を定める。

（公欠及びその要件）
第２条　この要項において、公欠とは、本学が認める一定の事由によりやむを得ず正課を欠席した場合、これを出席として取扱うことをいう。
２　本学の学生が、次の各号の事由によりやむを得ず正課を欠席する場合は、これを公欠として取扱う。
⑴ 感染症に罹患した場合
⑵ 親族が死亡した場合
⑶ 裁判員制度による裁判員又は裁判員候補者に選任された場合
⑷ その他学長が必要と認める場合

（公欠の手続及び様式）
第３条　前条第２項各号による公欠の具体的な基準及び手続については、別表のとおりとする。
２　前条第２項第３号又は第４号により公欠が認められた場合は、欠席届の写を回付する等の方法により授業担当教員にその旨通知することとする。

（公欠とされた学生への配慮義務）
第４条　授業担当教員は、公欠とされた学生に対し、履修上不利とならないよう配慮するものとする。

（公欠期間中の試験の取扱い）
第５条　公欠期間中の試験に関する追試験等の取扱いについては、当該授業科目を開講する学部長又は研究科長の定めるところによる。

（公欠以外の欠席）
第６条　公欠以外の理由により１週間以上欠席する場合は、欠席届を速やかに各学科又は各専攻の教務係へ提出することとする。

附　則
この要項は、令和２年１１月３０日から施行し、令和２年４月１日から適用する。

別表（第３条関連）

公欠事由	条件	公欠として認められる期間	手続等
感染症に罹患した場合	学校保健安全法施行規則（昭和３３年６月１３日文部省令第１８号）第１８条に規定する感染症に罹患した場合、又は感染しているおそれがある場合	学校保健安全法施行規則（昭和３３年６月１３日文部省令第１８号）第１９条に規定する期間	欠席届と証拠となる書類（診断書等）を添付し、担当係へ提出すること。
親族が死亡した場合	配偶者及び１親等、２親等の親族の死亡に伴い必要と認められる葬儀、服喪その他の行事のため授業に出席できなかった場合	親族に応じ次に掲げる連続する暦日数（葬儀のため遠隔の地に赴く場合にあっては、往復に要する日数を加えた日数）の期間 配偶者及び１親等の親族の場合（父母・子）は、死亡した日から起算して連続７日（休日を含む。） ２親等（祖父母、兄弟姉妹等）の場合は、死亡した日から起算して連続３日（休日を含む。）	欠席届と証拠となる書類（会葬礼状等）を添付し、担当係へ提出すること。
裁判員制度による裁判員又は裁判員候補者に選任された場合	裁判員又は裁判員候補者としての任務を果たす場合	裁判所へ出頭する日	欠席届と証拠となる書類（裁判所からの通知書等）を添付し、担当係へ提出すること。
その他学長が必要と認める場合	学長が必要と認める場合	学長が必要と認めた期間	欠席届と証拠となる書類（学長が必要と認めたことがわかる書類）を添付し、担当係へ提出すること。

看護学専攻第３学年における臨地実習履修要件 平成 23 年度以降入学者に適用

平成１２年１１月　７日
保健衛生学科教育委員会
平成１７年　３月１５日改正
保健衛生学科教育委員会
平成２０年１２月２４日改正
保健衛生学科教育委員会
平成２３年　１月　５日改正
保健衛生学科教育委員会

臨地実習のうち、別表に掲げるものは、病院等において実際の患者に接して行なわれるものであり、あらかじめ、それぞれの実習を行うに十分な基礎知識を持つことが必要であることから、当該臨地実習に関連する講義･演習の試験に合格したものでなければ、これを履修することができない。

(別表)

臨地実習名	関連する講義･演習科目名
基礎看護学実習Ⅱ	基礎看護学Ⅰ･Ⅱ、基礎看護学演習Ⅰ、基礎看護学実習Ⅰ
成人看護学実習	成人看護学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、成人看護学演習
精神看護学実習	精神看護学、地域精神看護学、精神看護学演習
小児看護学実習	小児看護学Ⅰ・Ⅱ、小児看護学演習Ⅰ・Ⅱ
母性看護学実習	母性看護学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、母性看護学演習
老年看護学実習	老年看護学、老年看護学演習
在宅看護学実習	在宅看護学Ⅰ・Ⅱ、在宅看護学演習

医学部保健衛生学科看護学専攻卒業論文実施要項

平成１１年　７月１４日承認
平成１２年１２月１３日改正
保健衛生学科教育委員会
平成１４年　２月１３日改正
保健衛生学科運営会議
平成２７年　３月１１日改正
保健衛生学科運営会議
平成２９年　２月　８日改正
保健衛生学科運営会議

（趣　旨）

１　東京医科歯科大学医学部保健衛生学科看護学専攻（以下「看護学専攻」という。）における「卒業論文Ⅰ・Ⅱ」の実施については，この要項に定めるところによる。

（授業目的）

２　看護・保健に関する研究を実践することにより，論文の読み方，研究の進め方，論文のまとめ方，口頭発表の仕方の基本を修得させることを目的とする。

（指導教員）

３　指導は，看護先進科学専攻の教授，准教授、講師、及び助教以上（以下「指導教員」という。）が行う。

４　一人の指導教員が指導を行う学生数の上限は，原則として次のとおりとする。

(1) 教授一人に対し　学生４名
(2) 准教授一人に対し学生３名
(3) 講師一人に対し　学生２名

５　看護学専攻卒業論文小委員会（以下「委員会」という。）は，学生より提出された研究テーマ等を考慮し，指導教員を決定する。

（卒業論文）

６　卒業論文は，別紙により６ページ以内で作成し，提出期限までに指定された場所に提出しなければならない。

（卒業論文発表会）

７　口頭発表の場として卒業論文発表会（以下「発表会」という。）を行う。

８　発表会は委員会が主催し，卒業論文委員（学生より選出）が開催する。

９　発表会の開催日時は，毎年６月末日までに掲示により連絡する。

10　発表時間は，１人５分間とし，質疑応答は２分間とする。なお，発表開始から４分経過時及び５分経過時に合図し，発表時間超過者については質疑応答時間で調整する。

11　発表会用にスライドを作成する場合は，１枚あたり１０行未満の文章で，見やすく作成する。

（評価及び単位認定）

12　「卒業論文Ⅰ・Ⅱ」の評価及び単位認定は次のとおりとする。

(1) 「卒業論文Ⅰ」
　　指導教員が講義により評価し，科目の責任者が単位認定を行う。
(2) 「卒業論文Ⅱ」
　　指導教員が論文及び発表を８：２の比率で評価し，看護学専攻主任が単位認定を行う。

13　「卒業論文Ⅰ・Ⅱ」の単位は，次に該当する者には認定しない。

(1) 「卒業論文Ⅰ」の出席が３分の２に満たない者
(2) 期限提出までに論文を提出できない者
(3) その他，卒論単位認定に支障があると判定された者

（評価基準）

14　論文の評価基準は，次のとおりとする。

(1) 論文に取り組む姿勢
(2) 論文内容

① 研究目的
② 研究方法
③ 論文内容の論理性と明確性
④ 考察の論理性と明確性

（実施）

15　この要項は，平成２７年度３年次在学者より実施する。

附　則

この要項は平成２７年４月１日から施行する。

附　則

この要項は平成２９年４月１日から施行する。

（別　紙）

卒　業　論　文　フ　ォ　ー　ム

1　卒業論文のフォーム
卒業論文のフォームは,以下のとおりとする。

(1) はじめに
(2) 方法 ※ 倫理的配慮あるいは倫理的手続きに関する記述を含む
(3) 結果
(4) 考察
(5) 引用文献（参考文献と分けて記載する）

2　引用文献の書き方
書式は,「バンクーバー方式」または「APA方式」に準ずる。

＜バンクーバー方式＞

① 文献については、本文中に文献リスト番号（上付き：例[1)]）をつけ,表示する。
② 文献リストは本文中に引用された順に列記する。
③ 文献リストの記述方法

1) 田村園子. 諸外国の看護教育の動向. 国際看護学研究. 2012; 90(9):1456-61.

2) Smidt AC, Lai JS, Cella D, Patel S, Mancini AJ, Chamlin SL. Development and validation of nursing care for adolescents with skin disease. Archives of Dermatology Nursing. 2010; 146(8): 865-9.

④ 文中引用例

ケアの有用性は証明されていないが[10)-12)]、実施している対象者は多かった。

＜APA方式＞

① 文献については,本文中に著者名,発行年次を括弧表示する。
② 文献リストは著者名のアルファベット順に列記する。但し,共著者は３名まで表記する。
③ 文献リストの記述方法

1) 田村園子 (2012) :諸外国の看護教育の動向, 国際看護学研究, 90(9), 1456-1461.

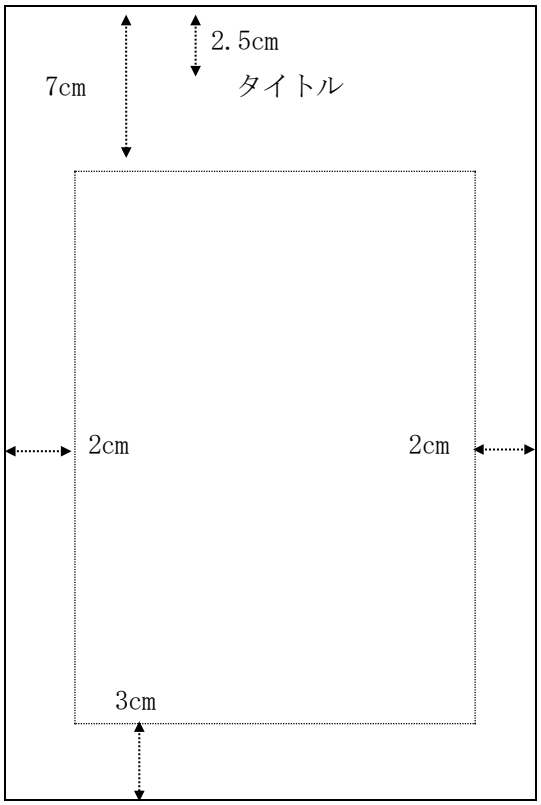
2) Voos K., Ross G., Ward M.., et al. (2011): Effects of implementing family-centered rounds (FCRs) in a neonatal intensive care unit (NICU), J. Matern. Fetal Neonatal Med., 24(11), 1-4.

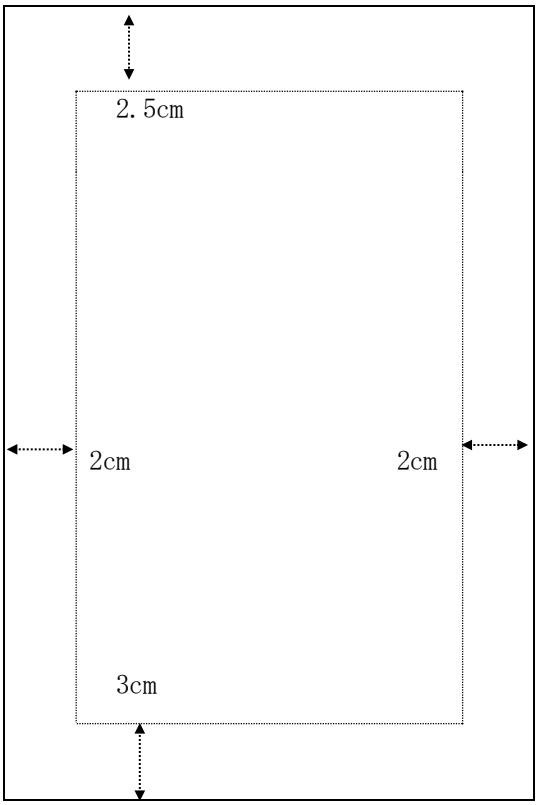
④ 文中引用例

ケアの有用性は証明されていないが（田村, 2012: Smidt et al., 2010）、実施している対象者は多かった。

3　卒業論文の書式

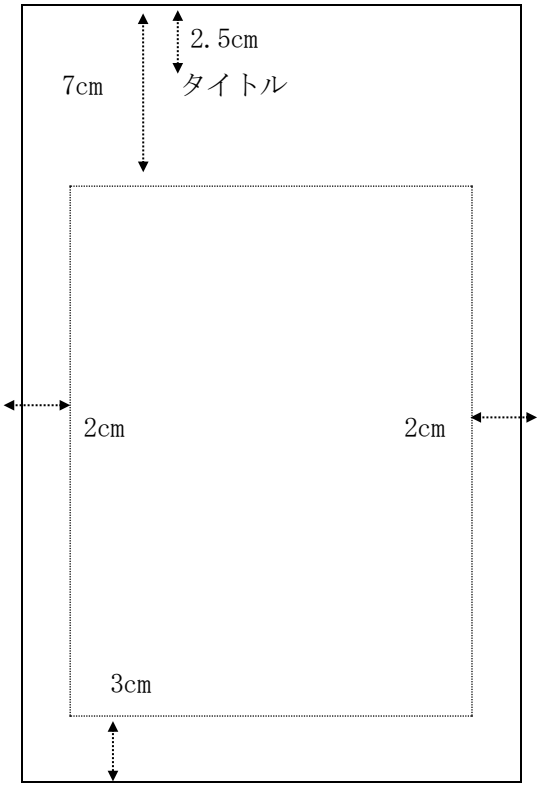
・ A4用紙に6ページ以内とし,片面に印字する。
・ 字の大きさ及びフォントは,10～11ポイントで明朝体とする。ページ設定は2段組とし,
文字数：全角46,行数：38,字送り：10.5ポイント,行送り：18ポイントとする。
・ 提出後の差し替え（誤字・脱字を含む）は一切認めない。
・ 全ページ余白は上2.5cm,下3cm,左右それぞれ2cmとする。
・ ただし,1ページ目は上2.5cmからタイトル,その下余白に氏名・指導者名を記載する。
・ 本文は7cm下から書き始める。
・ 指導教員には大学院生は含まない。





4　卒業論文抄録の書式

- A4用紙に1枚とする。
- 字の大きさ,フォントおよびページ設定は卒業論文に準ずる。
- タイトル,氏名,指導教員名を上7cmの余白部分に書き,以下目的,方法,結果,考察を記載する。
- 提出後の差し替え（誤字・脱字を含む）は一切認めない。



＜標題紙見本＞

医学部保健衛生学科レポート

学　　部　医学部

学　　科　保健衛生学科（看護学専攻）

科 目 名　「産業保健学」

標　　題　「産業の場における看護職の五管理」

↑

感想の場合は、“感想「〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇」”と書く。

提出月日　平成〇〇年〇月〇日

専　　攻　看護学専攻

学　　年　〇学年

学籍番号　〇〇〇〇〇〇〇〇

氏　　名　山田　花子

山田　花子

産業保健の根幹を成す、産業の場で看護職が行う五管理について、その概要と業務の具体的事項を述べる。

・ 産業の場における看護職の五管理について

１． 産業保健と五管理

２． 作業環境管理

３． 作業管理

４． 健康管理

５． 労働衛生教育

６． 総括管理

７． まとめ

８． 参考文献

――――――――――――――――――――――――以下省略――――――――――――――――――――――――

※作成要領

１．レポート本文はワープロ打ちとする。

２．フォーマットはＡ４版・MS 明朝体・10.5 サイズとし、横 44 文字、縦 32 行で印字する。

３．すべてのページの１行目右上に氏名を記載し、最終行下欄にページ番号を付す。

※レポート本文のページ数、図、表、写真等の使用・貼付等については、担当教員の指示に従う。

４．表題紙は、別様とする。

５．書き出しは 2 行目 2 コマ目から始める。

６．英数文字は半角とする。

６．最後に引用文献及び参考文献の記載を記載する。

※書式は、「お茶の水醫學雑誌」に準ずる。

＜書き方例＞

引用文献

論文の場合

1）宮崎美砂子，春山早苗：最新地域看護学. 各論２. 日本看護協会出版会；2006：81-88.

著書の一部の場合

2）鈴木太郎，山田華子：糖尿病性神経障害，小島次郎編　糖尿病，大学出版，東京，1986. pp975-982.